

千葉市  
障害者計画等策定に係る  
実態調査報告書

－障害者生活実態・意向調査－

令和2年3月

千 葉 市



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1	調査の目的	1
2	アンケート調査の実施方法	1
3	ヒアリング調査の実施方法	2
4	回収結果	3
5	調査結果の表示方法	3
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	<b>5</b>
1	在宅の方（18 歳以上）を対象とした調査	5
	（1）回答者について	5
	（2）本人について	6
	（3）医療機関への受診状況について	13
	（4）家族や介助者について	24
	（5）相談や情報入手について	31
	（6）暮らしについて	40
	（7）災害対策について	61
	（8）日中活動・就労について	67
	（9）運動やスポーツについて	76
	（10）趣味や教養などの生涯学習活動について	87
	（11）将来について	92
	（12）障害のある人に対する理解度	99
	（13）サービス利用について	109
	（14）収入や利用者負担について	127
	（15）障害者施策について	129
	（16）自由意見	130

2	施設に入所している方を対象とした調査	137
(1)	回答者について	137
(2)	本人について	138
(3)	施設への入所について	143
(4)	医療機関への受診状況について	148
(5)	相談や情報入手について	151
(6)	日常生活（施設での生活）について	153
(7)	暮らしについて	159
(8)	将来について	174
(9)	障害のある人に対する理解度	181
(10)	サービス利用について	191
(11)	収入や利用者負担について	196
(12)	障害者施策について	197
(13)	自由意見	198
3	18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査	203
(1)	回答者について	203
(2)	本人について	204
(3)	医療機関への受診状況について	209
(4)	家族や介助者について	220
(5)	相談や情報入手について	229
(6)	暮らしについて	240
(7)	災害対策について	257
(8)	療育・保育について	263
(9)	学校・教育について	271
(10)	日中活動・就労について	281
(11)	運動やスポーツについて	282
(12)	趣味や教養などの生涯学習活動について	290
(13)	将来について	294
(14)	障害のある人に対する理解度	299
(15)	サービス利用について	309
(16)	収入や利用者負担について	326
(17)	障害者施策について	328
(18)	自由意見	329

4	発達障害のある方を対象とした調査	337
(1)	回答者について	337
(2)	本人について	337
(3)	医療機関への受診状況について	344
(4)	家族や介助者について	346
(5)	相談や情報入手について	350
(6)	暮らしについて	354
(7)	災害対策について	359
(8)	日中活動・就労について	362
(9)	運動やスポーツについて	368
(10)	趣味や教養などの生涯学習活動について	372
(11)	将来について	375
(12)	障害のある人に対する理解度	379
(13)	サービス利用について	386
(14)	収入や利用者負担について	395
(15)	障害者施策について	397
(16)	自由意見	398
5	発達障害のある18歳未満の方とその保護者	407
(1)	回答者について	407
(2)	本人について	408
(3)	医療機関への受診状況について	412
(4)	家族や介助者について	414
(5)	相談や情報入手について	419
(6)	暮らしについて	424
(7)	災害対策について	429
(8)	療育・保育について	432
(9)	学校・教育について	437
(10)	日中活動・就労について	439
(11)	運動やスポーツについて	440
(12)	趣味や教養などの生涯学習活動について	443
(13)	将来について	446
(14)	障害のある人に対する理解度	449
(15)	サービス利用について	455
(16)	収入や利用者負担について	464
(17)	障害者施策について	465
(18)	自由意見	466

6 サービス事業者を対象とした調査 .....	469
(1) 事業所について .....	469
(2) 職員について .....	475
(3) サービス提供について .....	485
(4) 障害者の虐待防止について .....	495
(5) 災害時の対策について .....	496
(6) 感染症対策について .....	497
(7) 障害者の差別解消について .....	498
(8) 自由意見 .....	499

### Ⅲ ヒアリング調査..... 501

1 調査の概要 .....	501
2 調査における意見等 .....	501
(1) 医療機関への受診等について .....	501
(2) 家族や介護者について .....	502
(3) 相談や情報入手について .....	502
(4) 暮らしについて .....	503
(5) 災害対策について .....	504
(6) 療育・保育について .....	505
(7) 学校教育について .....	505
(8) 就労について .....	506
(9) 日中活動・運動スポーツ・生涯学習について .....	507
(10) 将来について .....	507
(11) 障害のある人に対する理解度 .....	508
(12) サービス利用について .....	509
(13) 障害者施策について .....	510
(14) 自由記述欄 .....	510

資料編.....	511
1 在宅の方（18 歳以上）を対象とした調査.....	511
2 施設に入所している方を対象とした調査 .....	527
3 18 歳未満の方と保護者の方を対象とした調査.....	534
4 発達障害のある方を対象とした調査 .....	550
5 発達障害のある 18 歳未満の方とその保護者 .....	564
6 サービス事業者を対象とした調査 .....	580



# I 調査の概要

---



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

福祉・保健・医療・雇用・教育・生活環境など、幅広い分野を対象とした障害者施策の総合的推進と、障害福祉サービス等の必要見込量とその確保のための方策を策定するためには、障害者等の生活実態と意向を明らかにするための基礎調査が不可欠です。

この調査は、障害者基本法第11条第3項に規定する障害者計画、障害者総合支援法第88条に規定する障害福祉計画及び児童福祉法第33条の20に規定する障害児福祉計画の次期計画の策定に係る必要なデータを収集し、障害者施策の一層の推進を図ることを目的として実施しました。

## 2 アンケート調査の実施方法

### ①調査対象

千葉市に住所のある方で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、自立支援医療（精神通院医療）を利用している方及び千葉市療育センターまたは千葉市大宮学園に通っている方の中から対象者を選定しました。

対象者	分類	人数	抽出数	対象者の選定方法
I 在宅の方 (57,843名)	身体障害	28,614	1,500	身体障害者手帳をお持ちの18歳以上の方から抽出
	知的障害	4,761	500	療育手帳をお持ちの18歳以上の方から抽出
	精神障害	24,468	500	精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、自立支援医療（精神通院医療）を利用している方から抽出
II 施設に入所している方 (666名)		666	666	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちで、千葉市から障害者施設に入所している方(全数)
III 18歳未満の方と保護者の方 (2,737名)	身体障害	630	500	身体障害者手帳をお持ちの18歳未満の方から抽出
	知的障害	2,107	500	療育手帳をお持ちの18歳未満の方から抽出
IV 発達障害のある方 (345名)		345	345	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳以上の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方
V 発達障害のある18歳未満の方とその保護者の方 (54名)		14	14	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳未満の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方（全数）
		40	40	千葉市療育センターまたは千葉市大宮学園に通っている方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方に対して、一定期間窓口配布
VI サービス事業所 (799か所)		799	100	千葉市内に住所のある障害福祉サービス事業所から抽出

## ②調査期間

令和元年12月19日～令和2年1月6日

## ③調査方法

対象の方及び事業所に郵送（一部窓口配布）で調査票を配布し、無記名で郵送回収しました。

# 3 ヒアリング調査の実施方法

## ①調査対象

千葉市内の障害者団体・障害者施設関係団体等17団体を対象としました。（順不同）。

団体の種類	団体名
当事者団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特定非営利活動法人千葉市視覚障害者協会</li><li>・ 千葉市聴覚障害者協会</li><li>・ 千葉市中途失聴・難聴者協会</li><li>・ 千葉市身体障害者福祉会</li><li>・ 千葉市オストミー協会</li><li>・ 千葉市腎臓病患者友の会</li></ul>
障害児者の 保護者の会・家族会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 千葉市肢体不自由児者父母の会</li><li>・ 千葉市重症心身障害児（者）を守る会</li><li>・ 千葉市手をつなぐ育成会</li><li>・ 千葉市自閉症協会</li><li>・ 特定非営利活動法人千家連</li><li>・ ちば高次脳機能障害者と家族の会</li></ul>
障害者施設団体・ 事業所団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 千葉市身体障害者施設連絡協議会</li><li>・ 千葉市知的障害者福祉施設連絡協議会</li><li>・ 千葉市中心身障がい者ワークホーム等連絡会</li><li>・ 千葉市精神障害者共同作業所等連絡会</li><li>・ 千葉市障害福祉サービス事業者連絡協議会</li></ul>

## ②調査期間

令和元年7月12日～令和元年8月16日

## ③調査方法

対象団体に事前に調査票を配布し、ヒアリングの当日に代表の方に会場に来ていただいて、調査票の記入内容を中心にお話を伺う方法で実施しました。

## 4 回収結果

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
在宅の方	2,500 通	1,027 通	41.1%
施設に入所している方	666 通	330 通	49.5%
18 歳未満の方と保護者の方	1,000 通	393 通	39.3%
発達障害のある方	300 通	137 通	45.7%
発達障害のある 18 歳未満の方と その保護者の方	40 通	26 通	65.0%
サービス事業者の方	100 通	49 通	49.0%

## 5 調査結果の表示方法

- ・回答は各設問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・障害種別毎の調査結果において、「難病」は難病に罹患していると回答をした方及び高次脳機能障害があると診断を受けたことがあると回答した方を指しています。



## Ⅱ 調査結果

---

### 1 在宅の方（18 歳以上）を対象とした調査



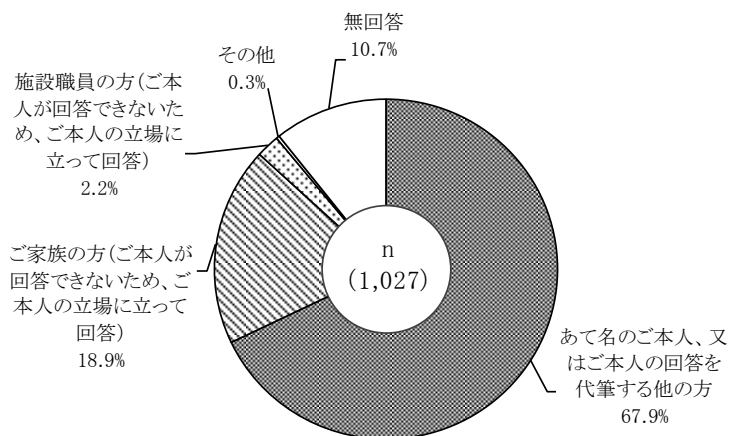
## Ⅱ 調査結果

### 1 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査

#### （1）回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（○は1つ）

全体では、「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」が 67.9%で最も多く、以下「ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」が 18.9%となっています。



#### 【障害種別】

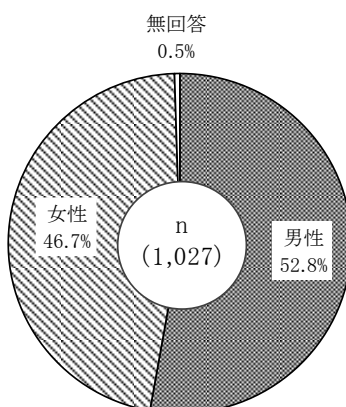
単位 上段：件、下段：%

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	施設職員の方	その他	無回答
全 体	1,027	697	194	23	3	110
	100.0	67.9	18.9	2.2	0.3	10.7
身体障害	683	503	100	12	2	66
	100.0	73.6	14.6	1.8	0.3	9.7
知的障害	207	82	88	7	1	29
	100.0	39.6	42.5	3.4	0.5	14.0
精神障害	212	150	33	4	1	24
	100.0	70.8	15.6	1.9	0.5	11.3
難病	165	101	44	6	-	14
	100.0	61.2	26.7	3.6	-	8.5
無回答	8	5	1	-	-	2
	100.0	62.5	12.5	-	-	25.0

## (2) 本人について

### 問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

全体では、「男性」が52.8%、「女性」が46.7%となっています。



### 【障害種別】

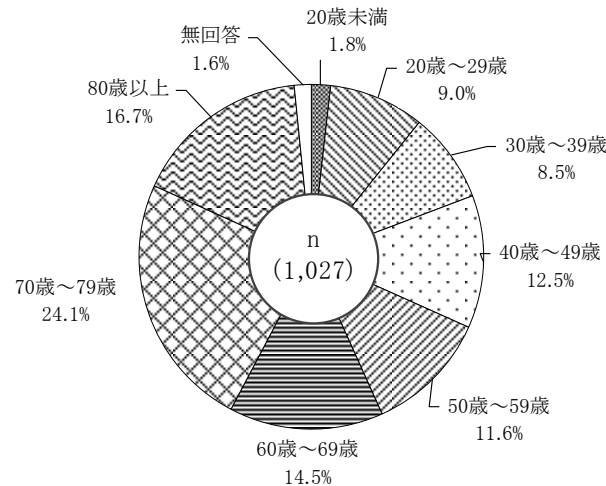
単位 上段:件、下段:%

	調査数	男性	女性	無回答
全 体	1,027 100.0	542 52.8	480 46.7	5 0.5
身体障害	683 100.0	339 49.6	342 50.1	2 0.3
知的障害	207 100.0	134 64.7	71 34.3	2 1.0
精神障害	212 100.0	109 51.4	103 48.6	— —
難病	165 100.0	94 57.0	71 43.0	— —
無回答	8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5

**問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。**

全体では、「70歳～79歳」が24.1%で最も多く、以下「80歳以上」が16.7%、「60歳～69歳」が14.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「30歳～39歳」の割合が減少しています。



**【障害種別】**

単位 上段:件、下段:%

	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
全 体	1,027	18	92	87	128	119	149	247	171	16
	100.0	1.8	9.0	8.5	12.5	11.6	14.5	24.1	16.7	1.6
身体障害	683	3	15	23	42	70	125	235	165	5
	100.0	0.4	2.2	3.4	6.1	10.2	18.3	34.4	24.2	0.7
知的障害	207	16	71	38	40	21	9	5	1	6
	100.0	7.7	34.3	18.4	19.3	10.1	4.3	2.4	0.5	2.9
精神障害	212	—	30	35	59	45	25	12	2	4
	100.0	—	14.2	16.5	27.8	21.2	11.8	5.7	0.9	1.9
難病	165	2	8	12	18	19	33	43	28	2
	100.0	1.2	4.8	7.3	10.9	11.5	20.0	26.1	17.0	1.2
無回答	8	1	1	—	—	—	—	1	3	2
	100.0	12.5	12.5	—	—	—	—	12.5	37.5	25.0

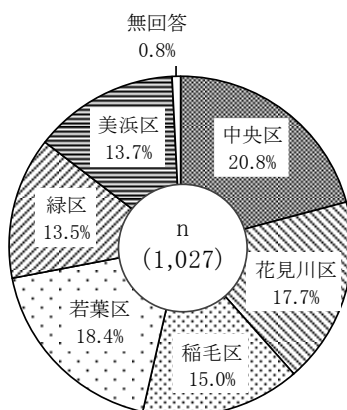
**【平成28年度調査】**

単位 上段:件、下段:%

	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
全 体	1,135	27	115	123	142	127	180	243	173	5
	100.0	2.4	10.1	10.8	12.5	11.2	15.9	21.4	15.2	0.4
身体障害	772	5	28	36	57	76	159	237	171	3
	100.0	0.6	3.6	4.7	7.4	9.8	20.6	30.7	22.2	0.4
知的障害	226	22	71	52	52	17	6	3	2	1
	100.0	9.7	31.4	23.0	23.0	7.5	2.7	1.3	0.9	0.4
精神障害	231	3	34	54	62	45	21	9	3	—
	100.0	1.3	14.7	23.4	26.8	19.5	9.1	3.9	1.3	—
難病	224	2	17	24	21	30	41	60	28	1
	100.0	0.9	7.6	10.7	9.4	13.4	18.3	26.8	12.5	0.4
無回答	7	—	1	1	1	—	1	2	—	1
	100.0	—	14.3	14.3	14.3	—	14.3	28.6	—	14.3

問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。(○は1つ)

全体では、「中央区」が20.8%で最も多く、以下「若葉区」が18.4%、「花見川区」が17.7%となっています。



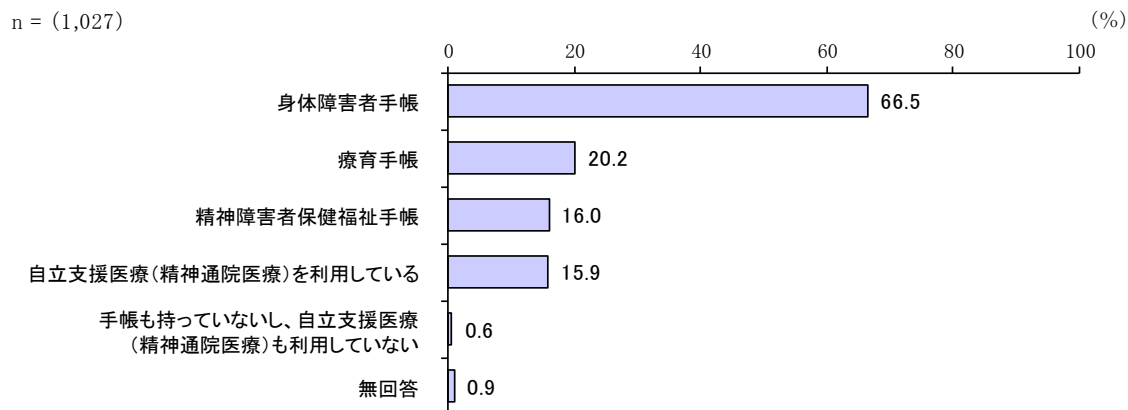
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全 体	1,027	214	182	154	189	139	141	8
	100.0	20.8	17.7	15.0	18.4	13.5	13.7	0.8
身体障害	683	139	131	97	127	83	103	3
	100.0	20.4	19.2	14.2	18.6	12.2	15.1	0.4
知的障害	207	37	37	30	36	32	33	2
	100.0	17.9	17.9	14.5	17.4	15.5	15.9	1.0
精神障害	212	53	28	28	44	35	22	2
	100.0	25.0	13.2	13.2	20.8	16.5	10.4	0.9
難病	165	46	24	26	30	21	18	—
	100.0	27.9	14.5	15.8	18.2	12.7	10.9	—
無回答	8	—	3	2	1	1	—	1
	100.0	—	37.5	25.0	12.5	12.5	—	12.5

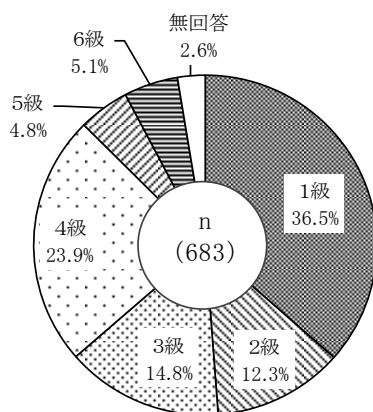
**問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。）**

「身体障害者手帳」が66.5%で最も多く、以下「療育手帳」が20.2%、「精神障害者保健福祉手帳」が16.0%となっています。



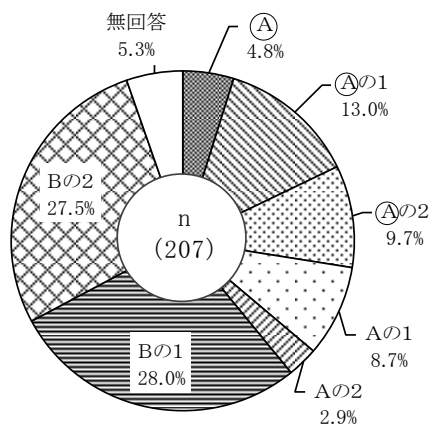
**1. 身体障害者手帳の等級**

「1級」が36.5%で最も多く、以下「4級」が23.9%、「3級」が14.8%となっています。



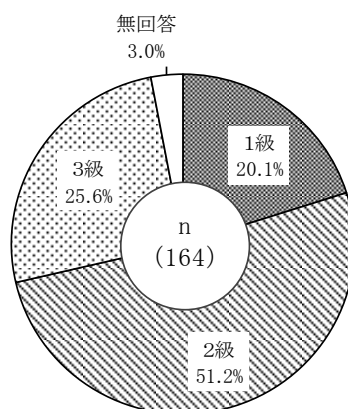
**2. 療育手帳**

「Bの1」が28.0%で最も多く、以下「Bの2」が27.5%、「Aの1」が13.0%となっています。



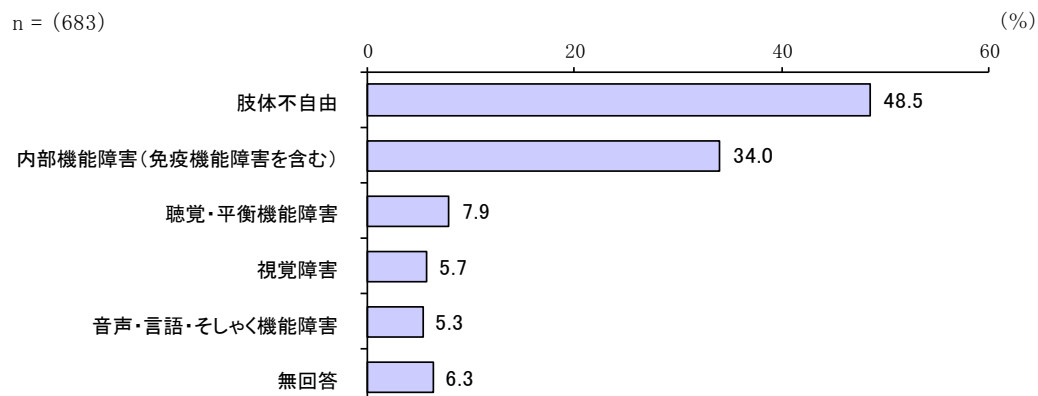
### 3. 精神障害者保健福祉手帳

「2級」が51.2%で最も多く、以下「3級」が25.6%、「1級」が20.1%となっています。



問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。  
(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が48.5%で最も多く、以下「内部機能障害（免疫機能障害を含む）」が34.0%となっています。



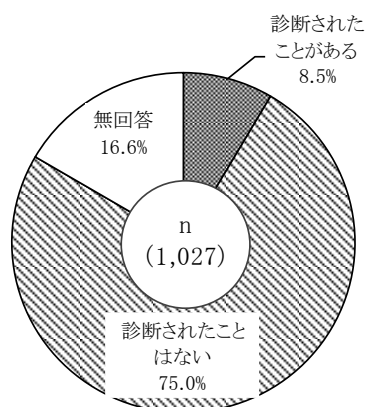
問 7 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 国が指定する特定疾患

病 名	件 数	病 名	件 数
悪性関節リウマチ	9 件	多発血管炎性肉芽腫症	1 件
網膜色素変性症	6 件	全身性強皮症	1 件
パーキンソン病	4 件	シェーグレン症候群	1 件
背髄小脳変性症	3 件	特発性血小板減少性紫斑病	1 件
特発性拡張型心筋症	3 件	多発性嚢胞腎	1 件
球脊髄性筋萎縮症	2 件	黄色靱帯骨化症	1 件
顕微鏡的多発血管炎	2 件	広範脊柱管狭窄症	1 件
後縦靱帯骨化症	2 件	特発性大腿骨頭壊死症	1 件
クローン病	2 件	潰瘍性大腸炎	1 件
筋ジストロフィー	2 件	遺伝性周期性四肢麻痺	1 件
重症筋無力症	1 件	レノックス・ガストー症候群	1 件
多発性硬化症	1 件	片側痙攣・片麻痺・ てんかん症候群	1 件
膿疱性乾癬（汎発型）	1 件	強直性脊椎炎	1 件
高安動脈炎	1 件	合計	52 件 (49 人)

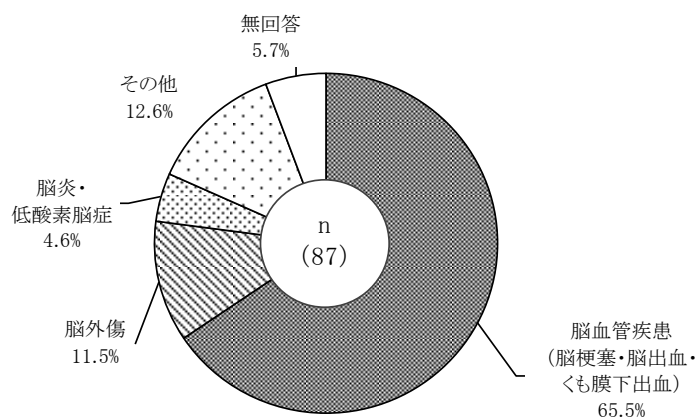
**問 8 あなたは医師から高次脳機能障害と診断されたことがありますか。(○は1つ)**

「診断されたことがある」が8.5%、「診断されたことはない」が75.0%となっています。



**問 9 【問8で診断されたことがある（1番）に○をつけた方におたずねします。】  
あなた（ご本人）が障害を負った原因は何ですか。(○は1つ)**

「脳血管疾患（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）」が65.5%で最も多く、以下「脳外傷」が11.5%となっています。

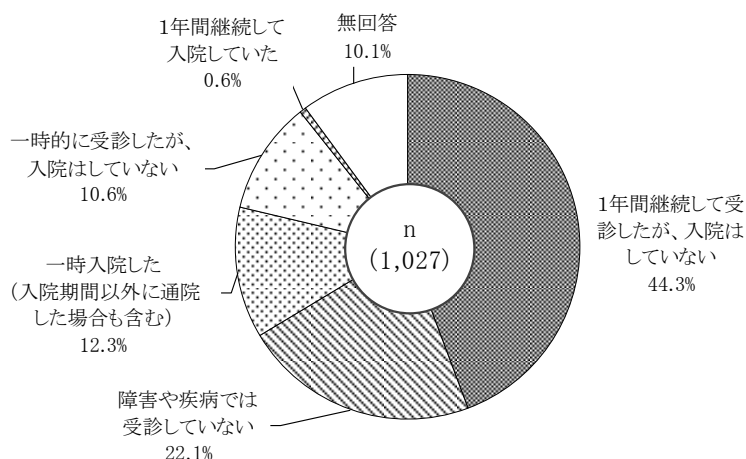


### (3) 医療機関への受診状況について

問 10 あなたは最近 1 年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。  
(○は 1 つ)

「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」が 44.3%で最も多く、以下「障害や疾病では受診していない」が 22.1%、「一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」が 12.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では、「障害や疾病では受診していない」の割合が増加しています。



#### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	1,027 100.0	227 22.1	109 10.6	455 44.3	126 12.3	6 0.6	104 10.1
身体障害	683 100.0	146 21.4	80 11.7	274 40.1	107 15.7	5 0.7	71 10.4
知的障害	207 100.0	71 34.3	26 12.6	75 36.2	13 6.3	1 0.5	21 10.1
精神障害	212 100.0	16 7.5	10 4.7	152 71.7	18 8.5	-	16 7.5
難病	165 100.0	35 21.2	11 6.7	73 44.2	30 18.2	2 1.2	14 8.5
無回答	8 100.0	4 50.0	-	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0

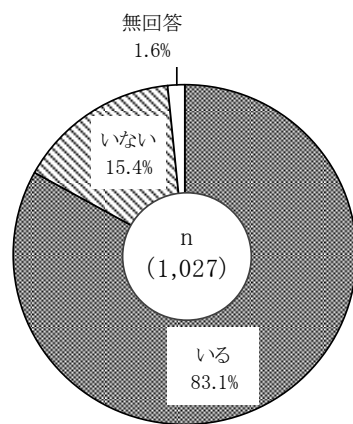
#### 【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	1,135 100.0	240 21.1	152 13.4	490 43.2	149 13.1	3 0.3	101 8.9
身体障害	772 100.0	146 18.9	107 13.9	320 41.5	133 17.2	2 0.3	64 8.3
知的障害	226 100.0	89 39.4	36 15.9	71 31.4	6 2.7	1 0.4	23 10.2
精神障害	231 100.0	19 8.2	20 8.7	155 67.1	22 9.5	-	15 6.5
難病	224 100.0	24 10.7	26 11.6	119 53.1	41 18.3	-	14 6.3
無回答	7 100.0	1 14.3	-	2 28.6	1 14.3	-	3 42.9

問 11 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。（○は1つ）

「いる」が 83.1%、「いない」が 15.4%となっています。

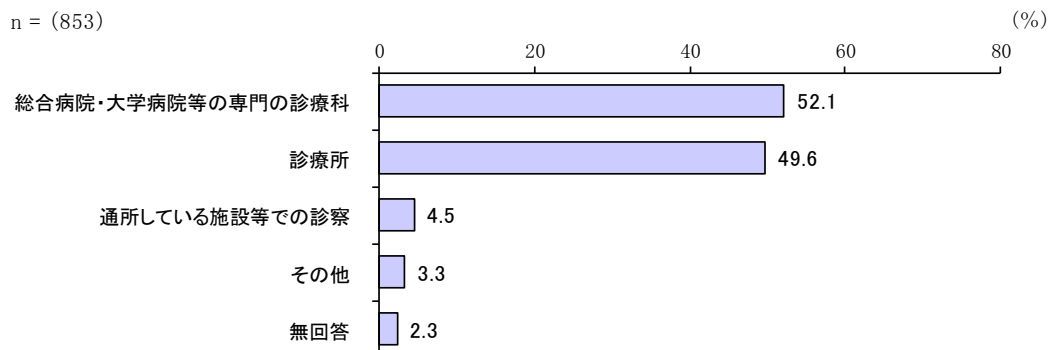


【障害種別】

単位 上段：件、下段：%				
	調査数	いる	いない	無回答
全 体	1,027	853	158	16
	100.0	83.1	15.4	1.6
身体障害	683	571	102	10
	100.0	83.6	14.9	1.5
知的障害	207	153	50	4
	100.0	73.9	24.2	1.9
精神障害	212	202	9	1
	100.0	95.3	4.2	0.5
難病	165	143	21	1
	100.0	86.7	12.7	0.6
無回答	8	3	3	2
	100.0	37.5	37.5	25.0

問 12 【問 11 で身近な医師等（かかりつけ医）がいると回答した方におたずねします。】  
その医療機関はどのようなものですか。（〇はいくつでも）

「総合病院・大学病院等の専門の診療科」が 52.1%で最も多く、以下「診療所」が 49.6%となっています。



【障害種別】

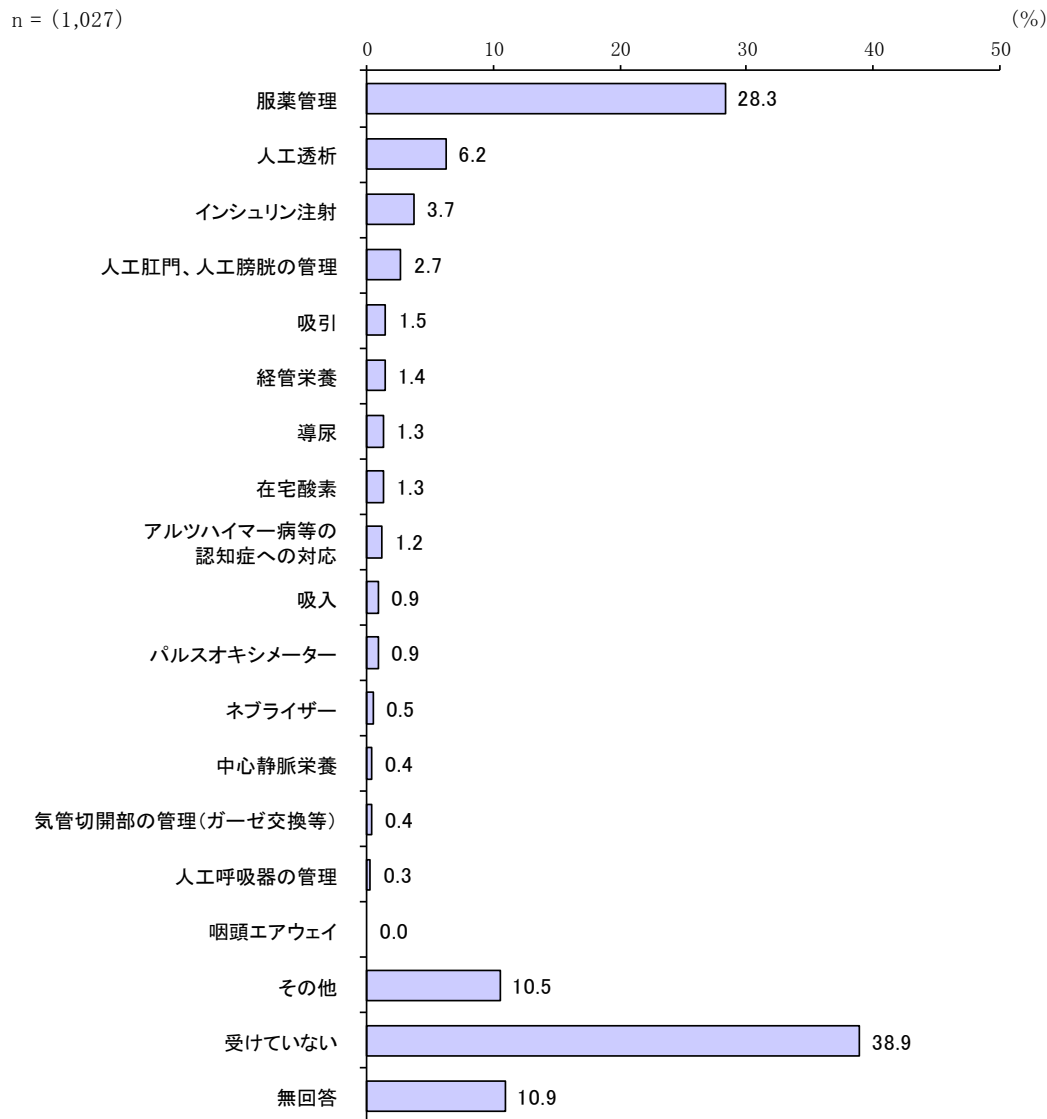
単位 上段：件、下段：%

	調査数	診療所	総合病院・大学病院等の専門の診療科	通所している施設等での診察	その他	無回答
全 体	853	423	444	38	28	20
	100.0	49.6	52.1	4.5	3.3	2.3
身体障害	571	248	347	26	14	14
	100.0	43.4	60.8	4.6	2.5	2.5
知的障害	153	87	65	7	6	4
	100.0	56.9	42.5	4.6	3.9	2.6
精神障害	202	122	71	7	15	3
	100.0	60.4	35.1	3.5	7.4	1.5
難病	143	66	78	12	5	1
	100.0	46.2	54.5	8.4	3.5	0.7
無回答	3	2	2	-	-	-
	100.0	66.7	66.7	-	-	-

問 13 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

「受けていない」が 38.9%で最も多く、以下「服薬管理」が 28.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では、「受けていない」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター
全 体	1,027	15	9	14	4	13	13	5	-	9
	100.0	1.5	0.9	1.4	0.4	1.3	1.3	0.5	-	0.9
身体障害	683	15	6	13	4	12	13	4	-	9
	100.0	2.2	0.9	1.9	0.6	1.8	1.9	0.6	-	1.3
知的障害	207	5	4	2	-	-	2	1	-	2
	100.0	2.4	1.9	1.0	-	-	1.0	0.5	-	1.0
精神障害	212	1	1	2	-	1	1	1	-	2
	100.0	0.5	0.5	0.9	-	0.5	0.5	0.5	-	0.9
難病	165	4	1	5	-	2	2	1	-	-
	100.0	2.4	0.6	3.0	-	1.2	1.2	0.6	-	-
無回答	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	4	3	28	12	38	64	291	108	400	112
	0.4	0.3	2.7	1.2	3.7	6.2	28.3	10.5	38.9	10.9
身体障害	3	3	27	8	33	63	181	82	242	72
	0.4	0.4	4.0	1.2	4.8	9.2	26.5	12.0	35.4	10.5
知的障害	2	-	1	-	2	1	49	17	111	23
	1.0	-	0.5	-	1.0	0.5	23.7	8.2	53.6	11.1
精神障害	-	-	1	5	2	4	92	19	77	20
	-	-	0.5	2.4	0.9	1.9	43.4	9.0	36.3	9.4
難病	-	-	3	4	4	5	49	21	60	16
	-	-	1.8	2.4	2.4	3.0	29.7	12.7	36.4	9.7
無回答	-	-	1	-	1	-	-	-	2	4
	-	-	12.5	-	12.5	-	-	-	25.0	50.0

【平成 28 年度調査】

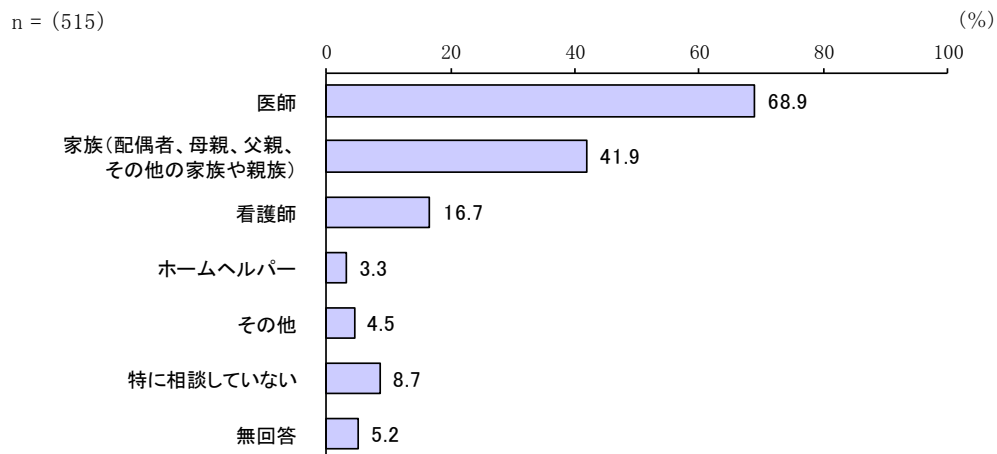
単位 上段:件、下段:%

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター
全 体	1,135	16	16	9	2	15	19	7	1	5
	100.0	1.4	1.4	0.8	0.2	1.3	1.7	0.6	0.1	0.4
身体障害	772	16	16	9	2	14	19	7	1	5
	100.0	2.1	2.1	1.2	0.3	1.8	2.5	0.9	0.1	0.6
知的障害	226	2	1	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	0.9	0.4	-	-	-	-	0.4	-	-
精神障害	231	1	3	1	-	3	2	-	-	1
	100.0	0.4	1.3	0.4	-	1.3	0.9	-	-	0.4
難病	224	4	3	3	1	6	7	-	-	2
	100.0	1.8	1.3	1.3	0.4	2.7	3.1	-	-	0.9
無回答	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	2	3	42	16	40	64	344	123	426	124
	0.2	0.3	3.7	1.4	3.5	5.6	30.3	10.8	37.5	10.9
身体障害	2	3	41	14	37	64	234	98	238	84
	0.3	0.4	5.3	1.8	4.8	8.3	30.3	12.7	30.8	10.9
知的障害	-	1	-	-	2	-	53	16	134	22
	-	0.4	-	-	0.9	-	23.5	7.1	59.3	9.7
精神障害	-	-	-	2	5	1	100	15	88	21
	-	-	-	0.9	2.2	0.4	43.3	6.5	38.1	9.1
難病	-	2	7	5	8	24	98	35	52	17
	-	0.9	3.1	2.2	3.6	10.7	43.8	15.6	23.2	7.6
無回答	-	-	1	-	1	-	1	-	1	4
	-	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-	14.3	57.1

問 14 【問 13 で「吸引」～「その他」に○をつけた方におたずねします。】  
医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。（○はいくつでも）

「医師」が 68.9%で最も多く、以下「家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族）」が 41.9%、「看護師」が 16.7%となっています。



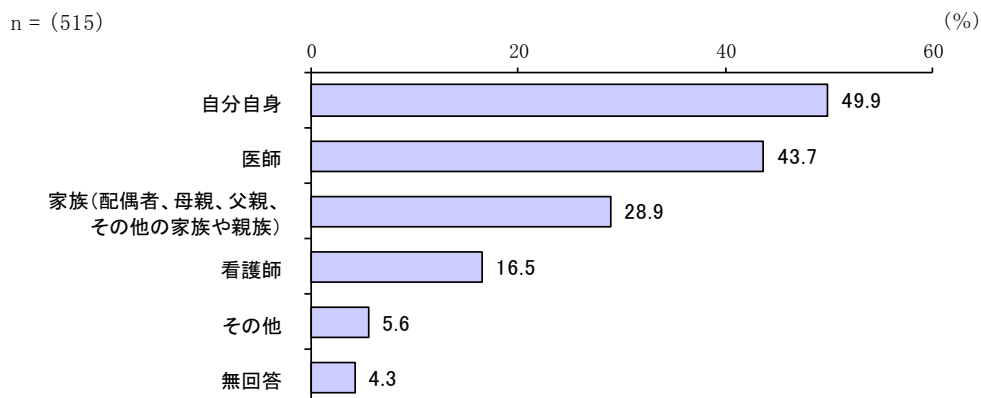
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	家族(配偶者、 母親、父親、 その他の家族や 親族)	医師	看護師	ホームヘル パー	その他	特に相談してい ない	無回答
全 体	515 100.0	216 41.9	355 68.9	86 16.7	17 3.3	23 4.5	45 8.7	27 5.2
身体障害	369 100.0	140 37.9	257 69.6	75 20.3	14 3.8	13 3.5	31 8.4	20 5.4
知的障害	73 100.0	45 61.6	48 65.8	10 13.7	— —	2 2.7	4 5.5	5 6.8
精神障害	115 100.0	54 47.0	82 71.3	9 7.8	3 2.6	9 7.8	12 10.4	6 5.2
難病	89 100.0	37 41.6	62 69.7	14 15.7	4 4.5	7 7.9	4 4.5	6 6.7
無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —	— —	— —	— —

問 15 【問 13 で「吸引」～「その他」に○をつけた方におたずねします。】  
現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。（○はいくつでも）

「自分自身」が 49.9%で最も多く、以下「医師」が 43.7%、「家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族）」が 28.9%となっています。



【障害種別】

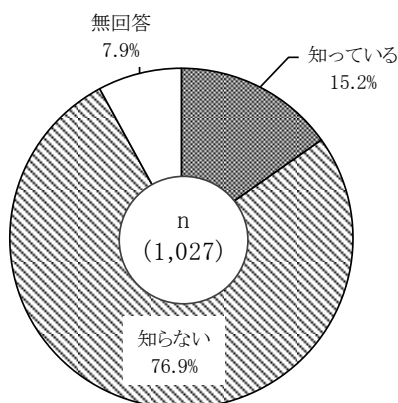
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分自身	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	その他	無回答
全 体	515 100.0	257 49.9	149 28.9	225 43.7	85 16.5	29 5.6	22 4.3
身体障害	369 100.0	191 51.8	93 25.2	162 43.9	69 18.7	20 5.4	15 4.1
知的障害	73 100.0	24 32.9	45 61.6	20 27.4	10 13.7	5 6.8	4 5.5
精神障害	115 100.0	58 50.4	42 36.5	60 52.2	12 10.4	8 7.0	4 3.5
難病	89 100.0	37 41.6	38 42.7	38 42.7	14 15.7	9 10.1	3 3.4
無回答	2 100.0	—	—	2 100.0	1 50.0	—	—

問 16 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害のある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

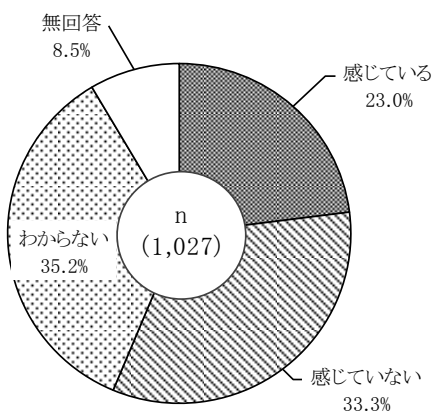
（１）あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。（○は１つ）

「知っている」が 15.2%、「知らない」が 76.9%となっています。



（２）あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。（○は１つ）

「わからない」が 35.2%で最も多く、以下「感じていない」が 33.3%、「感じている」が 23.0%となっています。



## 【障害種別】

### 1. 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	1,027 100.0	156 15.2	790 76.9	81 7.9
身体障害	683 100.0	117 17.1	512 75.0	54 7.9
知的障害	207 100.0	26 12.6	160 77.3	21 10.1
精神障害	212 100.0	28 13.2	167 78.8	17 8.0
難病	165 100.0	34 20.6	119 72.1	12 7.3
無回答	8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5

### 2. 「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
236 23.0	342 33.3	362 35.2	87 8.5
167 24.5	231 33.8	228 33.4	57 8.3
54 26.1	59 28.5	74 35.7	20 9.7
37 17.5	74 34.9	86 40.6	15 7.1
49 29.7	46 27.9	57 34.5	13 7.9
1 12.5	3 37.5	1 12.5	3 37.5

## 【身体障害者手帳の等級別】

### 1. 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	683 100.0	117 17.1	512 75.0	54 7.9
1級	249 100.0	45 18.1	190 76.3	14 5.6
2級	84 100.0	16 19.0	60 71.4	8 9.5
3級	101 100.0	23 22.8	72 71.3	6 5.9
4級	163 100.0	23 14.1	126 77.3	14 8.6
5級	33 100.0	4 12.1	24 72.7	5 15.2
6級	35 100.0	6 17.1	25 71.4	4 11.4
無回答	18 100.0	-	15 83.3	3 16.7

### 2. 「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
167 24.5	231 33.8	228 33.4	57 8.3
68 27.3	83 33.3	82 32.9	16 6.4
24 28.6	30 35.7	22 26.2	8 9.5
20 19.8	41 40.6	34 33.7	6 5.9
39 23.9	48 29.4	60 36.8	16 9.8
4 12.1	14 42.4	11 33.3	4 12.1
8 22.9	9 25.7	14 40.0	4 11.4
4 22.2	6 33.3	5 27.8	3 16.7

## 【療育手帳の等級別】

### 1. 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	207 100.0	26 12.6	160 77.3	21 10.1
○A	10 100.0	2 20.0	6 60.0	2 20.0
○Aの1	27 100.0	6 22.2	21 77.8	-
○Aの2	20 100.0	3 15.0	17 85.0	-
Aの1	18 100.0	1 5.6	16 88.9	1 5.6
Aの2	6 100.0	-	5 83.3	1 16.7
Bの1	58 100.0	9 15.5	41 70.7	8 13.8
Bの2	57 100.0	4 7.0	46 80.7	7 12.3
無回答	11 100.0	1 9.1	8 72.7	2 18.2

### 2. 「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
54 26.1	59 28.5	74 35.7	20 9.7
4 40.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0
10 37.0	9 33.3	8 29.6	-
11 55.0	5 25.0	4 20.0	-
6 33.3	2 11.1	10 55.6	-
3 50.0	-	2 33.3	1 16.7
10 17.2	21 36.2	19 32.8	8 13.8
7 12.3	19 33.3	24 42.1	7 12.3
3 27.3	2 18.2	4 36.4	2 18.2

## 【精神障害区分別】

### 1. 「医療型短期入所」の認知

	全 体	知っている	知らない	無回答
全 体	212 100.0	28 13.2	167 78.8	17 8.0
精神障害者保健福祉手帳のみ	49 100.0	6 12.2	38 77.6	5 10.2
自立支援医療のみ	48 100.0	8 16.7	33 68.8	7 14.6
精神障害者保健福祉手帳＋自立支援医療	115 100.0	14 12.2	96 83.5	5 4.3
無回答	— —	— —	— —	— —

### 2. 「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
37 17.5	74 34.9	86 40.6	15 7.1
7 14.3	17 34.7	21 42.9	4 8.2
7 14.6	22 45.8	13 27.1	6 12.5
23 20.0	35 30.4	52 45.2	5 4.3
— —	— —	— —	— —

## 【障害の重複別】

### 1. 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	1,027 100.0	156 15.2	790 76.9	81 7.9
身体のみ	512 100.0	80 15.6	395 77.1	37 7.2
知的のみ	150 100.0	15 10.0	121 80.7	14 9.3
精神のみ	179 100.0	21 11.7	146 81.6	12 6.7
身体＋知的	24 100.0	5 20.8	15 62.5	4 16.7
身体＋精神	22 100.0	3 13.6	16 72.7	3 13.6
知的＋精神	122 100.0	27 22.1	86 70.5	9 7.4
身体＋知的＋精神	3 100.0	2 66.7	— —	1 33.3
無回答	15 100.0	3 20.0	11 73.3	1 6.7

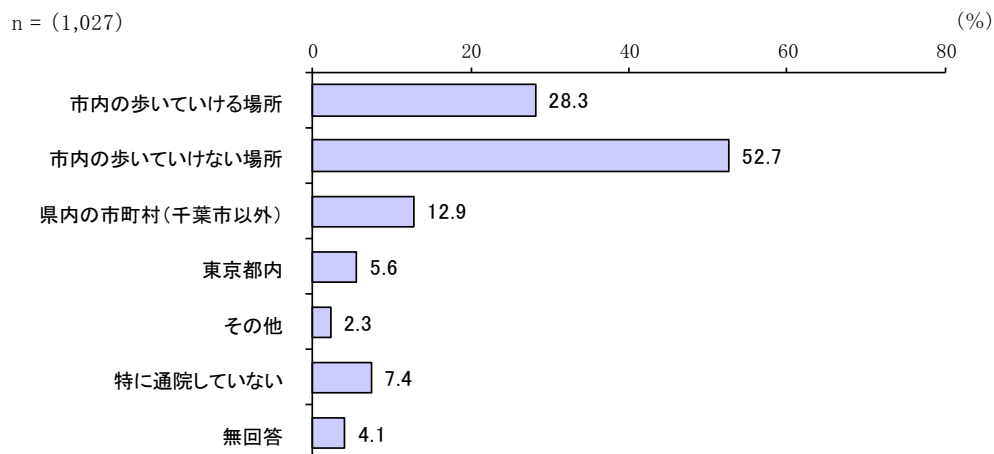
### 2. 「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
236 23.0	342 33.3	362 35.2	87 8.5
116 22.7	180 35.2	175 34.2	41 8.0
34 22.7	44 29.3	56 37.3	16 10.7
33 18.4	60 33.5	75 41.9	11 6.1
9 37.5	4 16.7	7 29.2	4 16.7
1 4.5	12 54.5	6 27.3	3 13.6
39 32.0	35 28.7	39 32.0	9 7.4
2 66.7	— —	1 33.3	— —
2 13.3	7 46.7	3 20.0	3 20.0

問 17 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。(〇はいくつでも)

「市内の歩いていけない場所」が52.7%で最も多く、以下「市内の歩いていける場所」が28.3%、「県内の市町村（千葉市以外）」が12.9%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段: %

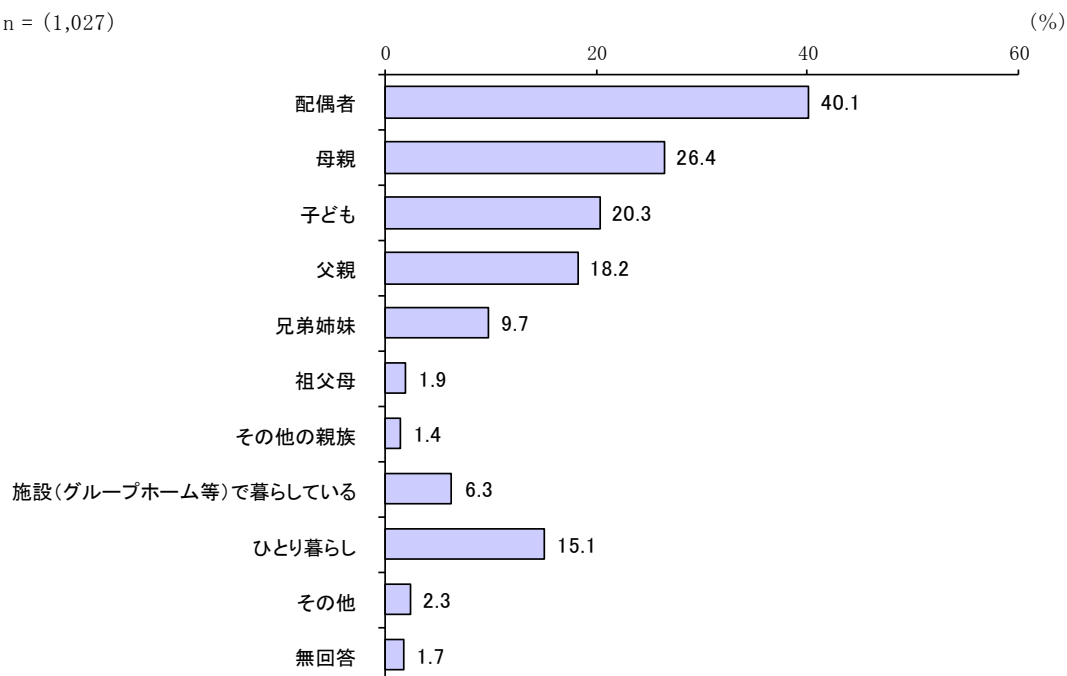
	調査数	市内の歩いて いける場所	市内の歩いて いけない場所	県内の市町 村(千葉市以 外)	東京都内	その他	特に通院して いない	無回答
全 体	1,027 100.0	291 28.3	541 52.7	132 12.9	57 5.6	24 2.3	76 7.4	42 4.1
身体障害	683 100.0	185 27.1	370 54.2	88 12.9	42 6.1	16 2.3	46 6.7	32 4.7
知的障害	207 100.0	67 32.4	107 51.7	25 12.1	3 1.4	1 0.5	24 11.6	7 3.4
精神障害	212 100.0	54 25.5	118 55.7	36 17.0	15 7.1	8 3.8	4 1.9	5 2.4
難病	165 100.0	49 29.7	82 49.7	21 12.7	5 3.0	5 3.0	17 10.3	9 5.5
無回答	8 100.0	4 50.0	3 37.5	-	-	-	1 12.5	1 12.5

#### (4) 家族や介助者について

##### 問 18 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」が 40.1%で最も多く、以下「母親」が 26.4%、「子ども」が 20.3%となっています。

n = (1,027)



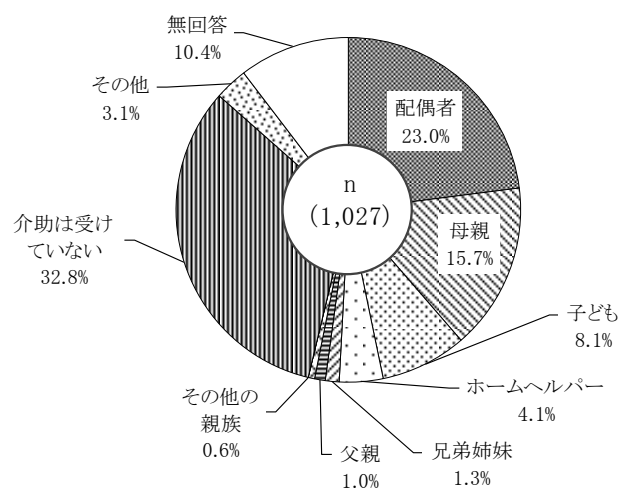
#### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	施設(グループホーム等)で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全 体	1,027	271	187	100	19	412	208	14	65	155	24	17
	100.0	26.4	18.2	9.7	1.9	40.1	20.3	1.4	6.3	15.1	2.3	1.7
身体障害	683	66	49	25	4	366	186	9	39	113	18	12
	100.0	9.7	7.2	3.7	0.6	53.6	27.2	1.3	5.7	16.5	2.6	1.8
知的障害	207	158	115	64	13	7	2	3	17	11	3	2
	100.0	76.3	55.6	30.9	6.3	3.4	1.0	1.4	8.2	5.3	1.4	1.0
精神障害	212	93	59	30	6	52	24	3	12	42	4	2
	100.0	43.9	27.8	14.2	2.8	24.5	11.3	1.4	5.7	19.8	1.9	0.9
難病	165	38	24	11	5	71	28	1	17	21	6	2
	100.0	23.0	14.5	6.7	3.0	43.0	17.0	0.6	10.3	12.7	3.6	1.2
無回答	8	2	2	1	-	3	1	1	-	-	-	2
	100.0	25.0	25.0	12.5	-	37.5	12.5	12.5	-	-	-	25.0

問 19 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

「介助は受けていない」が32.8%で最も多く、以下「配偶者」が23.0%、「母親」が15.7%となっています。



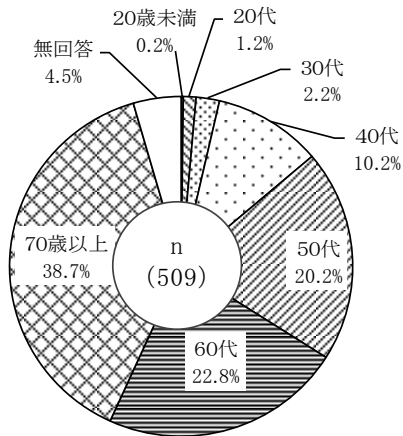
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全 体	1,027	161	10	13	-	236	83	6	42	-	337	32	107
	100.0	15.7	1.0	1.3	-	23.0	8.1	0.6	4.1	-	32.8	3.1	10.4
身体障害	683	33	4	6	-	210	78	5	33	-	220	21	73
	100.0	4.8	0.6	0.9	-	30.7	11.4	0.7	4.8	-	32.2	3.1	10.7
知的障害	207	110	5	7	-	2	-	1	4	-	52	5	21
	100.0	53.1	2.4	3.4	-	1.0	-	0.5	1.9	-	25.1	2.4	10.1
精神障害	212	52	3	4	-	32	3	2	9	-	80	7	20
	100.0	24.5	1.4	1.9	-	15.1	1.4	0.9	4.2	-	37.7	3.3	9.4
難病	165	25	2	1	-	51	13	1	8	-	32	8	24
	100.0	15.2	1.2	0.6	-	30.9	7.9	0.6	4.8	-	19.4	4.8	14.5
無回答	8	1	-	-	-	2	1	-	-	-	2	-	2
	100.0	12.5	-	-	-	25.0	12.5	-	-	-	25.0	-	25.0

問 20 【問 19 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は1つ）

「70歳以上」が38.7%で最も多く、以下「60代」が22.8%、「50代」が20.2%となっています。



【障害種別】

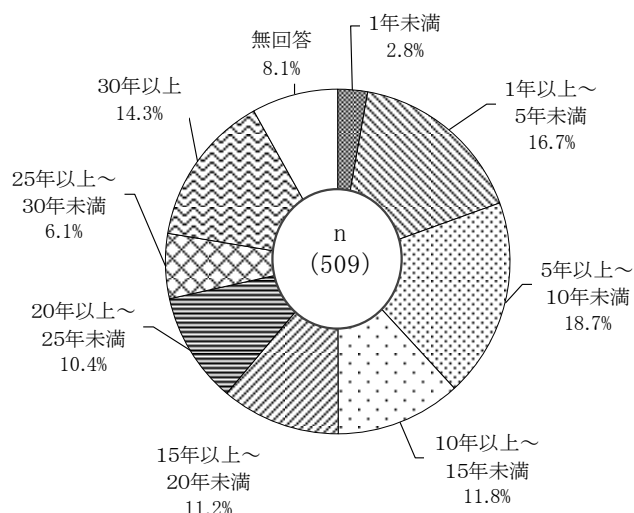
単位 上段：件、下段：%

	調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全 体	509 100.0	1 0.2	6 1.2	11 2.2	52 10.2	103 20.2	116 22.8	197 38.7	23 4.5
身体障害	336 100.0	1 0.3	1 0.3	9 2.7	36 10.7	49 14.6	79 23.5	146 43.5	15 4.5
知的障害	125 100.0	— —	1 0.8	— —	11 8.8	49 39.2	26 20.8	32 25.6	6 4.8
精神障害	96 100.0	— —	5 5.2	3 3.1	12 12.5	23 24.0	18 18.8	31 32.3	4 4.2
難病	93 100.0	— —	1 1.1	1 1.1	8 8.6	16 17.2	17 18.3	43 46.2	7 7.5
無回答	4 100.0	— —	— —	— —	— —	1 25.0	1 25.0	2 50.0	— —

問 21 【問 19 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の介助継続年数をお答えください。(○は1つ)

「5年以上～10年未満」が18.7%で最も多く、以下「1年以上～5年未満」が16.7%、「30年以上」が14.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では、「5年以上～10年未満」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上～30年未満	30年以上	無回答
全 体	509	14	85	95	60	57	53	31	73	41
	100.0	2.8	16.7	18.7	11.8	11.2	10.4	6.1	14.3	8.1
身体障害	336	13	65	82	46	32	21	13	33	31
	100.0	3.9	19.3	24.4	13.7	9.5	6.3	3.9	9.8	9.2
知的障害	125	—	5	2	2	20	28	18	44	6
	100.0	—	4.0	1.6	1.6	16.0	22.4	14.4	35.2	4.8
精神障害	96	1	17	19	15	9	12	6	11	6
	100.0	1.0	17.7	19.8	15.6	9.4	12.5	6.3	11.5	6.3
難病	93	3	17	24	10	10	2	4	16	7
	100.0	3.2	18.3	25.8	10.8	10.8	2.2	4.3	17.2	7.5
無回答	4	—	1	—	—	—	—	—	—	1
	100.0	—	25.0	—	—	50.0	—	—	—	25.0

【平成28年度調査】

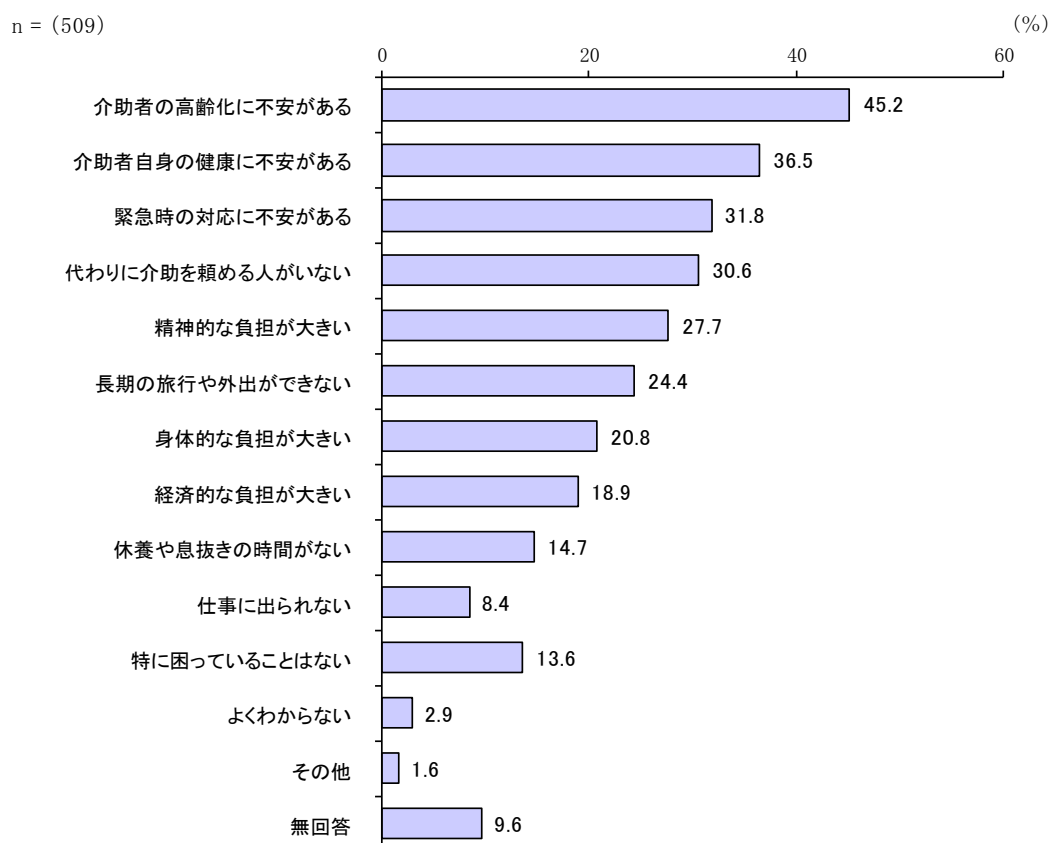
単位 上段:件、下段:%

	調査数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上～30年未満	30年以上	無回答
全 体	600	30	127	109	67	57	69	28	90	23
	100.0	5.0	21.2	18.2	11.2	9.5	11.5	4.7	15.0	3.8
身体障害	430	24	117	93	58	33	30	18	38	19
	100.0	5.6	27.2	21.6	13.5	7.7	7.0	4.2	8.8	4.4
知的障害	149	—	2	6	2	22	38	14	59	6
	100.0	—	1.3	4.0	1.3	14.8	25.5	9.4	39.6	4.0
精神障害	91	5	13	18	10	10	12	3	18	2
	100.0	5.5	14.3	19.8	11.0	11.0	13.2	3.3	19.8	2.2
難病	135	2	31	27	19	11	9	8	23	5
	100.0	1.5	23.0	20.0	14.1	8.1	6.7	5.9	17.0	3.7
無回答	4	1	—	—	1	—	1	—	1	—
	100.0	25.0	—	—	25.0	—	25.0	—	25.0	—

**問 22 【問 19 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】**  
**主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）**

「介助者の高齢化に不安がある」が 45.2%で最も多く、以下「介助者自身の健康に不安がある」が 36.5%、「緊急時の対応に不安がある」が 31.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「介助者自身の健康に不安がある」、「介助者の高齢化に不安がある」の割合が減少しています。また、知的障害のある方では、「緊急時の対応に不安がある」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
全 体	509 100.0	186 36.5	230 45.2	156 30.6	162 31.8	106 20.8	141 27.7	96 18.9
身体障害	336 100.0	115 34.2	137 40.8	89 26.5	84 25.0	68 20.2	74 22.0	55 16.4
知的障害	125 100.0	55 44.0	72 57.6	47 37.6	67 53.6	30 24.0	40 32.0	23 18.4
精神障害	96 100.0	37 38.5	42 43.8	42 43.8	36 37.5	17 17.7	40 41.7	27 28.1
難病	93 100.0	38 40.9	40 43.0	25 26.9	25 26.9	25 26.9	24 25.8	21 22.6
無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0

	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	43 8.4	124 24.4	75 14.7	69 13.6	15 2.9	8 1.6	49 9.6
身体障害	23 6.8	86 25.6	44 13.1	50 14.9	11 3.3	5 1.5	37 11.0
知的障害	16 12.8	34 27.2	22 17.6	13 10.4	1 0.8	4 3.2	9 7.2
精神障害	13 13.5	21 21.9	16 16.7	10 10.4	3 3.1	- -	9 9.4
難病	5 5.4	19 20.4	12 12.9	11 11.8	3 3.2	2 2.2	12 12.9
無回答	- -	1 25.0	- -	1 25.0	- -	- -	1 25.0

【平成 28 年度調査】

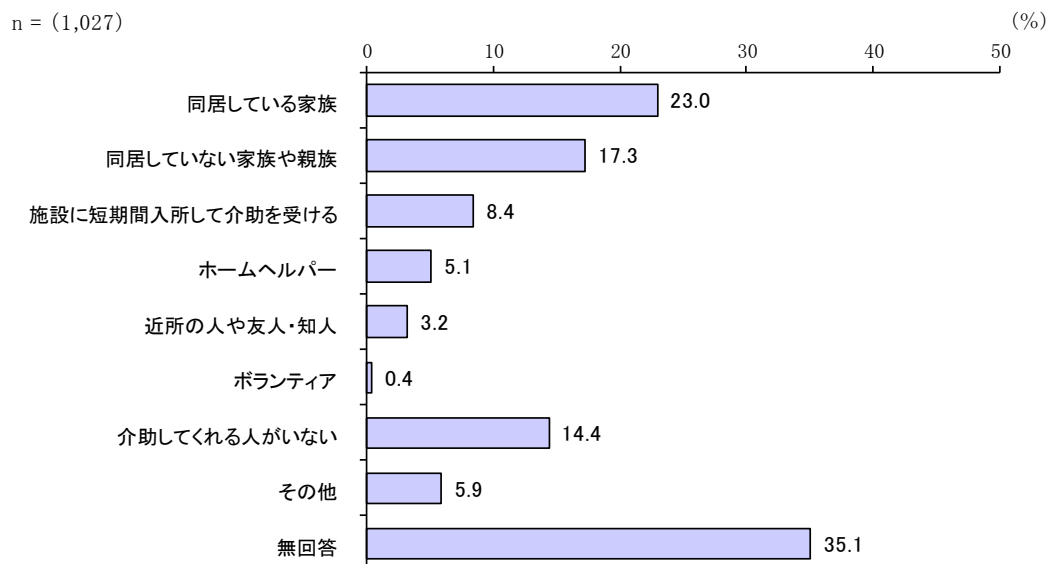
単位 上段:件、下段:%

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
全 体	600 100.0	256 42.7	302 50.3	195 32.5	207 34.5	107 17.8	165 27.5	109 18.2
身体障害	430 100.0	180 41.9	203 47.2	127 29.5	136 31.6	79 18.4	94 21.9	70 16.3
知的障害	149 100.0	63 42.3	94 63.1	63 42.3	69 46.3	28 18.8	47 31.5	25 16.8
精神障害	91 100.0	42 46.2	44 48.4	34 37.4	30 33.0	12 13.2	45 49.5	30 33.0
難病	135 100.0	69 51.1	63 46.7	43 31.9	46 34.1	29 21.5	43 31.9	29 21.5
無回答	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0

	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	50 8.3	136 22.7	94 15.7	78 13.0	17 2.8	11 1.8	23 3.8
身体障害	24 5.6	90 20.9	63 14.7	67 15.6	15 3.5	7 1.6	17 4.0
知的障害	20 13.4	44 29.5	29 19.5	9 6.0	2 1.3	5 3.4	5 3.4
精神障害	14 15.4	17 18.7	16 17.6	7 7.7	3 3.3	- -	2 2.2
難病	12 8.9	26 19.3	29 21.5	17 12.6	4 3.0	3 2.2	7 5.2
無回答	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0

問 23 主な介助者が、病気のときや外出をしなければならないときなどは、代わりにどなたが介助していますか。(〇は3つまで)

「同居している家族」が 23.0%で最も多く、以下「同居していない家族や親族」が 17.3%、「介助してくれる人がいない」が 14.4%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

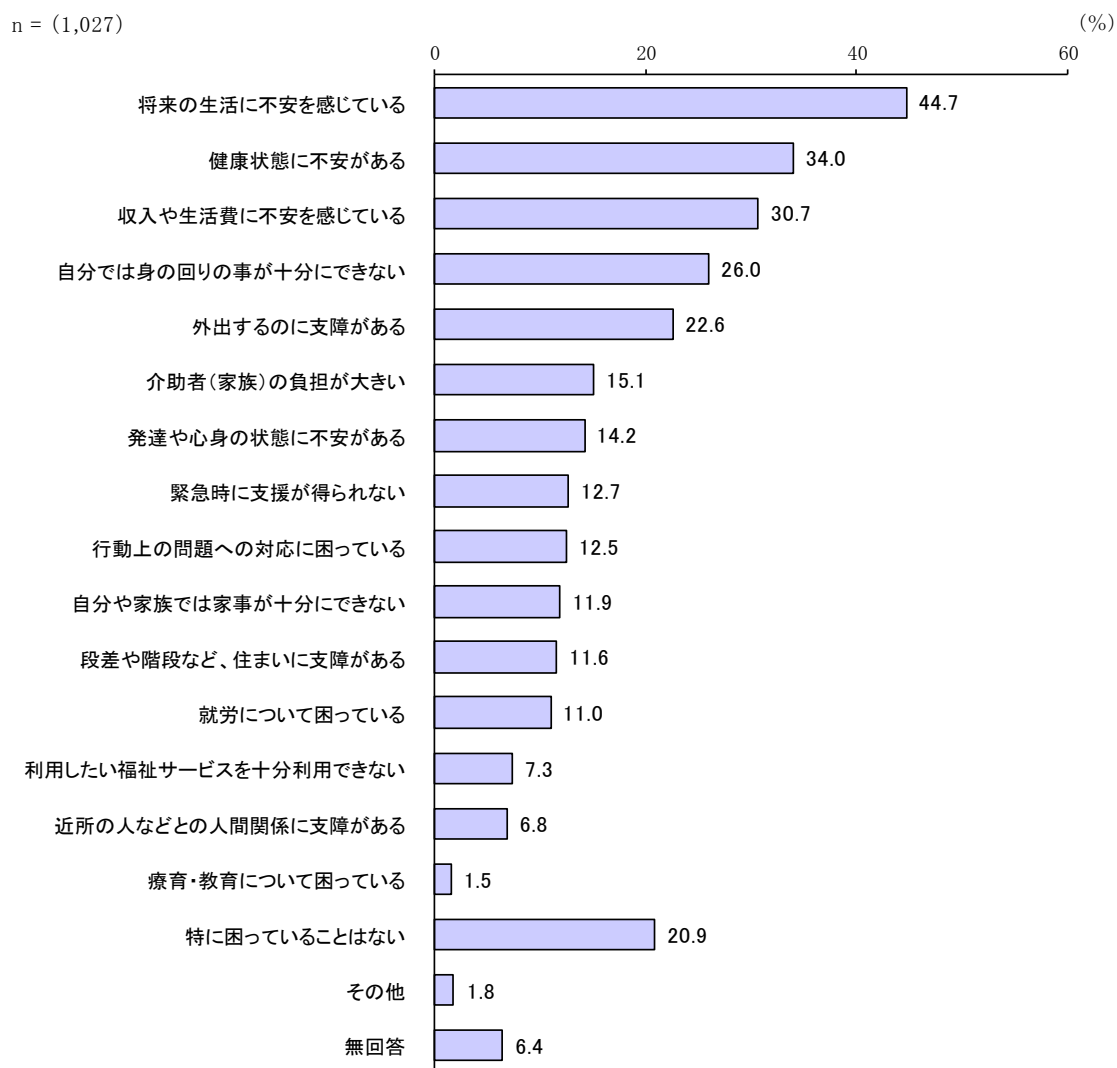
	調査数	同居している家族	同居していない家族や親族	近所の人や友人・知人	ボランティア	ホームヘルパー	施設に短期間入所して介助を受ける	介助してくれる人がいない	その他	無回答
全 体	1,027	236	178	33	4	52	86	148	61	360
	100.0	23.0	17.3	3.2	0.4	5.1	8.4	14.4	5.9	35.1
身体障害	683	130	133	30	4	38	59	89	41	250
	100.0	19.0	19.5	4.4	0.6	5.6	8.6	13.0	6.0	36.6
知的障害	207	92	29	2	-	12	32	23	15	50
	100.0	44.4	14.0	1.0	-	5.8	15.5	11.1	7.2	24.2
精神障害	212	51	27	2	-	7	8	47	10	74
	100.0	24.1	12.7	0.9	-	3.3	3.8	22.2	4.7	34.9
難病	165	38	28	7	-	11	21	25	9	53
	100.0	23.0	17.0	4.2	-	6.7	12.7	15.2	5.5	32.1
無回答	8	3	1	1	-	-	1	-	-	3
	100.0	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	-	-	37.5

## (5) 相談や情報入手について

問 24 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。  
（〇はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」が 44.7%で最も多く、以下「健康状態に不安がある」が 34.0%、「収入や生活費に不安を感じている」が 30.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「介助者（家族）の負担が大きい」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「発達や心身の状態に不安がある」、「行動上の問題への対応に困っている」、「療育・教育について困っている」、「就労について困っている」は新たに追加された選択肢です。

# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全 体	1,027 100.0	146 14.2	128 12.5	267 26.0	122 11.9	349 34.0	155 15.1	119 11.6	232 22.6	75 7.3
身体障害	683 100.0	49 7.2	54 7.9	166 24.3	77 11.3	235 34.4	92 13.5	102 14.9	170 24.9	37 5.4
知的障害	207 100.0	51 24.6	45 21.7	76 36.7	25 12.1	51 24.6	45 21.7	14 6.8	45 21.7	32 15.5
精神障害	212 100.0	67 31.6	48 22.6	62 29.2	35 16.5	90 42.5	40 18.9	14 6.6	42 19.8	18 8.5
難病	165 100.0	29 17.6	22 13.3	61 37.0	21 12.7	59 35.8	35 21.2	20 12.1	43 26.1	15 9.1
無回答	8 100.0	2 25.0	-	1 12.5	-	4 50.0	-	-	1 12.5	-

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	315 30.7	130 12.7	70 6.8	459 44.7	15 1.5	113 11.0	215 20.9	18 1.8	66 6.4
身体障害	170 24.9	71 10.4	28 4.1	262 38.4	4 0.6	31 4.5	166 24.3	7 1.0	46 6.7
知的障害	63 30.4	45 21.7	13 6.3	105 50.7	9 4.3	27 13.0	35 16.9	3 1.4	17 8.2
精神障害	116 54.7	32 15.1	38 17.9	136 64.2	3 1.4	68 32.1	17 8.0	7 3.3	9 4.2
難病	47 28.5	25 15.2	14 8.5	78 47.3	1 0.6	14 8.5	20 12.1	2 1.2	8 4.8
無回答	-	-	-	3 37.5	-	1 12.5	-	-	2 25.0

# 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全 体	1,027 100.0	146 14.2	128 12.5	267 26.0	122 11.9	349 34.0	155 15.1	119 11.6	232 22.6	75 7.3
男性	542 100.0	75 13.8	79 14.6	129 23.8	42 7.7	172 31.7	78 14.4	52 9.6	117 21.6	39 7.2
女性	480 100.0	71 14.8	49 10.2	137 28.5	80 16.7	176 36.7	77 16.0	67 14.0	114 23.8	35 7.3
無回答	5 100.0	-	-	1 20.0	-	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	315 30.7	130 12.7	70 6.8	459 44.7	15 1.5	113 11.0	215 20.9	18 1.8	66 6.4
男性	164 30.3	64 11.8	39 7.2	245 45.2	8 1.5	61 11.3	115 21.2	5 0.9	33 6.1
女性	150 31.3	64 13.3	31 6.5	213 44.4	7 1.5	52 10.8	100 20.8	12 2.5	30 6.3
無回答	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	3 60.0

# 【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全 体	1,027 100.0	146 14.2	128 12.5	267 26.0	122 11.9	349 34.0	155 15.1	119 11.6	232 22.6	75 7.3
18～39歳	196 100.0	65 33.2	43 21.9	64 32.7	22 11.2	53 27.0	41 20.9	11 5.6	35 17.9	32 16.3
40～64歳	308 100.0	43 14.0	36 11.7	75 24.4	38 12.3	102 33.1	44 14.3	25 8.1	58 18.8	22 7.1
65～74歳	199 100.0	15 7.5	16 8.0	44 22.1	21 10.6	75 37.7	30 15.1	28 14.1	48 24.1	10 5.0
75歳以上	307 100.0	22 7.2	32 10.4	83 27.0	40 13.0	113 36.8	40 13.0	55 17.9	90 29.3	10 3.3
無回答	17 100.0	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	6 35.3	— —	— —	1 5.9	1 5.9

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	315 30.7	130 12.7	70 6.8	459 44.7	15 1.5	113 11.0	215 20.9	18 1.8	66 6.4
18～39歳	82 41.8	41 20.9	15 7.7	117 59.7	8 4.1	45 23.0	34 17.3	3 1.5	3 1.5
40～64歳	118 38.3	47 15.3	34 11.0	171 55.5	5 1.6	57 18.5	57 18.5	8 2.6	16 5.2
65～74歳	52 26.1	12 6.0	8 4.0	62 31.2	1 0.5	7 3.5	53 26.6	3 1.5	15 7.5
75歳以上	61 19.9	28 9.1	12 3.9	104 33.9	1 0.3	2 0.7	69 22.5	2 0.7	28 9.1
無回答	2 11.8	2 11.8	1 5.9	5 29.4	— —	2 11.8	2 11.8	2 11.8	4 23.5

# 【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

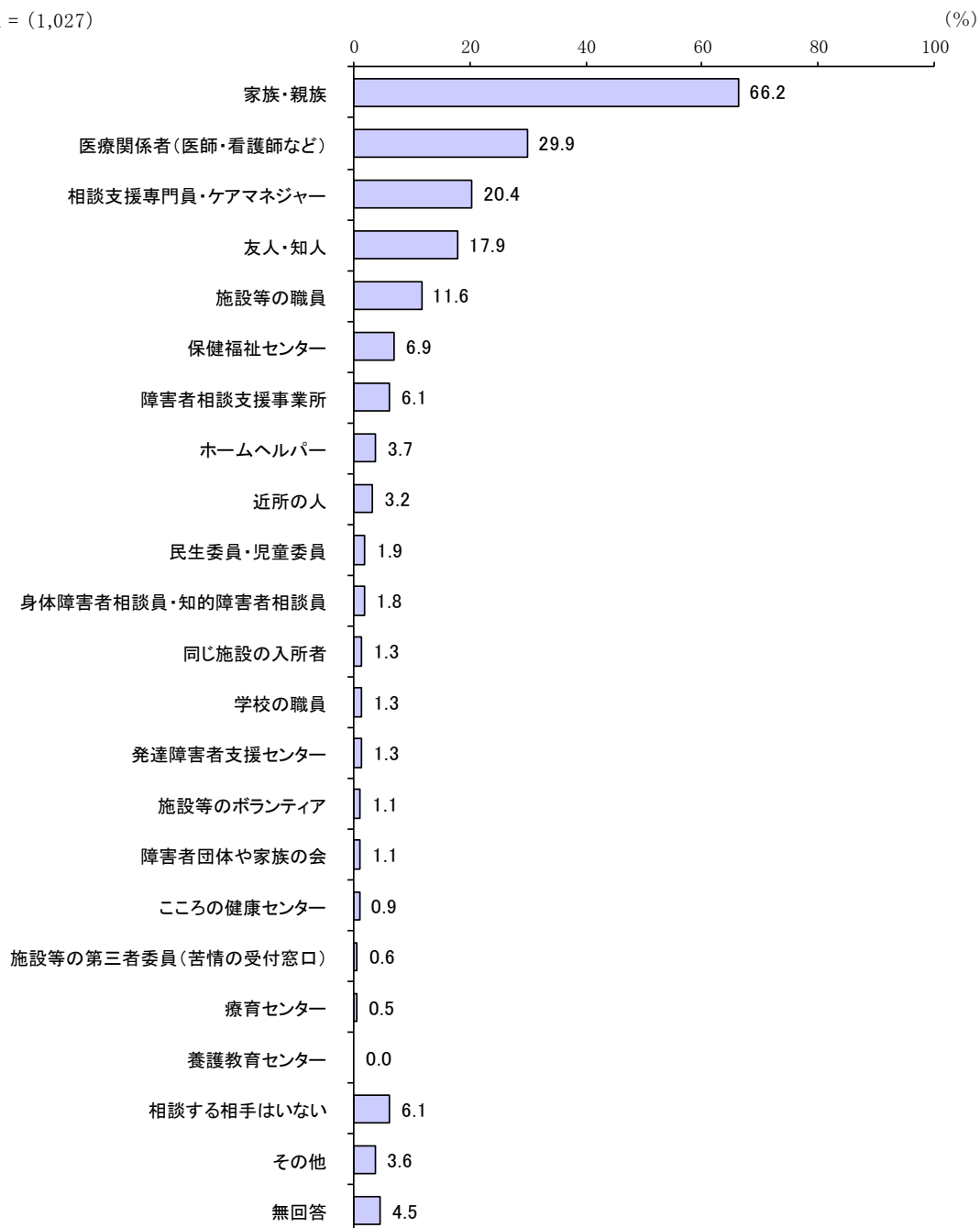
	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全 体	1,135 100.0			306 27.0	110 9.7	392 34.5	157 13.8	146 12.9	262 23.1	70 6.2
身体障害	772 100.0			204 26.4	71 9.2	271 35.1	110 14.2	127 16.5	198 25.6	44 5.7
知的障害	226 100.0			95 42.0	20 8.8	49 21.7	40 17.7	11 4.9	43 19.0	25 11.1
精神障害	231 100.0			54 23.4	33 14.3	102 44.2	24 10.4	24 10.4	55 23.8	14 6.1
難病	224 100.0			71 31.7	26 11.6	90 40.2	40 17.9	42 18.8	67 29.9	17 7.6
無回答	7 100.0			4 57.1	3 42.9	5 71.4	1 14.3	2 28.6	2 28.6	— —

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	347 30.6	140 12.3	63 5.6	529 46.6	234 20.6			28 2.5	44 3.9
身体障害	190 24.6	87 11.3	24 3.1	296 38.3	180 23.3			17 2.2	35 4.5
知的障害	67 29.6	37 16.4	16 7.1	133 58.8	35 15.5			6 2.7	9 4.0
精神障害	126 54.5	29 12.6	30 13.0	154 66.7	33 14.3			6 2.6	4 1.7
難病	71 31.7	30 13.4	12 5.4	105 46.9	33 14.7			4 1.8	11 4.9
無回答	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3			— —	— —

問 25 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。  
（〇はいくつでも）

「家族・親族」が 66.2% で最も多く、以下「医療関係者（医師・看護師など）」が 29.9%、「相談支援専門員・ケアマネジャー」が 20.4% となっています。

n = (1,027)



# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	同じ施設の入所者	相談支援専門員・ケアマネジャー	障害者相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	施設等のボランティア	施設等の第三者委員(苦情の受付窓口)	医療関係者(医師・看護師など)
全 体	1,027 100.0	680 66.2	184 17.9	33 3.2	13 1.3	210 20.4	63 6.1	38 3.7	119 11.6	11 1.1	6 0.6	307 29.9
身体障害	683 100.0	467 68.4	122 17.9	24 3.5	7 1.0	156 22.8	16 2.3	29 4.2	55 8.1	9 1.3	3 0.4	186 27.2
知的障害	207 100.0	133 64.3	36 17.4	4 1.9	7 3.4	40 19.3	34 16.4	5 2.4	62 30.0	2 1.0	3 1.4	51 24.6
精神障害	212 100.0	120 56.6	43 20.3	3 1.4	4 1.9	37 17.5	23 10.8	9 4.2	26 12.3	-	1 0.5	106 50.0
難病	165 100.0	112 67.9	26 15.8	3 1.8	-	48 29.1	9 5.5	9 5.5	23 13.9	2 1.2	1 0.6	47 28.5
無回答	8 100.0	7 87.5	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	1 12.5	-	-	-	-	2 25.0

	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全 体	11 1.1	13 1.3	-	19 1.9	18 1.8	71 6.9	5 0.5	13 1.3	9 0.9	63 6.1	37 3.6	46 4.5
身体障害	8 1.2	3 0.4	-	18 2.6	11 1.6	36 5.3	1 0.1	-	3 0.4	39 5.7	13 1.9	33 4.8
知的障害	6 2.9	11 5.3	-	1 0.5	8 3.9	15 7.2	4 1.9	10 4.8	2 1.0	7 3.4	14 6.8	12 5.8
精神障害	1 0.5	3 1.4	-	-	3 1.4	27 12.7	-	3 1.4	6 2.8	19 9.0	16 7.5	5 2.4
難病	2 1.2	3 1.8	-	5 3.0	6 3.6	12 7.3	2 1.2	2 1.2	2 1.2	8 4.8	3 1.8	8 4.8
無回答	-	1 12.5	-	-	-	2 25.0	-	-	-	-	-	1 12.5

# 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

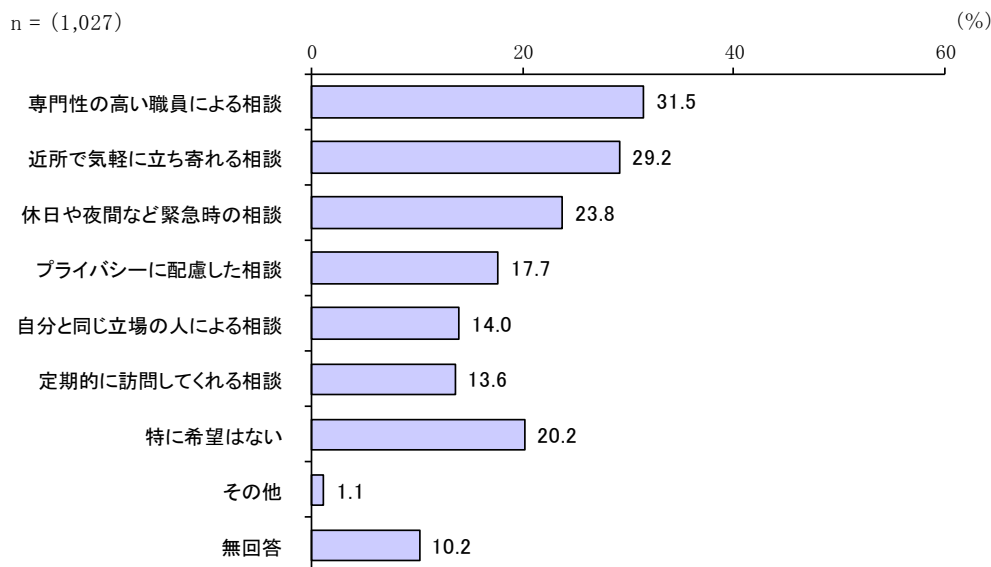
	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	同じ施設の入所者	相談支援専門員・ケアマネジャー	障害者相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	施設等のボランティア	施設等の第三者委員(苦情の受付窓口)	医療関係者(医師・看護師など)
全 体	1,027 100.0	680 66.2	184 17.9	33 3.2	13 1.3	210 20.4	63 6.1	38 3.7	119 11.6	11 1.1	6 0.6	307 29.9
男性	542 100.0	361 66.6	77 14.2	15 2.8	8 1.5	100 18.5	39 7.2	16 3.0	61 11.3	3 0.6	3 0.6	161 29.7
女性	480 100.0	316 65.8	106 22.1	18 3.8	5 1.0	109 22.7	23 4.8	22 4.6	58 12.1	7 1.5	2 0.4	146 30.4
無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-

	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全 体	11 1.1	13 1.3	-	19 1.9	18 1.8	71 6.9	5 0.5	13 1.3	9 0.9	63 6.1	37 3.6	46 4.5
男性	2 0.4	6 1.1	-	13 2.4	13 2.4	36 6.6	4 0.7	10 1.8	5 0.9	35 6.5	21 3.9	26 4.8
女性	9 1.9	7 1.5	-	6 1.3	5 1.0	34 7.1	-	3 0.6	4 0.8	28 5.8	16 3.3	18 3.8
無回答	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	2 40.0

問 26 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」が 31.5%で最も多く、以下「近所で気軽に立ち寄れる相談」が 29.2%、「休日や夜間など緊急時の相談」が 23.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「プライバシーに配慮した相談」の割合が減少しています。また、難病のある方では、「専門性の高い職員による相談」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全 体	1,027	300	244	324	144	140	182	207	11	105
	100.0	29.2	23.8	31.5	14.0	13.6	17.7	20.2	1.1	10.2
身体障害	683	178	169	190	83	88	97	151	4	80
	100.0	26.1	24.7	27.8	12.2	12.9	14.2	22.1	0.6	11.7
知的障害	207	75	49	83	33	22	38	28	3	16
	100.0	36.2	23.7	40.1	15.9	10.6	18.4	13.5	1.4	7.7
精神障害	212	69	50	79	38	41	56	32	5	19
	100.0	32.5	23.6	37.3	17.9	19.3	26.4	15.1	2.4	9.0
難病	165	45	49	63	22	29	25	28	2	14
	100.0	27.3	29.7	38.2	13.3	17.6	15.2	17.0	1.2	8.5
無回答	8	2	1	1	-	1	-	1	-	3
	100.0	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5	-	37.5

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全 体	1,027	300	244	324	144	140	182	207	11	105
	100.0	29.2	23.8	31.5	14.0	13.6	17.7	20.2	1.1	10.2
18～39歳	196	79	47	89	40	20	47	29	2	6
	100.0	40.3	24.0	45.4	20.4	10.2	24.0	14.8	1.0	3.1
40～64歳	308	90	75	102	54	40	76	56	5	25
	100.0	29.2	24.4	33.1	17.5	13.0	24.7	18.2	1.6	8.1
65～74歳	199	43	44	46	20	28	30	53	3	22
	100.0	21.6	22.1	23.1	10.1	14.1	15.1	26.6	1.5	11.1
75歳以上	307	86	77	83	29	49	27	67	1	47
	100.0	28.0	25.1	27.0	9.4	16.0	8.8	21.8	0.3	15.3
無回答	17	2	1	4	1	3	2	2	-	5
	100.0	11.8	5.9	23.5	5.9	17.6	11.8	11.8	-	29.4

【平成 28 年度調査】

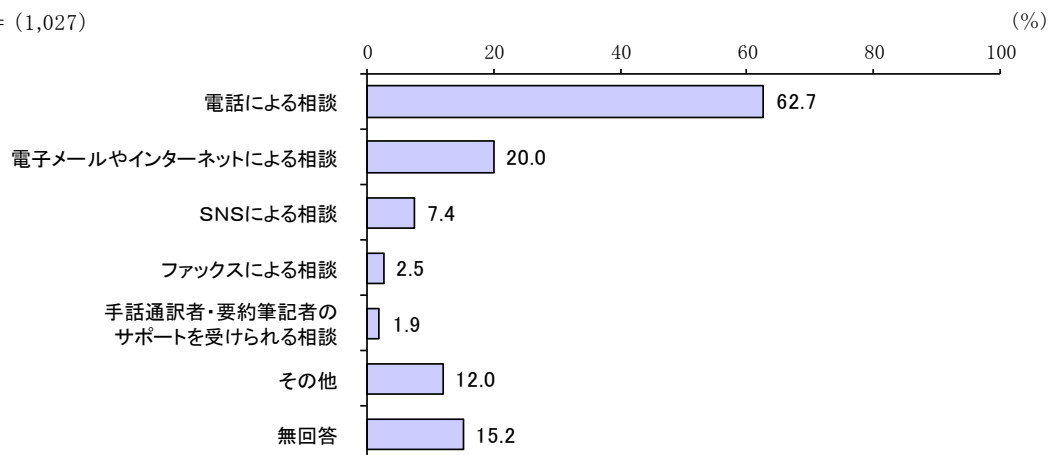
単位 上段：件、下段：%

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全 体	1,135 100.0	343 30.2	275 24.2	383 33.7	182 16.0	163 14.4	282 24.8	220 19.4	18 1.6	81 7.1
身体障害	772 100.0	212 27.5	168 21.8	221 28.6	108 14.0	111 14.4	148 19.2	164 21.2	13 1.7	69 8.9
知的障害	226 100.0	73 32.3	68 30.1	100 44.2	39 17.3	35 15.5	60 26.5	35 15.5	5 2.2	10 4.4
精神障害	231 100.0	89 38.5	62 26.8	98 42.4	56 24.2	35 15.2	97 42.0	33 14.3	3 1.3	8 3.5
難病	224 100.0	60 26.8	61 27.2	66 29.5	41 18.3	21 9.4	55 24.6	36 16.1	4 1.8	22 9.8
無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	-	-	1 14.3	4 57.1	-	-

問 27 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。  
（〇はいくつでも）

「電話による相談」が 62.7%で最も多く、以下「電子メールやインターネットによる相談」が 20.0%となっています。

n = (1,027)



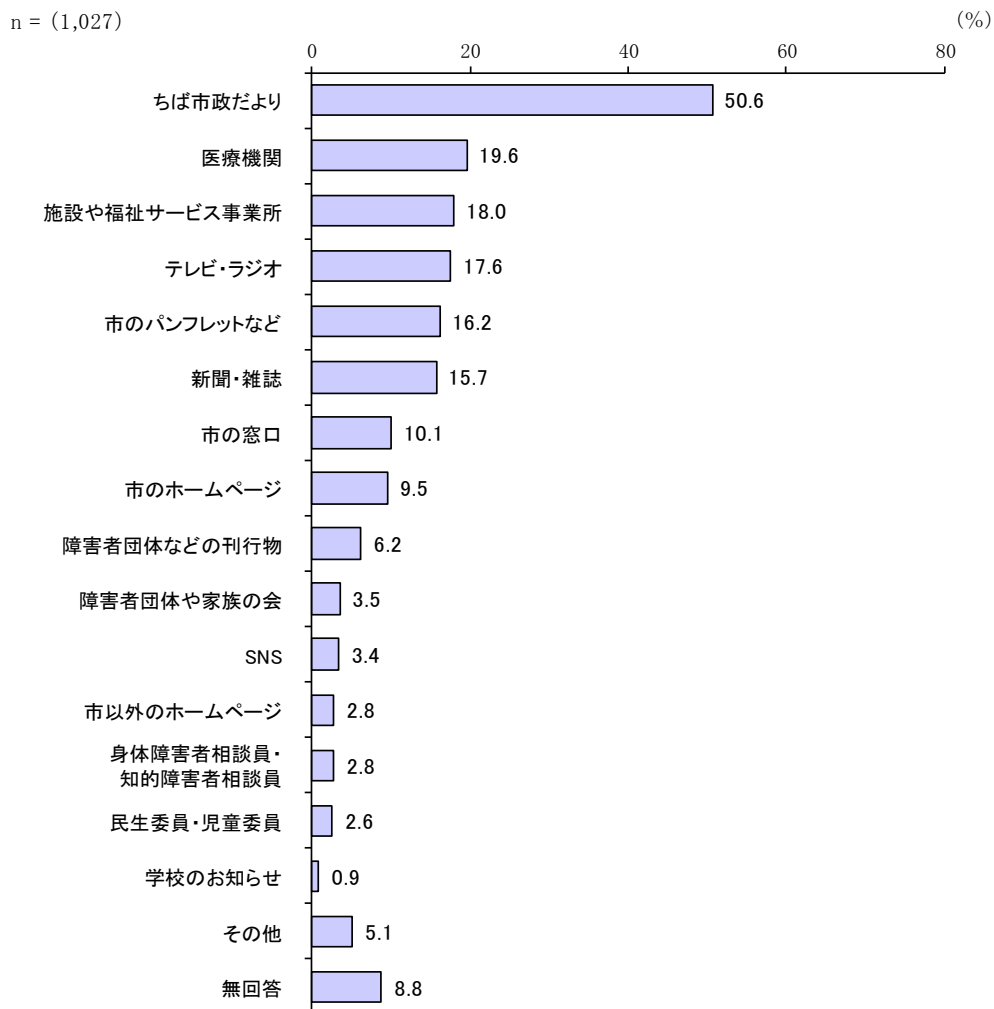
【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	電話による相談	電子メールやインターネットによる相談	ファックスによる相談	手話通訳者・要約筆記者のサポートを受けられる相談	SNSによる相談	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	644 62.7	205 20.0	26 2.5	19 1.9	76 7.4	123 12.0	156 15.2
身体障害	683 100.0	434 63.5	127 18.6	20 2.9	18 2.6	37 5.4	58 8.5	116 17.0
知的障害	207 100.0	132 63.8	45 21.7	5 2.4	1 0.5	15 7.2	35 16.9	29 14.0
精神障害	212 100.0	126 59.4	54 25.5	1 0.5	1 0.5	30 14.2	44 20.8	24 11.3
難病	165 100.0	102 61.8	36 21.8	4 2.4	1 0.6	13 7.9	20 12.1	28 17.0
無回答	8 100.0	7 87.5	-	-	-	-	-	1 12.5

問 28 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

「ちば市政だより」が 50.6%で最も多く、以下「医療機関」が 19.6%、「施設や福祉サービス事業所」が 18.0%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

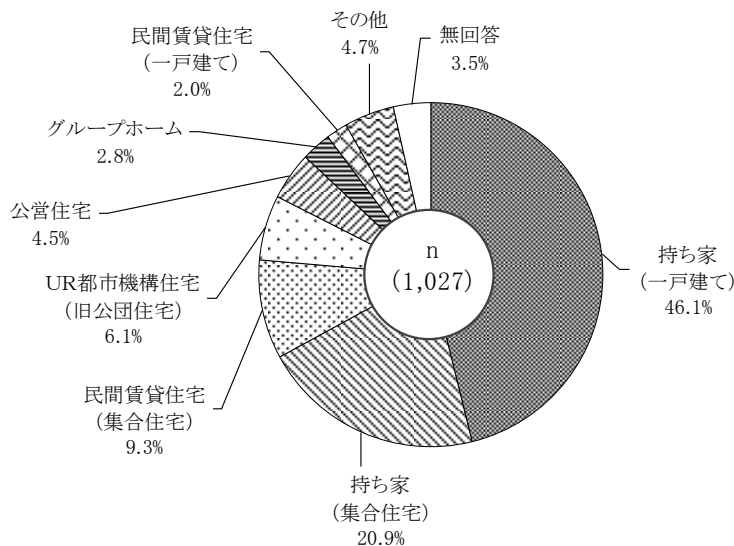
	調査数	ちば市政だ より	市のパンフ レットなど	障害者団体 などの刊行 物	学校のお知 らせ	市のホーム ページ	市以外の ホームペー ジ	SNS	新聞・雑誌
全 体	1,027 100.0	520 50.6	166 16.2	64 6.2	9 0.9	98 9.5	29 2.8	35 3.4	161 15.7
身体障害	683 100.0	380 55.6	113 16.5	35 5.1	2 0.3	66 9.7	12 1.8	14 2.0	122 17.9
知的障害	207 100.0	91 44.0	30 14.5	31 15.0	8 3.9	12 5.8	7 3.4	7 3.4	20 9.7
精神障害	212 100.0	82 38.7	31 14.6	11 5.2	1 0.5	26 12.3	13 6.1	15 7.1	21 9.9
難病	165 100.0	88 53.3	31 18.8	9 5.5	3 1.8	19 11.5	3 1.8	3 1.8	33 20.0
無回答	8 100.0	2 25.0	-	-	-	-	-	-	2 25.0

	テレビ・ラジ オ	施設や福祉 サービス事 業所	医療機関	障害者団体 や家族の会	民生委員・ 児童委員	身体障害者 相談員・知 的障害者相 談員	市の窓口	その他	無回答
全 体	181 17.6	185 18.0	201 19.6	36 3.5	27 2.6	29 2.8	104 10.1	52 5.1	90 8.8
身体障害	126 18.4	93 13.6	128 18.7	19 2.8	21 3.1	17 2.5	61 8.9	22 3.2	61 8.9
知的障害	32 15.5	70 33.8	23 11.1	24 11.6	5 2.4	8 3.9	24 11.6	18 8.7	16 7.7
精神障害	31 14.6	44 20.8	70 33.0	6 2.8	2 0.9	6 2.8	29 13.7	18 8.5	19 9.0
難病	30 18.2	37 22.4	31 18.8	7 4.2	7 4.2	12 7.3	19 11.5	6 3.6	10 6.1
無回答	1 12.5	1 12.5	-	-	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	2 25.0

## (6) 暮らしについて

### 問 29 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

「持ち家（一戸建て）」が46.1%で最も多く、以下「持ち家（集合住宅）」が20.9%となっています。



### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

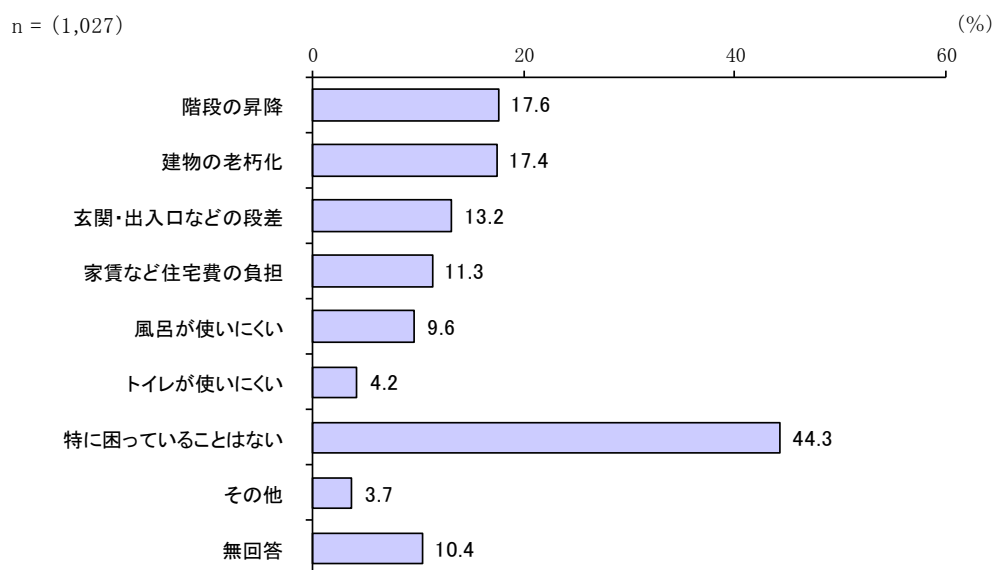
	調査数	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	公営住宅	UR都市機構住宅（旧公団住宅）	グループホーム	その他	無回答
全 体	1,027	473	215	21	96	46	63	29	48	36
	100.0	46.1	20.9	2.0	9.3	4.5	6.1	2.8	4.7	3.5
身体障害	683	322	145	12	52	32	51	12	31	26
	100.0	47.1	21.2	1.8	7.6	4.7	7.5	1.8	4.5	3.8
知的障害	207	96	45	5	15	8	8	13	9	8
	100.0	46.4	21.7	2.4	7.2	3.9	3.9	6.3	4.3	3.9
精神障害	212	81	40	7	40	11	7	9	11	6
	100.0	38.2	18.9	3.3	18.9	5.2	3.3	4.2	5.2	2.8
難病	165	72	30	1	18	8	13	5	12	6
	100.0	43.6	18.2	0.6	10.9	4.8	7.9	3.0	7.3	3.6
無回答	8	5	—	—	1	—	1	—	—	1
	100.0	62.5	—	—	12.5	—	12.5	—	—	12.5

問 30 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。  
（〇はいくつでも）

「特に困っていることはない」が44.3%で最も多く、以下「階段の昇降」が17.6%、「建物の老朽化」が17.4%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、身体障害で「階段の昇降」の割合が、精神障害で「建物の老朽化」の割合が高くなっています。また、知的障害で「特に困っていることはない」の割合が高くなっています。

住まいの種類別でみると、他に比べ、民間賃貸住宅（一戸建て）で「階段の昇降」、「玄関・出入口などの段差」、「家賃など住宅費の負担」の割合が高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	1,027	181	136	99	43	179	116	455	38	107
	100.0	17.6	13.2	9.6	4.2	17.4	11.3	44.3	3.7	10.4
身体障害	683	151	115	83	35	113	72	283	21	68
	100.0	22.1	16.8	12.2	5.1	16.5	10.5	41.4	3.1	10.0
知的障害	207	20	9	8	4	31	16	119	7	21
	100.0	9.7	4.3	3.9	1.9	15.0	7.7	57.5	3.4	10.1
精神障害	212	30	20	16	8	46	38	84	13	24
	100.0	14.2	9.4	7.5	3.8	21.7	17.9	39.6	6.1	11.3
難病	165	29	31	20	15	19	16	69	4	23
	100.0	17.6	18.8	12.1	9.1	11.5	9.7	41.8	2.4	13.9
無回答	8	1	1	-	-	1	-	2	-	4
	100.0	12.5	12.5	-	-	12.5	-	25.0	-	50.0

# 【住まいの種類別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	181 17.6	136 13.2	99 9.6	43 4.2	179 17.4	116 11.3	455 44.3	38 3.7	107 10.4
持ち家(一戸建て)	473 100.0	99 20.9	85 18.0	41 8.7	16 3.4	107 22.6	14 3.0	216 45.7	13 2.7	38 8.0
持ち家(集合住宅)	215 100.0	30 14.0	19 8.8	18 8.4	11 5.1	24 11.2	18 8.4	112 52.1	10 4.7	12 5.6
民間賃貸住宅(一戸建て)	21 100.0	6 28.6	6 28.6	4 19.0	1 4.8	6 28.6	9 42.9	8 38.1	2 9.5	— —
民間賃貸住宅(集合住宅)	96 100.0	14 14.6	12 12.5	12 12.5	5 5.2	12 12.5	35 36.5	33 34.4	2 2.1	8 8.3
公営住宅	46 100.0	6 13.0	3 6.5	8 17.4	4 8.7	13 28.3	8 17.4	15 32.6	5 10.9	6 13.0
UR都市機構住宅(旧公団住宅)	63 100.0	19 30.2	7 11.1	9 14.3	5 7.9	11 17.5	25 39.7	19 30.2	2 3.2	6 9.5
グループホーム	29 100.0	— —	1 3.4	2 6.9	— —	— —	3 10.3	17 58.6	1 3.4	6 20.7
その他	48 100.0	7 14.6	2 4.2	5 10.4	1 2.1	5 10.4	4 8.3	28 58.3	1 2.1	6 12.5
無回答	36 100.0	— —	1 2.8	— —	— —	1 2.8	— —	7 19.4	2 5.6	25 69.4

# 【身体障害の種類別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	683 100.0	151 22.1	115 16.8	83 12.2	35 5.1	113 16.5	72 10.5	283 41.4	21 3.1	68 10.0
肢体不自由	331 100.0	90 27.2	72 21.8	58 17.5	26 7.9	52 15.7	35 10.6	119 36.0	12 3.6	34 10.3
音声・言語・そしゃく機能障害	36 100.0	9 25.0	11 30.6	6 16.7	4 11.1	6 16.7	4 11.1	14 38.9	— —	3 8.3
視覚障害	39 100.0	13 33.3	13 33.3	6 15.4	1 2.6	8 20.5	3 7.7	11 28.2	— —	5 12.8
聴覚・平衡機能障害	54 100.0	7 13.0	6 11.1	2 3.7	— —	11 20.4	6 11.1	29 53.7	1 1.9	5 9.3
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	232 100.0	43 18.5	30 12.9	20 8.6	7 3.0	37 15.9	28 12.1	112 48.3	4 1.7	17 7.3
無回答	43 100.0	8 18.6	3 7.0	3 7.0	3 7.0	6 14.0	5 11.6	17 39.5	4 9.3	5 11.6

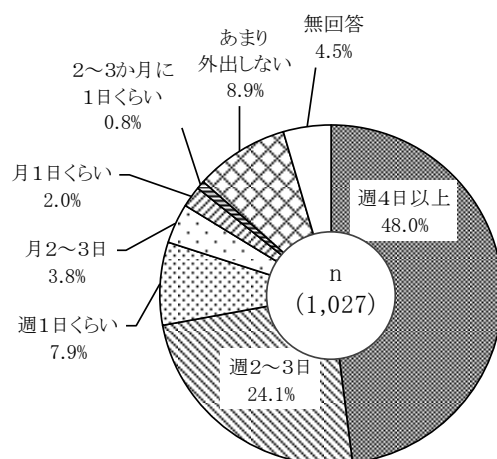
# 問 31 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

「週4日以上」が48.0%で最も多く、以下「週2～3日」が24.1%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害で「週4日以上」の割合が高く、7割となっています。また、難病で「あまり外出しない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「週4日以上」の割合が、年齢が高くなるにつれ「週2～3日」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、75歳以上で「あまり外出しない」の割合が高くなっています。

男女別でみると、男性で「週4日以上」の割合が高くなっています。



※令和元年度調査の「2～3か月に1日くらい」は新たに追加された選択肢です。

## 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	1,027	493	248	81	39	21	8	91	46
	100.0	48.0	24.1	7.9	3.8	2.0	0.8	8.9	4.5
身体障害	683	288	190	60	28	14	6	68	29
	100.0	42.2	27.8	8.8	4.1	2.0	0.9	10.0	4.2
知的障害	207	145	21	9	4	6	1	11	10
	100.0	70.0	10.1	4.3	1.9	2.9	0.5	5.3	4.8
精神障害	212	108	55	15	8	1	2	13	10
	100.0	50.9	25.9	7.1	3.8	0.5	0.9	6.1	4.7
難病	165	71	34	8	8	3	1	27	13
	100.0	43.0	20.6	4.8	4.8	1.8	0.6	16.4	7.9
無回答	8	3	1	—	1	—	—	2	1
	100.0	37.5	12.5	—	12.5	—	—	25.0	12.5

## 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	1,027	493	248	81	39	21	8	91	46
	100.0	48.0	24.1	7.9	3.8	2.0	0.8	8.9	4.5
男性	542	280	113	36	27	10	5	46	25
	100.0	51.7	20.8	6.6	5.0	1.8	0.9	8.5	4.6
女性	480	211	135	45	12	10	3	45	19
	100.0	44.0	28.1	9.4	2.5	2.1	0.6	9.4	4.0
無回答	5	2	—	—	—	1	—	—	2
	100.0	40.0	—	—	—	20.0	—	—	40.0

# 【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	1,027 100.0	493 48.0	248 24.1	81 7.9	39 3.8	21 2.0	8 0.8	91 8.9	46 4.5
18～39歳	196 100.0	146 74.5	24 12.2	9 4.6	3 1.5	2 1.0	1 0.5	7 3.6	4 2.0
40～64歳	308 100.0	181 58.8	61 19.8	16 5.2	9 2.9	2 0.6	1 0.3	21 6.8	17 5.5
65～74歳	199 100.0	74 37.2	64 32.2	24 12.1	11 5.5	2 1.0	5 2.5	14 7.0	5 2.5
75歳以上	307 100.0	83 27.0	97 31.6	31 10.1	16 5.2	13 4.2	1 0.3	48 15.6	18 5.9
無回答	17 100.0	9 52.9	2 11.8	1 5.9	— —	2 11.8	— —	1 5.9	2 11.8

# 【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	1,135 100.0	558 49.2	289 25.5	108 9.5	38 3.3	25 2.2		88 7.8	29 2.6
身体障害	772 100.0	325 42.1	225 29.1	83 10.8	30 3.9	18 2.3		68 8.8	23 3.0
知的障害	226 100.0	169 74.8	18 8.0	20 8.8	3 1.3	4 1.8		7 3.1	5 2.2
精神障害	231 100.0	115 49.8	60 26.0	21 9.1	8 3.5	4 1.7		20 8.7	3 1.3
難病	224 100.0	100 44.6	62 27.7	18 8.0	10 4.5	9 4.0		18 8.0	7 3.1
無回答	7 100.0	3 42.9	2 28.6	— —	— —	1 14.3		1 14.3	— —

## 問 32 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

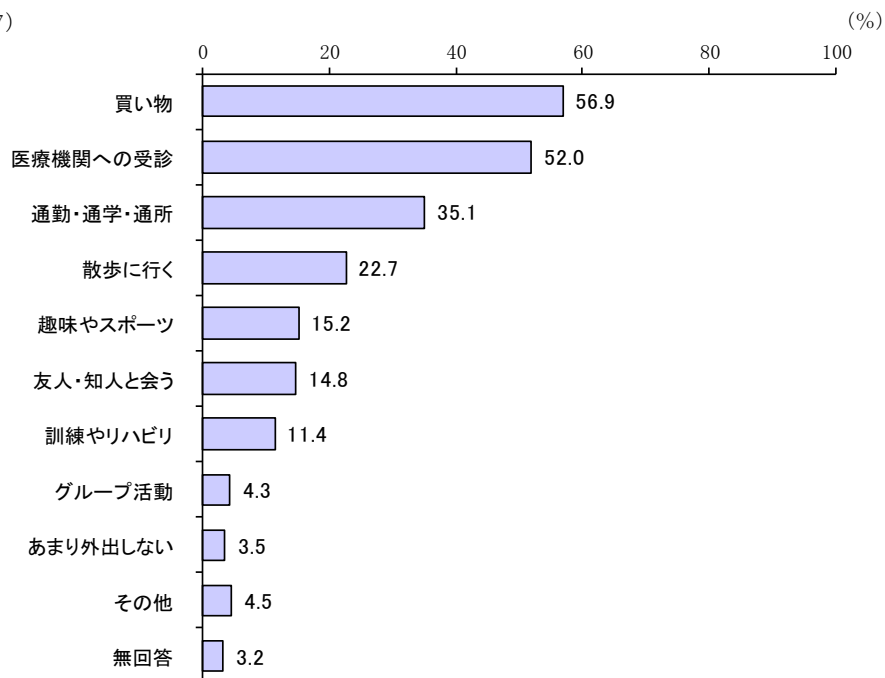
「買い物」が 56.9%で最も多く、以下「医療機関への受診」が 52.0%、「通勤・通学・通所」が 35.1%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、知的障害で「通勤・通学・通所」の割合が高く、約7割となっています。また、精神障害で「医療機関への受診」、「買い物」の割合が高くなっています。

男女別で見ると、男性で「通勤・通学・通所」の割合が高く、女性で「買い物」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「医療機関への受診」、「散歩に行く」の割合が減少しています。また、難病のある方では、「通勤・通学・通所」の割合が増加しています。

n = (1,027)



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段: %

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	1,027	360	117	534	584	152	156	44	233	36	46	33
	100.0	35.1	11.4	52.0	56.9	14.8	15.2	4.3	22.7	3.5	4.5	3.2
身体障害	683	167	103	383	379	104	97	32	150	25	32	24
	100.0	24.5	15.1	56.1	55.5	15.2	14.2	4.7	22.0	3.7	4.7	3.5
知的障害	207	152	11	73	106	24	43	13	42	4	7	6
	100.0	73.4	5.3	35.3	51.2	11.6	20.8	6.3	20.3	1.9	3.4	2.9
精神障害	212	91	17	127	142	35	29	4	56	6	10	3
	100.0	42.9	8.0	59.9	67.0	16.5	13.7	1.9	26.4	2.8	4.7	1.4
難病	165	58	22	83	74	13	22	3	36	14	8	11
	100.0	35.2	13.3	50.3	44.8	7.9	13.3	1.8	21.8	8.5	4.8	6.7
無回答	8	2	-	3	4	1	-	-	-	-	1	1
	100.0	25.0	-	37.5	50.0	12.5	-	-	-	-	12.5	12.5

【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通 学・通所	訓練やリ ハビリ	医療機関 への受診	買い物	友人・知 人と会う	趣味やス ポーツ	グループ 活動	散歩に行 く	あまり外 出しない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	360 35.1	117 11.4	534 52.0	584 56.9	152 14.8	156 15.2	44 4.3	233 22.7	36 3.5	46 4.5	33 3.2
男性	542 100.0	218 40.2	52 9.6	268 49.4	276 50.9	56 10.3	91 16.8	20 3.7	146 26.9	20 3.7	20 3.7	19 3.5
女性	480 100.0	140 29.2	65 13.5	263 54.8	306 63.8	96 20.0	65 13.5	24 5.0	86 17.9	16 3.3	26 5.4	12 2.5
無回答	5 100.0	2 40.0	— —	3 60.0	2 40.0	— —	— —	— —	1 20.0	— —	— —	2 40.0

【平成 28 年度調査】

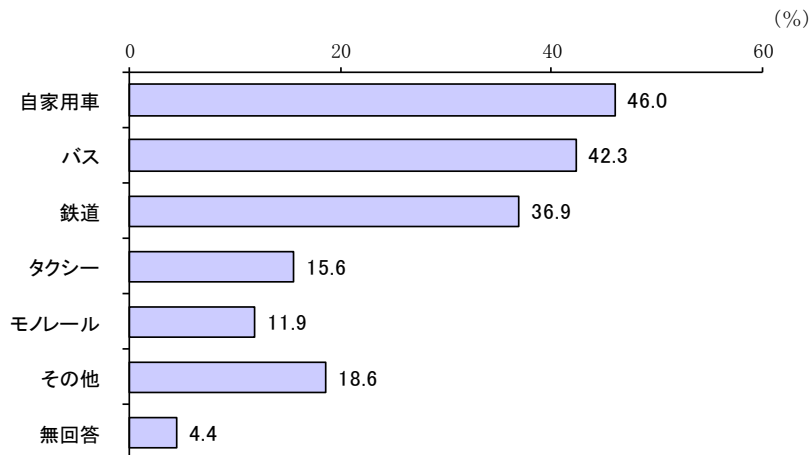
単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通 学・通所	訓練やリ ハビリ	医療機関 への受診	買い物	友人・知 人と会う	趣味やス ポーツ	グループ 活動	散歩に行 く	あまり外 出しない	その他	無回答
全 体	1,135 100.0	387 34.1	141 12.4	650 57.3	656 57.8	167 14.7	186 16.4	69 6.1	315 27.8	19 1.7	63 5.6	21 1.9
身体障害	772 100.0	168 21.8	129 16.7	470 60.9	444 57.5	120 15.5	128 16.6	47 6.1	220 28.5	13 1.7	42 5.4	18 2.3
知的障害	226 100.0	175 77.4	9 4.0	73 32.3	122 54.0	23 10.2	41 18.1	18 8.0	64 28.3	2 0.9	14 6.2	3 1.3
精神障害	231 100.0	92 39.8	14 6.1	159 68.8	143 61.9	35 15.2	28 12.1	8 3.5	57 24.7	5 2.2	13 5.6	2 0.9
難病	224 100.0	61 27.2	42 18.8	153 68.3	130 58.0	27 12.1	31 13.8	15 6.7	50 22.3	2 0.9	7 3.1	3 1.3
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	4 57.1	3 42.9	— —	— —	— —	1 14.3	1 14.3	1 14.3	— —

問 33 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。  
(○はいくつでも)

「自家用車」が46.0%で最も多く、以下「バス」が42.3%、「鉄道」が36.9%となっています。  
障害種別でみると、他に比べ、知的障害で「鉄道」、「バス」の割合が高く、5割半ばとなっています。また、身体障害で「タクシー」、「自家用車」の割合が高くなっています。  
男女別でみると、男性で、「鉄道」の割合が高くなっています。

n = (1,027)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	1,027	379	434	122	160	472	191	45
	100.0	36.9	42.3	11.9	15.6	46.0	18.6	4.4
身体障害	683	199	251	63	138	352	109	33
	100.0	29.1	36.7	9.2	20.2	51.5	16.0	4.8
知的障害	207	112	115	41	10	93	42	4
	100.0	54.1	55.6	19.8	4.8	44.9	20.3	1.9
精神障害	212	96	103	30	11	70	57	6
	100.0	45.3	48.6	14.2	5.2	33.0	26.9	2.8
難病	165	49	66	18	32	64	34	14
	100.0	29.7	40.0	10.9	19.4	38.8	20.6	8.5
無回答	8	1	3	-	1	1	1	2
	100.0	12.5	37.5	-	12.5	12.5	12.5	25.0

【性 別】

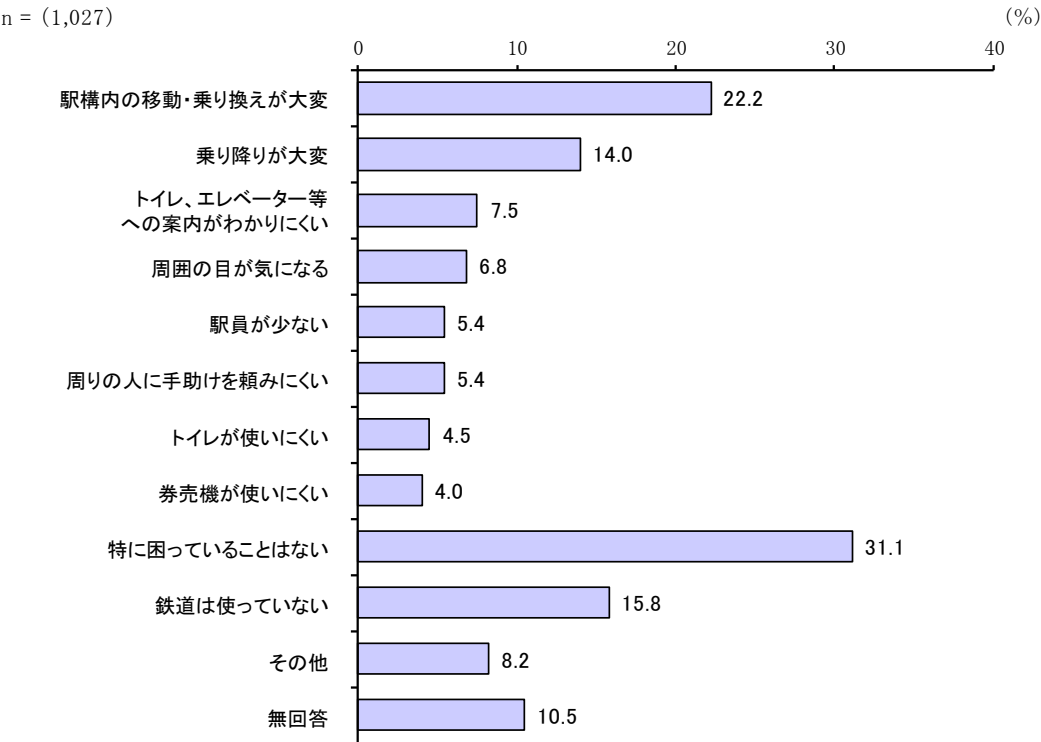
単位 上段:件、下段:%

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	1,027	379	434	122	160	472	191	45
	100.0	36.9	42.3	11.9	15.6	46.0	18.6	4.4
男性	542	217	222	61	76	254	92	24
	100.0	40.0	41.0	11.3	14.0	46.9	17.0	4.4
女性	480	160	210	60	83	217	99	19
	100.0	33.3	43.8	12.5	17.3	45.2	20.6	4.0
無回答	5	2	2	1	1	1	-	2
	100.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0

問 34 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

「特に困っていることはない」が 31.1%で最も多く、以下「駅構内の移動・乗り換えが大変」が 22.2%、「鉄道は使っていない」が 15.8%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、難病で「鉄道は使っていない」の割合が高く、2 割半ばとなっています。また、身体障害で「乗り降りが大変」、「駅構内の移動・乗り換えが大変」の割合が、精神障害で「周囲の目が気になる」の割合が高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降り が大変	駅構内の 移動・乗 り換えが 大変	トイレが 使いにく い	券売機が 使いにく い	トイレ、エ レベーター等へ の案内が わかりにく い	駅員が少 ない	周りの人 に手助け を頼みに くい	周囲の目 が気にな る	特に困っ ているこ とはない	鉄道は 使って いない	その他	無回答
全 体	1,027	144	228	46	41	77	55	55	70	319	162	84	108
	100.0	14.0	22.2	4.5	4.0	7.5	5.4	5.4	6.8	31.1	15.8	8.2	10.5
身体障害	683	117	175	34	27	63	35	32	18	197	113	51	81
	100.0	17.1	25.6	5.0	4.0	9.2	5.1	4.7	2.6	28.8	16.5	7.5	11.9
知的障害	207	26	28	15	10	10	12	15	28	75	25	19	16
	100.0	12.6	13.5	7.2	4.8	4.8	5.8	7.2	13.5	36.2	12.1	9.2	7.7
精神障害	212	18	40	5	6	7	11	15	37	67	32	23	18
	100.0	8.5	18.9	2.4	2.8	3.3	5.2	7.1	17.5	31.6	15.1	10.8	8.5
難病	165	23	30	9	5	9	6	10	8	43	42	10	22
	100.0	13.9	18.2	5.5	3.0	5.5	3.6	6.1	4.8	26.1	25.5	6.1	13.3
無回答	8	-	1	-	1	1	-	2	-	3	1	-	2
	100.0	-	12.5	-	12.5	12.5	-	25.0	-	37.5	12.5	-	25.0

【性 別】

単位 上段:件、下段:%

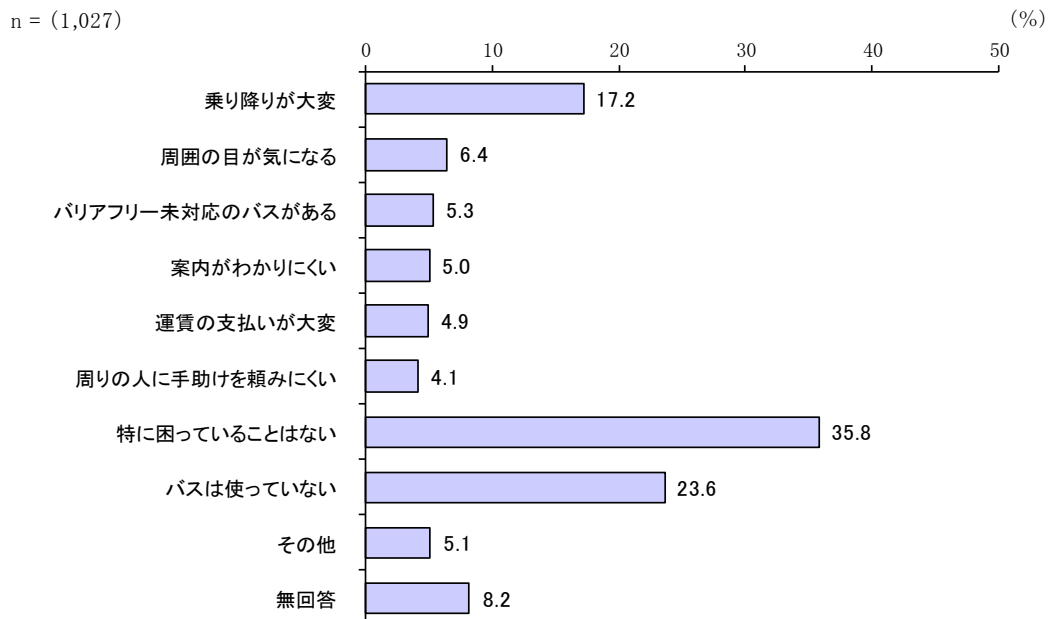
	調査数	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない	周りの人に助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	鉄道は使っていない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	144 14.0	228 22.2	46 4.5	41 4.0	77 7.5	55 5.4	55 5.4	70 6.8	319 31.1	162 15.8	84 8.2	108 10.5
男性	542 100.0	68 12.5	115 21.2	22 4.1	19 3.5	26 4.8	23 4.2	22 4.1	36 6.6	180 33.2	80 14.8	41 7.6	60 11.1
女性	480 100.0	75 15.6	112 23.3	24 5.0	22 4.6	51 10.6	32 6.7	33 6.9	34 7.1	138 28.8	82 17.1	43 9.0	45 9.4
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 20.0	— —	— —	3 60.0

問 35 あなたは、バスを利用する際に困っていることはありますか。  
(○はいいくつでも)

「特に困っていることはない」が 35.8%で最も多く、以下「バスは使っていない」が 23.6%、「乗り降りが大変」が 17.2%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、身体障害で「乗り降りが大変」の割合が、精神障害で「周囲の目が気になる」の割合が高く、約2割となっています。

男女別でみると、男性で「乗り降りが大変」の割合が高くなっています。



## 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降り が大変	バリアフ リー未対 応のバス がある	案内がわ かりにくい	運賃の支 払いが大 変	周りの人 に手助け を頼みにく い	周囲の目 が気になる	特に困っ ていること はない	バスは 使って いない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	177 17.2	54 5.3	51 5.0	50 4.9	42 4.1	66 6.4	368 35.8	242 23.6	52 5.1	84 8.2
身体障害	683 100.0	158 23.1	48 7.0	25 3.7	23 3.4	24 3.5	17 2.5	234 34.3	172 25.2	23 3.4	61 8.9
知的障害	207 100.0	17 8.2	6 2.9	15 7.2	19 9.2	14 6.8	27 13.0	80 38.6	44 21.3	18 8.7	11 5.3
精神障害	212 100.0	17 8.0	8 3.8	13 6.1	16 7.5	15 7.1	36 17.0	76 35.8	45 21.2	18 8.5	15 7.1
難病	165 100.0	28 17.0	9 5.5	5 3.0	3 1.8	7 4.2	5 3.0	52 31.5	50 30.3	8 4.8	17 10.3
無回答	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	— —	— —	— —	1 12.5	2 25.0	— —	3 37.5

## 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

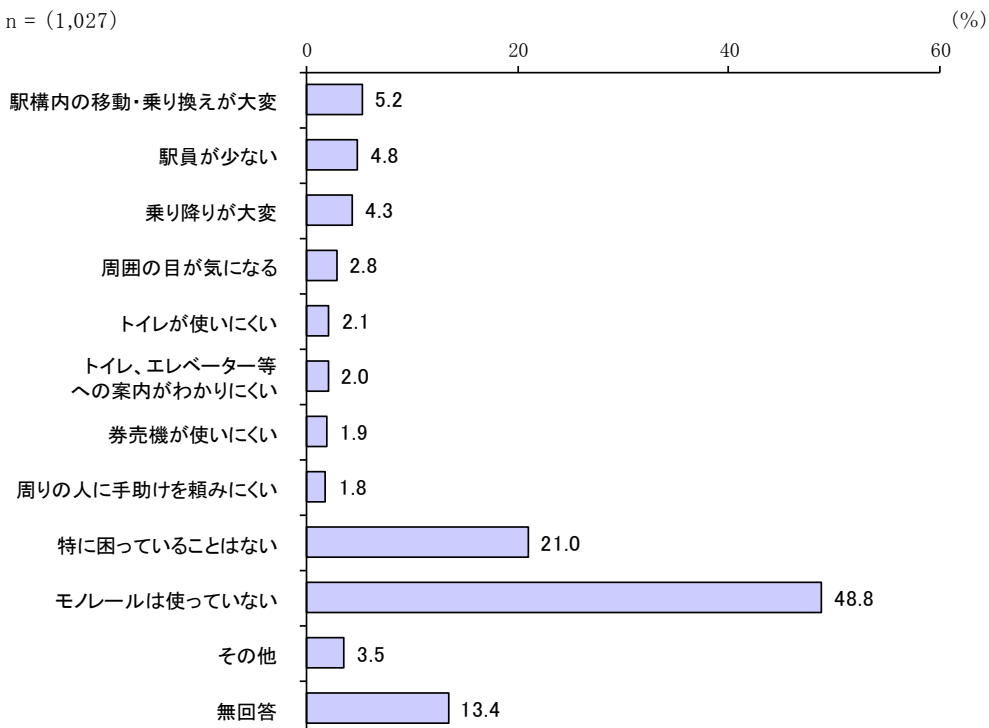
	調査数	乗り降り が大変	バリアフ リー未対 応のバス がある	案内がわ かりにくい	運賃の支 払いが大 変	周りの人 に手助け を頼みにく い	周囲の目 が気になる	特に困っ ていること はない	バスは 使って いない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	177 17.2	54 5.3	51 5.0	50 4.9	42 4.1	66 6.4	368 35.8	242 23.6	52 5.1	84 8.2
男性	683 100.0	158 23.1	48 7.0	25 3.7	23 3.4	24 3.5	17 2.5	234 34.3	172 25.2	23 3.4	61 8.9
女性	207 100.0	17 8.2	6 2.9	15 7.2	19 9.2	14 6.8	27 13.0	80 38.6	44 21.3	18 8.7	11 5.3
無回答	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	— —	— —	— —	1 12.5	2 25.0	— —	3 37.5

問 36 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

「モノレールは使っていない」が 48.8%で最も多く、以下「特に困っていることはない」が 21.0%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、知的障害、精神障害で「周囲の目が気になる」の割合が高くなっています。

n = (1,027)



# 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	乗り降り が大変	駅構内 の移動・ 乗り換え が大変	トイレが 使いにくい	券売機 が使い にくい	トイレ、 エレベーター等 への案内がわ かりにくい	駅員が 少ない	周りの 人に手 助けを 頼みにく い	周囲の 目が気 になる	特に 困ってい ることは ない	モノレー ルは使 っていない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	44 4.3	53 5.2	22 2.1	19 1.9	21 2.0	49 4.8	18 1.8	29 2.8	216 21.0	501 48.8	36 3.5	138 13.4
身体障害	683 100.0	34 5.0	44 6.4	14 2.0	12 1.8	14 2.0	28 4.1	10 1.5	8 1.2	125 18.3	352 51.5	19 2.8	99 14.5
知的障害	207 100.0	8 3.9	6 2.9	4 1.9	6 2.9	4 1.9	14 6.8	5 2.4	13 6.3	50 24.2	93 44.9	10 4.8	20 9.7
精神障害	212 100.0	7 3.3	11 5.2	5 2.4	4 1.9	5 2.4	15 7.1	7 3.3	15 7.1	50 23.6	94 44.3	9 4.2	27 12.7
難病	165 100.0	8 4.8	9 5.5	4 2.4	2 1.2	5 3.0	6 3.6	4 2.4	3 1.8	33 20.0	79 47.9	7 4.2	29 17.6
無回答	8 100.0	— —	— —	1 12.5	— —	— —	1 12.5	— —	— —	— —	4 50.0	— —	3 37.5

# 【性 別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	乗り降り が大変	駅構内 の移動・ 乗り換え が大変	トイレが 使いにくい	券売機 が使い にくい	トイレ、 エレベーター等 への案内がわ かりにくい	駅員が 少ない	周りの 人に手 助けを 頼みにく い	周囲の 目が気 になる	特に 困ってい ることは ない	モノレー ルは使 っていない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	44 4.3	53 5.2	22 2.1	19 1.9	21 2.0	49 4.8	18 1.8	29 2.8	216 21.0	501 48.8	36 3.5	138 13.4
男性	542 100.0	18 3.3	32 5.9	10 1.8	10 1.8	11 2.0	24 4.4	7 1.3	18 3.3	120 22.1	260 48.0	16 3.0	70 12.9
女性	480 100.0	26 5.4	21 4.4	12 2.5	9 1.9	10 2.1	25 5.2	11 2.3	11 2.3	94 19.6	241 50.2	20 4.2	65 13.5
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 40.0	— —	— —	3 60.0

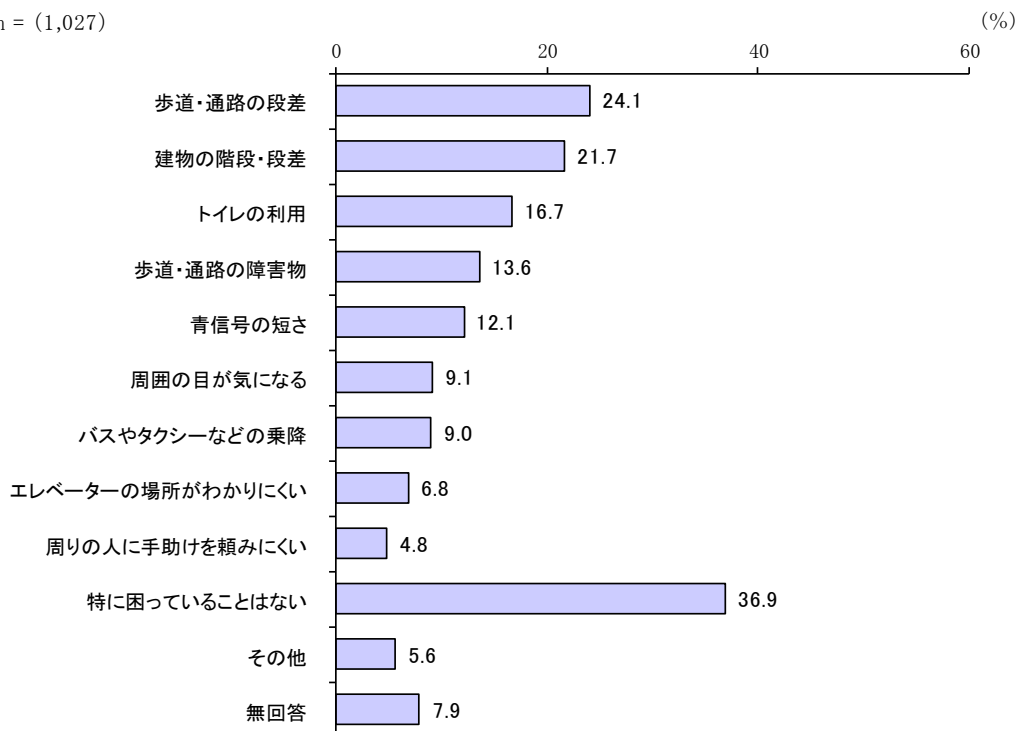
問 37 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が 36.9%で最も多く、以下「歩道・通路の段差」が 24.1%、「建物の階段・段差」が 21.7%となっています。

男女別でみると、女性で「歩道・通路の段差」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、知的障害のある方では、「周囲の目が気になる」の割合が増加しています。

n = (1,027)



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の短さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	1,027	248	124	140	92	223	70	171	49	93	379	57	81
	100.0	24.1	12.1	13.6	9.0	21.7	6.8	16.7	4.8	9.1	36.9	5.6	7.9
身体障害	683	216	104	119	78	192	62	122	26	27	224	33	57
	100.0	31.6	15.2	17.4	11.4	28.1	9.1	17.9	3.8	4.0	32.8	4.8	8.3
知的障害	207	35	10	19	6	27	6	38	17	36	87	12	13
	100.0	16.9	4.8	9.2	2.9	13.0	2.9	18.4	8.2	17.4	42.0	5.8	6.3
精神障害	212	24	17	21	12	27	5	35	17	46	86	16	14
	100.0	11.3	8.0	9.9	5.7	12.7	2.4	16.5	8.0	21.7	40.6	7.5	6.6
難病	165	43	16	27	22	41	6	32	9	11	47	12	20
	100.0	26.1	9.7	16.4	13.3	24.8	3.6	19.4	5.5	6.7	28.5	7.3	12.1
無回答	8	1	-	-	1	-	1	2	-	-	2	-	3
	100.0	12.5	-	-	12.5	-	12.5	25.0	-	-	25.0	-	37.5

# 【性 別】

単位 上段：件、下段：％

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の短さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	248 24.1	124 12.1	140 13.6	92 9.0	223 21.7	70 6.8	171 16.7	49 4.8	93 9.1	379 36.9	57 5.6	81 7.9
男性	542 100.0	116 21.4	57 10.5	69 12.7	43 7.9	108 19.9	26 4.8	92 17.0	25 4.6	49 9.0	217 40.0	21 3.9	43 7.9
女性	480 100.0	132 27.5	67 14.0	71 14.8	49 10.2	114 23.8	44 9.2	78 16.3	24 5.0	44 9.2	160 33.3	36 7.5	36 7.5
無回答	5 100.0	－	－	－	－	1 20.0	－	1 20.0	－	－	2 40.0	－	2 40.0

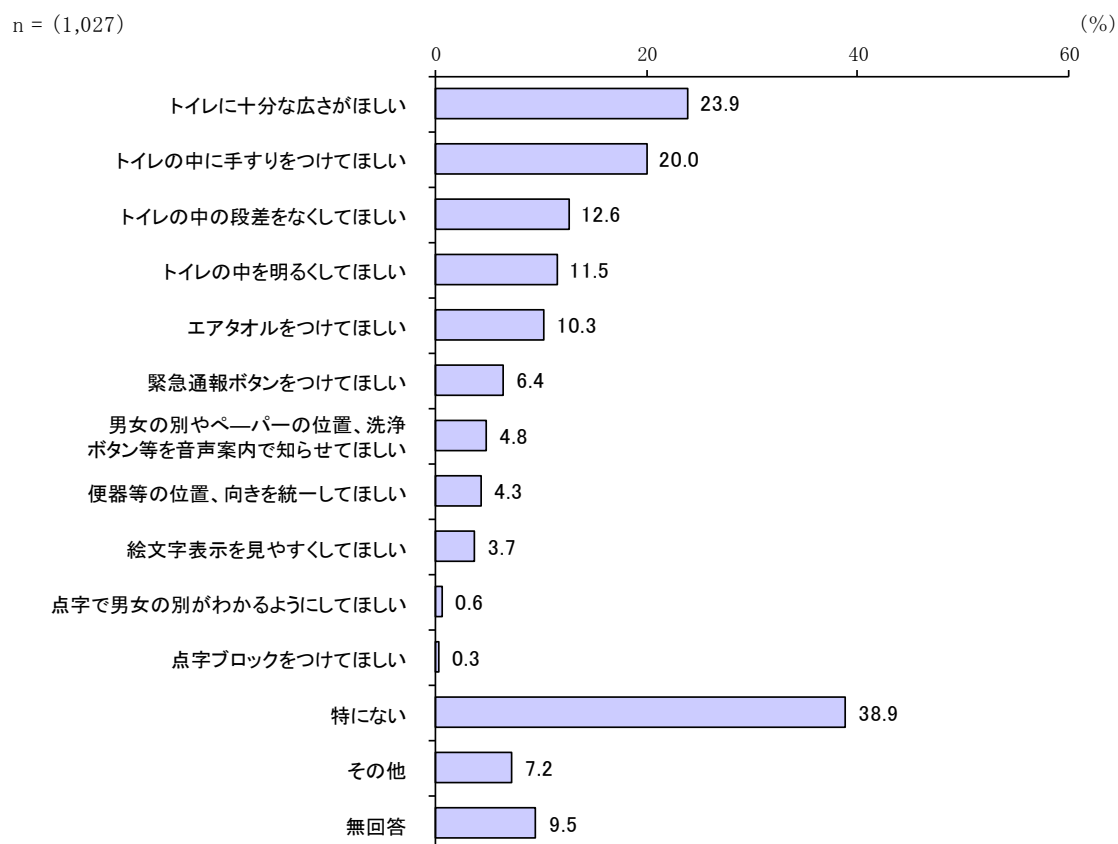
# 【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：％

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の短さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	1,135 100.0	258 22.7	107 9.4	145 12.8	117 10.3	241 21.2	69 6.1	207 18.2	53 4.7	91 8.0	446 39.3	82 7.2	71 6.3
身体障害	772 100.0	223 28.9	83 10.8	123 15.9	98 12.7	209 27.1	53 6.9	158 20.5	34 4.4	33 4.3	256 33.2	56 7.3	51 6.6
知的障害	226 100.0	35 15.5	14 6.2	22 9.7	15 6.6	29 12.8	11 4.9	40 17.7	13 5.8	28 12.4	108 47.8	21 9.3	16 7.1
精神障害	231 100.0	27 11.7	25 10.8	22 9.5	17 7.4	28 12.1	15 6.5	33 14.3	13 5.6	52 22.5	105 45.5	14 6.1	13 5.6
難病	224 100.0	70 31.3	16 7.1	44 19.6	36 16.1	63 28.1	23 10.3	43 19.2	15 6.7	20 8.9	70 31.3	14 6.3	15 6.7
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	－	2 28.6	1 14.3	3 42.9	1 14.3	－	3 42.9	－	1 14.3

### 問 38 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

「特にない」が 38.9%で最も多く、以下「トイレに十分な広さがほしい」が 23.9%、「トイレの中に手すりをつけてほしい」が 20.0%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全 体	1,027	6	49	38	118	129	3	44
	100.0	0.6	4.8	3.7	11.5	12.6	0.3	4.3
身体障害	683	5	38	23	86	106	3	30
	100.0	0.7	5.6	3.4	12.6	15.5	0.4	4.4
知的障害	207	1	8	10	19	18	-	10
	100.0	0.5	3.9	4.8	9.2	8.7	-	4.8
精神障害	212	1	10	6	19	15	-	8
	100.0	0.5	4.7	2.8	9.0	7.1	-	3.8
難病	165	1	4	4	19	22	1	10
	100.0	0.6	2.4	2.4	11.5	13.3	0.6	6.1
無回答	8	-	-	-	1	2	-	-
	100.0	-	-	-	12.5	25.0	-	-

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	205	106	245	66	400	74	98
	20.0	10.3	23.9	6.4	38.9	7.2	9.5
身体障害	176	76	186	46	230	41	71
	25.8	11.1	27.2	6.7	33.7	6.0	10.4
知的障害	19	10	40	8	101	23	18
	9.2	4.8	19.3	3.9	48.8	11.1	8.7
精神障害	22	24	43	16	93	19	19
	10.4	11.3	20.3	7.5	43.9	9.0	9.0
難病	36	16	46	8	54	9	22
	21.8	9.7	27.9	4.8	32.7	5.5	13.3
無回答	2	-	-	1	3	1	1
	25.0	-	-	12.5	37.5	12.5	12.5

【身体障害の種類別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全 体	683 100.0	5 0.7	38 5.6	23 3.4	86 12.6	106 15.5	3 0.4	30 4.4
肢体不自由	331 100.0	1 0.3	15 4.5	9 2.7	43 13.0	64 19.3	- -	13 3.9
音声・言語・そしゃく機能障害	36 100.0	- -	4 11.1	1 2.8	6 16.7	5 13.9	- -	5 13.9
視覚障害	39 100.0	2 5.1	11 28.2	2 5.1	13 33.3	14 35.9	1 2.6	7 17.9
聴覚・平衡機能障害	54 100.0	2 3.7	5 9.3	3 5.6	6 11.1	7 13.0	2 3.7	5 9.3
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	232 100.0	2 0.9	8 3.4	9 3.9	25 10.8	19 8.2	- -	6 2.6
無回答	43 100.0	- -	1 2.3	1 2.3	5 11.6	10 23.3	1 2.3	1 2.3

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	176 25.8	76 11.1	186 27.2	46 6.7	230 33.7	41 6.0	71 10.4
肢体不自由	102 30.8	40 12.1	115 34.7	17 5.1	99 29.9	27 8.2	31 9.4
音声・言語・そしゃく機能障害	11 30.6	5 13.9	9 25.0	5 13.9	13 36.1	2 5.6	4 11.1
視覚障害	11 28.2	6 15.4	7 17.9	3 7.7	4 10.3	2 5.1	5 12.8
聴覚・平衡機能障害	13 24.1	11 20.4	11 20.4	7 13.0	18 33.3	3 5.6	5 9.3
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	48 20.7	18 7.8	50 21.6	15 6.5	98 42.2	12 5.2	22 9.5
無回答	10 23.3	3 7.0	14 32.6	3 7.0	10 23.3	1 2.3	7 16.3

【性 別】

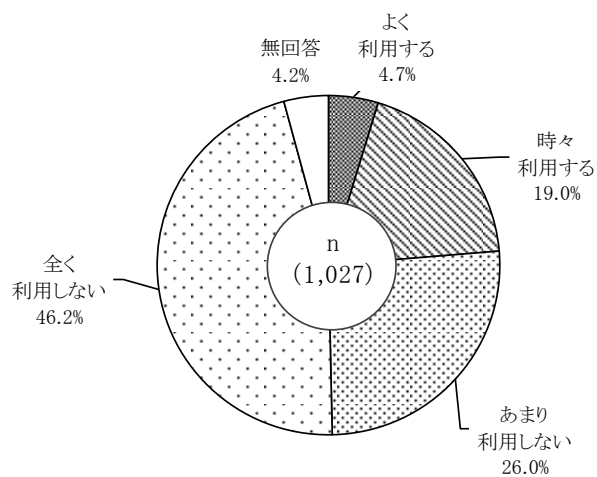
単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全 体	1,027 100.0	6 0.6	49 4.8	38 3.7	118 11.5	129 12.6	3 0.3	44 4.3
男性	542 100.0	3 0.6	16 3.0	16 3.0	62 11.4	62 11.4	3 0.6	22 4.1
女性	480 100.0	3 0.6	33 6.9	22 4.6	55 11.5	67 14.0	— —	22 4.6
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	1 20.0	— —	— —	— —

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	205 20.0	106 10.3	245 23.9	66 6.4	400 38.9	74 7.2	98 9.5
男性	96 17.7	39 7.2	125 23.1	31 5.7	238 43.9	36 6.6	52 9.6
女性	109 22.7	66 13.8	119 24.8	35 7.3	161 33.5	38 7.9	44 9.2
無回答	— —	1 20.0	1 20.0	— —	1 20.0	— —	2 40.0

問 39 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

「全く利用しない」が46.2%で最も多く、以下「あまり利用しない」が26.0%、「時々利用する」が19.0%となっています。



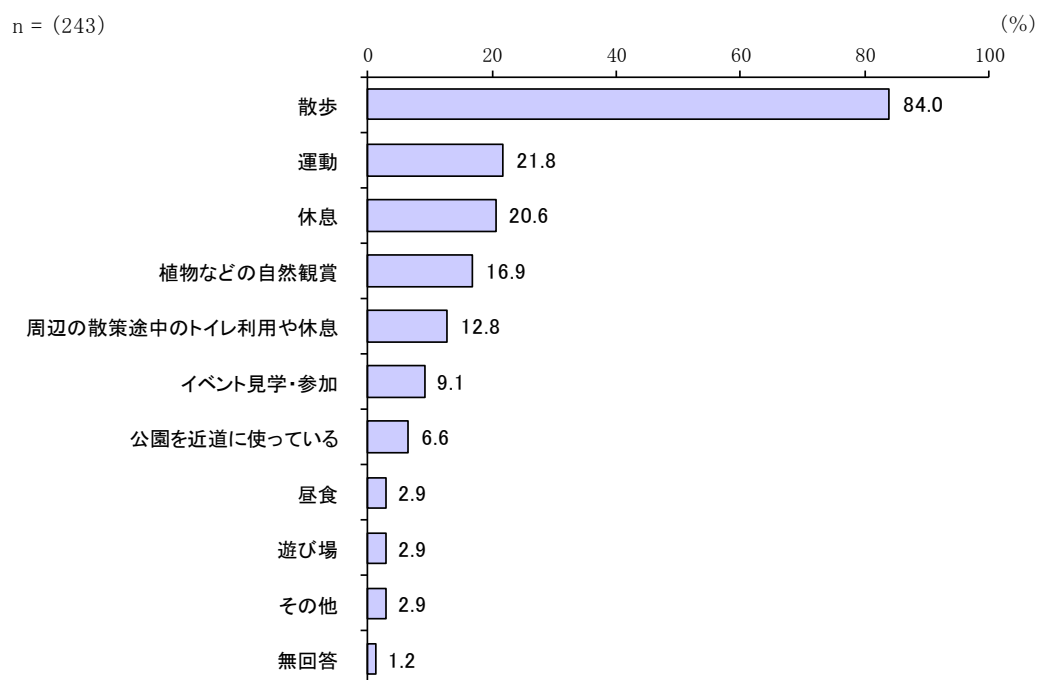
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	全く利用しない	無回答
全 体	1,027	48	195	267	474	43
	100.0	4.7	19.0	26.0	46.2	4.2
身体障害	683	37	135	177	301	33
	100.0	5.4	19.8	25.9	44.1	4.8
知的障害	207	8	36	57	101	5
	100.0	3.9	17.4	27.5	48.8	2.4
精神障害	212	6	39	57	101	9
	100.0	2.8	18.4	26.9	47.6	4.2
難病	165	7	26	41	79	12
	100.0	4.2	15.8	24.8	47.9	7.3
無回答	8	—	—	2	5	1
	100.0	—	—	25.0	62.5	12.5

問 40 【問 39 で「よく利用する」または「時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが公園を利用する目的は何ですか。（○はいくつでも）

「散歩」が 84.0% で最も多く、以下「運動」が 21.8%、「休息」が 20.6% となっています。



【障害種別】

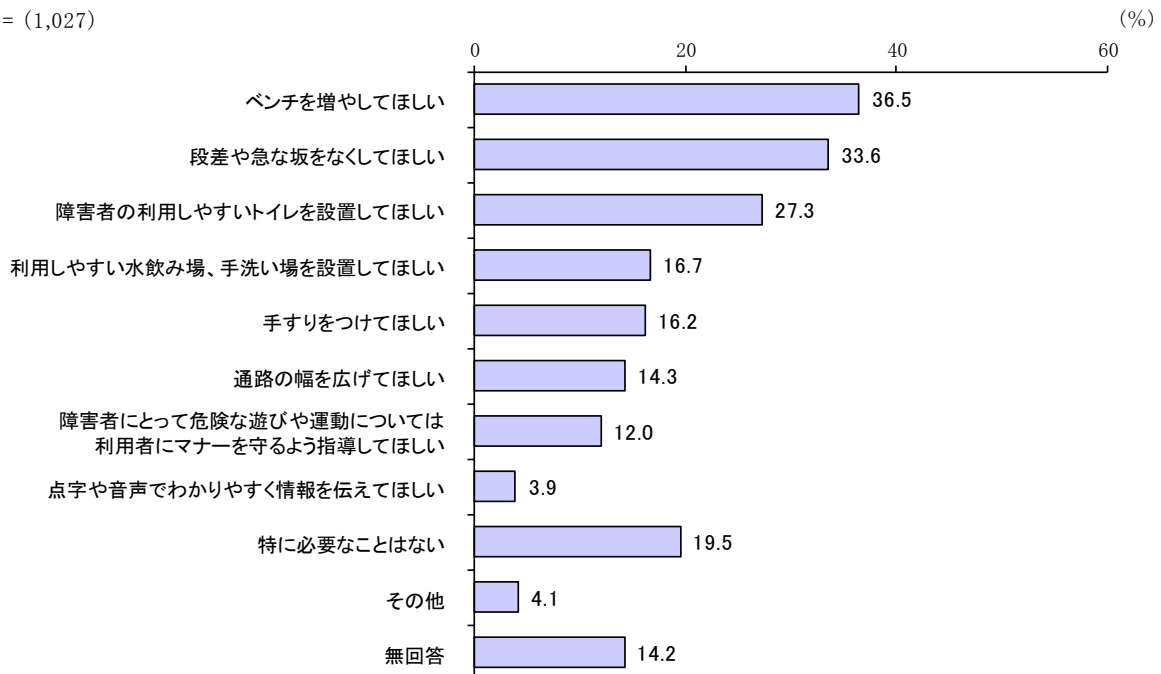
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全 体	243	204	53	50	41	7	16	31	7	22	7	3
	100.0	84.0	21.8	20.6	16.9	2.9	6.6	12.8	2.9	9.1	2.9	1.2
身体障害	172	146	40	29	28	3	12	19	4	13	3	3
	100.0	84.9	23.3	16.9	16.3	1.7	7.0	11.0	2.3	7.6	1.7	1.7
知的障害	44	37	9	8	5	2	2	9	2	5	2	-
	100.0	84.1	20.5	18.2	11.4	4.5	4.5	20.5	4.5	11.4	4.5	-
精神障害	45	37	8	14	9	2	2	6	3	5	3	-
	100.0	82.2	17.8	31.1	20.0	4.4	4.4	13.3	6.7	11.1	6.7	-
難病	33	27	11	4	5	1	2	4	-	3	1	-
	100.0	81.8	33.3	12.1	15.2	3.0	6.1	12.1	-	9.1	3.0	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 41 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「ベンチを増やしてほしい」が36.5%で最も多く、以下「段差や急な坂をなくしてほしい」が33.6%、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」が27.3%となっています。

n = (1,027)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	1,027	147	166	345	40	280	123	375	172	200	42	146
	100.0	14.3	16.2	33.6	3.9	27.3	12.0	36.5	16.7	19.5	4.1	14.2
身体障害	683	101	125	267	18	197	77	262	105	112	20	102
	100.0	14.8	18.3	39.1	2.6	28.8	11.3	38.4	15.4	16.4	2.9	14.9
知的障害	207	40	29	61	12	55	33	63	36	47	15	29
	100.0	19.3	14.0	29.5	5.8	26.6	15.9	30.4	17.4	22.7	7.2	14.0
精神障害	212	30	20	49	14	52	28	78	42	56	15	25
	100.0	14.2	9.4	23.1	6.6	24.5	13.2	36.8	19.8	26.4	7.1	11.8
難病	165	22	29	53	5	48	24	48	27	27	10	30
	100.0	13.3	17.6	32.1	3.0	29.1	14.5	29.1	16.4	16.4	6.1	18.2
無回答	8	—	1	2	—	4	—	1	3	—	—	2
	100.0	—	12.5	25.0	—	50.0	—	12.5	37.5	—	—	25.0

## (7) 災害対策について

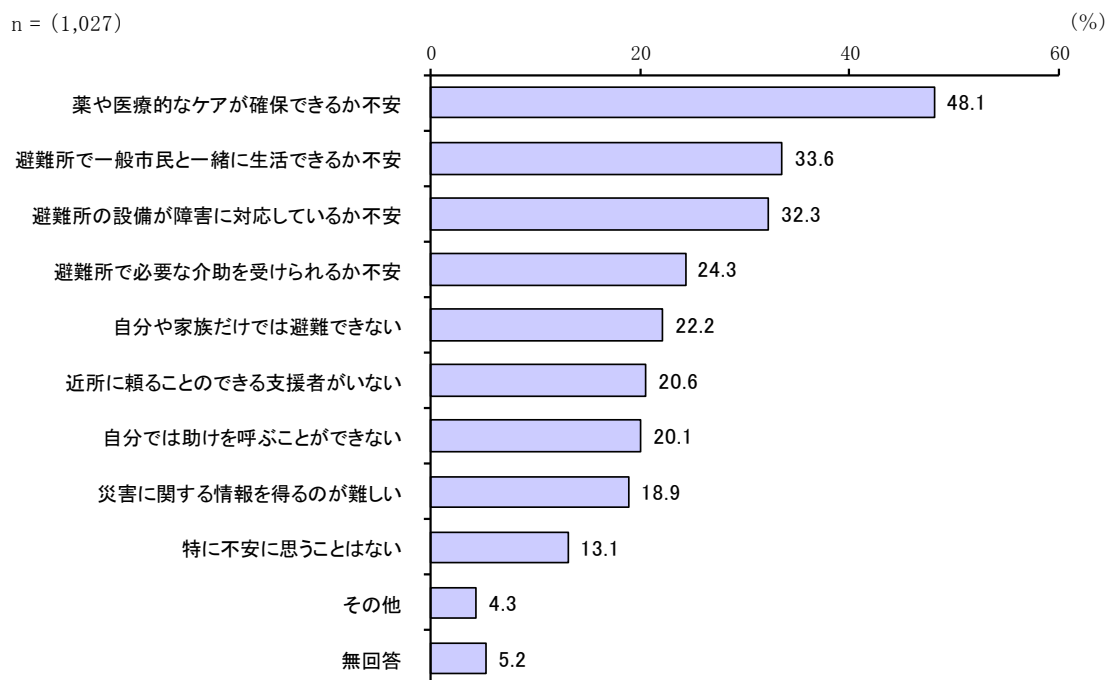
問 42 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(〇はいくつでも)

「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が 48.1%で最も多く、以下「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が 33.6%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が 32.3%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、精神障害で「薬や医療的なケアが確保できるか不安」の割合が高く、約6割となっています。また、知的障害で「自分では助けを呼ぶことができない」、「災害に関する情報を得るのが難しい」、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」の割合が高くなっています。

男女別でみると、女性で「避難所の設備が障害に対応しているか不安」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、知的障害のある方では、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「近所に頼ることのできる支援者がいない」は新たに追加された選択肢です。

# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に頼ることでできる支援者がいない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	228 22.2	206 20.1	212 20.6	194 18.9	332 32.3	250 24.3	345 33.6	494 48.1	135 13.1	44 4.3	53 5.2
身体障害	683 100.0	174 25.5	135 19.8	135 19.8	118 17.3	242 35.4	177 25.9	200 29.3	342 50.1	84 12.3	23 3.4	39 5.7
知的障害	207 100.0	42 20.3	65 31.4	47 22.7	56 27.1	76 36.7	61 29.5	104 50.2	65 31.4	29 14.0	19 9.2	9 4.3
精神障害	212 100.0	39 18.4	38 17.9	48 22.6	35 16.5	55 25.9	40 18.9	85 40.1	129 60.8	22 10.4	7 3.3	8 3.8
難病	165 100.0	50 30.3	38 23.0	38 23.0	29 17.6	62 37.6	55 33.3	51 30.9	84 50.9	15 9.1	9 5.5	11 6.7
無回答	8 100.0	-	-	-	2 25.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5

# 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に頼ることでできる支援者がいない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	228 22.2	206 20.1	212 20.6	194 18.9	332 32.3	250 24.3	345 33.6	494 48.1	135 13.1	44 4.3	53 5.2
男性	542 100.0	109 20.1	87 16.1	101 18.6	85 15.7	139 25.6	112 20.7	172 31.7	250 46.1	90 16.6	24 4.4	29 5.4
女性	480 100.0	119 24.8	118 24.6	111 23.1	108 22.5	192 40.0	136 28.3	172 35.8	243 50.6	44 9.2	20 4.2	22 4.6
無回答	5 100.0	-	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0

# 【平成 28 年度調査】

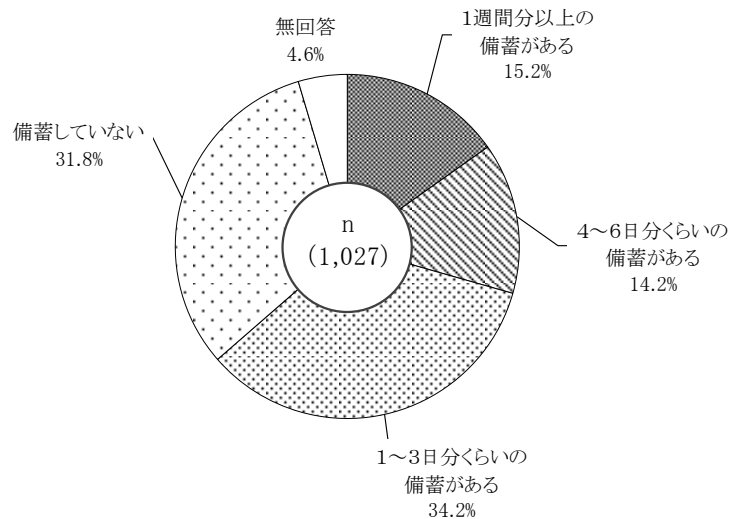
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に頼ることでできる支援者がいない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全 体	1,135 100.0	254 22.4	249 21.9		240 21.1	368 32.4	294 25.9	425 37.4	599 52.8	137 12.1	39 3.4	40 3.5
身体障害	772 100.0	196 25.4	147 19.0		143 18.5	284 36.8	210 27.2	248 32.1	410 53.1	88 11.4	24 3.1	33 4.3
知的障害	226 100.0	51 22.6	102 45.1		79 35.0	69 30.5	67 29.6	122 54.0	84 37.2	29 12.8	12 5.3	5 2.2
精神障害	231 100.0	37 16.0	29 12.6		36 15.6	50 21.6	47 20.3	104 45.0	165 71.4	25 10.8	8 3.5	5 2.2
難病	224 100.0	59 26.3	52 23.2		45 20.1	87 38.8	70 31.3	89 39.7	140 62.5	22 9.8	3 1.3	3 1.3
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3		2 28.6	3 42.9	5 71.4	2 28.6	5 71.4	2 28.6	-	-

問 43 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

「1～3日分くらいの備蓄がある」が34.2%で最も多く、以下「備蓄していない」が31.8%、「1週間分以上の備蓄がある」が15.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「備蓄していない」の割合が減少しています。また、難病のある方では、「1週間分以上の備蓄がある」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	1,027	156	146	351	327	47
	100.0	15.2	14.2	34.2	31.8	4.6
身体障害	683	109	110	246	188	30
	100.0	16.0	16.1	36.0	27.5	4.4
知的障害	207	28	22	67	79	11
	100.0	13.5	10.6	32.4	38.2	5.3
精神障害	212	33	25	55	91	8
	100.0	15.6	11.8	25.9	42.9	3.8
難病	165	21	26	57	50	11
	100.0	12.7	15.8	34.5	30.3	6.7
無回答	8	2	—	2	3	1
	100.0	25.0	—	25.0	37.5	12.5

【平成28年度調査】

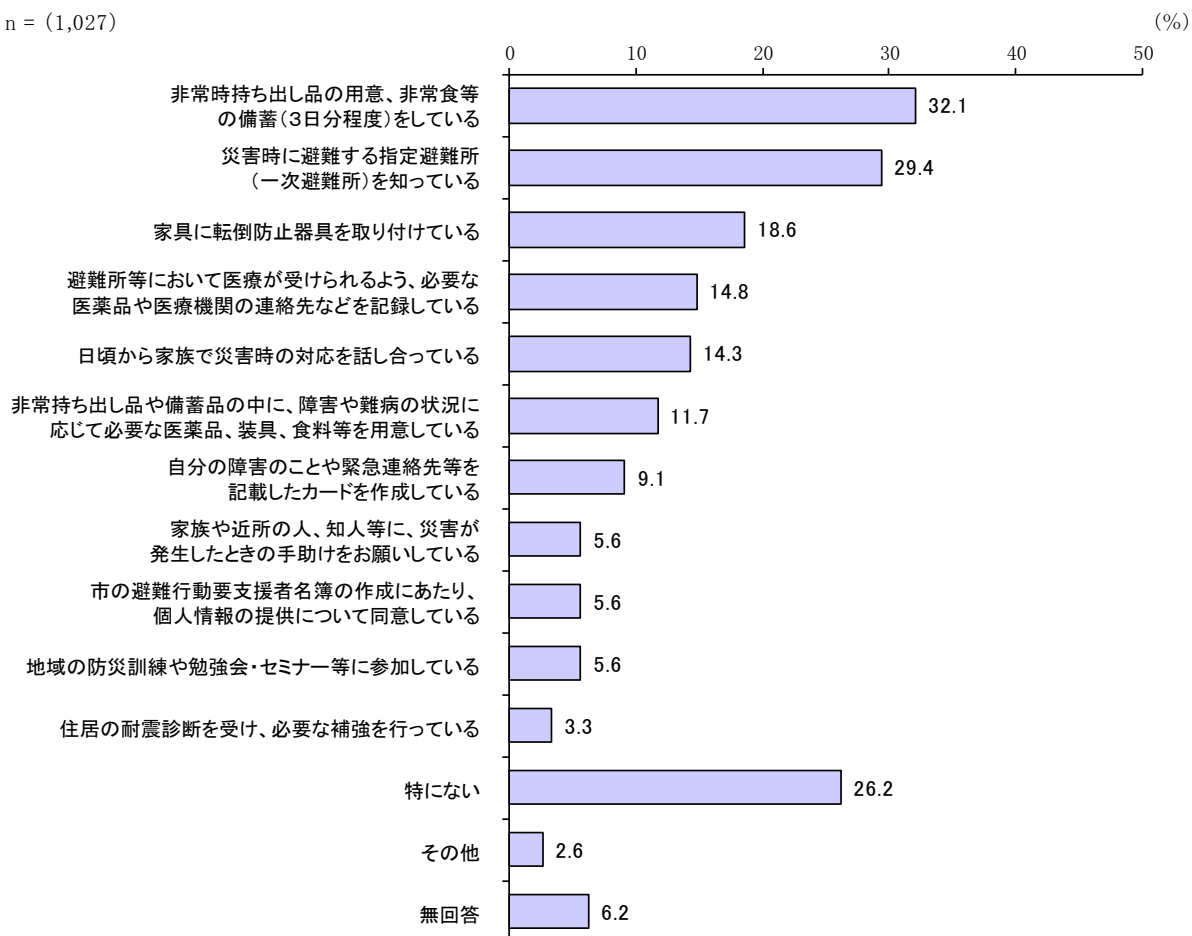
単位 上段:件、下段:%

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	1,135	199	117	358	427	34
	100.0	17.5	10.3	31.5	37.6	3.0
身体障害	772	144	89	251	263	25
	100.0	18.7	11.5	32.5	34.1	3.2
知的障害	226	31	19	69	101	6
	100.0	13.7	8.4	30.5	44.7	2.7
精神障害	231	41	23	61	100	6
	100.0	17.7	10.0	26.4	43.3	2.6
難病	224	44	27	70	78	5
	100.0	19.6	12.1	31.3	34.8	2.2
無回答	7	2	1	1	3	—
	100.0	28.6	14.3	14.3	42.9	—

問 44 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている」が32.1%で最も多く、以下「災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている」が29.4%、「特にない」が26.2%となっています。

n = (1,027)



【障害種別】

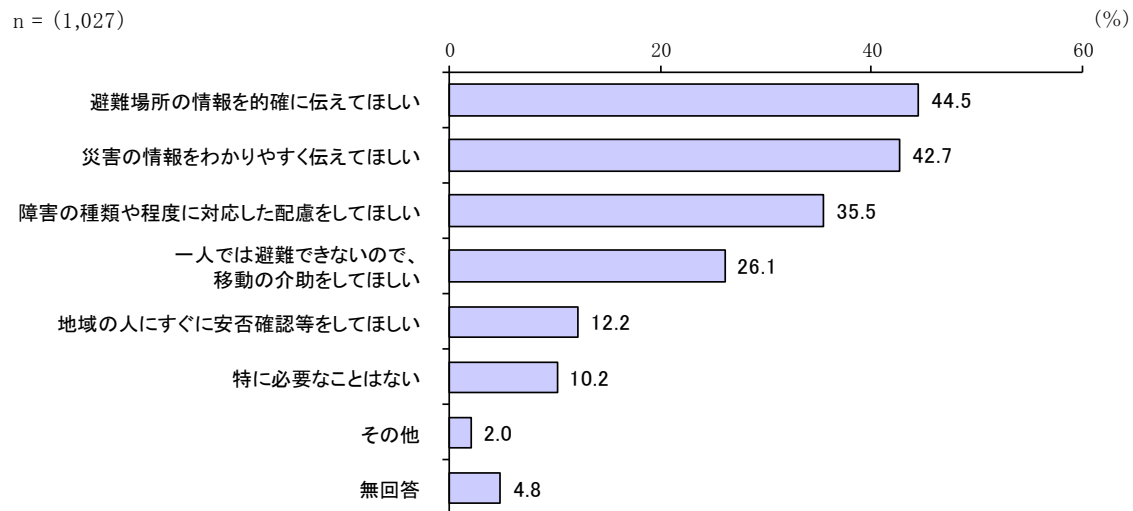
単位 上段:件、下段:%

	調査数	日頃から家族 で災害時の 対応を話し 合っている	非常時持ち 出し品の用 意、非常食等 の備蓄(3日 分程度)をし ている	非常持ち出し 品や備蓄品 の中に、障害 や難病の状 況に応じて必 要な医薬品、 装具、食料等 を用意してい る	避難所等にお いて医療が受 けられるよう 、必要な医 薬品や医療 機関の連絡 先などを記録 している	家族や近所 の人、知人等 に、災害が発 生したときの 手助けをお願い している	自分の障害 のことや緊急 連絡先等を記 載したカード を作成してい る	市の避難行 動要支援者 名簿の作成 にあたり、個 人情報の提 供について同 意している
全 体	1,027 100.0	147 14.3	330 32.1	120 11.7	152 14.8	57 5.6	93 9.1	58 5.6
身体障害	683 100.0	100 14.6	222 32.5	96 14.1	126 18.4	47 6.9	75 11.0	46 6.7
知的障害	207 100.0	30 14.5	68 32.9	19 9.2	20 9.7	9 4.3	12 5.8	19 9.2
精神障害	212 100.0	29 13.7	61 28.8	17 8.0	18 8.5	5 2.4	14 6.6	7 3.3
難病	165 100.0	28 17.0	55 33.3	21 12.7	32 19.4	8 4.8	14 8.5	10 6.1
無回答	8 100.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	- -	- -

	家具に転倒 防止器具を取 り付けている	住居の耐震 診断を受け、 必要な補強を 行っている	災害時に避難 する指定 避難所(一次 避難所)を知 っている	地域の防災 訓練や勉強 会・セミナー 等に参加して いる	特にない	その他	無回答
全 体	191 18.6	34 3.3	302 29.4	57 5.6	269 26.2	27 2.6	64 6.2
身体障害	129 18.9	25 3.7	219 32.1	47 6.9	155 22.7	17 2.5	50 7.3
知的障害	51 24.6	7 3.4	56 27.1	9 4.3	54 26.1	7 3.4	10 4.8
精神障害	23 10.8	4 1.9	51 24.1	3 1.4	84 39.6	9 4.2	8 3.8
難病	27 16.4	5 3.0	44 26.7	9 5.5	43 26.1	7 4.2	15 9.1
無回答	- -	- -	1 12.5	1 12.5	2 25.0	- -	2 25.0

問 45 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。  
(〇はいくつでも)

「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が44.5%で最も多く、以下「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」が42.7%、「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」が35.5%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい	災害の情報をわかりやすく伝えてほしい	障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい	地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい	避難場所の情報を的確に伝えてほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	268 26.1	439 42.7	365 35.5	125 12.2	457 44.5	105 10.2	21 2.0	49 4.8
身体障害	683 100.0	204 29.9	284 41.6	221 32.4	91 13.3	302 44.2	70 10.2	12 1.8	34 5.0
知的障害	207 100.0	58 28.0	90 43.5	101 48.8	26 12.6	91 44.0	13 6.3	6 2.9	12 5.8
精神障害	212 100.0	39 18.4	92 43.4	82 38.7	18 8.5	92 43.4	24 11.3	8 3.8	6 2.8
難病	165 100.0	58 35.2	56 33.9	61 37.0	20 12.1	67 40.6	17 10.3	4 2.4	11 6.7
無回答	8 100.0	1 12.5	5 62.5	-	2 25.0	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5

【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい	災害の情報をわかりやすく伝えてほしい	障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい	地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい	避難場所の情報を的確に伝えてほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	268 26.1	439 42.7	365 35.5	125 12.2	457 44.5	105 10.2	21 2.0	49 4.8
男性	542 100.0	110 20.3	221 40.8	181 33.4	59 10.9	247 45.6	60 11.1	8 1.5	26 4.8
女性	480 100.0	156 32.5	216 45.0	183 38.1	66 13.8	209 43.5	44 9.2	13 2.7	21 4.4
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0

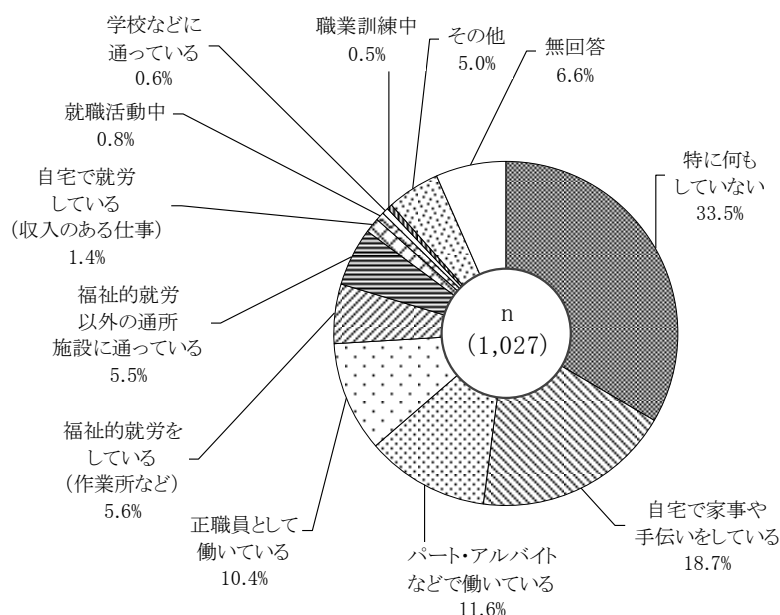
## (8) 日中活動・就労について

問 46 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。  
(最もあてはまる番号 1 つだけ○)

「特に何もしていない」が 33.5%で最も多く、以下「自宅で家事や手伝いをしている」が 18.7%、「パート・アルバイトなどで働いている」が 11.6%となっています。

障害種別でみると、身体障害、難病で「特に何もしていない」の割合が高く、約 4 割となっています。また、知的障害で「福祉的就労をしている（作業所など）」、「福祉的就労以外の通所施設に通っている」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「福祉的就労をしている（作業所など）」の割合が増加しています。



### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	自宅で就労している（収入のある仕事）	福祉的就労をしている（作業所など）	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしていない	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中	その他	無回答
全 体	1,027	107	119	14	57	56	192	344	6	5	8	51	68
	100.0	10.4	11.6	1.4	5.6	5.5	18.7	33.5	0.6	0.5	0.8	5.0	6.6
身体障害	683	65	57	13	10	24	150	279	1	—	1	38	45
	100.0	9.5	8.3	1.9	1.5	3.5	22.0	40.8	0.1	—	0.1	5.6	6.6
知的障害	207	23	41	—	48	37	10	20	6	—	2	10	10
	100.0	11.1	19.8	—	23.2	17.9	4.8	9.7	2.9	—	1.0	4.8	4.8
精神障害	212	20	33	1	15	16	35	56	—	5	6	10	15
	100.0	9.4	15.6	0.5	7.1	7.5	16.5	26.4	—	2.4	2.8	4.7	7.1
難病	165	18	19	2	9	14	17	65	2	1	1	4	13
	100.0	10.9	11.5	1.2	5.5	8.5	10.3	39.4	1.2	0.6	0.6	2.4	7.9
無回答	8	—	1	—	—	—	3	1	—	—	—	—	3
	100.0	—	12.5	—	—	—	37.5	12.5	—	—	—	—	37.5

## 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	自宅で就労している(収入のある仕事)	福祉的就労をしている(作業所など)	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしていない	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	107 10.4	119 11.6	14 1.4	57 5.6	56 5.5	192 18.7	344 33.5	6 0.6	5 0.5	8 0.8	51 5.0	68 6.6
男性	542 100.0	72 13.3	62 11.4	12 2.2	40 7.4	29 5.4	59 10.9	193 35.6	4 0.7	4 0.7	7 1.3	27 5.0	33 6.1
女性	480 100.0	34 7.1	57 11.9	2 0.4	17 3.5	26 5.4	133 27.7	150 31.3	2 0.4	1 0.2	1 0.2	24 5.0	33 6.9
無回答	5 100.0	1 20.0	-	-	-	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	-	2 40.0

## 【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	自宅で就労している(収入のある仕事)	福祉的就労をしている(作業所など)	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしていない	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	107 10.4	119 11.6	14 1.4	57 5.6	56 5.5	192 18.7	344 33.5	6 0.6	5 0.5	8 0.8	51 5.0	68 6.6
18～39歳	196 100.0	31 15.8	49 25.0	1 0.5	32 16.3	27 13.8	17 8.7	11 5.6	6 3.1	2 1.0	2 1.0	10 5.1	8 4.1
40～64歳	308 100.0	63 20.5	46 14.9	4 1.3	23 7.5	16 5.2	45 14.6	74 24.0	-	3 1.0	5 1.6	10 3.2	19 6.2
65～74歳	199 100.0	8 4.0	15 7.5	7 3.5	1 0.5	4 2.0	47 23.6	96 48.2	-	-	-	13 6.5	8 4.0
75歳以上	307 100.0	2 0.7	7 2.3	2 0.7	-	8 2.6	79 25.7	160 52.1	-	-	-	18 5.9	31 10.1
無回答	17 100.0	3 17.6	2 11.8	-	1 5.9	1 5.9	4 23.5	3 17.6	-	-	1 5.9	-	2 11.8

## 【平成 28 年度調査】

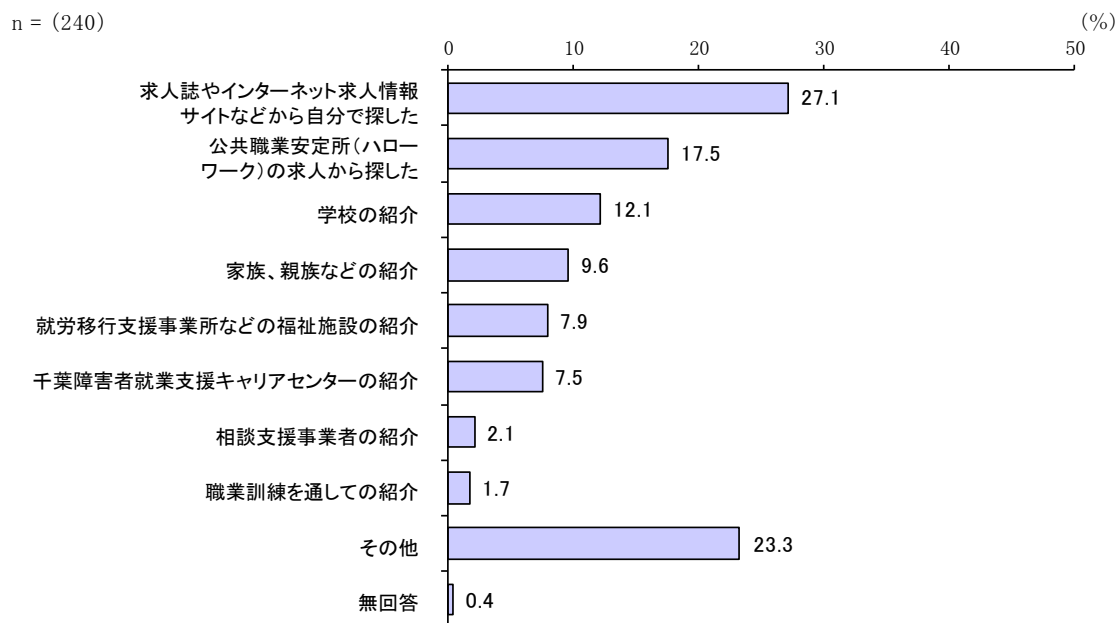
単位 上段:件、下段:%

	調査数	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	自宅で就労している(収入のある仕事)	福祉的就労をしている(作業所など)	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしていない	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中	その他	無回答
全 体	1,135 100.0	105 9.3	123 10.8	27 2.4	59 5.2	87 7.7	235 20.7	371 32.7	11 1.0	10 0.9	14 1.2	55 4.8	38 3.3
身体障害	772 100.0	62 8.0	56 7.3	24 3.1	9 1.2	40 5.2	186 24.1	313 40.5	7 0.9	3 0.4	4 0.5	38 4.9	30 3.9
知的障害	226 100.0	24 10.6	37 16.4	0 0.0	57 25.2	53 23.5	10 4.4	23 10.2	1 0.4	6 2.7	0 0.0	7 3.1	8 3.5
精神障害	231 100.0	24 10.4	37 16.0	3 1.3	4 1.7	17 7.4	50 21.6	62 26.8	3 1.3	4 1.7	8 3.5	14 6.1	5 2.2
難病	224 100.0	15 6.7	24 10.7	6 2.7	10 4.5	18 8.0	44 19.6	87 38.8	1 0.4	3 1.3	1 0.4	8 3.6	7 3.1
無回答	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0

問 47 【問 46 で働いている（１～３番）に○をつけた方におたずねします。  
働いている方におたずねします。  
現在の仕事は、どのような方法で見つけましたか。（○はいくつでも）

「求人誌やインターネット求人情報サイトなどから自分で探した」が 27.1%で最も多く、以下「公共職業安定所（ハローワーク）の求人から探した」が 17.5%、「学校の紹介」が 12.1%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、精神障害で「求人誌やインターネット求人情報サイトなどから自分で探した」の割合が高く、約４割となっています。また、知的障害で「千葉障害者就業支援キャリアセンターの紹介」、「学校の紹介」の割合が高くなっています。



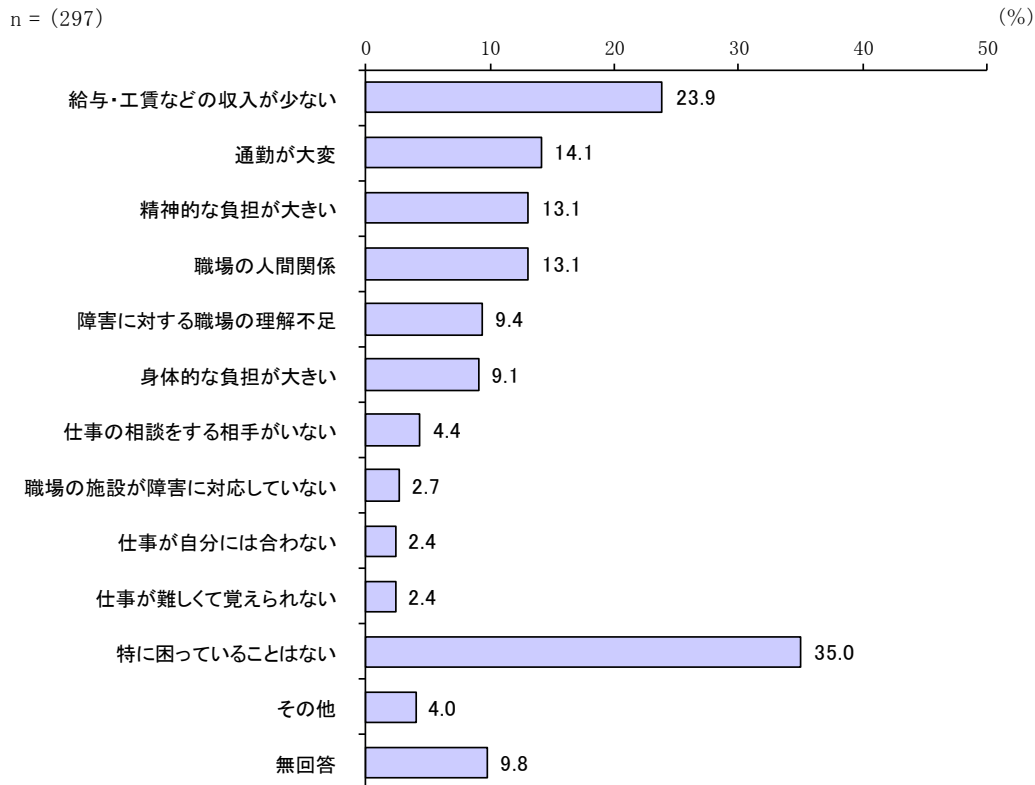
#### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	求人誌やインターネット求人情報サイトなどから自分で探した	公共職業安定所(ハローワーク)の求人から探した	千葉障害者就業支援キャリアセンターの紹介	職業訓練を通しての紹介	学校の紹介	家族、親族などの紹介	相談支援事業者の紹介	就労移行支援事業所などの福祉施設の紹介	その他	無回答
全 体	240	65	42	18	4	29	23	5	19	56	1
	100.0	27.1	17.5	7.5	1.7	12.1	9.6	2.1	7.9	23.3	0.4
身体障害	135	43	22	4	-	7	12	-	2	49	1
	100.0	31.9	16.3	3.0	-	5.2	8.9	-	1.5	36.3	0.7
知的障害	64	7	12	15	3	21	5	4	10	1	-
	100.0	10.9	18.8	23.4	4.7	32.8	7.8	6.3	15.6	1.6	-
精神障害	54	22	12	2	1	3	4	1	8	6	-
	100.0	40.7	22.2	3.7	1.9	5.6	7.4	1.9	14.8	11.1	-
難病	39	13	7	2	-	1	4	2	3	12	-
	100.0	33.3	17.9	5.1	-	2.6	10.3	5.1	7.7	30.8	-
無回答	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-

問 48 【問 46 で働いている（１～４ 番）に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが仕事上で困っていることはなんですか。（○は３つまで）

「特に困っていることはない」が 35.0%で最も多く、以下「給与・工賃などの収入が少ない」が 23.9%、「通勤が大変」が 14.1%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

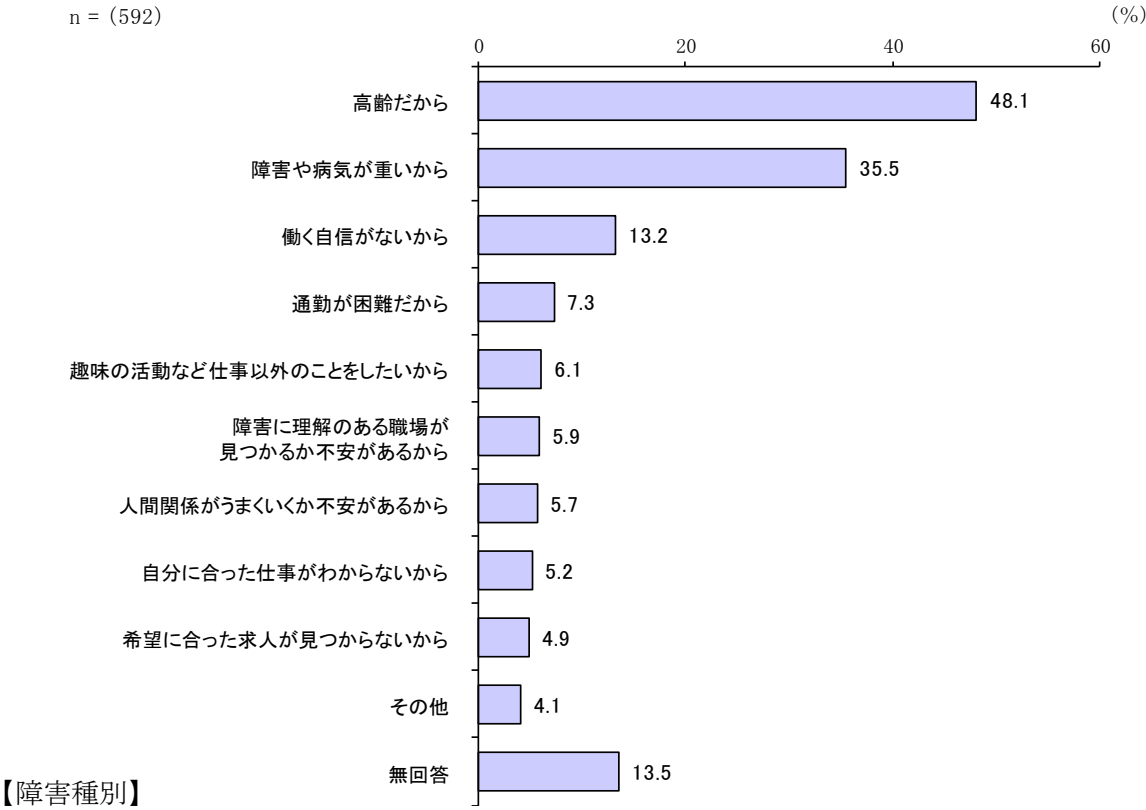
	調査数	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	通勤が大変	職場の施設が障害に対応していない	障害に対する職場の理解不足	職場の人間関係
全 体	297 100.0	27 9.1	39 13.1	42 14.1	8 2.7	28 9.4	39 13.1
身体障害	145 100.0	19 13.1	18 12.4	23 15.9	7 4.8	13 9.0	12 8.3
知的障害	112 100.0	7 6.3	9 8.0	14 12.5	1 0.9	9 8.0	18 16.1
精神障害	69 100.0	4 5.8	19 27.5	10 14.5	2 2.9	10 14.5	16 23.2
難病	48 100.0	5 10.4	8 16.7	10 20.8	3 6.3	7 14.6	6 12.5
無回答	1 100.0	—	—	—	—	—	—

	仕事の相談をする相手がいない	仕事が自分には合わない	給与・工賃などの収入が少ない	仕事が難しくて覚えられない	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	13 4.4	7 2.4	71 23.9	7 2.4	104 35.0	12 4.0	29 9.8
身体障害	3 2.1	5 3.4	33 22.8	1 0.7	52 35.9	4 2.8	18 12.4
知的障害	7 6.3	2 1.8	27 24.1	4 3.6	45 40.2	5 4.5	6 5.4
精神障害	4 5.8	2 2.9	23 33.3	2 2.9	15 21.7	6 8.7	5 7.2
難病	1 2.1	—	10 20.8	—	18 37.5	2 4.2	2 4.2
無回答	—	—	—	—	—	—	1 100.0

問 49 【問 46 で働いていない（５～７番）に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが働いていない理由はなんですか。（○は３つまで）

「高齢だから」が 48.1%で最も多く、以下「障害や病気が重いから」が 35.5%、「働く自信がないから」が 13.2%となっています。



単位 上段:件、下段: %						
	調査数	障害や病気が 重いから	高齢だから	自分に合った 仕事が見つ からないから	希望に合った 求人が見つ からないから	働く自信がない から
全 体	592 100.0	210 35.5	285 48.1	31 5.2	29 4.9	78 13.2
身体障害	453 100.0	152 33.6	263 58.1	11 2.4	18 4.0	46 10.2
知的障害	67 100.0	36 53.7	10 14.9	10 14.9	4 6.0	4 6.0
精神障害	107 100.0	51 47.7	19 17.8	13 12.1	9 8.4	30 28.0
難病	96 100.0	47 49.0	45 46.9	5 5.2	4 4.2	15 15.6
無回答	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-

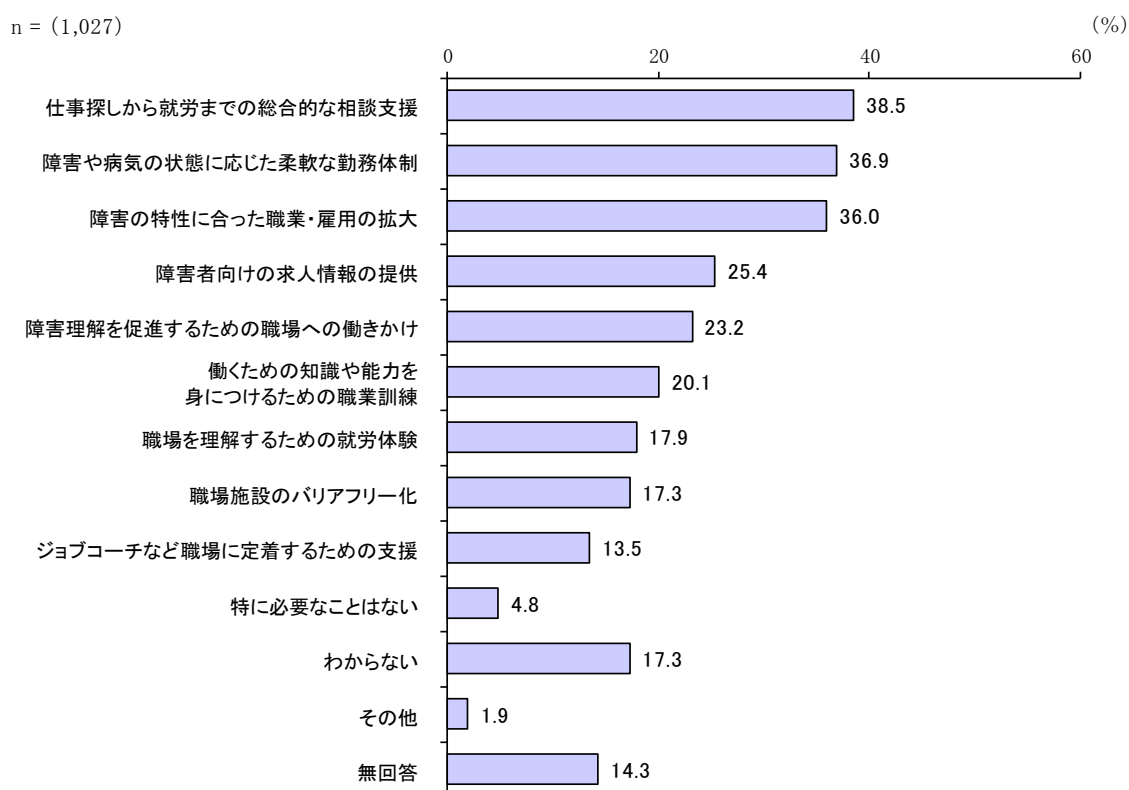
	通勤が困難だ から	障害に理解の ある職場が見 つかるか不安 があるから	人間関係がう まくいか不安 があるから	趣味の活動な ど仕事以外の ことをしたいか ら	その他	無回答
全 体	43 7.3	35 5.9	34 5.7	36 6.1	24 4.1	80 13.5
身体障害	32 7.1	14 3.1	7 1.5	31 6.8	13 2.9	58 12.8
知的障害	3 4.5	6 9.0	9 13.4	1 1.5	3 4.5	10 14.9
精神障害	10 9.3	17 15.9	22 20.6	5 4.7	8 7.5	11 10.3
難病	7 7.3	5 5.2	5 5.2	1 1.0	3 3.1	10 10.4
無回答	-	-	-	-	-	3 75.0

**問 50 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）**

「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 38.5%で最も多く、以下「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制」が 36.9%、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が 36.0%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」、「働くための知識や能力を身につけるための職業訓練」、「職場を理解するための就労体験」、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」、「障害者向けの求人情報の提供」、「障害理解を促進するための職場への働きかけ」、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制」、「ジョブコーチなど職場に定着するための支援」の割合が高くなる傾向がみられます。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では「職場施設のバリアフリー化」の割合が増加しています。



# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ
全 体	1,027 100.0	395 38.5	206 20.1	184 17.9	370 36.0	261 25.4	238 23.2
身体障害	683 100.0	228 33.4	111 16.3	86 12.6	223 32.7	169 24.7	126 18.4
知的障害	207 100.0	107 51.7	58 28.0	65 31.4	92 44.4	50 24.2	73 35.3
精神障害	212 100.0	95 44.8	56 26.4	50 23.6	85 40.1	64 30.2	66 31.1
難病	165 100.0	57 34.5	31 18.8	26 15.8	53 32.1	44 26.7	34 20.6
無回答	8 100.0	2 25.0	- -	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5

	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	178 17.3	379 36.9	139 13.5	49 4.8	178 17.3	20 1.9	147 14.3
身体障害	134 19.6	230 33.7	43 6.3	38 5.6	124 18.2	9 1.3	120 17.6
知的障害	33 15.9	80 38.6	65 31.4	4 1.9	31 15.0	6 2.9	22 10.6
精神障害	26 12.3	103 48.6	48 22.6	7 3.3	39 18.4	6 2.8	12 5.7
難病	35 21.2	54 32.7	22 13.3	9 5.5	32 19.4	4 2.4	24 14.5
無回答	- -	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	- -	5 62.5

# 【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ
全 体	1,027 100.0	395 38.5	206 20.1	184 17.9	370 36.0	261 25.4	238 23.2
18～39歳	196 100.0	113 57.7	66 33.7	72 36.7	109 55.6	66 33.7	93 47.4
40～64歳	308 100.0	126 40.9	61 19.8	52 16.9	122 39.6	98 31.8	80 26.0
65～74歳	199 100.0	63 31.7	29 14.6	22 11.1	63 31.7	45 22.6	31 15.6
75歳以上	307 100.0	88 28.7	46 15.0	35 11.4	72 23.5	50 16.3	30 9.8
無回答	17 100.0	5 29.4	4 23.5	3 17.6	4 23.5	2 11.8	4 23.5

	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	178 17.3	379 36.9	139 13.5	49 4.8	178 17.3	20 1.9	147 14.3
18～39歳	39 19.9	108 55.1	74 37.8	4 2.0	17 8.7	6 3.1	7 3.6
40～64歳	54 17.5	132 42.9	39 12.7	10 3.2	53 17.2	7 2.3	19 6.2
65～74歳	40 20.1	74 37.2	10 5.0	15 7.5	41 20.6	2 1.0	28 14.1
75歳以上	43 14.0	62 20.2	14 4.6	19 6.2	67 21.8	4 1.3	85 27.7
無回答	2 11.8	3 17.6	2 11.8	1 5.9	- -	1 5.9	8 47.1

【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ
全 体	1,135 100.0	434 38.2	266 23.4	198 17.4	445 39.2	281 24.8	277 24.4
身体障害	772 100.0	246 31.9	139 18.0	88 11.4	273 35.4	161 20.9	146 18.9
知的障害	226 100.0	117 51.8	69 30.5	71 31.4	110 48.7	66 29.2	84 37.2
精神障害	231 100.0	109 47.2	77 33.3	55 23.8	94 40.7	71 30.7	70 30.3
難病	224 100.0	69 30.8	45 20.1	28 12.5	71 31.7	44 19.6	50 22.3
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3

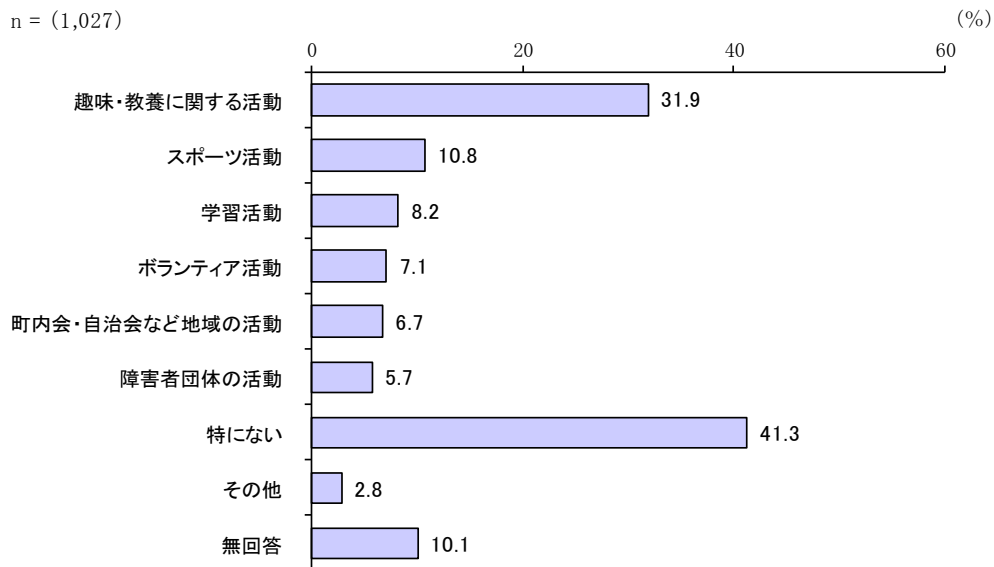
  

	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	188 16.6	408 35.9	177 15.6	34 3.0	191 16.8	30 2.6	138 12.2
身体障害	136 17.6	256 33.2	63 8.2	25 3.2	148 19.2	18 2.3	122 15.8
知的障害	27 11.9	72 31.9	84 37.2	9 4.0	29 12.8	9 4.0	18 8.0
精神障害	34 14.7	113 48.9	52 22.5	4 1.7	30 13.0	9 3.9	12 5.2
難病	31 13.8	71 31.7	21 9.4	6 2.7	44 19.6	7 3.1	36 16.1
無回答	1 14.3	1 14.3	— —	— —	1 14.3	— —	1 14.3

問 51 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(〇はいくつでも)

「特にない」が41.3%で最も多く、以下「趣味・教養に関する活動」が31.9%、「スポーツ活動」が10.8%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「趣味・教養に関する活動」、「学習活動」、「スポーツ活動」の割合が、年齢が高くなるにつれ「特にない」の割合が高くなる傾向がみられます。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町内会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	328 31.9	84 8.2	111 10.8	73 7.1	59 5.7	69 6.7	424 41.3	29 2.8	104 10.1
身体障害	683 100.0	197 28.8	43 6.3	59 8.6	51 7.5	35 5.1	53 7.8	291 42.6	16 2.3	81 11.9
知的障害	207 100.0	70 33.8	14 6.8	31 15.0	10 4.8	23 11.1	8 3.9	82 39.6	10 4.8	17 8.2
精神障害	212 100.0	84 39.6	35 16.5	29 13.7	19 9.0	16 7.5	12 5.7	77 36.3	8 3.8	12 5.7
難病	165 100.0	38 23.0	12 7.3	24 14.5	8 4.8	10 6.1	7 4.2	78 47.3	5 3.0	23 13.9
無回答	8 100.0	2 25.0	-	-	-	-	-	2 25.0	-	4 50.0

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町内会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	328 31.9	84 8.2	111 10.8	73 7.1	59 5.7	69 6.7	424 41.3	29 2.8	104 10.1
18～39歳	196 100.0	87 44.4	28 14.3	40 20.4	13 6.6	15 7.7	5 2.6	67 34.2	9 4.6	7 3.6
40～64歳	308 100.0	122 39.6	37 12.0	37 12.0	25 8.1	27 8.8	20 6.5	113 36.7	10 3.2	18 5.8
65～74歳	199 100.0	49 24.6	7 3.5	13 6.5	18 9.0	8 4.0	15 7.5	98 49.2	5 2.5	20 10.1
75歳以上	307 100.0	67 21.8	11 3.6	20 6.5	15 4.9	8 2.6	29 9.4	142 46.3	5 1.6	52 16.9
無回答	17 100.0	3 17.6	1 5.9	1 5.9	2 11.8	1 5.9	-	4 23.5	-	7 41.2

## (9) 運動やスポーツについて

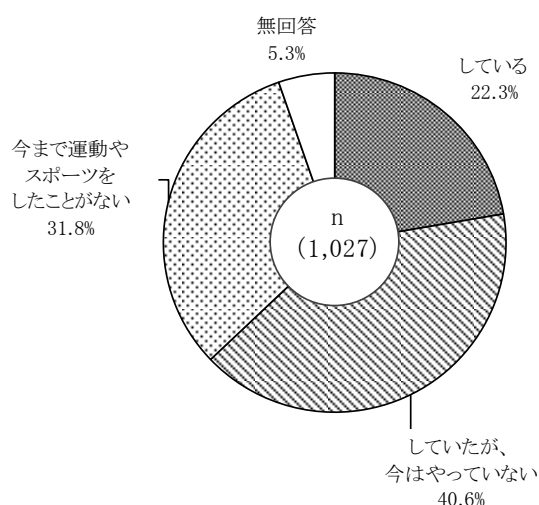
問 52 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)(○は1つ)

「していたが、今はやっていない」が40.6%で最も多く、以下「今まで運動やスポーツをしたことがない」が31.8%、「している」が22.3%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、40～64歳で「していたが、今はやっていない」の割合が高く、4割半ばとなっています。また、18～39歳で「している」の割合が高く、約3割となっています。

男女別でみると、女性で「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、知的障害のある方では、「していたが、今はやっていない」の割合が増加しています。



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	1,027 100.0	229 22.3	417 40.6	327 31.8	54 5.3
身体障害	683 100.0	147 21.5	272 39.8	223 32.7	41 6.0
知的障害	207 100.0	55 26.6	72 34.8	70 33.8	10 4.8
精神障害	212 100.0	47 22.2	93 43.9	65 30.7	7 3.3
難病	165 100.0	30 18.2	63 38.2	58 35.2	14 8.5
無回答	8 100.0	-	2 25.0	4 50.0	2 25.0

### 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	1,027 100.0	229 22.3	417 40.6	327 31.8	54 5.3
男性	542 100.0	133 24.5	236 43.5	149 27.5	24 4.4
女性	480 100.0	95 19.8	180 37.5	177 36.9	28 5.8
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	1,027 100.0	229 22.3	417 40.6	327 31.8	54 5.3
18～39歳	196 100.0	57 29.1	79 40.3	57 29.1	3 1.5
40～64歳	308 100.0	60 19.5	141 45.8	100 32.5	7 2.3
65～74歳	199 100.0	38 19.1	78 39.2	73 36.7	10 5.0
75歳以上	307 100.0	70 22.8	114 37.1	93 30.3	30 9.8
無回答	17 100.0	4 23.5	5 29.4	4 23.5	4 23.5

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

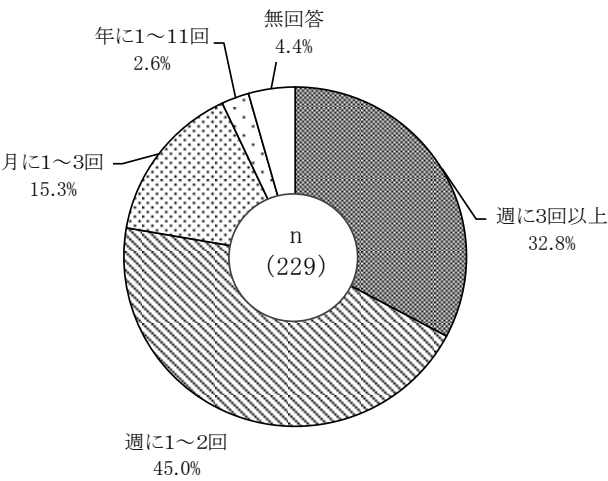
	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	1,135 100.0	230 20.3	476 41.9	361 31.8	68 6.0
身体障害	772 100.0	134 17.4	336 43.5	243 31.5	59 7.6
知的障害	226 100.0	62 27.4	63 27.9	92 40.7	9 4.0
精神障害	231 100.0	47 20.3	111 48.1	65 28.1	8 3.5
難病	224 100.0	36 16.1	98 43.8	77 34.4	13 5.8
無回答	7 100.0	1 14.3	2 28.6	4 57.1	- -

問 53 【問 52 で「している」に○をつけた方におたずねします。】  
 あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)

「週に1～2回」が45.0%で最も多く、以下「週に3回以上」が32.8%、「月に1～3回」が15.3%となっています。

男女別でみると、男性で「月に1～3回」、女性で「週に1～2回」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「週に3回以上」の割合が高くなっています。また、他に比べ、18～39 歳、40～64 歳で「月に1～3回」の割合が高く、約2割となっています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %						
	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	229 100.0	75 32.8	103 45.0	35 15.3	6 2.6	10 4.4
身体障害	147 100.0	58 39.5	66 44.9	16 10.9	2 1.4	5 3.4
知的障害	55 100.0	13 23.6	22 40.0	15 27.3	3 5.5	2 3.6
精神障害	47 100.0	11 23.4	22 46.8	7 14.9	2 4.3	5 10.6
難病	30 100.0	7 23.3	16 53.3	7 23.3	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-

【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	229 100.0	75 32.8	103 45.0	35 15.3	6 2.6	10 4.4
男性	133 100.0	44 33.1	56 42.1	24 18.0	4 3.0	5 3.8
女性	95 100.0	30 31.6	47 49.5	11 11.6	2 2.1	5 5.3
無回答	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —

【年齢別】

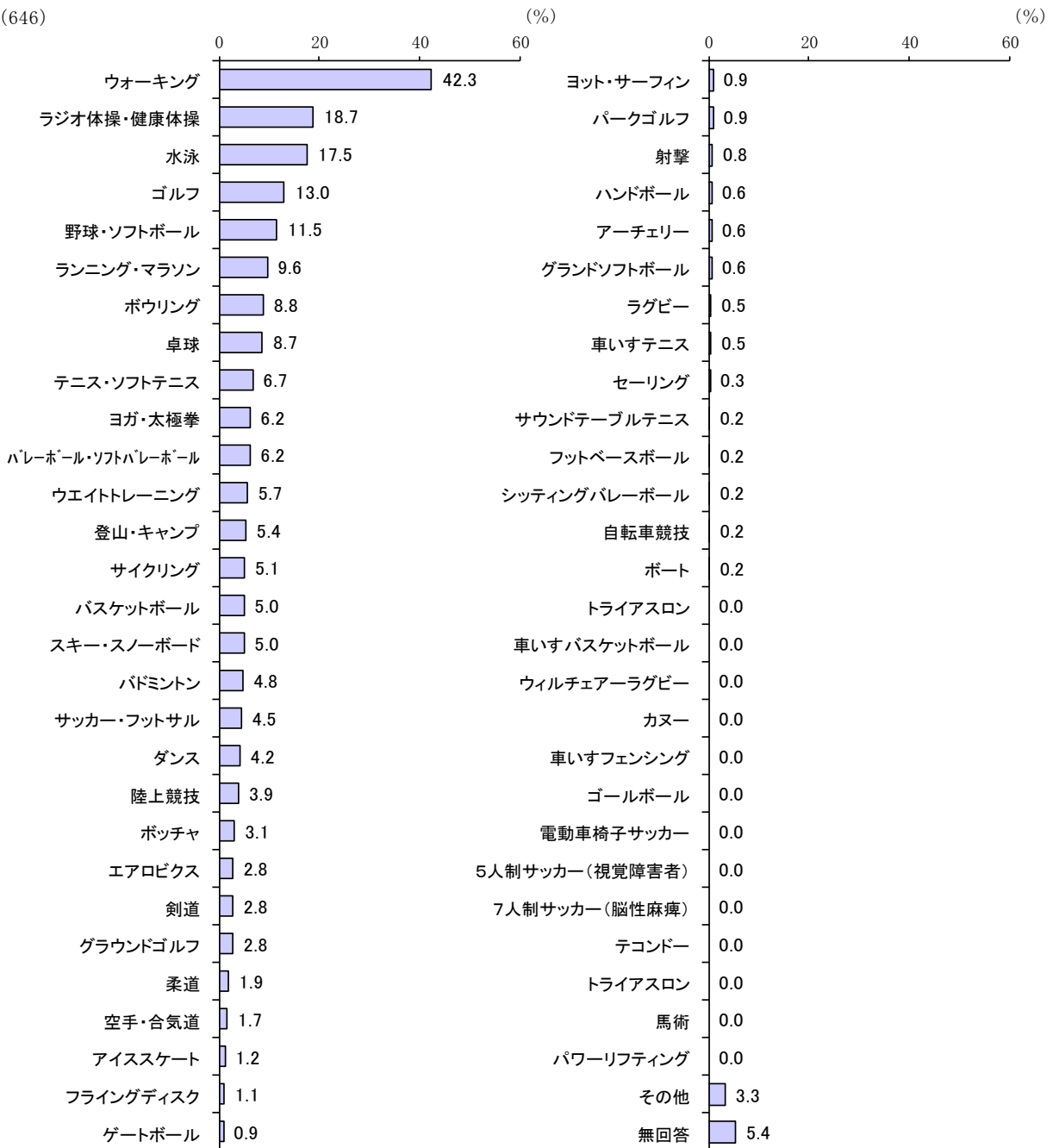
単位 上段:件、下段:%

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	229 100.0	75 32.8	103 45.0	35 15.3	6 2.6	10 4.4
18～39歳	57 100.0	11 19.3	30 52.6	11 19.3	4 7.0	1 1.8
40～64歳	60 100.0	17 28.3	25 41.7	14 23.3	2 3.3	2 3.3
65～74歳	38 100.0	14 36.8	21 55.3	2 5.3	— —	1 2.6
75歳以上	70 100.0	31 44.3	26 37.1	8 11.4	— —	5 7.1
無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	— —	— —	1 25.0

問 54 【問 52 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○  
をつけた方におたずねします。】  
あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「ウォーキング」が 42.3%で最も多く、以下「ラジオ体操・健康体操」が 18.7%、「水泳」が 17.5%となっています。

n = (646)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	ラジオ体操・健康体操	ヨガ・太極拳	ウエイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	ラグビー	バスケットボール	陸上競技
全 体	646 100.0	273 42.3	62 9.6	121 18.7	40 6.2	37 5.7	27 4.2	18 2.8	113 17.5	84 13.0	74 11.5	29 4.5	3 0.5	32 5.0	25 3.9
身体障害	419 100.0	194 46.3	25 6.0	82 19.6	23 5.5	23 5.5	19 4.5	10 2.4	66 15.8	79 18.9	49 11.7	13 3.1	2 0.5	8 1.9	12 2.9
知的障害	127 100.0	38 29.9	25 19.7	24 18.9	3 2.4	5 3.9	9 7.1	7 5.5	28 22.0	2 1.6	17 13.4	13 10.2	-	17 13.4	6 4.7
精神障害	140 100.0	55 39.3	15 10.7	25 17.9	14 10.0	11 7.9	1 0.7	2 1.4	27 19.3	6 4.3	13 9.3	7 5.0	1 0.7	10 7.1	7 5.0
難病	93 100.0	38 40.9	5 5.4	13 14.0	3 3.2	2 2.2	3 3.2	2 2.2	15 16.1	17 18.3	15 16.1	2 2.2	1 1.1	1 1.1	4 4.3
無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	バレーボール・ソフトバレーボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道	剣道	空手・合気道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング
全 体	40 6.2	4 0.6	43 6.7	31 4.8	56 8.7	8 1.2	32 5.0	12 1.9	18 2.8	11 1.7	6 0.9	57 8.8	18 2.8	35 5.4	33 5.1
身体障害	26 6.2	1 0.2	31 7.4	17 4.1	35 8.4	5 1.2	20 4.8	10 2.4	10 2.4	6 1.4	4 1.0	32 7.6	14 3.3	26 6.2	20 4.8
知的障害	3 2.4	2 1.6	3 2.4	7 5.5	6 4.7	3 2.4	2 1.6	-	2 1.6	2 1.6	2 1.6	19 15.0	2 1.6	5 3.9	9 7.1
精神障害	15 10.7	2 1.4	12 8.6	11 7.9	19 13.6	2 1.4	12 8.6	3 2.1	8 5.7	4 2.9	-	13 9.3	2 1.4	4 2.9	4 2.9
難病	5 5.4	1 1.1	8 8.6	4 4.3	10 10.8	1 1.1	5 5.4	1 1.1	1 1.1	-	2 2.2	11 11.8	2 2.2	5 5.4	4 4.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-

	ヨット・サーフィン	トライアスロン	パークゴルフ	アーチェリー	グラウンドソフトボール	車いすバスケットボール	サウンドテابلテニス	フットベースボール	フライングディスク	ウィルチェアーラグビー	カヌー	車いすテニス	車いすフェンシング	ゴールボール	電動車椅子サッカー
全 体	6 0.9	-	6 0.9	4 0.6	4 0.6	-	1 0.2	1 0.2	7 1.1	-	-	3 0.5	-	-	-
身体障害	5 1.2	-	4 1.0	4 1.0	2 0.5	-	-	-	2 0.5	-	-	3 0.7	-	-	-
知的障害	-	-	1 0.8	-	2 1.6	-	-	1 0.8	5 3.9	-	-	1 0.8	-	-	-
精神障害	1 0.7	-	1 0.7	-	2 1.4	-	1 0.7	1 0.7	2 1.4	-	-	1 0.7	-	-	-
難病	3 3.2	-	2 2.2	1 1.1	-	-	-	-	1 1.1	-	-	1 1.1	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

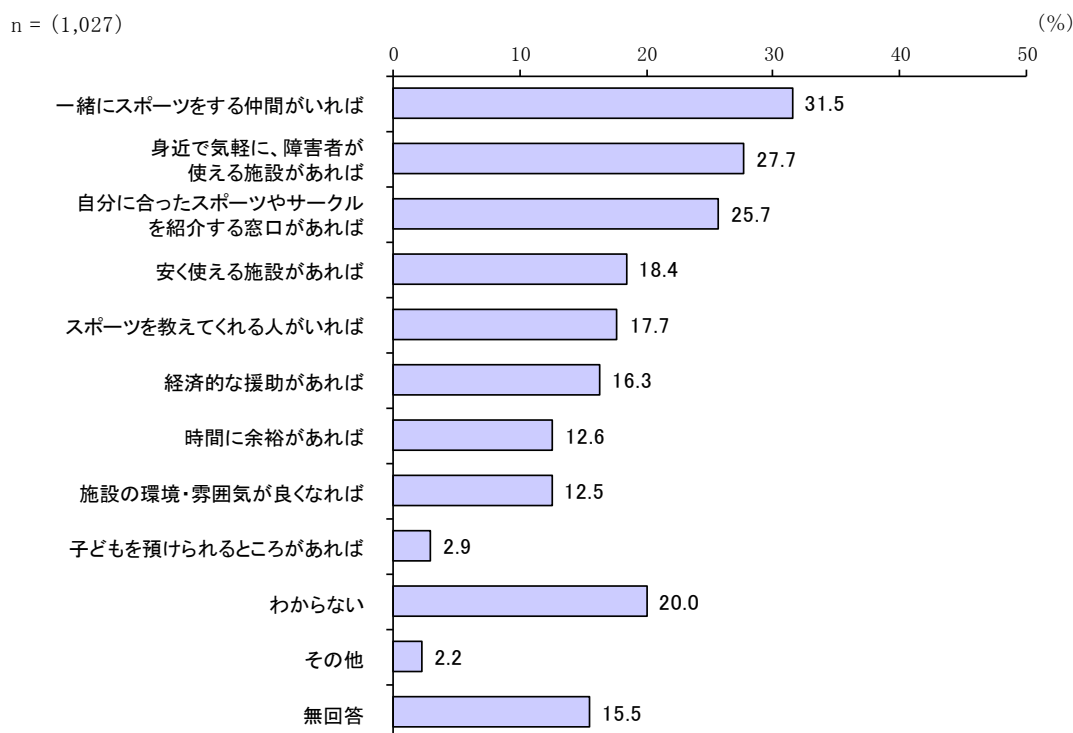
	5人制サッカー(視覚障害者)	7人制サッカー(脳性麻痺)	シットティングバレーボール	自転車競技	射撃	セーリング	テコンドー	トライアスロン	馬術	パワーリフティング	ボート	ボッチャ	その他	無回答
全 体	-	-	1 0.2	1 0.2	5 0.8	2 0.3	-	-	-	-	1 0.2	20 3.1	21 3.3	35 5.4
身体障害	-	-	-	1 0.2	5 1.2	2 0.5	-	-	-	-	1 0.2	11 2.6	10 2.4	21 5.0
知的障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8 6.3	5 3.9	7 5.5
精神障害	-	-	1 0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	6 4.3	8 5.7	7 5.0
難病	-	-	-	-	-	2 2.2	-	-	-	-	-	2 2.2	5 5.4	4 4.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0

**問 55 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**

「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が31.5%で最も多く、以下「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が27.7%、「自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば」が25.7%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「一緒にスポーツをする仲間がいれば」、「スポーツを教えてくれる人がいれば」、「自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば」、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」、「施設の環境・雰囲気が良くなれば」、「時間に余裕があれば」、「経済的な援助があれば」の割合が高くなる傾向がみられます。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」、「安く使える施設があれば」の割合が減少しています。また、難病のある方では、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	一緒にスポーツをする仲間がいれば	スポーツを教える人がいれば	自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば	子どもを預けられるところがあれば	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	施設の環境・雰囲気が良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	324 31.5	182 17.7	264 25.7	30 2.9	284 27.7	189 18.4	128 12.5	129 12.6	167 16.3	205 20.0	23 2.2	159 15.5
身体障害	683 100.0	191 28.0	89 13.0	173 25.3	12 1.8	176 25.8	119 17.4	68 10.0	72 10.5	96 14.1	135 19.8	12 1.8	129 18.9
知的障害	207 100.0	87 42.0	70 33.8	59 28.5	8 3.9	80 38.6	40 19.3	31 15.0	27 13.0	25 12.1	36 17.4	8 3.9	22 10.6
精神障害	212 100.0	79 37.3	42 19.8	52 24.5	12 5.7	54 25.5	44 20.8	39 18.4	41 19.3	56 26.4	51 24.1	5 2.4	14 6.6
難病	165 100.0	45 27.3	29 17.6	40 24.2	3 1.8	41 24.8	22 13.3	17 10.3	19 11.5	23 13.9	41 24.8	4 2.4	32 19.4
無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	— —	1 12.5	1 12.5	— —	— —	1 12.5	— —	— —	6 75.0

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	一緒にスポーツをする仲間がいれば	スポーツを教える人がいれば	自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば	子どもを預けられるところがあれば	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	施設の環境・雰囲気が良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	324 31.5	182 17.7	264 25.7	30 2.9	284 27.7	189 18.4	128 12.5	129 12.6	167 16.3	205 20.0	23 2.2	159 15.5
18～39歳	196 100.0	102 52.0	65 33.2	65 33.2	15 7.7	66 33.7	49 25.0	37 18.9	42 21.4	42 21.4	24 12.2	9 4.6	7 3.6
40～64歳	308 100.0	99 32.1	57 18.5	85 27.6	10 3.2	98 31.8	66 21.4	45 14.6	51 16.6	64 20.8	66 21.4	4 1.3	29 9.4
65～74歳	199 100.0	45 22.6	20 10.1	52 26.1	3 1.5	43 21.6	24 12.1	21 10.6	12 6.0	26 13.1	47 23.6	3 1.5	41 20.6
75歳以上	307 100.0	73 23.8	36 11.7	60 19.5	2 0.7	73 23.8	47 15.3	21 6.8	22 7.2	32 10.4	66 21.5	6 2.0	77 25.1
無回答	17 100.0	5 29.4	4 23.5	2 11.8	— —	4 23.5	3 17.6	4 23.5	2 11.8	3 17.6	2 11.8	1 5.9	5 29.4

【平成 28 年度調査】

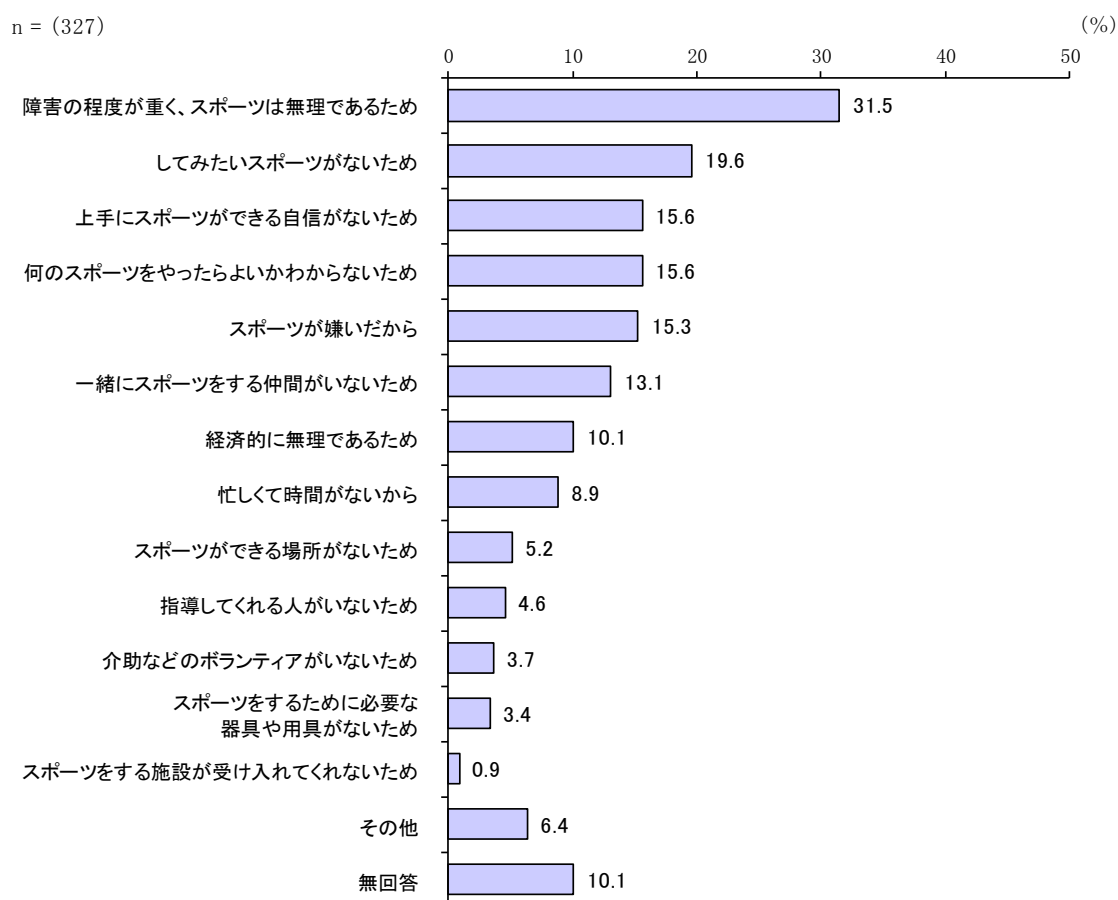
単位 上段:件、下段:%

	調査数	一緒に スポー ツをする 仲間が いれば	スポー ツを教え てくれる 人がい れば	自分 に合っ たスポ ーツや サーク ルを紹 介する 窓口が あれば	子ども を預け られる ところ があれば	身近で 気軽に、 障害者 が使い える施 設があ れば	安く使 える施 設があ れば	施設の 環境・ 雰囲 気が良 くなれ ば	時間 に余 裕があ れば	経済 的な 援助 があ れば	わか らな い	その他	無回答
全 体	1,135 100.0	330 29.1	227 20.0		30 2.6	581 51.2	334 29.4	169 14.9	143 12.6	189 16.7	204 18.0	42 3.7	127 11.2
身体障害	772 100.0	183 23.7	111 14.4		15 1.9	377 48.8	206 26.7	88 11.4	74 9.6	103 13.3	149 19.3	28 3.6	110 14.2
知的障害	226 100.0	85 37.6	88 38.9		5 2.2	135 59.7	66 29.2	36 15.9	30 13.3	29 12.8	40 17.7	5 2.2	14 6.2
精神障害	231 100.0	87 37.7	50 21.6		10 4.3	118 51.1	90 39.0	59 25.5	50 21.6	69 29.9	37 16.0	11 4.8	13 5.6
難病	224 100.0	47 21.0	32 14.3		6 2.7	123 54.9	68 30.4	23 10.3	21 9.4	44 19.6	42 18.8	8 3.6	27 12.1
無回答	7 100.0	1 14.3	-		-	2 28.6	-	-	-	1 14.3	3 42.9	-	1 14.3

問 56 【問 52 で「今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたがスポーツをしない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が 31.5%で最も多く、以下「してみたいスポーツがないため」が 19.6%、「上手にスポーツができる自信がないため」、「何のスポーツをやったらよいかわからないため」が 15.6%となっています。

身体障害の種類別でみると、他に比べ、肢体不自由で「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」の割合が高く、4 割半ばとなっています。また、聴覚・平衡機能障害で「してみたいスポーツがないため」の割合が高く、4 割となっています。



# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため
全 体	327 100.0	17 5.2	3 0.9	15 4.6	51 15.6	11 3.4	33 10.1	43 13.1
身体障害	223 100.0	10 4.5	2 0.9	4 1.8	21 9.4	5 2.2	19 8.5	17 7.6
知的障害	70 100.0	5 7.1	1 1.4	9 12.9	14 20.0	3 4.3	4 5.7	17 24.3
精神障害	65 100.0	3 4.6	— —	2 3.1	19 29.2	2 3.1	12 18.5	12 18.5
難病	58 100.0	4 6.9	1 1.7	3 5.2	7 12.1	2 3.4	4 6.9	3 5.2
無回答	4 100.0	1 25.0	— —	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0

	介助などのボランティアがないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
全 体	12 3.7	103 31.5	51 15.6	64 19.6	50 15.3	29 8.9	21 6.4	33 10.1
身体障害	9 4.0	86 38.6	22 9.9	34 15.2	26 11.7	18 8.1	15 6.7	26 11.7
知的障害	5 7.1	21 30.0	19 27.1	10 14.3	10 14.3	7 10.0	5 7.1	6 8.6
精神障害	— —	9 13.8	13 20.0	22 33.8	16 24.6	6 9.2	3 4.6	6 9.2
難病	3 5.2	21 36.2	7 12.1	9 15.5	5 8.6	1 1.7	3 5.2	8 13.8
無回答	— —	— —	1 25.0	2 50.0	— —	1 25.0	— —	— —

# 【身体障害の種類別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため
全 体	223 100.0	10 4.5	2 0.9	4 1.8	21 9.4	5 2.2	19 8.5	17 7.6
肢体不自由	136 100.0	7 5.1	— —	2 1.5	13 9.6	3 2.2	10 7.4	9 6.6
音声・言語・そしゃく機能障害	19 100.0	— —	— —	— —	1 5.3	— —	2 10.5	2 10.5
視覚障害	13 100.0	1 7.7	1 7.7	— —	1 7.7	— —	2 15.4	1 7.7
聴覚・平衡機能障害	10 100.0	— —	— —	— —	1 10.0	— —	1 10.0	1 10.0
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	65 100.0	2 3.1	1 1.5	2 3.1	8 12.3	2 3.1	5 7.7	6 9.2
無回答	7 100.0	1 14.3	— —	— —	2 28.6	1 14.3	— —	— —

	介助などのボランティアがないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
全 体	9 4.0	86 38.6	22 9.9	34 15.2	26 11.7	18 8.1	15 6.7	26 11.7
肢体不自由	7 5.1	60 44.1	12 8.8	20 14.7	17 12.5	8 5.9	9 6.6	15 11.0
音声・言語・そしゃく機能障害	— —	6 31.6	1 5.3	4 21.1	3 15.8	3 15.8	1 5.3	3 15.8
視覚障害	2 15.4	3 23.1	1 7.7	2 15.4	2 15.4	— —	2 15.4	— —
聴覚・平衡機能障害	1 10.0	2 20.0	— —	4 40.0	2 20.0	1 10.0	— —	— —
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	— —	24 36.9	9 13.8	13 20.0	6 9.2	4 6.2	3 4.6	11 16.9
無回答	— —	2 28.6	— —	— —	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3

# 【性別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため
全 体	327 100.0	17 5.2	3 0.9	15 4.6	51 15.6	11 3.4	33 10.1	43 13.1
男性	149 100.0	7 4.7	1 0.7	8 5.4	25 16.8	5 3.4	15 10.1	20 13.4
女性	177 100.0	9 5.1	2 1.1	6 3.4	26 14.7	5 2.8	17 9.6	23 13.0
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	- -

	介助などのボランティアがないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
全 体	12 3.7	103 31.5	51 15.6	64 19.6	50 15.3	29 8.9	21 6.4	33 10.1
男性	6 4.0	39 26.2	29 19.5	30 20.1	18 12.1	14 9.4	7 4.7	15 10.1
女性	5 2.8	64 36.2	22 12.4	34 19.2	32 18.1	15 8.5	14 7.9	18 10.2
無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

# 【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため
全 体	327 100.0	17 5.2	3 0.9	15 4.6	51 15.6	11 3.4	33 10.1	43 13.1
18～39歳	57 100.0	3 5.3	1 1.8	7 12.3	11 19.3	- -	4 7.0	13 22.8
40～64歳	100 100.0	7 7.0	- -	4 4.0	24 24.0	5 5.0	16 16.0	17 17.0
65～74歳	73 100.0	2 2.7	1 1.4	2 2.7	7 9.6	2 2.7	4 5.5	8 11.0
75歳以上	93 100.0	4 4.3	1 1.1	1 1.1	8 8.6	3 3.2	8 8.6	3 3.2
無回答	4 100.0	1 25.0	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0

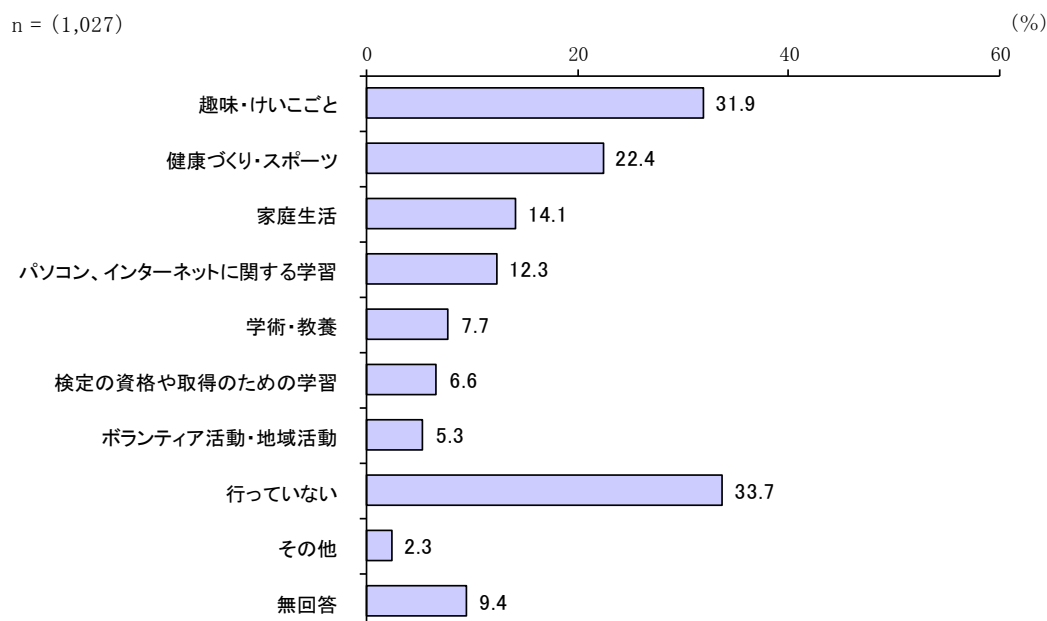
	介助などのボランティアがないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
全 体	12 3.7	103 31.5	51 15.6	64 19.6	50 15.3	29 8.9	21 6.4	33 10.1
18～39歳	4 7.0	16 28.1	18 31.6	11 19.3	9 15.8	8 14.0	6 10.5	1 1.8
40～64歳	2 2.0	26 26.0	11 11.0	23 23.0	19 19.0	13 13.0	2 2.0	9 9.0
65～74歳	4 5.5	25 34.2	11 15.1	15 20.5	13 17.8	3 4.1	4 5.5	9 12.3
75歳以上	1 1.1	35 37.6	10 10.8	15 16.1	9 9.7	5 5.4	9 9.7	14 15.1
無回答	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -

## (10) 趣味や教養などの生涯学習活動について

問 57 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。  
あなたが行っている(行っていた)活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「行っていない」が 33.7%で最も多く、以下「趣味・けいごと（音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など）」が 31.9%、「健康づくり・スポーツ（ウォーキング、水泳、武道など）」が 22.4%となっています。

男女別でみると、男性で「行っていない」の割合が高くなっています。また、女性で「趣味・けいごと」が最も多く、以下「行っていない」、「家庭生活」となっています。



### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	趣味・けいごと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)	学術・教養(文学、歴史、経済、語学など)	健康づくり・スポーツ(ウォーキング、水泳、武道など)	家庭生活(料理、手芸など)	検定の資格や取得のための学習	パソコン、インターネットに関する学習	ボランティア活動・地域活動(子ども会、青少年団体、美化活動など)	行っていない	その他	無回答
全 体	1,027	328	79	230	145	68	126	54	346	24	97
	100.0	31.9	7.7	22.4	14.1	6.6	12.3	5.3	33.7	2.3	9.4
身体障害	683	217	49	155	105	29	78	42	215	18	73
	100.0	31.8	7.2	22.7	15.4	4.2	11.4	6.1	31.5	2.6	10.7
知的障害	207	50	7	37	15	8	12	2	97	5	15
	100.0	24.2	3.4	17.9	7.2	3.9	5.8	1.0	46.9	2.4	7.2
精神障害	212	84	27	50	38	33	44	13	71	2	13
	100.0	39.6	12.7	23.6	17.9	15.6	20.8	6.1	33.5	0.9	6.1
難病	165	35	10	27	16	4	11	6	66	6	24
	100.0	21.2	6.1	16.4	9.7	2.4	6.7	3.6	40.0	3.6	14.5
無回答	8	-	-	-	-	1	-	-	3	-	4
	100.0	-	-	-	-	12.5	-	-	37.5	-	50.0

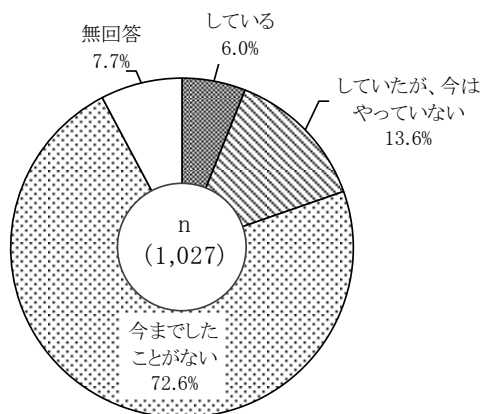
# 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	趣味・けい ここと(音 楽、ダン ス、園芸、 読書、書 道、絵画、 写真など)	学術・教養 (文学、歴 史、経済、 語学など)	健康づく り・スポー ツ(ウォー キング、水 泳、武道な ど)	家庭生活 (料理、手 芸など)	検定の資 格や取得 のための 学習	パソコン、 インター ネットに関 する学習	ボランティ ア活動・地 域活動(子 ども会、青 少年団体、 美化活動 など)	行っていな い	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	328 31.9	79 7.7	230 22.4	145 14.1	68 6.6	126 12.3	54 5.3	346 33.7	24 2.3	97 9.4
男性	542 100.0	145 26.8	44 8.1	129 23.8	33 6.1	33 6.1	80 14.8	22 4.1	205 37.8	9 1.7	49 9.0
女性	480 100.0	182 37.9	35 7.3	100 20.8	112 23.3	35 7.3	46 9.6	32 6.7	141 29.4	15 3.1	45 9.4
無回答	5 100.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-	3 60.0

問 58 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)(○は1つ)

「今までしたことがない」が 72.6%で最も多く、以下「していたが、今はやっていない」が 13.6%となっています。



# 【障害種別】

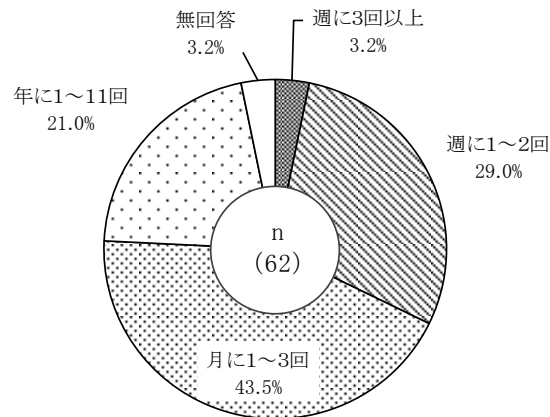
単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今は やっていない	今までしたことが ない	無回答
全 体	1,027 100.0	62 6.0	140 13.6	746 72.6	79 7.7
身体障害	683 100.0	53 7.8	109 16.0	460 67.3	61 8.9
知的障害	207 100.0	7 3.4	13 6.3	173 83.6	14 6.8
精神障害	212 100.0	9 4.2	19 9.0	174 82.1	10 4.7
難病	165 100.0	10 6.1	22 13.3	112 67.9	21 12.7
無回答	8 100.0	-	1 12.5	4 50.0	3 37.5

問 59 【問 58 で「している」と回答した方におたずねします。】

あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。(○は1つ)

「月に1～3回」が 43.5%で最も多く、以下「週に1～2回」が 29.0%、「年に1～11回」が 21.0%となっています。



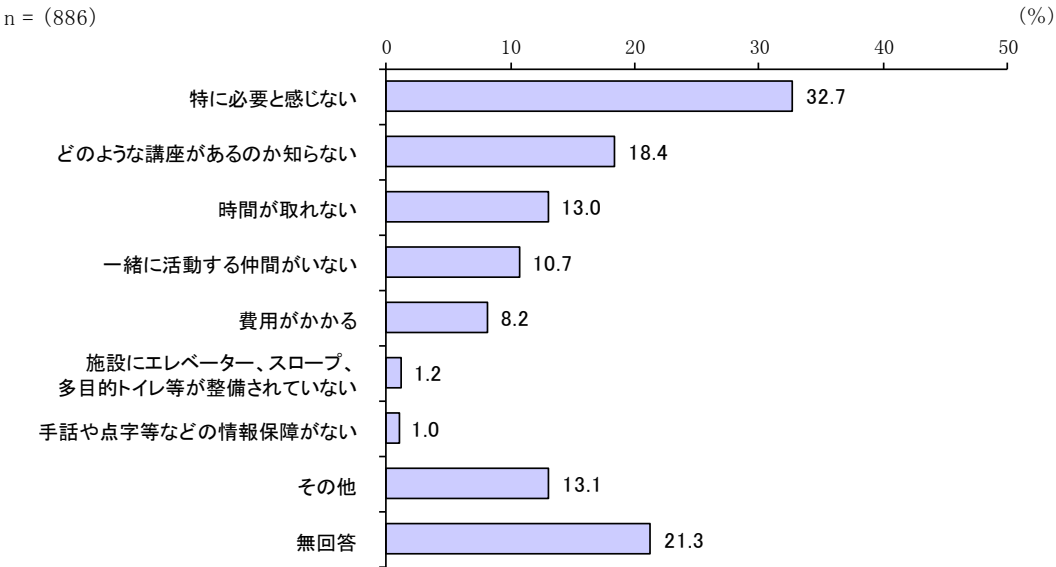
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	62 100.0	2 3.2	18 29.0	27 43.5	13 21.0	2 3.2
身体障害	53 100.0	1 1.9	16 30.2	24 45.3	11 20.8	1 1.9
知的障害	7 100.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	2 28.6	—
精神障害	9 100.0	1 11.1	1 11.1	4 44.4	2 22.2	1 11.1
難病	10 100.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0
無回答	—	—	—	—	—	—

問 60 【問 58 で「2. していたが今はやっていない」または「3. 今までしたことがない」と回答した方におたずねします。】  
 あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

「特に必要と感じない」が 32.7%で最も多く、以下「どのような講座があるのか知らない」が 18.4%、「時間が取れない」が 13.0%となっています。



【障害種別】

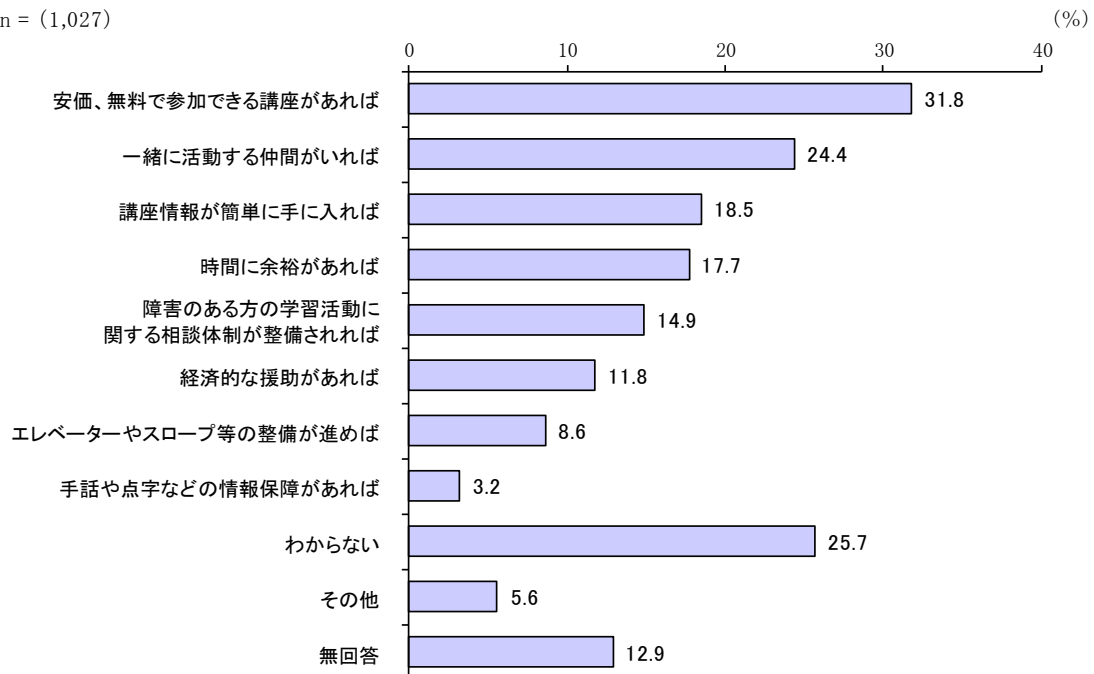
単位 上段:件、下段:%

	調査数	時間が取れない	一緒に活動する仲間がいない	費用がかかる	施設にエレベーター、スロープ、多目的トイレ等が整備されていない	手話や点字などの情報保障がない	どのような講座があるのか知らない	特に必要と感じない	その他	無回答
全 体	886	115	95	73	11	9	163	290	116	189
	100.0	13.0	10.7	8.2	1.2	1.0	18.4	32.7	13.1	21.3
身体障害	569	73	49	36	10	7	88	196	77	125
	100.0	12.8	8.6	6.3	1.8	1.2	15.5	34.4	13.5	22.0
知的障害	186	27	29	10	-	-	40	51	31	39
	100.0	14.5	15.6	5.4	-	-	21.5	27.4	16.7	21.0
精神障害	193	23	27	31	1	2	45	57	21	39
	100.0	11.9	14.0	16.1	0.5	1.0	23.3	29.5	10.9	20.2
難病	134	17	15	10	2	-	27	38	23	28
	100.0	12.7	11.2	7.5	1.5	-	20.1	28.4	17.2	20.9
無回答	5	1	-	1	-	-	1	1	-	4
	100.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-	80.0

問 61 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「安価、無料で参加できる講座があれば」が 31.8%で最も多く、以下「わからない」が 25.7%、「一緒に活動する仲間がいれば」が 24.4%となっています。

n = (1,027)



#### 【障害種別】

単位 上段:件、下段: %

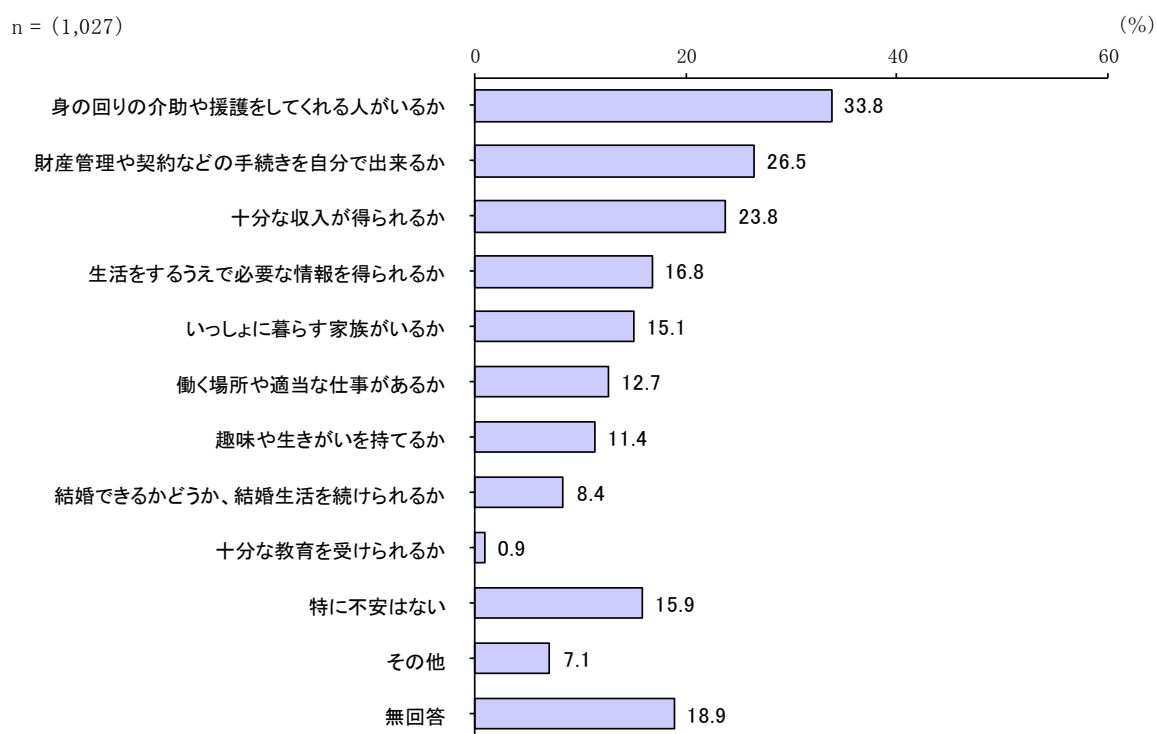
	調査数	時間に余裕があれば	一緒に活動する仲間がいれば	安価、無料で参加できる講座があれば	経済的な援助があれば	エレベーターやスロープ等の整備が進めば	手話や点字などの情報保障があれば	講座情報が簡単に手に入れば	障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば	わからない	その他	無回答
全 体	1,027	182	251	327	121	88	33	190	153	264	58	132
	100.0	17.7	24.4	31.8	11.8	8.6	3.2	18.5	14.9	25.7	5.6	12.9
身体障害	683	118	152	204	70	75	24	118	72	168	36	107
	100.0	17.3	22.3	29.9	10.2	11.0	3.5	17.3	10.5	24.6	5.3	15.7
知的障害	207	37	69	55	17	8	6	44	53	58	14	18
	100.0	17.9	33.3	26.6	8.2	3.9	2.9	21.3	25.6	28.0	6.8	8.7
精神障害	212	51	57	86	45	8	6	42	46	57	15	15
	100.0	24.1	26.9	40.6	21.2	3.8	2.8	19.8	21.7	26.9	7.1	7.1
難病	165	27	30	47	17	10	3	31	35	50	8	28
	100.0	16.4	18.2	28.5	10.3	6.1	1.8	18.8	21.2	30.3	4.8	17.0
無回答	8	-	2	1	1	-	-	-	-	1	-	5
	100.0	-	25.0	12.5	12.5	-	-	-	-	12.5	-	62.5

## (11) 将来について

問 62 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。  
(○はいくつでも)

「身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか」が 33.8%で最も多く、以下「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が 26.5%、「十分な収入が得られるか」が 23.8%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか」、「いっしょに暮らす家族がいるか」、「働く場所や適当な仕事があるか」、「十分な収入が得られるか」、「趣味や生きがいを持てるか」、「生活をするうえで必要な情報を得られるか」の割合が高くなっています。また、他に比べ、18～39 歳で「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」の割合が高く、6 割半ばとなっています。



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか	財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか	結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるか	いっしょに暮らす家族がいるか	十分な教育を受けられるか	働く場所や適当な仕事があるか	十分な収入が得られるか	趣味や生きがいを持てるか	生活をするうえで必要な情報を得られるか	特に不安はない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	347 33.8	272 26.5	86 8.4	155 15.1	9 0.9	130 12.7	244 23.8	117 11.4	173 16.8	163 15.9	73 7.1	194 18.9
身体障害	683 100.0	197 28.8	98 14.3	20 2.9	78 11.4	2 0.3	38 5.6	112 16.4	54 7.9	81 11.9	134 19.6	47 6.9	171 25.0
知的障害	207 100.0	117 56.5	126 60.9	31 15.0	54 26.1	5 2.4	47 22.7	70 33.8	30 14.5	65 31.4	10 4.8	17 8.2	14 6.8
精神障害	212 100.0	77 36.3	79 37.3	45 21.2	42 19.8	4 1.9	60 28.3	83 39.2	44 20.8	49 23.1	21 9.9	16 7.5	15 7.1
難病	165 100.0	68 41.2	35 21.2	11 6.7	30 18.2	2 1.2	15 9.1	37 22.4	17 10.3	26 15.8	24 14.5	8 4.8	30 18.2
無回答	8 100.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	2 25.0	-	1 12.5	-	-	5 62.5

## 【性 別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	身の回りの 介助や 援護をし てくれる 人がある か	財産管理 や契約な どの手続 きを自分 で出来る か	結婚でき るかどう か、結婚 生活を続 けられる か	いっしょ に暮らす 家族がい るか	十分な教 育を受け られるか	働く場所 や適当な 仕事があ るか	十分な収 入が得ら れるか	趣味や生 きがい を持てるか	生活をす るうえで 必要な情 報を得ら れるか	特に不安 はない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	347 33.8	272 26.5	86 8.4	155 15.1	9 0.9	130 12.7	244 23.8	117 11.4	173 16.8	163 15.9	73 7.1	194 18.9
男性	542 100.0	186 34.3	154 28.4	47 8.7	84 15.5	4 0.7	77 14.2	134 24.7	65 12.0	101 18.6	89 16.4	34 6.3	88 16.2
女性	480 100.0	159 33.1	117 24.4	38 7.9	71 14.8	5 1.0	53 11.0	110 22.9	51 10.6	71 14.8	74 15.4	38 7.9	104 21.7
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	— —	— —	— —	— —	1 20.0	1 20.0	— —	1 20.0	2 40.0

## 【年齢別】

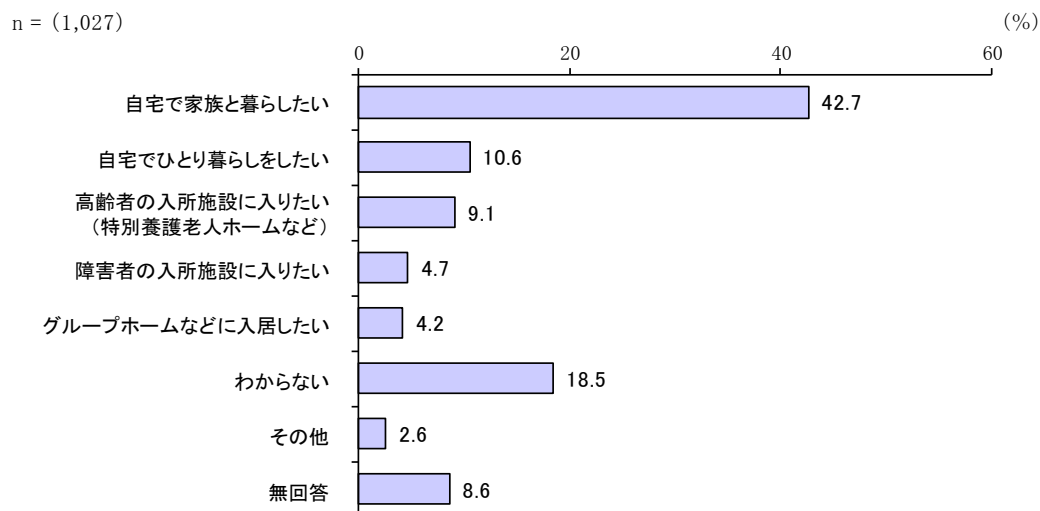
単位 上段:件、下段:%

	調査数	身の回りの 介助や 援護をし てくれる 人がある か	財産管理 や契約な どの手続 きを自分 で出来る か	結婚でき るかどう か、結婚 生活を続 けられる か	いっしょ に暮らす 家族がい るか	十分な教 育を受け られるか	働く場所 や適当な 仕事があ るか	十分な収 入が得ら れるか	趣味や生 きがい を持てるか	生活をす るうえで 必要な情 報を得ら れるか	特に不安 はない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	347 33.8	272 26.5	86 8.4	155 15.1	9 0.9	130 12.7	244 23.8	117 11.4	173 16.8	163 15.9	73 7.1	194 18.9
18～39歳	196 100.0	101 51.5	128 65.3	52 26.5	54 27.6	7 3.6	66 33.7	93 47.4	46 23.5	70 35.7	7 3.6	11 5.6	2 1.0
40～64歳	308 100.0	117 38.0	88 28.6	31 10.1	61 19.8	2 0.6	50 16.2	113 36.7	39 12.7	63 20.5	52 16.9	18 5.8	25 8.1
65～74歳	199 100.0	50 25.1	15 7.5	— —	16 8.0	— —	8 4.0	20 10.1	15 7.5	16 8.0	52 26.1	17 8.5	45 22.6
75歳以上	307 100.0	76 24.8	36 11.7	1 0.3	24 7.8	— —	4 1.3	15 4.9	15 4.9	20 6.5	52 16.9	26 8.5	115 37.5
無回答	17 100.0	3 17.6	5 29.4	2 11.8	— —	— —	2 11.8	3 17.6	2 11.8	4 23.5	— —	1 5.9	7 41.2

問 63 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

「自宅で家族と暮らしたい」が42.7%で最も多く、以下「わからない」が18.5%、「自宅でひとり暮らしをしたい」が10.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では、「自宅で家族と暮らしたい」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	439 42.7	109 10.6	43 4.2	48 4.7	93 9.1	190 18.5	27 2.6	88 8.6
身体障害	683 100.0	302 44.2	72 10.5	11 1.6	25 3.7	82 12.0	113 16.5	15 2.2	69 10.1
知的障害	207 100.0	76 36.7	20 9.7	32 15.5	25 12.1	4 1.9	31 15.0	8 3.9	15 7.2
精神障害	212 100.0	92 43.4	24 11.3	5 2.4	7 3.3	9 4.2	61 28.8	6 2.8	10 4.7
難病	165 100.0	67 40.6	15 9.1	4 2.4	10 6.1	23 13.9	32 19.4	3 1.8	12 7.3
無回答	8 100.0	3 37.5	-	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0

【性 別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	439 42.7	109 10.6	43 4.2	48 4.7	93 9.1	190 18.5	27 2.6	88 8.6
男性	542 100.0	234 43.2	50 9.2	24 4.4	26 4.8	48 8.9	104 19.2	12 2.2	46 8.5
女性	480 100.0	204 42.5	59 12.3	18 3.8	22 4.6	45 9.4	86 17.9	15 3.1	38 7.9
無回答	5 100.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	-	4 80.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：%

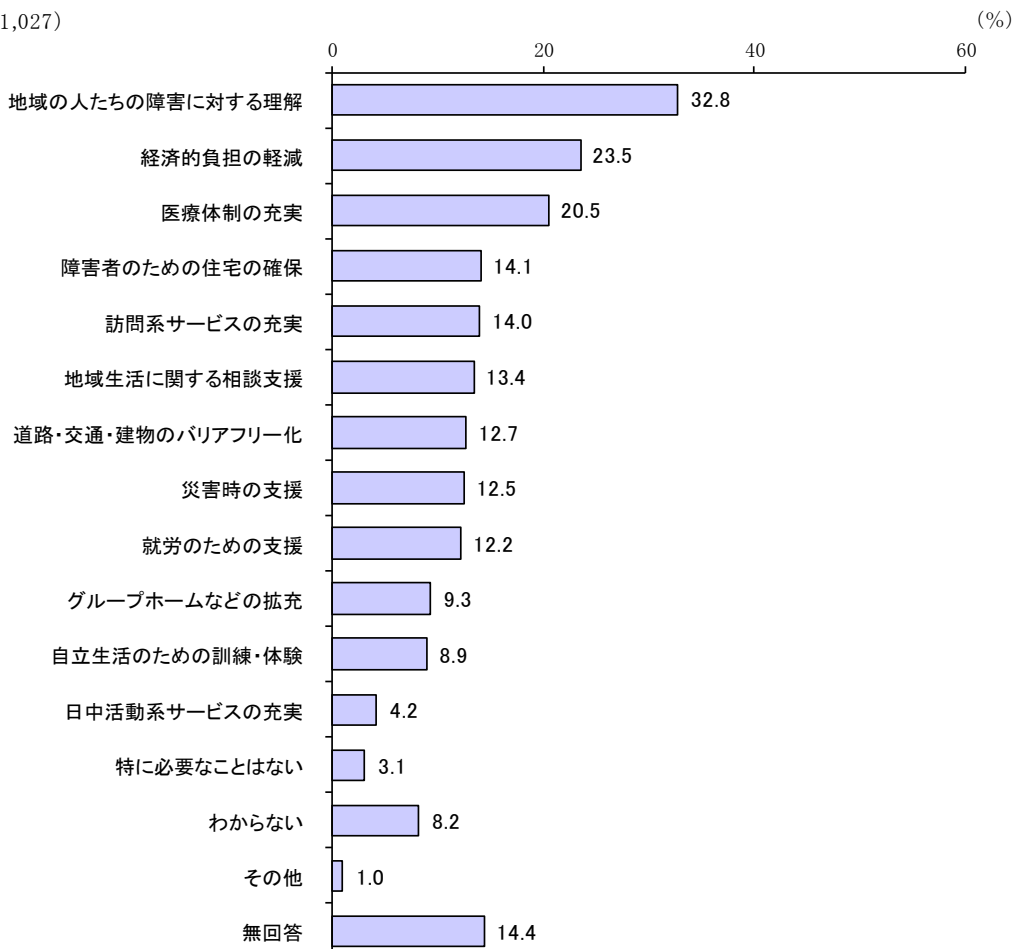
	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	1,135 100.0	538 47.4	127 11.2	63 5.6	59 5.2	97 8.5	161 14.2	26 2.3	64 5.6
身体障害	772 100.0	378 49.0	72 9.3	30 3.9	34 4.4	87 11.3	100 13.0	14 1.8	57 7.4
知的障害	226 100.0	86 38.1	28 12.4	33 14.6	32 14.2	4 1.8	35 15.5	3 1.3	5 2.2
精神障害	231 100.0	109 47.2	40 17.3	9 3.9	12 5.2	6 2.6	40 17.3	11 4.8	4 1.7
難病	224 100.0	109 48.7	22 9.8	9 4.0	15 6.7	21 9.4	28 12.5	4 1.8	16 7.1
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	— —	1 14.3	— —	3 42.9	— —	— —

問 64 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「地域の人たちの障害に対する理解」が 32.8%で最も多く、以下「経済的負担の軽減」が 23.5%、「医療体制の充実」が 20.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」の割合が減少しています。

n = (1,027)



# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全 体	1,027 100.0	337 32.8	138 13.4	144 14.0	43 4.2	91 8.9	95 9.3	145 14.1	211 20.5
身体障害	683 100.0	199 29.1	87 12.7	101 14.8	26 3.8	50 7.3	39 5.7	85 12.4	174 25.5
知的障害	207 100.0	88 42.5	35 16.9	25 12.1	15 7.2	21 10.1	54 26.1	38 18.4	13 6.3
精神障害	212 100.0	74 34.9	29 13.7	31 14.6	7 3.3	29 13.7	12 5.7	35 16.5	31 14.6
難病	165 100.0	46 27.9	24 14.5	22 13.3	8 4.8	17 10.3	17 10.3	16 9.7	31 18.8
無回答	8 100.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	-	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5

	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要はない	わからない	その他	無回答
全 体	125 12.2	128 12.5	130 12.7	241 23.5	32 3.1	84 8.2	10 1.0	148 14.4
身体障害	63 9.2	93 13.6	117 17.1	159 23.3	26 3.8	51 7.5	6 0.9	95 13.9
知的障害	26 12.6	21 10.1	11 5.3	28 13.5	2 1.0	21 10.1	4 1.9	39 18.8
精神障害	44 20.8	21 9.9	7 3.3	60 28.3	5 2.4	21 9.9	2 0.9	32 15.1
難病	11 6.7	13 7.9	24 14.5	40 24.2	9 5.5	14 8.5	-	25 15.2
無回答	2 25.0	-	-	1 12.5	-	-	-	3 37.5

# 【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全 体	1,135 100.0	489 43.1	155 13.7	184 16.2	74 6.5	130 11.5	120 10.6	174 15.3	259 22.8
身体障害	772 100.0	297 38.5	86 11.1	128 16.6	37 4.8	70 9.1	61 7.9	105 13.6	197 25.5
知的障害	226 100.0	125 55.3	52 23.0	37 16.4	31 13.7	25 11.1	64 28.3	45 19.9	31 13.7
精神障害	231 100.0	106 45.9	33 14.3	37 16.0	14 6.1	45 19.5	12 5.2	39 16.9	53 22.9
難病	224 100.0	91 40.6	30 13.4	36 16.1	9 4.0	29 12.9	15 6.7	35 15.6	64 28.6
無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	-	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3

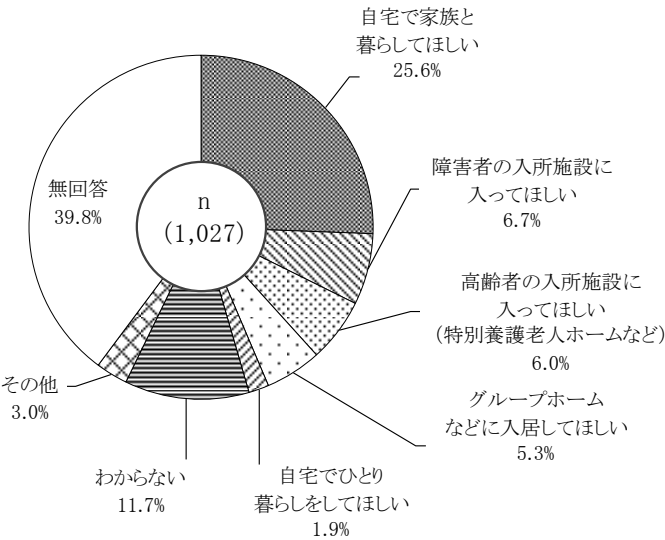
	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要はない	わからない	その他	無回答
全 体	133 11.7	184 16.2	146 12.9	306 27.0	23 2.0	87 7.7	15 1.3	66 5.8
身体障害	60 7.8	150 19.4	128 16.6	192 24.9	20 2.6	57 7.4	12 1.6	56 7.3
知的障害	24 10.6	29 12.8	9 4.0	43 19.0	3 1.3	18 8.0	1 0.4	6 2.7
精神障害	56 24.2	21 9.1	18 7.8	85 36.8	1 0.4	23 10.0	4 1.7	6 2.6
難病	16 7.1	42 18.8	31 13.8	66 29.5	3 1.3	13 5.8	3 1.3	16 7.1
無回答	1 14.3	-	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	-	-

問 65 【主な介助者の方におたずねします。】

今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

「自宅で家族と暮らしてほしい」が 25.6%で最も多く、以下「わからない」が 11.7%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、18～39 歳で「グループホームなどに入居してほしい」、「障害者の入所施設に入ってほしい」の割合が高くなっています。また、75 歳以上で「高齢者の入所施設に入ってほしい（特別養護老人ホームなど）」の割合が高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入ってほしい	高齢者の入所施設に入ってほしい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	1,027	263	19	54	69	62	120	31	409
	100.0	25.6	1.9	5.3	6.7	6.0	11.7	3.0	39.8
身体障害	683	177	10	12	34	49	82	18	301
	100.0	25.9	1.5	1.8	5.0	7.2	12.0	2.6	44.1
知的障害	207	43	9	41	38	5	21	10	40
	100.0	20.8	4.3	19.8	18.4	2.4	10.1	4.8	19.3
精神障害	212	60	3	12	13	8	26	5	85
	100.0	28.3	1.4	5.7	6.1	3.8	12.3	2.4	40.1
難病	165	44	4	11	10	20	21	10	45
	100.0	26.7	2.4	6.7	6.1	12.1	12.7	6.1	27.3
無回答	8	1	-	1	-	1	-	-	5
	100.0	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	62.5

【年齢別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	自宅で家族 と暮らして ほしい	自宅でひと り暮らしをし てほしい	グループ ホームなど に入居して ほしい	障害者の入 所施設に入 ってほしい	高齢者の入 所施設に入 ってほしい(特別養 護老人ホーム など)	わからない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	263 25.6	19 1.9	54 5.3	69 6.7	62 6.0	120 11.7	31 3.0	409 39.8
18～39歳	196 100.0	57 29.1	4 2.0	30 15.3	28 14.3	2 1.0	19 9.7	10 5.1	46 23.5
40～64歳	308 100.0	78 25.3	6 1.9	17 5.5	22 7.1	6 1.9	43 14.0	7 2.3	129 41.9
65～74歳	199 100.0	40 20.1	2 1.0	4 2.0	13 6.5	17 8.5	26 13.1	4 2.0	93 46.7
75歳以上	307 100.0	87 28.3	7 2.3	2 0.7	6 2.0	36 11.7	30 9.8	10 3.3	129 42.0
無回答	17 100.0	1 5.9	-	1 5.9	-	1 5.9	2 11.8	-	12 70.6

【家族・親族の介助者年齢別】

単位 上段：件、下段：%

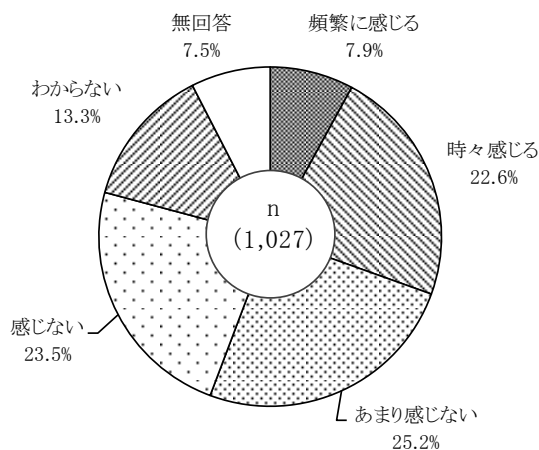
	調査数	自宅で家族 と暮らして ほしい	自宅でひと り暮らしをし てほしい	グループ ホームなど に入居して ほしい	障害者の入 所施設に入 ってほしい	高齢者の入 所施設に入 ってほしい(特別養 護老人ホーム など)	わからない	その他	無回答
全 体	509 100.0	187 36.7	11 2.2	46 9.0	57 11.2	40 7.9	55 10.8	11 2.2	102 20.0
20歳未満	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
20代	6 100.0	3 50.0	-	-	-	-	2 33.3	-	1 16.7
30代	11 100.0	7 63.6	-	-	-	1 9.1	1 9.1	-	2 18.2
40代	52 100.0	18 34.6	1 1.9	4 7.7	3 5.8	3 5.8	8 15.4	1 1.9	14 26.9
50代	103 100.0	34 33.0	5 4.9	21 20.4	16 15.5	3 2.9	6 5.8	4 3.9	14 13.6
60代	116 100.0	42 36.2	1 0.9	6 5.2	16 13.8	13 11.2	14 12.1	2 1.7	22 19.0
70歳以上	197 100.0	74 37.6	4 2.0	13 6.6	20 10.2	18 9.1	22 11.2	4 2.0	42 21.3
無回答	23 100.0	8 34.8	-	2 8.7	2 8.7	2 8.7	2 8.7	-	7 30.4

## (12) 障害のある人に対する理解度

問 66 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じるがありますか。(○は1つ)

「頻繁に感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が30.5%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が48.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、“感じる”の割合が増加しています。



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	1,027	81	232	259	241	137	77
	100.0	7.9	22.6	25.2	23.5	13.3	7.5
身体障害	683	29	134	195	197	65	63
	100.0	4.2	19.6	28.6	28.8	9.5	9.2
知的障害	207	29	68	36	25	36	13
	100.0	14.0	32.9	17.4	12.1	17.4	6.3
精神障害	212	34	53	44	28	45	8
	100.0	16.0	25.0	20.8	13.2	21.2	3.8
難病	165	17	34	40	37	18	19
	100.0	10.3	20.6	24.2	22.4	10.9	11.5
無回答	8	1	4	—	1	1	1
	100.0	12.5	50.0	—	12.5	12.5	12.5

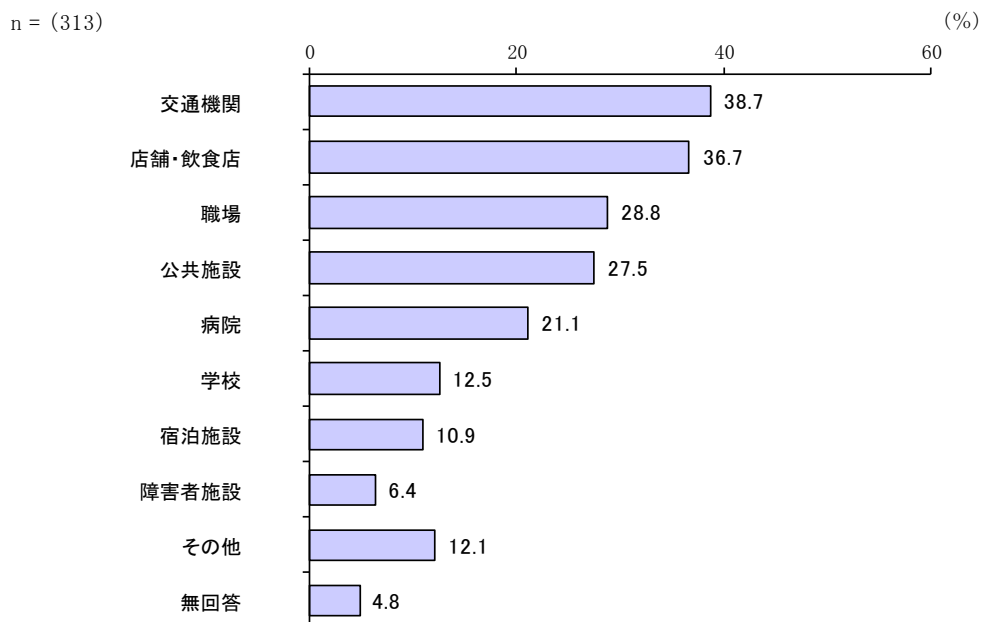
### 【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	1,135	67	211	288	319	177	73
	100.0	5.9	18.6	25.4	28.1	15.6	6.4
身体障害	772	25	112	209	242	122	62
	100.0	3.2	14.5	27.1	31.3	15.8	8.0
知的障害	226	27	70	53	34	35	7
	100.0	11.9	31.0	23.5	15.0	15.5	3.1
精神障害	231	25	60	44	53	43	6
	100.0	10.8	26.0	19.0	22.9	18.6	2.6
難病	224	10	40	57	62	36	19
	100.0	4.5	17.9	25.4	27.7	16.1	8.5
無回答	7	—	2	1	2	2	—
	100.0	—	28.6	14.3	28.6	28.6	—

問 67 差別を感じた経験のある方におたずねします。  
それはどのような場所でありましたか。(〇はいくつでも)

「交通機関」が38.7%で最も多く、以下「店舗・飲食店」が36.7%、「職場」が28.8%となっています。



【障害種別】

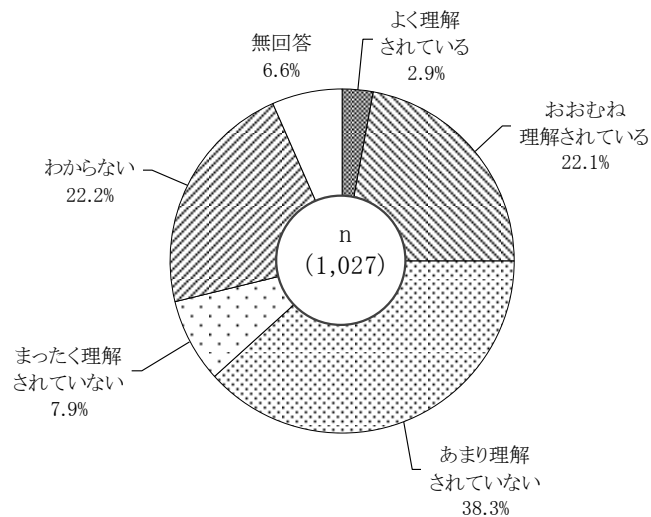
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	職場	学校	障害者施設	病院	店舗・飲食店	公共施設	宿泊施設	交通機関	その他	無回答
全 体	313 100.0	90 28.8	39 12.5	20 6.4	66 21.1	115 36.7	86 27.5	34 10.9	121 38.7	38 12.1	15 4.8
身体障害	163 100.0	37 22.7	8 4.9	11 6.7	32 19.6	64 39.3	43 26.4	20 12.3	61 37.4	14 8.6	9 5.5
知的障害	97 100.0	29 29.9	19 19.6	9 9.3	17 17.5	47 48.5	35 36.1	14 14.4	47 48.5	11 11.3	2 2.1
精神障害	87 100.0	31 35.6	16 18.4	4 4.6	24 27.6	23 26.4	21 24.1	4 4.6	32 36.8	20 23.0	2 2.3
難病	51 100.0	13 25.5	2 3.9	2 3.9	12 23.5	16 31.4	13 25.5	6 11.8	25 49.0	7 13.7	-
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	3 60.0

問 68 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

「あまり理解されていない」が38.3%で最も多く、以下「わからない」が22.2%、「おおむね理解されている」が22.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、身体障害のある方では、“理解されていない”の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	1,027	30	227	393	81	228	68
	100.0	2.9	22.1	38.3	7.9	22.2	6.6
身体障害	683	19	181	245	45	139	54
	100.0	2.8	26.5	35.9	6.6	20.4	7.9
知的障害	207	11	40	92	18	38	8
	100.0	5.3	19.3	44.4	8.7	18.4	3.9
精神障害	212	5	26	91	27	55	8
	100.0	2.4	12.3	42.9	12.7	25.9	3.8
難病	165	6	33	64	16	32	14
	100.0	3.6	20.0	38.8	9.7	19.4	8.5
無回答	8	—	2	—	—	3	3
	100.0	—	25.0	—	—	37.5	37.5

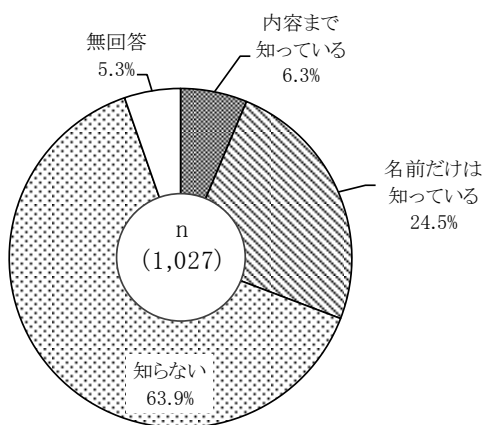
【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	1,135	32	294	410	62	276	61
	100.0	2.8	25.9	36.1	5.5	24.3	5.4
身体障害	772	26	225	237	36	196	52
	100.0	3.4	29.1	30.7	4.7	25.4	6.7
知的障害	226	8	49	107	8	47	7
	100.0	3.5	21.7	47.3	3.5	20.8	3.1
精神障害	231	8	34	107	24	52	6
	100.0	3.5	14.7	46.3	10.4	22.5	2.6
難病	224	8	58	81	17	46	14
	100.0	3.6	25.9	36.2	7.6	20.5	6.3
無回答	7	—	2	3	1	1	—
	100.0	—	28.6	42.9	14.3	14.3	—

問 69 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」が 63.9%で最も多く、以下「名前だけは知っている」が 24.5%となっています。



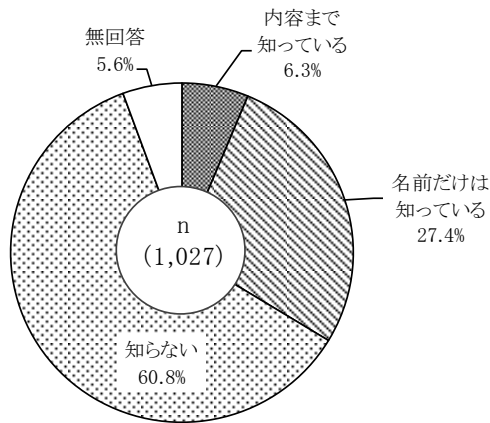
#### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	1,027 100.0	65 6.3	252 24.5	656 63.9	54 5.3
身体障害	683 100.0	42 6.1	170 24.9	425 62.2	46 6.7
知的障害	207 100.0	15 7.2	63 30.4	125 60.4	4 1.9
精神障害	212 100.0	15 7.1	39 18.4	152 71.7	6 2.8
難病	165 100.0	8 4.8	43 26.1	104 63.0	10 6.1
無回答	8 100.0	-	1 12.5	5 62.5	2 25.0

問 70 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成 24 年 10 月 1 日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」が 60.8%で最も多く、以下「名前だけは知っている」が 27.4%となっています。



【障害種別】

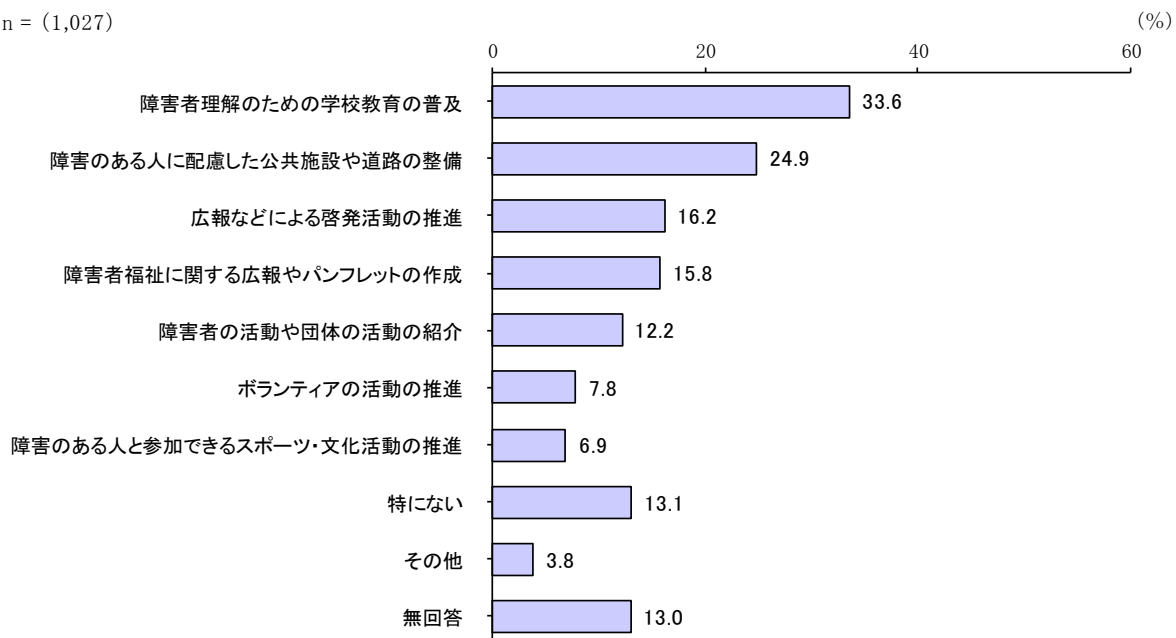
単位 上段:件、下段:%

	調査数	内容まで知 っている	名前だけは知 っている	知らない	無回答
全 体	1,027 100.0	65 6.3	281 27.4	624 60.8	57 5.6
身体障害	683 100.0	40 5.9	197 28.8	400 58.6	46 6.7
知的障害	207 100.0	22 10.6	64 30.9	114 55.1	7 3.4
精神障害	212 100.0	14 6.6	43 20.3	147 69.3	8 3.8
難病	165 100.0	10 6.1	47 28.5	94 57.0	14 8.5
無回答	8 100.0	-	1 12.5	5 62.5	2 25.0

問 71 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

「障害者理解のための学校教育の普及」が33.6%で最も多く、以下「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が24.9%、「広報などによる啓発活動の推進」が16.2%となっています。

n = (1,027)



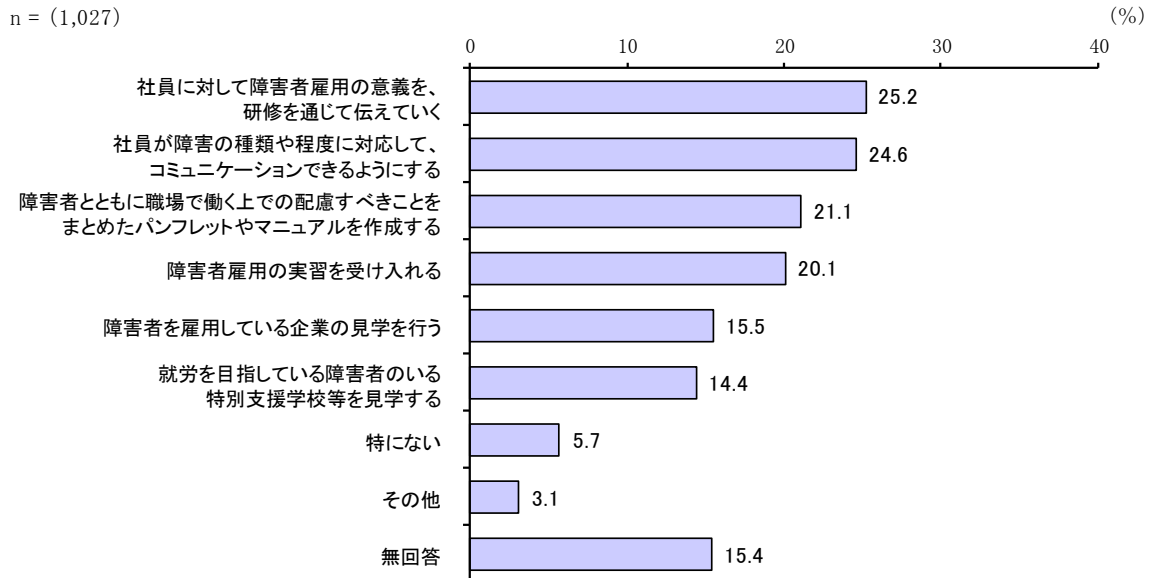
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	345 33.6	166 16.2	125 12.2	80 7.8	71 6.9	256 24.9	162 15.8	135 13.1	39 3.8	134 13.0
身体障害	683 100.0	210 30.7	119 17.4	77 11.3	54 7.9	39 5.7	203 29.7	108 15.8	78 11.4	15 2.2	105 15.4
知的障害	207 100.0	87 42.0	27 13.0	31 15.0	20 9.7	20 9.7	36 17.4	29 14.0	26 12.6	13 6.3	21 10.1
精神障害	212 100.0	78 36.8	33 15.6	27 12.7	13 6.1	18 8.5	36 17.0	34 16.0	38 17.9	12 5.7	19 9.0
難病	165 100.0	50 30.3	28 17.0	12 7.3	11 6.7	10 6.1	42 25.5	25 15.2	21 12.7	9 5.5	26 15.8
無回答	8 100.0	-	-	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	2 25.0	-	2 25.0

問 72 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が 25.2%で最も多く、以下「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が 24.6%、「障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する」が 21.1%となっています。



【障害種別】

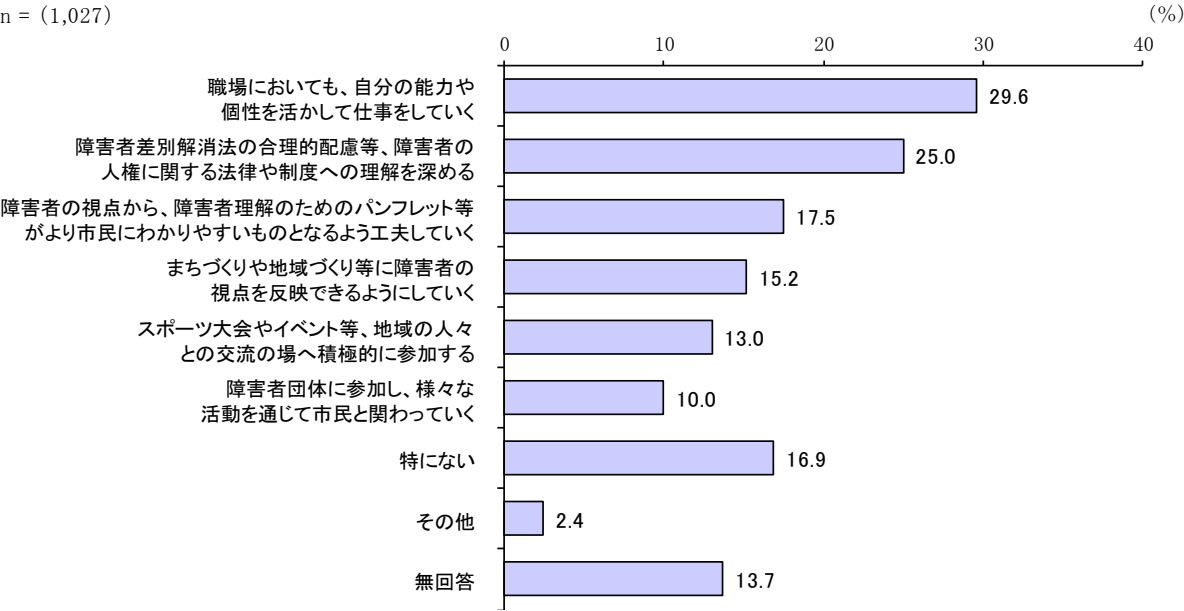
単位 上段:件、下段:%

	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	259 25.2	59 5.7	148 14.4	159 15.5	253 24.6	217 21.1	206 20.1	32 3.1	158 15.4
身体障害	683 100.0	172 25.2	34 5.0	95 13.9	94 13.8	143 20.9	136 19.9	149 21.8	20 2.9	115 16.8
知的障害	207 100.0	52 25.1	17 8.2	33 15.9	44 21.3	68 32.9	49 23.7	31 15.0	8 3.9	24 11.6
精神障害	212 100.0	57 26.9	16 7.5	26 12.3	37 17.5	59 27.8	50 23.6	38 17.9	7 3.3	29 13.7
難病	165 100.0	41 24.8	12 7.3	19 11.5	24 14.5	30 18.2	32 19.4	33 20.0	7 4.2	32 19.4
無回答	8 100.0	-	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	-	4 50.0

問 73 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が29.6%で最も多く、以下「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が25.0%、「障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく」が17.5%となっています。

n = (1,027)



【障害種別】

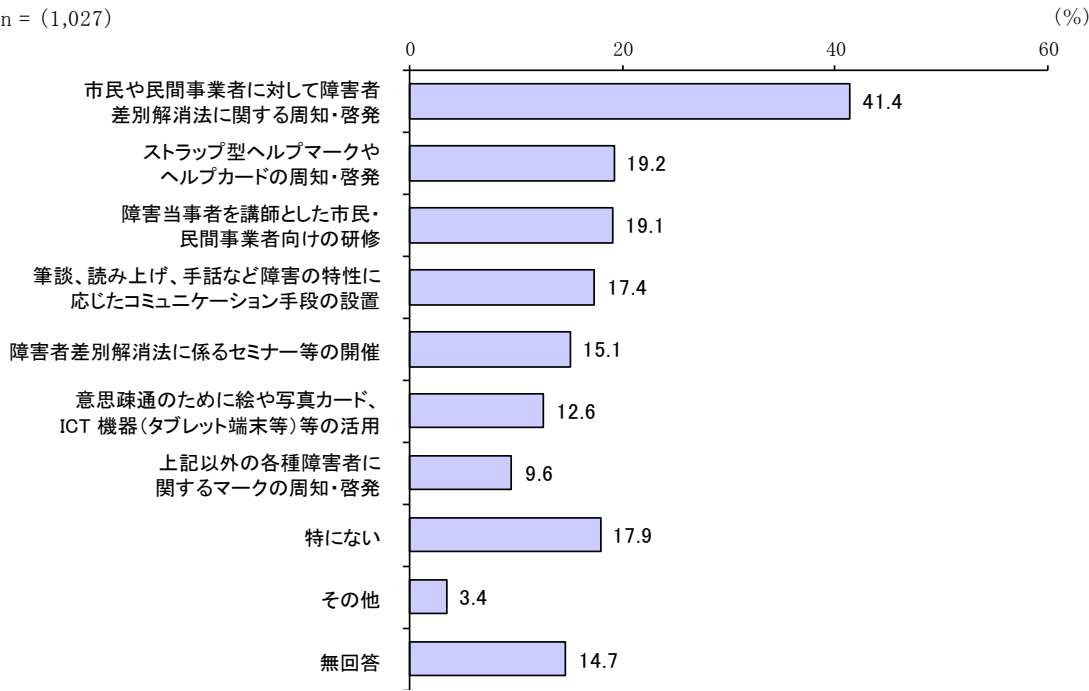
単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害者差別 解消法の合 理的配慮 等、障害者 の人権に関 する法律や 制度への理 解を深める	スポーツ大 会やイベン ト等、地域 の人々との 交流の場へ 積極的に参 加する	まちづくり や地域づく り等に障害 者の視点を 反映できる ようにして いく	障害者団体 に参加し、 様々な活動 を通じて市 民と関わっ ていく	障害者の視 点から、障 害者理解の ためのパン フレット等 がより市民 にわかりや すいものとな るよう工夫 していく	職場におい ても、自分 の能力や個 性を活かして 仕事をして いく	特にない	その他	無回答
全 体	1,027	257	133	156	103	180	304	174	25	141
	100.0	25.0	13.0	15.2	10.0	17.5	29.6	16.9	2.4	13.7
身体障害	683	172	91	117	72	119	173	110	8	113
	100.0	25.2	13.3	17.1	10.5	17.4	25.3	16.1	1.2	16.5
知的障害	207	56	35	27	26	28	66	34	10	22
	100.0	27.1	16.9	13.0	12.6	13.5	31.9	16.4	4.8	10.6
精神障害	212	55	20	25	14	38	84	41	8	18
	100.0	25.9	9.4	11.8	6.6	17.9	39.6	19.3	3.8	8.5
難病	165	38	21	24	11	32	47	34	3	27
	100.0	23.0	12.7	14.5	6.7	19.4	28.5	20.6	1.8	16.4
無回答	8	1	1	1	-	1	1	1	-	4
	100.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5	-	50.0

問 74 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は3つまで)

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が 41.4%で最も多く、以下「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」が 19.2%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」が 19.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」、「上記以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発」は新たに追加された選択肢です。平成 28 年度調査の「各種障害者に関するマークの周知・啓発」は令和元年度調査にはありません。

【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法に係るセミナー等の開催	障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置	意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器 (タブレット端末等) 等の活用	ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発	上記以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発	特にない	その他	無回答
全 体	1,027	425	155	196	179	129	197	99	184	35	151
	100.0	41.4	15.1	19.1	17.4	12.6	19.2	9.6	17.9	3.4	14.7
身体障害	683	273	88	134	127	71	134	70	116	13	120
	100.0	40.0	12.9	19.6	18.6	10.4	19.6	10.2	17.0	1.9	17.6
知的障害	207	99	44	38	36	42	32	14	34	13	28
	100.0	47.8	21.3	18.4	17.4	20.3	15.5	6.8	16.4	6.3	13.5
精神障害	212	84	37	40	24	26	43	20	43	14	20
	100.0	39.6	17.5	18.9	11.3	12.3	20.3	9.4	20.3	6.6	9.4
難病	165	70	26	37	28	25	32	18	27	3	32
	100.0	42.4	15.8	22.4	17.0	15.2	19.4	10.9	16.4	1.8	19.4
無回答	8	2	-	-	1	-	1	-	2	-	2
	100.0	25.0	-	-	12.5	-	12.5	-	25.0	-	25.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	市民や民間事業者 に対して障害者差別 解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法 に係るセミナー等の 開催	障害当事者を講師と した市民・民間事業者 向けの研修	筆談、読み上げ、手話 など障害の特性に応じたコ ミュニケーション手段の設置	意思疎通のために 絵や写真カード、ICT 機器（タブレット端末 等）等の活用	ストラップ型ヘルプ マークやヘルプカード の周知・啓発	各種障害者に関する マークの周知・啓発	特にない	その他	無回答
全 体	1,135 100.0	489 43.1	133 11.7	152 13.4	158 13.9	109 9.6		144 12.7	196 17.3	34 3.0	166 14.6
身体障害	772 100.0	304 39.4	73 9.5	97 12.6	105 13.6	60 7.8		109 14.1	143 18.5	20 2.6	135 17.5
知的障害	226 100.0	110 48.7	41 18.1	29 12.8	32 14.2	32 14.2		14 6.2	36 15.9	11 4.9	25 11.1
精神障害	231 100.0	116 50.2	31 13.4	41 17.7	31 13.4	31 13.4		28 12.1	32 13.9	6 2.6	21 9.1
難病	224 100.0	79 35.3	27 12.1	29 12.9	32 14.3	18 8.0		31 13.8	40 17.9	8 3.6	40 17.9
無回答	7 100.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	－ －		1 14.3	2 28.6	－ －	1 14.3

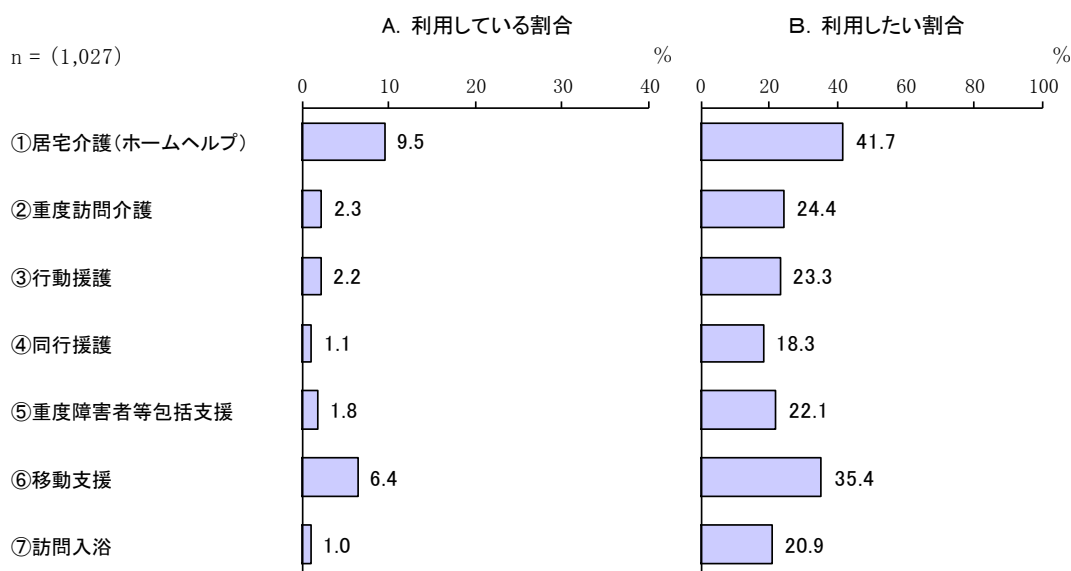
### (13) サービス利用について

問 75 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在利用しているサービスについては、「①居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が9.5%、「⑥移動支援」の割合が6.4%となっています。

今後利用したいサービスについては、「①居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が41.7%と最も高く、次いで「⑥移動支援」の割合が35.4%、「②重度訪問介護」の割合が24.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、現在利用しているサービスについては、全体では、大きな変化はみられません。今後利用したいサービスについては、全体では、「④同行援護」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「①居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が増加しています。



※「⑥移動支援」、「⑦訪問入浴」は、平成 28 年度調査では問 81 に含まれていた選択肢です。

#### 【障害種別】

##### A. 現在の利用状況

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴	無回答
全 体	1,027	98	24	23	11	18	66	10	876
	100.0	9.5	2.3	2.2	1.1	1.8	6.4	1.0	85.3
身体障害	683	74	20	9	9	16	26	9	589
	100.0	10.8	2.9	1.3	1.3	2.3	3.8	1.3	86.2
知的障害	207	17	6	14	1	4	43	2	155
	100.0	8.2	2.9	6.8	0.5	1.9	20.8	1.0	74.9
精神障害	212	20	5	7	4	3	19	1	182
	100.0	9.4	2.4	3.3	1.9	1.4	9.0	0.5	85.8
難病	165	29	7	6	4	8	17	2	127
	100.0	17.6	4.2	3.6	2.4	4.8	10.3	1.2	77.0
無回答	8	-	-	-	-	-	-	-	8
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0

## B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴	無回答
全 体	1,027 100.0	428 41.7	251 24.4	239 23.3	188 18.3	227 22.1	364 35.4	215 20.9	488 47.5
身体障害	683 100.0	305 44.7	180 26.4	134 19.6	139 20.4	163 23.9	244 35.7	163 23.9	313 45.8
知的障害	207 100.0	79 38.2	49 23.7	76 36.7	30 14.5	42 20.3	98 47.3	33 15.9	82 39.6
精神障害	212 100.0	76 35.8	46 21.7	56 26.4	33 15.6	41 19.3	62 29.2	33 15.6	115 54.2
難病	165 100.0	76 46.1	42 25.5	40 24.2	27 16.4	36 21.8	61 37.0	37 22.4	72 43.6
無回答	8 100.0	1 12.5	-	-	-	-	-	1 12.5	7 87.5

## 【平成 28 年度調査】

## A. 現在の利用状況

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴
全 体	1,135 100.0	107 9.4	25 2.2	41 3.6	25 2.2	20 1.8	77 6.8	16 1.4
身体障害	772 100.0	89 11.5	24 3.1	19 2.5	19 2.5	17 2.2	40 5.2	15 1.9
知的障害	226 100.0	14 6.2	1 0.4	25 11.1	6 2.7	3 1.3	41 18.1	1 0.4
精神障害	231 100.0	15 6.5	1 0.4	6 2.6	3 1.3	2 0.9	8 3.5	2 0.9
難病	224 100.0	30 13.4	5 2.2	9 4.0	9 4.0	5 2.2	18 8.0	4 1.8
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	-

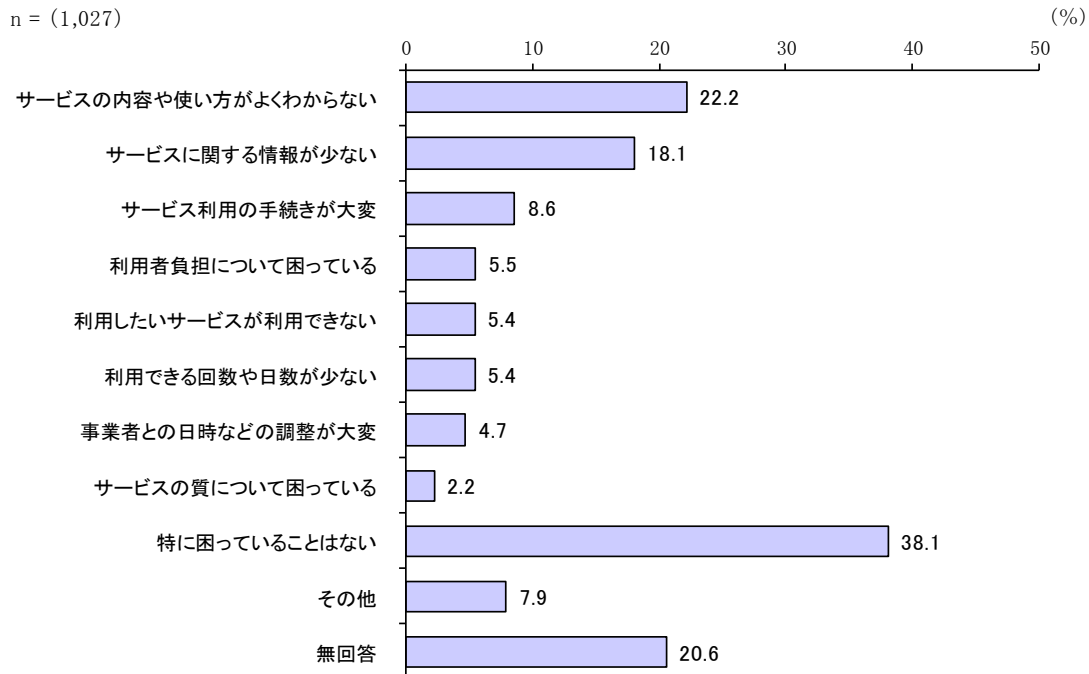
## B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴
全 体	1,135 100.0	466 41.1	289 25.5	284 25.0	270 23.8	278 24.5	333 29.3	213 18.8
身体障害	772 100.0	353 45.7	216 28.0	163 21.1	201 26.0	209 27.1	227 29.4	171 22.2
知的障害	226 100.0	85 37.6	55 24.3	101 44.7	49 21.7	52 23.0	98 43.4	36 15.9
精神障害	231 100.0	67 29.0	45 19.5	56 24.2	45 19.5	42 18.2	44 19.0	26 11.3
難病	224 100.0	99 44.2	63 28.1	60 26.8	65 29.0	59 26.3	79 35.3	55 24.6
無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	1 14.3

問 76 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が38.1%で最も多く、以下「サービスの内容や使い方がよくわからない」が22.2%、「サービスに関する情報が少ない」が18.1%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	サービスの 内容や 使い方が よくわから ない	サービス に関する 情報が少 ない	利用した いサービ スが利用 できない	サービス 利用の手 続きが大 変	事業者と の日時な どの調整 が大変	利用でき る回数や 日数が少 ない	サービス の質につ いて困っ ている	利用者負 担につい て困って いる	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全 体	1,027	228	186	55	88	48	55	23	56	391	81	212
	100.0	22.2	18.1	5.4	8.6	4.7	5.4	2.2	5.5	38.1	7.9	20.6
身体障害	683	139	112	30	48	24	27	16	37	256	56	161
	100.0	20.4	16.4	4.4	7.0	3.5	4.0	2.3	5.4	37.5	8.2	23.6
知的障害	207	60	47	19	24	26	23	5	11	73	15	29
	100.0	29.0	22.7	9.2	11.6	12.6	11.1	2.4	5.3	35.3	7.2	14.0
精神障害	212	49	45	8	23	10	13	5	13	90	15	30
	100.0	23.1	21.2	3.8	10.8	4.7	6.1	2.4	6.1	42.5	7.1	14.2
難病	165	29	27	11	18	8	8	5	12	62	14	39
	100.0	17.6	16.4	6.7	10.9	4.8	4.8	3.0	7.3	37.6	8.5	23.6
無回答	8	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	75.0

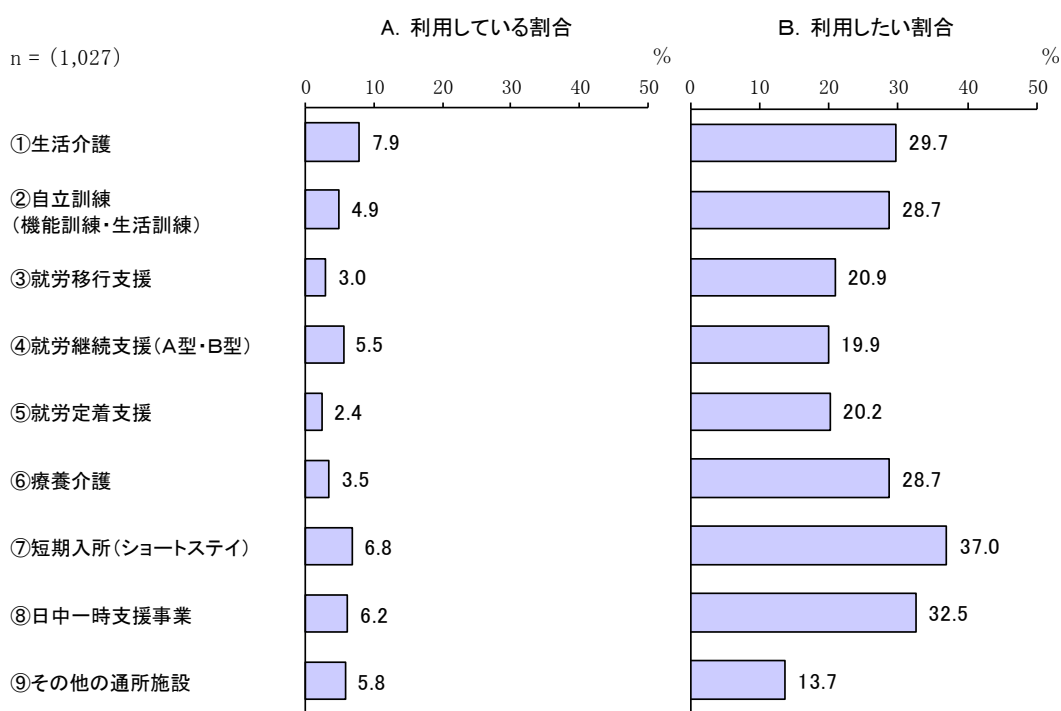
問 77 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～⑨のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在利用しているサービスについては、「①生活介護」の割合が7.9%、「⑦短期入所（ショートステイ）」の割合が6.8%、「⑧日中一時支援事業」の割合が6.2%となっています。

今後利用したいサービスについては、「⑦短期入所（ショートステイ）」の割合が37.0%と最も高く、次いで「⑧日中一時支援事業」の割合が32.5%、「①生活介護」の割合が29.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在利用しているサービスについては、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「④就労継続支援（A型・B型）」の割合が増加しています。今後利用したいサービスについては、全体では、「⑦短期入所（ショートステイ）」の割合が減少しています。また、難病のある方では、「⑦短期入所（ショートステイ）」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「⑤就労定着支援」は新たに追加された選択肢です。

「⑧日中一時支援事業」は平成28年度調査では、問81に含まれていた選択肢です。

【障害種別】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①生活介護	②自立訓練(機能訓練・生活訓練)	③就労移行支援	④就労継続支援(A型・B型)	⑤就労定着支援	⑥療養介護	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧日中一時支援事業	⑨その他の通所施設	無回答
全 体	1,027 100.0	81 7.9	50 4.9	31 3.0	56 5.5	25 2.4	36 3.5	70 6.8	64 6.2	60 5.8	775 75.5
身体障害	683 100.0	47 6.9	31 4.5	4 0.6	8 1.2	2 0.3	33 4.8	38 5.6	25 3.7	36 5.3	561 82.1
知的障害	207 100.0	45 21.7	21 10.1	15 7.2	44 21.3	13 6.3	6 2.9	39 18.8	46 22.2	19 9.2	95 45.9
精神障害	212 100.0	12 5.7	11 5.2	18 8.5	17 8.0	12 5.7	4 1.9	8 3.8	7 3.3	13 6.1	146 68.9
難病	165 100.0	21 12.7	15 9.1	3 1.8	11 6.7	2 1.2	12 7.3	20 12.1	14 8.5	17 10.3	103 62.4
無回答	8 100.0	-	1 12.5	-	-	-	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	6 75.0

B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①生活介護	②自立訓練(機能訓練・生活訓練)	③就労移行支援	④就労継続支援(A型・B型)	⑤就労定着支援	⑥療養介護	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧日中一時支援事業	⑨その他の通所施設	無回答
全 体	1,027 100.0	305 29.7	295 28.7	215 20.9	204 19.9	207 20.2	295 28.7	380 37.0	334 32.5	141 13.7	444 43.2
身体障害	683 100.0	206 30.2	190 27.8	100 14.6	94 13.8	93 13.6	222 32.5	253 37.0	219 32.1	94 13.8	332 48.6
知的障害	207 100.0	75 36.2	69 33.3	54 26.1	68 32.9	51 24.6	47 22.7	107 51.7	89 43.0	26 12.6	54 26.1
精神障害	212 100.0	50 23.6	61 28.8	80 37.7	65 30.7	75 35.4	48 22.6	55 25.9	53 25.0	29 13.7	80 37.7
難病	165 100.0	54 32.7	50 30.3	28 17.0	27 16.4	27 16.4	50 30.3	62 37.6	52 31.5	29 17.6	64 38.8
無回答	8 100.0	-	1 12.5	-	-	1 12.5	-	2 25.0	1 12.5	1 12.5	5 62.5

【平成 28 年度調査】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①生活介護	②自立訓練(機能訓練・生活訓練)	③就労移行支援	④就労継続支援(A型・B型)	⑤就労定着支援	⑥療養介護	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧日中一時支援事業	⑨その他の通所施設
全 体	1,135 100.0	128 11.3	83 7.3	32 2.8	49 4.3		31 2.7	96 8.5	67 5.9	73 6.4
身体障害	772 100.0	78 10.1	70 9.1	6 0.8	14 1.8		30 3.9	57 7.4	25 3.2	46 6.0
知的障害	226 100.0	62 27.4	18 8.0	19 8.4	45 19.9		2 0.9	55 24.3	50 22.1	28 12.4
精神障害	231 100.0	12 5.2	5 2.2	12 5.2	3 1.3		3 1.3	11 4.8	6 2.6	7 3.0
難病	224 100.0	32 14.3	27 12.1	3 1.3	10 4.5		8 3.6	18 8.0	10 4.5	14 6.3
無回答	7 100.0	1 14.3	— —	— —	1 14.3		— —	1 14.3	— —	— —

B. 今後の利用希望

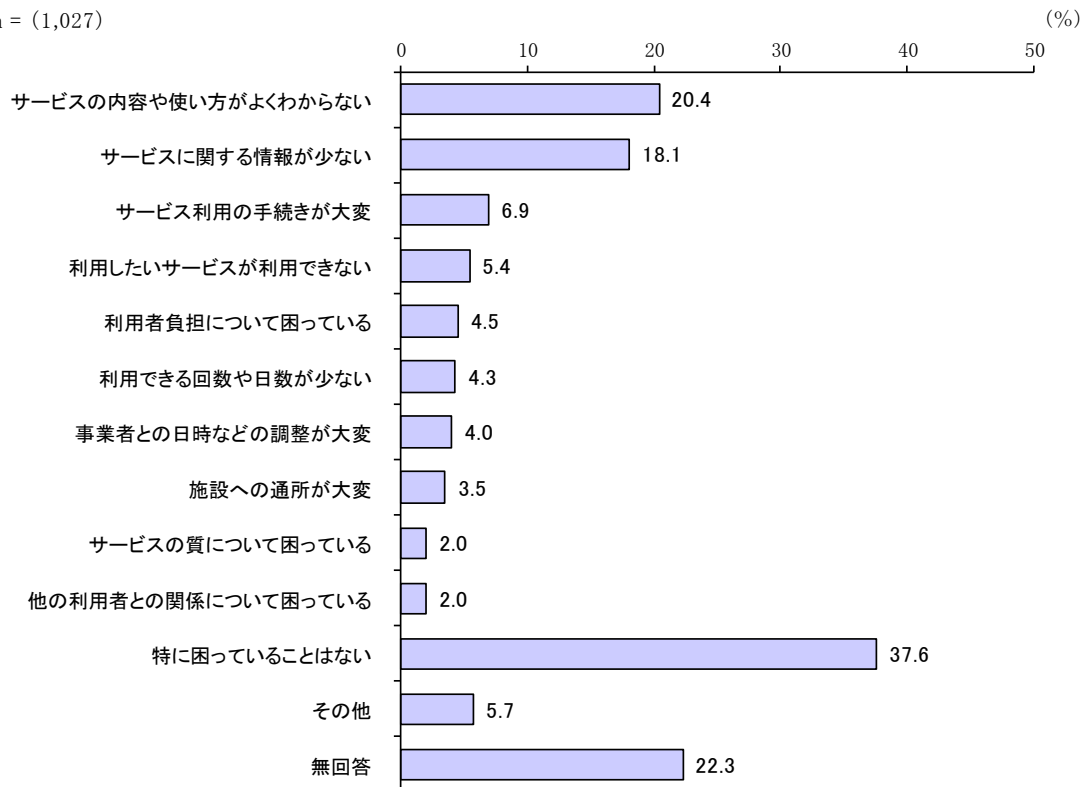
単位 上段:件、下段:%

	調査数	①生活介護	②自立訓練(機能訓練・生活訓練)	③就労移行支援	④就労継続支援(A型・B型)	⑤就労定着支援	⑥療養介護	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧日中一時支援事業	⑨その他の通所施設
全 体	1,135 100.0	334 29.4	366 32.2	240 21.1	224 19.7		341 30.0	485 42.7	300 26.4	162 14.3
身体障害	772 100.0	238 30.8	240 31.1	122 15.8	109 14.1		262 33.9	338 43.8	185 24.0	112 14.5
知的障害	226 100.0	80 35.4	85 37.6	63 27.9	78 34.5		46 20.4	129 57.1	94 41.6	40 17.7
精神障害	231 100.0	49 21.2	73 31.6	78 33.8	60 26.0		57 24.7	68 29.4	52 22.5	24 10.4
難病	224 100.0	77 34.4	74 33.0	42 18.8	40 17.9		76 33.9	100 44.6	62 27.7	30 13.4
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6		1 14.3	4 57.1	— —	— —

問 78 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

「特に困っていることはない」が 37.6%で最も多く、以下「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 20.4%、「サービスに関する情報が少ない」が 18.1%となっています。

n = (1,027)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	サービスの内容や使い方がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用したいサービスが利用できない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない
全 体	1,027	209	186	55	71	41	44
	100.0	20.4	18.1	5.4	6.9	4.0	4.3
身体障害	683	122	104	27	32	18	22
	100.0	17.9	15.2	4.0	4.7	2.6	3.2
知的障害	207	41	45	20	24	23	19
	100.0	19.8	21.7	9.7	11.6	11.1	9.2
精神障害	212	60	55	13	19	7	10
	100.0	28.3	25.9	6.1	9.0	3.3	4.7
難病	165	27	29	11	12	9	10
	100.0	16.4	17.6	6.7	7.3	5.5	6.1
無回答	8	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-

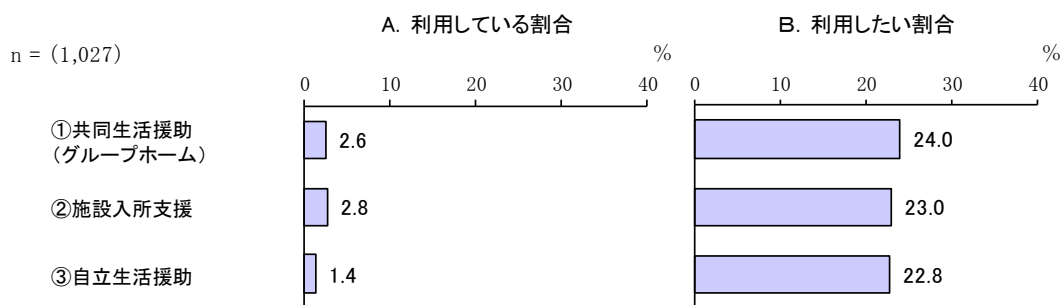
	サービスの質について困っている	他の利用者との関係について困っている	施設への通所が大変	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	21	21	36	46	386	59	229
	2.0	2.0	3.5	4.5	37.6	5.7	22.3
身体障害	13	8	17	32	261	42	180
	1.9	1.2	2.5	4.7	38.2	6.1	26.4
知的障害	6	7	12	8	71	12	35
	2.9	3.4	5.8	3.9	34.3	5.8	16.9
精神障害	6	9	10	11	80	9	28
	2.8	4.2	4.7	5.2	37.7	4.2	13.2
難病	4	5	4	14	58	12	38
	2.4	3.0	2.4	8.5	35.2	7.3	23.0
無回答	-	-	-	-	4	-	4
	-	-	-	-	50.0	-	50.0

問 79 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在利用しているサービスについては、「①共同生活援助（グループホーム）」の割合が2.6%、「②施設入所支援」の割合が2.8%、「③自立生活援助」の割合が1.4%となっています。

今後利用したいサービスについては、「①共同生活援助（グループホーム）」の割合が24.0%、「②施設入所支援」の割合が23.0%、「③自立生活援助」の割合が22.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在利用しているサービスについては、全体では、大きな変化はみられません。今後利用したいサービスについては、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「①共同生活援助（グループホーム）」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「③自立生活援助」は新たに追加された選択肢です。

## 【障害種別】

### A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①共同生活援助(グループホーム)	②施設入所支援	③自立生活援助	無回答
全 体	1,027	27	29	14	970
	100.0	2.6	2.8	1.4	94.4
身体障害	683	10	18	7	653
	100.0	1.5	2.6	1.0	95.6
知的障害	207	12	8	1	186
	100.0	5.8	3.9	0.5	89.9
精神障害	212	9	4	6	198
	100.0	4.2	1.9	2.8	93.4
難病	165	2	9	3	155
	100.0	1.2	5.5	1.8	93.9
無回答	8	-	-	-	8
	100.0	-	-	-	100.0

### B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①共同生活援助(グループホーム)	②施設入所支援	③自立生活援助	無回答
全 体	1,027	246	236	234	651
	100.0	24.0	23.0	22.8	63.4
身体障害	683	145	154	153	452
	100.0	21.2	22.5	22.4	66.2
知的障害	207	78	60	46	95
	100.0	37.7	29.0	22.2	45.9
精神障害	212	53	43	44	142
	100.0	25.0	20.3	20.8	67.0
難病	165	32	40	38	104
	100.0	19.4	24.2	23.0	63.0
無回答	8	-	-	-	8
	100.0	-	-	-	100.0

【平成 28 年度調査】

A. 現在の利用状況

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①共同生活 援助(グルー プホーム)	②施設入所 支援	③自立生活 援助
全 体	1,135 100.0	31 2.7	24 2.1	
身体障害	772 100.0	17 2.2	19 2.5	
知的障害	226 100.0	14 6.2	7 3.1	
精神障害	231 100.0	3 1.3	3 1.3	
難病	224 100.0	6 2.7	4 1.8	
無回答	7 100.0	- -	- -	

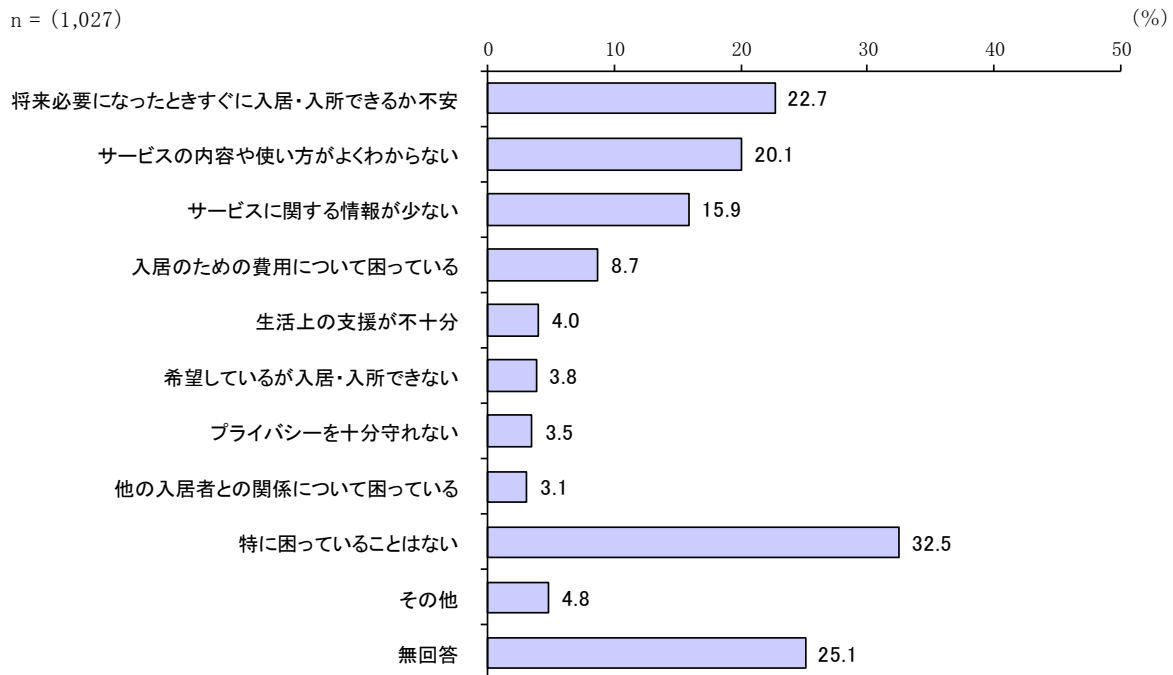
B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①共同生活 援助(グルー プホーム)	②施設入所 支援	③自立生活 援助
全 体	1,135 100.0	292 25.7	294 25.9	
身体障害	772 100.0	182 23.6	196 25.4	
知的障害	226 100.0	98 43.4	83 36.7	
精神障害	231 100.0	35 15.2	40 17.3	
難病	224 100.0	55 24.6	64 28.6	
無回答	7 100.0	- -	1 14.3	

問 80 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」が32.5%で最も多く、以下「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が22.7%、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が20.1%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

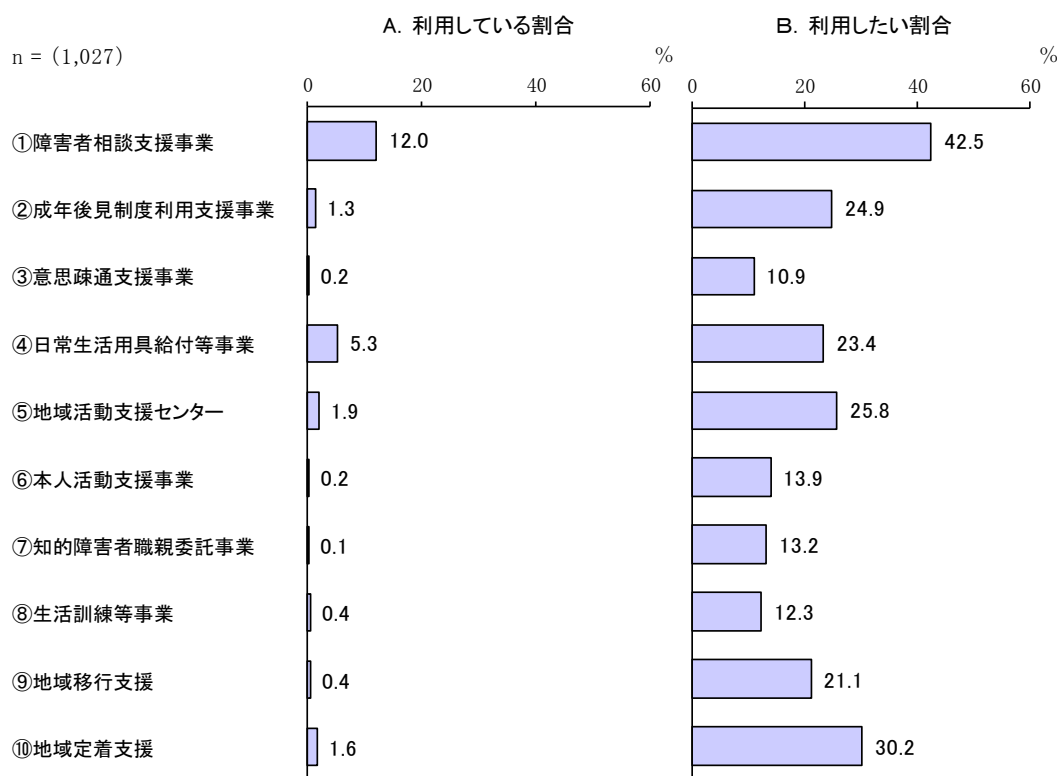
	調査数	サービスの 内容や 使い方が よくわから ない	サービス に関する 情報が少 ない	希望して いるが入 居・入所 できない	将来必要 になったと きすぐに 入居・入 所できる か不安	生活上の 支援が不 十分	プライバ シーを十 分守れな い	他の入居 者との関 係につい て困って いる	入居のた めの費用 について 困ってい る	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全 体	1,027 100.0	206 20.1	163 15.9	39 3.8	233 22.7	41 4.0	36 3.5	32 3.1	89 8.7	334 32.5	49 4.8	258 25.1
身体障害	683 100.0	118 17.3	93 13.6	19 2.8	144 21.1	28 4.1	21 3.1	15 2.2	60 8.8	220 32.2	32 4.7	194 28.4
知的障害	207 100.0	49 23.7	45 21.7	19 9.2	80 38.6	14 6.8	9 4.3	11 5.3	13 6.3	56 27.1	9 4.3	37 17.9
精神障害	212 100.0	47 22.2	40 18.9	7 3.3	38 17.9	5 2.4	12 5.7	10 4.7	20 9.4	84 39.6	12 5.7	36 17.0
難病	165 100.0	31 18.8	25 15.2	5 3.0	39 23.6	8 4.8	8 4.8	3 1.8	12 7.3	59 35.8	9 5.5	37 22.4
無回答	8 100.0	1 12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7 87.5

問 81 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいとお考えですか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在利用しているサービスについては、「①障害者相談支援事業」の割合が12.0%、「④日常生活用具給付等事業」の割合が5.3%となっています。

今後利用したいサービスについては、「①障害者相談支援事業」の割合が42.5%と最も高く、次いで「⑩地域定着支援」の割合が30.2%、「⑤地域活動支援センター」の割合が25.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在利用しているサービスについては、全体では、大きな変化はみられません。また、知的障害のある方では、「①障害者相談支援事業」の割合が減少しています。今後利用したいサービスについては、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「①障害者相談支援事業」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「①障害者相談支援事業」は平成28年度調査では「①相談支援事業」でした。

令和元年度調査の「⑨地域移行支援」、「⑩地域定着支援」は新たに追加された選択肢です。

平成28年度調査の「⑤移動支援事業」、「⑧訪問入浴サービス事業」、「⑪日中一時支援事業」は令和元年度調査では、それぞれ、問75及び問77に選択肢を移しました。

【障害種別】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①障害者 相談支援 事業	②成年後 見制度利 用支援事 業	③意思疎 通支援事 業	④日常生 活用具給 付等事業	⑤地域活 動支援セ ンター	⑥本人活 動支援事 業	⑦知的障 害者職親 委託事業	⑧生活訓 練等事業	⑨地域移 行支援	⑩地域定 着支援	無回答
全 体	1,027 100.0	123 12.0	13 1.3	2 0.2	54 5.3	20 1.9	2 0.2	1 0.1	4 0.4	4 0.4	16 1.6	841 81.9
身体障害	683 100.0	51 7.5	7 1.0	2 0.3	52 7.6	5 0.7	1 0.1	1 0.1	— —	— —	13 1.9	583 85.4
知的障害	207 100.0	66 31.9	7 3.4	— —	10 4.8	11 5.3	1 0.5	— —	3 1.4	2 1.0	2 1.0	129 62.3
精神障害	212 100.0	33 15.6	2 0.9	— —	6 2.8	8 3.8	— —	— —	2 0.9	3 1.4	4 1.9	169 79.7
難病	165 100.0	26 15.8	3 1.8	— —	13 7.9	5 3.0	— —	— —	— —	— —	4 2.4	128 77.6
無回答	8 100.0	1 12.5	— —	— —	1 12.5	— —	— —	— —	— —	— —	— —	7 87.5

B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①障害者 相談支援 事業	②成年後 見制度利 用支援事 業	③意思疎 通支援事 業	④日常生 活用具給 付等事業	⑤地域活 動支援セ ンター	⑥本人活 動支援事 業	⑦知的障 害者職親 委託事業	⑧生活訓 練等事業	⑨地域移 行支援	⑩地域定 着支援	無回答
全 体	1,027 100.0	436 42.5	256 24.9	112 10.9	240 23.4	265 25.8	143 13.9	136 13.2	126 12.3	217 21.1	310 30.2	464 45.2
身体障害	683 100.0	243 35.6	136 19.9	80 11.7	187 27.4	138 20.2	75 11.0	70 10.2	88 12.9	148 21.7	211 30.9	347 50.8
知的障害	207 100.0	132 63.8	97 46.9	13 6.3	37 17.9	84 40.6	54 26.1	49 23.7	20 9.7	40 19.3	49 23.7	60 29.0
精神障害	212 100.0	107 50.5	53 25.0	21 9.9	43 20.3	64 30.2	22 10.4	26 12.3	22 10.4	47 22.2	69 32.5	77 36.3
難病	165 100.0	71 43.0	34 20.6	14 8.5	40 24.2	44 26.7	23 13.9	16 9.7	20 12.1	29 17.6	46 27.9	74 44.8
無回答	8 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	8 100.0

【平成 28 年度調査】

A. 現在の利用状況

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①相談支援事業	②成年後見制度利用支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤地域活動支援センター	⑥本人活動支援事業	⑦知的障害者職親委託事業	⑧生活訓練等事業	⑨地域移行支援	⑩地域定着支援
全 体	1,135 100.0	155 13.7	19 1.7	14 1.2	90 7.9	45 4.0	7 0.6	14 1.2	14 1.2		
身体障害	772 100.0	68 8.8	7 0.9	13 1.7	85 11.0	24 3.1	4 0.5	5 0.6	10 1.3		
知的障害	226 100.0	90 39.8	9 4.0	1 0.4	9 4.0	21 9.3	3 1.3	11 4.9	8 3.5		
精神障害	231 100.0	31 13.4	4 1.7	1 0.4	6 2.6	9 3.9	— —	1 0.4	1 0.4		
難病	224 100.0	32 14.3	1 0.4	1 0.4	22 9.8	12 5.4	1 0.4	1 0.4	4 1.8		
無回答	7 100.0	1 14.3	— —	— —	1 14.3	— —	— —	— —	— —		

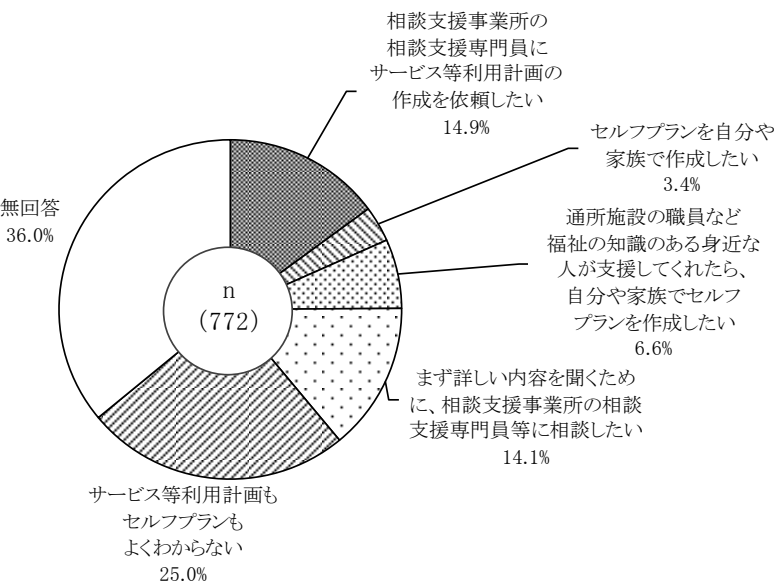
B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①相談支援事業	②成年後見制度利用支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤地域活動支援センター	⑥本人活動支援事業	⑦知的障害者職親委託事業	⑧生活訓練等事業	⑨地域移行支援	⑩地域定着支援
全 体	1,135 100.0	432 38.1	246 21.7	109 9.6	286 25.2	251 22.1	148 13.0	135 11.9	132 11.6		
身体障害	772 100.0	259 33.5	125 16.2	79 10.2	239 31.0	142 18.4	76 9.8	69 8.9	102 13.2		
知的障害	226 100.0	136 60.2	105 46.5	21 9.3	40 17.7	84 37.2	67 29.6	62 27.4	23 10.2		
精神障害	231 100.0	86 37.2	50 21.6	23 10.0	38 16.5	54 23.4	26 11.3	23 10.0	23 10.0		
難病	224 100.0	97 43.3	44 19.6	27 12.1	72 32.1	51 22.8	32 14.3	24 10.7	32 14.3		
無回答	7 100.0	1 14.3	— —	— —	2 28.6	— —	— —	1 14.3	— —		

問 82 【問 75, 77, 79, 81 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用を  
したい方におたずねします。】  
サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。  
(○は1つ)

「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が 25.0%で最も多く、以下「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が 14.9%、「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が 14.1%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段: %

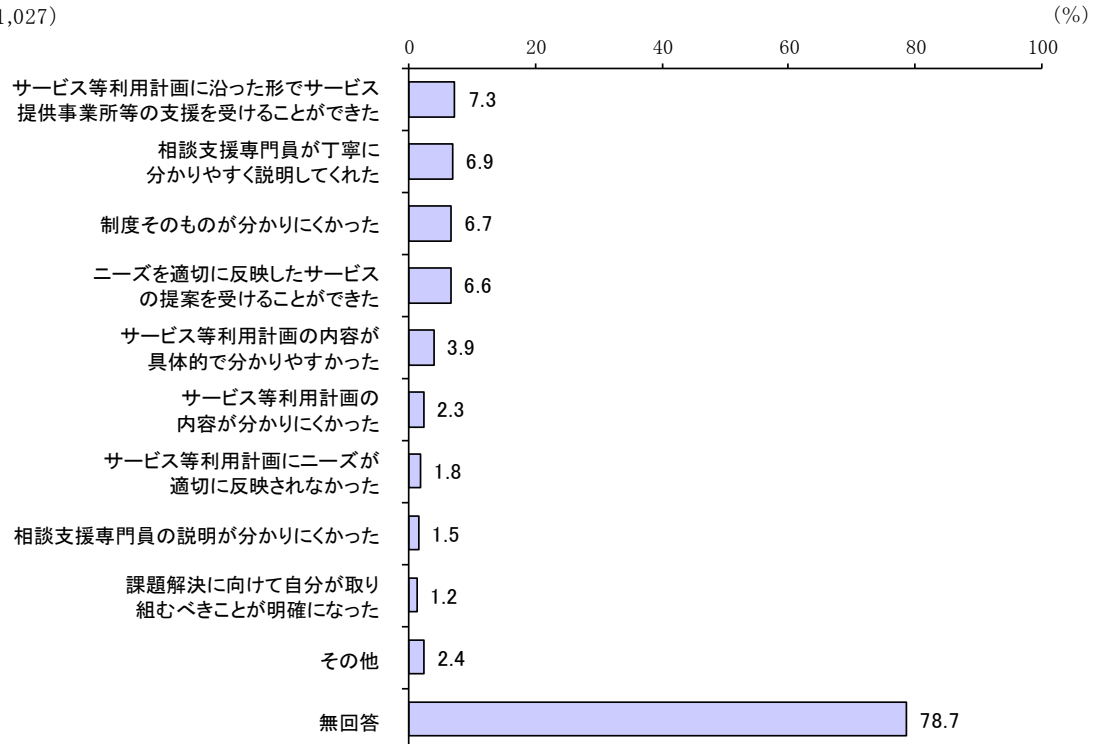
	調査数	相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい	セルフプランを自分や家族で作成したい	通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
全 体	772 100.0	115 14.9	26 3.4	51 6.6	109 14.1	193 25.0	278 36.0
身体障害	481 100.0	52 10.8	20 4.2	28 5.8	69 14.3	118 24.5	194 40.3
知的障害	179 100.0	52 29.1	3 1.7	17 9.5	24 13.4	36 20.1	47 26.3
精神障害	178 100.0	35 19.7	4 2.2	10 5.6	24 13.5	50 28.1	55 30.9
難病	130 100.0	25 19.2	4 3.1	10 7.7	17 13.1	30 23.1	44 33.8
無回答	4 100.0	-	-	-	-	1 25.0	3 75.0

問 83 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお  
たずねします。】

サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（○は4つまで）

「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」が  
7.3%で最も高くなっています。

n = (1,027)



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

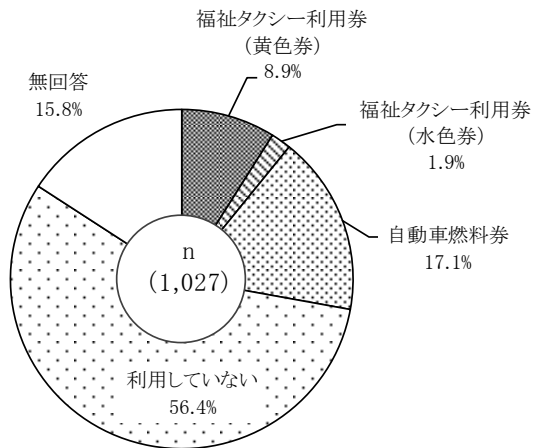
	調査数	ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた	サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた	サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった	相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた	課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった
全 体	1,027 100.0	68 6.6	75 7.3	40 3.9	71 6.9	12 1.2
身体障害	683 100.0	32 4.7	31 4.5	19 2.8	30 4.4	4 0.6
知的障害	207 100.0	31 15.0	37 17.9	17 8.2	33 15.9	5 2.4
精神障害	212 100.0	21 9.9	20 9.4	9 4.2	19 9.0	5 2.4
難病	165 100.0	15 9.1	21 12.7	11 6.7	19 11.5	4 2.4
無回答	8 100.0	-	-	-	-	-

	サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった	サービス等利用計画の内容が分かりにくかった	相談支援専門員の説明が分かりにくかった	制度そのものが分かりにくかった	その他	無回答
全 体	18 1.8	24 2.3	15 1.5	69 6.7	25 2.4	808 78.7
身体障害	7 1.0	12 1.8	9 1.3	41 6.0	14 2.0	575 84.2
知的障害	5 2.4	9 4.3	2 1.0	23 11.1	9 4.3	119 57.5
精神障害	7 3.3	8 3.8	7 3.3	17 8.0	9 4.2	150 70.8
難病	3 1.8	3 1.8	1 0.6	12 7.3	4 2.4	115 69.7
無回答	-	-	-	-	-	8 100.0

問 84 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

「利用していない」が56.4%で最も多く、以下「自動車燃料券」が17.1%となっています。



#### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	福祉タクシー利用券(黄色券)	福祉タクシー利用券(水色券)	自動車燃料券	利用していない	無回答
全 体	1,027 100.0	91 8.9	19 1.9	176 17.1	579 56.4	162 15.8
身体障害	683 100.0	74 10.8	18 2.6	133 19.5	346 50.7	112 16.4
知的障害	207 100.0	9 4.3	-	49 23.7	122 58.9	27 13.0
精神障害	212 100.0	11 5.2	2 0.9	15 7.1	155 73.1	29 13.7
難病	165 100.0	18 10.9	7 4.2	29 17.6	88 53.3	23 13.9
無回答	8 100.0	1 12.5	-	-	4 50.0	3 37.5

#### 【身体障害の種類別】

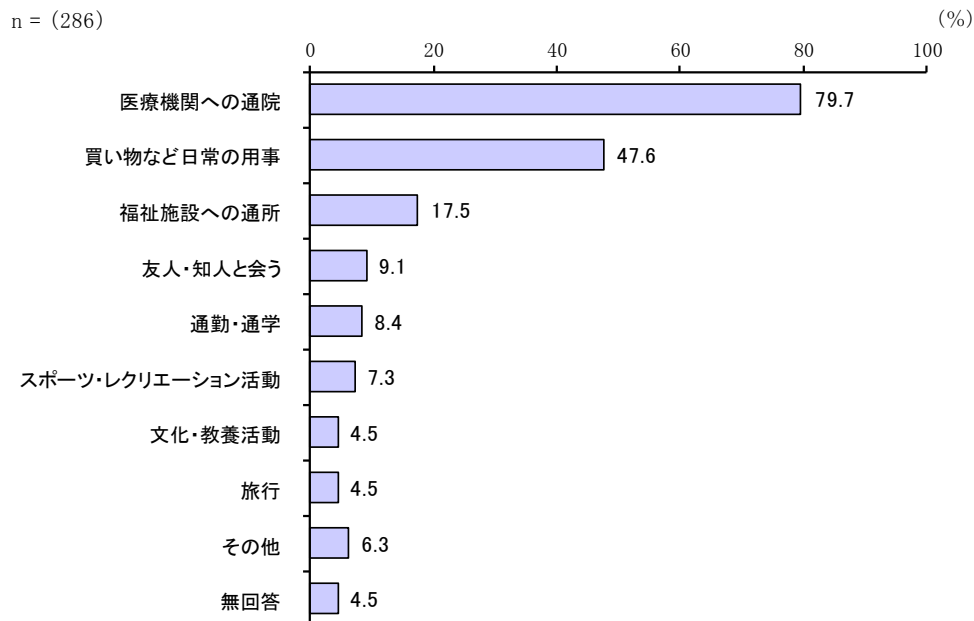
単位 上段:件、下段:%

	調査数	福祉タクシー利用券(黄色券)	福祉タクシー利用券(水色券)	自動車燃料券	利用していない	無回答
全 体	683 100.0	74 10.8	18 2.6	133 19.5	346 50.7	112 16.4
肢体不自由	331 100.0	27 8.2	14 4.2	52 15.7	190 57.4	48 14.5
音声・言語・そしゃく機能障害	36 100.0	4 11.1	2 5.6	7 19.4	14 38.9	9 25.0
視覚障害	39 100.0	5 12.8	-	13 33.3	13 33.3	8 20.5
聴覚・平衡機能障害	54 100.0	5 9.3	-	8 14.8	32 59.3	9 16.7
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	232 100.0	33 14.2	5 2.2	57 24.6	100 43.1	37 15.9
無回答	43 100.0	7 16.3	-	10 23.3	15 34.9	11 25.6

問 85 【問 84 でいずれかの券を利用している（１～３番）と回答した方におたずねします。】

福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

「医療機関への通院」が 79.7%で最も多く、以下「買い物など日常の用事」が 47.6%、「福祉施設への通所」が 17.5%となっています。



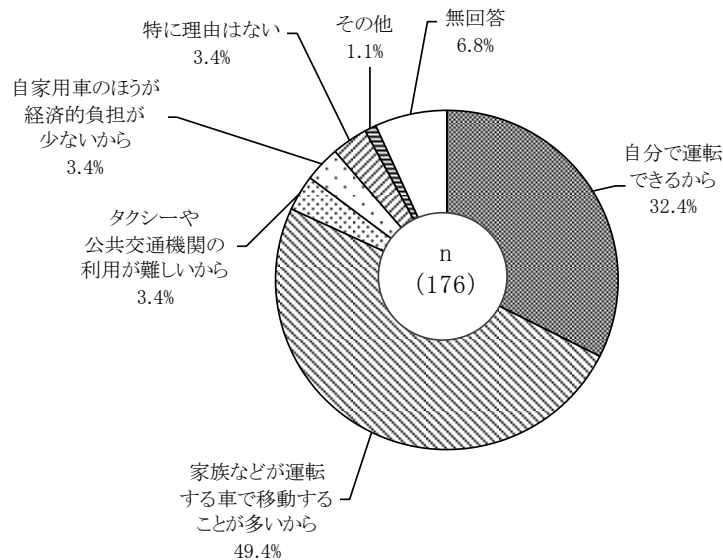
# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他	無回答
全 体	286 100.0	24 8.4	50 17.5	228 79.7	136 47.6	13 4.5	21 7.3	13 4.5	26 9.1	18 6.3	13 4.5
身体障害	225 100.0	18 8.0	24 10.7	184 81.8	106 47.1	9 4.0	12 5.3	9 4.0	23 10.2	14 6.2	12 5.3
知的障害	58 100.0	6 10.3	31 53.4	43 74.1	26 44.8	3 5.2	9 15.5	4 6.9	3 5.2	3 5.2	1 1.7
精神障害	28 100.0	3 10.7	5 17.9	24 85.7	13 46.4	1 3.6	1 3.6	-	1 3.6	1 3.6	-
難病	54 100.0	3 5.6	11 20.4	48 88.9	24 44.4	1 1.9	3 5.6	4 7.4	5 9.3	3 5.6	2 3.7
無回答	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-

問 86 【問 84 で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方におたずねします。】  
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
（○は1つ）

「家族などが運転する車で移動することが多いから」が 49.4%で最も多く、以下「自分で運転できるから」が 32.4%となっています。



#### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	176 100.0	57 32.4	87 49.4	6 3.4	6 3.4	6 3.4	2 1.1	12 6.8
身体障害	133 100.0	56 42.1	54 40.6	5 3.8	5 3.8	4 3.0	2 1.5	7 5.3
知的障害	49 100.0	2 4.1	38 77.6	1 2.0	2 4.1	2 4.1	-	4 8.2
精神障害	15 100.0	1 6.7	11 73.3	-	1 6.7	-	-	2 13.3
難病	29 100.0	4 13.8	19 65.5	1 3.4	1 3.4	2 6.9	-	2 6.9
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 【身体障害の種類別】

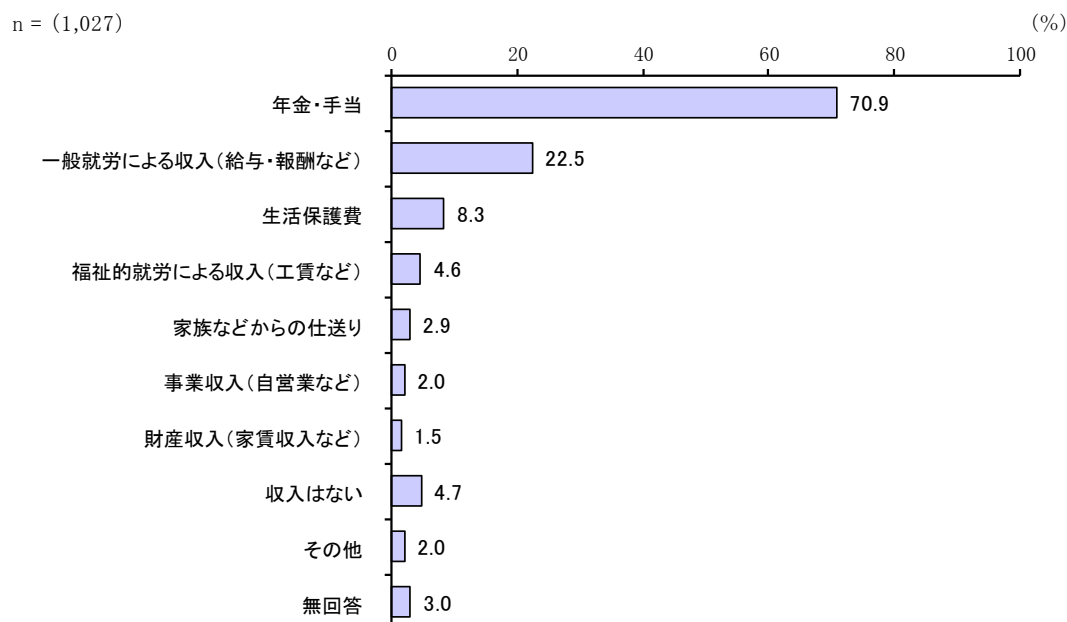
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	133 100.0	56 42.1	54 40.6	5 3.8	5 3.8	4 3.0	2 1.5	7 5.3
肢体不自由	52 100.0	13 25.0	29 55.8	4 7.7	1 1.9	1 1.9	1 1.9	3 5.8
音声・言語・そしゃく機能障害	7 100.0	-	6 85.7	-	-	1 14.3	-	-
視覚障害	13 100.0	-	11 84.6	-	1 7.7	1 7.7	-	-
聴覚・平衡機能障害	8 100.0	1 12.5	2 25.0	-	-	2 25.0	-	3 37.5
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	57 100.0	40 70.2	12 21.1	-	3 5.3	-	1 1.8	1 1.8
無回答	10 100.0	4 40.0	4 40.0	1 10.0	-	1 10.0	-	-

## (14) 収入や利用者負担について

問 87 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

「年金・手当」が 70.9%で最も多く、以下「一般就労による収入（給与・報酬など）」が 22.5%となっています。



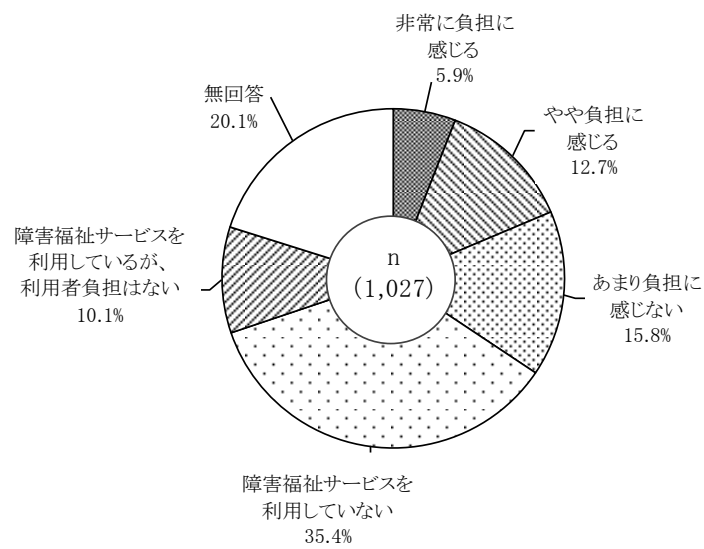
### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	一般就労による収入(給与・報酬など)	福祉的就労による収入(工賃など)	事業収入(自営業など)	財産収入(家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	家族などからの仕送り	収入はない	その他	無回答
全 体	1,027	231	47	21	15	728	85	30	48	21	31
	100.0	22.5	4.6	2.0	1.5	70.9	8.3	2.9	4.7	2.0	3.0
身体障害	683	123	7	18	12	519	43	15	21	10	23
	100.0	18.0	1.0	2.6	1.8	76.0	6.3	2.2	3.1	1.5	3.4
知的障害	207	66	38	1	-	145	15	8	7	5	6
	100.0	31.9	18.4	0.5	-	70.0	7.2	3.9	3.4	2.4	2.9
精神障害	212	56	14	3	1	125	38	8	21	6	1
	100.0	26.4	6.6	1.4	0.5	59.0	17.9	3.8	9.9	2.8	0.5
難病	165	37	6	2	3	124	15	4	6	6	7
	100.0	22.4	3.6	1.2	1.8	75.2	9.1	2.4	3.6	3.6	4.2
無回答	8	1	-	1	1	4	-	1	-	1	2
	100.0	12.5	-	12.5	12.5	50.0	-	12.5	-	12.5	25.0

問 88 あなた（保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「障害福祉サービスを利用していない」が 35.4%で最も多く、以下「あまり負担に感じない」が 15.8%、「やや負担に感じる」が 12.7%となっています。



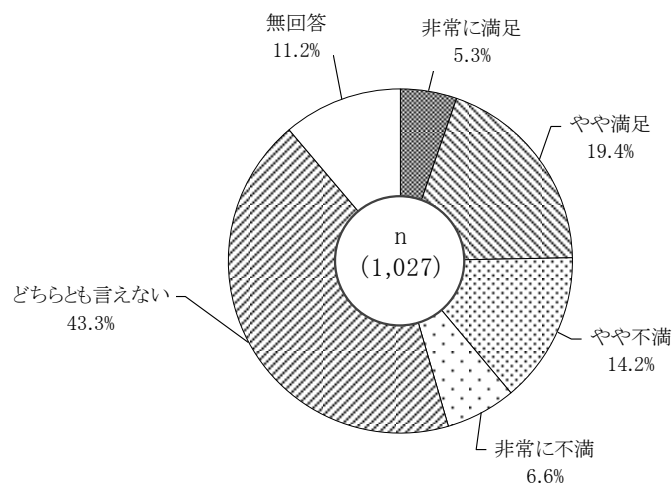
【障害種別】

		単位 上段:件、下段:%					
	調査数	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	障害福祉サービスを利用していない	障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない	無回答
全 体	1,027	61	130	162	364	104	206
	100.0	5.9	12.7	15.8	35.4	10.1	20.1
身体障害	683	41	86	99	243	51	163
	100.0	6.0	12.6	14.5	35.6	7.5	23.9
知的障害	207	13	32	36	65	39	22
	100.0	6.3	15.5	17.4	31.4	18.8	10.6
精神障害	212	13	28	40	70	28	33
	100.0	6.1	13.2	18.9	33.0	13.2	15.6
難病	165	11	30	25	46	16	37
	100.0	6.7	18.2	15.2	27.9	9.7	22.4
無回答	8	—	2	1	2	—	3
	100.0	—	25.0	12.5	25.0	—	37.5

## (15) 障害者施策について

問 89 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「どちらとも言えない」が 43.3%で最も多く、以下「やや満足」が 19.4%、「やや不満」が 14.2%となっています。



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	1,027	54	199	146	68	445	115
	100.0	5.3	19.4	14.2	6.6	43.3	11.2
身体障害	683	35	133	86	42	295	92
	100.0	5.1	19.5	12.6	6.1	43.2	13.5
知的障害	207	10	39	45	12	83	18
	100.0	4.8	18.8	21.7	5.8	40.1	8.7
精神障害	212	11	45	35	17	96	8
	100.0	5.2	21.2	16.5	8.0	45.3	3.8
難病	165	12	37	31	9	57	19
	100.0	7.3	22.4	18.8	5.5	34.5	11.5
無回答	8	-	2	-	-	1	2
	100.0	-	25.0	-	12.5	25.0	37.5

## (16) 自由意見

問 90 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 282 件の意見がありました。

	分 類	件 数	割合 (%)
1	福祉サービス	62	22.0
2	医療・健康	19	6.7
3	生活環境	20	7.1
4	雇用・就労	13	4.6
5	将来について	11	3.9
6	経済事情・経済的支援	9	3.2
7	行政・制度	30	10.6
8	その他	118	41.8
合計		282	100.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### ①福祉サービス

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
障害や病気が重くなり、家族で面倒がみれなくなった時の（特別養護老人ホームなど）をもっとつくって欲しいです。自分の年金のはんい内ではいれるところ。	身体障害	70 歳代	男性	家族
どのようなサービスを受けられるのか分かりづらい。自分の病気の状態で受けられるサービスを全て自分で探さなくてはいけないのは不便。	精神障害 自立支援医療	20 歳代	女性	本人
精神的障害のために、家事がたまってしまうので、無料のヘルパー派遣があれば、特に高齢になってきた時に助かる。一生治らない病気なのに、障害者年金を断られた。市の方で何とかしてもらえないか。	精神障害 自立支援医療	40 歳代	女性	本人
病院へはタクシーを使うので割引券がほしい。今現在障害 4 級のため 1 割は割り引いてもらえるがもう少し割り引いてもらいたいです。3 千円位かかるのは辛いです。	身体障害	80 歳代	女性	本人
30 才の時、交通事故で足ももからせつだんと言われた。なんとか足をのこしてもらい、友達からすすめられ手帳をもらった。今 88 才、この手帳もっているだけ。せめて病院に行く交通、タクシー援助があったらなあと思います。	身体障害	80 歳代	男性	不明
精神障害 2 級ですが、鉄道料金の割引きがあるといいと思います。	精神障害 自立支援医療	40 歳代	女性	本人

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
タクシー代半額とかそういうのではなく、チケットで500円券で何枚分とか金券と同じ様にしてもらいたい	身体障害	70 歳代	男性	家族
学校を卒業すると情報が入ってこなくなり、相談する相手も少なくなる。もっとわかりやすく説明してくれるサービスがあればいいと思う。今年、20 歳になるので年金の手続きをどうしたらよいのかよくわからない。	知的障害	10 歳代	女性	家族
美浜区に母子で生活していますが母親は生活のため、年末年始、お盆休み、ゴールデンウィーク、土日祭日に関わらず仕事があり、知的障害者（23 才）を預けて働く事にとっても苦勞しています。短期入所はもちろんなく日中一時ですら希望の日時を利用できません。千葉市はとて遅れています。障害者がいて生活が大変なのに時間をかけて頭を下げ福祉施設を利用し1日が何時間あっても足りません。もっと利用できる所を増やして下さい。	知的障害	20 歳代	男性	家族
勉強不足であったが、こんなに多くの福祉サービスがあるのに驚いた。障害に応じた利用できるサービスを再度考えたい。	知的障害	30 歳代	女性	本人
今年台風 19 号のとき早々とひなん情報がでました。レベル3でした。私は障がい者ひなん困難者名簿に名前を登録しているが、だれからもどこからも、訪問、れんらく、一切なかった。なんのための名簿だろうか。また台風 15 号のときハーモニープラザに福祉ひなん所が開設されていたが、そもそもあそこまで行けない	自立支援医療	60 歳代	女性	本人
災害にあったら、こういう事がある情報をどうやって知らせていくか、前もって、知って欲しいとか情報をどのように広めていくか、知りたいのです。（聴覚障害者）	身体障害	40 歳代	女性	本人

## ②医療・健康について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
一般の方に比べて、病院に定期的に通うケースが多く、手帳は持っていたとしても、収入制限でかなり前から助成を受けられなくなりました。他の県や市によっては制限がないところもあり、医療費に関しては他のサービス（ETC）などよりも充実させて頂きたいと思っています。	知的障害 自立支援医療	20 歳代	女性	家族
特定医療費（指定難病）受給者証が毎年更新のため、毎年病院で医師に診断書を書いてもらう必要がある。その料金が 6300 円で負担が大きい。脊髄小脳変性症は進行性で改善することはないのだから、機械的に毎年診断書を出させるのは障害者福祉に明らかに逆行する施策である。ぜひ改善してもらいたい（配偶者代筆）。	不明	60 歳代	女性	本人
自立支援医療制度を利用していますが、かかりつけ医が遠方です。クリニックでは受け入れてもらえない為、（自殺行為等が前科にあると受け入れ×）救急外来受診できる精神科が1つ、かかりつけ医が1つ、薬局が2つ、利用できると突発的に不安定になっても、大事に至らなくて済む。救急で時間外など、金銭的に気にしてしまい、ガマンしてしまい、つらくなるため。	精神障害 自立支援医療	20 歳代	女性	本人

### ③生活環境について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
私は高齢者障害で、内外共車イス利用。主人の車運転も、あと3～5年が限度かと思います。食品類は生協を利用していますが、週一度位は外の食品スーパーを利用します。2人共総合病院に通院しています。運転免許証返納の後が心配です。	身体障害	70 歳代	女性	本人
生活補助（ゴミ出し、大掃除）の手伝い、話し相手。	身体障害	60 歳代	男性	不明
知的障害の人が参加できるスポーツサークルを増やしてほしい。自宅で家族と生活をしていきたいが無理がある。短所入所など増やして、できるかぎり在宅生活を長く続けられる支援をして欲しい。	知的障害	20 歳代	男性	家族
両親が高齢のためアパートの保証人の資格がないとのことで保障会社の審査がなかなか通らないので2年ごとのアパートの更新の際、住む場所がなくなるのではと不安になります。市でどうにかできることはないかもしれませんが、それが負担になっています。	精神障害 自立支援医療	50 歳代	男性	本人
路線バス、モノレールは無料になると良いなと思っております。	身体障害	40 歳代	男性	本人
買い物等に行くと障害者パーキングに健常者が駐車している方が多く、障害者車イスの利用が困難な時があり困っているの、対象者以外は利用できないよう対策をお願いを望みます。	身体障害	60 歳代	女性	本人

### ④雇用・労働について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
ハローワークに行けば、精神障害者というだけで、軽作業の仕事しかないと言われ、障害者であることをふせて応募している次第。厚生労働省ともその点充分検討し、その問題点を改善できるよう努力して頂きたいものです。	精神障害	60 歳代	男性	本人
今は就職しているが、いつまで働けるか不安。就活している時、障害者手帳を持っているということがネックになっていたようだ（だからといって病状があるので手帳は必要）。収入がなくなるのがこわい。	身体障害	40 歳代	女性	本人
差別は昔から変わっていない。 ようやく就労しても、いじめられてやめてしまうのでは意味なく感じてしまう。また就労イコール幸せではなく、意味も分からず訓練させられることが負担になる方もいる。つまり社会の差別が第一。就労し自立することを目標にし、幸せを感じるのであればいいが、そうでない方もいる。自立度に応じて施設をわりふられるのは限界を感じる。幸せを感じるためには、どうしていくべきか？そういったサービス	知的障害	70 歳代	男性	施設職員
障害を持っても、働きたい気持ちはあるようです。施設で出来る様な簡単な仕事（内職）でもあればいいのではと思います。	精神障害	40 歳代	女性	本人

## ⑤将来について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
親亡き後の生活が一番の心配事です。制度やサービスの拡充はもちろんですが、心の通ったふれあいのあるところで自立して生活していければ何よりだと感じます。障害者の特性を理解しあたたかく見守っていただける施設が十分にできると大変嬉しく思います。よろしくお願いします。	知的障害	20 歳代	男性	家族
親の高齢化にともない、将来の本人の住居、生活等、不安だらけです。具体的には精神（発達障害、軽度知的障害者）のためのグループホームの整備を切に望んでおります。	精神障害 自立支援医療	20 歳代	男性	家族
保護者となっている私達同居夫婦は二人とも 76～78 歳、要介護支援者となっています。将来どちらかがたおれた時、頼める親族もダメなので安心して入所させられる施設の充実を切にお願いしたいです。	知的障害 自立支援医療	70 歳代	男性	家族
本人に自覚がないが、保護者なき後の生活自立が心配。社会に係わる他ないが。	身体障害	40 歳代	男性	家族
父母亡き後も自宅で暮らし続けたい希望があります。どのような援助があるのか勉強し安心したい。	知的障害	40 歳代	女性	不明

## ⑥経済事情・経済的支援について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
中途難聴で、補聴器利用しているので、日常生活は不自由は感じていないが、将来病気になった時不安を感じます。補聴器の利用者に対して（自分にあったものが高いいので）の金銭的補てんが欲しい（今でもありますが制限があるので）。利用できないでいます。	身体障害	70 歳代	女性	不明
障害者年金などの給付金が少な過ぎると思います。一人暮らしや夫婦のみで、助ける人が縁の無い場合（私もそうです）、最低限でなくとも、一般的な程の生活はできないのです。給付金の増を望みます。人生 100 年とニュースがうたっていますが、なおさら気が遠くなるのです。	精神障害 自立支援医療	50 歳代	男性	本人
・最近「子供政策」ばかり重要にされて「障害政策」についておいてきぼり感が強い。・市からの手当（半年に 5000 円）も年々減額され、交通費支援費も減らされているので年金のみの生活は苦しいです。	知的障害	30 歳代	男性	家族
利用量の上限設定が 2 段階、5 千円弱と 4 万円弱なので、その中間で何段階かにわけて、利用料の設定をしてほしい。医療費サービスも利用できていません。収入がやや高い程度なのに 3 万円台になり、他の高収入の方と同じ利用料金なのは納得できません。医療費も高いので負担です。上限設定を下げてほしいです。	知的障害	10 歳代	男性	家族

## ⑦行政・制度について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
利用出来るサービスや支援等の情報は、自分で色々と調べていかないとわからない様な仕組みになっていると感じる。制度など利用出来る（負担を軽減）事項について、冊子など各家庭に定期的に配布するなどしてほしい。介護タクシーの拡大、病院などの付き添いなど、これからもっと必要になると思う。	身体障害	70 歳代	女性	家族
グループホームに入居しているが、父親が不在となり、母親も年齢を重ねている今後の本人の安心の為の整備として成年後見制度を利用する必要があるが、費用の事で不安を感じている。家族信託等も耳にしているが費用が安心できるサービスを提供していただけると安心です。	知的障害	40 歳代	男性	本人
障害者がおかれている状況の実態をもっと把握してほしい。正直申し上げて、行政からの働きかけが少なすぎる。	知的障害	40 歳代	女性	家族
区役所の高齢障害支援課に専門の職員をおいて欲しい（情報が乏しく、以前苦労した）	身体障害	30 歳代	男性	家族
会社に対して、もっと理解してもらえるように、市の方で伝えてほしい。優しく接する様に強く伝えてほしい。逆に特別あつかいしてほしい。私だって必死に働いているのだから、きびしい体度に不安。つらい。	身体障害 自立支援医療	50 歳代	女性	本人
もっともっとバリアフリー化を進めてほしいです。	身体障害	80 歳代	女性	本人
必要な支援はなく、対策もピンポイントがずれているものが多い。本当に必要なサービスを見極めて欲しい。	身体障害	50 歳代	男性	本人
障害者に対する研修をバスの運転手に実施していただきたい。	精神障害 自立支援医療	40 歳代	男性	本人

## ⑧その他

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
大人の発達障害は最近、少しずつ就労するに当たって広まってきたが、まだまだ理解ある事業所が少ない為、病気を隠して一般就労として働かなければならない人が多いので、もう少し理解が深まって欲しい。	精神障害 自立支援医療	40 歳代	女性	本人
様々な手続きを行う為に窓口に行かなければならない事が負担になっています。きばーるを利用していますが、駐車場から窓口まで遠いので歩行障害のある者にとって本当に大変です。 市立病院の駐車場を健常者が使い、障害者が利用出来ず困っています。	身体障害 精神障害 自立支援医療	40 歳代	男性	本人

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
障害のサービス健康保険全てを把握している人がいない。(たらい回しにされる) 結局自分で調べて結論を出さないといけない。役所の人は縦割りだからという。ことを忘れないでほしい。私たちの税金で生活しているのだから。アンケートをするのは良いが水をする前にやることもあると思う。知識を増やしてほしい。もうたらい回しはやめてください。ひどすぎます。無知すぎる。	身体障害	70 歳代	女性	家族
沢山の支援をよく知らなかった。現在家族と日常を過ごしています。将来は助けを借りながら日常生活の自立を目指したい。	身体障害	40 歳代	女性	本人
今は自力で生活が出来るので福祉のサービスを受けては無いが、これから自分自身も色々知識を深めて行かなければと感じました。	身体障害	70 歳代	女性	本人
統合失調症は外見上は健常者と変わらないので、日常的な生活の中ですれ違いが生じることが多々あります。身近に接する人たちとも、より思いやりのある対応を求めています。	精神障害	不明	男性	本人



## 2 施設に入所している方を対象とした調査

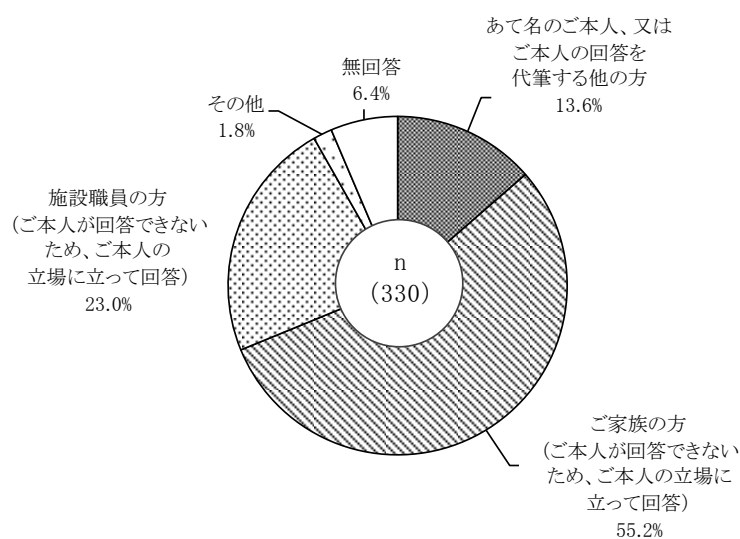


## 2 施設に入所している方を対象とした調査

### (1) 回答者について

#### 問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(○は1つ)

「ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「施設職員の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」の割合が 23.0%、「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」の割合が 13.6%となっています。



#### 【障害種別】

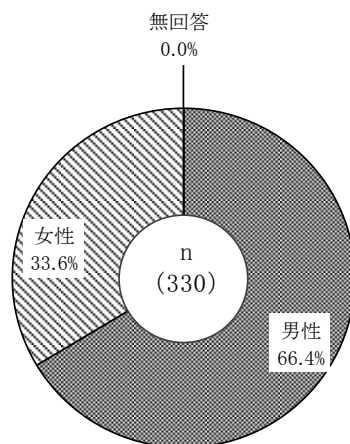
単位 上段:件、下段:%

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	施設職員の方	その他	無回答
全 体	330	45	182	76	6	21
	100.0	13.6	55.2	23.0	1.8	6.4
身体障害	126	23	70	21	2	10
	100.0	18.3	55.6	16.7	1.6	7.9
知的障害	260	29	143	70	5	13
	100.0	11.2	55.0	26.9	1.9	5.0
精神障害	35	4	17	13	1	-
	100.0	11.4	48.6	37.1	2.9	-
難病	7	2	5	-	-	-
	100.0	28.6	71.4	-	-	-
無回答	6	1	3	1	-	1
	100.0	16.7	50.0	16.7	-	16.7

## (2) 本人について

### 問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」の割合が 66.4%、「女性」の割合が 33.6%となっています。



### 【障害種別】

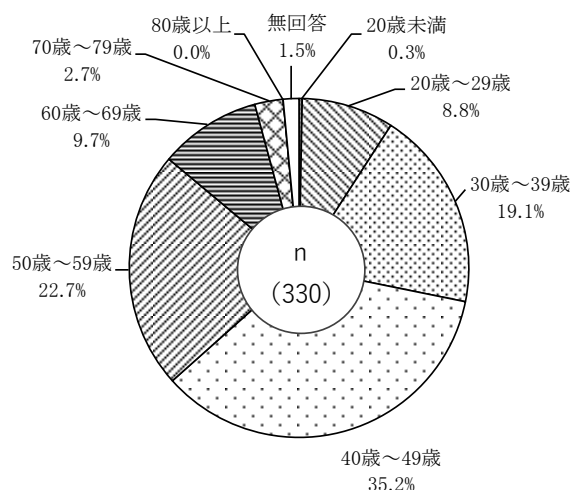
単位 上段:件、下段:%

	調査数	男性	女性	無回答
全 体	330 100.0	219 66.4	111 33.6	— —
身体障害	126 100.0	72 57.1	54 42.9	— —
知的障害	260 100.0	178 68.5	82 31.5	— —
精神障害	35 100.0	21 60.0	14 40.0	— —
難病	7 100.0	1 14.3	6 85.7	— —
無回答	6 100.0	2 33.3	4 66.7	— —

問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

「40～49歳」の割合が35.2%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が22.7%、「30～39歳」の割合が19.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「50歳～59歳」の割合が増加しています。また、知的障害のある方では、「50歳～59歳」の割合が、精神障害のある方では、「40歳～49歳」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	平均
全 体	330 100.0	1 0.3	29 8.8	63 19.1	116 35.2	75 22.7	32 9.7	9 2.7	—	5 1.5	45.9
身体障害	126 100.0	—	9 7.1	19 15.1	43 34.1	31 24.6	19 15.1	4 3.2	—	1 0.8	48.3
知的障害	260 100.0	1 0.4	28 10.8	56 21.5	94 36.2	56 21.5	16 6.2	7 2.7	—	2 0.8	44.5
精神障害	35 100.0	—	2 5.7	7 20.0	14 40.0	5 14.3	4 11.4	2 5.7	—	1 2.9	46.5
難病	7 100.0	—	—	—	3 42.9	2 28.6	2 28.6	—	—	—	53.1
無回答	6 100.0	—	—	—	1 16.7	2 33.3	1 16.7	—	—	2 33.3	53.0

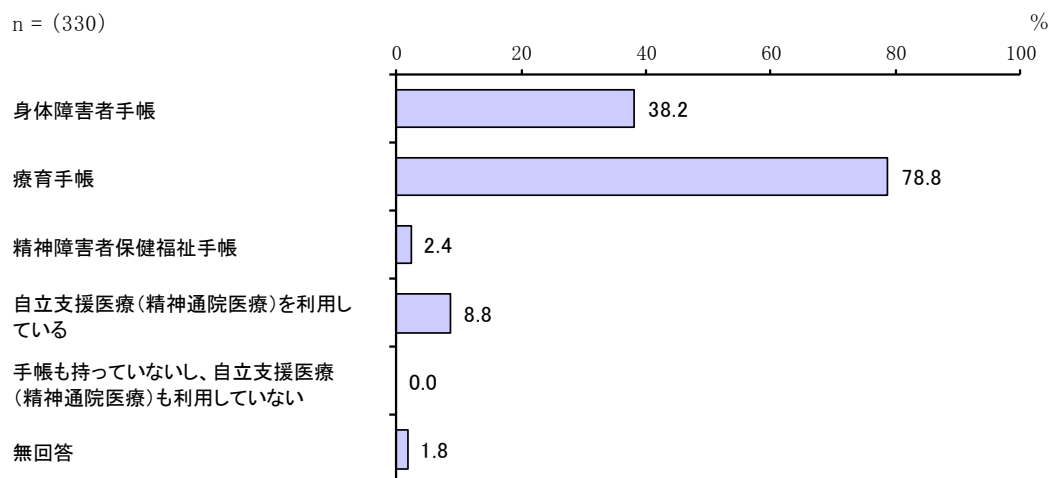
【平成28年度調査】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	平均
全 体	568 100.0	1 0.2	58 10.2	115 20.2	212 37.3	89 15.7	54 9.5	27 4.8	6 1.1	6 1.1	45.6
身体障害	246 100.0	1 0.4	15 6.1	45 18.3	84 34.1	47 19.1	31 12.6	15 6.1	3 1.2	5 2.0	48.0
知的障害	409 100.0	1 0.2	53 13.0	95 23.2	157 38.4	57 13.9	27 6.6	15 3.7	3 0.7	1 0.2	43.5
精神障害	34 100.0	—	2 5.9	8 23.5	11 32.4	6 17.6	6 17.6	1 2.9	—	—	46.6
難病	43 100.0	—	2 4.7	9 20.9	15 34.9	11 25.6	4 9.3	2 4.7	—	—	46.9
無回答	12 100.0	—	1 8.3	1 8.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	—	1 8.3	51.8

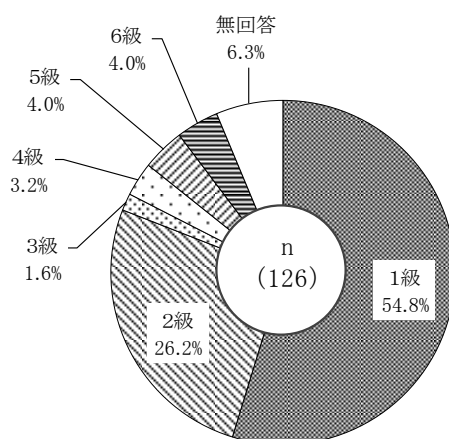
問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。）

「療育手帳」の割合が78.8%と最も高く、次いで「身体障害者手帳」の割合が38.2%となっています。



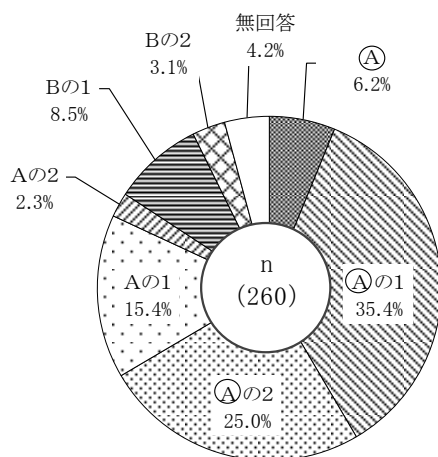
## 1. 身体障害者手帳

「1級」の割合が54.8%と最も高く、次いで「2級」の割合が26.2%となっています。



## 2. 療育手帳

「㊤の1」の割合が35.4%と最も高く、次いで「㊤の2」の割合が25.0%、「Aの1」の割合が15.4%となっています。

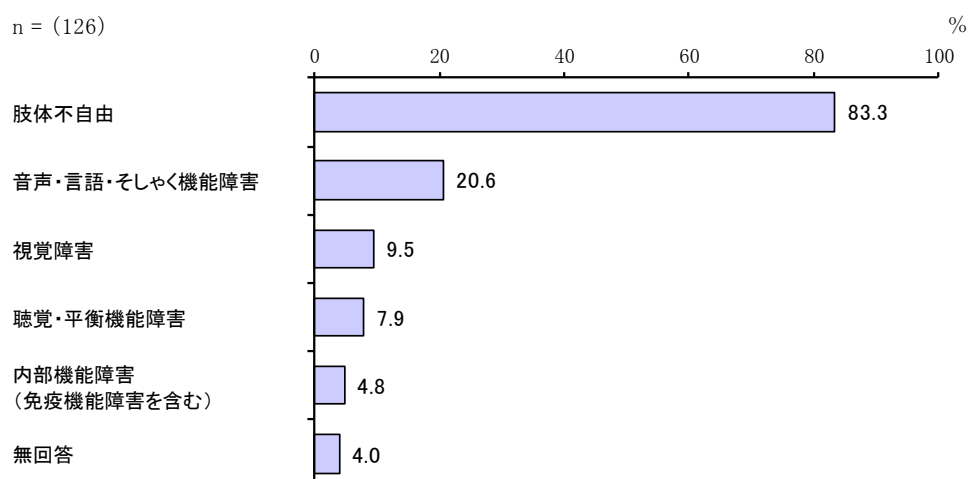


## 3. 精神障害者保健福祉手帳

「1級」が5件、「2級」が3件となっています。

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。  
(〇はいくつでも)

「肢体不自由」の割合が83.3%と最も高く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障害」の割合が20.6%となっています。



問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 国が指定する特定疾患

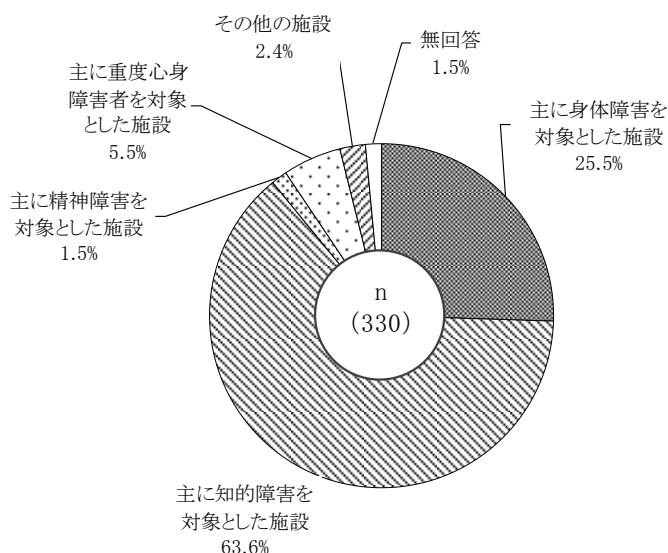
病 名	件 数
レット症候群	1 件
エプスタイン病	1 件
下垂体前葉機能低下症	1 件
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1 件
筋ジストロフィー	1 件
脊髄小脳変性症	1 件
合計	6 件

### (3) 施設への入所について

#### 問7 あなたが入所している施設の種類をお聞きます。(○は1つ)

「主に知的障害を対象とした施設」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「主に身体障害を対象とした施設」の割合が 25.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「主に身体障害を対象とした施設」の割合が増加しています。



#### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	主に身体障害 を対象とした施設	主に知的障害 を対象とした施設	主に精神障害 を対象とした施設	主に重度心身 障害者を対象と した施設	その他の施設	無回答
全 体	330 100.0	84 25.5	210 63.6	5 1.5	18 5.5	8 2.4	5 1.5
身体障害	126 100.0	79 62.7	28 22.2	1 0.8	12 9.5	5 4.0	1 0.8
知的障害	260 100.0	29 11.2	205 78.8	3 1.2	12 4.6	7 2.7	4 1.5
精神障害	35 100.0	5 14.3	24 68.6	1 2.9	3 8.6	2 5.7	—
難病	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	—	1 14.3	—
無回答	6 100.0	1 16.7	4 66.7	—	—	—	1 16.7

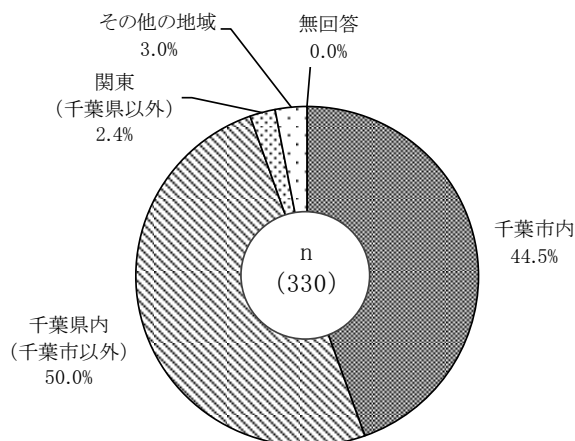
#### 【平成 28 年度調査】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	主に身体障害 を対象とした施設	主に知的障害 を対象とした施設	主に精神障害 を対象とした施設	主に重度心身 障害者を対象と した施設	その他の施設	無回答
全 体	568 100.0	152 26.8	380 66.9	4 0.7	22 3.9	6 1.1	4 0.7
身体障害	246 100.0	143 58.1	77 31.3	2 0.8	16 6.5	5 2.0	3 1.2
知的障害	409 100.0	31 7.6	365 89.2	2 0.5	8 2.0	1 0.2	2 0.5
精神障害	34 100.0	1 2.9	31 91.2	1 2.9	—	1 2.9	—
難病	43 100.0	10 23.3	32 74.4	1 2.3	—	—	—
無回答	12 100.0	5 41.7	6 50.0	—	—	—	1 8.3

問8 あなたが入所している施設がある地域をお聞きます。(○は1つ)

「千葉県内(千葉市以外)」の割合が50.0%と最も高く、次いで「千葉市内」の割合が44.5%となっています。



【障害種別】

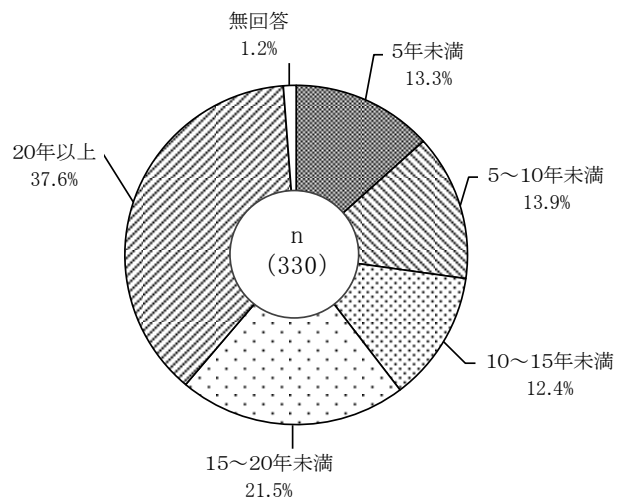
単位 上段:件、下段:%

	調査数	千葉市内	千葉県内(千葉市以外)	関東(千葉県以外)	その他の地域	無回答
全 体	330 100.0	147 44.5	165 50.0	8 2.4	10 3.0	—
身体障害	126 100.0	75 59.5	42 33.3	3 2.4	6 4.8	—
知的障害	260 100.0	97 37.3	149 57.3	7 2.7	7 2.7	—
精神障害	35 100.0	8 22.9	25 71.4	1 2.9	1 2.9	—
難病	7 100.0	5 71.4	2 28.6	—	—	—
無回答	6 100.0	1 16.7	5 83.3	—	—	—

問9 あなたが現在の施設に入所してからの期間をお聞きます。(○は1つ)

「20年以上」の割合が37.6%と最も高く、次いで「15～20年未満」の割合が21.5%、「5～10年未満」の割合が13.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「20年以上」の割合が増加しています。一方、「10～15年未満」の割合が減少しています。また、知的障害のある方では、「20年以上」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
全 体	330 100.0	44 13.3	46 13.9	41 12.4	71 21.5	124 37.6	4 1.2
身体障害	126 100.0	24 19.0	18 14.3	13 10.3	33 26.2	36 28.6	2 1.6
知的障害	260 100.0	28 10.8	35 13.5	33 12.7	55 21.2	108 41.5	1 0.4
精神障害	35 100.0	7 20.0	8 22.9	1 2.9	9 25.7	9 25.7	1 2.9
難病	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	—	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7

【平成28年度調査】

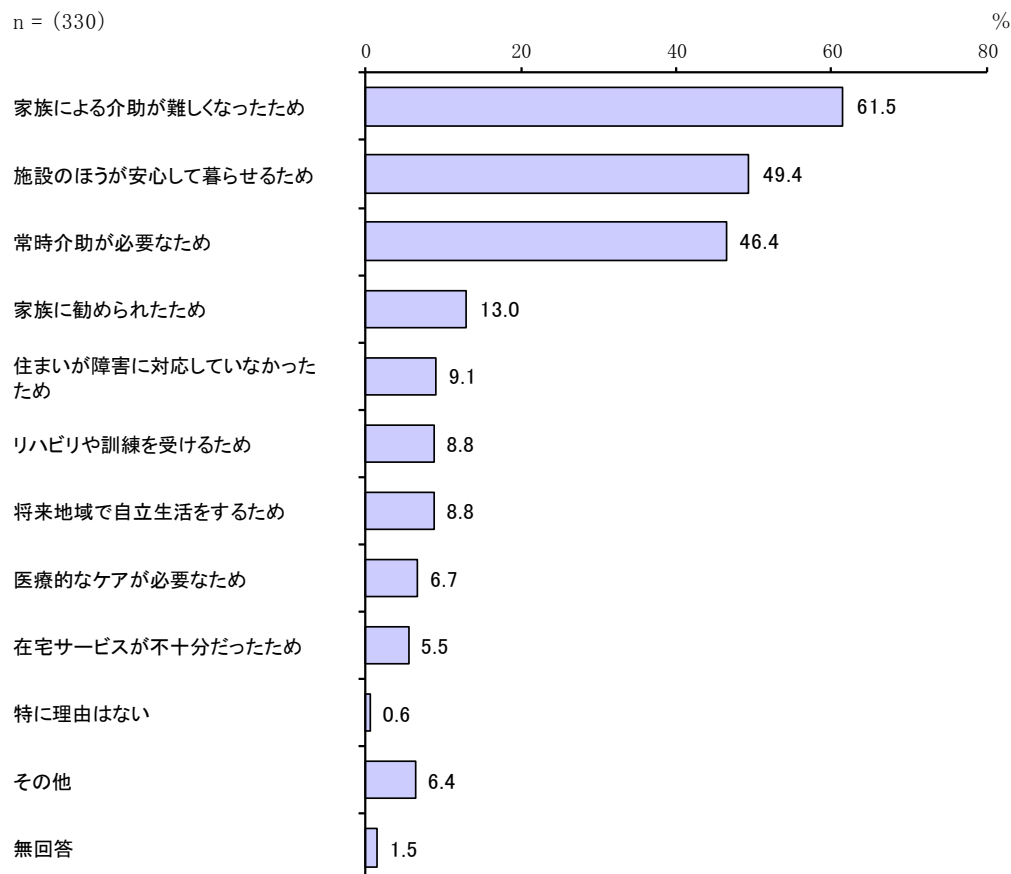
単位 上段:件、下段:%

	調査数	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
全 体	568 100.0	71 12.5	79 13.9	109 19.2	132 23.2	158 27.8	19 3.3
身体障害	246 100.0	37 15.0	32 13.0	43 17.5	57 23.2	67 27.2	10 4.1
知的障害	409 100.0	46 11.2	59 14.4	79 19.3	90 22.0	124 30.3	11 2.7
精神障害	34 100.0	6 17.6	7 20.6	5 14.7	7 20.6	9 26.5	—
難病	43 100.0	5 11.6	4 9.3	11 25.6	9 20.9	13 30.2	1 2.3
無回答	12 100.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	3 25.0	1 8.3	4 33.3

問 10 あなたが現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「家族による介助が難しくなったため」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「施設のほうが安心して暮らせるため」の割合が 49.4%、「常時介助が必要なため」の割合が 46.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「常時介助が必要なため」、「施設のほうが安心して暮らせるため」の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、「常時介助が必要なため」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	常時介助 が必要な ため	医療的な ケアが必 要なため	家族によ る介助が 難しくな ったため	在宅サー ビスが不 十分だっ たため	住まいが 障害に対 応してい なかった ため	リハビリや 訓練を受 けるため	将来地域 で自立生 活をする ため	家族に勧 められた ため	施設のほ うが安心 して暮ら せるため	特に理由 はない	その他	無回答
全 体	330	153	22	203	18	30	29	29	43	163	2	21	5
	100.0	46.4	6.7	61.5	5.5	9.1	8.8	8.8	13.0	49.4	0.6	6.4	1.5
身体障害	126	69	14	87	10	19	16	9	19	55	1	7	1
	100.0	54.8	11.1	69.0	7.9	15.1	12.7	7.1	15.1	43.7	0.8	5.6	0.8
知的障害	260	118	16	157	15	20	20	25	36	135	1	17	3
	100.0	45.4	6.2	60.4	5.8	7.7	7.7	9.6	13.8	51.9	0.4	6.5	1.2
精神障害	35	22	1	20	8	2	4	1	5	18	1	4	1
	100.0	62.9	2.9	57.1	22.9	5.7	11.4	2.9	14.3	51.4	2.9	11.4	2.9
難病	7	3	-	5	-	-	1	1	1	4	-	-	-
	100.0	42.9	-	71.4	-	-	14.3	14.3	14.3	57.1	-	-	-
無回答	6	1	-	4	-	-	-	-	1	3	-	1	1
	100.0	16.7	-	66.7	-	-	-	-	16.7	50.0	-	16.7	16.7

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

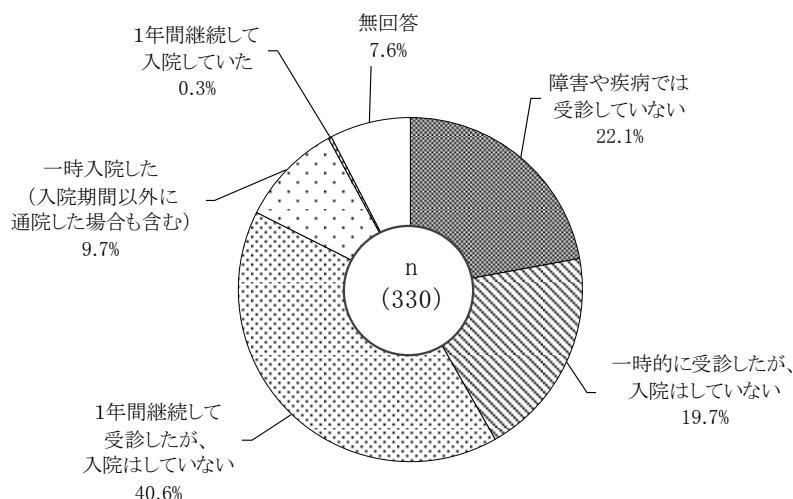
	調査数	常時介助 が必要な ため	医療的な ケアが必 要なため	家族によ る介助が 難しくな ったため	在宅サー ビスが不 十分だっ たため	住まいが 障害に対 応してい なかった ため	リハビリや 訓練を受 けるため	将来地域 で自立生 活をする ため	家族に勧 められた ため	施設のほ うが安心 して暮ら せるため	特に理由 はない	その他	無回答
全 体	568	225	33	335	22	42	42	50	77	201	6	24	17
	100.0	39.6	5.8	59.0	3.9	7.4	7.4	8.8	13.6	35.4	1.1	4.2	3.0
身体障害	246	123	25	150	10	26	26	12	27	77	-	10	8
	100.0	50.0	10.2	61.0	4.1	10.6	10.6	4.9	11.0	31.3	-	4.1	3.3
知的障害	409	139	14	250	16	24	26	40	56	167	6	16	8
	100.0	34.0	3.4	61.1	3.9	5.9	6.4	9.8	13.7	40.8	1.5	3.9	2.0
精神障害	34	13	2	19	3	1	1	5	8	13	2	5	-
	100.0	38.2	5.9	55.9	8.8	2.9	2.9	14.7	23.5	38.2	5.9	14.7	-
難病	43	17	2	27	3	3	4	5	7	16	-	2	-
	100.0	39.5	4.7	62.8	7.0	7.0	9.3	11.6	16.3	37.2	-	4.7	-
無回答	12	4	-	4	-	-	-	1	2	2	-	-	3
	100.0	33.3	-	33.3	-	-	-	8.3	16.7	16.7	-	-	25.0

#### (4) 医療機関への受診状況について

問 11 あなたは最近 1 年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。  
(○は 1 つ)

「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「障害や疾病では受診していない」の割合が 22.1%、「一時的に受診したが、入院はしていない」の割合が 19.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、身体障害のある方では、「一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」の割合が増加しています。



#### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	330	73	65	134	32	1	25
	100.0	22.1	19.7	40.6	9.7	0.3	7.6
身体障害	126	26	24	44	23	1	8
	100.0	20.6	19.0	34.9	18.3	0.8	6.3
知的障害	260	60	47	118	15	1	19
	100.0	23.1	18.1	45.4	5.8	0.4	7.3
精神障害	35	3	3	24	5	-	-
	100.0	8.6	8.6	68.6	14.3	-	-
難病	7	-	1	5	1	-	-
	100.0	-	14.3	71.4	14.3	-	-
無回答	6	1	3	-	-	-	2
	100.0	16.7	50.0	-	-	-	33.3

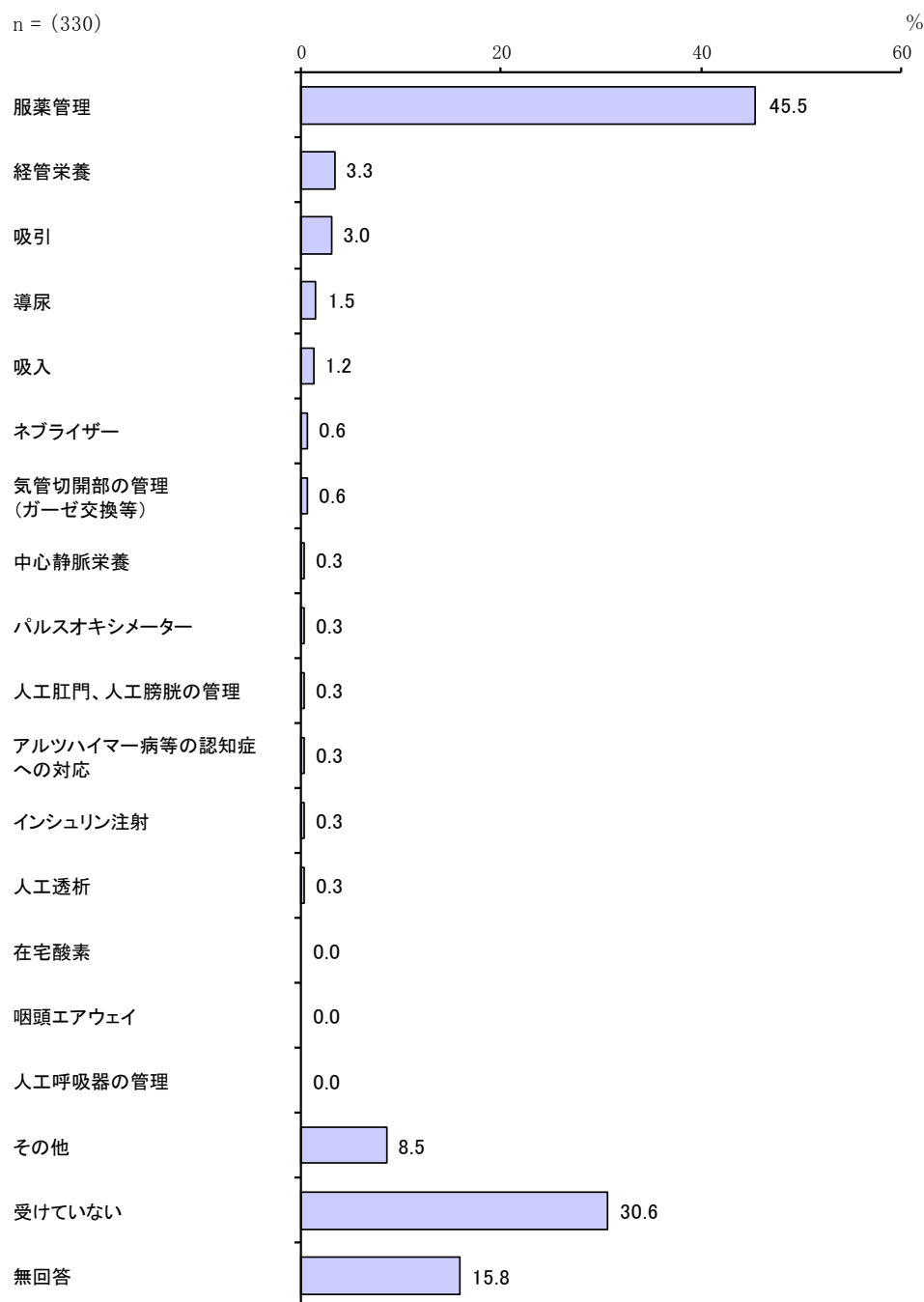
#### 【平成 28 年度調査】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	568	133	131	223	41	-	40
	100.0	23.4	23.1	39.3	7.2	-	7.0
身体障害	246	63	68	76	24	-	15
	100.0	25.6	27.6	30.9	9.8	-	6.1
知的障害	409	89	84	181	24	-	31
	100.0	21.8	20.5	44.3	5.9	-	7.6
精神障害	34	7	2	21	3	-	1
	100.0	20.6	5.9	61.8	8.8	-	2.9
難病	43	8	11	20	2	-	2
	100.0	18.6	25.6	46.5	4.7	-	4.7
無回答	12	6	2	2	1	-	1
	100.0	50.0	16.7	16.7	8.3	-	8.3

問 12 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。  
(○はいくつでも)

「服薬管理」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「受けていない」の割合が 30.6%となっています。  
平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「服薬管理」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「服薬管理」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター
全 体	330 100.0	10 3.0	4 1.2	11 3.3	1 0.3	5 1.5	— —	2 0.6	— —	1 0.3
身体障害	126 100.0	10 7.9	4 3.2	11 8.7	1 0.8	4 3.2	— —	2 1.6	— —	1 0.8
知的障害	260 100.0	2 0.8	1 0.4	5 1.9	1 0.4	2 0.8	— —	— —	— —	— —
精神障害	35 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
難病	7 100.0	— —	— —	1 14.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —
無回答	6 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

	気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	2 0.6	— —	1 0.3	1 0.3	1 0.3	1 0.3	150 45.5	28 8.5	101 30.6	52 15.8
身体障害	2 1.6	— —	1 0.8	— —	— —	1 0.8	65 51.6	13 10.3	34 27.0	13 10.3
知的障害	— —	— —	— —	1 0.4	1 0.4	1 0.4	121 46.5	21 8.1	77 29.6	44 16.9
精神障害	— —	— —	1 2.9	— —	— —	— —	18 51.4	5 14.3	6 17.1	10 28.6
難病	— —	— —	— —	— —	— —	— —	6 85.7	1 14.3	1 14.3	— —
無回答	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 16.7	— —	2 33.3	3 50.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

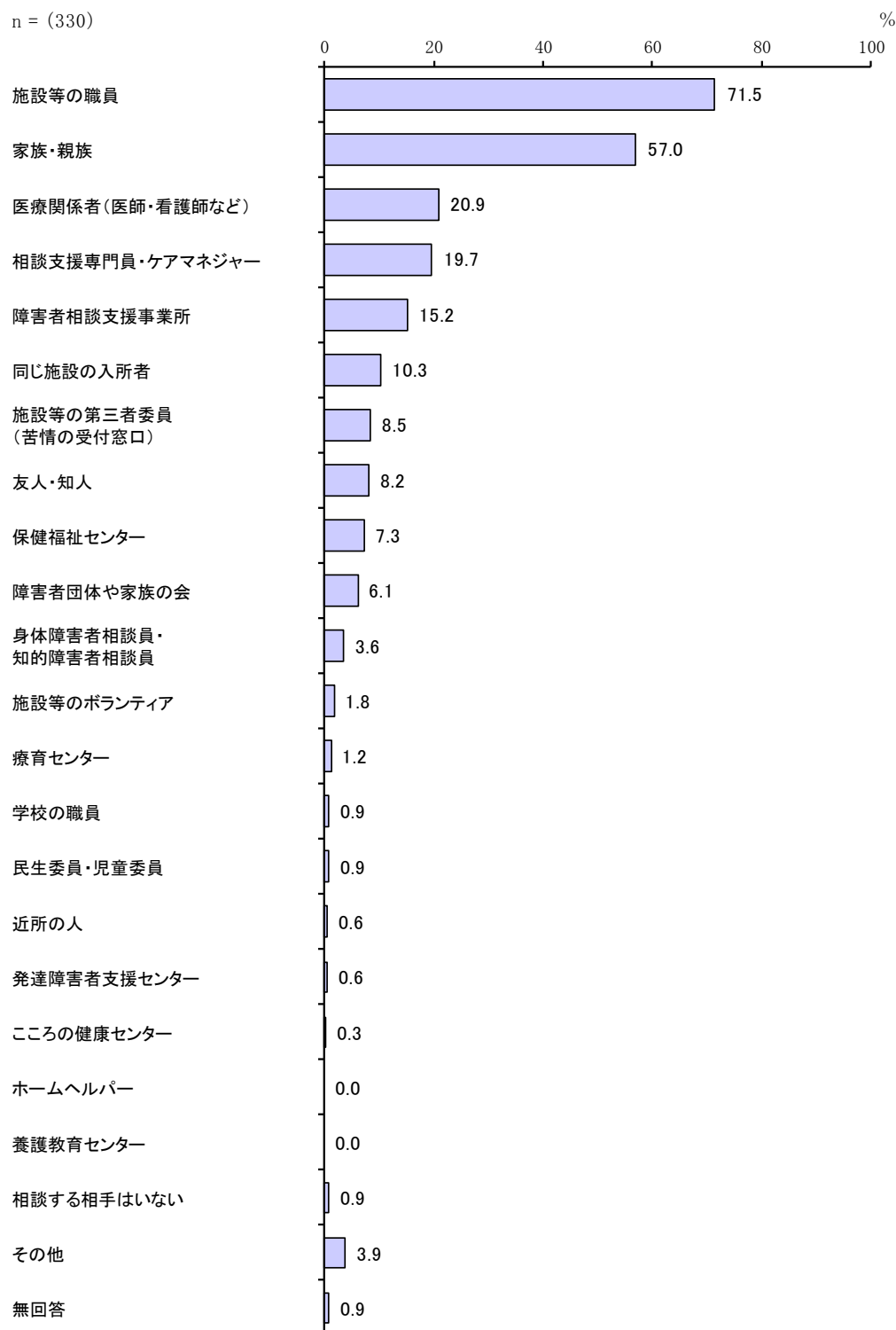
	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター
全 体	568 100.0	13 2.3	2 0.4	17 3.0	— —	6 1.1	3 0.5	5 0.9	— —	5 0.9
身体障害	246 100.0	13 5.3	2 0.8	17 6.9	— —	6 2.4	2 0.8	3 1.2	— —	5 2.0
知的障害	409 100.0	3 0.7	1 0.2	6 1.5	— —	1 0.2	1 0.2	1 0.2	— —	2 0.5
精神障害	34 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 2.9
難病	43 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
無回答	12 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 8.3	— —	— —

	気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	4 0.7	— —	3 0.5	1 0.2	2 0.4	— —	289 50.9	22 3.9	152 26.8	104 18.3
身体障害	4 1.6	— —	3 1.2	1 0.4	1 0.4	— —	142 57.7	11 4.5	59 24.0	34 13.8
知的障害	— —	— —	1 0.2	1 0.2	1 0.2	— —	191 46.7	18 4.4	117 28.6	83 20.3
精神障害	— —	— —	— —	— —	— —	— —	13 38.2	3 8.8	11 32.4	9 26.5
難病	— —	— —	— —	— —	— —	— —	28 65.1	3 7.0	6 14.0	6 14.0
無回答	— —	— —	— —	— —	— —	— —	5 41.7	— —	5 41.7	1 8.3

## （５）相談や情報入手について

問 13 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。  
（〇はいくつでも）

「施設等の職員」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が 57.0%、「医療関係者（医師・看護師など）」の割合が 20.9%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

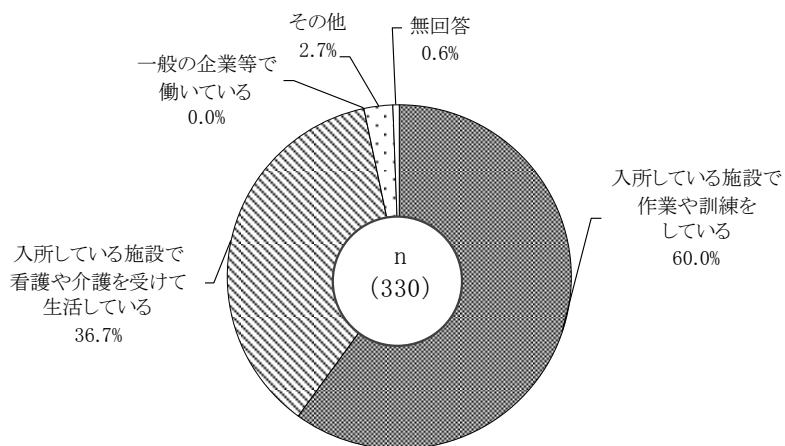
	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	同じ施設の入所者	相談支援専門員・ケアマネジャー	障害者相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	施設等のボランティア	施設等の第三者委員(苦情の受付窓口)	医療関係者(医師・看護師など)
全 体	330 100.0	188 57.0	27 8.2	2 0.6	34 10.3	65 19.7	50 15.2	— —	236 71.5	6 1.8	28 8.5	69 20.9
身体障害	126 100.0	84 66.7	12 9.5	1 0.8	13 10.3	34 27.0	22 17.5	— —	89 70.6	3 2.4	8 6.3	28 22.2
知的障害	260 100.0	142 54.6	21 8.1	1 0.4	30 11.5	46 17.7	36 13.8	— —	193 74.2	6 2.3	28 10.8	54 20.8
精神障害	35 100.0	22 62.9	2 5.7	— —	5 14.3	8 22.9	8 22.9	— —	27 77.1	— —	3 8.6	11 31.4
難病	7 100.0	6 85.7	1 14.3	— —	— —	1 14.3	2 28.6	— —	5 71.4	— —	— —	3 42.9
無回答	6 100.0	2 33.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —	4 66.7	— —	— —	— —

	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全 体	20 6.1	3 0.9	— —	3 0.9	12 3.6	24 7.3	4 1.2	2 0.6	1 0.3	3 0.9	13 3.9	3 0.9
身体障害	5 4.0	— —	— —	1 0.8	5 4.0	10 7.9	3 2.4	— —	1 0.8	— —	5 4.0	3 2.4
知的障害	18 6.9	3 1.2	— —	2 0.8	7 2.7	21 8.1	2 0.8	2 0.8	1 0.4	3 1.2	9 3.5	2 0.8
精神障害	2 5.7	— —	— —	— —	2 5.7	5 14.3	— —	— —	— —	— —	2 5.7	— —
難病	2 28.6	— —	— —	— —	1 14.3	1 14.3	1 14.3	— —	1 14.3	— —	1 14.3	— —
無回答	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 16.7	— —

## （６）日常生活（施設での生活）について

問 14 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。  
（最もあてはまる番号 1 つに○）

「入所している施設で作業や訓練をしている」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「入所している施設で看護や介護を受けて生活している」の割合が 36.7%となっています。



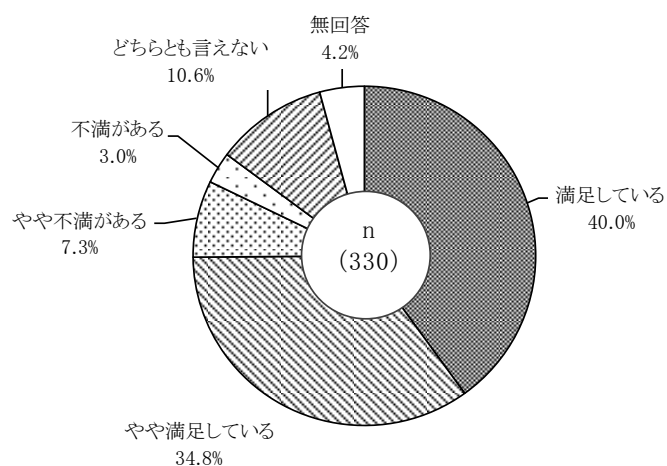
### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	入所している施設で看護や介護を受けて生活している	入所している施設で作業や訓練をしている	一般の企業等で働いている	その他	無回答
全 体	330 100.0	121 36.7	198 60.0	—	9 2.7	2 0.6
身体障害	126 100.0	73 57.9	46 36.5	—	5 4.0	2 1.6
知的障害	260 100.0	72 27.7	179 68.8	—	8 3.1	1 0.4
精神障害	35 100.0	12 34.3	23 65.7	—	—	—
難病	7 100.0	6 85.7	1 14.3	—	—	—
無回答	6 100.0	2 33.3	4 66.7	—	—	—

問 15 あなたは、現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つ)

「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合が 74.8%、「やや不満がある」と「不満がある」をあわせた“不満がある”の割合が 10.3%、「どちらとも言えない」の割合が 10.6%となっています。



【障害種別】

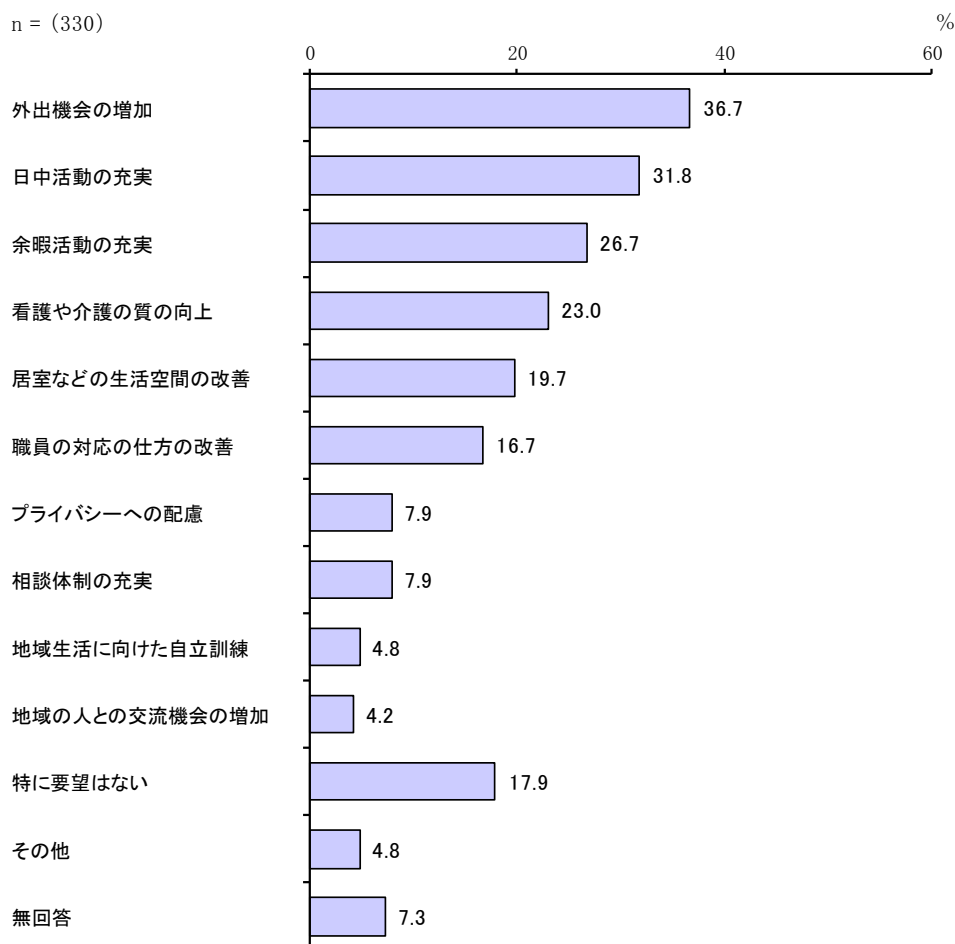
単位 上段:件、下段:%

	調査数	満足している	やや満足している	やや不満がある	不満がある	どちらとも言えない	無回答
全 体	330 100.0	132 40.0	115 34.8	24 7.3	10 3.0	35 10.6	14 4.2
身体障害	126 100.0	45 35.7	40 31.7	13 10.3	6 4.8	18 14.3	4 3.2
知的障害	260 100.0	106 40.8	91 35.0	17 6.5	6 2.3	28 10.8	12 4.6
精神障害	35 100.0	10 28.6	11 31.4	5 14.3	1 2.9	3 8.6	5 14.3
難病	7 100.0	3 42.9	—	1 14.3	—	3 42.9	—
無回答	6 100.0	2 33.3	2 33.3	—	1 16.7	—	1 16.7

問 16 あなたは、入所している施設に対してどのような要望がありますか。  
(○はいくつでも)

「外出機会の増加」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「日中活動の充実」の割合が 31.8%、「余暇活動の充実」の割合が 26.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「看護や介護の質の向上」、「日中活動の充実」、「外出機会の増加」の割合が増加しています。一方、「特に要望はない」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「職員の対応の仕方の改善」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：％

	調査数	看護や介護の 質の向上	職員の対応の 仕方の改善	居室などの生 活空間の改善	プライバシーへ の配慮	日中活動の充 実	余暇活動の充 実
全 体	330 100.0	76 23.0	55 16.7	65 19.7	26 7.9	105 31.8	88 26.7
身体障害	126 100.0	44 34.9	26 20.6	21 16.7	10 7.9	46 36.5	31 24.6
知的障害	260 100.0	49 18.8	43 16.5	54 20.8	19 7.3	81 31.2	77 29.6
精神障害	35 100.0	11 31.4	10 28.6	10 28.6	6 17.1	12 34.3	14 40.0
難病	7 100.0	4 57.1	2 28.6	－	1 14.3	2 28.6	1 14.3
無回答	6 100.0	－	－	－	－	－	2 33.3

	外出機会の増 加	地域の人との 交流機会の増 加	相談体制の充 実	地域生活に向 けた自立訓練	特に要望はな い	その他	無回答
全 体	121 36.7	14 4.2	26 7.9	16 4.8	59 17.9	16 4.8	24 7.3
身体障害	52 41.3	8 6.3	16 12.7	5 4.0	23 18.3	6 4.8	9 7.1
知的障害	88 33.8	11 4.2	15 5.8	13 5.0	47 18.1	12 4.6	19 7.3
精神障害	16 45.7	2 5.7	4 11.4	3 8.6	2 5.7	1 2.9	2 5.7
難病	2 28.6	1 14.3	1 14.3	－	1 14.3	1 14.3	2 28.6
無回答	2 33.3	－	1 16.7	－	1 16.7	1 16.7	1 16.7

【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：％

	調査数	看護や介護の 質の向上	職員の対応の 仕方の改善	居室などの生 活空間の改善	プライバシーへ の配慮	日中活動の充 実	余暇活動の充 実
全 体	568 100.0	96 16.9	83 14.6	94 16.5	42 7.4	140 24.6	154 27.1
身体障害	246 100.0	56 22.8	37 15.0	33 13.4	21 8.5	64 26.0	60 24.4
知的障害	409 100.0	63 15.4	62 15.2	81 19.8	31 7.6	97 23.7	119 29.1
精神障害	34 100.0	6 17.6	3 8.8	8 23.5	－	8 23.5	13 38.2
難病	43 100.0	9 20.9	11 25.6	11 25.6	6 14.0	8 18.6	12 27.9
無回答	12 100.0	－	－	－	1 8.3	－	4 33.3

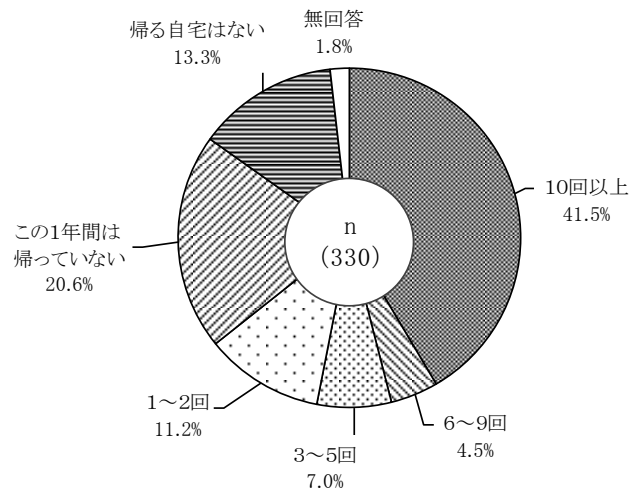
  

	外出機会の増 加	地域の人との 交流機会の増 加	相談体制の充 実	地域生活に向 けた自立訓練	特に要望はな い	その他	無回答
全 体	178 31.3	27 4.8	22 3.9	16 2.8	141 24.8	25 4.4	24 4.2
身体障害	85 34.6	20 8.1	12 4.9	6 2.4	54 22.0	14 5.7	10 4.1
知的障害	121 29.6	12 2.9	15 3.7	11 2.7	108 26.4	18 4.4	17 4.2
精神障害	10 29.4	3 8.8	－	－	10 29.4	－	2 5.9
難病	10 23.3	3 7.0	3 7.0	4 9.3	6 14.0	5 11.6	1 2.3
無回答	4 33.3	1 8.3	－	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3

問 17 あなたは、最近 1 年間、どの位の頻度でご自宅に帰りましたか。(○は 1 つ)

「10 回以上」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「この 1 年間は帰っていない」の割合が 20.6%、「帰る自宅はない」の割合が 13.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「10 回以上」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は 帰っていない	帰る自宅はな い	無回答
全 体	330 100.0	137 41.5	15 4.5	23 7.0	37 11.2	68 20.6	44 13.3	6 1.8
身体障害	126 100.0	44 34.9	6 4.8	6 4.8	14 11.1	36 28.6	16 12.7	4 3.2
知的障害	260 100.0	115 44.2	12 4.6	19 7.3	33 12.7	45 17.3	33 12.7	3 1.2
精神障害	35 100.0	12 34.3	1 2.9	4 11.4	7 20.0	7 20.0	3 8.6	1 2.9
難病	7 100.0	2 28.6	—	—	—	4 57.1	—	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	—	—	—	4 66.7	1 16.7	—

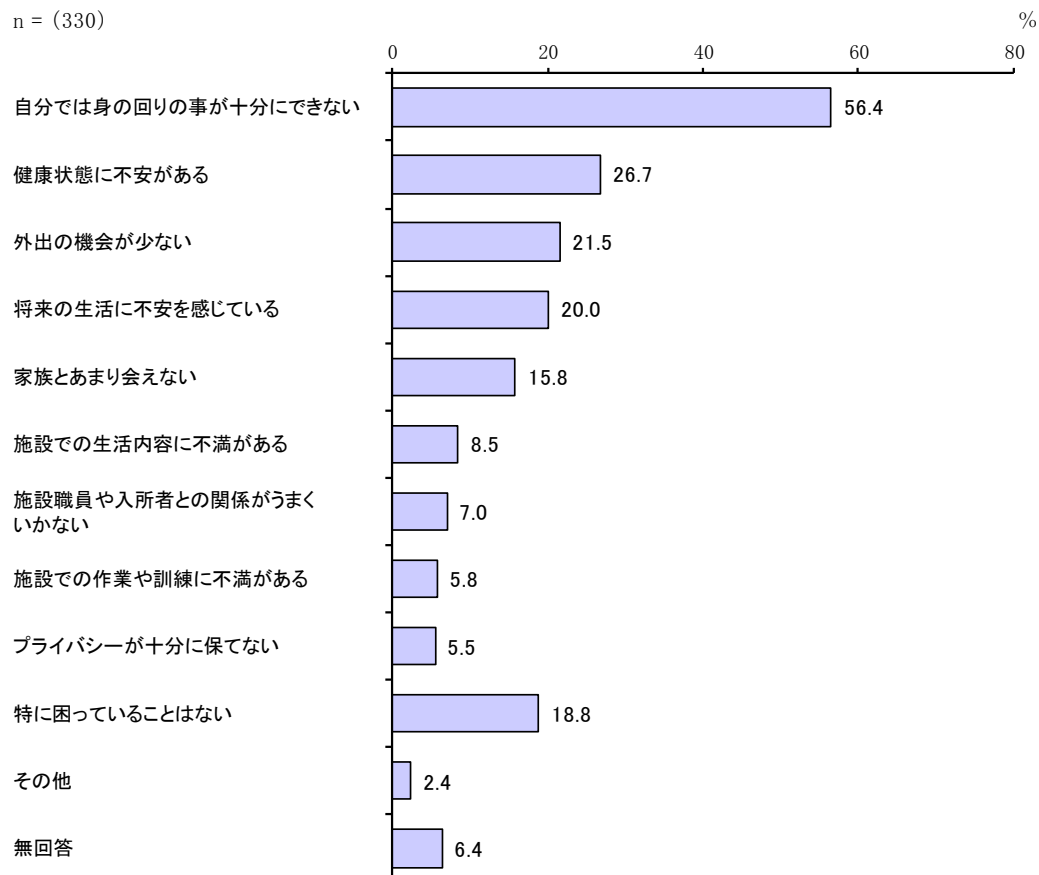
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は 帰っていない	帰る自宅はな い	無回答
全 体	568 100.0	214 37.7	30 5.3	60 10.6	64 11.3	137 24.1	58 10.2	5 0.9
身体障害	246 100.0	78 31.7	12 4.9	18 7.3	32 13.0	77 31.3	25 10.2	4 1.6
知的障害	409 100.0	160 39.1	27 6.6	52 12.7	47 11.5	83 20.3	38 9.3	2 0.5
精神障害	34 100.0	7 20.6	4 11.8	4 11.8	5 14.7	7 20.6	7 20.6	—
難病	43 100.0	22 51.2	2 4.7	6 14.0	4 9.3	8 18.6	1 2.3	—
無回答	12 100.0	1 8.3	—	1 8.3	1 8.3	7 58.3	1 8.3	1 8.3

問 18 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「自分では身の回りの事が十分にできない」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「健康状態に不安がある」の割合が 26.7%、「外出の機会が少ない」の割合が 21.5%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	健康状態に不安がある	施設での生活内容に不満がある	施設での作業や訓練に不満がある	プライバシーが十分に保てない	外出の機会が少ない
全 体	330 100.0	186 56.4	88 26.7	28 8.5	19 5.8	18 5.5	71 21.5
身体障害	126 100.0	73 57.9	47 37.3	17 13.5	6 4.8	9 7.1	38 30.2
知的障害	260 100.0	148 56.9	65 25.0	22 8.5	15 5.8	14 5.4	47 18.1
精神障害	35 100.0	20 57.1	12 34.3	5 14.3	4 11.4	4 11.4	6 17.1
難病	7 100.0	5 71.4	3 42.9	2 28.6	1 14.3	-	2 28.6
無回答	6 100.0	3 50.0	-	-	1 16.7	-	2 33.3

	施設職員や入所者との関係がうまくいかない	家族とあまり会えない	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	23 7.0	52 15.8	66 20.0	62 18.8	8 2.4	21 6.4
身体障害	10 7.9	19 15.1	24 19.0	22 17.5	3 2.4	9 7.1
知的障害	14 5.4	39 15.0	55 21.2	51 19.6	5 1.9	16 6.2
精神障害	5 14.3	5 14.3	6 17.1	7 20.0	2 5.7	3 8.6
難病	2 28.6	-	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6
無回答	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-

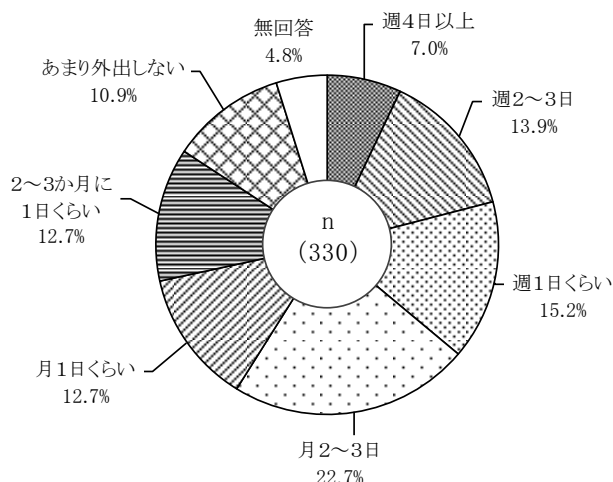
## (7) 暮らしについて

### 問 19 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

「月2～3日」の割合が22.7%と最も高く、次いで「週1日くらい」の割合が15.2%、「週2～3日」の割合が13.9%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「週1日くらい」の割合が高くなっています。また、他に比べ、60～69歳で「月2～3日」の割合が高く、約3割となっています。

平成28年度調査については、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。



※令和元年度調査の「週4日以上」、「週2～3日」は新たに追加された選択肢です。

平成28年度調査の「週2日以上」は令和元年度調査にはありません。

### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	330 100.0	23 7.0	46 13.9	50 15.2	75 22.7	42 12.7	42 12.7	36 10.9	16 4.8
身体障害	126 100.0	6 4.8	9 7.1	16 12.7	27 21.4	15 11.9	27 21.4	24 19.0	2 1.6
知的障害	260 100.0	19 7.3	42 16.2	41 15.8	65 25.0	33 12.7	28 10.8	21 8.1	11 4.2
精神障害	35 100.0	— —	6 17.1	5 14.3	5 14.3	11 31.4	6 17.1	1 2.9	1 2.9
難病	7 100.0	— —	— —	2 28.6	1 14.3	— —	1 14.3	2 28.6	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	— —	— —	— —	1 16.7	— —	1 16.7	3 50.0

# 【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	330 100.0	23 7.0	46 13.9	50 15.2	75 22.7	42 12.7	42 12.7	36 10.9	16 4.8
20歳未満	1 100.0	—	—	1 100.0	—	—	—	—	—
20歳～29歳	29 100.0	2 6.9	5 17.2	5 17.2	5 17.2	4 13.8	4 13.8	2 6.9	2 6.9
30歳～39歳	63 100.0	5 7.9	15 23.8	11 17.5	13 20.6	6 9.5	5 7.9	7 11.1	1 1.6
40歳～49歳	116 100.0	7 6.0	22 19.0	19 16.4	29 25.0	13 11.2	11 9.5	9 7.8	6 5.2
50歳～59歳	75 100.0	5 6.7	2 2.7	11 14.7	18 24.0	11 14.7	12 16.0	11 14.7	5 6.7
60歳～69歳	32 100.0	2 6.3	1 3.1	2 6.3	9 28.1	5 15.6	7 21.9	5 15.6	1 3.1
70歳～79歳	9 100.0	1 11.1	—	1 11.1	1 11.1	1 11.1	3 33.3	2 22.2	—
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	—	—	2 40.0	—	—	1 20.0

# 【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

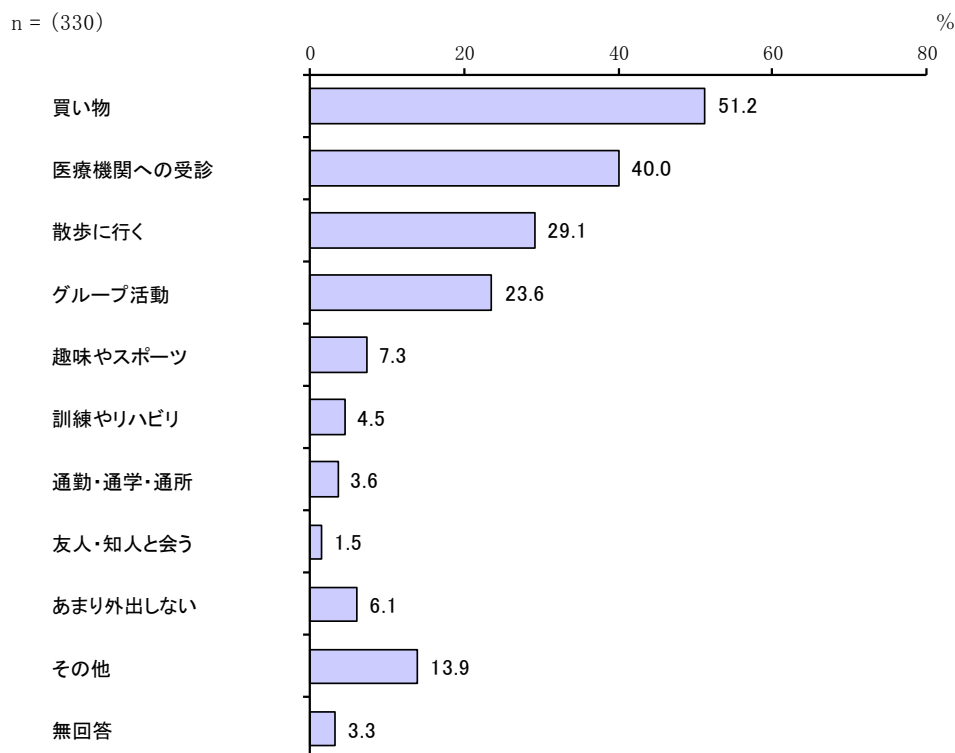
	調査数	週2日以上	週1日くらい	月2～3日くらい	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	568 100.0	80 14.1	73 12.9	113 19.9	92 16.2	106 18.7	91 16.0	13 2.3
身体障害	246 100.0	25 10.2	31 12.6	44 17.9	39 15.9	47 19.1	55 22.4	5 2.0
知的障害	409 100.0	70 17.1	54 13.2	80 19.6	66 16.1	81 19.8	48 11.7	10 2.4
精神障害	34 100.0	2 5.9	5 14.7	9 26.5	7 20.6	6 17.6	3 8.8	2 5.9
難病	43 100.0	8 18.6	7 16.3	7 16.3	10 23.3	5 11.6	4 9.3	2 4.7
無回答	12 100.0	—	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7	6 50.0	—

問 20 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

「買い物」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「医療機関への受診」の割合が 40.0%、「散歩に行く」の割合が 29.1%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「買い物」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、40～49 歳で「グループ活動」、「散歩に行く」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「買い物」、「散歩に行く」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「医療機関への受診」の割合が減少しています。



# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	330 100.0	12 3.6	15 4.5	132 40.0	169 51.2	5 1.5	24 7.3	78 23.6	96 29.1	20 6.1	46 13.9	11 3.3
身体障害	126 100.0	4 3.2	9 7.1	61 48.4	56 44.4	3 2.4	8 6.3	18 14.3	29 23.0	9 7.1	16 12.7	3 2.4
知的障害	260 100.0	8 3.1	9 3.5	102 39.2	146 56.2	2 0.8	19 7.3	71 27.3	86 33.1	15 5.8	38 14.6	6 2.3
精神障害	35 100.0	1 2.9	—	12 34.3	20 57.1	1 2.9	4 11.4	6 17.1	6 17.1	2 5.7	1 2.9	2 5.7
難病	7 100.0	—	—	4 57.1	2 28.6	—	2 28.6	—	—	1 14.3	—	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	—	1 16.7	1 16.7	—	—	2 33.3	1 16.7	—	—	2 33.3

# 【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	330 100.0	12 3.6	15 4.5	132 40.0	169 51.2	5 1.5	24 7.3	78 23.6	96 29.1	20 6.1	46 13.9	11 3.3
20歳未満	1 100.0	—	—	—	1 100.0	—	—	—	—	—	—	—
20歳～29歳	29 100.0	—	2 6.9	14 48.3	16 55.2	—	3 10.3	5 17.2	9 31.0	1 3.4	5 17.2	—
30歳～39歳	63 100.0	4 6.3	3 4.8	25 39.7	35 55.6	1 1.6	7 11.1	15 23.8	20 31.7	3 4.8	10 15.9	—
40歳～49歳	116 100.0	4 3.4	7 6.0	50 43.1	58 50.0	—	8 6.9	33 28.4	41 35.3	6 5.2	14 12.1	3 2.6
50歳～59歳	75 100.0	1 1.3	—	25 33.3	40 53.3	3 4.0	5 6.7	16 21.3	19 25.3	5 6.7	11 14.7	7 9.3
60歳～69歳	32 100.0	1 3.1	1 3.1	12 37.5	13 40.6	1 3.1	1 3.1	6 18.8	6 18.8	4 12.5	5 15.6	1 3.1
70歳～79歳	9 100.0	—	1 11.1	6 66.7	4 44.4	—	—	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	—
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	—	2 40.0	—	—	2 40.0	—	—	—	—

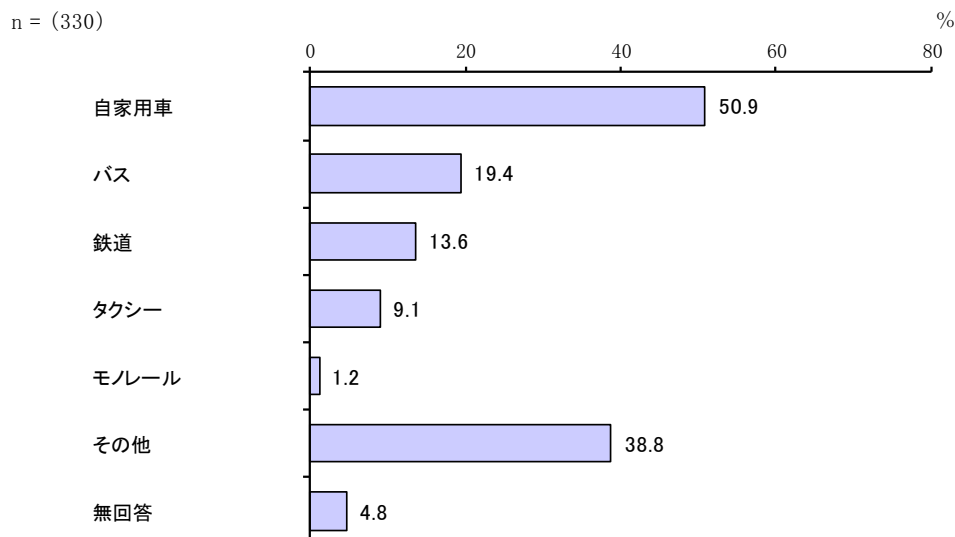
# 【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	568 100.0	9 1.6	44 7.7	231 40.7	322 56.7	13 2.3	49 8.6	132 23.2	245 43.1	22 3.9	44 7.7	4 0.7
身体障害	246 100.0	2 0.8	23 9.3	109 44.3	125 50.8	7 2.8	19 7.7	65 26.4	85 34.6	12 4.9	14 5.7	3 1.2
知的障害	409 100.0	9 2.2	28 6.8	170 41.6	240 58.7	5 1.2	39 9.5	93 22.7	200 48.9	16 3.9	35 8.6	1 0.2
精神障害	34 100.0	—	1 2.9	20 58.8	25 73.5	2 5.9	4 11.8	5 14.7	11 32.4	2 5.9	2 5.9	—
難病	43 100.0	—	6 14.0	21 48.8	23 53.5	3 7.0	4 9.3	11 25.6	19 44.2	—	1 2.3	—
無回答	12 100.0	—	—	2 16.7	9 75.0	1 8.3	—	1 8.3	4 33.3	—	2 16.7	1 8.3

問 21 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。  
(○はいくつでも)

「自家用車」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「バス」の割合が 19.4%、「鉄道」の割合が 13.6%となっています。



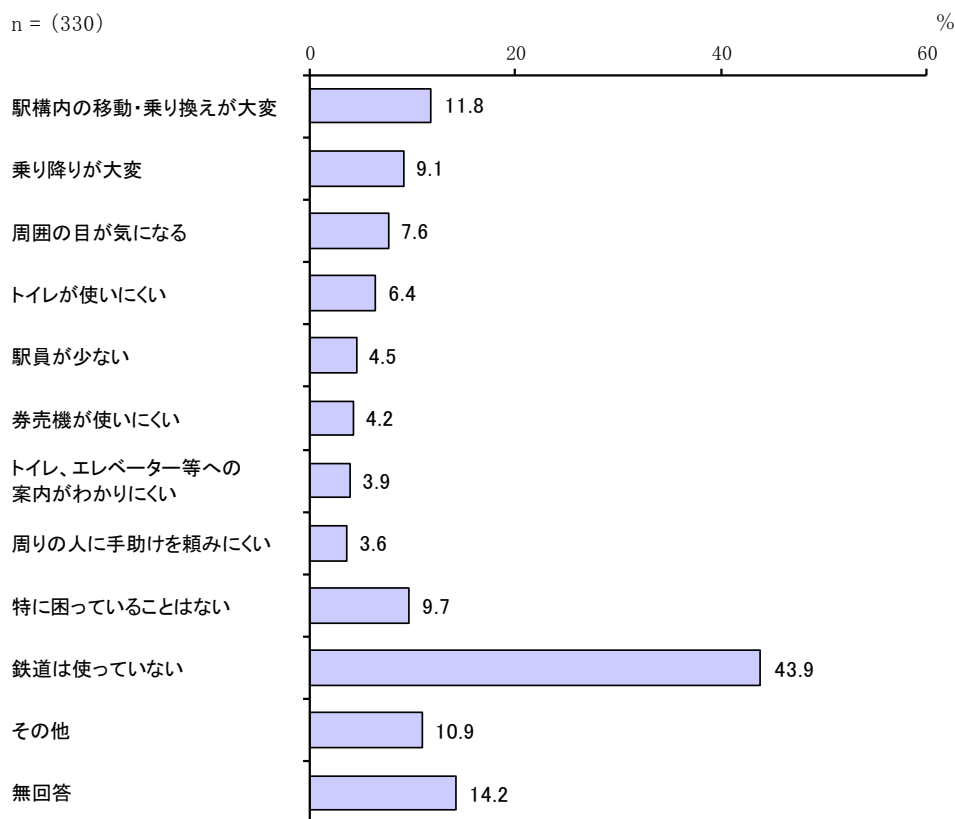
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	330 100.0	45 13.6	64 19.4	4 1.2	30 9.1	168 50.9	128 38.8	16 4.8
身体障害	126 100.0	15 11.9	21 16.7	1 0.8	20 15.9	57 45.2	48 38.1	7 5.6
知的障害	260 100.0	35 13.5	52 20.0	3 1.2	15 5.8	144 55.4	102 39.2	9 3.5
精神障害	35 100.0	-	2 5.7	-	2 5.7	18 51.4	18 51.4	1 2.9
難病	7 100.0	-	2 28.6	-	2 28.6	2 28.6	3 42.9	1 14.3
無回答	6 100.0	-	-	-	-	1 16.7	3 50.0	2 33.3

問 22 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

「鉄道は使っていない」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「駅構内の移動・乗り換えが大変」の割合が 11.8%となっています。



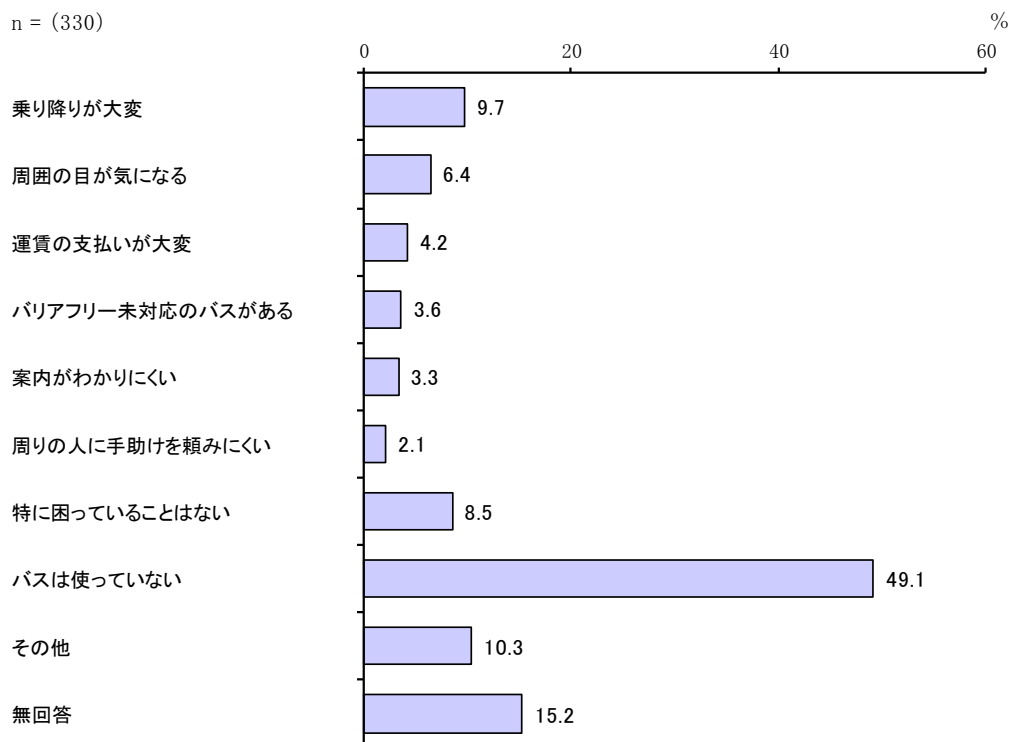
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降り が大変	駅構内の 移動・乗 り換えが 大変	トイレが 使いにく い	券売機が 使いにく い	トイレ、エ レベーター等へ の案内が わかりにく い	駅員が少 ない	周りの人 に手助け を頼みに くい	周囲の目 が気にな る	特に困っ ているこ とはない	鉄道は 使って いない	その他	無回答
全 体	330 100.0	30 9.1	39 11.8	21 6.4	14 4.2	13 3.9	15 4.5	12 3.6	25 7.6	32 9.7	145 43.9	36 10.9	47 14.2
身体障害	126 100.0	18 14.3	20 15.9	9 7.1	6 4.8	8 6.3	12 9.5	7 5.6	4 3.2	6 4.8	62 49.2	9 7.1	19 15.1
知的障害	260 100.0	22 8.5	30 11.5	16 6.2	9 3.5	10 3.8	8 3.1	9 3.5	24 9.2	27 10.4	112 43.1	34 13.1	33 12.7
精神障害	35 100.0	2 5.7	3 8.6	4 11.4	2 5.7	4 11.4	2 5.7	2 5.7	3 8.6	1 2.9	21 60.0	4 11.4	3 8.6
難病	7 100.0	1 14.3	1 14.3	—	—	1 14.3	—	1 14.3	—	—	4 57.1	—	2 28.6
無回答	6 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 50.0	—	3 50.0

問 23 あなたは、バスを利用する際に困っていることはありますか。  
(〇はいくつでも)

「バスは使っていない」の割合が 49.1%と最も高くなっています。



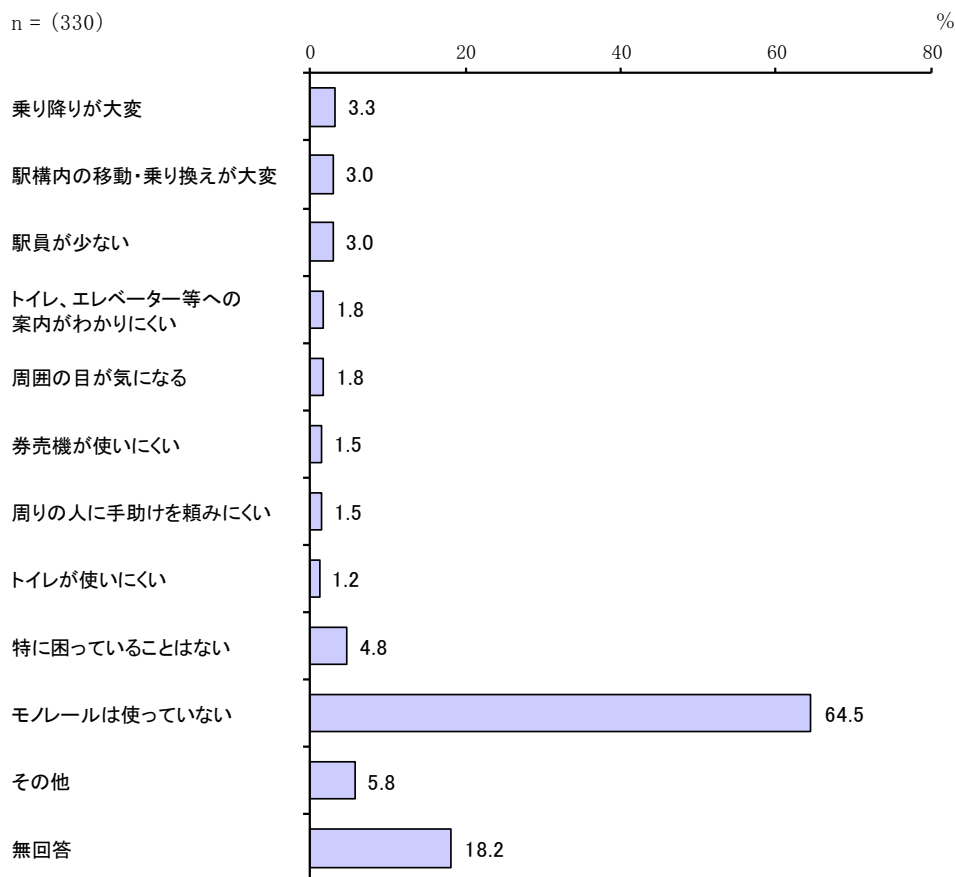
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降りが大変	バリアフリー未対応のバスがある	案内がわかりにくい	運賃の支払いが大変	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	バスは使っていない	その他	無回答
全 体	330 100.0	32 9.7	12 3.6	11 3.3	14 4.2	7 2.1	21 6.4	28 8.5	162 49.1	34 10.3	50 15.2
身体障害	126 100.0	19 15.1	11 8.7	5 4.0	2 1.6	2 1.6	3 2.4	7 5.6	71 56.3	9 7.1	18 14.3
知的障害	260 100.0	26 10.0	8 3.1	9 3.5	12 4.6	6 2.3	20 7.7	24 9.2	121 46.5	31 11.9	35 13.5
精神障害	35 100.0	2 5.7	—	4 11.4	3 8.6	1 2.9	2 5.7	—	21 60.0	4 11.4	4 11.4
難病	7 100.0	1 14.3	—	—	—	1 14.3	—	1 14.3	3 42.9	—	2 28.6
無回答	6 100.0	—	—	—	—	—	—	—	3 50.0	—	3 50.0

問 24 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

「モノレールは使っていない」の割合が 64.5%と最も高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない
全 体	330	11	10	4	5	6	10
	100.0	3.3	3.0	1.2	1.5	1.8	3.0
身体障害	126	7	5	2	2	4	5
	100.0	5.6	4.0	1.6	1.6	3.2	4.0
知的障害	260	9	8	3	3	4	9
	100.0	3.5	3.1	1.2	1.2	1.5	3.5
精神障害	35	1	1	1	2	1	3
	100.0	2.9	2.9	2.9	5.7	2.9	8.6
難病	7	—	—	—	—	1	1
	100.0	—	—	—	—	14.3	14.3
無回答	6	—	—	—	—	—	—
	100.0	—	—	—	—	—	—

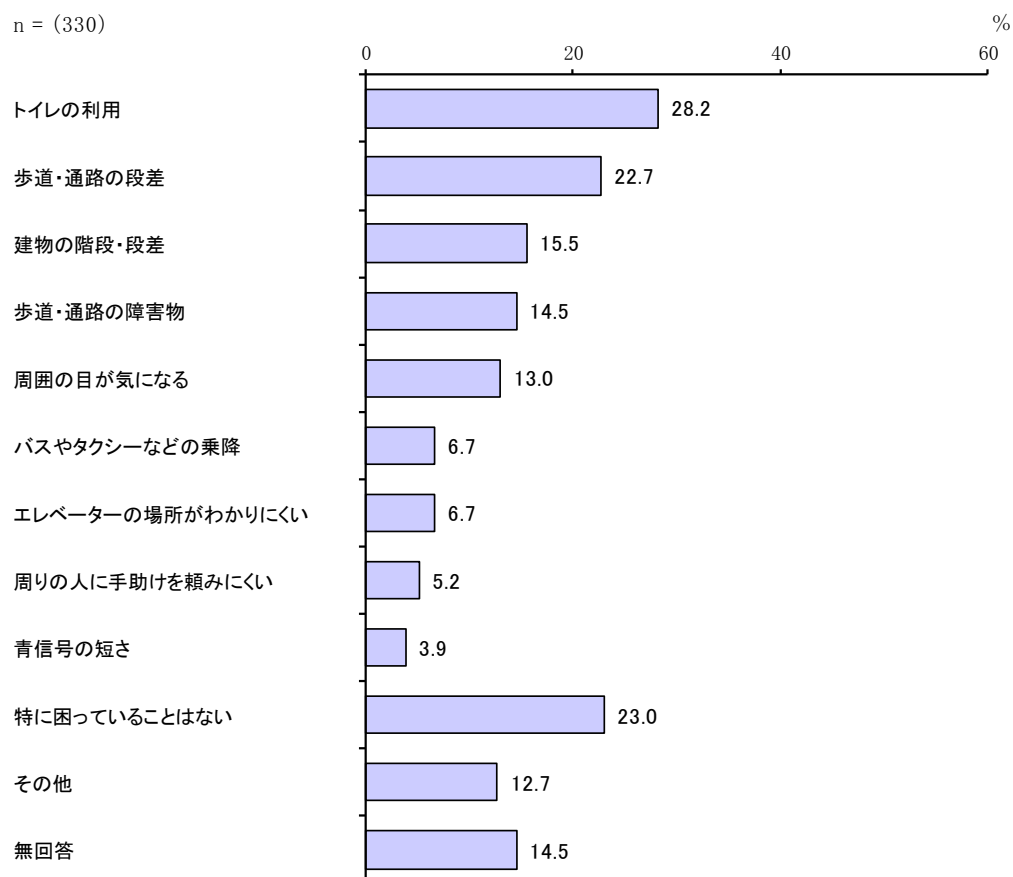
	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	モノレールは使っていない	その他	無回答
全 体	5	6	16	213	19	60
	1.5	1.8	4.8	64.5	5.8	18.2
身体障害	2	2	3	89	3	22
	1.6	1.6	2.4	70.6	2.4	17.5
知的障害	4	5	14	167	18	42
	1.5	1.9	5.4	64.2	6.9	16.2
精神障害	1	—	—	24	2	5
	2.9	—	—	68.6	5.7	14.3
難病	—	—	—	4	—	2
	—	—	—	57.1	—	28.6
無回答	—	—	—	3	—	3
	—	—	—	50.0	—	50.0

問 25 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「トイレの利用」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 23.0%、「歩道・通路の段差」の割合が 22.7%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、身体障害で「歩道・通路の段差」、「歩道・通路の障害物」、「建物の階段・段差」の割合が高くなっています。また、精神障害で「トイレの利用」、「周囲の目が気になる」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「歩道・通路の障害物」、「建物の階段・段差」、「特に困っていることはない」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「トイレの利用」の割合が増加しています。



# 【障害種別】

単位 上段：件、下段：％

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい
全 体	330 100.0	75 22.7	13 3.9	48 14.5	22 6.7	51 15.5	22 6.7
身体障害	126 100.0	58 46.0	8 6.3	35 27.8	14 11.1	43 34.1	14 11.1
知的障害	260 100.0	48 18.5	11 4.2	30 11.5	14 5.4	32 12.3	15 5.8
精神障害	35 100.0	9 25.7	2 5.7	6 17.1	3 8.6	9 25.7	5 14.3
難病	7 100.0	2 28.6	－	－	1 14.3	2 28.6	2 28.6
無回答	6 100.0	－	－	－	－	－	－

	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	93 28.2	17 5.2	43 13.0	76 23.0	42 12.7	48 14.5
身体障害	46 36.5	5 4.0	5 4.0	26 20.6	11 8.7	13 10.3
知的障害	70 26.9	15 5.8	41 15.8	67 25.8	34 13.1	34 13.1
精神障害	15 42.9	4 11.4	8 22.9	7 20.0	6 17.1	5 14.3
難病	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6
無回答	－	－	－	1 16.7	1 16.7	4 66.7

# 【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：％

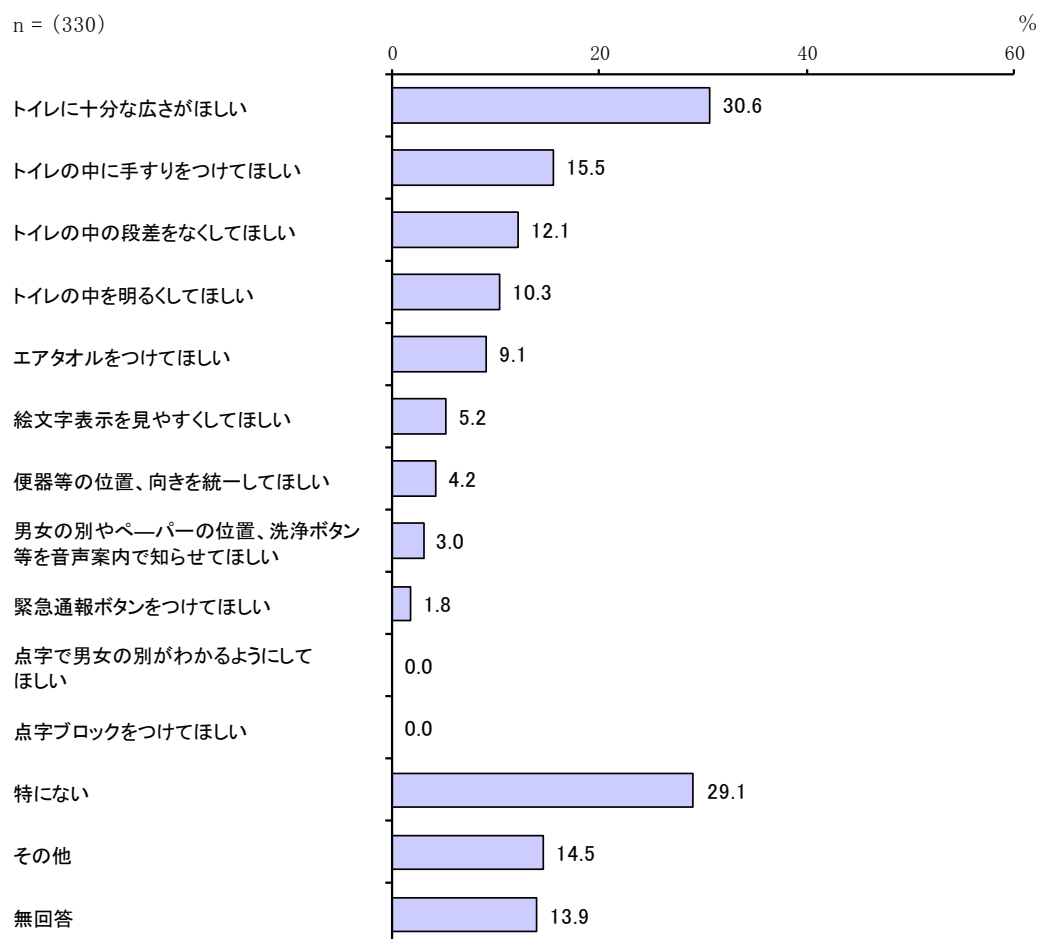
	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい
全 体	568 100.0	156 27.5	23 4.0	118 20.8	19 3.3	121 21.3	22 3.9
身体障害	246 100.0	111 45.1	19 7.7	88 35.8	12 4.9	88 35.8	13 5.3
知的障害	409 100.0	85 20.8	11 2.7	57 13.9	14 3.4	73 17.8	16 3.9
精神障害	34 100.0	7 20.6	2 5.9	4 11.8	2 5.9	9 26.5	3 8.8
難病	43 100.0	9 20.9	3 7.0	5 11.6	4 9.3	9 20.9	3 7.0
無回答	12 100.0	3 25.0	－	2 16.7	－	1 8.3	－

	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	178 31.3	38 6.7	67 11.8	186 32.7	37 6.5	32 5.6
身体障害	84 34.1	20 8.1	21 8.5	53 21.5	7 2.8	13 5.3
知的障害	138 33.7	26 6.4	58 14.2	144 35.2	30 7.3	24 5.9
精神障害	10 29.4	2 5.9	4 11.8	15 44.1	1 2.9	3 8.8
難病	18 41.9	4 9.3	6 14.0	8 18.6	5 11.6	5 11.6
無回答	1 8.3	－	1 8.3	7 58.3	2 16.7	－

## 問 26 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

「トイレに十分な広さがほしい」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 29.1%、「トイレの中に手すりをつけてほしい」の割合が 15.5%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、身体障害で「トイレの中の段差をなくしてほしい」、「トイレの中に手すりをつけてほしい」の割合が高くなっています。また、精神障害で「絵文字表示を見やすくしてほしい」、「トイレに十分な広さがほしい」の割合が高くなっています。



# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全 体	330 100.0	- -	10 3.0	17 5.2	34 10.3	40 12.1	- -	14 4.2
身体障害	126 100.0	- -	6 4.8	3 2.4	16 12.7	32 25.4	- -	9 7.1
知的障害	260 100.0	- -	8 3.1	15 5.8	27 10.4	25 9.6	- -	7 2.7
精神障害	35 100.0	- -	1 2.9	6 17.1	7 20.0	3 8.6	- -	2 5.7
難病	7 100.0	- -	- -	- -	- -	1 14.3	- -	1 14.3
無回答	6 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	51 15.5	30 9.1	101 30.6	6 1.8	96 29.1	48 14.5	46 13.9
身体障害	30 23.8	15 11.9	48 38.1	4 3.2	32 25.4	19 15.1	16 12.7
知的障害	39 15.0	22 8.5	78 30.0	5 1.9	81 31.2	37 14.2	30 11.5
精神障害	8 22.9	3 8.6	16 45.7	1 2.9	8 22.9	3 8.6	4 11.4
難病	1 14.3	2 28.6	2 28.6	- -	2 28.6	- -	3 42.9
無回答	- -	- -	- -	- -	2 33.3	- -	4 66.7

# 【身体障害の種類種別】

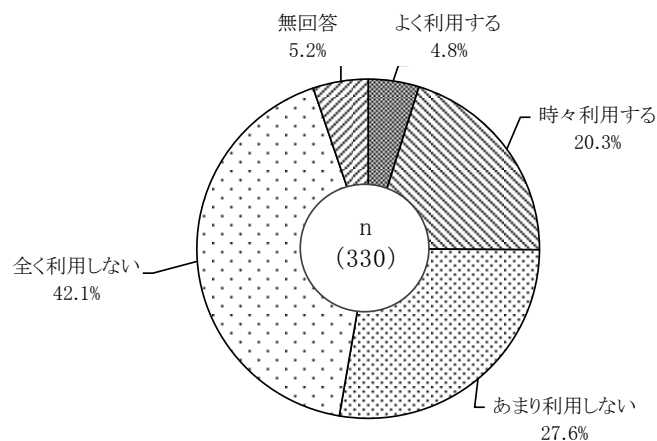
単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全 体	126 100.0	- -	6 4.8	3 2.4	16 12.7	32 25.4	- -	9 7.1
肢体不自由	105 100.0	- -	3 2.9	2 1.9	15 14.3	26 24.8	- -	7 6.7
音声・言語・そしゃく機能障害	26 100.0	- -	1 3.8	1 3.8	2 7.7	4 15.4	- -	2 7.7
視覚障害	12 100.0	- -	3 25.0	1 8.3	2 16.7	6 50.0	- -	2 16.7
聴覚・平衡機能障害	10 100.0	- -	- -	- -	- -	2 20.0	- -	1 10.0
内部機能障害（免疫機能障害を含む）	6 100.0	- -	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	- -	- -
無回答	5 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	30 23.8	15 11.9	48 38.1	4 3.2	32 25.4	19 15.1	16 12.7
肢体不自由	29 27.6	14 13.3	42 40.0	4 3.8	23 21.9	18 17.1	13 12.4
音声・言語・そしゃく機能障害	5 19.2	5 19.2	7 26.9	2 7.7	5 19.2	6 23.1	7 26.9
視覚障害	2 16.7	1 8.3	4 33.3	- -	3 25.0	2 16.7	1 8.3
聴覚・平衡機能障害	1 10.0	2 20.0	4 40.0	- -	6 60.0	- -	- -
内部機能障害（免疫機能障害を含む）	2 33.3	- -	3 50.0	- -	2 33.3	1 16.7	1 16.7
無回答	- -	- -	2 40.0	- -	3 60.0	- -	- -

問 27 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

「よく利用する」と「時々利用する」をあわせた“利用する”の割合が 25.1%、「あまり利用しない」と「全く利用しない」をあわせた“利用しない”の割合が 69.7%となっています。



【障害種別】

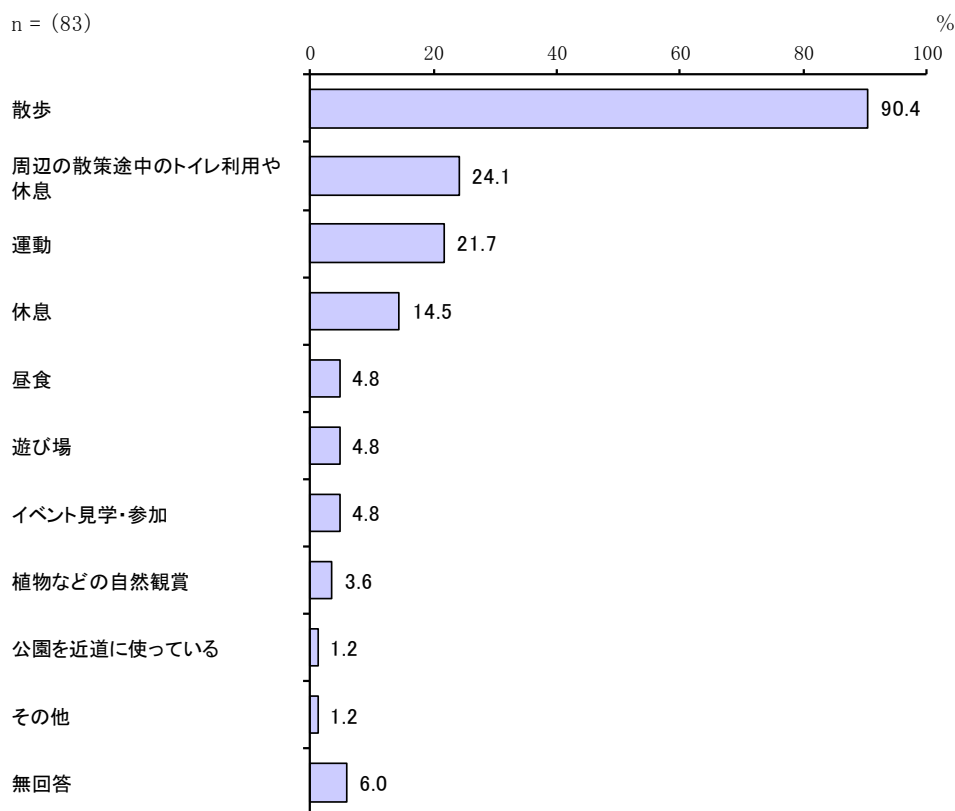
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	全く利用しない	無回答
全 体	330 100.0	16 4.8	67 20.3	91 27.6	139 42.1	17 5.2
身体障害	126 100.0	4 3.2	24 19.0	36 28.6	59 46.8	3 2.4
知的障害	260 100.0	15 5.8	57 21.9	68 26.2	109 41.9	11 4.2
精神障害	35 100.0	2 5.7	5 14.3	10 28.6	16 45.7	2 5.7
難病	7 100.0	—	—	2 28.6	4 57.1	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	1 16.7	2 33.3	3 50.0

問 28 【問 27 で「よく利用する」または「時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】

あなたが公園を利用する目的は何ですか。（○はいくつでも）

「散歩」の割合が 90.4%と最も高く、次いで「周辺の散策途中のトイレ利用や休息」の割合が 24.1%、「運動」の割合が 21.7%となっています。



# 【障害種別】

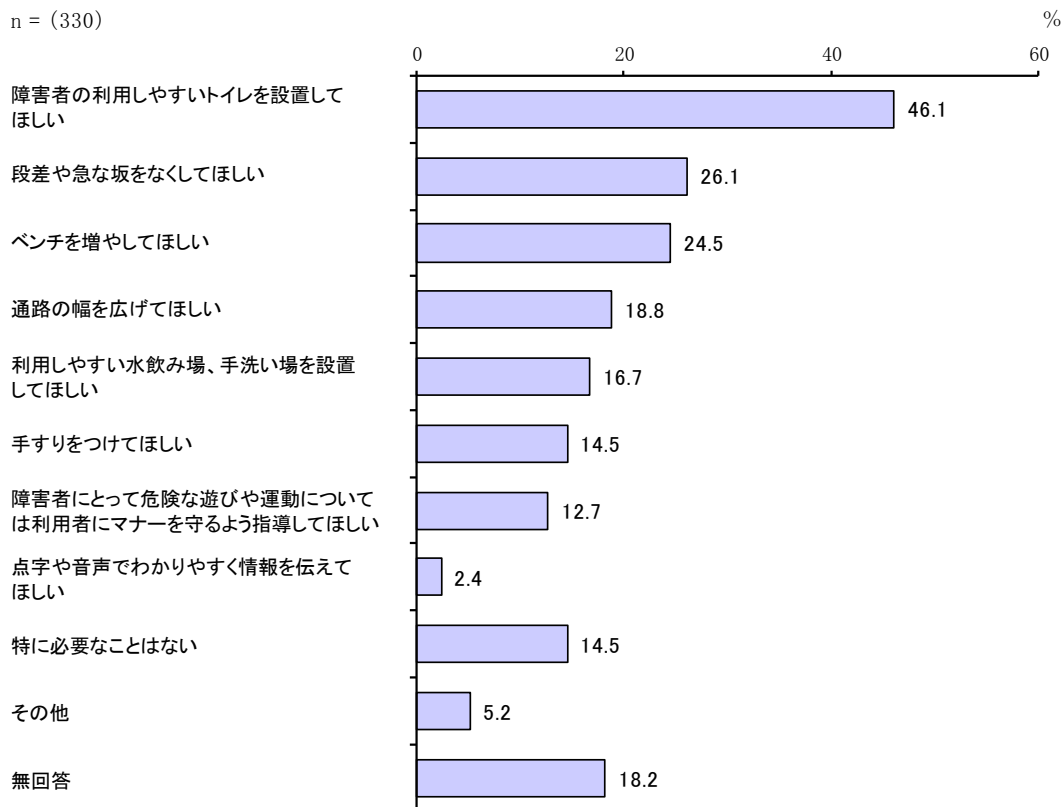
単位 上段:件、下段:%

	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全 体	83 100.0	75 90.4	18 21.7	12 14.5	3 3.6	4 4.8	1 1.2	20 24.1	4 4.8	4 4.8	1 1.2	5 6.0
身体障害	28 100.0	26 92.9	6 21.4	4 14.3	1 3.6	—	1 3.6	2 7.1	3 10.7	1 3.6	1 3.6	—
知的障害	72 100.0	65 90.3	17 23.6	12 16.7	2 2.8	4 5.6	—	19 26.4	4 5.6	4 5.6	1 1.4	5 6.9
精神障害	7 100.0	6 85.7	1 14.3	2 28.6	1 14.3	—	—	3 42.9	—	1 14.3	—	—
難病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 29 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「段差や急な坂をなくしてほしい」の割合が 26.1%、「ベンチを増やしてほしい」の割合が 24.5%となっています。

n = (330)



【障害種別】

単位 上段:件、下段: %

	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい
全 体	330 100.0	62 18.8	48 14.5	86 26.1	8 2.4	152 46.1
身体障害	126 100.0	41 32.5	27 21.4	60 47.6	5 4.0	65 51.6
知的障害	260 100.0	42 16.2	35 13.5	59 22.7	6 2.3	118 45.4
精神障害	35 100.0	2 5.7	7 20.0	7 20.0	1 2.9	21 60.0
難病	7 100.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3	4 57.1
無回答	6 100.0	—	—	—	—	—

	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	42 12.7	81 24.5	55 16.7	48 14.5	17 5.2	60 18.2
身体障害	18 14.3	27 21.4	22 17.5	13 10.3	8 6.3	18 14.3
知的障害	34 13.1	71 27.3	42 16.2	44 16.9	15 5.8	40 15.4
精神障害	2 5.7	9 25.7	7 20.0	6 17.1	2 5.7	4 11.4
難病	1 14.3	1 14.3	2 28.6	—	—	2 28.6
無回答	—	—	—	1 16.7	—	5 83.3

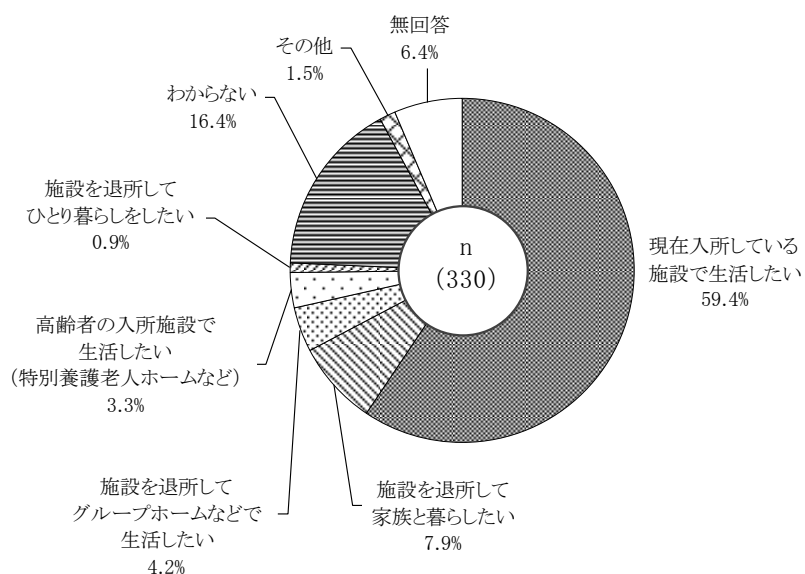
## (8) 将来について

### 問 30 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

「現在入所している施設で生活したい」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 16.4%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、40～49 歳で「現在入所している施設で生活したい」の割合が高く、6 割半ばとなっています。また、60～69 歳で「高齢者の入所施設で生活したい（特別養護老人ホームなど）」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「現在入所している施設で生活したい」の割合が増加しています。一方、「施設を退所して家族と暮らしたい」の割合が減少しています。また、身体障害のある方では、「現在入所している施設で生活したい」の割合が増加しています。



### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	施設を退所して家族と暮らしたい	施設を退所してひとり暮らしをしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	330 100.0	26 7.9	3 0.9	14 4.2	196 59.4	11 3.3	54 16.4	5 1.5	21 6.4
身体障害	126 100.0	12 9.5	2 1.6	3 2.4	83 65.9	5 4.0	16 12.7	3 2.4	2 1.6
知的障害	260 100.0	14 5.4	2 0.8	13 5.0	154 59.2	7 2.7	48 18.5	4 1.5	18 6.9
精神障害	35 100.0	2 5.7	—	1 2.9	18 51.4	—	9 25.7	2 5.7	3 8.6
難病	7 100.0	—	—	—	4 57.1	—	1 14.3	1 14.3	1 14.3
無回答	6 100.0	2 33.3	—	—	2 33.3	1 16.7	—	—	1 16.7

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	施設を退所して家族と暮らしたい	施設を退所してひとり暮らしをしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	330 100.0	26 7.9	3 0.9	14 4.2	196 59.4	11 3.3	54 16.4	5 1.5	21 6.4
20歳未満	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
20歳～29歳	29 100.0	3 10.3	1 3.4	1 3.4	15 51.7	1 3.4	5 17.2	1 3.4	2 6.9
30歳～39歳	63 100.0	7 11.1	-	3 4.8	35 55.6	1 1.6	11 17.5	2 3.2	4 6.3
40歳～49歳	116 100.0	5 4.3	1 0.9	5 4.3	77 66.4	-	19 16.4	2 1.7	7 6.0
50歳～59歳	75 100.0	3 4.0	1 1.3	4 5.3	43 57.3	4 5.3	14 18.7	-	6 8.0
60歳～69歳	32 100.0	5 15.6	-	1 3.1	20 62.5	4 12.5	2 6.3	-	-
70歳～79歳	9 100.0	-	-	-	6 66.7	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1
80歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	5 100.0	3 60.0	-	-	-	-	2 40.0	-	-

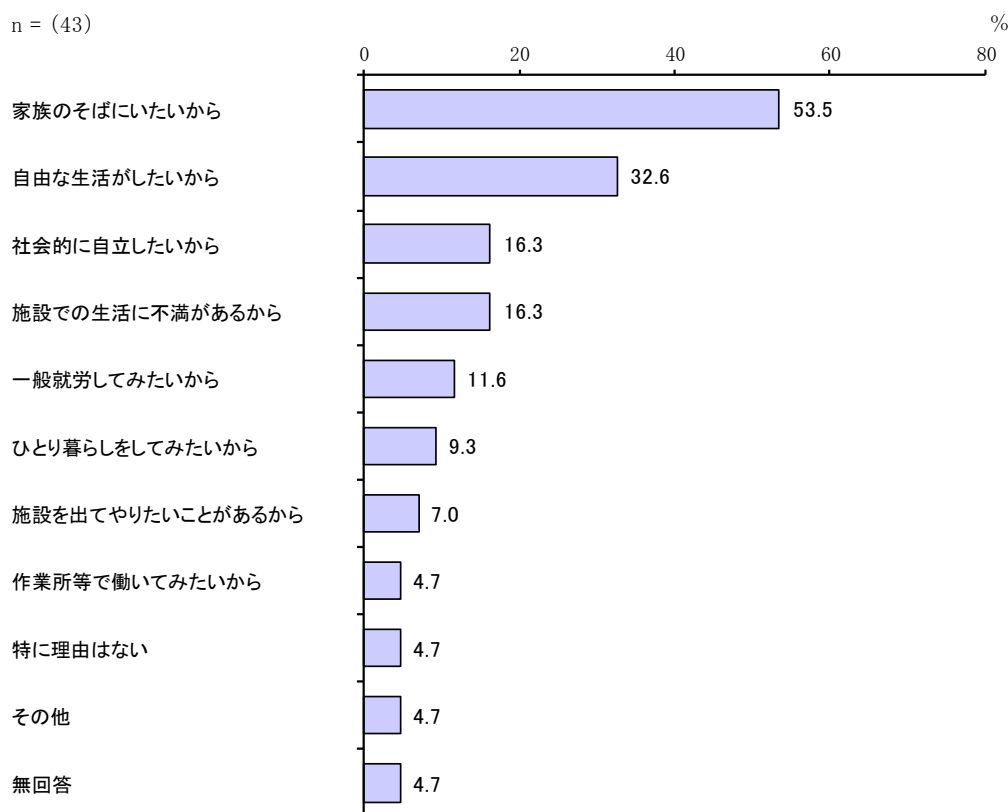
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	施設を退所して家族と暮らしたい	施設を退所してひとり暮らしをしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	568 100.0	74 13.0	14 2.5	26 4.6	279 49.1	21 3.7	138 24.3	6 1.1	10 1.8
身体障害	246 100.0	43 17.5	9 3.7	6 2.4	120 48.8	11 4.5	48 19.5	3 1.2	6 2.4
知的障害	409 100.0	39 9.5	3 0.7	22 5.4	209 51.1	16 3.9	111 27.1	1 0.2	8 2.0
精神障害	34 100.0	4 11.8	1 2.9	2 5.9	16 47.1	-	10 29.4	-	1 2.9
難病	43 100.0	7 16.3	-	2 4.7	24 55.8	1 2.3	8 18.6	1 2.3	-
無回答	12 100.0	1 8.3	1 8.3	-	3 25.0	-	6 50.0	1 8.3	-

問 31 【問 30 で将来は施設を退所したい（１～３番）に○をつけた方におたずねします。  
施設を退所したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

「家族のそばにいたいから」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「自由な生活がしたいから」の割合が 32.6%、「社会的に自立したいから」、「施設での生活に不満があるから」の割合が 16.3%となっています。



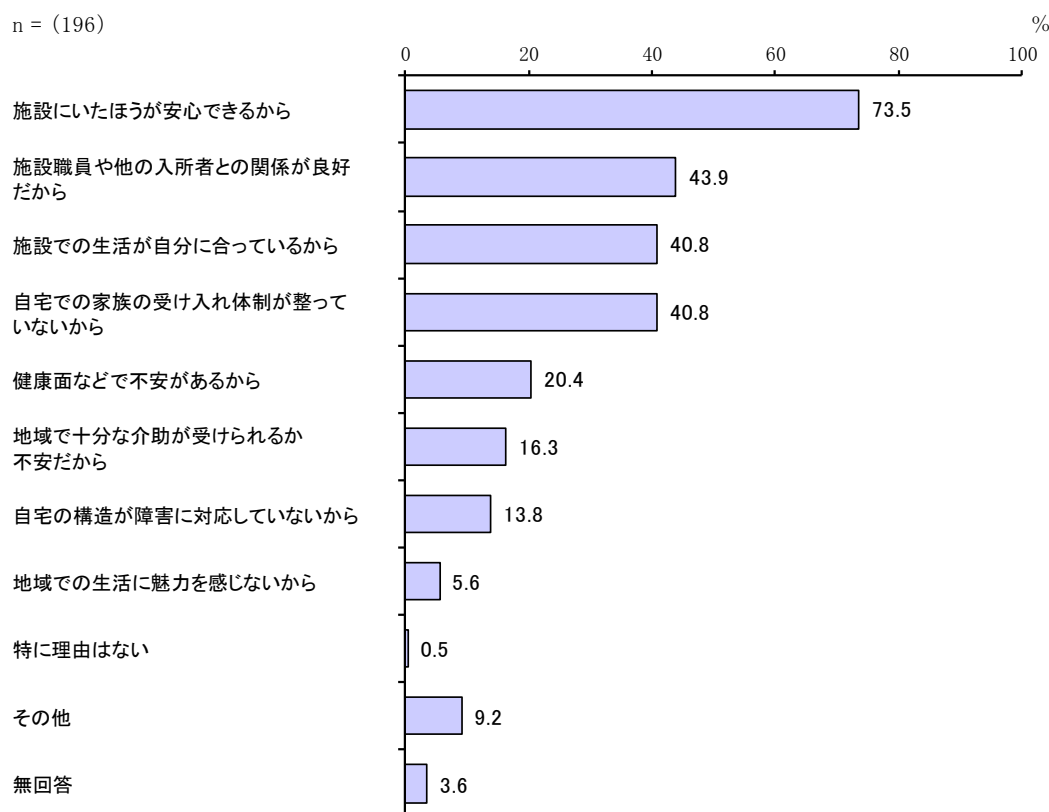
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	家族のそばにいたいから	ひとり暮らしをしてみたいから	自由な生活がしたいから	社会的に自立したいから	施設を出てやりたいことがあるから	一般就労してみたいから	作業所等で働いてみたいから	施設での生活に不満があるから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	43 100.0	23 53.5	4 9.3	14 32.6	7 16.3	3 7.0	5 11.6	2 4.7	7 16.3	2 4.7	2 4.7	2 4.7
身体障害	17 100.0	12 70.6	3 17.6	6 35.3	3 17.6	2 11.8	3 17.6	1 5.9	3 17.6	-	-	-
知的障害	29 100.0	13 44.8	2 6.9	9 31.0	5 17.2	1 3.4	2 6.9	1 3.4	3 10.3	2 6.9	1 3.4	2 6.9
精神障害	3 100.0	2 66.7	-	2 66.7	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-
難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-

問 32 【問 30 で現在入所している施設で生活したい（４番）に○をつけた方におたずねします。】  
 今の施設での生活が続けたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

「施設にいたほうが安心できるから」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「施設職員や他の入所者との関係が良好だから」の割合が 43.9%、「施設での生活が自分に合っているから」、「自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから」の割合が 40.8%となっています。



#### 【障害種別】

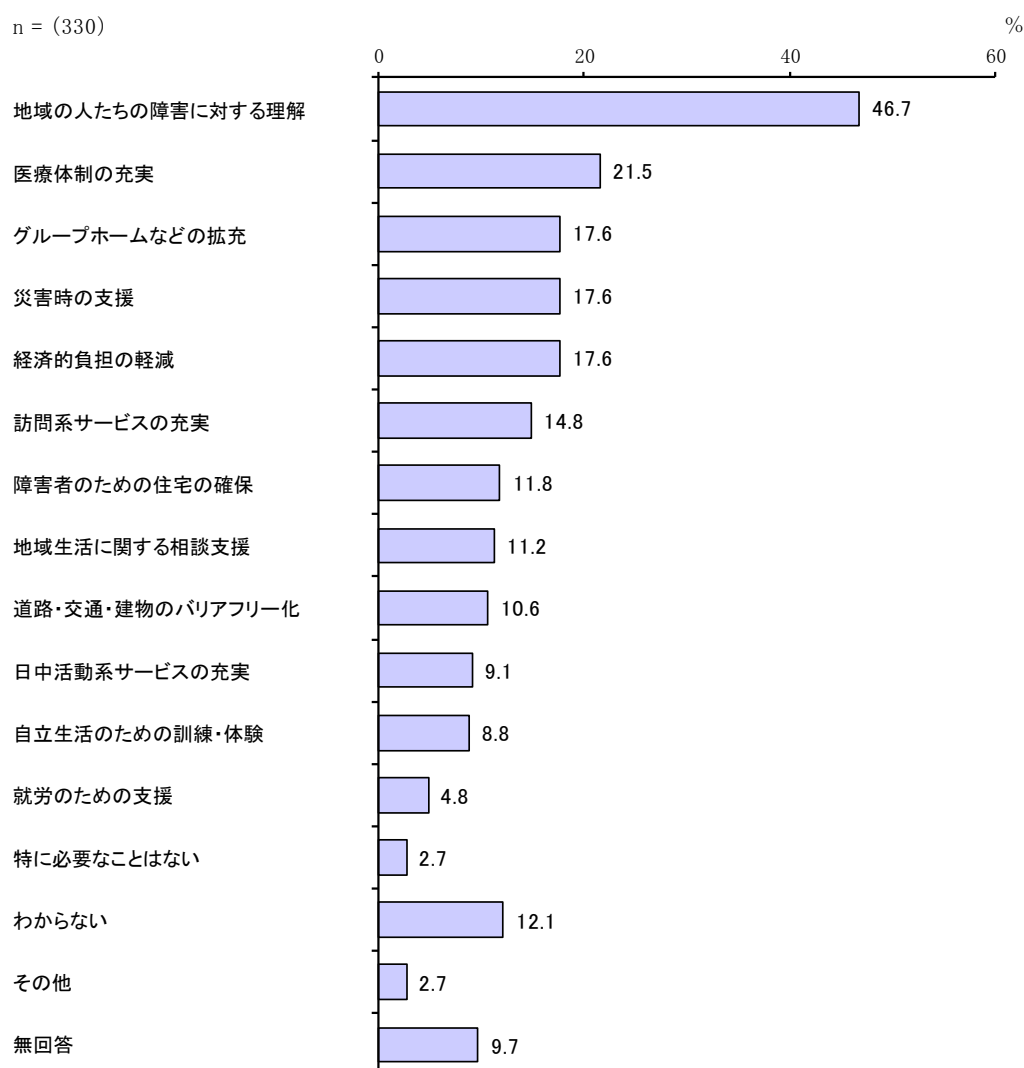
単位 上段：件、下段：%

	調査数	施設にいたほうが安心できるから	施設での生活が自分に合っているから	施設職員や他の入所者との関係が良好だから	健康面などで不安があるから	自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから	自宅の構造が障害に対応していないから	地域で十分な介助が受けられるか不安だから	地域での生活に魅力を感じないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	196 100.0	144 73.5	80 40.8	86 43.9	40 20.4	80 40.8	27 13.8	32 16.3	11 5.6	1 0.5	18 9.2	7 3.6
身体障害	83 100.0	59 71.1	27 32.5	32 38.6	20 24.1	35 42.2	20 24.1	10 12.0	2 2.4	1 1.2	7 8.4	4 4.8
知的障害	154 100.0	115 74.7	69 44.8	70 45.5	30 19.5	58 37.7	18 11.7	30 19.5	11 7.1	1 0.6	13 8.4	5 3.2
精神障害	18 100.0	16 88.9	7 38.9	9 50.0	6 33.3	11 61.1	3 16.7	1 5.6	1 5.6	—	—	—
難病	4 100.0	4 100.0	1 25.0	2 50.0	—	3 75.0	1 25.0	1 25.0	—	—	—	—
無回答	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	—	1 50.0	—	—	—	—	—	—

**問 33 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）**

「地域の人たちの障害に対する理解」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「医療体制の充実」の割合が 21.5%、「グループホームなどの拡充」、「災害時の支援」の割合が 17.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」、「地域生活に関する相談支援」、「訪問系サービスの充実」、「日中活動系サービスの充実」、「障害者のための住宅の確保」、「医療体制の充実」、「災害時の支援」、「道路・交通・建物のバリアフリー化」、「経済的負担の軽減」、「特に必要なことはない」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「障害者のための住宅の確保」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「わからない」は新たに追加された選択肢です。

# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全 体	330 100.0	154 46.7	37 11.2	49 14.8	30 9.1	29 8.8	58 17.6	39 11.8	71 21.5
身体障害	126 100.0	56 44.4	12 9.5	30 23.8	13 10.3	12 9.5	16 12.7	11 8.7	36 28.6
知的障害	260 100.0	129 49.6	30 11.5	34 13.1	23 8.8	20 7.7	54 20.8	36 13.8	53 20.4
精神障害	35 100.0	18 51.4	6 17.1	6 17.1	2 5.7	1 2.9	6 17.1	6 17.1	9 25.7
難病	7 100.0	3 42.9	—	1 14.3	—	—	—	1 14.3	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	16 4.8	58 17.6	35 10.6	58 17.6	9 2.7	40 12.1	9 2.7	32 9.7
身体障害	6 4.8	21 16.7	25 19.8	28 22.2	1 0.8	17 13.5	2 1.6	6 4.8
知的障害	14 5.4	47 18.1	18 6.9	41 15.8	9 3.5	30 11.5	8 3.1	25 9.6
精神障害	1 2.9	8 22.9	7 20.0	4 11.4	1 2.9	3 8.6	—	4 11.4
難病	—	2 28.6	1 14.3	2 28.6	—	—	—	2 28.6
無回答	—	—	—	1 16.7	—	3 50.0	—	2 33.3

# 【平成 28 年度調査】

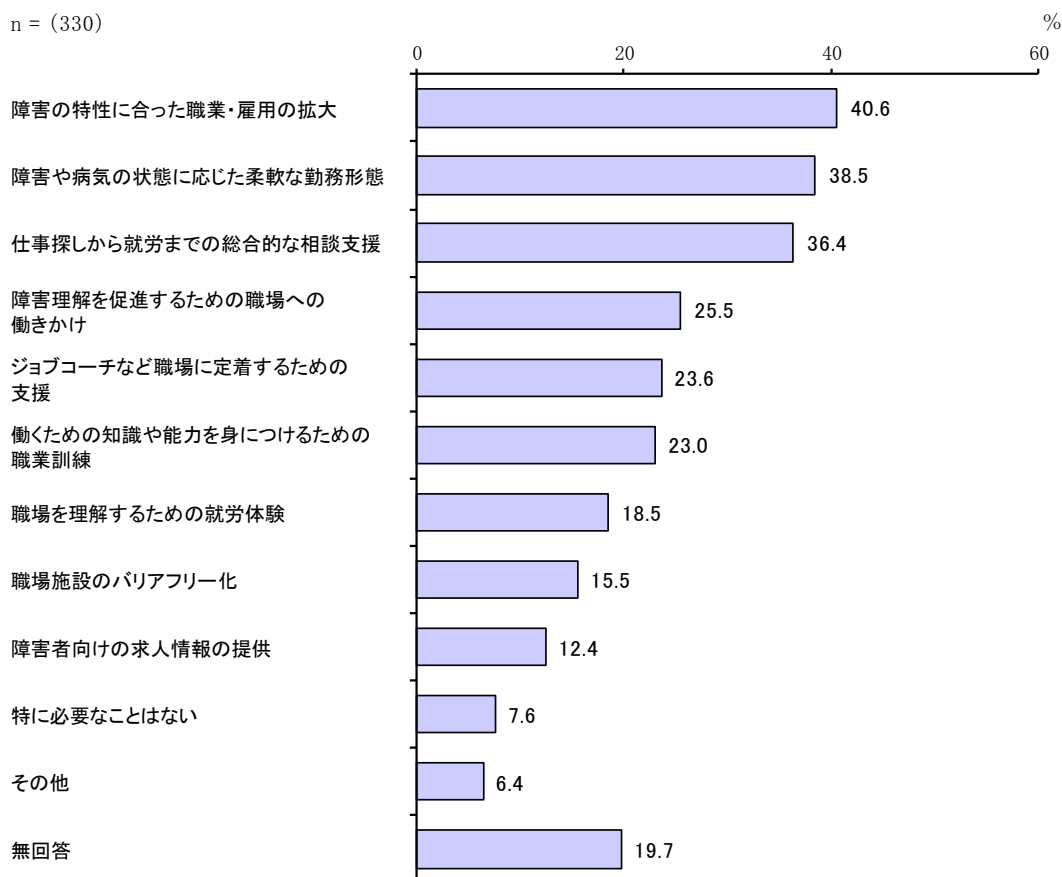
単位 上段:件、下段:%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全 体	568 100.0	348 61.3	116 20.4	141 24.8	125 22.0	73 12.9	123 21.7	141 24.8	198 34.9
身体障害	246 100.0	144 58.5	56 22.8	83 33.7	51 20.7	34 13.8	46 18.7	58 23.6	97 39.4
知的障害	409 100.0	262 64.1	78 19.1	87 21.3	95 23.2	49 12.0	103 25.2	108 26.4	143 35.0
精神障害	34 100.0	22 64.7	10 29.4	9 26.5	7 20.6	8 23.5	6 17.6	19 55.9	16 47.1
難病	43 100.0	24 55.8	15 34.9	12 27.9	7 16.3	9 20.9	11 25.6	10 23.3	17 39.5
無回答	12 100.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	3 25.0	2 16.7

	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	49 8.6	137 24.1	119 21.0	170 29.9	59 10.4		36 6.3	19 3.3
身体障害	21 8.5	54 22.0	78 31.7	74 30.1	17 6.9		9 3.7	10 4.1
知的障害	35 8.6	107 26.2	76 18.6	136 33.3	42 10.3		32 7.8	11 2.7
精神障害	5 14.7	12 35.3	12 35.3	9 26.5	2 5.9		3 8.8	—
難病	5 11.6	16 37.2	13 30.2	17 39.5	3 7.0		3 7.0	1 2.3
無回答	—	1 8.3	1 8.3	2 16.7	3 25.0		1 8.3	2 16.7

問 34 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」の割合が 38.5%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」の割合が 36.4%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

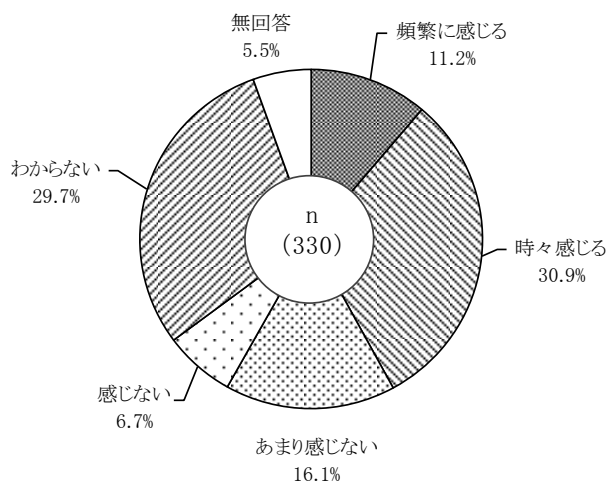
	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	330 100.0	120 36.4	76 23.0	61 18.5	134 40.6	41 12.4	84 25.5	51 15.5	127 38.5	78 23.6	25 7.6	21 6.4	65 19.7
身体障害	126 100.0	47 37.3	32 25.4	22 17.5	57 45.2	18 14.3	31 24.6	36 28.6	53 42.1	25 19.8	8 6.3	7 5.6	25 19.8
知的障害	260 100.0	98 37.7	59 22.7	47 18.1	106 40.8	28 10.8	66 25.4	29 11.2	98 37.7	67 25.8	21 8.1	17 6.5	45 17.3
精神障害	35 100.0	14 40.0	10 28.6	11 31.4	8 22.9	7 20.0	10 28.6	8 22.9	11 31.4	10 28.6	3 8.6	3 8.6	6 17.1
難病	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	5 71.4	1 14.3	-	-	2 28.6
無回答	6 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 16.7	-	5 83.3

## （９）障害のある人に対する理解度

問 35 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることはありませんか。（○は１つ）

「頻繁に感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が42.1%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が22.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、“感じる”の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、“感じる”の割合が増加しています。



### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	330 100.0	37 11.2	102 30.9	53 16.1	22 6.7	98 29.7	18 5.5
身体障害	126 100.0	11 8.7	43 34.1	24 19.0	10 7.9	31 24.6	7 5.6
知的障害	260 100.0	31 11.9	82 31.5	38 14.6	14 5.4	86 33.1	9 3.5
精神障害	35 100.0	3 8.6	15 42.9	2 5.7	3 8.6	9 25.7	3 8.6
難病	7 100.0	—	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	—	1 16.7	3 50.0	2 33.3

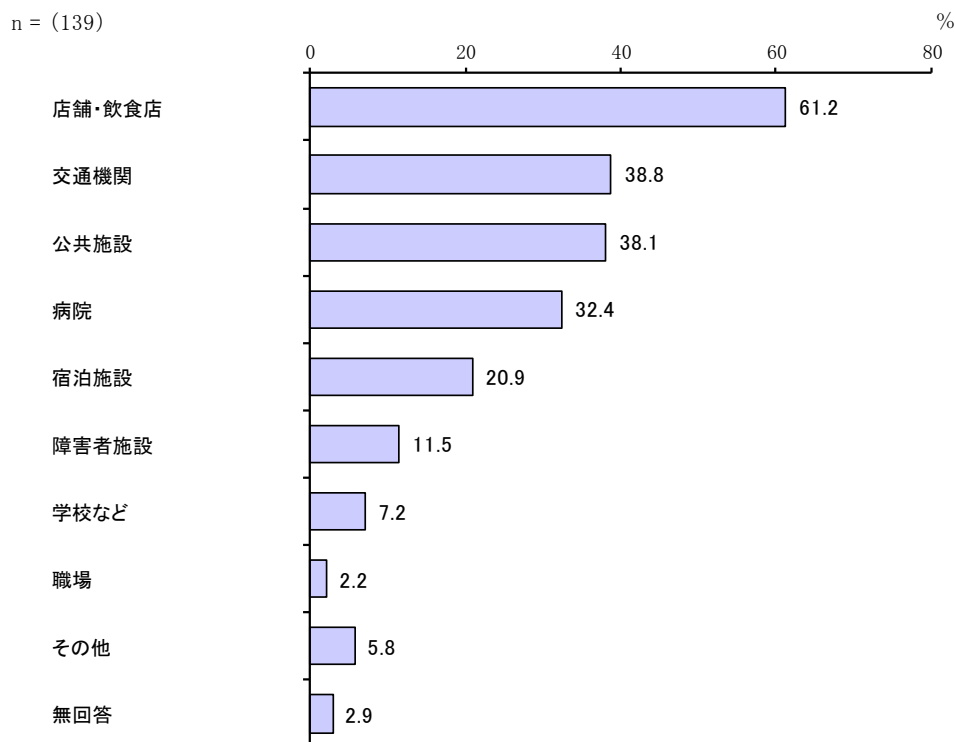
### 【平成28年度調査】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	568 100.0	28 4.9	173 30.5	79 13.9	57 10.0	211 37.1	20 3.5
身体障害	246 100.0	8 3.3	81 32.9	38 15.4	33 13.4	78 31.7	8 3.3
知的障害	409 100.0	23 5.6	122 29.8	52 12.7	29 7.1	167 40.8	16 3.9
精神障害	34 100.0	2 5.9	6 17.6	7 20.6	4 11.8	14 41.2	1 2.9
難病	43 100.0	5 11.6	12 27.9	6 14.0	6 14.0	12 27.9	2 4.7
無回答	12 100.0	—	4 33.3	1 8.3	4 33.3	3 25.0	—

問 36 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。（〇はいくつでも）

「店舗・飲食店」の割合が61.2%と最も高く、次いで「交通機関」の割合が38.8%、「公共施設」の割合が38.1%となっています。



【障害種別】

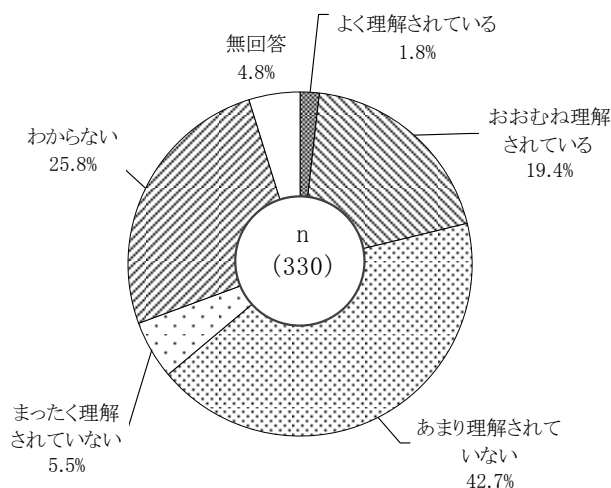
単位 上段:件、下段: %

	調査数	職場	学校など	障害者施設	病院	店舗・飲食店	公共施設	宿泊施設	交通機関	その他	無回答
全 体	139 100.0	3 2.2	10 7.2	16 11.5	45 32.4	85 61.2	53 38.1	29 20.9	54 38.8	8 5.8	4 2.9
身体障害	54 100.0	2 3.7	2 3.7	8 14.8	14 25.9	36 66.7	18 33.3	12 22.2	19 35.2	2 3.7	1 1.9
知的障害	113 100.0	1 0.9	10 8.8	12 10.6	39 34.5	68 60.2	48 42.5	24 21.2	47 41.6	6 5.3	3 2.7
精神障害	18 100.0	1 5.6	1 5.6	2 11.1	9 50.0	14 77.8	7 38.9	4 22.2	4 22.2	1 5.6	-
難病	3 100.0	-	-	-	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3	-	1 33.3	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 37 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。  
(○は1つ)

「よく理解されている」と「おおむね理解されている」をあわせた“理解されている”の割合が 21.2%、「あまり理解されていない」と「まったく理解されていない」をあわせた“理解されていない”の割合が 48.2%、「わからない」の割合が 25.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、“理解されている”の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、“理解されていない”の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	330	6	64	141	18	85	16
	100.0	1.8	19.4	42.7	5.5	25.8	4.8
身体障害	126	2	33	53	5	29	4
	100.0	1.6	26.2	42.1	4.0	23.0	3.2
知的障害	260	5	40	119	16	71	9
	100.0	1.9	15.4	45.8	6.2	27.3	3.5
精神障害	35	—	3	16	2	11	3
	100.0	—	8.6	45.7	5.7	31.4	8.6
難病	7	—	1	3	—	2	1
	100.0	—	14.3	42.9	—	28.6	14.3
無回答	6	—	1	—	—	3	2
	100.0	—	16.7	—	—	50.0	33.3

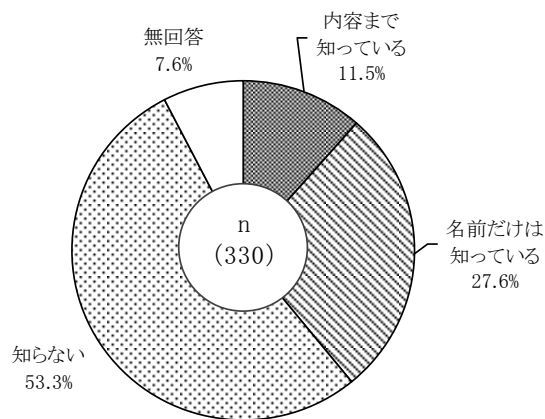
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	568	3	82	204	20	249	10
	100.0	0.5	14.4	35.9	3.5	43.8	1.8
身体障害	246	2	48	81	6	103	6
	100.0	0.8	19.5	32.9	2.4	41.9	2.4
知的障害	409	2	51	150	17	182	7
	100.0	0.5	12.5	36.7	4.2	44.5	1.7
精神障害	34	—	7	8	—	19	—
	100.0	—	20.6	23.5	—	55.9	—
難病	43	—	7	19	3	14	—
	100.0	—	16.3	44.2	7.0	32.6	—
無回答	12	—	2	4	—	6	—
	100.0	—	16.7	33.3	—	50.0	—

問 38 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 27.6%、「内容まで知っている」の割合が 11.5%となっています。



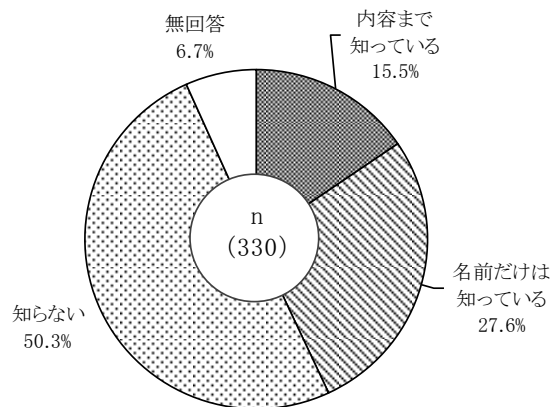
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	330 100.0	38 11.5	91 27.6	176 53.3	25 7.6
身体障害	126 100.0	18 14.3	40 31.7	59 46.8	9 7.1
知的障害	260 100.0	31 11.9	68 26.2	145 55.8	16 6.2
精神障害	35 100.0	3 8.6	11 31.4	18 51.4	3 8.6
難病	7 100.0	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3
無回答	6 100.0	-	-	3 50.0	3 50.0

問 39 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成 24 年 10 月 1 日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 27.6%、「内容まで知っている」の割合が 15.5%となっています。



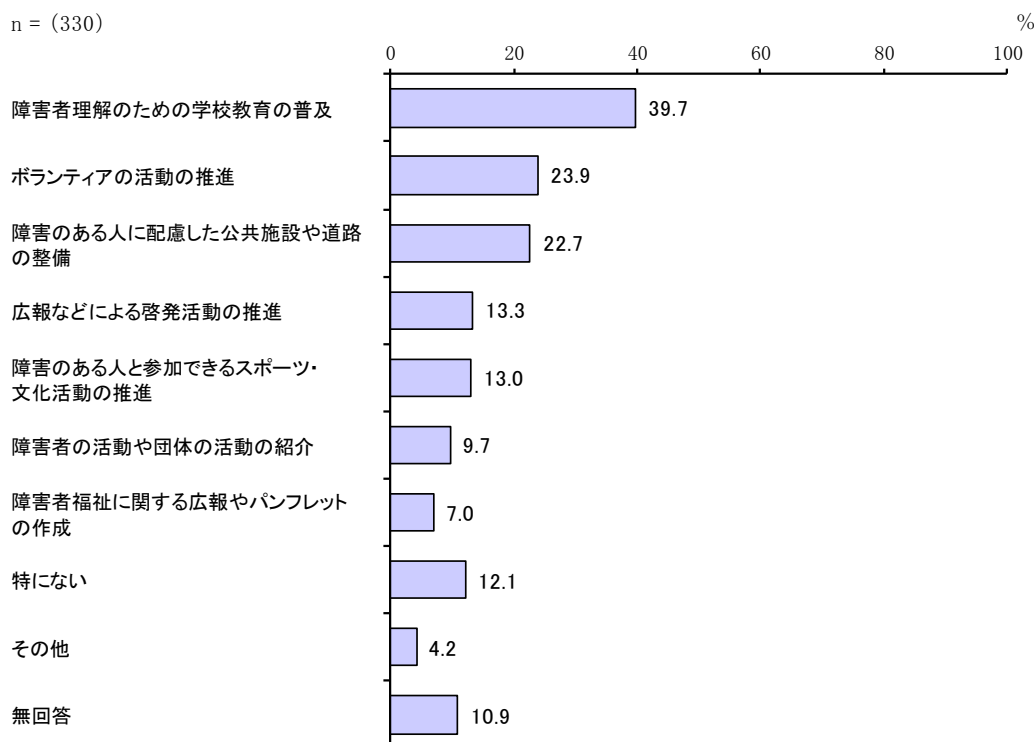
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	330 100.0	51 15.5	91 27.6	166 50.3	22 6.7
身体障害	126 100.0	24 19.0	40 31.7	53 42.1	9 7.1
知的障害	260 100.0	40 15.4	72 27.7	135 51.9	13 5.0
精神障害	35 100.0	6 17.1	8 22.9	18 51.4	3 8.6
難病	7 100.0	1 14.3	2 28.6	3 42.9	1 14.3
無回答	6 100.0	-	-	3 50.0	3 50.0

問 40 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

「障害者理解のための学校教育の普及」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「ボランティアの活動の推進」の割合が 23.9%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」の割合が 22.7%となっています。



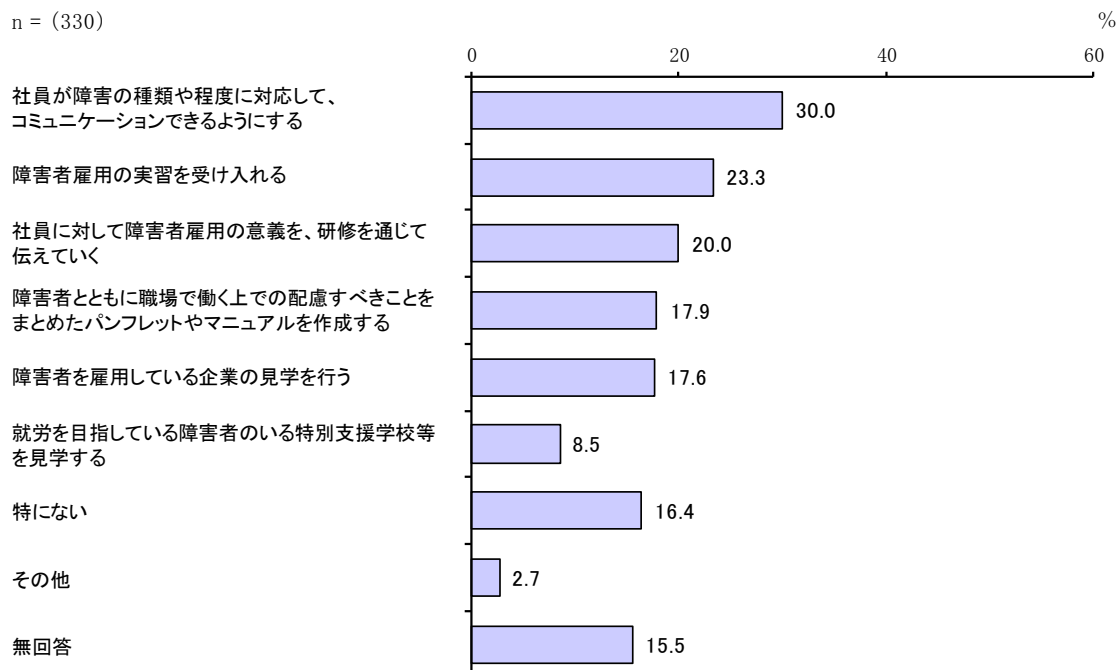
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にない	その他	無回答
全 体	330 100.0	131 39.7	44 13.3	32 9.7	79 23.9	43 13.0	75 22.7	23 7.0	40 12.1	14 4.2	36 10.9
身体障害	126 100.0	46 36.5	17 13.5	12 9.5	32 25.4	18 14.3	44 34.9	10 7.9	15 11.9	5 4.0	9 7.1
知的障害	260 100.0	108 41.5	35 13.5	24 9.2	63 24.2	36 13.8	55 21.2	17 6.5	31 11.9	13 5.0	25 9.6
精神障害	35 100.0	14 40.0	3 8.6	4 11.4	6 17.1	3 8.6	8 22.9	4 11.4	6 17.1	1 2.9	4 11.4
難病	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	3 42.9	—	2 28.6	2 28.6	—	—	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	1 16.7	—	—	—	—	2 33.3	—	3 50.0

問 41 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」の割合が30.0%と最も高く、次いで「障害者雇用の実習を受け入れる」の割合が23.3%、「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」の割合が20.0%となっています。



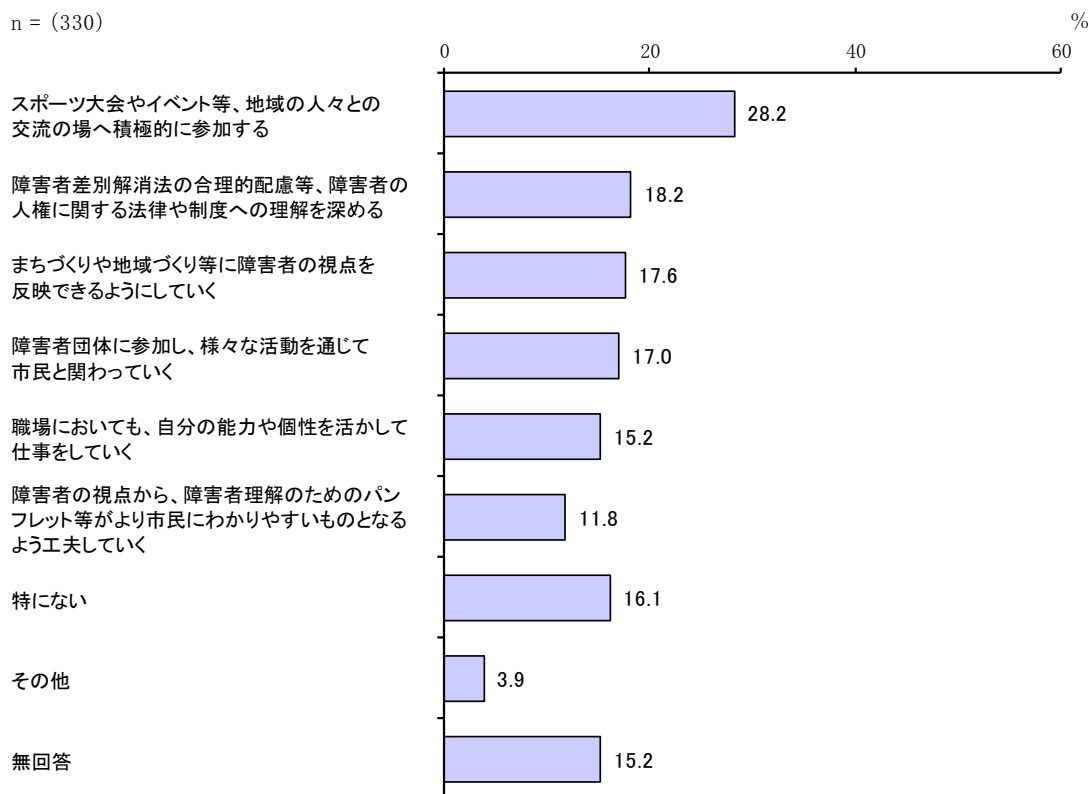
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にない	その他	無回答
全 体	330 100.0	66 20.0	28 8.5	58 17.6	77 23.3	99 30.0	59 17.9	54 16.4	9 2.7	51 15.5
身体障害	126 100.0	29 23.0	9 7.1	29 23.0	25 19.8	42 33.3	20 15.9	20 15.9	3 2.4	18 14.3
知的障害	260 100.0	52 20.0	22 8.5	37 14.2	68 26.2	81 31.2	49 18.8	43 16.5	8 3.1	36 13.8
精神障害	35 100.0	6 17.1	3 8.6	6 17.1	13 37.1	11 31.4	6 17.1	7 20.0	—	4 11.4
難病	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	3 42.9	—	1 14.3	—	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	—	—	1 16.7	1 16.7	2 33.3	—	3 50.0

問 42 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」の割合が 18.2%、「まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく」の割合が 17.6%となっています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

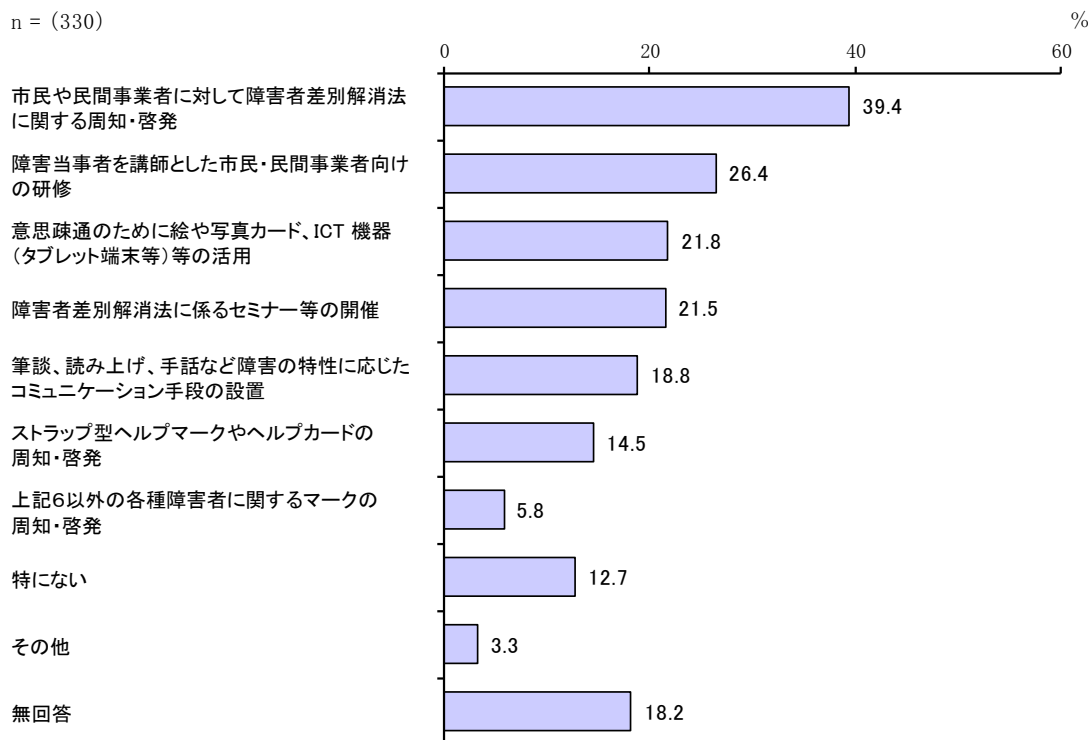
	調査数	障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する	まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく	障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく	障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく	職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく	特になし	その他	無回答
全 体	330 100.0	60 18.2	93 28.2	58 17.6	56 17.0	39 11.8	50 15.2	53 16.1	13 3.9	50 15.2
身体障害	126 100.0	29 23.0	35 27.8	30 23.8	19 15.1	14 11.1	15 11.9	21 16.7	5 4.0	19 15.1
知的障害	260 100.0	48 18.5	78 30.0	42 16.2	50 19.2	29 11.2	41 15.8	41 15.8	10 3.8	35 13.5
精神障害	35 100.0	2 5.7	8 22.9	7 20.0	8 22.9	8 22.9	5 14.3	8 22.9	-	5 14.3
難病	7 100.0	1 14.3	-	2 28.6	-	3 42.9	-	3 42.9	-	1 14.3
無回答	6 100.0	-	-	-	-	1 16.7	-	2 33.3	-	3 50.0

**問 43 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われるですか。（〇は3つまで）**

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」の割合が39.4%と最も高く、次いで「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」の割合が26.4%、「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が21.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」、「障害者差別解消法に係るセミナー等の開催」、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」、「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置」、「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が増加しています。また、身体障害のある方では、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」の割合が増加しています。

n = (330)



※令和元年度調査の「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」、「上記以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発」は新たに追加された選択肢です。

平成28年度調査の「各種障害者に関するマークの周知・啓発」は令和元年度調査にはありません。

【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	市民や民間事業者 に対して 障害者差別 解消法に 関する周知・啓 発	障害者差別 解消法に係るセミ ナー等の開催	障害当事 者を講師 とした市 民・民間 事業者向 けの研修	筆談、読 み上げ、 手話など 障害の特 性にに応 じたコミ ュニケー ション手 段の設置	意思疎通 のために 絵や写真 カード、 ICT 機器 (タブレット 端末等) 等の活用	ストラップ 型ヘルプ マークや ヘルプ カードの 周知・啓 発	上記以外 の各種障 害者に 関するマ ークの周 知・啓発	特にない	その他	無回答
全 体	330 100.0	130 39.4	71 21.5	87 26.4	62 18.8	72 21.8	48 14.5	19 5.8	42 12.7	11 3.3	60 18.2
身体障害	126 100.0	47 37.3	32 25.4	40 31.7	32 25.4	23 18.3	20 15.9	7 5.6	16 12.7	5 4.0	19 15.1
知的障害	260 100.0	110 42.3	57 21.9	69 26.5	42 16.2	59 22.7	39 15.0	15 5.8	33 12.7	9 3.5	44 16.9
精神障害	35 100.0	10 28.6	6 17.1	11 31.4	11 31.4	7 20.0	4 11.4	5 14.3	6 17.1	-	6 17.1
難病	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	3 42.9	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-	1 16.7	-	4 66.7

【平成 28 年度調査】

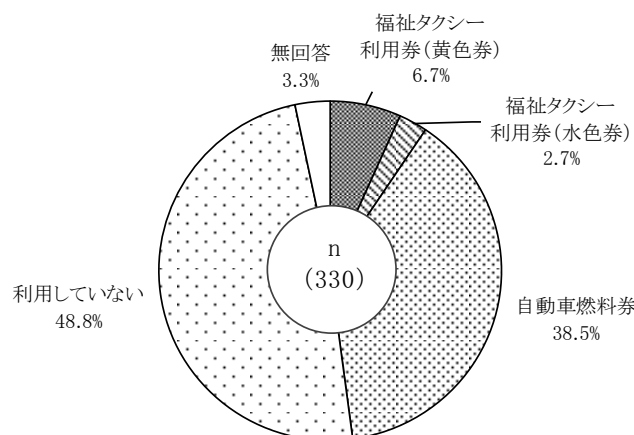
単位 上段：件、下段：%

	調査数	市民や民間事業者 に対して 障害者差別 解消法に 関する周知・啓 発	障害者差別 解消法に係るセミ ナー等の開催	障害当事 者を講師 とした市 民・民間 事業者向 けの研修	筆談、読 み上げ、 手話など 障害の特 性にに応 じたコミ ュニケー ション手 段の設置	意思疎通 のために 絵や写真 カード、 ICT 機器 (タブレット 端末等) 等の活用	ストラップ 型ヘルプ マークや ヘルプ カードの 周知・啓 発	各種障害 者に 関するマ ークの周 知・啓発	特にない	その他	無回答
全 体	568 100.0	191 33.6	87 15.3	65 11.4	61 10.7	91 16.0		43 7.6	144 25.4	45 7.9	48 8.0
身体障害	246 100.0	78 31.7	38 15.4	28 11.4	32 13.0	43 17.5		19 7.7	66 26.8	12 4.9	21 8.5
知的障害	409 100.0	150 36.7	63 15.4	46 11.2	41 10.0	66 16.1		30 7.3	92 22.5	39 9.5	36 8.8
精神障害	34 100.0	11 32.4	8 23.5	6 17.6	2 5.9	5 14.7		-	10 29.4	3 8.8	3 8.8
難病	43 100.0	16 37.2	3 7.0	5 11.6	9 20.9	10 23.3		6 14.0	8 18.6	2 4.7	2 4.7
無回答	12 100.0	1 8.3	-	2 16.7	2 16.7	-		-	6 50.0	1 8.3	2 16.7

## (10) サービス利用について

問 44 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

「利用していない」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「自動車燃料券」の割合が 38.5%となっています。



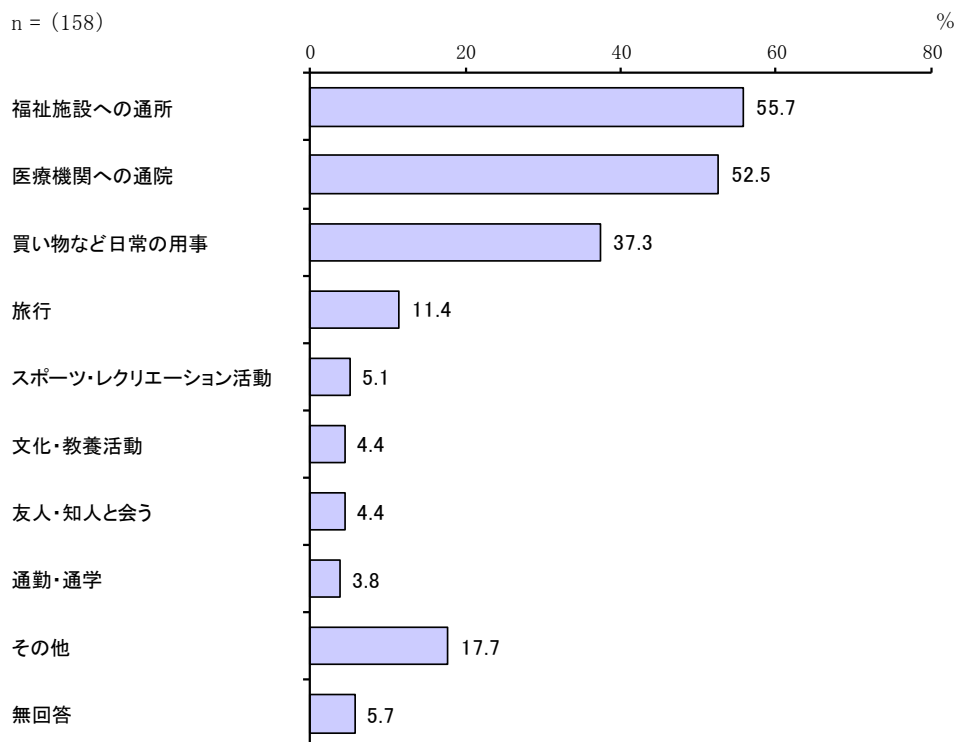
### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	福祉タクシー利用券(黄色券)	福祉タクシー利用券(水色券)	自動車燃料券	利用していない	無回答
全 体	330 100.0	22 6.7	9 2.7	127 38.5	161 48.8	11 3.3
身体障害	126 100.0	8 6.3	8 6.3	51 40.5	56 44.4	3 2.4
知的障害	260 100.0	14 5.4	3 1.2	101 38.8	136 52.3	6 2.3
精神障害	35 100.0	2 5.7	—	10 28.6	20 57.1	3 8.6
難病	7 100.0	1 14.3	—	2 28.6	3 42.9	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	2 33.3	2 33.3	2 33.3

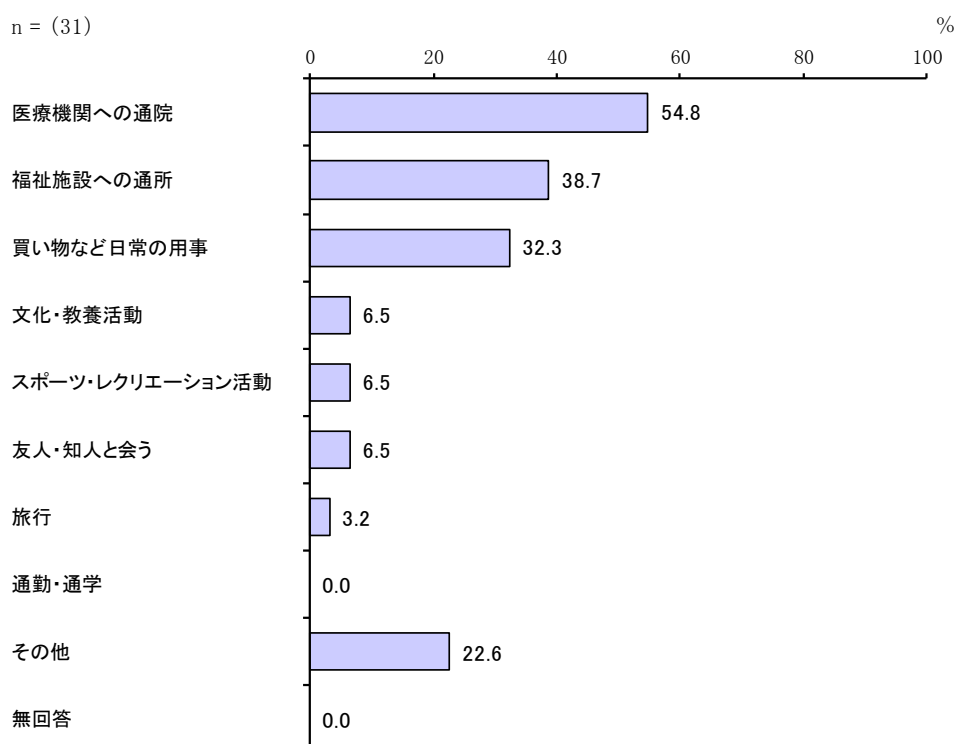
問 45 【問 44 でいずれかの券を利用している（１～３番）と回答した方におたずねします。】  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

「福祉施設への通所」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「医療機関への通院」の割合が 52.5%、  
「買い物など日常の用事」の割合が 37.3%となっています。



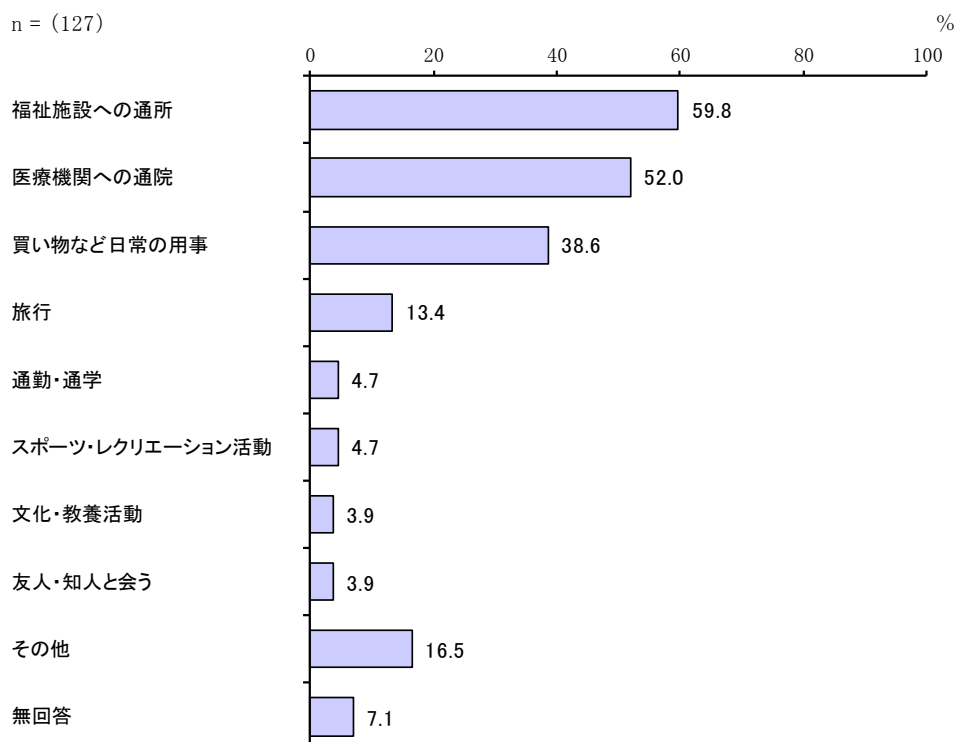
## 1. 福祉タクシーの主な使い道

n = (31)



## 2. 自動車燃料券の主な使い道

n = (127)



## 【障害種別】

### 1. 福祉タクシーの主な使い道

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他	無回答
全 体	31 100.0	- -	12 38.7	17 54.8	10 32.3	2 6.5	2 6.5	1 3.2	2 6.5	7 22.6	- -
身体障害	16 100.0	- -	4 25.0	12 75.0	6 37.5	1 6.3	1 6.3	- -	1 6.3	2 12.5	- -
知的障害	17 100.0	- -	9 52.9	7 41.2	4 23.5	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	5 29.4	- -
精神障害	2 100.0	- -	- -	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -
難病	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

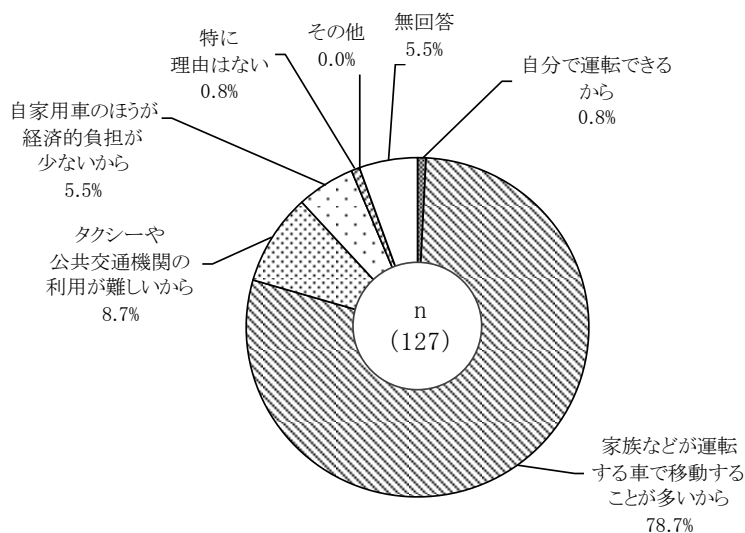
### 2. 自動車燃料券の主な使い道

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他	無回答
全 体	127 100.0	6 4.7	76 59.8	66 52.0	49 38.6	5 3.9	6 4.7	17 13.4	5 3.9	21 16.5	9 7.1
身体障害	51 100.0	2 3.9	27 52.9	37 72.5	22 43.1	4 7.8	5 9.8	5 9.8	3 5.9	11 21.6	2 3.9
知的障害	101 100.0	4 4.0	62 61.4	50 49.5	44 43.6	4 4.0	3 3.0	15 14.9	5 5.0	17 16.8	6 5.9
精神障害	10 100.0	- -	6 60.0	5 50.0	7 70.0	1 10.0	- -	2 20.0	1 10.0	2 20.0	- -
難病	2 100.0	- -	- -	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
無回答	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0

問 46 【問 44 で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方におたずねします。】  
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
（○は1つ）

「家族などが運転する車で移動することが多いから」の割合が 78.7%と最も高くなっています。



#### 【障害種別】

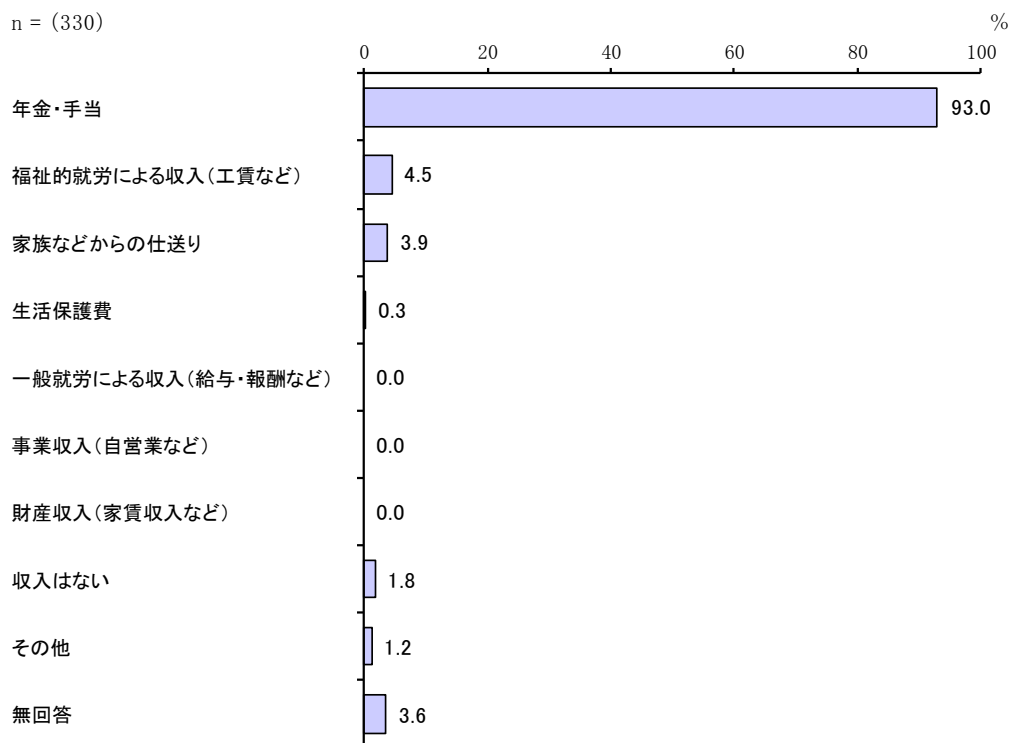
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	127 100.0	1 0.8	100 78.7	11 8.7	7 5.5	1 0.8	-	7 5.5
身体障害	51 100.0	-	41 80.4	4 7.8	4 7.8	-	-	2 3.9
知的障害	101 100.0	1 1.0	79 78.2	8 7.9	6 5.9	1 1.0	-	6 5.9
精神障害	10 100.0	-	6 60.0	1 10.0	2 20.0	-	-	1 10.0
難病	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-
無回答	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-

## (11) 収入や利用者負担について

問 47 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

「年金・手当」の割合が 93.0%と最も高くなっています。



### 【障害種別】

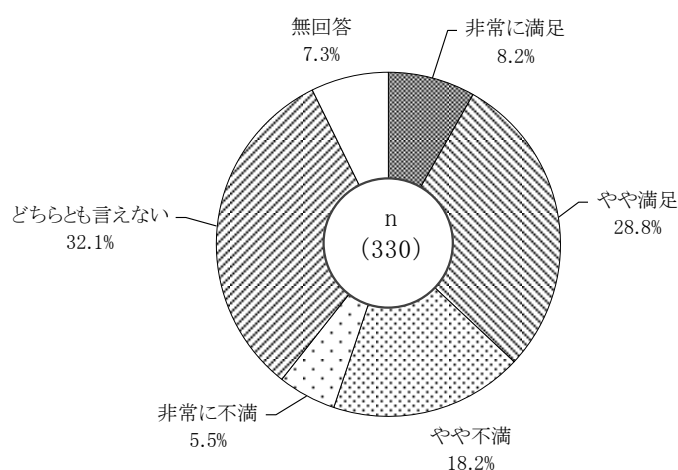
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	一般就労 による収入(給与・ 報酬など)	福祉的就 労による 収入(工 賃など)	事業収入 (自営業 など)	財産収入 (家賃収入 など)	年金・手 当	生活保護 費	家族など からの仕 送り	収入はな い	その他	無回答
全 体	330 100.0	- -	15 4.5	- -	- -	307 93.0	1 0.3	13 3.9	6 1.8	4 1.2	12 3.6
身体障害	126 100.0	- -	3 2.4	- -	- -	118 93.7	1 0.8	6 4.8	3 2.4	2 1.6	3 2.4
知的障害	260 100.0	- -	12 4.6	- -	- -	244 93.8	- -	11 4.2	4 1.5	3 1.2	8 3.1
精神障害	35 100.0	- -	- -	- -	- -	33 94.3	- -	- -	- -	1 2.9	1 2.9
難病	7 100.0	- -	- -	- -	- -	6 85.7	- -	1 14.3	- -	- -	1 14.3
無回答	6 100.0	- -	1 16.7	- -	- -	5 83.3	- -	- -	- -	- -	1 16.7

## (12) 障害者施策について

問 48 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 37.0%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 23.7%、「どちらとも言えない」の割合が 32.1%となっています。



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	330 100.0	27 8.2	95 28.8	60 18.2	18 5.5	106 32.1	24 7.3
身体障害	126 100.0	10 7.9	41 32.5	24 19.0	6 4.8	36 28.6	9 7.1
知的障害	260 100.0	19 7.3	68 26.2	51 19.6	15 5.8	92 35.4	15 5.8
精神障害	35 100.0	2 5.7	7 20.0	8 22.9	2 5.7	13 37.1	3 8.6
難病	7 100.0	—	4 57.1	1 14.3	—	1 14.3	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	—	—	1 16.7	3 50.0

### (13) 自由意見

問 49 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 90 件の意見がありました。

	分 類	件 数	割合 (%)
1	福祉サービス	21	23.3
2	医療・健康	5	5.6
3	生活環境	1	1.1
4	雇用・就労	0	0.0
5	将来について	11	12.2
6	経済事情・経済的支援	3	3.3
7	行政・制度	22	24.4
8	その他	27	30.0
合計		90	100.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

#### ①福祉サービス

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。・娘が昔通っていた施設のボランティアに行かせてもらっていますが、制度（保育園や幼稚園と併用できたり）クラスも子供の能力に合わせ細かく分かれていたり、昔と比べてニーズに合ったサービスになったと感じます。ただ、千葉市はボランティアを行う人が少ないですね。残念です。・現在困っている事は、中年になった障害者の行く場所（休日など）があまりなく、ショッピングセンターをうろうろするしかありません。・老年期の障害者の方達がどう暮らしているのか情報が乏しく不安です（施設なのか、高齢者施設（特養）なのか）。	身体障害	30 歳代	女性	家族
障害者のグループホームが年々大型化し、まるで施設ようになって来た。報酬体系がそうさせているのは承知しているが、障害者には静かに生活する場は必要ないとでも云うのだろうか。4～5人で始まった頃の家庭の雰囲気のあった昔のグループホームが懐かしい。理念と実態が乖離して行く福祉の現実を見るにつけ、残念でならない。	身体障害	40 歳代	男性	家族
身体障害者施設に入所していますが、2人部屋なので、夜は隣の人が午後11時と午前3時頃、おむつ交換で天井の照明を点灯する為おこされます。私は午後12時近くまで吸引することがあります。二人とも生活パターンが異なるので、1人部屋のほうが良いです。	身体障害	60 歳代	男性	本人
福祉就労者の定着が良くないようで、入所者としては体の介護状態が分かってもらったと思ったころにはまた変わるという様な事がたびたび。介護職員の就労体制を考えて下さい。（施設によって違いが有るのでしょうか）給与の件も有るのでしょうか。	身体障害	40 歳代	男性	家族

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
施設職員の質の向上。防犯カメラ（居室）の設置の義務化。	知的障害	30 歳代	女性	家族
市内の知的障害者施設に入所しているが、毎週末帰省 2 泊、GW、夏期・秋期・正月休みが 5～9 泊あり、家庭での過ごし方に困っている。自宅への帰省をもっと短くして欲しい。あるいはヘルパーを使えるようにして欲しい。	知的障害	30 歳代	男性	家族
入所をしていても、移動支援のサービスを利用したい。	身体障害	40 歳代	男性	施設職員
入所施設を利用していますが毎週末ほとんど自宅に帰省していますが迎えに行くのが困難になりました。（目のおとろえ等）。送迎サービスをして下さると助かります。	知的障害	30 歳代	女性	家族
千葉市内往復 100 km 越えにはなりますが、そんな長距離の移動支援があるとありがたいです。本人の入所施設と自宅は 50 km の距離があり、親が動けないとき（ケガ、入院、高齢など）にそうげいをしてもらえるサービスがあると心強く、安心して生活できます。	知的障害	20 歳代	男性	家族

## ②医療・健康について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
医療体制の充実。数年前、本来ならば入院を必要とする病状となった際、障害があるからという理由で医療サービスを受ける事ができなかった。（市立病院…看護師の数が足りない、手がかかる人を受け入れられないと言われた）幸いにも命を落とすことはなかったが、この件で千葉市の障害者に対する医療体制に大きな不審感がうまれた。	知的障害	20 歳代	男性	家族
入所施設に夜間勤務、休日勤務の看護師の常駐をお願いしたい。入所施設利用者の外出支援が（有料でも可）利用出来る様にと希望します。施設内の活動以外にも楽しみがあるとよいのですが福祉事務所でもなかなかみつけてもらえず、親がつれ出せない年齢になると本人の希望もかなえること難しいのが現状です。	身体障害	50 歳代	女性	家族
知的障害者（障害者）専門（の日）の病院（内科、耳鼻科など…）があると安心して受診できる。	知的障害	30 歳代	女性	家族
障がい者施設に入っていましたが、肺炎になり、病院に入院している内に施設に帰れなくなりました。夜にも吸引をしてもらうのに夜の吸引する人がいないとの事で、こん回他のグループホームを見つけて入る事になりました。とてもショックです。一生涯居られると思っていたので。	身体障害	50 歳代	男性	家族

## ③生活環境について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
千葉県は交通機関が不便を感じる。病院やスーパー等に行くのにバスを利用しなければならないので、バス運賃（横浜市みたいに）モノレール運賃を無料化、とくに障害者が外出しやすい様にして欲しい。そうすれば病院等に行く時助かる。	知的障害	50 歳代	女性	家族

#### ④将来について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
重度の知的障害、自閉傾向をもつ娘も年を重ね、同時に親の方も高齢になってきて、親亡きあとの娘の生活に不安をもっている。一人娘のため、現在入居している施設で暮らし続けること以外選択肢がない。親の後任の成年後見人を選定し、今後の金銭面等全てを依託しているが、全面的に信頼できるか不安もある。質問5の項目での相談場所等の情報をよく理解していなかったのもう少し広報してもらえるとありがたい。（施設には聞きにくいこともある）	知的障害	30 歳代	女性	家族
現在入所している施設は終身ではないので、将来はまた施設を変わらなければならない、息子はずっとその心配をしています。・将来の不安は多くあります。	知的障害	20 歳代	男性	家族
親なき後は、グループホームでの生活になるかと・・・思います。母体のしっかりとした、“終のすみか”になる生活する場があれば・・・。	知的障害	30 歳代	男性	家族
施設が終のすみかになってほしい。現在病气入院した場合、その後の利用がむずかしい。現在の法律では出来ないのも、先法改正ですとずっと同じ施設で生活できれば良いと思う。	身体障害	40 歳代	女性	家族
障害者本人が高齢になった時、福祉サービスが充実しているか心配。	知的障害	20 歳代	女性	家族

#### ⑤経済事情・経済的支援について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
障害なのでもう少し手当とかサービスこうじょうをより多く望みます…入所しても月額の金がかが高いいのではと思っています。	知的障害	40 歳代	男性	家族
年金が少ない。時々足りない時がある。	身体障害	20 歳代	男性	家族

#### ⑥行政・制度について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
行政への提出書類等は、年間を通して一度にまとめて、処理をしたい。・やさしいまなざし、何気ない手助けなどもっともっと心掛けてほしい。・第三者委員の方の役目、任務が生かされていない。・時には私達家族の生の声を聞いていただく機会があればいいなあと思います。	身体障害	40 歳代	女性	家族
将来マイナンバーカードが健康保険証の代わりになるとの事だが、マイナンバーカードの受領手続きが知的障害者等が出来ない場合がある。本人が手続き出来ない場合は成年後見制度を利用すべきという事だが、マイナンバーカード受領の為に成年後見人を選定しなければならないのは負担が大きい。成年後見制度そのものも色々問題があるようで、すぐには成年後見制度を利用する気になれない。あまり利用価値のないマイナンバーカードなのに、手続きが障害者には大きな負担であり、もっと簡略なやり方に出来ないのか。（区役所に本人が行く事自体困難）	身体障害	20 歳代	男性	家族

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
条例や施策など、高齢者福祉用のものをそのまま知的障害者に転用していると思われるものが多くあります。両者は年齢も環境も性質もまったく別ものです。一緒に扱うのはやめてください。	知的障害	50 歳代	男性	家族
知的障害（重度）で何も出さず、付き添いによる生活が100%必要であるが、障害者としてのピンからキリまでがあり、重度の障害者に対する対応を考え直してほしい。	知的障害	40 歳代	女性	家族
最近車イスがほしくともなかなかOKしてくれなかったり、メガネやいろいろな日常生活用品へのしえんが少なくなっていまい、ほしいものが手に入りにくくなったので困っている。	身体障害	40 歳代	女性	本人
窓口である障害福祉課の案内が不親切。すぐ使いたいのに判定までに時間がかかり、サービス利用に関しても相談支援専門員を見つける所から始まり、時間がかかりすぎる。障害→介護保険になった時の対応がひどすぎる。施設を作らないとのことですが、重度の人の受け入れ先がなくなってしまう。親はいつまでも元気でいられない。地域で生活できる人ばかりでない。災害の時、避難できる場所がない。子どもは施設に入所できているので満足しているが、まわりの人や色々な方を見て感じたことを書かせて頂きました。	知的障害	20 歳代	女性	家族
保健福祉センター等の窓口担当者を増員してほしい。特に年に数回ある申請手続き時に感じます。	身体障害	60 歳代	女性	家族
親が亡くなって、兄弟姉妹の支援が受けられない場合、第3者の成年後見人だけだと不安。	知的障害	30 歳代	女性	家族

## ⑦その他

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
千葉市のアンケート取り組みに敬意を表します。入所施設において、幅広い福祉サービスを受けられることに深く感謝申し上げます。将来の高齢化に向けて誰しも不安です。医療面の更なる充実をどうぞ宜しくお願い致します。	知的障害	40 歳代	男性	家族
障害を持っている人が多くの人と接する機会を継続して広報する。又、小中学生の児童、生徒が障害者が日常どのように生活し活動しているかを知ってもらうため、学校での授業を取り入れることを広めていくこと。	身体障害	30 歳代	女性	その他
入所施設は通過施設ということは理解しても、そして後に続く若者の教育・訓練の場をゆずらねばと思っても、グループホームの数の少なさ、受皿の無さに行きばをさがしてもがいております。スムーズに流れるような施設の充実が実現してくれる事を願います。	知的障害	40 歳代	男性	家族
障害者に知的障害者を並べるのは無理がある。身体障害は思考力、判断力は健常者とはほぼ変わりません。知的障害者は正常な判断が出来ません。	知的障害	70 歳代	男性	家族
障害者を一人の人間としてすきにさせておける場所がない。目がいくつあってもむづかしいと思う。	知的障害	40 歳代	男性	不明



### 3 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

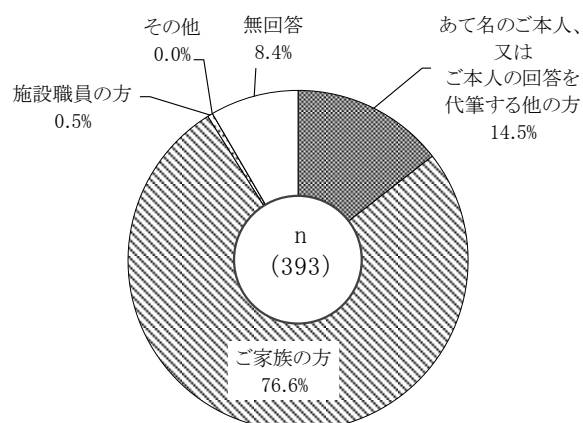


### 3 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

#### (1) 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(○は1つ)

「ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」の割合が76.6%と最も高く、次いで「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」の割合が14.5%となっています。



#### 【障害種別】

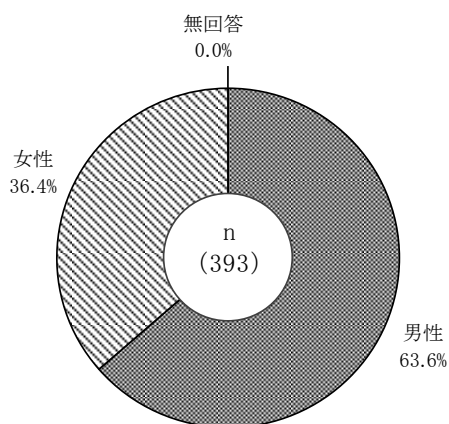
単位 上段：件、下段：%

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	施設職員の方	その他	無回答
全 体	393 100.0	57 14.5	301 76.6	2 0.5	-	33 8.4
身体障害	206 100.0	34 16.5	152 73.8	2 1.0	-	18 8.7
知的障害	246 100.0	23 9.3	202 82.1	-	-	21 8.5
精神障害	12 100.0	1 8.3	10 83.3	-	-	1 8.3
難病	47 100.0	9 19.1	33 70.2	-	-	5 10.6
無回答	5 100.0	-	5 100.0	-	-	-

## (2) 本人について

### 問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」の割合が 63.6%、「女性」の割合が 36.4%となっています。



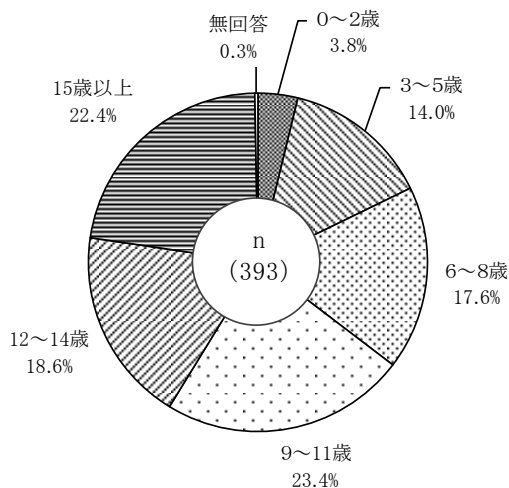
### 【障害種別】

	調査数	単位 上段: 件、下段: %		
		男性	女性	無回答
全 体	393 100.0	250 63.6	143 36.4	— —
身体障害	206 100.0	118 57.3	88 42.7	— —
知的障害	246 100.0	164 66.7	82 33.3	— —
精神障害	12 100.0	8 66.7	4 33.3	— —
難病	47 100.0	23 48.9	24 51.1	— —
無回答	5 100.0	2 40.0	3 60.0	— —

問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

「9～11歳」の割合が23.4%と最も高く、次いで「15歳以上」の割合が22.4%、「12～14歳」の割合が18.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「9～11歳」の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、「9～11歳」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	無回答
全 体	393	15	55	69	92	73	79	10
	100.0	3.8	14.0	17.6	23.4	18.6	20.1	2.5
身体障害	206	13	34	30	43	38	44	4
	100.0	6.3	16.5	14.6	20.9	18.4	21.4	1.9
知的障害	246	4	32	39	62	51	52	6
	100.0	1.6	13.0	15.9	25.2	20.7	21.1	2.4
精神障害	12	—	—	4	5	—	3	—
	100.0	—	—	33.3	41.7	—	25.0	—
難病	47	4	9	12	4	4	13	1
	100.0	8.5	19.1	25.5	8.5	8.5	27.7	2.1
無回答	5	—	—	1	1	1	2	—
	100.0	—	—	20.0	20.0	20.0	40.0	—

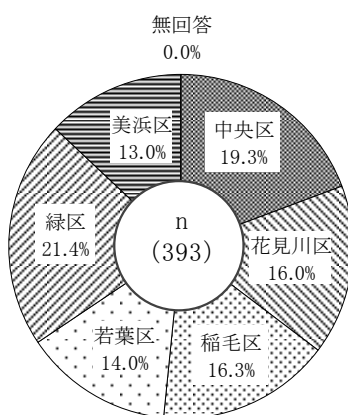
【平成28年度調査】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	無回答
全 体	427	22	58	88	71	99	87	2
	100.0	5.2	13.6	20.6	16.6	23.2	20.4	0.5
身体障害	239	19	36	51	40	51	42	—
	100.0	7.9	15.1	21.3	16.7	21.3	17.6	—
知的障害	264	5	32	51	49	68	59	—
	100.0	1.9	12.1	19.3	18.6	25.8	22.3	—
精神障害	12	1	—	—	—	3	8	—
	100.0	8.3	—	—	—	25.0	66.7	—
難病	143	12	26	31	22	30	22	—
	100.0	8.4	18.2	21.7	15.4	21.0	15.4	—
無回答	3	—	—	—	—	—	1	2
	100.0	—	—	—	—	—	33.3	66.7

#### 問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。(○は1つ)

「緑区」の割合が21.4%と最も高く、次いで「中央区」の割合が19.3%、「稲毛区」の割合が16.3%となっています。



#### 【障害種別】

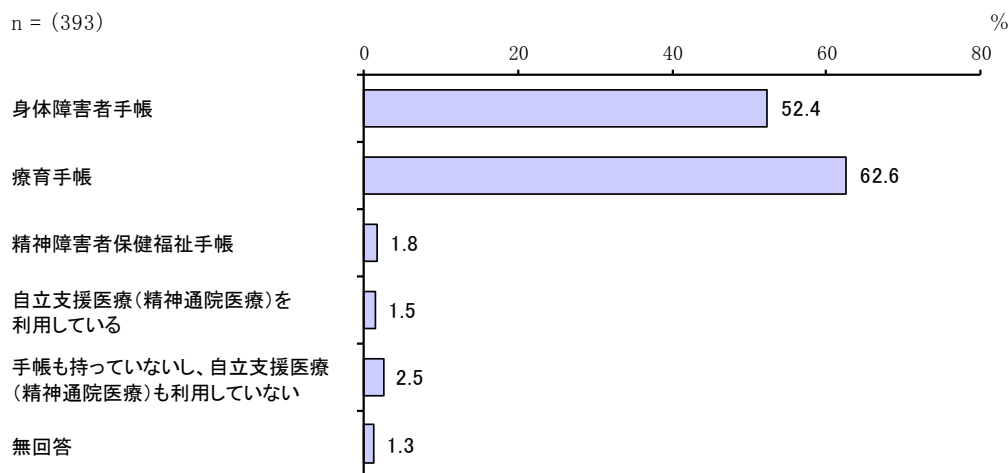
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全 体	393 100.0	76 19.3	63 16.0	64 16.3	55 14.0	84 21.4	51 13.0	— —
身体障害	206 100.0	42 20.4	27 13.1	31 15.0	25 12.1	53 25.7	28 13.6	— —
知的障害	246 100.0	44 17.9	42 17.1	43 17.5	35 14.2	50 20.3	32 13.0	— —
精神障害	12 100.0	3 25.0	2 16.7	2 16.7	2 16.7	2 16.7	1 8.3	— —
難病	47 100.0	9 19.1	9 19.1	6 12.8	5 10.6	11 23.4	7 14.9	— —
無回答	5 100.0	— —	1 20.0	1 20.0	— —	2 40.0	1 20.0	— —

#### 問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。(○はいくつでも。)

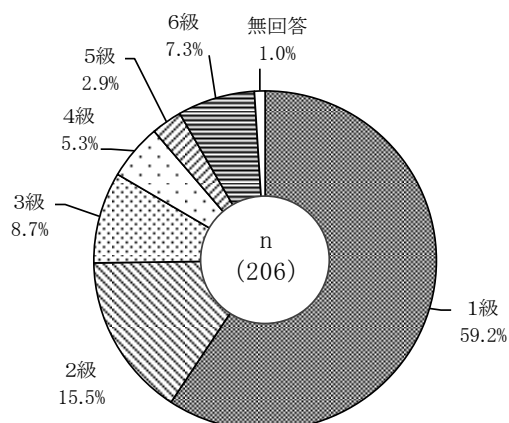
「療育手帳」の割合が62.6%と最も高く、次いで「身体障害者手帳」の割合が52.4%となっています。

n = (393)



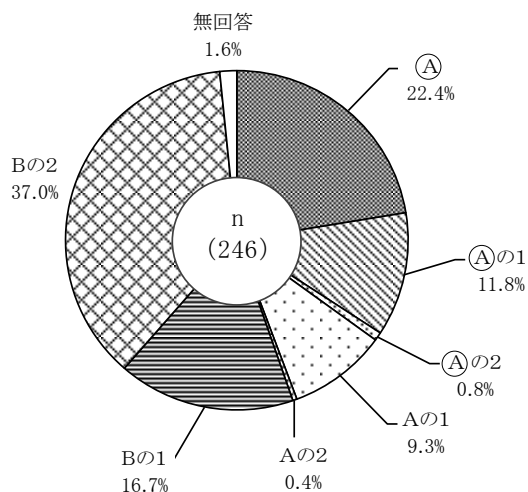
### 1. 身体障害者手帳

「1級」の割合が59.2%と最も高く、次いで「2級」の割合が15.5%となっています。



### 2. 療育手帳

「Bの2」の割合が37.0%と最も高く、次いで「A」の割合が22.4%、「Bの1」の割合が16.7%となっています。

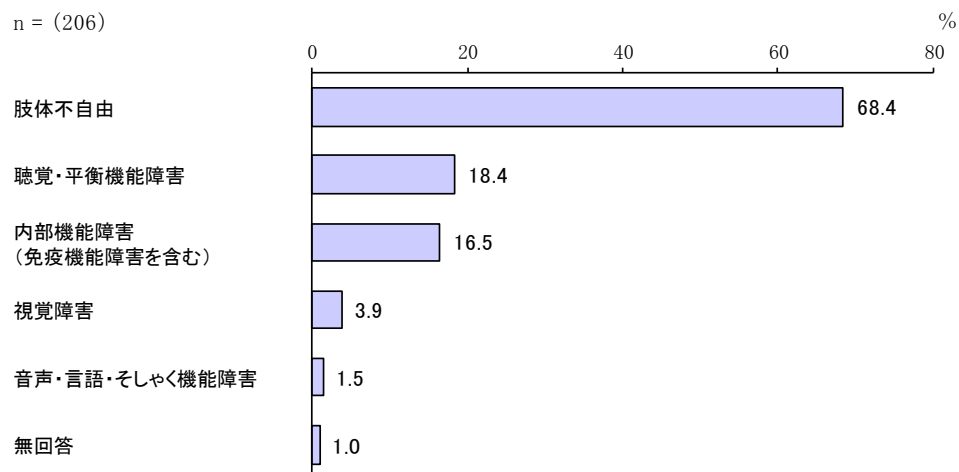


### 3. 精神障害者保健福祉手帳

「2級」が4件となっています。「1級」が2件、「3級」が1件となっています。

問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。  
(○はいくつでも)

「肢体不自由」の割合が68.4%と最も高く、次いで「聴覚・平衡機能障害」の割合が18.4%、「内部機能障害（免疫機能障害を含む）」の割合が16.5%となっています。

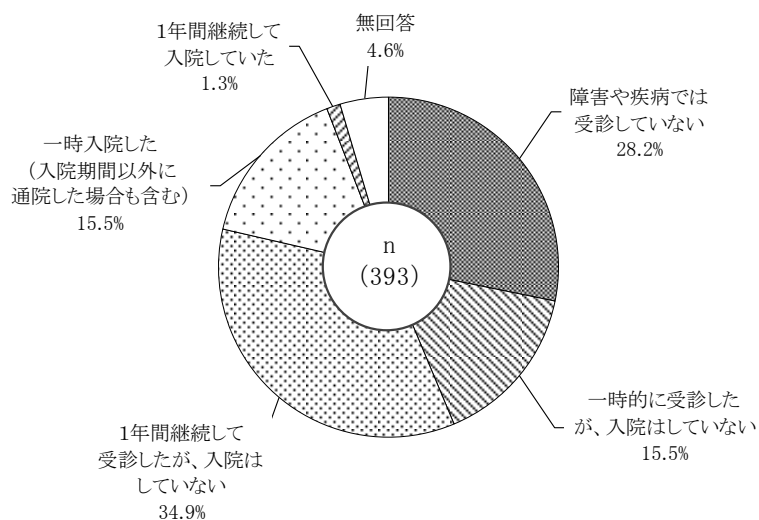


### (3) 医療機関への受診状況について

#### 問8 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

「1年間継続して受診したが、入院はしていない」の割合が34.9%と最も高く、次いで「障害や疾病では受診していない」の割合が28.2%、「一時的に受診したが、入院はしていない」、「一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」の割合が15.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。



#### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	393 100.0	111 28.2	61 15.5	137 34.9	61 15.5	5 1.3	18 4.6
身体障害	206 100.0	16 7.8	25 12.1	104 50.5	53 25.7	5 2.4	3 1.5
知的障害	246 100.0	94 38.2	41 16.7	70 28.5	26 10.6	2 0.8	13 5.3
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	6 50.0	1 8.3	-	1 8.3
難病	47 100.0	2 4.3	5 10.6	26 55.3	13 27.7	-	1 2.1
無回答	5 100.0	-	-	1 20.0	2 40.0	-	2 40.0

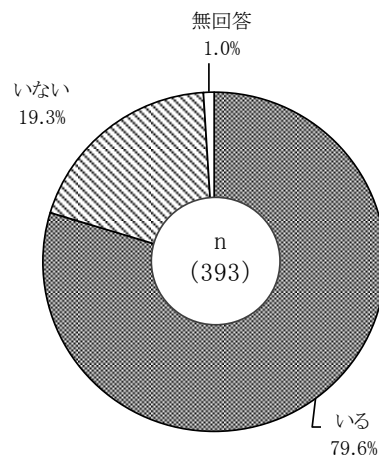
#### 【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	427 100.0	100 23.4	67 15.7	160 37.5	75 17.6	8 1.9	17 4.0
身体障害	239 100.0	19 7.9	28 11.7	112 46.9	66 27.6	8 3.3	6 2.5
知的障害	264 100.0	87 33.0	52 19.7	88 33.3	24 9.1	3 1.1	10 3.8
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	4 33.3	2 16.7	-	2 16.7
難病	143 100.0	11 7.7	17 11.9	68 47.6	43 30.1	3 2.1	1 0.7
無回答	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	2 66.7

問9 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。（○は1つ）

「いる」の割合が79.6%、「いない」の割合が19.3%となっています。



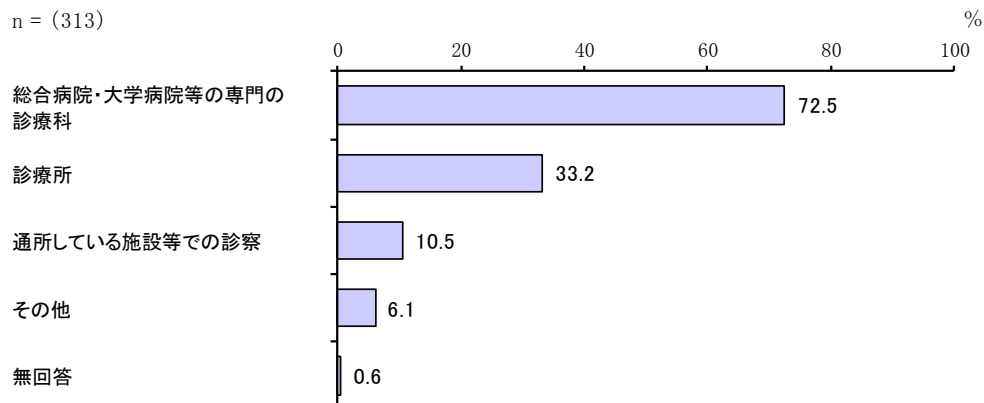
#### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	いる	いない	無回答
全 体	393 100.0	313 79.6	76 19.3	4 1.0
身体障害	206 100.0	199 96.6	7 3.4	—
知的障害	246 100.0	178 72.4	64 26.0	4 1.6
精神障害	12 100.0	12 100.0	—	—
難病	47 100.0	46 97.9	1 2.1	—
無回答	5 100.0	4 80.0	1 20.0	—

問 10 【問 9 で身近な医師等（かかりつけ医）がいると回答した方におたずねします。】  
その医療機関はどのようなものですか。（〇はいくつでも）

「総合病院・大学病院等の専門の診療科」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「診療所」の割合が 33.2%、「通所している施設等での診察」の割合が 10.5%となっています。



【障害種別】

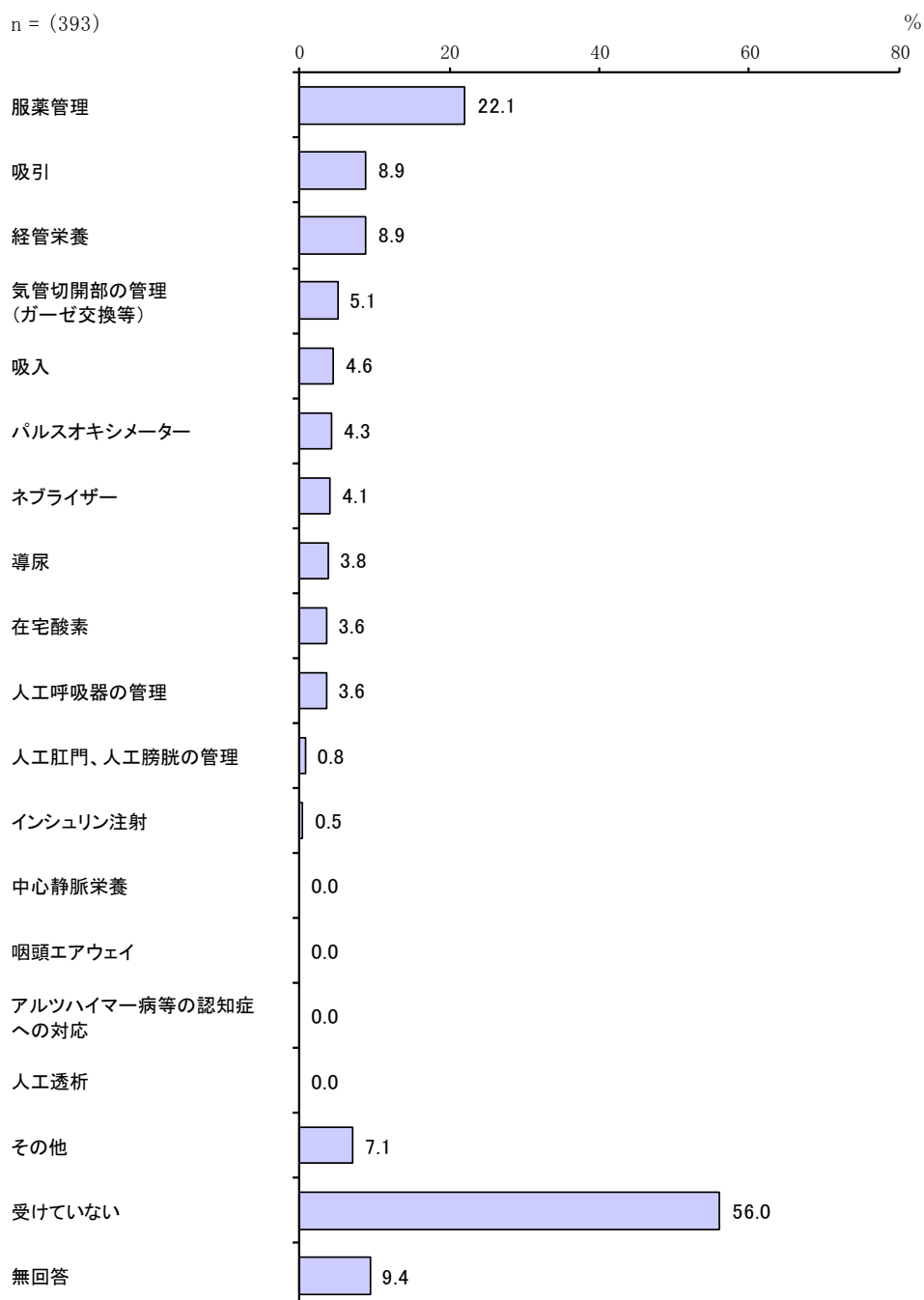
単位 上段：件、下段：%

	調査数	診療所	総合病院・大学病院等の専門の診療科	通所している施設等での診察	その他	無回答
全 体	313 100.0	104 33.2	227 72.5	33 10.5	19 6.1	2 0.6
身体障害	199 100.0	46 23.1	175 87.9	19 9.5	9 4.5	—
知的障害	178 100.0	77 43.3	111 62.4	21 11.8	13 7.3	1 0.6
精神障害	12 100.0	5 41.7	9 75.0	1 8.3	—	1 8.3
難病	46 100.0	9 19.6	43 93.5	7 15.2	3 6.5	—
無回答	4 100.0	1 25.0	2 50.0	—	1 25.0	—

**問 11 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。  
(○はいくつでも)**

「受けていない」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「服薬管理」の割合が 22.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「受けていない」の割合が増加しています。一方、「服薬管理」の割合が減少しています。また、身体障害のある方では、「受けていない」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈 栄養	導尿	在宅酸素	ネブライ ザー	咽頭エア ウェイ	パルスオ キシメー ター
全 体	393 100.0	35 8.9	18 4.6	35 8.9	－ －	15 3.8	14 3.6	16 4.1	－ －	17 4.3
身体障害	206 100.0	34 16.5	16 7.8	34 16.5	－ －	15 7.3	13 6.3	14 6.8	－ －	16 7.8
知的障害	246 100.0	14 5.7	10 4.1	16 6.5	－ －	5 2.0	6 2.4	8 3.3	－ －	6 2.4
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	－ －	1 8.3	1 8.3	1 8.3	－ －	1 8.3
難病	47 100.0	10 21.3	5 10.6	10 21.3	－ －	4 8.5	4 8.5	4 8.5	－ －	5 10.6
無回答	5 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

	気管切開 部の管理 (ガーゼ 交換等)	人工呼吸 器の管理	人工肛 門、人工 膀胱の管 理	アルツハ イマー病 等の認知 症への対 応	インシュ リン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けてい ない	無回答
全 体	20 5.1	14 3.6	3 0.8	－ －	2 0.5	－ －	87 22.1	28 7.1	220 56.0	37 9.4
身体障害	19 9.2	14 6.8	3 1.5	－ －	－ －	－ －	60 29.1	22 10.7	99 48.1	7 3.4
知的障害	9 3.7	5 2.0	1 0.4	－ －	2 0.8	－ －	50 20.3	15 6.1	144 58.5	29 11.8
精神障害	1 8.3	1 8.3	－ －	－ －	－ －	－ －	8 66.7	－ －	4 33.3	－ －
難病	7 14.9	7 14.9	－ －	－ －	－ －	－ －	18 38.3	5 10.6	18 38.3	1 2.1
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 20.0	－ －	2 40.0	2 40.0

【平成 28 年度調査】

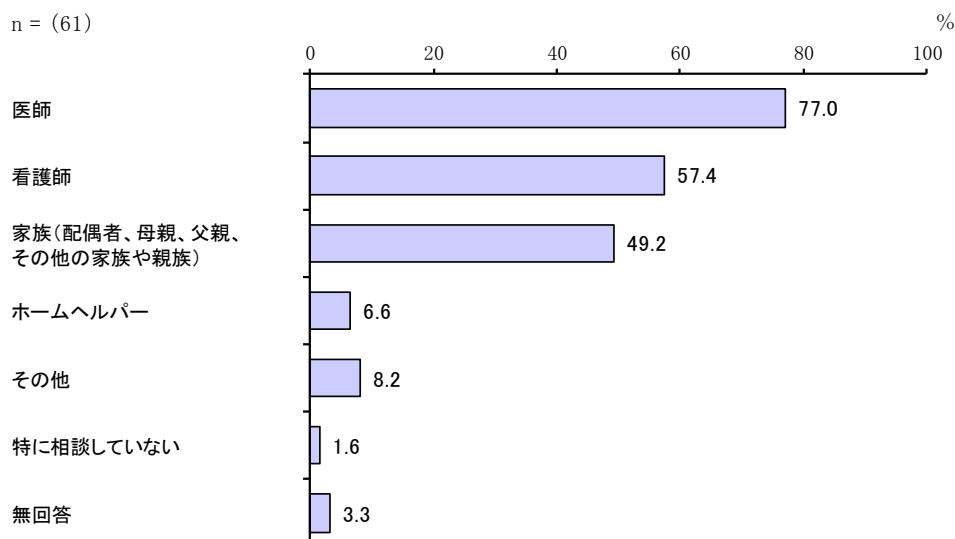
単位 上段:件、下段:%

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈 栄養	導尿	在宅酸素	ネブライ ザー	咽頭エア ウェイ	パルスオ キシメー ター
全 体	427 100.0	44 10.3	30 7.0	38 8.9	1 0.2	18 4.2	25 5.9	23 5.4	1 0.2	26 6.1
身体障害	239 100.0	43 18.0	24 10.0	38 15.9	1 0.4	18 7.5	25 10.5	19 7.9	1 0.4	26 10.9
知的障害	264 100.0	13 4.9	11 4.2	11 4.2	－ －	7 2.7	5 1.9	12 4.5	－ －	7 2.7
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
難病	143 100.0	25 17.5	13 9.1	21 14.7	－ －	11 7.7	15 10.5	12 8.4	－ －	12 8.4
無回答	3 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

	気管切開 部の管理 (ガーゼ 交換等)	人工呼吸 器の管理	人工肛 門、人工 膀胱の管 理	アルツハ イマー病 等の認知 症への対 応	インシュ リン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けてい ない	無回答
全 体	27 6.3	21 4.9	3 0.7	－ －	1 0.2	－ －	117 27.4	36 8.4	207 48.5	44 10.3
身体障害	27 11.3	21 8.8	3 1.3	－ －	1 0.4	－ －	87 36.4	26 10.9	94 39.3	13 5.4
知的障害	6 2.3	5 1.9	2 0.8	－ －	1 0.4	－ －	62 23.5	15 5.7	146 55.3	31 11.7
精神障害	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	7 58.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3
難病	16 11.2	12 8.4	1 0.7	－ －	1 0.7	－ －	53 37.1	18 12.6	58 40.6	2 1.4
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 33.3	－ －	－ －	2 66.7

問 12 【問 11 で「吸引」～「その他」に○をつけた方におたずねします。】  
医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。（○はいくつでも）

「医師」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「看護師」の割合が 57.4%、「家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族）」の割合が 49.2%となっています。



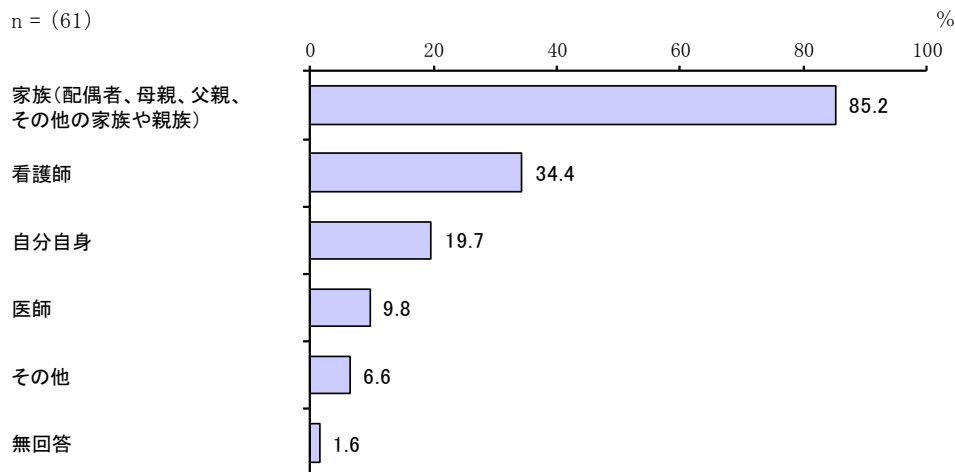
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	ホームヘルパー	その他	特に相談していない	無回答
全 体	61 100.0	30 49.2	47 77.0	35 57.4	4 6.6	5 8.2	1 1.6	2 3.3
身体障害	56 100.0	28 50.0	43 76.8	33 58.9	4 7.1	5 8.9	1 1.8	1 1.8
知的障害	24 100.0	10 41.7	21 87.5	15 62.5	1 4.2	3 12.5	-	1 4.2
精神障害	3 100.0	1 33.3	3 100.0	-	-	-	-	-
難病	16 100.0	11 68.8	11 68.8	11 68.8	3 18.8	3 18.8	-	1 6.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

問 13 【問 11 で「服薬管理」～「その他」に○をつけた方におたずねします。】  
現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。（○はいくつでも）

「家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族）」の割合が 85.2%と最も高く、次いで「看護師」の割合が 34.4%、「自分自身」の割合が 19.7%となっています。



【障害種別】

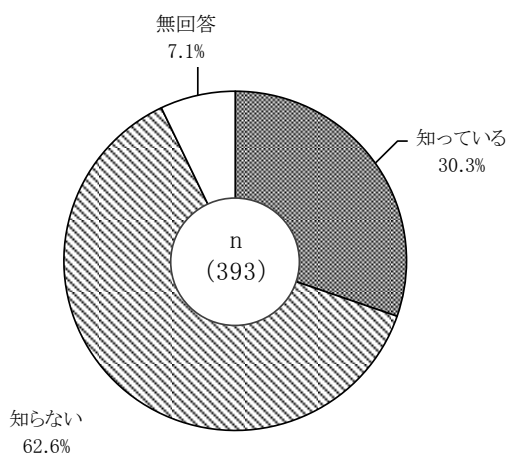
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分自身	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	その他	無回答
全 体	61 100.0	12 19.7	52 85.2	6 9.8	21 34.4	4 6.6	1 1.6
身体障害	56 100.0	12 21.4	49 87.5	5 8.9	20 35.7	4 7.1	-
知的障害	24 100.0	2 8.3	21 87.5	2 8.3	8 33.3	3 12.5	1 4.2
精神障害	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-
難病	16 100.0	4 25.0	13 81.3	3 18.8	7 43.8	3 18.8	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-

問 14 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害のある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

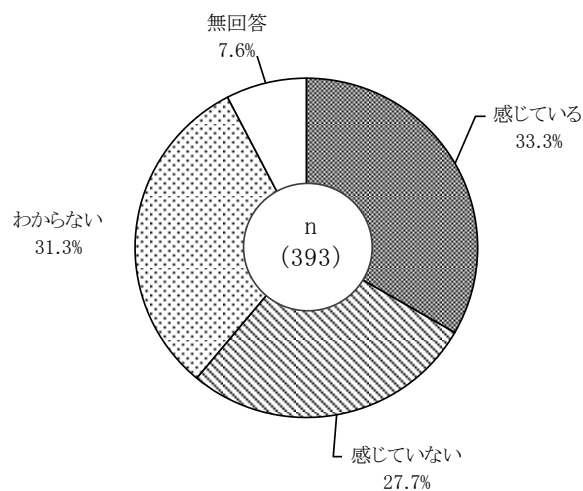
（１）「医療型短期入所」の認知度

「知っている」の割合が 30.3%、「知らない」の割合が 62.6%となっています。



（２）「医療型短期入所」の必要性

「感じている」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 31.3%、「感じていない」の割合が 27.7%となっています。



## 【障害種別】

(1)「医療型短期入所」の認知度

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	393 100.0	119 30.3	246 62.6	28 7.1
身体障害	206 100.0	89 43.2	109 52.9	8 3.9
知的障害	246 100.0	65 26.4	160 65.0	21 8.5
精神障害	12 100.0	4 33.3	7 58.3	1 8.3
難病	47 100.0	20 42.6	26 55.3	1 2.1
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0

(2)「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
131 33.3	109 27.7	123 31.3	30 7.6
92 44.7	51 24.8	55 26.7	8 3.9
81 32.9	69 28.0	73 29.7	23 9.3
3 25.0	2 16.7	5 41.7	2 16.7
23 48.9	11 23.4	12 25.5	1 2.1
-	1 20.0	3 60.0	1 20.0

## 【身体障害者手帳の等級別】

(1)「医療型短期入所」の認知度

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	206 100.0	89 43.2	109 52.9	8 3.9
1級	122 100.0	75 61.5	46 37.7	1 0.8
2級	32 100.0	6 18.8	25 78.1	1 3.1
3級	18 100.0	2 11.1	16 88.9	-
4級	11 100.0	3 27.3	7 63.6	1 9.1
5級	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7
6級	15 100.0	1 6.7	11 73.3	3 20.0
無回答	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0

(2)「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
92 44.7	51 24.8	55 26.7	8 3.9
78 63.9	18 14.8	25 20.5	1 0.8
5 15.6	14 43.8	12 37.5	1 3.1
4 22.2	7 38.9	7 38.9	-
3 27.3	4 36.4	3 27.3	1 9.1
-	3 50.0	2 33.3	1 16.7
2 13.3	4 26.7	6 40.0	3 20.0
-	1 50.0	-	1 50.0

## 【療育手帳の等級別】

(1)「医療型短期入所」の認知度

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	246 100.0	65 26.4	160 65.0	21 8.5
○A	55 100.0	31 56.4	22 40.0	2 3.6
○Aの1	29 100.0	8 27.6	19 65.5	2 6.9
○Aの2	2 100.0	-	2 100.0	-
Aの1	23 100.0	2 8.7	19 82.6	2 8.7
Aの2	1 100.0	1 100.0	-	-
Bの1	41 100.0	9 22.0	27 65.9	5 12.2
Bの2	91 100.0	12 13.2	69 75.8	10 11.0
無回答	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-

(2)「医療型短期入所」の必要性

単位 上段:件、下段:%

感じている	感じていない	わからない	無回答
81 32.9	69 28.0	73 29.7	23 9.3
33 60.0	10 18.2	10 18.2	2 3.6
13 44.8	4 13.8	10 34.5	2 6.9
-	-	2 100.0	-
5 21.7	11 47.8	5 21.7	2 8.7
1 100.0	-	-	-
10 24.4	9 22.0	17 41.5	5 12.2
16 17.6	35 38.5	28 30.8	12 13.2
3 75.0	-	1 25.0	-

## 【障害の重複別】

(1)「医療型短期入所」の認知度

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	393 100.0	119 30.3	246 62.6	28 7.1
身体のみ	127 100.0	50 39.4	73 57.5	4 3.1
知的のみ	165 100.0	26 15.8	122 73.9	17 10.3
精神のみ	4 100.0	— —	3 75.0	1 25.0
身体＋知的	74 100.0	35 47.3	35 47.3	4 5.4
身体＋精神	1 100.0	— —	1 100.0	— —
知的＋精神	3 100.0	— —	3 100.0	— —
身体＋知的＋精神	4 100.0	4 100.0	— —	— —
無回答	15 100.0	4 26.7	9 60.0	2 13.3

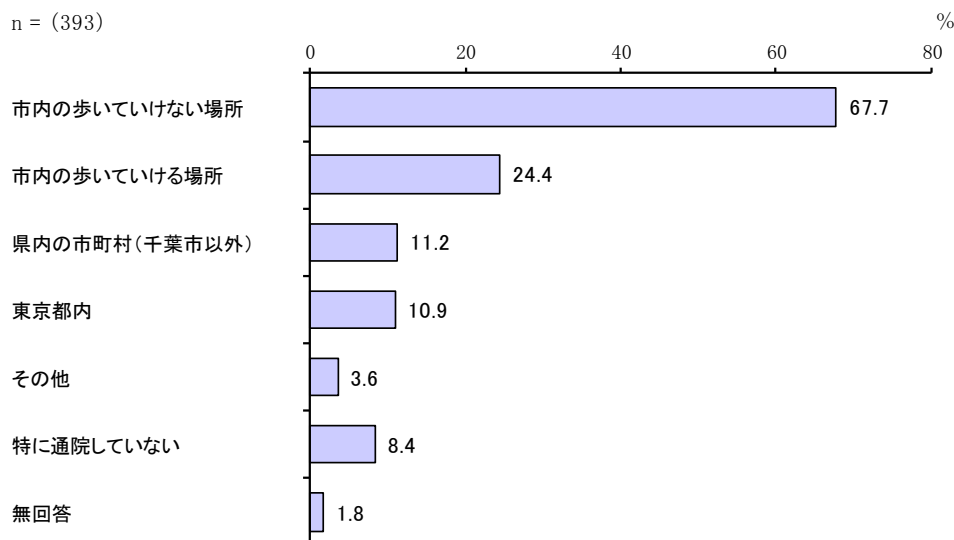
(2)「医療型短期入所」の必要性

単位 上段：件、下段：%

感じている	感じていない	わからない	無回答
131 33.3	109 27.7	123 31.3	30 7.6
48 37.8	35 27.6	40 31.5	4 3.1
37 22.4	53 32.1	57 34.5	18 10.9
1 25.0	— —	2 50.0	1 25.0
42 56.8	14 18.9	14 18.9	4 5.4
— —	— —	1 100.0	— —
— —	— —	2 66.7	1 33.3
2 50.0	2 50.0	— —	— —
1 6.7	5 33.3	7 46.7	2 13.3

問 15 あなたの「医療」についておたずねします。  
あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。（○はいくつでも）

「市内の歩いていけない場所」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「市内の歩いていける場所」の割合が 24.4%、「県内の市町村（千葉市以外）」の割合が 11.2%となっています。



【障害種別】

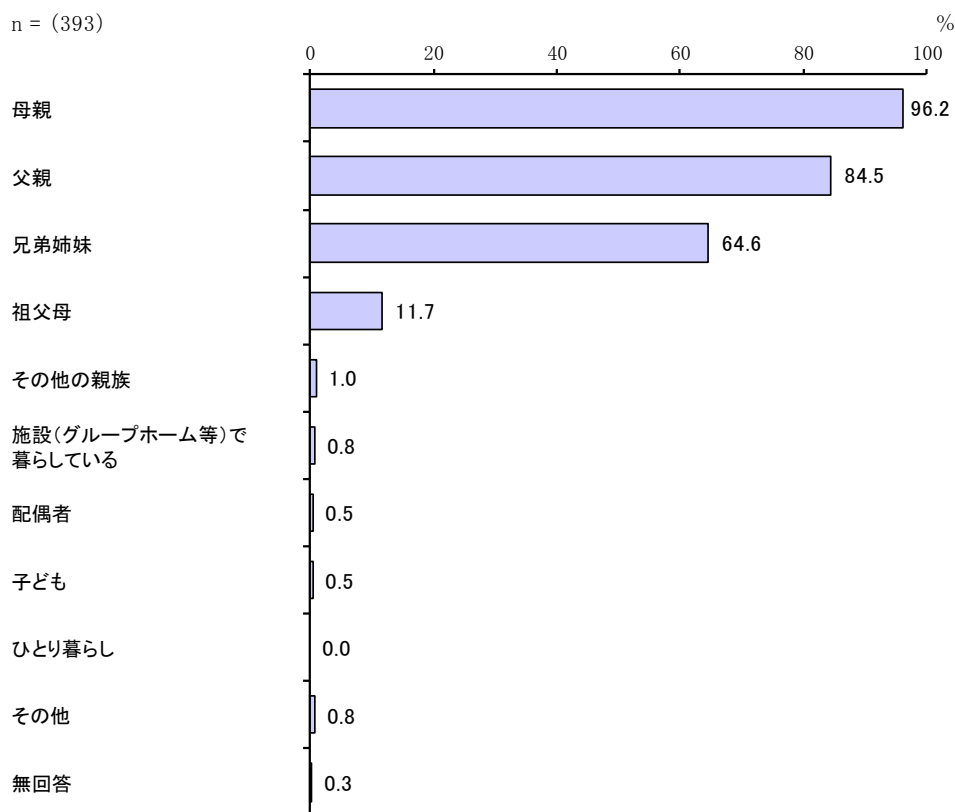
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	市内の歩いていける場所	市内の歩いていけない場所	県内の市町村(千葉市以外)	東京都内	その他	特に通院していない	無回答
全 体	393 100.0	96 24.4	266 67.7	44 11.2	43 10.9	14 3.6	33 8.4	7 1.8
身体障害	206 100.0	34 16.5	162 78.6	29 14.1	39 18.9	11 5.3	2 1.0	-
知的障害	246 100.0	68 27.6	157 63.8	29 11.8	16 6.5	10 4.1	29 11.8	6 2.4
精神障害	12 100.0	4 33.3	10 83.3	2 16.7	-	-	-	-
難病	47 100.0	4 8.5	40 85.1	9 19.1	8 17.0	4 8.5	-	-
無回答	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-	1 20.0	-	-	1 20.0

#### (4) 家族や介助者について

##### 問 16 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「母親」の割合が 96.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が 84.5%、「兄弟姉妹」の割合が 64.6%となっています。



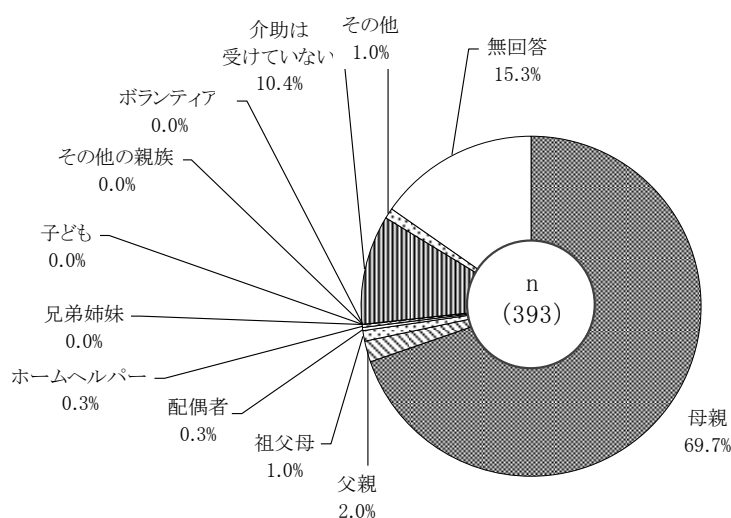
##### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	施設(グループホーム等)で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全 体	393	378	332	254	46	2	2	4	3	—	3	1
	100.0	96.2	84.5	64.6	11.7	0.5	0.5	1.0	0.8	—	0.8	0.3
身体障害	206	195	174	130	21	1	1	2	3	—	3	—
	100.0	94.7	84.5	63.1	10.2	0.5	0.5	1.0	1.5	—	1.5	—
知的障害	246	238	204	163	28	2	2	2	2	—	1	—
	100.0	96.7	82.9	66.3	11.4	0.8	0.8	0.8	0.8	—	0.4	—
精神障害	12	12	9	7	1	—	—	—	—	—	—	—
	100.0	100.0	75.0	58.3	8.3	—	—	—	—	—	—	—
難病	47	47	38	31	9	—	—	1	—	—	—	—
	100.0	100.0	80.9	66.0	19.1	—	—	2.1	—	—	—	—
無回答	5	3	4	—	2	—	—	—	—	—	—	1
	100.0	60.0	80.0	—	40.0	—	—	—	—	—	—	20.0

問 17 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

「母親」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「介助は受けていない」の割合が 10.4%となっています。



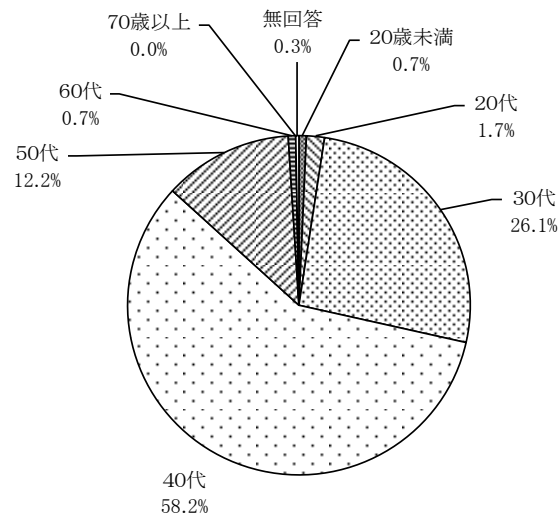
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全 体	393	274	8	—	4	1	—	—	1	—	41	4	60
	100.0	69.7	2.0	—	1.0	0.3	—	—	0.3	—	10.4	1.0	15.3
身体障害	206	151	6	—	3	—	—	—	1	—	16	4	25
	100.0	73.3	2.9	—	1.5	—	—	—	0.5	—	7.8	1.9	12.1
知的障害	246	169	3	—	2	1	—	—	1	—	22	2	46
	100.0	68.7	1.2	—	0.8	0.4	—	—	0.4	—	8.9	0.8	18.7
精神障害	12	10	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	100.0	83.3	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	—	8.3
難病	47	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
	100.0	80.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19.1
無回答	5	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	100.0	60.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0

問 18 【問 17 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は１つ）

「４０代」の割合が 58.2% と最も高く、次いで「３０代」の割合が 26.1%、「５０代」の割合が 12.2% となっています。



【障害種別】

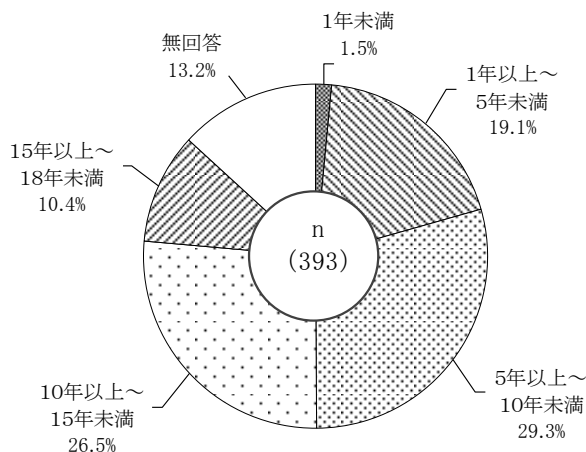
単位 上段：件、下段：%

	調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全 体	287	2	5	75	167	35	2	—	1
	100.0	0.7	1.7	26.1	58.2	12.2	0.7	—	0.3
身体障害	160	1	4	40	93	21	1	—	—
	100.0	0.6	2.5	25.0	58.1	13.1	0.6	—	—
知的障害	175	2	3	42	101	24	2	—	1
	100.0	1.1	1.7	24.0	57.7	13.7	1.1	—	0.6
精神障害	10	1	—	5	4	—	—	—	—
	100.0	10.0	—	50.0	40.0	—	—	—	—
難病	38	—	2	10	19	7	—	—	—
	100.0	—	5.3	26.3	50.0	18.4	—	—	—
無回答	4	—	—	1	3	—	—	—	—
	100.0	—	—	25.0	75.0	—	—	—	—

問 19 主な介助者の介助継続年数をお答えください。(○は1つ)

「5年以上～10年未満」の割合が29.3%と最も高く、次いで「10年以上～15年未満」の割合が26.5%、「1年以上～5年未満」の割合が19.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「5年以上～10年未満」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「5年以上～10年未満」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～18年未満	無回答
全 体	393 100.0	6 1.5	75 19.1	115 29.3	104 26.5	41 10.4	52 13.2
身体障害	206 100.0	2 1.0	47 22.8	54 26.2	62 30.1	22 10.7	19 9.2
知的障害	246 100.0	5 2.0	38 15.4	73 29.7	71 28.9	29 11.8	30 12.2
精神障害	12 100.0	— —	1 8.3	5 41.7	3 25.0	1 8.3	2 16.7
難病	47 100.0	— —	12 25.5	16 34.0	9 19.1	10 21.3	— —
無回答	5 100.0	— —	1 20.0	1 20.0	2 40.0	— —	1 20.0

【平成28年度調査】

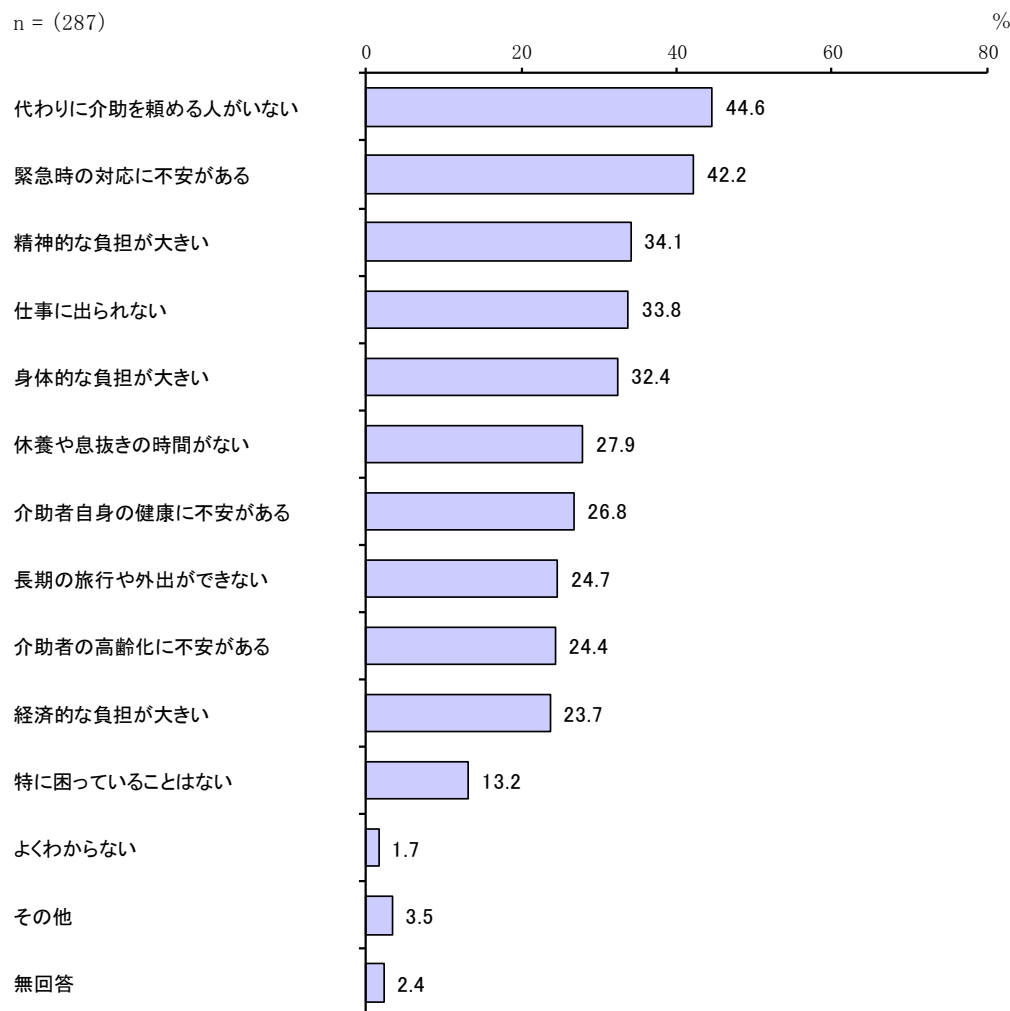
単位 上段:件、下段:%

	調査数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～18年未満	無回答
全 体	370 100.0	8 2.2	59 15.9	139 37.6	112 30.3	47 12.7	5 1.4
身体障害	212 100.0	6 2.8	40 18.9	79 37.3	59 27.8	25 11.8	3 1.4
知的障害	231 100.0	2 0.9	32 13.9	84 36.4	77 33.3	34 14.7	2 0.9
精神障害	11 100.0	— —	1 9.1	1 9.1	4 36.4	5 45.5	— —
難病	131 100.0	2 1.5	29 22.1	54 41.2	31 23.7	14 10.7	1 0.8
無回答	2 100.0	— —	— —	1 50.0	1 50.0	— —	— —

**問 20 【問 17 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】**  
**主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）**

「代わりに介助を頼める人がいない」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「緊急時の対応に不安がある」の割合が 42.2%、「精神的な負担が大きい」の割合が 34.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「緊急時の対応に不安がある」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
全 体	287 100.0	77 26.8	70 24.4	128 44.6	121 42.2	93 32.4	98 34.1	68 23.7
身体障害	160 100.0	48 30.0	42 26.3	77 48.1	76 47.5	64 40.0	50 31.3	40 25.0
知的障害	175 100.0	46 26.3	50 28.6	81 46.3	72 41.1	56 32.0	62 35.4	43 24.6
精神障害	10 100.0	5 50.0	2 20.0	7 70.0	5 50.0	6 60.0	7 70.0	5 50.0
難病	38 100.0	12 31.6	11 28.9	20 52.6	23 60.5	12 31.6	10 26.3	13 34.2
無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	2 50.0	1 25.0

	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	97 33.8	71 24.7	80 27.9	38 13.2	5 1.7	10 3.5	7 2.4
身体障害	64 40.0	45 28.1	48 30.0	18 11.3	2 1.3	4 2.5	4 2.5
知的障害	54 30.9	47 26.9	50 28.6	22 12.6	4 2.3	7 4.0	4 2.3
精神障害	6 60.0	3 30.0	6 60.0	- -	- -	- -	1 10.0
難病	17 44.7	14 36.8	14 36.8	4 10.5	- -	2 5.3	- -
無回答	1 25.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -	- -	- -

# 【介助者の年齢別】

単位 上段：件、下段：％

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
全 体	287 100.0	77 26.8	70 24.4	128 44.6	121 42.2	93 32.4	98 34.1	68 23.7
20歳未満	2 100.0	－	－	－	－	－	－	－
20代	5 100.0	－	－	3 60.0	3 60.0	1 20.0	－	1 20.0
30代	75 100.0	16 21.3	6 8.0	31 41.3	30 40.0	25 33.3	29 38.7	22 29.3
40代	167 100.0	46 27.5	40 24.0	73 43.7	67 40.1	52 31.1	53 31.7	35 21.0
50代	35 100.0	14 40.0	22 62.9	19 54.3	20 57.1	13 37.1	14 40.0	8 22.9
60代	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0
70歳以上	－	－	－	－	－	－	－	－
無回答	1 100.0	－	－	－	－	－	－	－

	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	97 33.8	71 24.7	80 27.9	38 13.2	5 1.7	10 3.5	7 2.4
20歳未満	－	－	－	－	1 50.0	－	1 50.0
20代	4 80.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	－	－	－
30代	23 30.7	13 17.3	26 34.7	13 17.3	1 1.3	2 2.7	1 1.3
40代	56 33.5	45 26.9	41 24.6	21 12.6	2 1.2	8 4.8	3 1.8
50代	13 37.1	10 28.6	9 25.7	3 8.6	1 2.9	－	1 2.9
60代	1 50.0	－	2 100.0	－	－	－	－
70歳以上	－	－	－	－	－	－	－
無回答	－	－	－	－	－	－	1 100.0

【平成 28 年度調査】

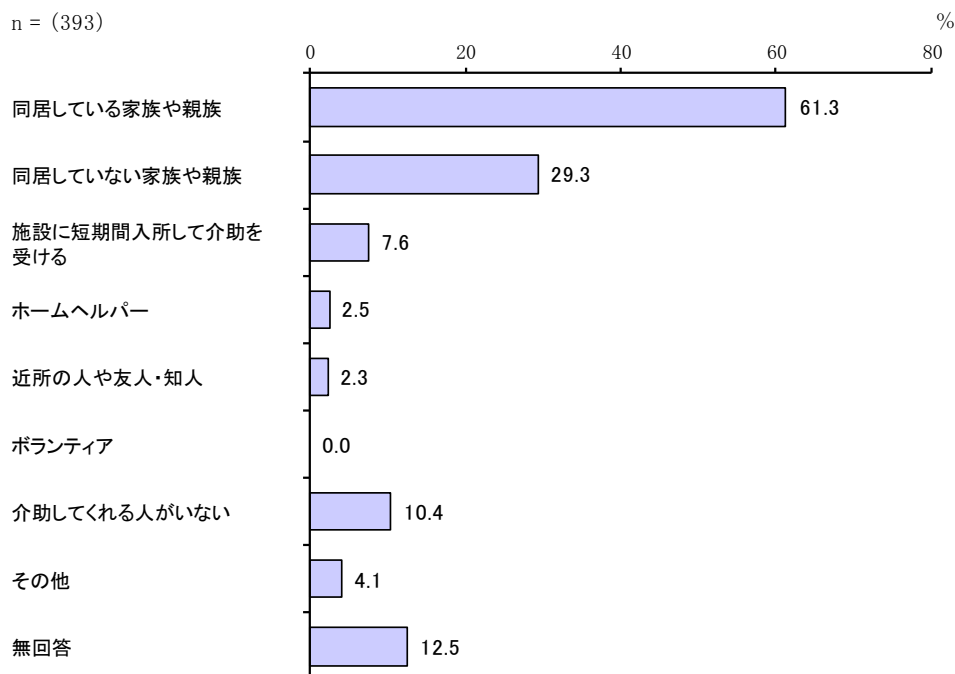
単位 上段：件、下段：％

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
全 体	370 100.0	102 27.6	91 24.6	148 40.0	175 47.3	112 30.3	131 35.4	73 19.7
身体障害	212 100.0	64 30.2	48 22.6	93 43.9	105 49.5	91 42.9	73 34.4	44 20.8
知的障害	231 100.0	66 28.6	64 27.7	95 41.1	110 47.6	63 27.3	93 40.3	44 19.0
精神障害	11 100.0	6 54.5	6 54.5	6 54.5	7 63.6	7 63.6	10 90.9	4 36.4
難病	131 100.0	38 29.0	30 22.9	52 39.7	62 47.3	45 34.4	44 33.6	28 21.4
無回答	2 100.0	— —	1 50.0	— —	— —	— —	— —	— —

	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	107 28.9	86 23.2	92 24.9	46 12.4	4 1.1	20 5.4	4 1.1
身体障害	71 33.5	53 25.0	53 25.0	19 9.0	2 0.9	10 4.7	3 1.4
知的障害	66 28.6	52 22.5	67 29.0	28 12.1	3 1.3	15 6.5	1 0.4
精神障害	2 18.2	1 9.1	5 45.5	— —	— —	— —	— —
難病	43 32.8	34 26.0	25 19.1	14 10.7	1 0.8	9 6.9	— —
無回答	— —	— —	— —	1 50.0	— —	— —	— —

問 21 主な介助者が、病気のときや外出をしなければならないときなどは、代わりにどなたが介助していますか。(○は3つまで)

「同居している家族や親族」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「同居していない家族や親族」の割合が 29.3%、「介助してくれる人がいない」の割合が 10.4%となっています。



【障害種別】

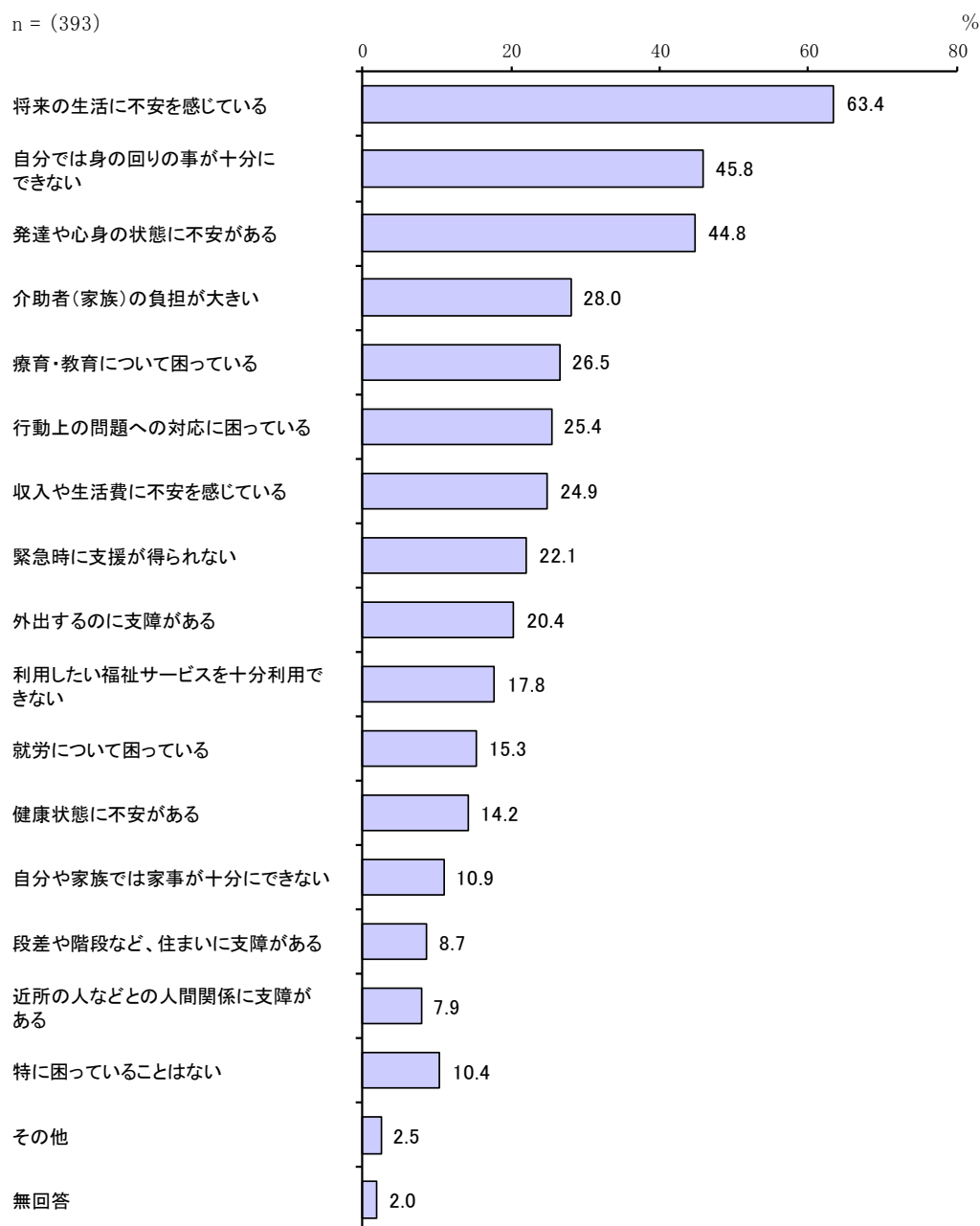
単位 上段:件、下段:%

	調査数	同居している家族や親族	同居していない家族や親族	近所の人や友人・知人	ボランティア	ホームヘルパー	施設に短期間入所して介助を受ける	介助してくれる人がいない	その他	無回答
全 体	393	241	115	9	-	10	30	41	16	49
	100.0	61.3	29.3	2.3	-	2.5	7.6	10.4	4.1	12.5
身体障害	206	129	58	3	-	10	23	20	11	19
	100.0	62.6	28.2	1.5	-	4.9	11.2	9.7	5.3	9.2
知的障害	246	149	77	7	-	4	16	27	11	27
	100.0	60.6	31.3	2.8	-	1.6	6.5	11.0	4.5	11.0
精神障害	12	5	3	-	-	1	1	1	2	1
	100.0	41.7	25.0	-	-	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3
難病	47	30	16	1	-	3	6	6	3	1
	100.0	63.8	34.0	2.1	-	6.4	12.8	12.8	6.4	2.1
無回答	5	4	-	-	-	-	1	-	-	1
	100.0	80.0	-	-	-	-	20.0	-	-	20.0

## （５）相談や情報入手について

問 22 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。  
（○はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「自分では身の回りの事が十分にできない」の割合が 45.8%、「発達や心身の状態に不安がある」の割合が 44.8%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全 体	393 100.0	176 44.8	100 25.4	180 45.8	43 10.9	56 14.2	110 28.0	34 8.7	80 20.4	70 17.8
身体障害	206 100.0	72 35.0	31 15.0	90 43.7	20 9.7	40 19.4	67 32.5	31 15.0	51 24.8	42 20.4
知的障害	246 100.0	136 55.3	81 32.9	134 54.5	33 13.4	36 14.6	68 27.6	18 7.3	55 22.4	45 18.3
精神障害	12 100.0	9 75.0	6 50.0	8 66.7	4 33.3	2 16.7	5 41.7	2 16.7	3 25.0	2 16.7
難病	47 100.0	20 42.6	8 17.0	26 55.3	5 10.6	13 27.7	16 34.0	8 17.0	11 23.4	10 21.3
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	－ －	1 20.0	2 40.0	－ －	1 20.0	1 20.0

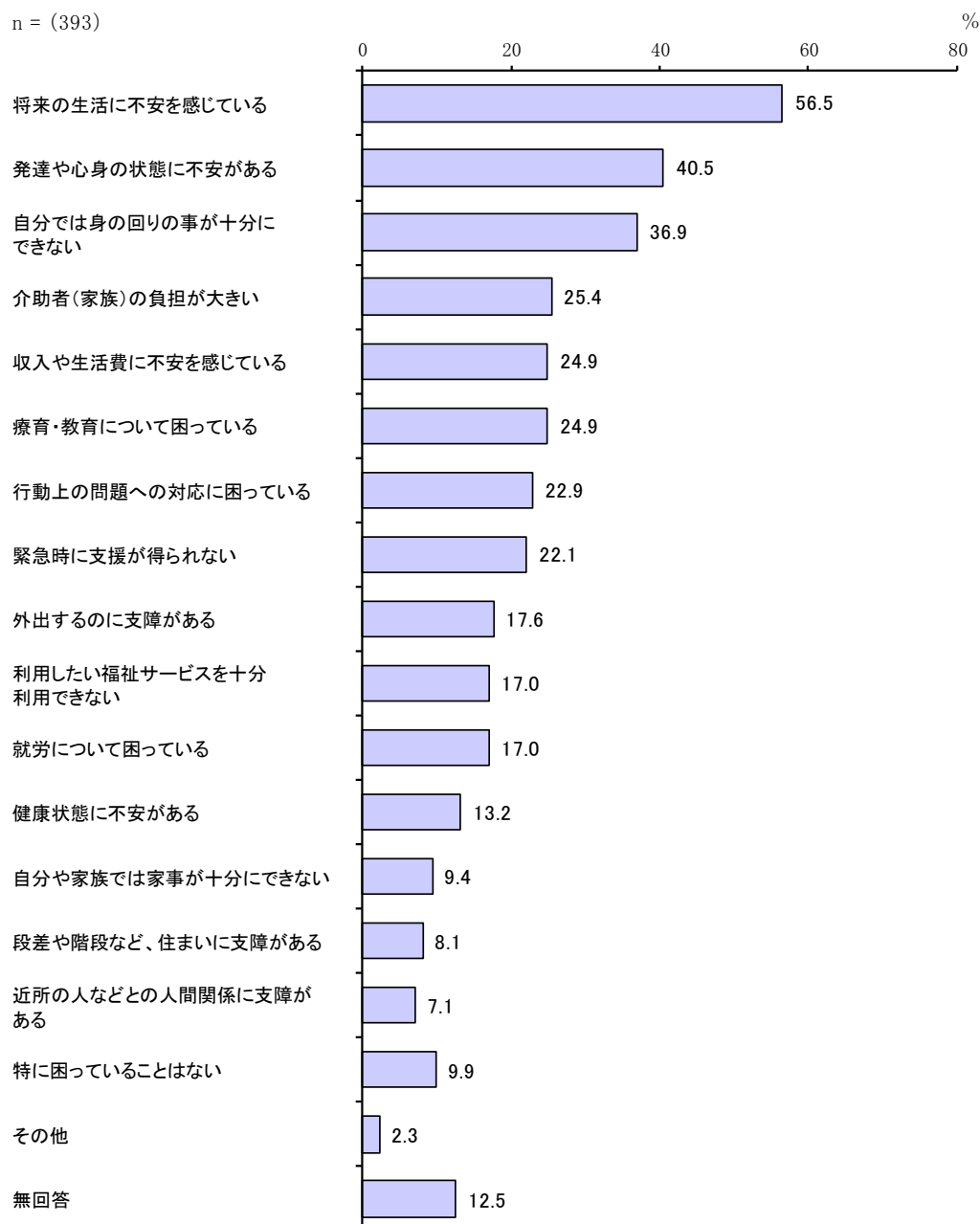
  

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	98 24.9	87 22.1	31 7.9	249 63.4	104 26.5	60 15.3	41 10.4	10 2.5	8 2.0
身体障害	51 24.8	56 27.2	10 4.9	126 61.2	41 19.9	26 12.6	19 9.2	8 3.9	6 2.9
知的障害	68 27.6	58 23.6	26 10.6	174 70.7	76 30.9	46 18.7	19 7.7	4 1.6	2 0.8
精神障害	8 66.7	3 25.0	1 8.3	9 75.0	6 50.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	－ －
難病	16 34.0	17 36.2	3 6.4	36 76.6	7 14.9	8 17.0	－ －	2 4.3	1 2.1
無回答	3 60.0	2 40.0	－ －	4 80.0	1 20.0	1 20.0	－ －	－ －	－ －

**問 23 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。  
（〇はいくつでも）**

「将来の生活に不安を感じている」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「発達や心身の状態に不安がある」の割合が 40.5%、「自分では身の回りの事が十分にできない」の割合が 36.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「健康状態に不安がある」、「外出するのに支障がある」、「将来の生活に不安を感じている」、「特に困っていることはない」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「発達や心身の状態に不安がある」、「行動上の問題への対応に困っている」、「療育・教育について困っている」、「就労について困っている」は新たに追加された選択肢です。

# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全 体	393 100.0	159 40.5	90 22.9	145 36.9	37 9.4	52 13.2	100 25.4	32 8.1	69 17.6	67 17.0
身体障害	206 100.0	66 32.0	26 12.6	70 34.0	18 8.7	33 16.0	60 29.1	29 14.1	44 21.4	41 19.9
知的障害	246 100.0	120 48.8	72 29.3	107 43.5	29 11.8	35 14.2	64 26.0	17 6.9	45 18.3	44 17.9
精神障害	12 100.0	10 83.3	5 41.7	7 58.3	3 25.0	4 33.3	4 33.3	2 16.7	3 25.0	4 33.3
難病	47 100.0	18 38.3	6 12.8	21 44.7	5 10.6	10 21.3	15 31.9	8 17.0	11 23.4	9 19.1
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	- -	- -	2 40.0	- -	1 20.0	1 20.0

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	98 24.9	87 22.1	28 7.1	222 56.5	98 24.9	67 17.0	39 9.9	9 2.3	49 12.5
身体障害	53 25.7	53 25.7	9 4.4	112 54.4	38 18.4	31 15.0	21 10.2	6 2.9	25 12.1
知的障害	64 26.0	61 24.8	23 9.3	152 61.8	67 27.2	47 19.1	17 6.9	4 1.6	30 12.2
精神障害	7 58.3	4 33.3	2 16.7	8 66.7	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	- -
難病	16 34.0	16 34.0	3 6.4	34 72.3	7 14.9	10 21.3	- -	1 2.1	4 8.5
無回答	2 40.0	1 20.0	- -	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -	- -	2 40.0

# 【平成 28 年度調査】

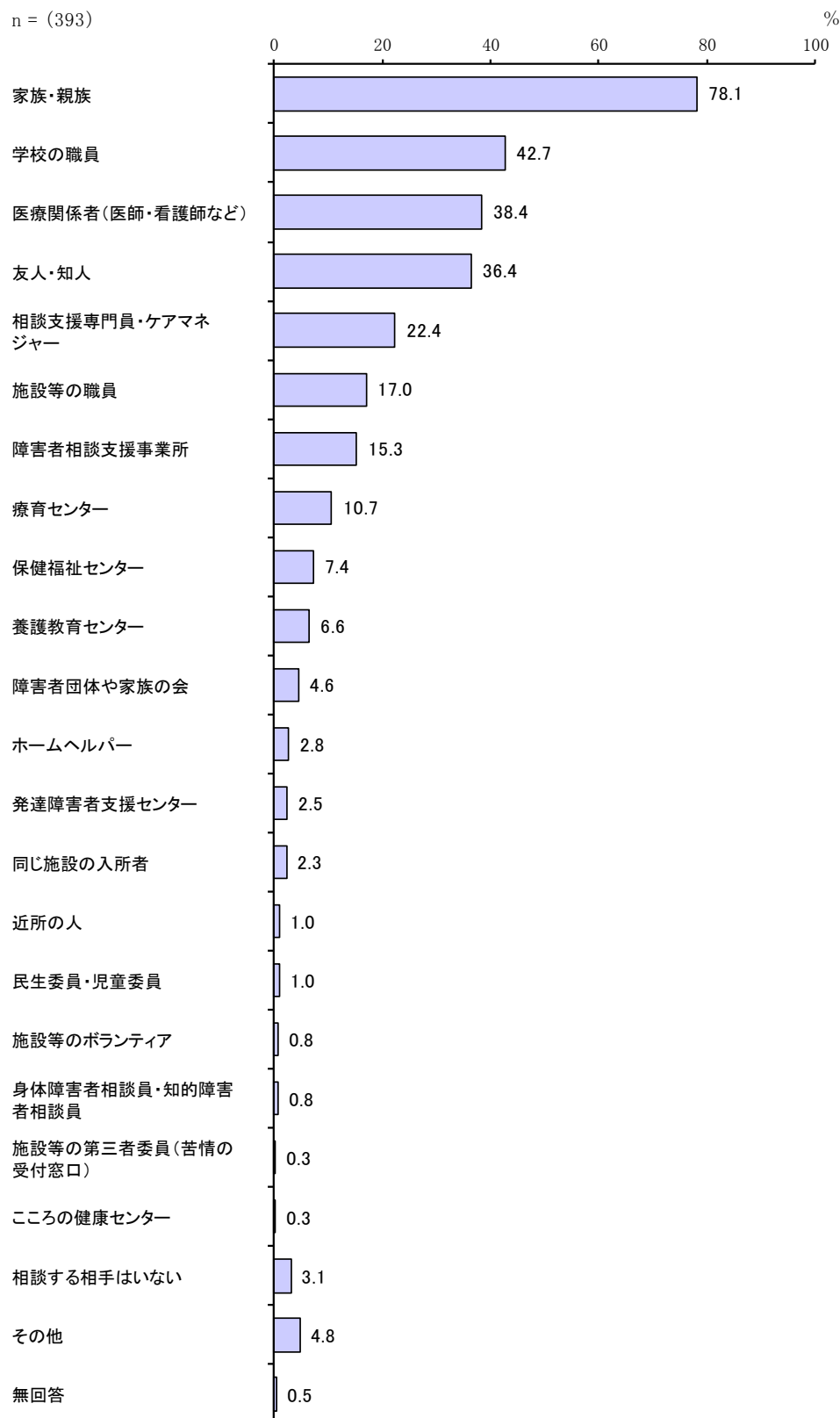
単位 上段:件、下段:%

	調査数	発達や心身の状態に不安がある	行動上の問題への対応に困っている	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者(家族)の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない
全 体	427 100.0			166 38.9	38 8.9	79 18.5	95 22.2	55 12.9	104 24.4	72 16.9
身体障害	239 100.0			92 38.5	19 7.9	58 24.3	68 28.5	54 22.6	70 29.3	43 18.0
知的障害	264 100.0			117 44.3	30 11.4	45 17.0	59 22.3	30 11.4	58 22.0	49 18.6
精神障害	12 100.0			6 50.0	3 25.0	5 41.7	6 50.0	2 16.7	2 16.7	3 25.0
難病	143 100.0			48 33.6	6 4.2	36 25.2	36 25.2	24 16.8	34 23.8	28 19.6
無回答	3 100.0			1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -

	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	療育・教育について困っている	就労について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	103 24.1	93 21.8	39 9.1	291 68.1			64 15.0	11 2.6	8 1.9
身体障害	60 25.1	53 22.2	17 7.1	155 64.9			34 14.2	7 2.9	7 2.9
知的障害	70 26.5	62 23.5	32 12.1	198 75.0			31 11.7	6 2.3	1 0.4
精神障害	4 33.3	4 33.3	3 25.0	9 75.0			1 8.3	- -	- -
難病	33 23.1	29 20.3	11 7.7	93 65.0			25 17.5	3 2.1	1 0.7
無回答	- -	- -	- -	1 33.3			1 33.3	- -	- -

問 24 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。  
（〇はいくつでも）

「家族・親族」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「学校の職員」の割合が 42.7%、「医療関係者（医師・看護師など）」の割合が 38.4%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

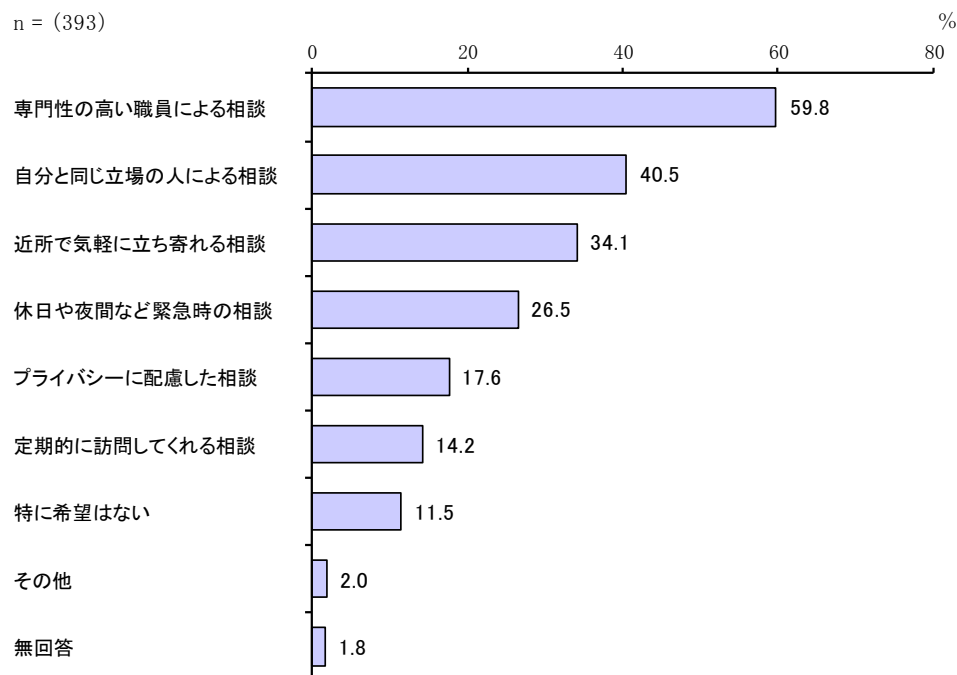
	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	同じ施設の入所者	相談支援専門員・ケアマネジャー	障害者相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	施設等のボランティア	施設等の第三者委員(苦情の受付窓口)	医療関係者(医師・看護師など)
全 体	393 100.0	307 78.1	143 36.4	4 1.0	9 2.3	88 22.4	60 15.3	11 2.8	67 17.0	3 0.8	1 0.3	151 38.4
身体障害	206 100.0	159 77.2	79 38.3	1 0.5	6 2.9	50 24.3	23 11.2	10 4.9	26 12.6	— —	1 0.5	105 51.0
知的障害	246 100.0	186 75.6	94 38.2	4 1.6	5 2.0	65 26.4	52 21.1	6 2.4	52 21.1	3 1.2	— —	80 32.5
精神障害	12 100.0	8 66.7	4 33.3	— —	— —	3 25.0	2 16.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	— —	5 41.7
難病	47 100.0	41 87.2	20 42.6	1 2.1	2 4.3	13 27.7	7 14.9	3 6.4	9 19.1	— —	— —	30 63.8
無回答	5 100.0	4 80.0	3 60.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	3 60.0

	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全 体	18 4.6	168 42.7	26 6.6	4 1.0	3 0.8	29 7.4	42 10.7	10 2.5	1 0.3	12 3.1	19 4.8	2 0.5
身体障害	12 5.8	76 36.9	— —	— —	— —	11 5.3	13 6.3	2 1.0	1 0.5	3 1.5	10 4.9	2 1.0
知的障害	14 5.7	119 48.4	24 9.8	3 1.2	2 0.8	19 7.7	33 13.4	9 3.7	— —	10 4.1	8 3.3	1 0.4
精神障害	— —	4 33.3	1 8.3	1 8.3	— —	1 8.3	— —	— —	— —	1 8.3	1 8.3	— —
難病	7 14.9	19 40.4	1 2.1	1 2.1	1 2.1	5 10.6	2 4.3	1 2.1	— —	— —	2 4.3	— —
無回答	— —	2 40.0	— —	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	— —	— —	— —	— —	— —

問 25 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「自分と同じ立場の人による相談」の割合が 40.5%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」の割合が 34.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「近所で気軽に立ち寄れる相談」の割合が増加しています。また、難病のある方では、「休日や夜間など緊急時の相談」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全 体	393 100.0	134 34.1	104 26.5	235 59.8	159 40.5	56 14.2	69 17.6	45 11.5	8 2.0	7 1.8
身体障害	206 100.0	52 25.2	59 28.6	121 58.7	80 38.8	22 10.7	32 15.5	27 13.1	6 2.9	6 2.9
知的障害	246 100.0	100 40.7	63 25.6	151 61.4	103 41.9	43 17.5	44 17.9	23 9.3	4 1.6	4 1.6
精神障害	12 100.0	6 50.0	4 33.3	6 50.0	5 41.7	2 16.7	4 33.3	3 25.0	— —	— —
難病	47 100.0	16 34.0	20 42.6	27 57.4	18 38.3	6 12.8	7 14.9	3 6.4	4 8.5	2 4.3
無回答	5 100.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	— —	— —

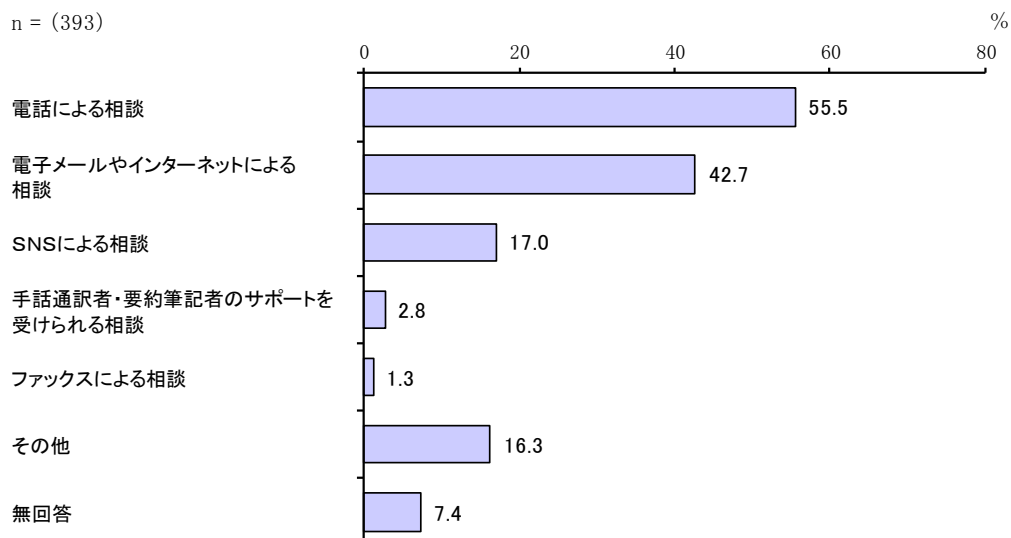
【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全 体	427 100.0	120 28.1	103 24.1	254 59.5	166 38.9	62 14.5	74 17.3	39 9.1	10 2.3	12 2.8
身体障害	239 100.0	60 25.1	59 24.7	145 60.7	96 40.2	36 15.1	33 13.8	23 9.6	7 2.9	8 3.3
知的障害	264 100.0	83 31.4	66 25.0	160 60.6	103 39.0	39 14.8	50 18.9	16 6.1	7 2.7	8 3.0
精神障害	12 100.0	4 33.3	7 58.3	7 58.3	4 33.3	1 8.3	3 25.0	— —	— —	2 16.7
難病	143 100.0	32 22.4	30 21.0	84 58.7	48 33.6	21 14.7	20 14.0	16 11.2	4 2.8	5 3.5
無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	— —	1 33.3	— —	1 33.3	— —	— —

問 26 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

「電話による相談」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」の割合が 42.7%、「SNSによる相談」の割合が 17.0%となっています。



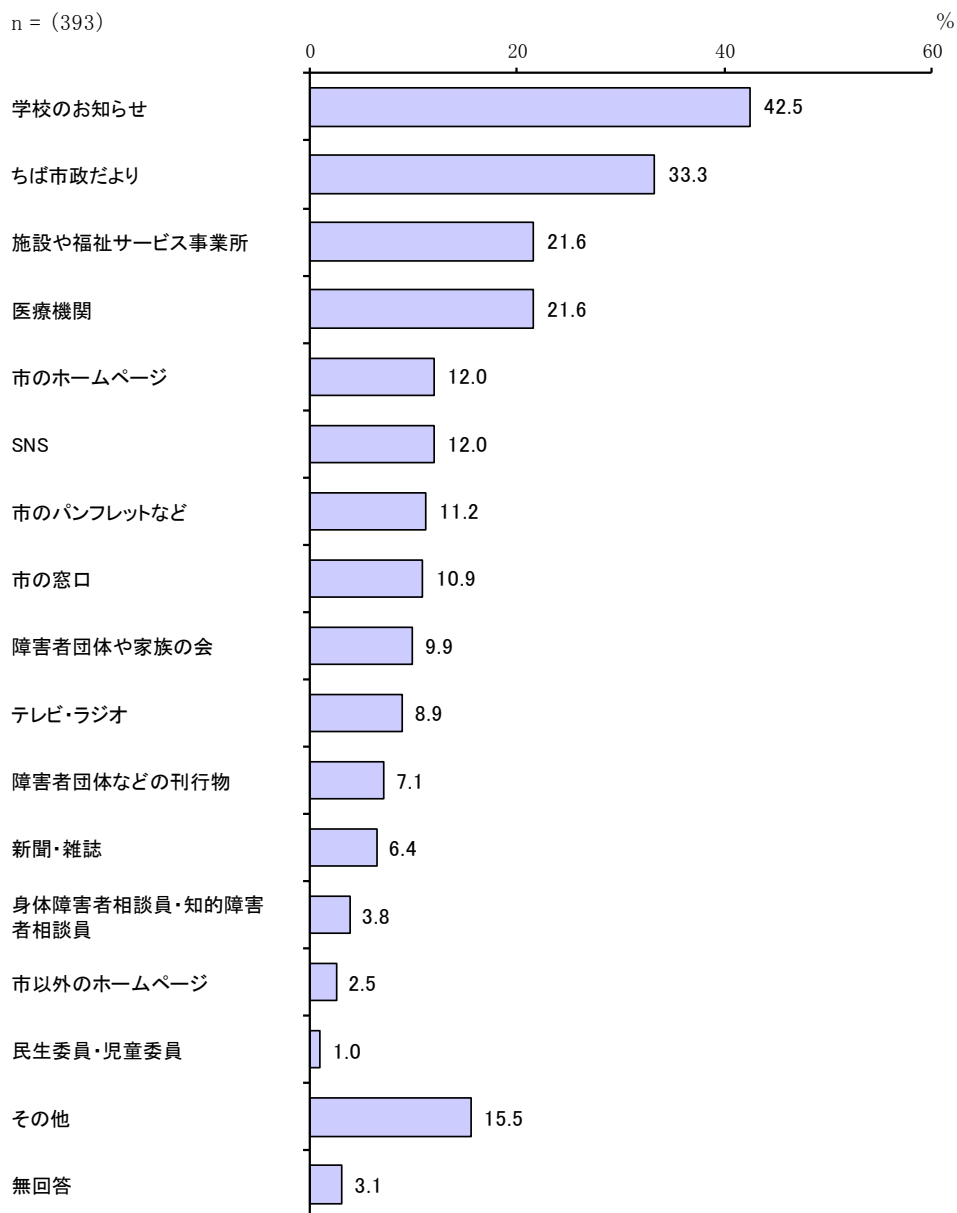
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	電話による相談	電子メールやインターネットによる相談	ファックスによる相談	手話通訳者・要約筆記者のサポートを受けられる相談	SNSによる相談	その他	無回答
全 体	393 100.0	218 55.5	168 42.7	5 1.3	11 2.8	67 17.0	64 16.3	29 7.4
身体障害	206 100.0	112 54.4	86 41.7	3 1.5	10 4.9	39 18.9	30 14.6	15 7.3
知的障害	246 100.0	138 56.1	104 42.3	3 1.2	3 1.2	41 16.7	43 17.5	21 8.5
精神障害	12 100.0	3 25.0	7 58.3	—	—	2 16.7	3 25.0	1 8.3
難病	47 100.0	29 61.7	17 36.2	1 2.1	—	10 21.3	10 21.3	3 6.4
無回答	5 100.0	3 60.0	4 80.0	—	—	1 20.0	—	1 20.0

問 27 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

「学校のお知らせ」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「ちば市政だより」の割合が 33.3%、「施設や福祉サービス事業所」、「医療機関」の割合が 21.6%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

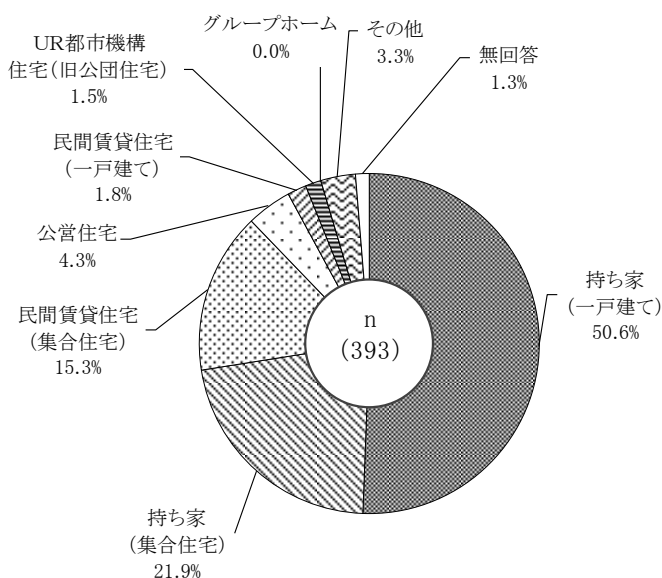
	調査数	ちば市政だ より	市のパンフ レットなど	障害者団体 などの刊行 物	学校のお知 らせ	市のホーム ページ	市以外の ホームペー ジ	SNS	新聞・雑誌
全 体	393 100.0	131 33.3	44 11.2	28 7.1	167 42.5	47 12.0	10 2.5	47 12.0	25 6.4
身体障害	206 100.0	62 30.1	22 10.7	15 7.3	73 35.4	23 11.2	6 2.9	29 14.1	12 5.8
知的障害	246 100.0	85 34.6	31 12.6	20 8.1	122 49.6	30 12.2	6 2.4	29 11.8	18 7.3
精神障害	12 100.0	3 25.0	－ －	－ －	3 25.0	1 8.3	－ －	3 25.0	－ －
難病	47 100.0	11 23.4	3 6.4	2 4.3	15 31.9	6 12.8	1 2.1	8 17.0	1 2.1
無回答	5 100.0	2 40.0	－ －	1 20.0	2 40.0	－ －	－ －	1 20.0	1 20.0

	テレビ・ラジ オ	施設や福祉 サービス事 業所	医療機関	障害者団体 や家族の会	民生委員・ 児童委員	身体障害者 相談員・知 的障害者相 談員	市の窓口	その他	無回答
全 体	35 8.9	85 21.6	85 21.6	39 9.9	4 1.0	15 3.8	43 10.9	61 15.5	12 3.1
身体障害	18 8.7	36 17.5	61 29.6	25 12.1	3 1.5	7 3.4	19 9.2	40 19.4	5 2.4
知的障害	23 9.3	62 25.2	39 15.9	28 11.4	3 1.2	9 3.7	28 11.4	36 14.6	7 2.8
精神障害	1 8.3	2 16.7	5 41.7	－ －	－ －	－ －	2 16.7	1 8.3	2 16.7
難病	1 2.1	12 25.5	11 23.4	10 21.3	－ －	1 2.1	8 17.0	13 27.7	－ －
無回答	－ －	1 20.0	2 40.0	1 20.0	－ －	－ －	1 20.0	1 20.0	－ －

## (6) 暮らしについて

### 問 28 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

「持ち家（一戸建て）」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「持ち家（集合住宅）」の割合が 21.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が 15.3%となっています。



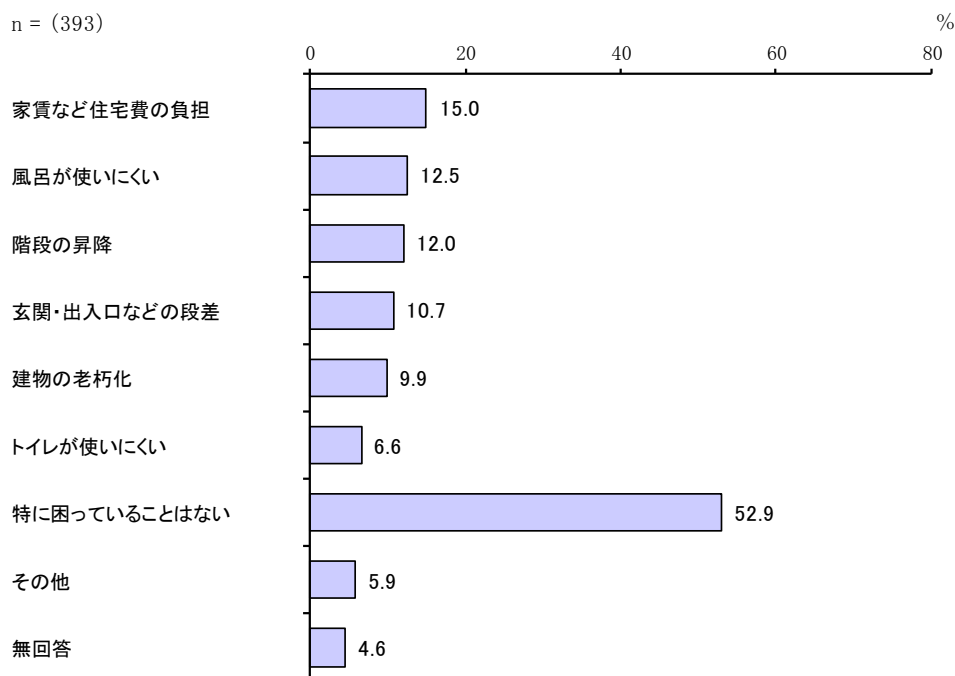
### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	公営住宅	UR都市機構住宅（旧公団住宅）	グループホーム	その他	無回答
全 体	393	199	86	7	60	17	6	-	13	5
	100.0	50.6	21.9	1.8	15.3	4.3	1.5	-	3.3	1.3
身体障害	206	111	43	3	28	10	2	-	6	3
	100.0	53.9	20.9	1.5	13.6	4.9	1.0	-	2.9	1.5
知的障害	246	125	53	6	38	11	3	-	7	3
	100.0	50.8	21.5	2.4	15.4	4.5	1.2	-	2.8	1.2
精神障害	12	3	4	-	1	2	1	-	1	-
	100.0	25.0	33.3	-	8.3	16.7	8.3	-	8.3	-
難病	47	30	10	-	5	-	-	-	2	-
	100.0	63.8	21.3	-	10.6	-	-	-	4.3	-
無回答	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	60.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-

問 29 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。  
（〇はいくつでも）

「特に困っていることはない」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「家賃など住宅費の負担」の割合が 15.0%、「風呂が使いにくい」の割合が 12.5%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	393 100.0	47 12.0	42 10.7	49 12.5	26 6.6	39 9.9	59 15.0	208 52.9	23 5.9	18 4.6
身体障害	206 100.0	41 19.9	38 18.4	40 19.4	19 9.2	19 9.2	31 15.0	87 42.2	12 5.8	11 5.3
知的障害	246 100.0	25 10.2	19 7.7	25 10.2	11 4.5	23 9.3	39 15.9	136 55.3	16 6.5	10 4.1
精神障害	12 100.0	-	-	2 16.7	1 8.3	1 8.3	4 33.3	4 33.3	1 8.3	2 16.7
難病	47 100.0	10 21.3	16 34.0	13 27.7	7 14.9	6 12.8	7 14.9	15 31.9	3 6.4	1 2.1
無回答	5 100.0	-	-	-	-	-	1 20.0	4 80.0	-	-

【身体障害の種類別】

単位 上段:件、下段:%

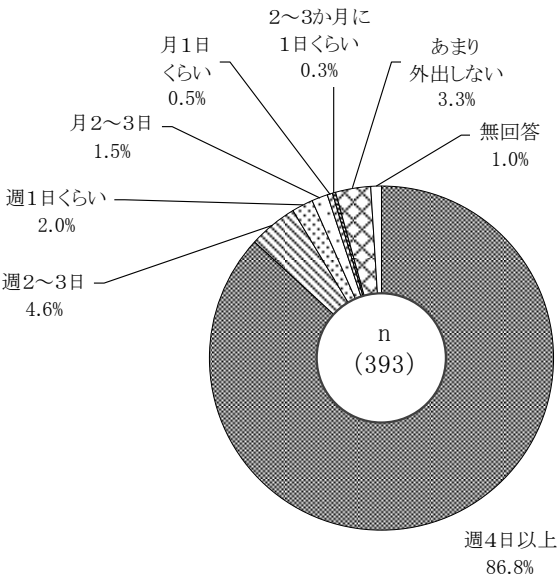
	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	206 100.0	41 19.9	38 18.4	40 19.4	19 9.2	19 9.2	31 15.0	87 42.2	12 5.8	11 5.3
肢体不自由	141 100.0	36 25.5	37 26.2	38 27.0	18 12.8	14 9.9	20 14.2	47 33.3	11 7.8	5 3.5
音声・言語・そしゃく機能障害	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7	-	-
視覚障害	8 100.0	1 12.5	-	-	-	-	-	4 50.0	-	3 37.5
聴覚・平衡機能障害	38 100.0	4 10.5	2 5.3	2 5.3	-	3 7.9	8 21.1	21 55.3	-	3 7.9
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	34 100.0	5 14.7	3 8.8	4 11.8	3 8.8	3 8.8	5 14.7	19 55.9	1 2.9	1 2.9
無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-

問 30 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

「週4日以上」の割合が86.8%と最も高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、6～8歳、9～11歳で「週4日以上」の割合が高く、9割を超えています。また、0～2歳で「週2～3日」の割合が高く、4割半ばとなっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。



※令和元年度調査の「2～3か月に1日くらい」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	393 100.0	341 86.8	18 4.6	8 2.0	6 1.5	2 0.5	1 0.3	13 3.3	4 1.0
身体障害	206 100.0	173 84.0	13 6.3	3 1.5	4 1.9	2 1.0	1 0.5	7 3.4	3 1.5
知的障害	246 100.0	217 88.2	8 3.3	4 1.6	3 1.2	1 0.4	1 0.4	10 4.1	2 0.8
精神障害	12 100.0	10 83.3	—	1 8.3	—	—	—	1 8.3	—
難病	47 100.0	41 87.2	4 8.5	—	1 2.1	1 2.1	—	—	—
無回答	5 100.0	4 80.0	—	1 20.0	—	—	—	—	—



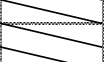

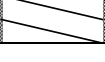

【年齢別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	393 100.0	341 86.8	18 4.6	8 2.0	6 1.5	2 0.5	1 0.3	13 3.3	4 1.0
0～2歳	15 100.0	8 53.3	7 46.7	— —	— —	— —	— —	— —	— —
3～5歳	55 100.0	49 89.1	3 5.5	— —	1 1.8	— —	— —	1 1.8	1 1.8
6～8歳	69 100.0	64 92.8	2 2.9	1 1.4	1 1.4	— —	— —	1 1.4	— —
9～11歳	92 100.0	87 94.6	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	— —	1 1.1	— —
12～14歳	73 100.0	62 84.9	1 1.4	1 1.4	3 4.1	— —	— —	5 6.8	1 1.4
15～17歳	79 100.0	64 81.0	3 3.8	4 5.1	— —	1 1.3	1 1.3	5 6.3	1 1.3
無回答	10 100.0	7 70.0	1 10.0	1 10.0	— —	— —	— —	— —	1 10.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：%

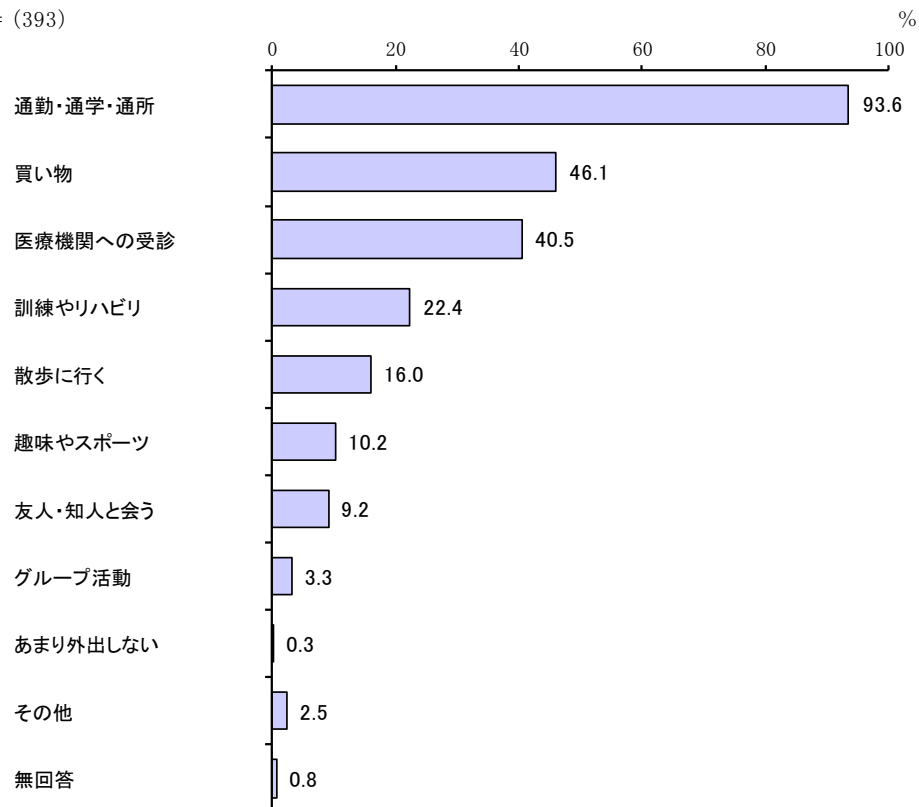
	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	427 100.0	370 86.7	24 5.6	5 1.2	8 1.9	3 0.7		16 3.7	1 0.2
身体障害	239 100.0	195 81.6	20 8.4	5 2.1	7 2.9	3 1.3		8 3.3	1 0.4
知的障害	264 100.0	241 91.3	7 2.7	2 0.8	2 0.8	1 0.4		10 3.8	1 0.4
精神障害	12 100.0	11 91.7	— —	— —	— —	— —		1 8.3	— —
難病	143 100.0	118 82.5	12 8.4	5 3.5	4 2.8	— —		4 2.8	— —
無回答	3 100.0	2 66.7	— —	— —	1 33.3	— —		— —	— —

問 31 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

「通勤・通学・通所」の割合が 93.6%と最も高く、次いで「買い物」の割合が 46.1%、「医療機関への受診」の割合が 40.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では、「訓練やリハビリ」の割合が増加しています。

n = (393)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	393 100.0	368 93.6	88 22.4	159 40.5	181 46.1	36 9.2	40 10.2	13 3.3	63 16.0	1 0.3	10 2.5	3 0.8
身体障害	206 100.0	189 91.7	73 35.4	107 51.9	83 40.3	20 9.7	13 6.3	8 3.9	27 13.1	1 0.5	6 2.9	3 1.5
知的障害	246 100.0	233 94.7	49 19.9	93 37.8	116 47.2	14 5.7	27 11.0	8 3.3	46 18.7	—	8 3.3	1 0.4
精神障害	12 100.0	11 91.7	1 8.3	9 75.0	8 66.7	1 8.3	1 8.3	—	2 16.7	—	—	—
難病	47 100.0	45 95.7	22 46.8	27 57.4	17 36.2	4 8.5	4 8.5	3 6.4	4 8.5	—	2 4.3	—
無回答	5 100.0	4 80.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	—	—	—	3 60.0	—	—	—

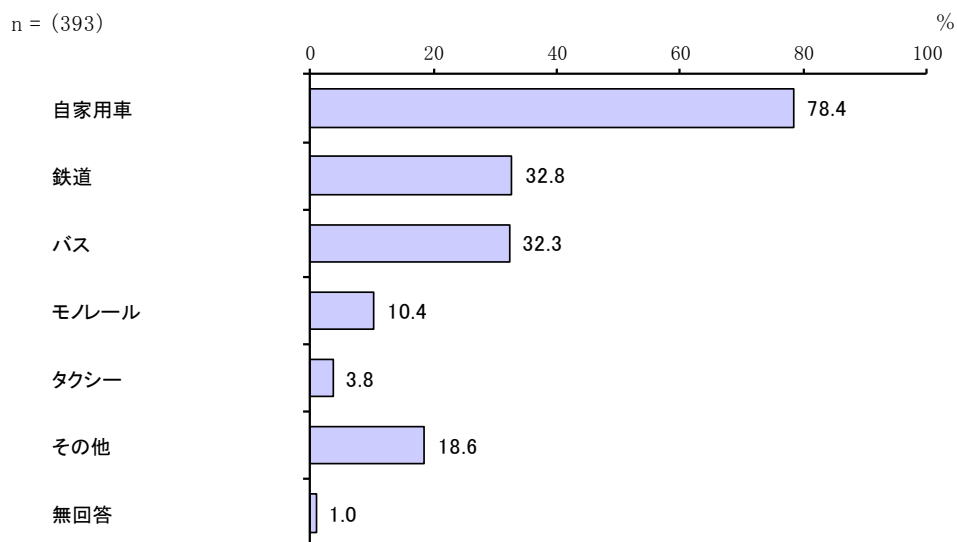
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	427 100.0	394 92.3	116 27.2	191 44.7	194 45.4	45 10.5	40 9.4	11 2.6	84 19.7	4 0.9	19 4.4	2 0.5
身体障害	239 100.0	214 89.5	93 38.9	135 56.5	103 43.1	31 13.0	17 7.1	3 1.3	37 15.5	2 0.8	4 1.7	2 0.8
知的障害	264 100.0	249 94.3	65 24.6	104 39.4	123 46.6	20 7.6	29 11.0	10 3.8	60 22.7	3 1.1	15 5.7	1 0.4
精神障害	12 100.0	11 91.7	5 41.7	8 66.7	7 58.3	2 16.7	3 25.0	—	1 8.3	1 8.3	—	—
難病	143 100.0	127 88.8	43 30.1	77 53.8	63 44.1	16 11.2	10 7.0	1 0.7	24 16.8	1 0.7	1 0.7	1 0.7
無回答	3 100.0	3 100.0	1 33.3	3 100.0	3 100.0	—	—	—	1 33.3	—	—	—

問 32 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。  
(○はいくつでも)

「自家用車」の割合が78.4%と最も高く、次いで「鉄道」の割合が32.8%、「バス」の割合が32.3%となっています。



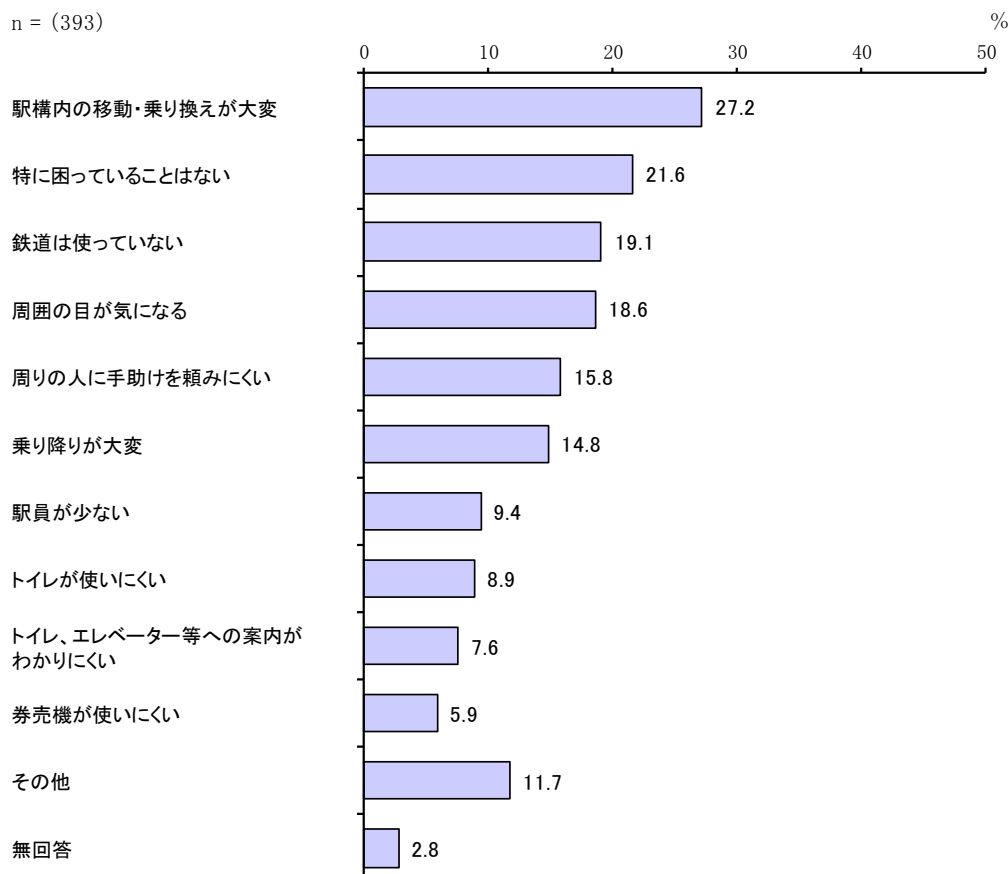
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	393 100.0	129 32.8	127 32.3	41 10.4	15 3.8	308 78.4	73 18.6	4 1.0
身体障害	206 100.0	60 29.1	50 24.3	12 5.8	12 5.8	166 80.6	24 11.7	4 1.9
知的障害	246 100.0	78 31.7	85 34.6	27 11.0	8 3.3	194 78.9	49 19.9	1 0.4
精神障害	12 100.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	1 8.3	10 83.3	1 8.3	-
難病	47 100.0	13 27.7	9 19.1	4 8.5	-	41 87.2	6 12.8	-
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	-	-

問 33 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

「駅構内の移動・乗り換えが大変」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 21.6%、「鉄道は使っていない」の割合が 19.1%となっています。



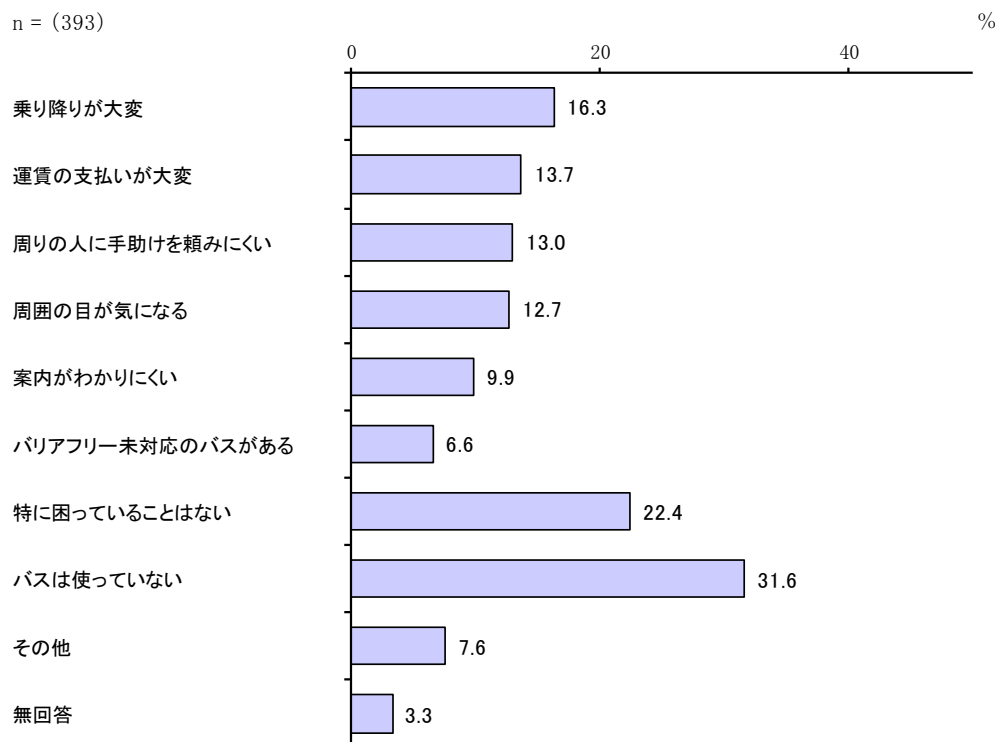
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降り が大変	駅構内の 移動・乗 り換えが 大変	トイレが 使いにく い	券売機が 使いにく い	トイレ、エ レベーター等へ の案内が わかりにく い	駅員が少 ない	周りの人 に手助け を頼みに くい	周囲の目 が気にな る	特に困っ ているこ とはない	鉄道は 使って いない	その他	無回答
全 体	393 100.0	58 14.8	107 27.2	35 8.9	23 5.9	30 7.6	37 9.4	62 15.8	73 18.6	85 21.6	75 19.1	46 11.7	11 2.8
身体障害	206 100.0	50 24.3	72 35.0	24 11.7	12 5.8	22 10.7	26 12.6	27 13.1	30 14.6	29 14.1	46 22.3	25 12.1	6 2.9
知的障害	246 100.0	29 11.8	61 24.8	14 5.7	13 5.3	10 4.1	19 7.7	46 18.7	59 24.0	54 22.0	48 19.5	29 11.8	7 2.8
精神障害	12 100.0	1 8.3	4 33.3	2 16.7	2 16.7	—	3 25.0	4 33.3	4 33.3	2 16.7	3 25.0	1 8.3	—
難病	47 100.0	16 34.0	19 40.4	5 10.6	4 8.5	8 17.0	7 14.9	8 17.0	6 12.8	4 8.5	13 27.7	5 10.6	1 2.1
無回答	5 100.0	—	2 40.0	—	1 20.0	1 20.0	—	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	—	—

問 34 あなたは、バスを利用する際に困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

「バスは使っていない」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 22.4%、「乗り降りが大変」の割合が 16.3%となっています。



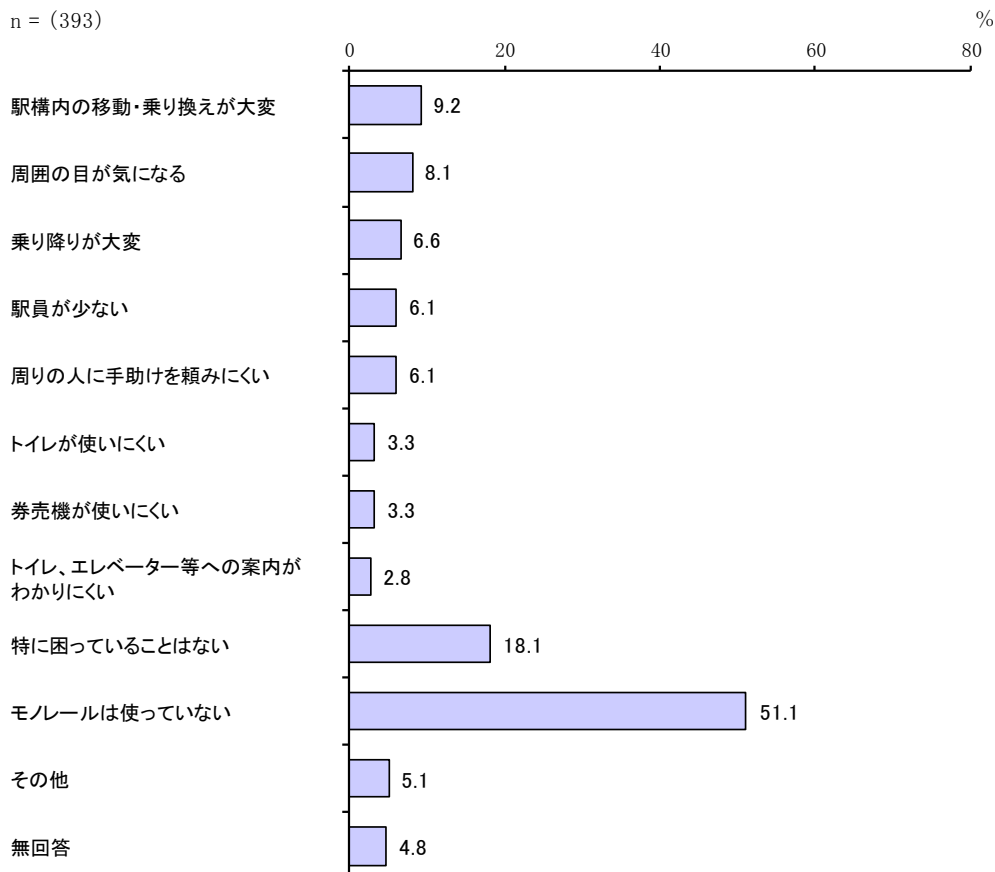
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降り が大変	バリアフ リー未対 応のバス がある	案内がわ かりにくい	運賃の支 払いが大 変	周りの人 に手助け を頼みにく い	周囲の目 が気になる	特に困っ ていること はない	バスは 使って いない	その他	無回答
全 体	393 100.0	64 16.3	26 6.6	39 9.9	54 13.7	51 13.0	50 12.7	88 22.4	124 31.6	30 7.6	13 3.3
身体障害	206 100.0	52 25.2	23 11.2	15 7.3	22 10.7	23 11.2	23 11.2	30 14.6	79 38.3	11 5.3	8 3.9
知的障害	246 100.0	31 12.6	10 4.1	25 10.2	40 16.3	39 15.9	37 15.0	56 22.8	74 30.1	21 8.5	7 2.8
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	3 25.0	3 25.0	4 33.3	2 16.7	3 25.0	4 33.3	-	-
難病	47 100.0	15 31.9	5 10.6	2 4.3	8 17.0	9 19.1	6 12.8	4 8.5	18 38.3	5 10.6	2 4.3
無回答	5 100.0	1 20.0	-	-	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	-

問 35 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

「モノレールは使っていない」の割合が51.1%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が18.1%となっています。



【障害種別】

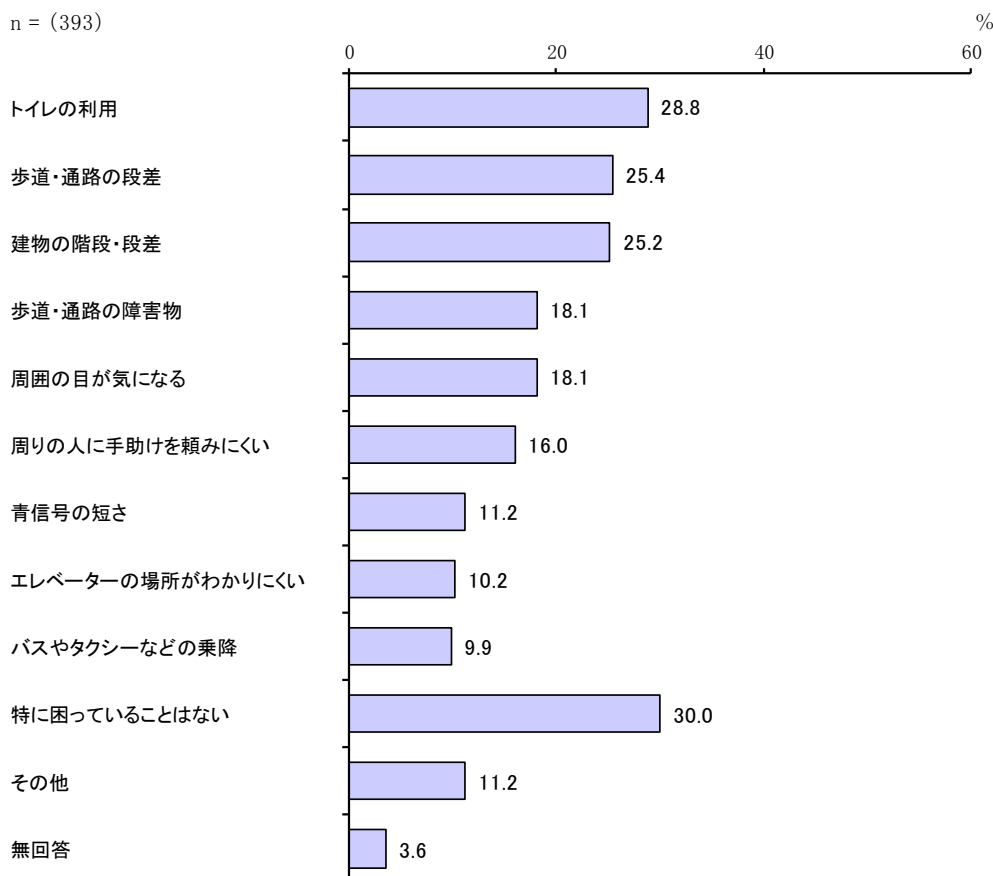
単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降り が大変	駅構内の 移動・乗 り換えが 大変	トイレが 使いにく い	券売機が 使いにく い	トイレ、エ レベーター等へ の案内が わかりにく い	駅員が少 ない	周りの人 に手助け を頼みに くい	周囲の目 が気にな る	特に困っ ているこ とはない	モノレー ルは使っ ていない	その他	無回答
全 体	393 100.0	26 6.6	36 9.2	13 3.3	13 3.3	11 2.8	24 6.1	24 6.1	32 8.1	71 18.1	201 51.1	20 5.1	19 4.8
身体障害	206 100.0	21 10.2	21 10.2	8 3.9	4 1.9	6 2.9	13 6.3	9 4.4	11 5.3	24 11.7	120 58.3	8 3.9	11 5.3
知的障害	246 100.0	12 4.9	26 10.6	8 3.3	9 3.7	7 2.8	15 6.1	19 7.7	28 11.4	45 18.3	123 50.0	13 5.3	11 4.5
精神障害	12 100.0	— —	— —	— —	1 8.3	— —	1 8.3	2 16.7	2 16.7	— —	6 50.0	1 8.3	1 8.3
難病	47 100.0	6 12.8	5 10.6	2 4.3	2 4.3	2 4.3	2 4.3	3 6.4	2 4.3	9 19.1	26 55.3	— —	2 4.3
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 20.0	— —	4 80.0	— —	— —

問 36 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「トイレの利用」の割合が 28.8%、「歩道・通路の段差」の割合が 25.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「青信号の短さ」の割合が増加しています。また、難病のある方では、「建物の階段・段差」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の短さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	393	100	44	71	39	99	40	113	63	71	118	44	14
	100.0	25.4	11.2	18.1	9.9	25.2	10.2	28.8	16.0	18.1	30.0	11.2	3.6
身体障害	206	88	21	58	32	89	35	80	26	31	45	24	8
	100.0	42.7	10.2	28.2	15.5	43.2	17.0	38.8	12.6	15.0	21.8	11.7	3.9
知的障害	246	49	26	38	19	47	20	64	49	53	72	29	10
	100.0	19.9	10.6	15.4	7.7	19.1	8.1	26.0	19.9	21.5	29.3	11.8	4.1
精神障害	12	4	4	2	2	2	—	5	5	3	—	1	1
	100.0	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	—	41.7	41.7	25.0	—	8.3	8.3
難病	47	20	4	17	10	21	11	24	10	7	6	6	1
	100.0	42.6	8.5	36.2	21.3	44.7	23.4	51.1	21.3	14.9	12.8	12.8	2.1
無回答	5	1	—	1	1	—	—	1	2	2	2	1	—
	100.0	20.0	—	20.0	20.0	—	—	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	—

【平成 28 年度調査】

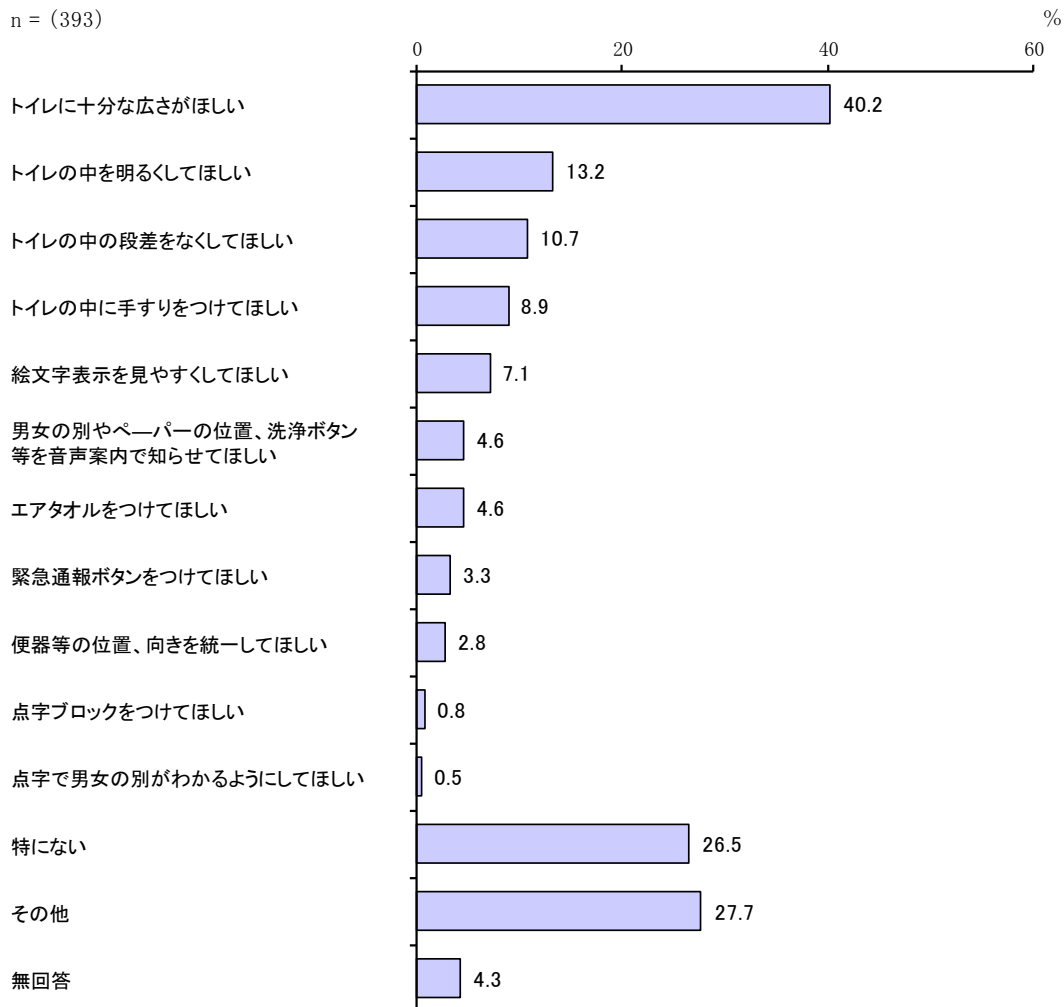
単位 上段:件、下段:%

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	96 22.5	25 5.9	78 18.3	37 8.7	95 22.2	41 9.6	135 31.6	54 12.6	96 22.5	131 30.7	53 12.4	14 3.3
身体障害	239 100.0	89 37.2	19 7.9	70 29.3	30 12.6	81 33.9	32 13.4	93 38.9	27 11.3	50 20.9	56 23.4	30 12.6	8 3.3
知的障害	264 100.0	46 17.4	15 5.7	36 13.6	24 9.1	50 18.9	23 8.7	80 30.3	38 14.4	66 25.0	79 29.9	31 11.7	8 3.0
精神障害	12 100.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	4 33.3	3 25.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3
難病	143 100.0	44 30.8	6 4.2	32 22.4	16 11.2	36 25.2	20 14.0	53 37.1	12 8.4	25 17.5	40 28.0	16 11.2	3 2.1
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 100.0	-	-

問 37 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

「トイレに十分な広さがほしい」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 26.5%、「トイレの中を明るくしてほしい」の割合が 13.2%となっています。

n = (393)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせしてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全 体	393 100.0	2 0.5	18 4.6	28 7.1	52 13.2	42 10.7	3 0.8	11 2.8
身体障害	206 100.0	1 0.5	7 3.4	10 4.9	22 10.7	37 18.0	2 1.0	7 3.4
知的障害	246 100.0	1 0.4	14 5.7	21 8.5	35 14.2	20 8.1	2 0.8	8 3.3
精神障害	12 100.0	— —	— —	— —	3 25.0	1 8.3	— —	— —
難病	47 100.0	— —	1 2.1	— —	14 29.8	15 31.9	— —	1 2.1
無回答	5 100.0	— —	— —	— —	1 20.0	— —	— —	— —

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	35 8.9	18 4.6	158 40.2	13 3.3	104 26.5	109 27.7	17 4.3
身体障害	32 15.5	10 4.9	109 52.9	7 3.4	35 17.0	65 31.6	7 3.4
知的障害	16 6.5	13 5.3	93 37.8	9 3.7	63 25.6	76 30.9	12 4.9
精神障害	— —	— —	3 25.0	— —	2 16.7	5 41.7	1 8.3
難病	9 19.1	2 4.3	30 63.8	4 8.5	3 6.4	16 34.0	2 4.3
無回答	— —	— —	2 40.0	— —	1 20.0	1 20.0	— —

【身体障害種別】

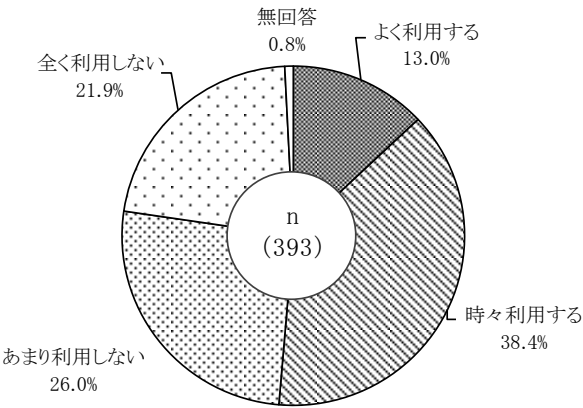
単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい
全 体	206 100.0	1 0.5	7 3.4	10 4.9	22 10.7	37 18.0	2 1.0	7 3.4
肢体不自由	141 100.0	— —	1 0.7	1 0.7	14 9.9	31 22.0	— —	4 2.8
音声・言語・そしゃく機能障害	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
視覚障害	8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	— —	3 37.5	2 25.0	3 37.5
聴覚・平衡機能障害	38 100.0	— —	1 2.6	5 13.2	5 13.2	— —	— —	— —
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	34 100.0	— —	1 2.9	2 5.9	4 11.8	3 8.8	— —	— —
無回答	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	32 15.5	10 4.9	109 52.9	7 3.4	35 17.0	65 31.6	7 3.4
肢体不自由	28 19.9	7 5.0	87 61.7	5 3.5	10 7.1	59 41.8	5 3.5
音声・言語・そしゃく機能障害	— —	1 33.3	2 66.7	— —	— —	2 66.7	— —
視覚障害	— —	— —	3 37.5	— —	— —	2 25.0	— —
聴覚・平衡機能障害	2 5.3	— —	12 31.6	1 2.6	14 36.8	6 15.8	2 5.3
内部機能障害(免疫機能障害を含む)	3 8.8	4 11.8	16 47.1	1 2.9	9 26.5	7 20.6	1 2.9
無回答	— —	— —	— —	— —	2 100.0	— —	— —

問 38 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

「よく利用する」と「時々利用する」をあわせた“利用する”の割合が 51.4%、「あまり利用しない」と「全く利用しない」をあわせた“利用しない”の割合が 47.9%となっています。



【障害種別】

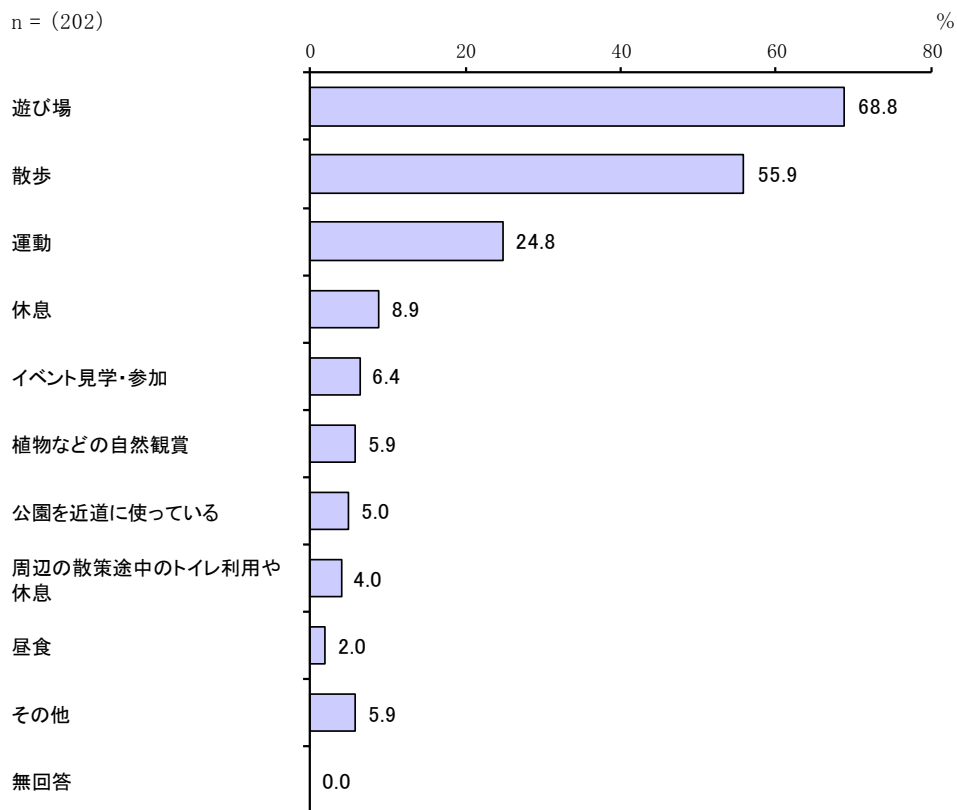
単位 上段：件、下段：%

	調査数	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	全く利用しない	無回答
全 体	393	51	151	102	86	3
	100.0	13.0	38.4	26.0	21.9	0.8
身体障害	206	25	66	56	57	2
	100.0	12.1	32.0	27.2	27.7	1.0
知的障害	246	34	105	58	48	1
	100.0	13.8	42.7	23.6	19.5	0.4
精神障害	12	—	4	3	5	—
	100.0	—	33.3	25.0	41.7	—
難病	47	5	13	12	17	—
	100.0	10.6	27.7	25.5	36.2	—
無回答	5	1	2	1	1	—
	100.0	20.0	40.0	20.0	20.0	—

問 39 【問 38 で「よく利用する」または「時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】

あなたが公園を利用する目的は何ですか。（○はいくつでも）

「遊び場」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「散歩」の割合が 55.9%、「運動」の割合が 24.8%となっています。



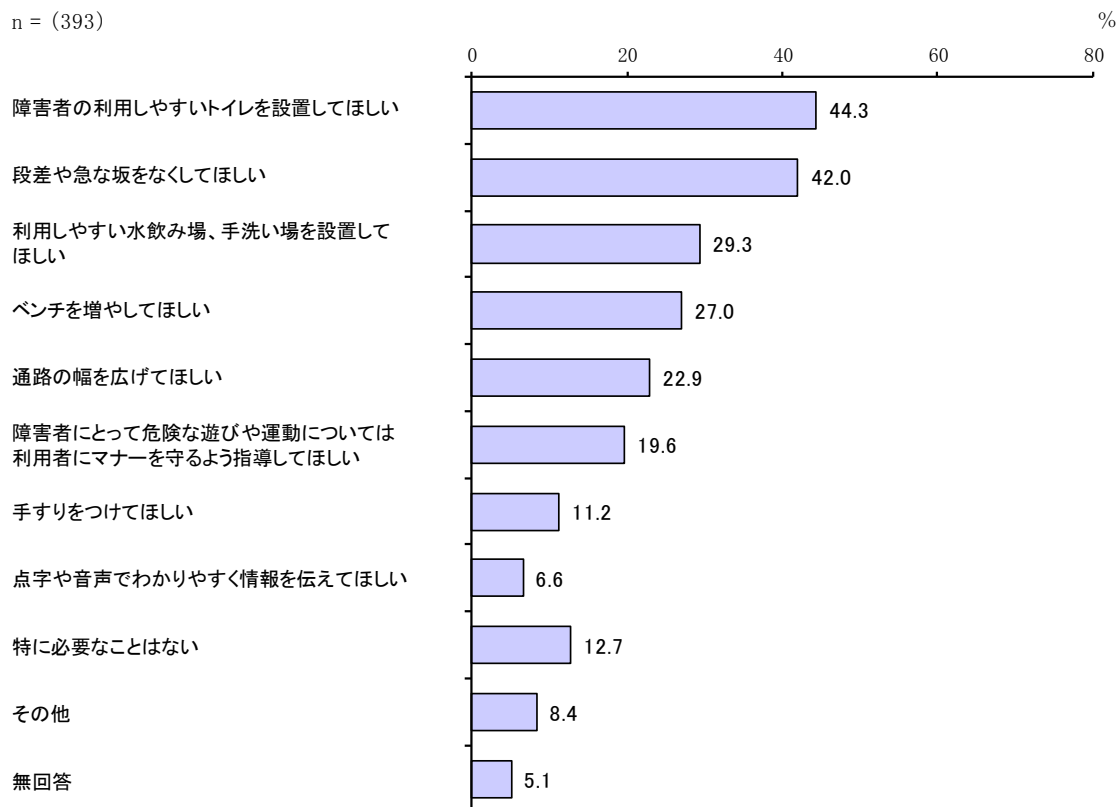
# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全 体	202	113	50	18	12	4	10	8	139	13	12	-
	100.0	55.9	24.8	8.9	5.9	2.0	5.0	4.0	68.8	6.4	5.9	-
身体障害	91	59	15	8	6	2	4	2	59	8	4	-
	100.0	64.8	16.5	8.8	6.6	2.2	4.4	2.2	64.8	8.8	4.4	-
知的障害	139	81	38	12	8	3	5	7	90	8	10	-
	100.0	58.3	27.3	8.6	5.8	2.2	3.6	5.0	64.7	5.8	7.2	-
精神障害	4	3	2	-	-	-	1	-	2	-	-	-
	100.0	75.0	50.0	-	-	-	25.0	-	50.0	-	-	-
難病	18	12	4	2	1	-	-	-	13	-	2	-
	100.0	66.7	22.2	11.1	5.6	-	-	-	72.2	-	11.1	-
無回答	3	1	2	2	-	-	-	1	3	-	1	-
	100.0	33.3	66.7	66.7	-	-	-	33.3	100.0	-	33.3	-

問 40 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「段差や急な坂をなくしてほしい」の割合が 42.0%、「利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい」の割合が 29.3%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

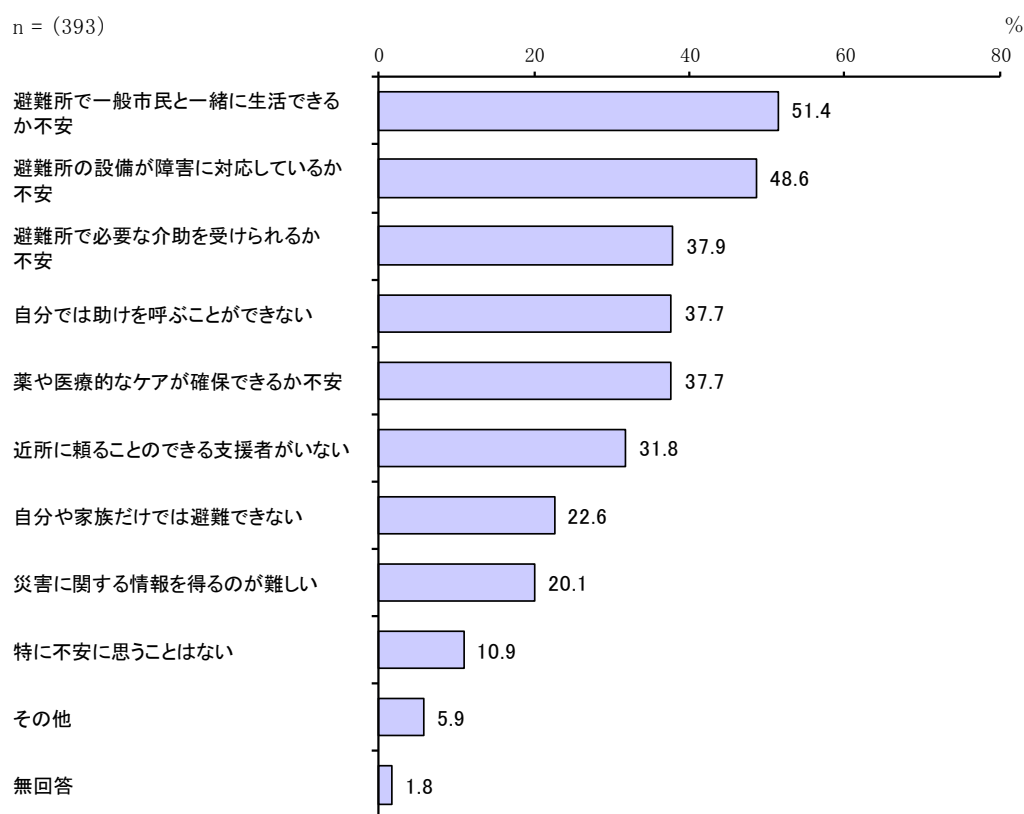
	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	393	90	44	165	26	174	77	106	115	50	33	20
	100.0	22.9	11.2	42.0	6.6	44.3	19.6	27.0	29.3	12.7	8.4	5.1
身体障害	206	65	26	114	14	102	30	46	52	19	19	12
	100.0	31.6	12.6	55.3	6.8	49.5	14.6	22.3	25.2	9.2	9.2	5.8
知的障害	246	46	27	98	15	105	56	72	80	30	22	9
	100.0	18.7	11.0	39.8	6.1	42.7	22.8	29.3	32.5	12.2	8.9	3.7
精神障害	12	3	1	4	1	7	3	6	5	1	2	2
	100.0	25.0	8.3	33.3	8.3	58.3	25.0	50.0	41.7	8.3	16.7	16.7
難病	47	23	9	30	2	21	6	10	11	1	9	3
	100.0	48.9	19.1	63.8	4.3	44.7	12.8	21.3	23.4	2.1	19.1	6.4
無回答	5	1	-	-	-	4	-	1	1	1	-	-
	100.0	20.0	-	-	-	80.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-

## (7) 災害対策について

問 41 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「避難所の設備が障害に対応しているか不安」の割合が 48.6%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」の割合が 37.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「災害に関する情報を得るのが難しい」、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」の割合が減少しています。また、難病のある方では、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「近所に頼ることのできる支援者がいない」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に頼ることでできる支援者がいない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全 体	393 100.0	89 22.6	148 37.7	125 31.8	79 20.1	191 48.6	149 37.9	202 51.4	148 37.7	43 10.9	23 5.9	7 1.8
身体障害	206 100.0	59 28.6	66 32.0	70 34.0	44 21.4	124 60.2	100 48.5	98 47.6	107 51.9	23 11.2	11 5.3	2 1.0
知的障害	246 100.0	58 23.6	118 48.0	91 37.0	48 19.5	120 48.8	88 35.8	145 58.9	82 33.3	20 8.1	14 5.7	5 2.0
精神障害	12 100.0	3 25.0	5 41.7	7 58.3	2 16.7	7 58.3	7 58.3	8 66.7	5 41.7	— —	1 8.3	— —
難病	47 100.0	17 36.2	22 46.8	17 36.2	9 19.1	35 74.5	33 70.2	29 61.7	31 66.0	1 2.1	5 10.6	— —
無回答	5 100.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	— —	3 60.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	— —	— —	— —

【平成 28 年度調査】

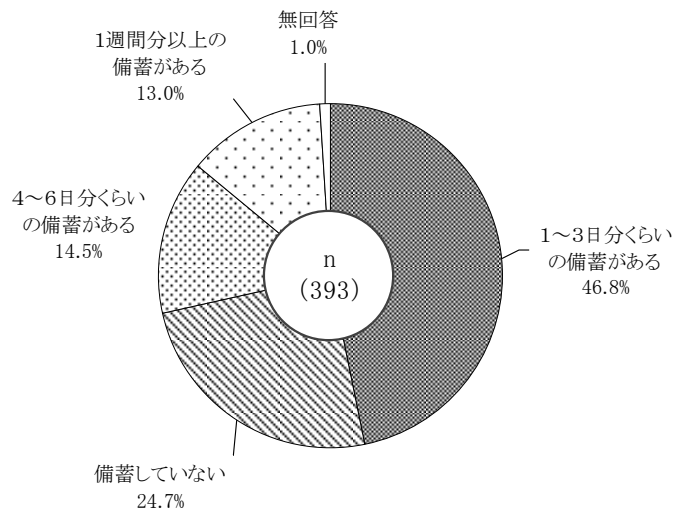
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に頼ることでできる支援者がいない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	104 24.4	168 39.3		111 26.0	227 53.2	176 41.2	227 53.2	192 45.0	26 6.1	24 5.6	7 1.6
身体障害	239 100.0	65 27.2	79 33.1		62 25.9	144 60.3	108 45.2	109 45.6	129 54.0	11 4.6	15 6.3	3 1.3
知的障害	264 100.0	65 24.6	122 46.2		71 26.9	143 54.2	112 42.4	169 64.0	105 39.8	15 5.7	16 6.1	4 1.5
精神障害	12 100.0	5 41.7	7 58.3		6 50.0	8 66.7	7 58.3	6 50.0	9 75.0	— —	2 16.7	— —
難病	143 100.0	35 24.5	49 34.3		30 21.0	82 57.3	64 44.8	67 46.9	85 59.4	9 6.3	5 3.5	2 1.4
無回答	3 100.0	— —	— —		— —	1 33.3	2 66.7	— —	2 66.7	— —	— —	— —

問 42 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

「1～3日分くらいの備蓄がある」の割合が46.8%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が24.7%、「4～6日分くらいの備蓄がある」の割合が14.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「備蓄していない」の割合が増加しています。



【障害種別】 単位 上段:件、下段:%

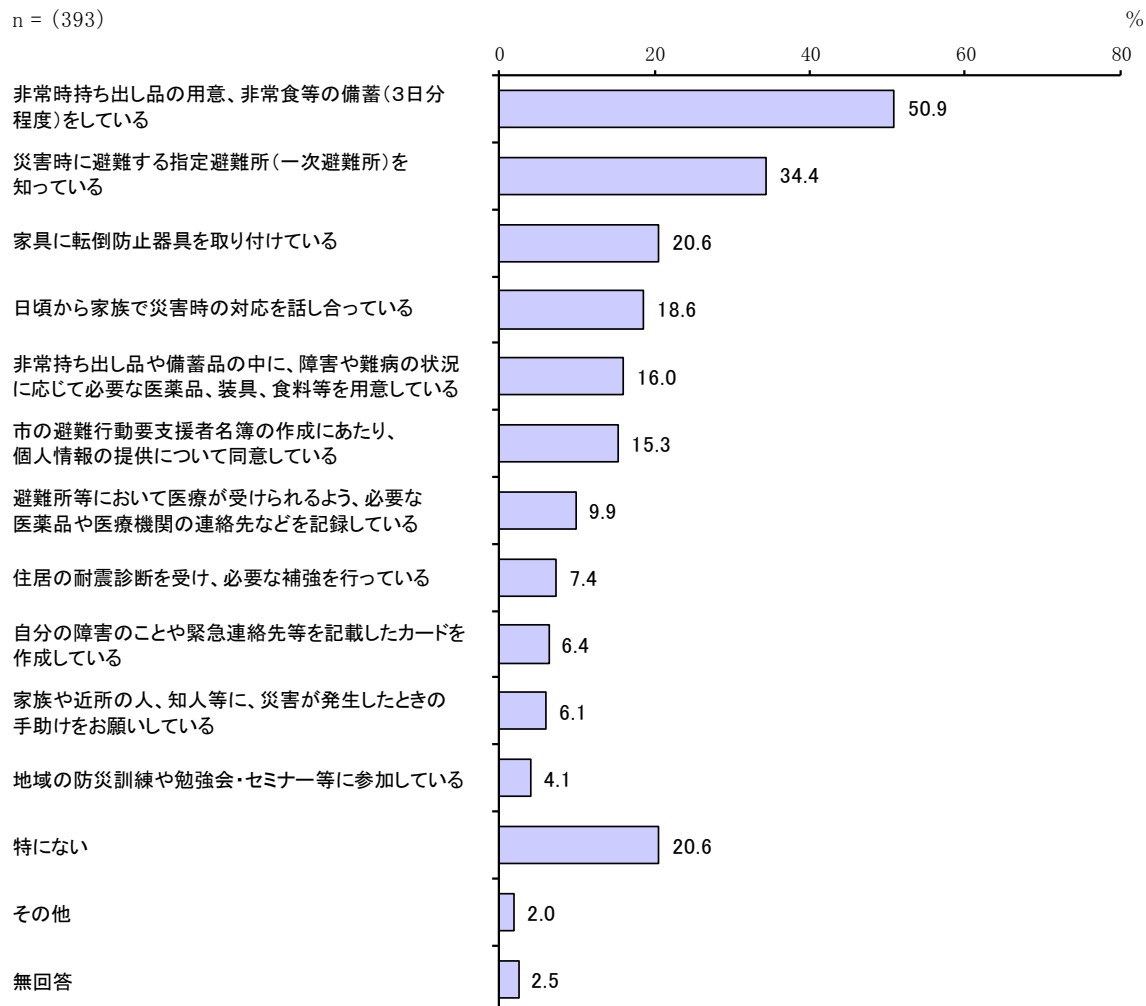
	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	393 100.0	51 13.0	57 14.5	184 46.8	97 24.7	4 1.0
身体障害	206 100.0	40 19.4	29 14.1	96 46.6	39 18.9	2 1.0
知的障害	246 100.0	19 7.7	39 15.9	117 47.6	69 28.0	2 0.8
精神障害	12 100.0	— —	— —	4 33.3	8 66.7	— —
難病	47 100.0	10 21.3	6 12.8	23 48.9	7 14.9	1 2.1
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	— —	3 60.0	— —

【平成28年度調査】 単位 上段:件、下段:%

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	427 100.0	71 16.6	44 10.3	203 47.5	105 24.6	4 0.9
身体障害	239 100.0	53 22.2	30 12.6	100 41.8	54 22.6	2 0.8
知的障害	264 100.0	39 14.8	24 9.1	137 51.9	62 23.5	2 0.8
精神障害	12 100.0	5 41.7	2 16.7	2 16.7	3 25.0	— —
難病	143 100.0	34 23.8	17 11.9	59 41.3	31 21.7	2 1.4
無回答	3 100.0	— —	2 66.7	— —	1 33.3	— —

問 43 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」の割合が 34.4%、「家具に転倒防止器具を取り付けている」、「特にない」の割合が 20.6%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

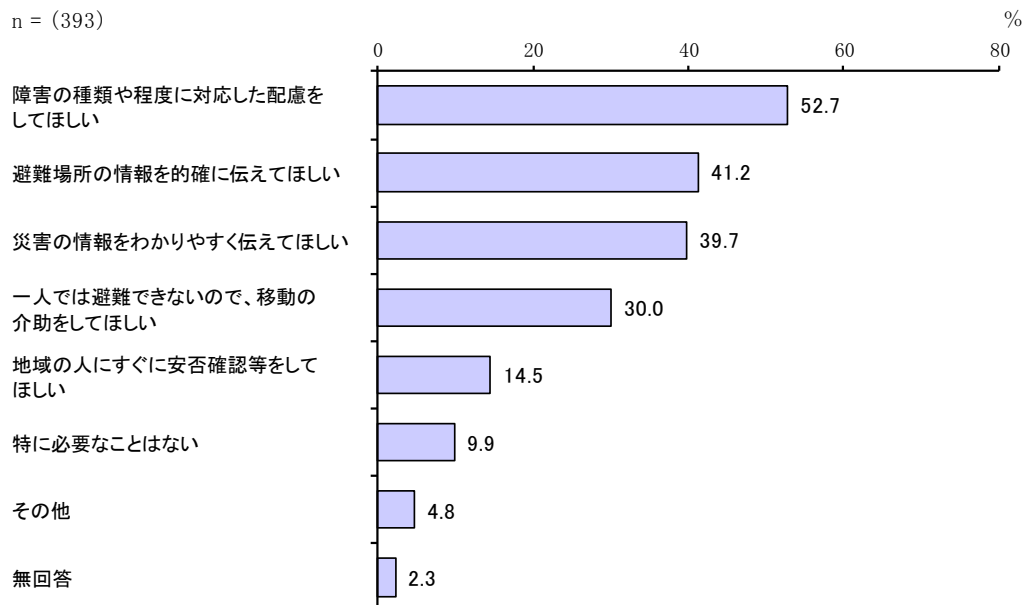
	調査数	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている	非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している	避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している	家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている	自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している	市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報の提供について同意している
全 体	393 100.0	73 18.6	200 50.9	63 16.0	39 9.9	24 6.1	25 6.4	60 15.3
身体障害	206 100.0	41 19.9	109 52.9	54 26.2	30 14.6	14 6.8	16 7.8	42 20.4
知的障害	246 100.0	35 14.2	128 52.0	30 12.2	19 7.7	13 5.3	14 5.7	37 15.0
精神障害	12 100.0	1 8.3	4 33.3	－ －	1 8.3	－ －	－ －	1 8.3
難病	47 100.0	7 14.9	23 48.9	17 36.2	8 17.0	6 12.8	8 17.0	12 25.5
無回答	5 100.0	2 40.0	3 60.0	－ －	－ －	1 20.0	－ －	－ －

	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	特にない	その他	無回答
全 体	81 20.6	29 7.4	135 34.4	16 4.1	81 20.6	8 2.0	10 2.5
身体障害	43 20.9	17 8.3	69 33.5	7 3.4	34 16.5	4 1.9	5 2.4
知的障害	51 20.7	18 7.3	83 33.7	12 4.9	53 21.5	7 2.8	7 2.8
精神障害	－ －	－ －	3 25.0	－ －	6 50.0	－ －	1 8.3
難病	15 31.9	5 10.6	16 34.0	3 6.4	7 14.9	2 4.3	1 2.1
無回答	2 40.0	1 20.0	2 40.0	－ －	2 40.0	－ －	－ －

問 44 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。  
(〇はいくつでも)

「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」の割合が 41.2%、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」の割合が 39.7%となっています。

n = (393)



【障害種別】

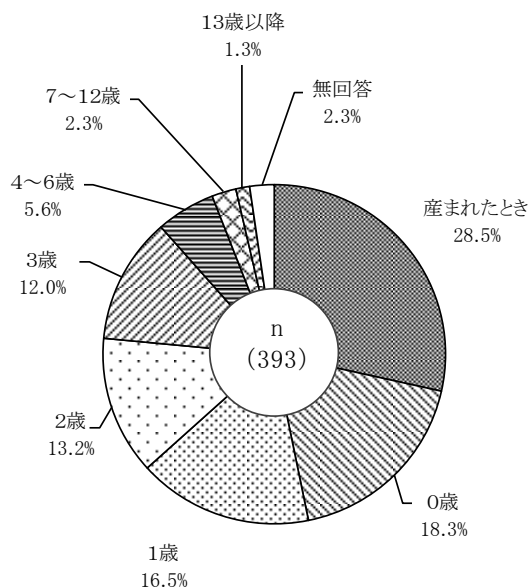
単位 上段:件、下段:%

	調査数	一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい	災害の情報をわかりやすく伝えてほしい	障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい	地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい	避難場所の情報を的確に伝えてほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	393 100.0	118 30.0	156 39.7	207 52.7	57 14.5	162 41.2	39 9.9	19 4.8	9 2.3
身体障害	206 100.0	73 35.4	78 37.9	110 53.4	26 12.6	74 35.9	18 8.7	11 5.3	5 2.4
知的障害	246 100.0	80 32.5	101 41.1	134 54.5	40 16.3	114 46.3	22 8.9	15 6.1	7 2.8
精神障害	12 100.0	4 33.3	5 41.7	9 75.0	1 8.3	6 50.0	-	-	-
難病	47 100.0	21 44.7	18 38.3	31 66.0	7 14.9	23 48.9	-	3 6.4	-
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	-	-	-

## (8) 療育・保育について

問 45 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。  
(○は1つ)

「産まれたとき」の割合が28.5%と最も高く、次いで「0歳」の割合が18.3%、「1歳」の割合が16.5%となっています。



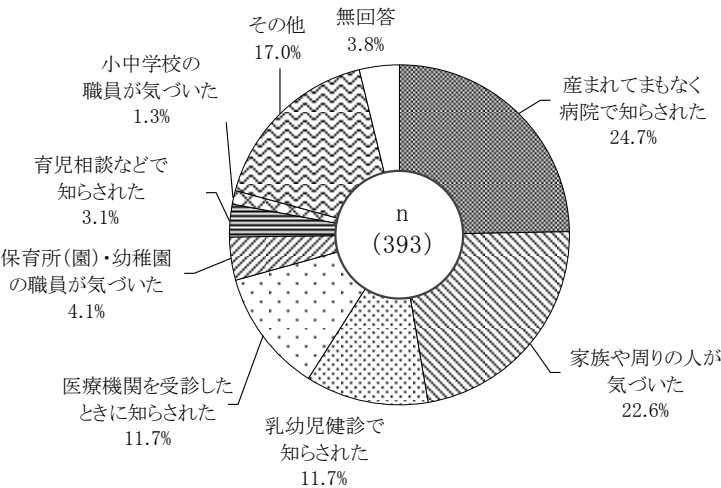
### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	産まれたとき	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13歳以降	無回答
全 体	393	112	72	65	52	47	22	9	5	9
	100.0	28.5	18.3	16.5	13.2	12.0	5.6	2.3	1.3	2.3
身体障害	206	89	52	27	13	9	3	2	3	8
	100.0	43.2	25.2	13.1	6.3	4.4	1.5	1.0	1.5	3.9
知的障害	246	48	41	44	39	40	21	7	3	3
	100.0	19.5	16.7	17.9	15.9	16.3	8.5	2.8	1.2	1.2
精神障害	12	1	4	—	4	2	—	—	—	1
	100.0	8.3	33.3	—	33.3	16.7	—	—	—	8.3
難病	47	22	13	5	3	—	1	—	—	3
	100.0	46.8	27.7	10.6	6.4	—	2.1	—	—	6.4
無回答	5	2	1	—	1	—	—	—	1	—
	100.0	40.0	20.0	—	20.0	—	—	—	20.0	—

問 46 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。（○は1つ）

「産まれてまもなく病院で知らされた」の割合が 24.7%と最も高く、次いで「家族や周りの人が気づいた」の割合が 22.6%、「乳幼児健診で知らされた」、「医療機関を受診したときに知らされた」の割合が 11.7%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

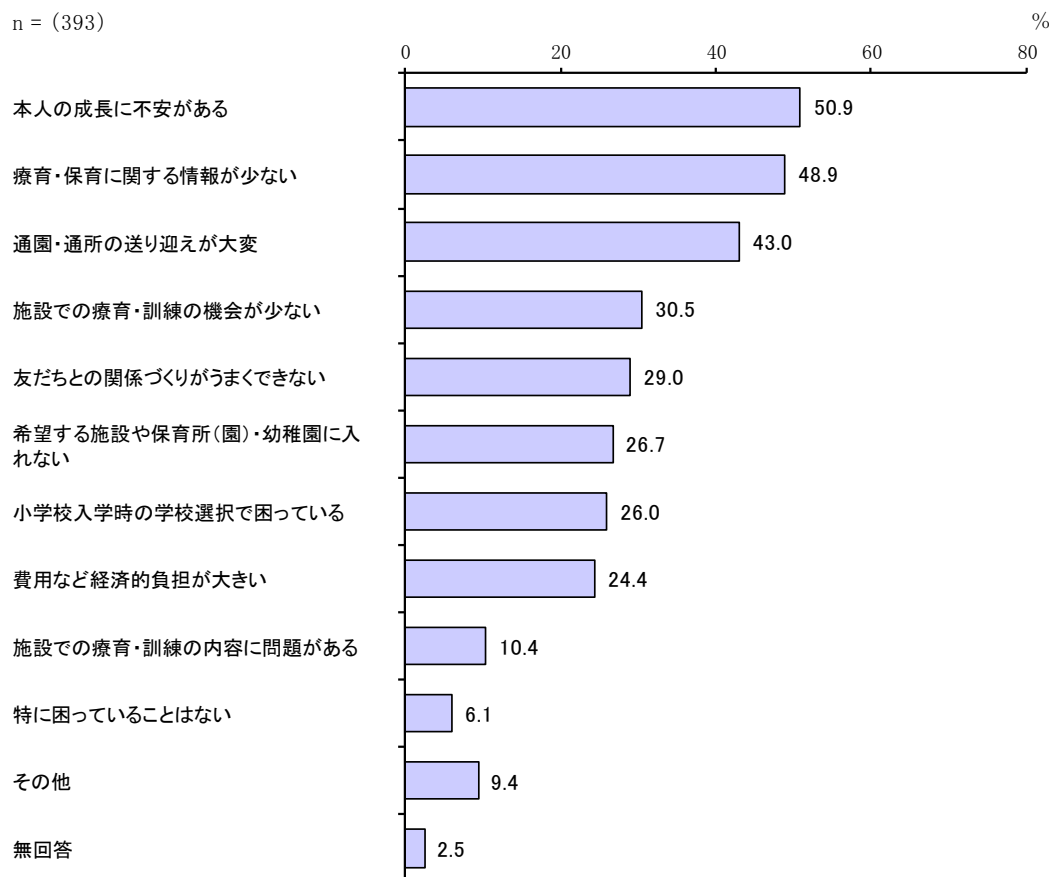
	調査数	産まれてまもなく病院で知らされた	家族や周りの人が気づいた	乳幼児健診で知らされた	医療機関を受診したときに知らされた	育児相談などで知らされた	保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた	小中学校の職員が気づいた	その他	無回答
全 体	393	97	89	46	46	12	16	5	67	15
	100.0	24.7	22.6	11.7	11.7	3.1	4.1	1.3	17.0	3.8
身体障害	206	75	34	12	35	2	1	1	39	7
	100.0	36.4	16.5	5.8	17.0	1.0	0.5	0.5	18.9	3.4
知的障害	246	48	57	35	26	9	16	5	41	9
	100.0	19.5	23.2	14.2	10.6	3.7	6.5	2.0	16.7	3.7
精神障害	12	2	4	—	1	—	—	—	4	1
	100.0	16.7	33.3	—	8.3	—	—	—	33.3	8.3
難病	47	15	8	4	9	—	—	—	8	3
	100.0	31.9	17.0	8.5	19.1	—	—	—	17.0	6.4
無回答	5	1	2	—	—	—	—	—	1	1
	100.0	20.0	40.0	—	—	—	—	—	20.0	20.0

**問 47 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている  
(または以前に困ったことがある) ことはありますか。(〇はいくつでも)**

「本人の成長に不安がある」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「療育・保育に関する情報が少ない」の割合が 48.9%、「通園・通所の送り迎えが大変」の割合が 43.0%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、9～11歳で「療育・保育に関する情報が少ない」の割合が、3～5歳で「本人の成長に不安がある」の割合が高く、約6割となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「施設での療育・訓練の機会が少ない」、「本人の成長に不安がある」の割合が減少しています。



# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	393 100.0	192 48.9	105 26.7	120 30.5	41 10.4	200 50.9	114 29.0	169 43.0	96 24.4	102 26.0	24 6.1	37 9.4	10 2.5
身体障害	206 100.0	94 45.6	58 28.2	53 25.7	15 7.3	87 42.2	39 18.9	92 44.7	53 25.7	50 24.3	14 6.8	18 8.7	8 3.9
知的障害	246 100.0	138 56.1	70 28.5	87 35.4	32 13.0	141 57.3	77 31.3	106 43.1	61 24.8	63 25.6	13 5.3	24 9.8	5 2.0
精神障害	12 100.0	9 75.0	5 41.7	3 25.0	1 8.3	6 50.0	5 41.7	10 83.3	6 50.0	1 8.3	-	1 8.3	1 8.3
難病	47 100.0	23 48.9	16 34.0	14 29.8	6 12.8	25 53.2	12 25.5	23 48.9	14 29.8	13 27.7	-	4 8.5	2 4.3
無回答	5 100.0	1 20.0	-	3 60.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	-	-

# 【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	393 100.0	192 48.9	105 26.7	120 30.5	41 10.4	200 50.9	114 29.0	169 43.0	96 24.4	102 26.0	24 6.1	37 9.4	10 2.5
0～2歳	15 100.0	7 46.7	4 26.7	6 40.0	3 20.0	7 46.7	1 6.7	5 33.3	4 26.7	2 13.3	-	1 6.7	2 13.3
3～5歳	55 100.0	28 50.9	17 30.9	13 23.6	6 10.9	32 58.2	13 23.6	29 52.7	13 23.6	28 50.9	3 5.5	5 9.1	-
6～8歳	69 100.0	32 46.4	24 34.8	22 31.9	6 8.7	31 44.9	24 34.8	37 53.6	23 33.3	20 29.0	4 5.8	3 4.3	1 1.4
9～11歳	92 100.0	58 63.0	25 27.2	31 33.7	10 10.9	47 51.1	25 27.2	40 43.5	17 18.5	25 27.2	6 6.5	10 10.9	1 1.1
12～14歳	73 100.0	33 45.2	13 17.8	19 26.0	4 5.5	40 54.8	27 37.0	28 38.4	17 23.3	15 20.5	3 4.1	4 5.5	3 4.1
15～17歳	79 100.0	29 36.7	19 24.1	27 34.2	10 12.7	38 48.1	21 26.6	25 31.6	19 24.1	12 15.2	8 10.1	13 16.5	3 3.8
無回答	10 100.0	5 50.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0	5 50.0	3 30.0	-	-	1 10.0	-

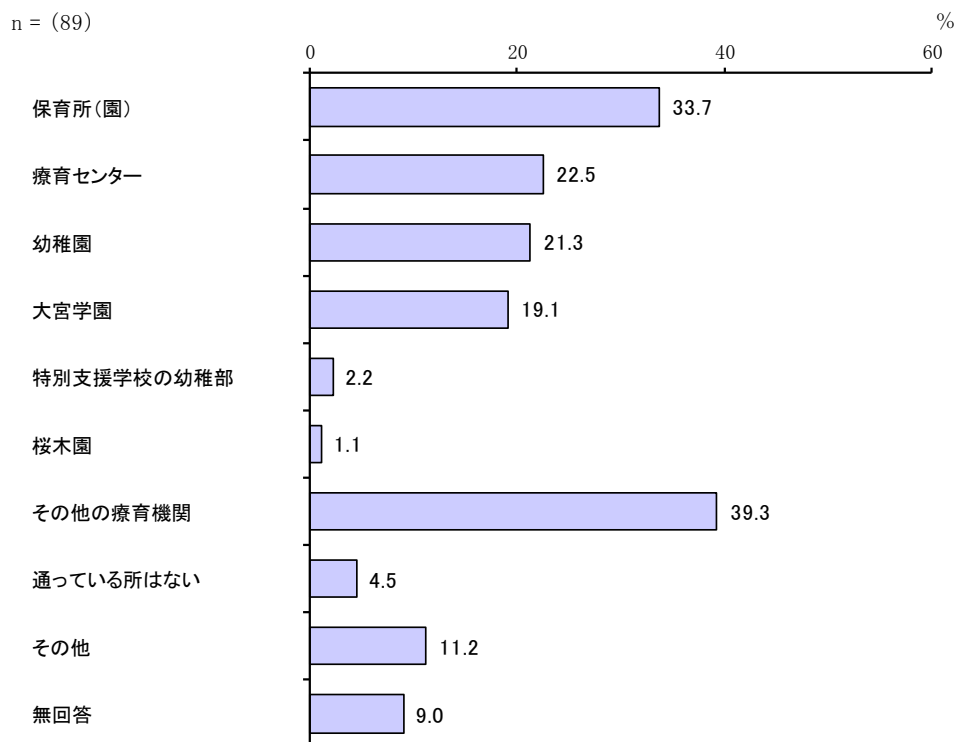
# 【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	193 45.2	106 24.8	152 35.6	53 12.4	245 57.4	126 29.5	171 40.0	92 21.5	113 26.5	31 7.3	37 8.7	8 1.9
身体障害	239 100.0	92 38.5	57 23.8	69 28.9	25 10.5	127 53.1	38 15.9	94 39.3	51 21.3	54 22.6	21 8.8	22 9.2	5 2.1
知的障害	264 100.0	139 52.7	66 25.0	114 43.2	41 15.5	160 60.6	97 36.7	111 42.0	56 21.2	69 26.1	13 4.9	21 8.0	4 1.5
精神障害	12 100.0	7 58.3	2 16.7	4 33.3	3 25.0	8 66.7	3 25.0	4 33.3	2 16.7	2 16.7	-	1 8.3	-
難病	143 100.0	58 40.6	38 26.6	42 29.4	20 14.0	80 55.9	34 23.8	50 35.0	30 21.0	40 28.0	9 6.3	11 7.7	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	2 66.7	-	-

問 48 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】  
あなたが現在通っているところがありますか。（○はいくつでも）

「その他の療育機関」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「保育所（園）」の割合が 33.7%、「療育センター」の割合が 22.5%となっています。



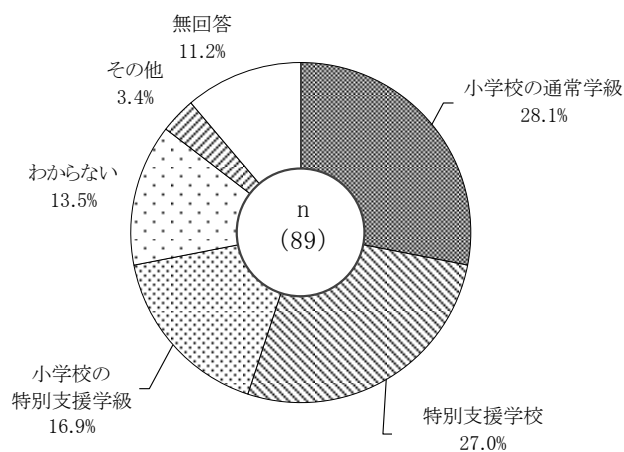
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	保育所 (園)	幼稚園	特別支援 学校の幼 稚部	療育セン ター	大宮学園	桜木園	その他の 療育機関	通ってい る所はな い	その他	無回答
全 体	89 100.0	30 33.7	19 21.3	2 2.2	20 22.5	17 19.1	1 1.1	35 39.3	4 4.5	10 11.2	8 9.0
身体障害	55 100.0	17 30.9	9 16.4	2 3.6	11 20.0	7 12.7	-	18 32.7	4 7.3	6 10.9	4 7.3
知的障害	48 100.0	19 39.6	11 22.9	-	12 25.0	13 27.1	1 2.1	23 47.9	1 2.1	7 14.6	3 6.3
精神障害	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
難病	16 100.0	3 18.8	3 18.8	-	2 12.5	6 37.5	-	6 37.5	-	1 6.3	1 6.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 49 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。  
あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は1つ）

「小学校の通常学級」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「特別支援学校」の割合が 27.0%、「小学校の特別支援学級」の割合が 16.9%となっています。



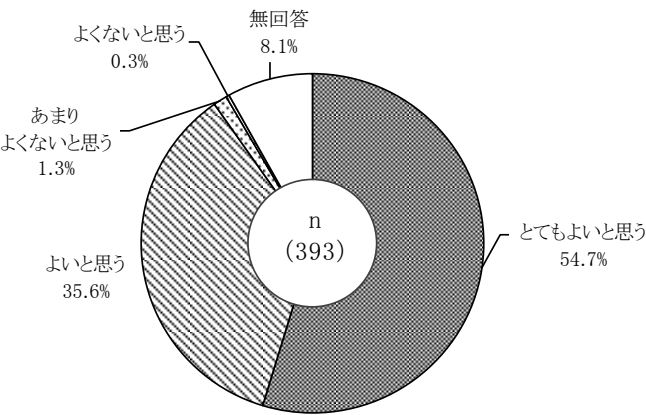
#### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	小学校の通常学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校	わからない	その他	無回答
全 体	89 100.0	25 28.1	15 16.9	24 27.0	12 13.5	3 3.4	10 11.2
身体障害	55 100.0	20 36.4	4 7.3	19 34.5	5 9.1	1 1.8	6 10.9
知的障害	48 100.0	5 10.4	13 27.1	15 31.3	8 16.7	3 6.3	4 8.3
精神障害	1 100.0	—	—	—	—	—	1 100.0
難病	16 100.0	4 25.0	2 12.5	6 37.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3
無回答	—	—	—	—	—	—	—

問 50 【保護者の方におたずねします。】  
療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。  
(○は1つ)

「とてもよいと思う」と「よいと思う」をあわせた“よいと思う”の割合が 90.3%、「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」をあわせた“よくないと思う”の割合が 1.6%となっています。



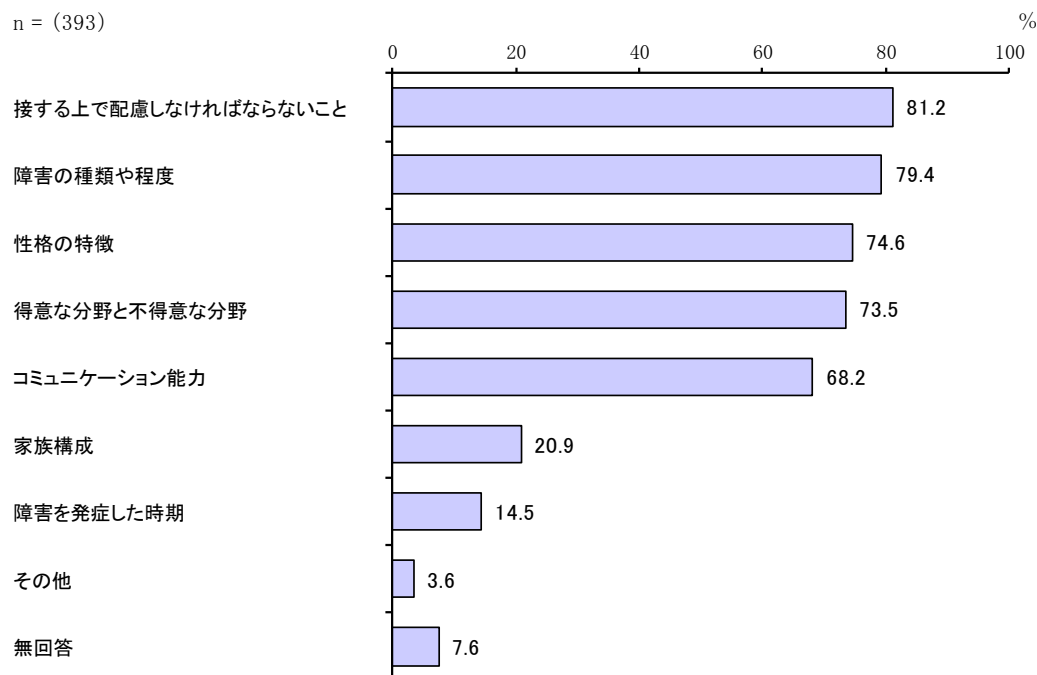
【障害種別】

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	393	215	140	5	1	32
	100.0	54.7	35.6	1.3	0.3	8.1
身体障害	206	114	71	1	—	20
	100.0	55.3	34.5	0.5	—	9.7
知的障害	246	135	88	4	1	18
	100.0	54.9	35.8	1.6	0.4	7.3
精神障害	12	6	3	—	—	3
	100.0	50.0	25.0	—	—	25.0
難病	47	32	11	—	—	4
	100.0	68.1	23.4	—	—	8.5
無回答	5	3	2	—	—	—
	100.0	60.0	40.0	—	—	—

問 51 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「接する上で配慮しなければならないこと」の割合が81.2%と最も高く、次いで「障害の種類や程度」の割合が79.4%、「性格の特徴」の割合が74.6%となっています。



【障害種別】

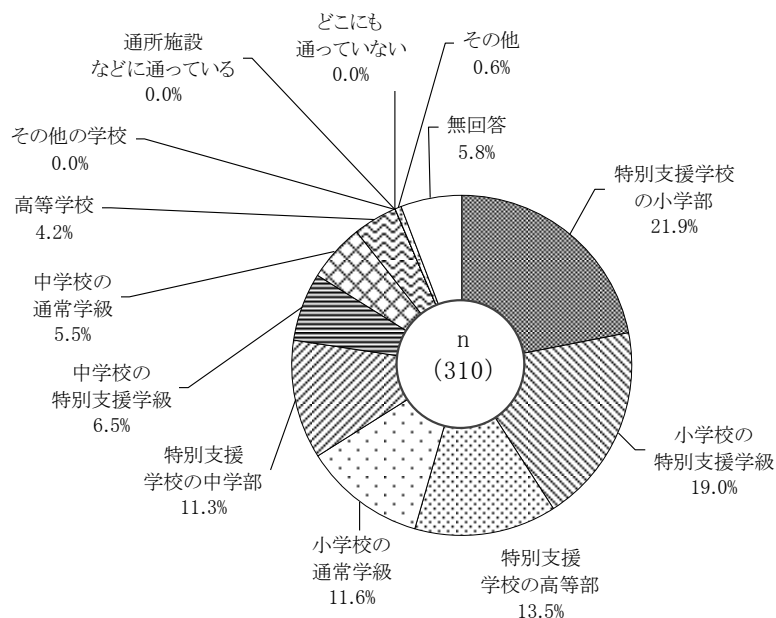
単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害の種類 や程度	性格の特徴	得意な分野 と不得意な 分野	コミュニケー ション能力	接する上で 配慮しなけ ればならな いこと	家族構成	障害を発症 した時期	その他	無回答
全 体	393 100.0	312 79.4	293 74.6	289 73.5	268 68.2	319 81.2	82 20.9	57 14.5	14 3.6	30 7.6
身体障害	206 100.0	169 82.0	136 66.0	139 67.5	124 60.2	166 80.6	45 21.8	37 18.0	9 4.4	18 8.7
知的障害	246 100.0	193 78.5	204 82.9	194 78.9	190 77.2	201 81.7	57 23.2	38 15.4	10 4.1	18 7.3
精神障害	12 100.0	8 66.7	8 66.7	8 66.7	8 66.7	8 66.7	2 16.7	1 8.3	-	3 25.0
難病	47 100.0	41 87.2	36 76.6	37 78.7	33 70.2	42 89.4	10 21.3	7 14.9	1 2.1	3 6.4
無回答	5 100.0	5 100.0	4 80.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	-	-	-	-

## (9) 学校・教育について

問 52 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。(○は1つ)

「特別支援学校の小学部」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「小学校の特別支援学級」の割合が 19.0%、「特別支援学校の高等部」の割合が 13.5%となっています。



### 【障害種別】

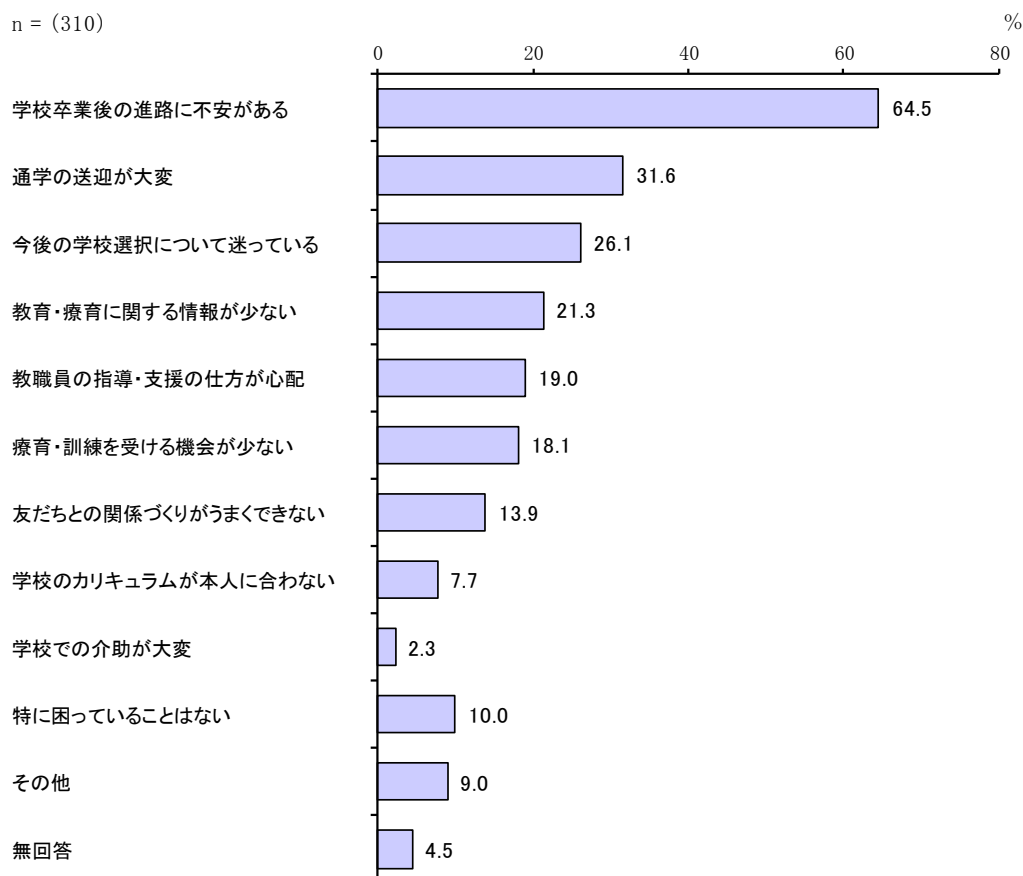
単位 上段:件、下段:%

	調査数	小学校の通常学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校の小学部	中学校の通常学級	中学校の特別支援学級	特別支援学校の中学部	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	通所施設などに通っている	どこにも通っていない	その他	無回答
全 体	310 100.0	36 11.6	59 19.0	68 21.9	17 5.5	20 6.5	35 11.3	13 4.2	42 13.5	-	-	-	2 0.6	18 5.8
身体障害	154 100.0	22 14.3	9 5.8	45 29.2	11 7.1	3 1.9	23 14.9	10 6.5	24 15.6	-	-	-	-	7 4.5
知的障害	201 100.0	9 4.5	51 25.4	39 19.4	5 2.5	20 10.0	24 11.9	2 1.0	34 16.9	-	-	-	2 1.0	15 7.5
精神障害	12 100.0	1 8.3	7 58.3	1 8.3	-	-	-	-	1 8.3	-	-	-	-	2 16.7
難病	32 100.0	6 18.8	4 12.5	6 18.8	-	-	3 9.4	2 6.3	10 31.3	-	-	-	-	1 3.1
無回答	5 100.0	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-

問 53 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

「学校卒業後の進路に不安がある」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「通学の送迎が大変」の割合が 31.6%、「今後の学校選択について迷っている」の割合が 26.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「今後の学校選択について迷っている」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「学校卒業後の進路に不安がある」は、平成 28 年度調査では「学校終了後の進路に不安がある」でした。

# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	教育・療育に関する情報が少ない	学校での介助が大変	通学の送迎が大変	教職員の指導・支援の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりがうまくできない	療育・訓練を受ける機会が少ない	今後の学校選択について迷っている	学校卒業後の進路に不安がある	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	310 100.0	66 21.3	7 2.3	98 31.6	59 19.0	24 7.7	43 13.9	56 18.1	81 26.1	200 64.5	31 10.0	28 9.0	14 4.5
身体障害	154 100.0	25 16.2	3 1.9	60 39.0	28 18.2	11 7.1	12 7.8	24 15.6	33 21.4	99 64.3	16 10.4	13 8.4	7 4.5
知的障害	201 100.0	48 23.9	3 1.5	55 27.4	39 19.4	14 7.0	24 11.9	44 21.9	54 26.9	144 71.6	16 8.0	17 8.5	10 5.0
精神障害	12 100.0	5 41.7	-	8 66.7	4 33.3	2 16.7	3 25.0	2 16.7	3 25.0	9 75.0	-	-	1 8.3
難病	32 100.0	6 18.8	1 3.1	17 53.1	9 28.1	-	3 9.4	8 25.0	8 25.0	24 75.0	1 3.1	4 12.5	1 3.1
無回答	5 100.0	-	-	3 60.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	-	4 80.0	-	-	-

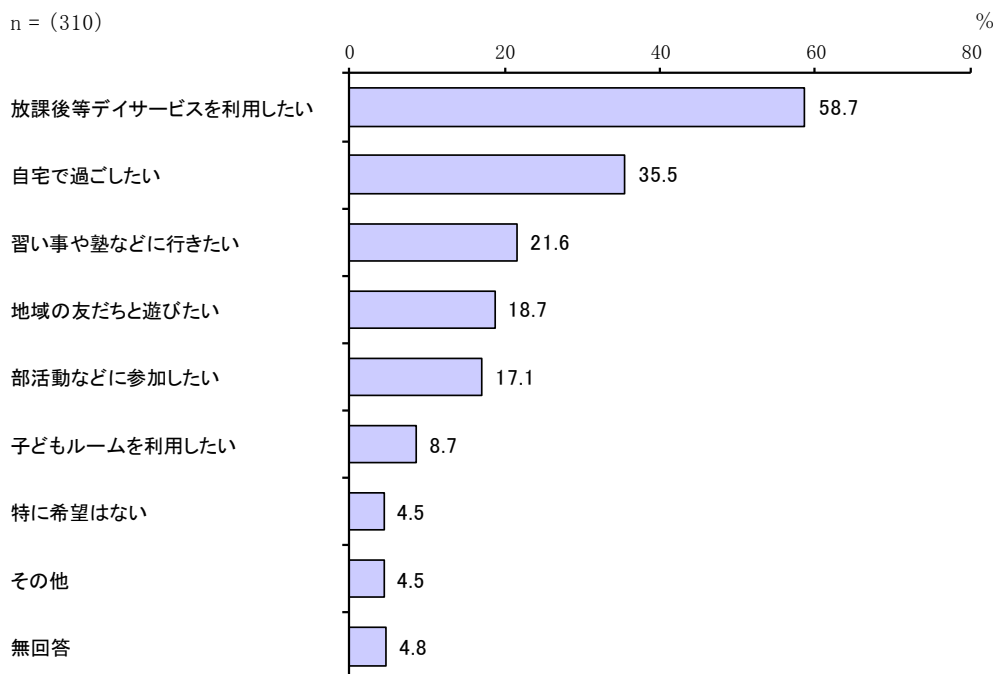
# 【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	教育・療育に関する情報が少ない	学校での介助が大変	通学の送迎が大変	教職員の指導・支援の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりがうまくできない	療育・訓練を受ける機会が少ない	今後の学校選択について迷っている	学校終了後の進路に不安がある	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	345 100.0	60 17.4	5 1.4	102 29.6	70 20.3	24 7.0	42 12.2	66 19.1	70 20.3	220 63.8	34 9.9	17 4.9	40 11.6
身体障害	184 100.0	19 10.3	4 2.2	62 33.7	30 16.3	9 4.9	15 8.2	27 14.7	29 15.8	109 59.2	18 9.8	8 4.3	26 14.1
知的障害	227 100.0	52 22.9	4 1.8	70 30.8	52 22.9	18 7.9	29 12.8	59 26.0	55 24.2	165 72.7	17 7.5	13 5.7	19 8.4
精神障害	11 100.0	-	-	2 18.2	4 36.4	1 9.1	2 18.2	2 18.2	1 9.1	10 90.9	-	-	1 9.1
難病	105 100.0	15 14.3	1 1.0	31 29.5	21 20.0	5 4.8	15 14.3	21 20.0	21 20.0	65 61.9	9 8.6	5 4.8	12 11.4
無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-

問 54 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

「放課後等デイサービスを利用したい」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「自宅で過ごしたい」の割合が 35.5%、「習い事や塾などに行きたい」の割合が 21.6%となっています。



【障害種別】

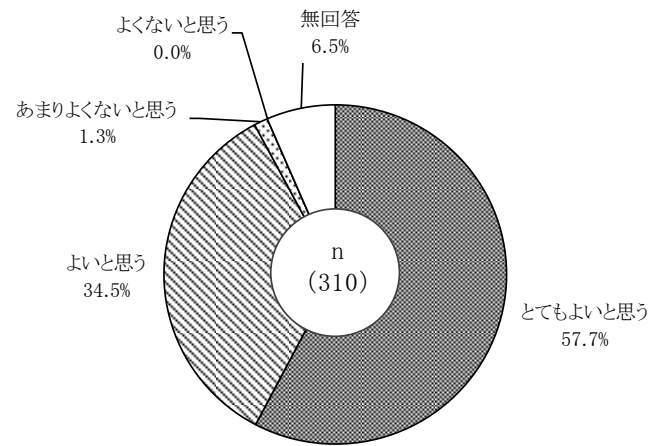
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で過ごしたい	地域の友だちと遊びたい	放課後等デイサービスを利用したい	子どもルームを利用したい	部活動などに参加したい	習い事や塾などに行きたい	特に希望はない	その他	無回答
全 体	310	110	58	182	27	53	67	14	14	15
	100.0	35.5	18.7	58.7	8.7	17.1	21.6	4.5	4.5	4.8
身体障害	154	51	31	79	10	30	33	11	9	6
	100.0	33.1	20.1	51.3	6.5	19.5	21.4	7.1	5.8	3.9
知的障害	201	63	29	140	20	27	33	5	8	11
	100.0	31.3	14.4	69.7	10.0	13.4	16.4	2.5	4.0	5.5
精神障害	12	6	1	8	2	—	1	1	1	1
	100.0	50.0	8.3	66.7	16.7	—	8.3	8.3	8.3	8.3
難病	32	9	7	16	3	8	5	2	2	1
	100.0	28.1	21.9	50.0	9.4	25.0	15.6	6.3	6.3	3.1
無回答	5	3	1	3	—	2	1	—	—	—
	100.0	60.0	20.0	60.0	—	40.0	20.0	—	—	—

問 55 【保護者の方におたずねします。】

小学校（初等部）から中学校（中等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校（中等部）に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

「とてもよいと思う」と「よいと思う」をあわせた“よいと思う”の割合が 92.2%、「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」をあわせた“よくないと思う”の割合が 1.3%となっています。



【障害種別】

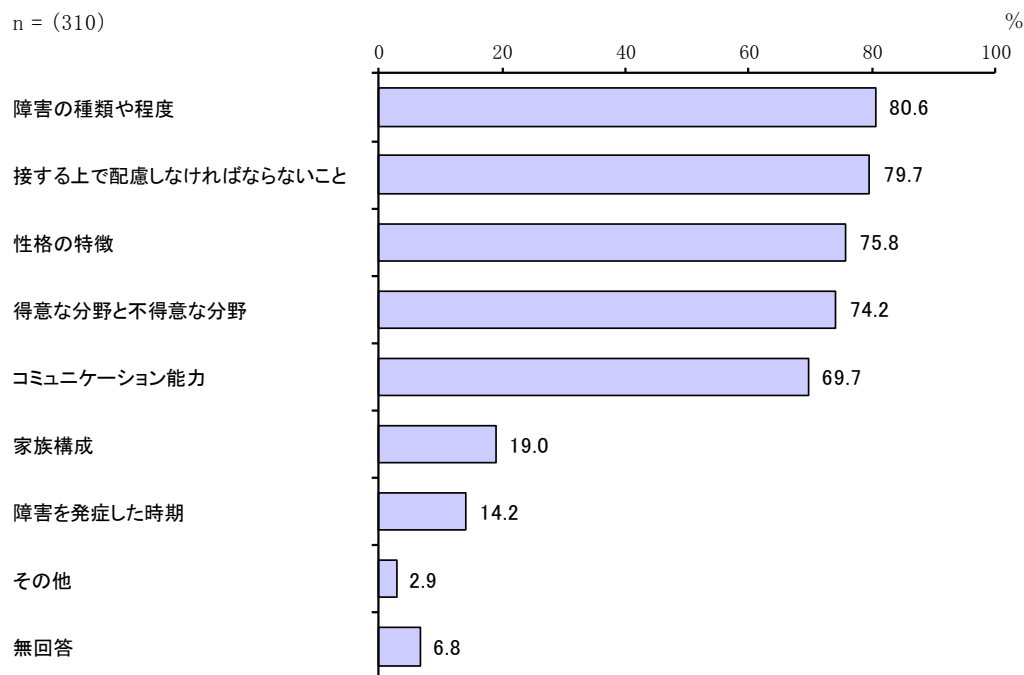
単位 上段：件、下段：%

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	310 100.0	179 57.7	107 34.5	4 1.3	—	20 6.5
身体障害	154 100.0	90 58.4	54 35.1	1 0.6	—	9 5.8
知的障害	201 100.0	118 58.7	67 33.3	3 1.5	—	13 6.5
精神障害	12 100.0	6 50.0	5 41.7	—	—	1 8.3
難病	32 100.0	21 65.6	8 25.0	1 3.1	—	2 6.3
無回答	5 100.0	5 100.0	—	—	—	—

問 56 【保護者の方におたずねします。】

小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。  
(○はいくつでも)

「障害の種類や程度」の割合が 80.6%と最も高く、次いで「接する上で配慮しなければならないこと」の割合が 79.7%、「性格の特徴」の割合が 75.8%となっています。



【障害種別】

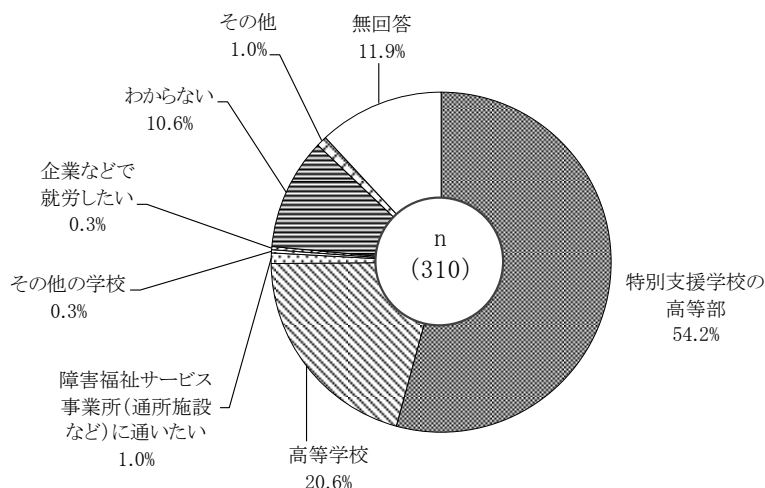
単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害の種類 や程度	性格の特徴	得意な分野 と不得意な 分野	コミュニケー ション能力	接する上で 配慮しなけ ればならな いこと	家族構成	障害を発症 した時期	その他	無回答
全 体	310 100.0	250 80.6	235 75.8	230 74.2	216 69.7	247 79.7	59 19.0	44 14.2	9 2.9	21 6.8
身体障害	154 100.0	128 83.1	104 67.5	106 68.8	95 61.7	121 78.6	34 22.1	26 16.9	6 3.9	10 6.5
知的障害	201 100.0	163 81.1	167 83.1	158 78.6	158 78.6	164 81.6	41 20.4	34 16.9	7 3.5	13 6.5
精神障害	12 100.0	11 91.7	10 83.3	9 75.0	10 83.3	8 66.7	3 25.0	3 25.0	-	1 8.3
難病	32 100.0	29 90.6	26 81.3	26 81.3	22 68.8	28 87.5	6 18.8	6 18.8	-	2 6.3
無回答	5 100.0	5 100.0	4 80.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-

問 57 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。(○は1つ)

「特別支援学校の高等部」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「高等学校」の割合が 20.6%、「わからない」の割合が 10.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「特別支援学校の高等部」の割合が減少しています。また、身体障害のある方では、「特別支援学校の高等部」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	企業などで就労したい	わからない	その他	無回答
全 体	310	64	168	1	3	1	33	3	37
	100.0	20.6	54.2	0.3	1.0	0.3	10.6	1.0	11.9
身体障害	154	39	81	—	1	—	13	1	19
	100.0	25.3	52.6	—	0.6	—	8.4	0.6	12.3
知的障害	201	21	132	1	2	1	20	3	21
	100.0	10.4	65.7	0.5	1.0	0.5	10.0	1.5	10.4
精神障害	12	2	4	—	1	—	2	1	2
	100.0	16.7	33.3	—	8.3	—	16.7	8.3	16.7
難病	32	9	16	—	—	—	3	—	4
	100.0	28.1	50.0	—	—	—	9.4	—	12.5
無回答	5	1	2	—	—	—	1	—	1
	100.0	20.0	40.0	—	—	—	20.0	—	20.0

【平成 28 年度調査】

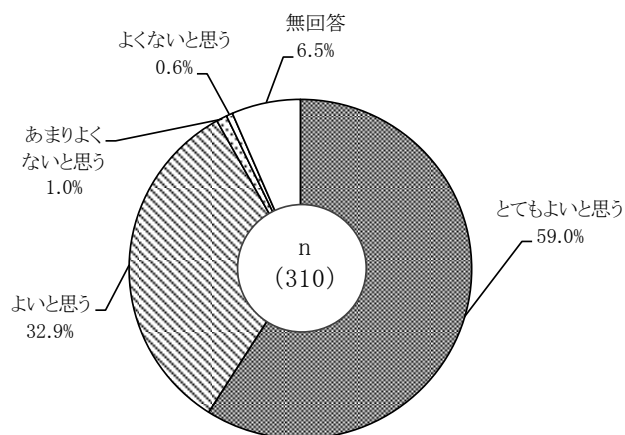
単位 上段:件、下段:%

	調査数	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	企業などで就労したい	わからない	その他	無回答
全 体	247	42	169	1	—	1	23	3	8
	100.0	17.0	68.4	0.4	—	0.4	9.3	1.2	3.2
身体障害	134	30	93	—	—	1	8	1	1
	100.0	22.4	69.4	—	—	0.7	6.0	0.7	0.7
知的障害	169	14	126	1	—	—	18	3	7
	100.0	8.3	74.6	0.6	—	—	10.7	1.8	4.1
精神障害	4	—	3	—	—	—	1	—	—
	100.0	—	75.0	—	—	—	25.0	—	—
難病	76	20	49	—	—	—	4	—	3
	100.0	26.3	64.5	—	—	—	5.3	—	3.9
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 58 【保護者の方におたずねします。】

中学校（中学部）から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校（高等部）に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

「とてもよいと思う」と「よいと思う」をあわせた“よいと思う”の割合が 91.9%、「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」をあわせた“よくないと思う”の割合が 1.6%となっています。



【障害種別】

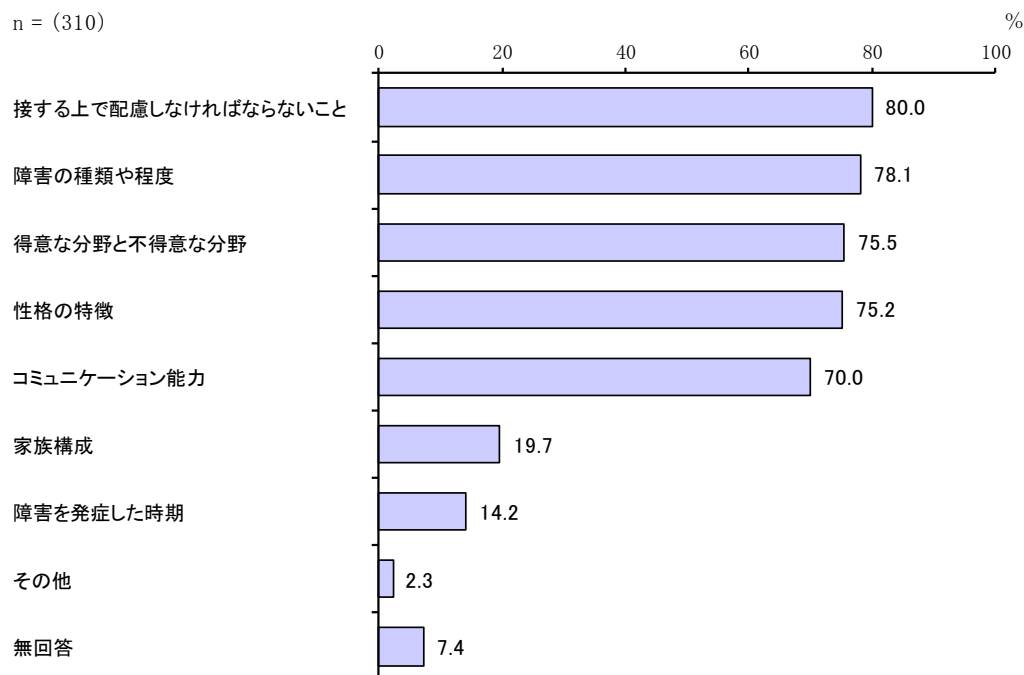
単位 上段：件、下段：%

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	310	183	102	3	2	20
	100.0	59.0	32.9	1.0	0.6	6.5
身体障害	154	90	52	1	2	9
	100.0	58.4	33.8	0.6	1.3	5.8
知的障害	201	123	63	2	—	13
	100.0	61.2	31.3	1.0	—	6.5
精神障害	12	6	4	—	—	2
	100.0	50.0	33.3	—	—	16.7
難病	32	20	8	—	1	3
	100.0	62.5	25.0	—	3.1	9.4
無回答	5	5	—	—	—	—
	100.0	100.0	—	—	—	—

問 59 【保護者の方におたずねします。】

中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。（〇はいくつでも）

「接する上で配慮しなければならないこと」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「障害の種類や程度」の割合が 78.1%、「得意な分野と不得意な分野」の割合が 75.5%となっています。



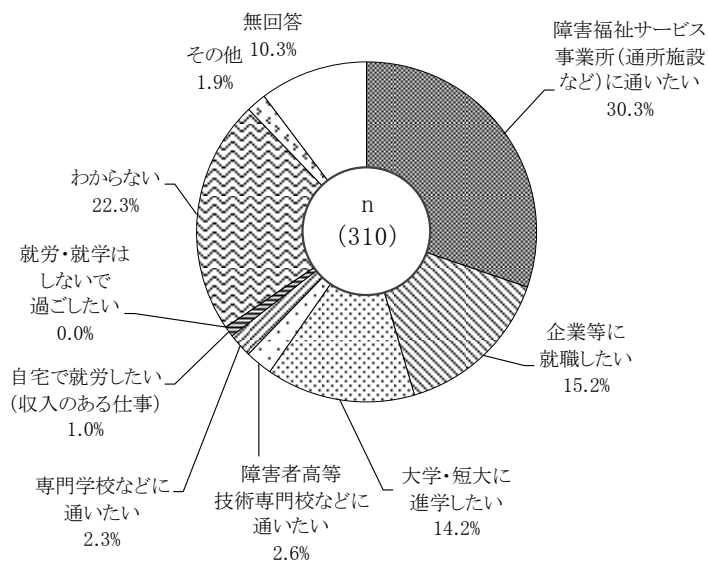
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害の種類 や程度	性格の特徴	得意な分野 と不得意な 分野	コミュニケー ション能力	接する上で 配慮しなけ ればならな いこと	家族構成	障害を発症 した時期	その他	無回答
全 体	310 100.0	242 78.1	233 75.2	234 75.5	217 70.0	248 80.0	61 19.7	44 14.2	7 2.3	23 7.4
身体障害	154 100.0	124 80.5	104 67.5	105 68.2	95 61.7	124 80.5	32 20.8	26 16.9	4 2.6	11 7.1
知的障害	201 100.0	157 78.1	169 84.1	164 81.6	159 79.1	163 81.1	45 22.4	33 16.4	6 3.0	14 7.0
精神障害	12 100.0	8 66.7	8 66.7	7 58.3	8 66.7	9 75.0	2 16.7	2 16.7	-	3 25.0
難病	32 100.0	29 90.6	26 81.3	26 81.3	22 68.8	28 87.5	6 18.8	6 18.8	-	2 6.3
無回答	5 100.0	5 100.0	4 80.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-

問 60 あなたは、高等学校（高等部）卒業後、どのような進路を希望していますか。  
（○は1つ）

「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 22.3%、「企業等に就職したい」の割合が 15.2%となっています。



#### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	企業等に就職したい	大学・短大に進学したい	専門学校などに通いたい	障害者高等技術専門学校などに通いたい	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	自宅で就労したい(収入のある仕事)	就労・就学はしないで過ごしたい	わからない	その他	無回答
全 体	310 100.0	47 15.2	44 14.2	7 2.3	8 2.6	94 30.3	3 1.0	—	69 22.3	6 1.9	32 10.3
身体障害	154 100.0	11 7.1	37 24.0	3 1.9	3 1.9	50 32.5	1 0.6	—	32 20.8	6 3.9	11 7.1
知的障害	201 100.0	38 18.9	4 2.0	4 2.0	8 4.0	77 38.3	1 0.5	—	42 20.9	4 2.0	23 11.4
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3	—	1 8.3	1 8.3	2 16.7
難病	32 100.0	2 6.3	8 25.0	—	1 3.1	9 28.1	—	—	8 25.0	—	4 12.5
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	—	—	1 20.0	—	—	1 20.0	—	1 20.0

## (10) 日中活動・就労について

問 61 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。  
(最もあてはまる番号 1 つだけ○)

「特に何もしていない」、「学校などに通っている」が 1 件となっています。

問 62 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」、「障害者向けの求人情報の提供」、「障害理解を促進するための職場への働きかけ」が 2 件となっています。

問 63 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

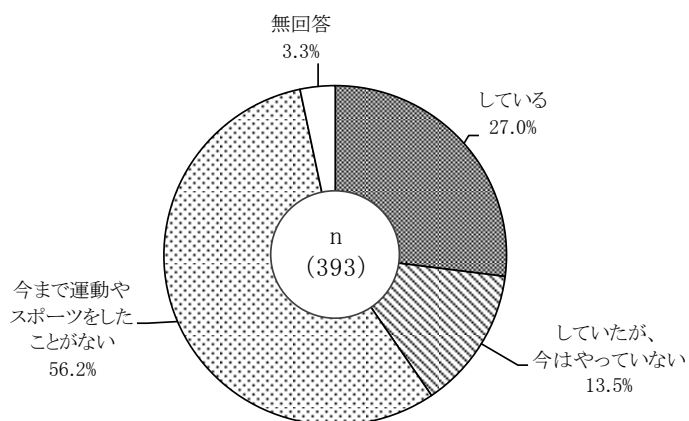
「趣味・教養に関する活動」、「スポーツ活動」、「特にない」が 1 件となっています。

## (11) 運動やスポーツについて

問 64 あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「している」の割合が 27.0%、「していたが、今はやっていない」の割合が 13.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が増加しています。



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	393	106	53	221	13
	100.0	27.0	13.5	56.2	3.3
身体障害	206	45	24	127	10
	100.0	21.8	11.7	61.7	4.9
知的障害	246	60	33	146	7
	100.0	24.4	13.4	59.3	2.8
精神障害	12	4	1	7	-
	100.0	33.3	8.3	58.3	-
難病	47	11	5	26	5
	100.0	23.4	10.6	55.3	10.6
無回答	5	1	2	2	-
	100.0	20.0	40.0	40.0	-

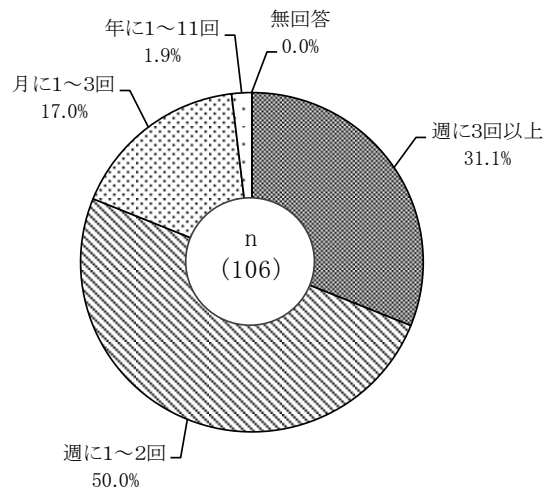
### 【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	427	98	61	216	52
	100.0	23.0	14.3	50.6	12.2
身体障害	239	50	28	130	31
	100.0	20.9	11.7	54.4	13.0
知的障害	264	66	40	133	25
	100.0	25.0	15.2	50.4	9.5
精神障害	12	1	4	5	2
	100.0	8.3	33.3	41.7	16.7
難病	143	25	13	79	26
	100.0	17.5	9.1	55.2	18.2
無回答	3	2	-	1	-
	100.0	66.7	-	33.3	-

問 65 【問 64 で「している」に○をつけた方におたずねします。  
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

「週に1～2回」の割合が50.0%と最も高く、次いで「週に3回以上」の割合が31.1%、「月に1～3回」の割合が17.0%となっています。



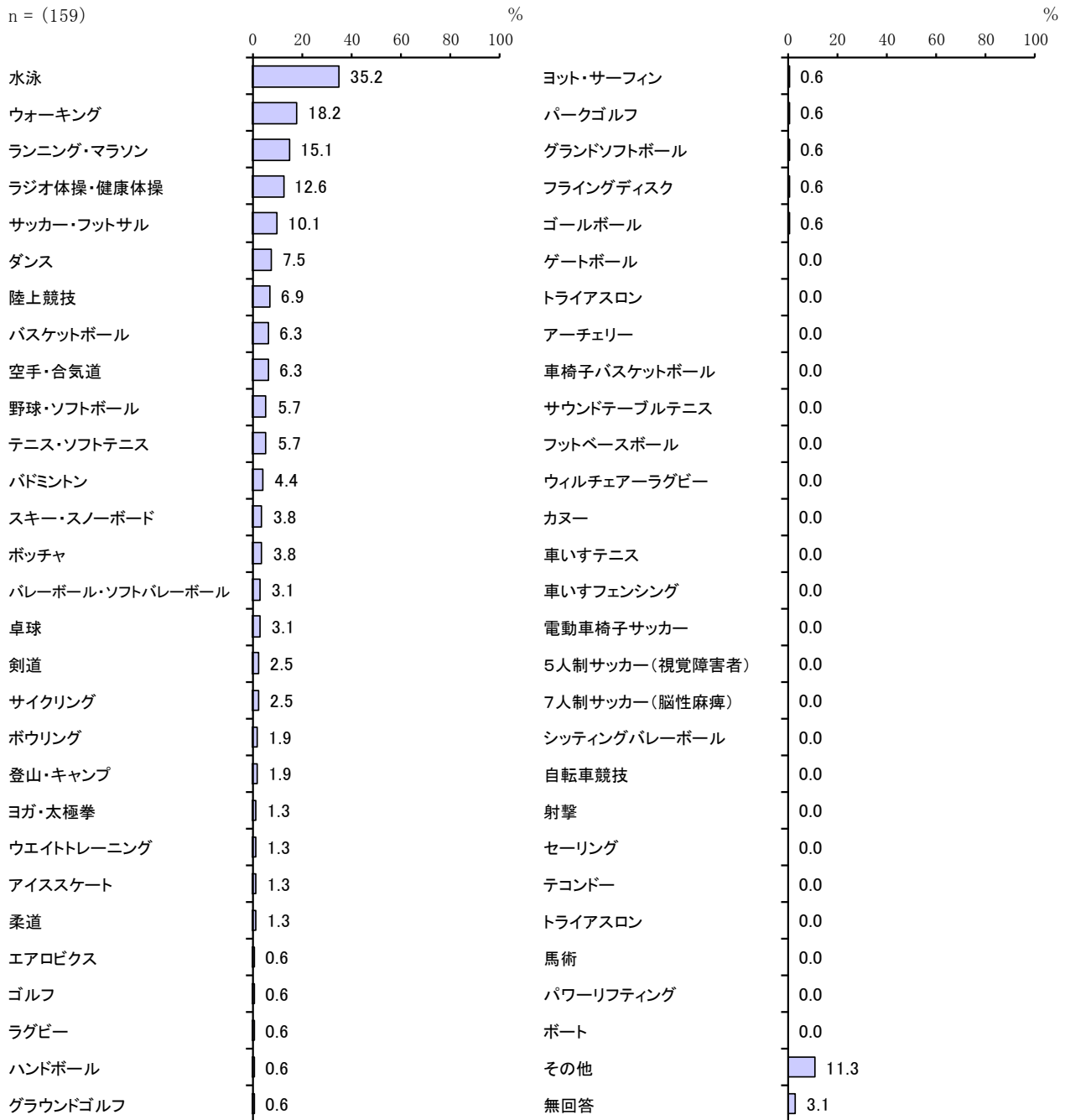
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	106	33	53	18	2	-
	100.0	31.1	50.0	17.0	1.9	-
身体障害	45	14	22	8	1	-
	100.0	31.1	48.9	17.8	2.2	-
知的障害	60	18	30	11	1	-
	100.0	30.0	50.0	18.3	1.7	-
精神障害	4	1	3	-	-	-
	100.0	25.0	75.0	-	-	-
難病	11	3	5	3	-	-
	100.0	27.3	45.5	27.3	-	-
無回答	1	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-

問 66 【問 64 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○  
をつけた方におたずねします。】  
あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「水泳」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「ウォーキング」の割合が 18.2%、「ランニング・マラソン」の割合が 15.1%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	ラジオ体操・健康体操	ヨガ・太極拳	ウエイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	野球・ソフトボール	ゴルフ	サッカー・フットサル	ラグビー	バスケットボール	陸上競技
全 体	159 100.0	29 18.2	24 15.1	20 12.6	2 1.3	2 1.3	12 7.5	1 0.6	56 35.2	9 5.7	1 0.6	16 10.1	1 0.6	10 6.3	11 6.9
身体障害	69 100.0	7 10.1	9 13.0	5 7.2	-	1 1.4	5 7.2	1 1.4	25 36.2	8 11.6	1 1.4	9 13.0	1 1.4	2 2.9	5 7.2
知的障害	93 100.0	22 23.7	15 16.1	15 16.1	2 2.2	1 1.1	9 9.7	-	31 33.3	3 3.2	-	8 8.6	-	7 7.5	7 7.5
精神障害	5 100.0	3 60.0	-	1 20.0	-	-	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-
難病	16 100.0	2 12.5	1 6.3	2 12.5	-	-	1 6.3	-	7 43.8	-	-	2 12.5	-	-	1 6.3
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3

	バレーボール・ソフトバレーボール	テニス・ソフトテニス	ハンドボール	卓球	バドミントン	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道	剣道	空手・合気道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング
全 体	5 3.1	9 5.7	1 0.6	5 3.1	7 4.4	2 1.3	6 3.8	2 1.3	4 2.5	10 6.3	-	3 1.9	1 0.6	3 1.9	4 2.5
身体障害	3 4.3	4 5.8	1 1.4	2 2.9	4 5.8	2 2.9	4 5.8	1 1.4	2 2.9	5 7.2	-	2 2.9	1 1.4	1 1.4	1 1.4
知的障害	2 2.2	3 3.2	-	3 3.2	3 3.2	-	2 2.2	1 1.1	1 1.1	4 4.3	-	1 1.1	-	2 2.2	2 2.2
精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	-	1 6.3	-	-	-	-	1 6.3	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

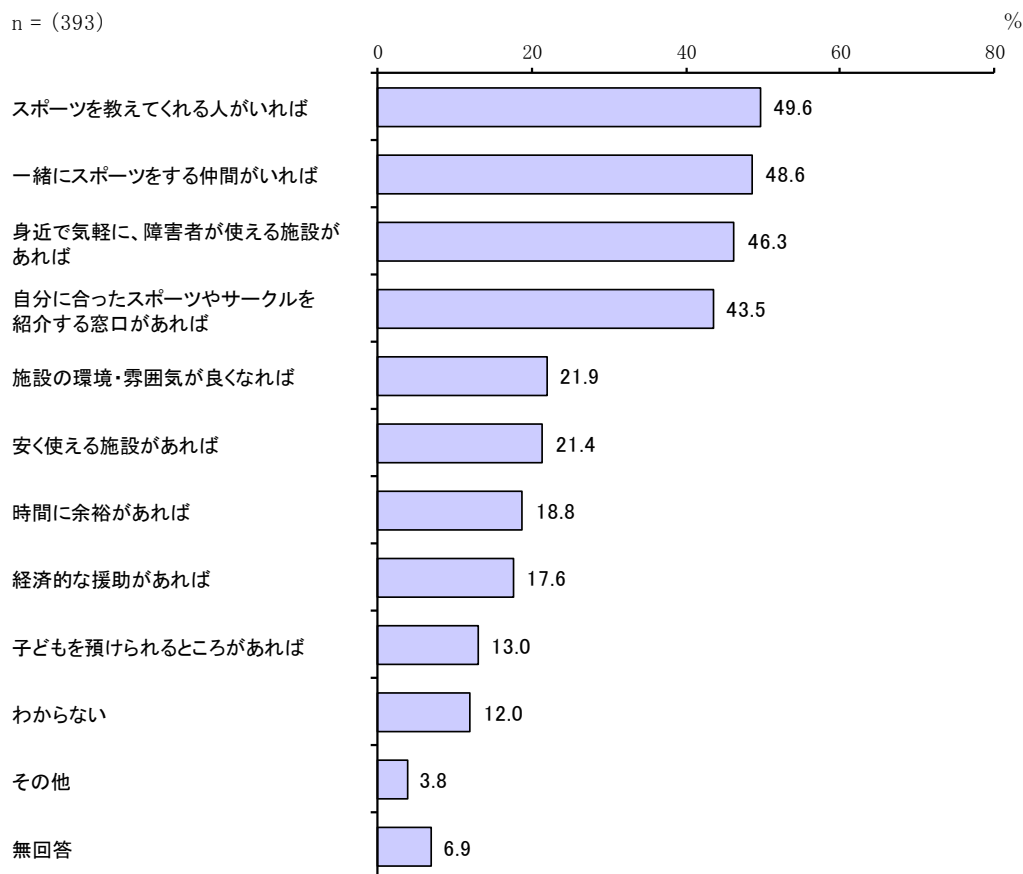
	ヨット・サーフィン	トライアスロン	パークゴルフ	アーチェリー	グランドソフトボール	車椅子バスケットボール	サウンドテーブルテニス	フットベースボール	フライングディスク	ウィルチェアーラグビー	カヌー	車いすテニス	車いすフェンシング	ゴールボール	電動車椅子サッカー
全 体	1 0.6	-	1 0.6	-	1 0.6	-	-	-	1 0.6	-	-	-	-	1 0.6	-
身体障害	-	-	1 1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知的障害	1 1.1	-	-	-	1 1.1	-	-	-	1 1.1	-	-	-	-	1 1.1	-
精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	5人制サッカー(視覚障害者)	7人制サッカー(脳性麻痺)	シッティングバレーボール	自転車競技	射撃	セーリング	テコンドー	トライアスロン	馬術	パワーリフティング	ボート	ボッチャ	その他	無回答
全 体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6 3.8	18 11.3	5 3.1
身体障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 2.9	9 13.0	3 4.3
知的障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4 4.3	9 9.7	3 3.2
精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 40.0	-
難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 12.5	3 18.8	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

**問 67 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**

「スポーツを教えてくれる人がいれば」の割合が49.6%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをする仲間がいれば」の割合が48.6%、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」の割合が46.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」の割合が増加しています。一方、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」、「安く使える施設があれば」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	一緒に スポーツをする 仲間がいれば	スポー ツを教え てくれる 人がい れば	自分に 合ったス ポーツ やサー クルを紹 介する 窓口が あれば	子どもを 預けら れるとこ ろがあ れば	身近で 気軽に、 障害者 が使える 施設が あれば	安く使え る施設 があれば	施設の 環境・雰 囲気が 良くなれ ば	時間に 余裕が あれば	経済的 な援助 があれば	わから ない	その他	無回答
全 体	393 100.0	191 48.6	195 49.6	171 43.5	51 13.0	182 46.3	84 21.4	86 21.9	74 18.8	69 17.6	47 12.0	15 3.8	27 6.9
身体障害	206 100.0	95 46.1	90 43.7	79 38.3	20 9.7	92 44.7	40 19.4	44 21.4	36 17.5	27 13.1	30 14.6	11 5.3	22 10.7
知的障害	246 100.0	121 49.2	133 54.1	109 44.3	36 14.6	124 50.4	61 24.8	57 23.2	43 17.5	50 20.3	24 9.8	12 4.9	13 5.3
精神障害	12 100.0	5 41.7	6 50.0	7 58.3	3 25.0	6 50.0	4 33.3	4 33.3	3 25.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	—
難病	47 100.0	18 38.3	18 38.3	20 42.6	6 12.8	21 44.7	10 21.3	8 17.0	6 12.8	6 12.8	7 14.9	2 4.3	8 17.0
無回答	5 100.0	4 80.0	4 80.0	2 40.0	—	3 60.0	—	2 40.0	2 40.0	2 40.0	—	—	—

【平成 28 年度調査】

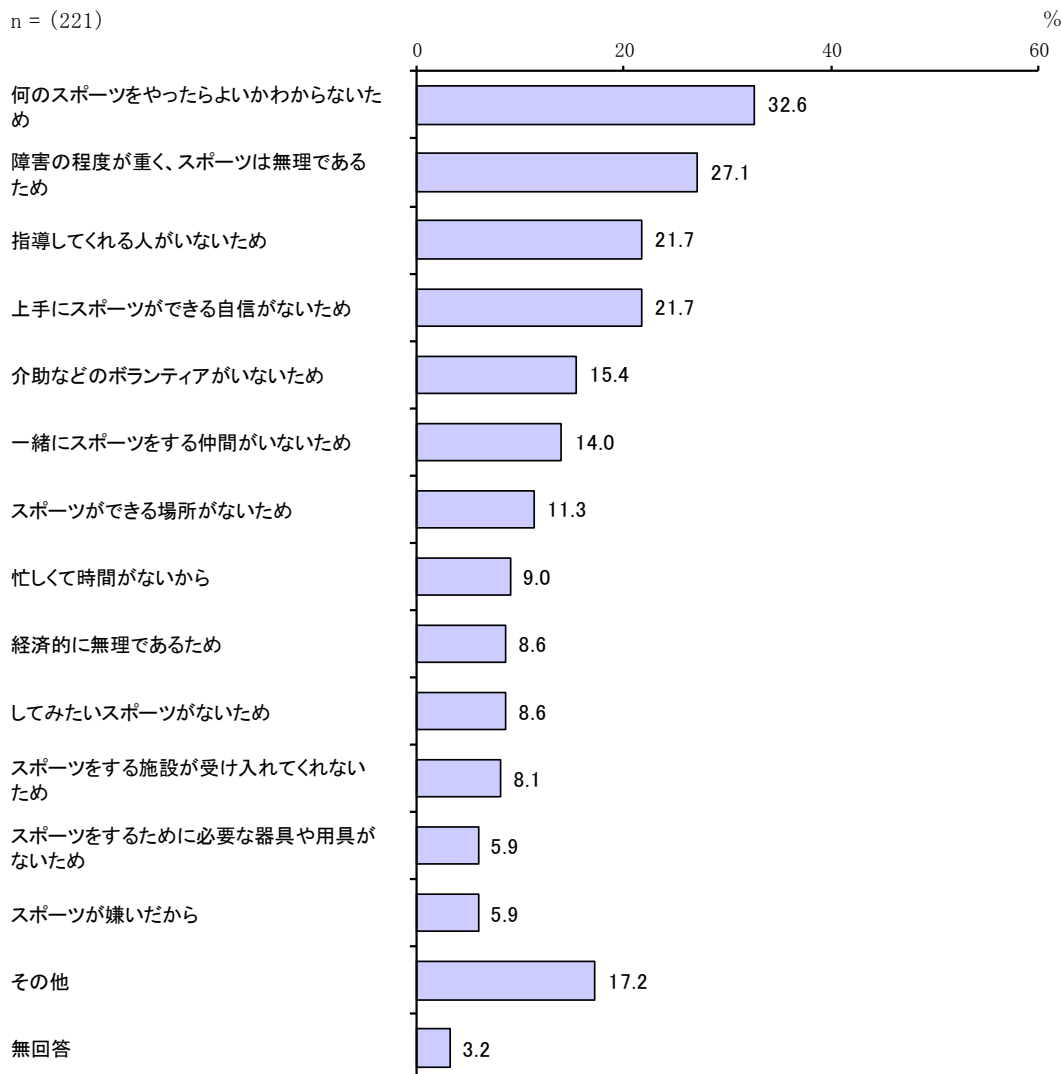
単位 上段：件、下段：%

	調査数	一緒に スポーツをする 仲間がいれば	スポー ツを教え てくれる 人がい れば	自分に 合ったス ポーツ やサー クルを紹 介する 窓口が あれば	子どもを 預けら れるとこ ろがあ れば	身近で 気軽に、 障害者 が使える 施設が あれば	安く使え る施設 があれば	施設の 環境・雰 囲気が 良くなれ ば	時間に 余裕が あれば	経済的 な援助 があれば	わから ない	その他	無回答
全 体	427 100.0	183 42.9	196 45.9	143 33.5	61 14.3	256 60.0	118 27.6	108 25.3	80 18.7	85 19.9	33 7.7	19 4.4	62 14.5
身体障害	239 100.0	94 39.3	94 39.3	79 33.1	28 11.7	139 58.2	64 26.8	54 22.6	35 14.6	35 14.6	27 11.3	10 4.2	36 15.1
知的障害	264 100.0	123 46.6	140 53.0	109 41.3	46 17.4	168 63.6	72 27.3	72 27.3	59 22.3	66 25.0	12 4.5	15 5.7	33 12.5
精神障害	12 100.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	2 16.7	3 25.0	1 8.3	—	2 16.7	2 16.7	3 25.0	1 8.3	4 33.3
難病	143 100.0	48 33.6	52 36.4	41 28.7	14 9.8	83 58.0	35 24.5	30 21.0	24 16.8	21 14.7	15 10.5	3 2.1	29 20.3
無回答	3 100.0	1 33.3	—	—	—	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	—	—	—	—

問 68 【問 64で「今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたがスポーツをしない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「何のスポーツをやったらよいかわからないため」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」の割合が 27.1%、「指導してくれる人がいないため」、「上手にスポーツができる自信がないため」の割合が 21.7%となっています。

n = (221)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

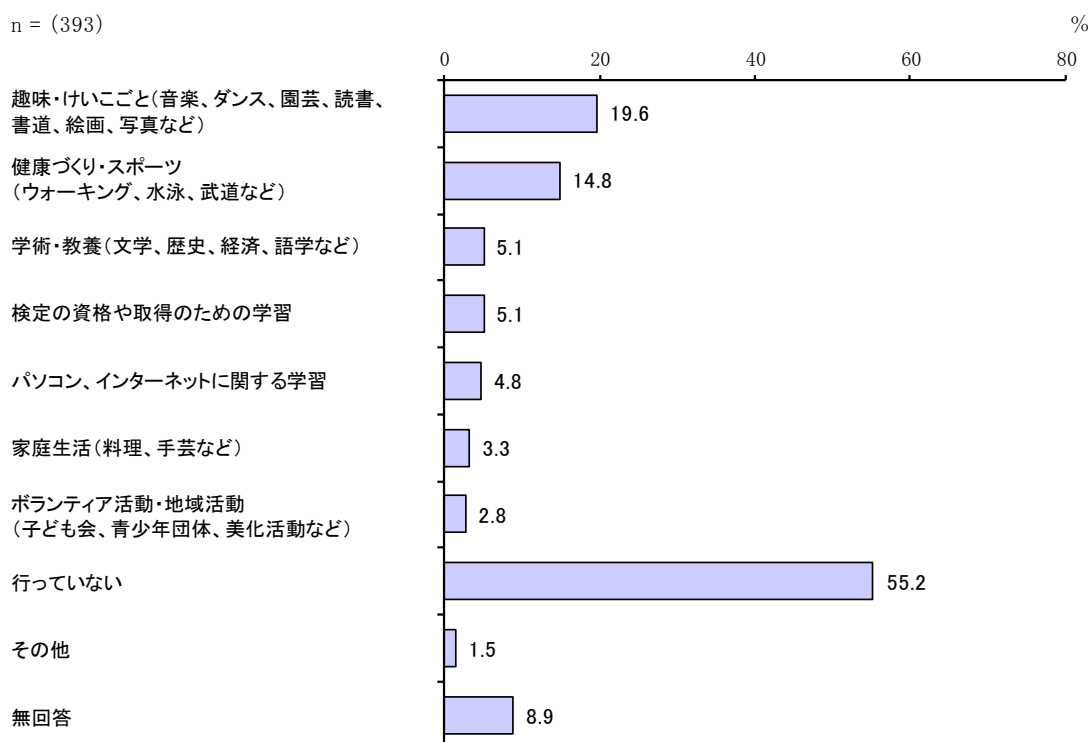
	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため
全 体	221 100.0	25 11.3	18 8.1	48 21.7	48 21.7	13 5.9	19 8.6	31 14.0
身体障害	127 100.0	14 11.0	8 6.3	23 18.1	20 15.7	9 7.1	7 5.5	13 10.2
知的障害	146 100.0	19 13.0	14 9.6	34 23.3	34 23.3	5 3.4	14 9.6	24 16.4
精神障害	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6
難病	26 100.0	4 15.4	3 11.5	7 26.9	3 11.5	2 7.7	2 7.7	4 15.4
無回答	2 100.0	— —	— —	— —	2 100.0	— —	— —	1 50.0

	介助などのボランティアがいないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
全 体	34 15.4	60 27.1	72 32.6	19 8.6	13 5.9	20 9.0	38 17.2	7 3.2
身体障害	19 15.0	53 41.7	41 32.3	4 3.1	3 2.4	7 5.5	21 16.5	5 3.9
知的障害	23 15.8	34 23.3	53 36.3	15 10.3	9 6.2	15 10.3	24 16.4	3 2.1
精神障害	1 14.3	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	3 42.9	— —	— —
難病	5 19.2	12 46.2	10 38.5	— —	— —	1 3.8	4 15.4	2 7.7
無回答	1 50.0	— —	1 50.0	— —	— —	— —	— —	— —

## (12) 趣味や教養などの生涯学習活動について

問 69 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたが行っている(行っていた)活動は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「行っていない」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「趣味・けいごと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)」の割合が 19.6%、「健康づくり・スポーツ(ウォーキング、水泳、武道など)」の割合が 14.8%となっています。



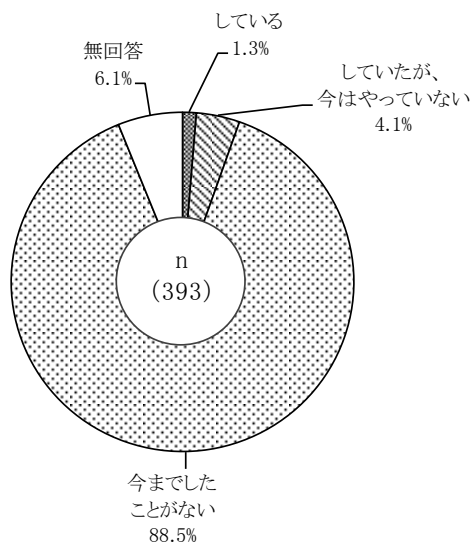
### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	趣味・けいごと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)	学術・教養(文学、歴史、経済、語学など)	健康づくり・スポーツ(ウォーキング、水泳、武道など)	家庭生活(料理、手芸など)	検定の資格や取得のための学習	パソコン、インターネットに関する学習	ボランティア活動・地域活動(子ども会、青少年団体、美化活動など)	行っていない	その他	無回答
全 体	393	77	20	58	13	20	19	11	217	6	35
	100.0	19.6	5.1	14.8	3.3	5.1	4.8	2.8	55.2	1.5	8.9
身体障害	206	39	13	26	8	16	11	6	110	3	22
	100.0	18.9	6.3	12.6	3.9	7.8	5.3	2.9	53.4	1.5	10.7
知的障害	246	39	7	34	5	4	7	4	152	4	24
	100.0	15.9	2.8	13.8	2.0	1.6	2.8	1.6	61.8	1.6	9.8
精神障害	12	1	-	-	-	1	1	-	10	-	-
	100.0	8.3	-	-	-	8.3	8.3	-	83.3	-	-
難病	47	11	4	9	2	4	2	-	20	2	7
	100.0	23.4	8.5	19.1	4.3	8.5	4.3	-	42.6	4.3	14.9
無回答	5	-	-	3	1	-	1	-	1	-	-
	100.0	-	-	60.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-

問 70 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。  
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

「今までしたことがない」の割合が 88.5%と最も高くなっています。



#### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

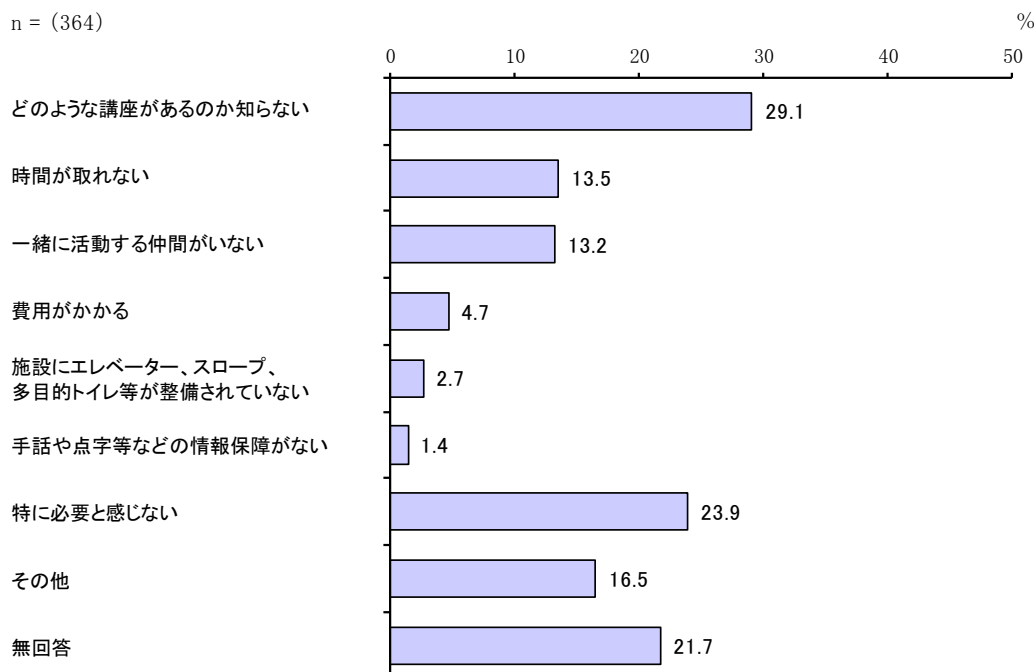
	調査数	している	していたが、 今はやっていない	今までしたことがない	無回答
全 体	393	5	16	348	24
	100.0	1.3	4.1	88.5	6.1
身体障害	206	5	9	175	17
	100.0	2.4	4.4	85.0	8.3
知的障害	246	—	7	226	13
	100.0	—	2.8	91.9	5.3
精神障害	12	—	—	12	—
	100.0	—	—	100.0	—
難病	47	1	2	38	6
	100.0	2.1	4.3	80.9	12.8
無回答	5	—	—	5	—
	100.0	—	—	100.0	—

問 71 【問 70 で「している」と回答した方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。

「年に 1 ～ 11 回」が 3 件となっています。「週に 3 回以上」、「週に 1 ～ 2 回」が 1 件となっています。

問 72 【問 70 で「していたが今はやっていない」または「今までしたことがない」と回答した方におたずねします。】  
あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

「どのような講座があるのか知らない」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「特に必要と感  
じない」の割合が 23.9%、「時間が取れない」の割合が 13.5%となっています。



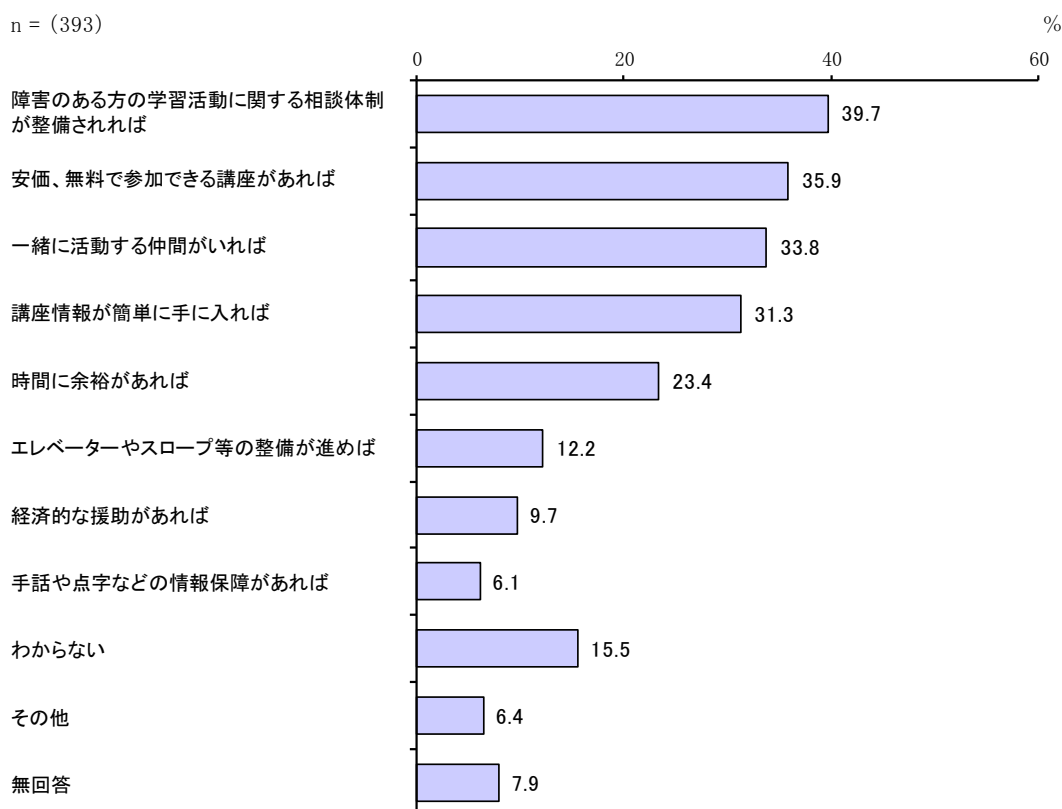
# 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	時間が取れない	一緒に活動する仲間がいない	費用がかかる	施設にエレベーター、スロープ、多目的トイレ等が整備されていない	手話や点字などの情報保障がない	どのような講座があるのか知らない	特に必要と感 じない	その他	無回答
全 体	364 100.0	49 13.5	48 13.2	17 4.7	10 2.7	5 1.4	106 29.1	87 23.9	60 16.5	79 21.7
身体障害	184 100.0	23 12.5	20 10.9	2 1.1	9 4.9	5 2.7	41 22.3	51 27.7	32 17.4	41 22.3
知的障害	233 100.0	31 13.3	33 14.2	14 6.0	4 1.7	2 0.9	75 32.2	49 21.0	43 18.5	47 20.2
精神障害	12 100.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	-	-	5 41.7	2 16.7	2 16.7	3 25.0
難病	40 100.0	5 12.5	7 17.5	-	3 7.5	-	13 32.5	9 22.5	7 17.5	9 22.5
無回答	5 100.0	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0

問 73 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「安価、無料で参加できる講座があれば」の割合が 35.9%、「一緒に活動する仲間がいれば」の割合が 33.8%となっています。



#### 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

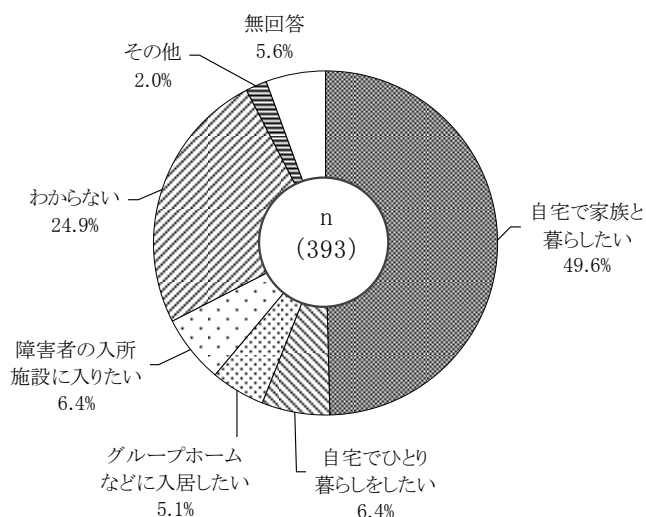
	調査数	時間に余裕があれば	一緒に活動する仲間がいれば	安価、無料で参加できる講座があれば	経済的な援助があれば	エレベーターやスロープ等の整備が進めば	手話や点字などの情報保障があれば	講座情報が簡単に手に入れば	障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば	わからない	その他	無回答
全 体	393	92	133	141	38	48	24	123	156	61	25	31
	100.0	23.4	33.8	35.9	9.7	12.2	6.1	31.3	39.7	15.5	6.4	7.9
身体障害	206	40	61	67	14	38	19	54	69	44	12	23
	100.0	19.4	29.6	32.5	6.8	18.4	9.2	26.2	33.5	21.4	5.8	11.2
知的障害	246	59	90	89	28	24	9	80	112	31	20	18
	100.0	24.0	36.6	36.2	11.4	9.8	3.7	32.5	45.5	12.6	8.1	7.3
精神障害	12	4	4	6	3	2	1	2	6	2	1	—
	100.0	33.3	33.3	50.0	25.0	16.7	8.3	16.7	50.0	16.7	8.3	—
難病	47	11	12	15	4	10	—	15	21	5	2	7
	100.0	23.4	25.5	31.9	8.5	21.3	—	31.9	44.7	10.6	4.3	14.9
無回答	5	1	3	2	—	1	—	3	3	—	—	—
	100.0	20.0	60.0	40.0	—	20.0	—	60.0	60.0	—	—	—

### (13) 将来について

#### 問 74 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

「自宅で家族と暮らしたい」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「自宅でひとり暮らしをしたい」の割合が増加しています。



#### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全 体	393 100.0	195 49.6	25 6.4	20 5.1	25 6.4	98 24.9	8 2.0	22 5.6
身体障害	206 100.0	105 51.0	16 7.8	8 3.9	18 8.7	41 19.9	4 1.9	14 6.8
知的障害	246 100.0	111 45.1	10 4.1	19 7.7	18 7.3	66 26.8	6 2.4	16 6.5
精神障害	12 100.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	— —	6 50.0	— —	— —
難病	47 100.0	20 42.6	4 8.5	— —	1 2.1	14 29.8	— —	8 17.0
無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	— —	— —	1 20.0	— —	— —

#### 【平成 28 年度調査】

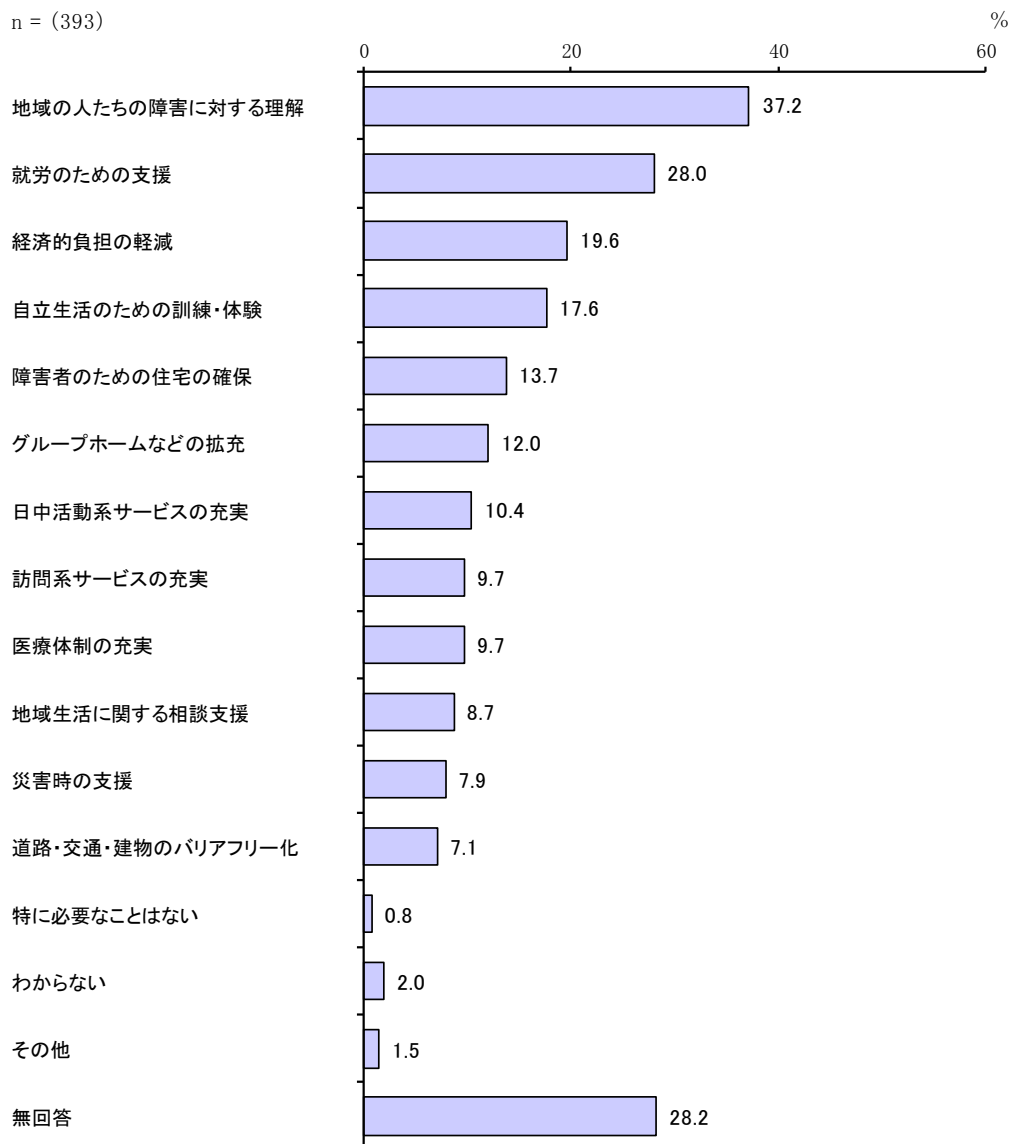
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全 体	427 100.0	227 53.2	19 4.4	27 6.3	23 5.4	106 24.8	8 1.9	17 4.0
身体障害	239 100.0	129 54.0	15 6.3	7 2.9	13 5.4	59 24.7	5 2.1	11 4.6
知的障害	264 100.0	134 50.8	7 2.7	26 9.8	17 6.4	64 24.2	6 2.3	10 3.8
精神障害	12 100.0	7 58.3	— —	1 8.3	1 8.3	2 16.7	— —	1 8.3
難病	143 100.0	79 55.2	7 4.9	4 2.8	4 2.8	45 31.5	— —	4 2.8
無回答	3 100.0	2 66.7	— —	— —	— —	1 33.3	— —	— —

問 75 あなた（や保護者・ご家族の方）は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「地域の人たちの障害に対する理解」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「就労のための支援」の割合が 28.0%、「経済的負担の軽減」の割合が 19.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」、「地域生活に関する相談支援」、「訪問系サービスの充実」、「日中活動系サービスの充実」、「自立生活のための訓練・体験」の割合が減少しています。



# 【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全 体	393 100.0	146 37.2	34 8.7	38 9.7	41 10.4	69 17.6	47 12.0	54 13.7	38 9.7
身体障害	206 100.0	68 33.0	14 6.8	29 14.1	22 10.7	22 10.7	21 10.2	23 11.2	28 13.6
知的障害	246 100.0	92 37.4	27 11.0	22 8.9	31 12.6	52 21.1	41 16.7	42 17.1	20 8.1
精神障害	12 100.0	5 41.7	1 8.3	2 16.7	3 25.0	4 33.3	2 16.7	1 8.3	-
難病	47 100.0	10 21.3	3 6.4	9 19.1	3 6.4	7 14.9	6 12.8	9 19.1	8 17.0
無回答	5 100.0	3 60.0	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0

	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要はない	わからない	その他	無回答
全 体	110 28.0	31 7.9	28 7.1	77 19.6	3 0.8	8 2.0	6 1.5	111 28.2
身体障害	43 20.9	22 10.7	26 12.6	42 20.4	2 1.0	4 1.9	5 2.4	64 31.1
知的障害	71 28.9	11 4.5	7 2.8	41 16.7	1 0.4	6 2.4	1 0.4	70 28.5
精神障害	3 25.0	-	-	1 8.3	-	-	-	4 33.3
難病	15 31.9	6 12.8	5 10.6	12 25.5	-	1 2.1	1 2.1	13 27.7
無回答	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0

# 【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全 体	427 100.0	256 60.0	68 15.9	87 20.4	111 26.0	123 28.8	62 14.5	69 16.2	54 12.6
身体障害	239 100.0	133 55.6	31 13.0	64 26.8	67 28.0	45 18.8	27 11.3	34 14.2	45 18.8
知的障害	264 100.0	169 64.0	49 18.6	44 16.7	82 31.1	92 34.8	55 20.8	45 17.0	24 9.1
精神障害	12 100.0	9 75.0	3 25.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3
難病	143 100.0	81 56.6	18 12.6	35 24.5	38 26.6	39 27.3	18 12.6	20 14.0	28 19.6
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	3 100.0	-	-	-

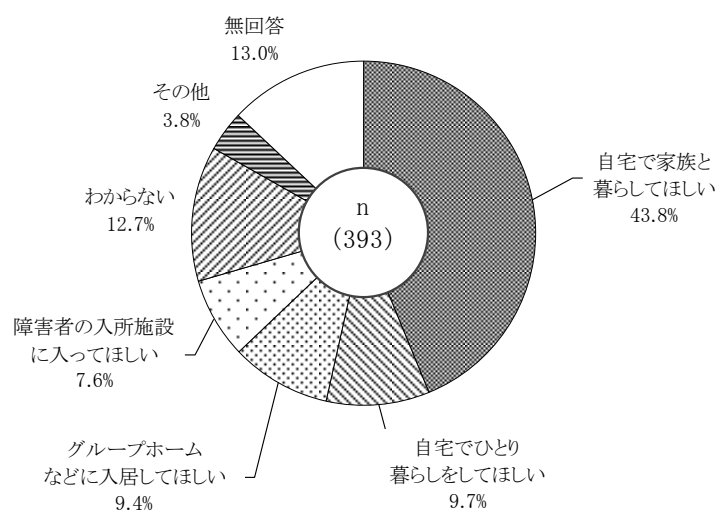
	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要はない	わからない	その他	無回答
全 体	138 32.3	51 11.9	43 10.1	82 19.2	3 0.7	9 2.1	1 0.2	13 3.0
身体障害	59 24.7	33 13.8	42 17.6	53 22.2	2 0.8	6 2.5	-	8 3.3
知的障害	89 33.7	25 9.5	9 3.4	43 16.3	1 0.4	3 1.1	1 0.4	8 3.0
精神障害	3 25.0	-	1 8.3	1 8.3	-	-	-	1 8.3
難病	49 34.3	17 11.9	18 12.6	28 19.6	2 1.4	4 2.8	-	1 0.7
無回答	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	-	-

問 76 【主な介助者の方におたずねします。】

今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が43.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が12.7%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、0～2歳で「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が高く、6割となっています。また、15～17歳で「障害者の入所施設に入ってほしい」の割合が高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入ってほしい	わからない	その他	無回答
全 体	393	172	38	37	30	50	15	51
	100.0	43.8	9.7	9.4	7.6	12.7	3.8	13.0
身体障害	206	91	24	15	20	22	7	27
	100.0	44.2	11.7	7.3	9.7	10.7	3.4	13.1
知的障害	246	101	14	35	23	35	11	27
	100.0	41.1	5.7	14.2	9.3	14.2	4.5	11.0
精神障害	12	5	2	1	-	2	-	2
	100.0	41.7	16.7	8.3	-	16.7	-	16.7
難病	47	22	6	6	4	6	1	2
	100.0	46.8	12.8	12.8	8.5	12.8	2.1	4.3
無回答	5	3	1	-	1	-	-	-
	100.0	60.0	20.0	-	20.0	-	-	-

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入ってほしい	わからない	その他	無回答
全 体	393 100.0	172 43.8	38 9.7	37 9.4	30 7.6	50 12.7	15 3.8	51 13.0
0～2歳	15 100.0	9 60.0	2 13.3	— —	— —	1 6.7	— —	3 20.0
3～5歳	55 100.0	21 38.2	8 14.5	2 3.6	4 7.3	11 20.0	2 3.6	7 12.7
6～8歳	69 100.0	33 47.8	6 8.7	5 7.2	5 7.2	12 17.4	— —	8 11.6
9～11歳	92 100.0	37 40.2	8 8.7	15 16.3	7 7.6	15 16.3	4 4.3	6 6.5
12～14歳	73 100.0	36 49.3	6 8.2	4 5.5	2 2.7	8 11.0	4 5.5	13 17.8
15～17歳	79 100.0	31 39.2	8 10.1	11 13.9	10 12.7	3 3.8	4 5.1	12 15.2
無回答	10 100.0	5 50.0	— —	— —	2 20.0	— —	1 10.0	2 20.0

【家族・親族である介助者の年齢別】

単位 上段:件、下段:%

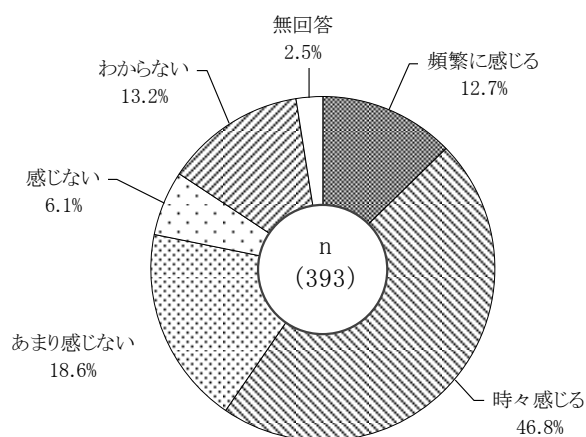
	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入ってほしい	わからない	その他	無回答
全 体	287 100.0	130 45.3	32 11.1	28 9.8	23 8.0	44 15.3	10 3.5	20 7.0
20歳未満	2 100.0	— —	— —	— —	— —	2 100.0	— —	— —
20代	5 100.0	1 20.0	2 40.0	— —	1 20.0	1 20.0	— —	— —
30代	75 100.0	35 46.7	10 13.3	2 2.7	4 5.3	14 18.7	1 1.3	9 12.0
40代	167 100.0	78 46.7	16 9.6	21 12.6	13 7.8	23 13.8	8 4.8	8 4.8
50代	35 100.0	14 40.0	4 11.4	5 14.3	5 14.3	3 8.6	1 2.9	3 8.6
60代	2 100.0	1 50.0	— —	— —	— —	1 50.0	— —	— —
70歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
無回答	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —

## (14) 障害のある人に対する理解度

問 77 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることはありませんか。(○は1つ)

「頻繁に感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が59.5%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が24.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、“感じる”の割合が増加しています。



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	393	50	184	73	24	52	10
	100.0	12.7	46.8	18.6	6.1	13.2	2.5
身体障害	206	29	97	40	13	21	6
	100.0	14.1	47.1	19.4	6.3	10.2	2.9
知的障害	246	33	120	43	10	35	5
	100.0	13.4	48.8	17.5	4.1	14.2	2.0
精神障害	12	4	6	2	—	—	—
	100.0	33.3	50.0	16.7	—	—	—
難病	47	8	19	11	2	6	1
	100.0	17.0	40.4	23.4	4.3	12.8	2.1
無回答	5	—	3	1	1	—	—
	100.0	—	60.0	20.0	20.0	—	—

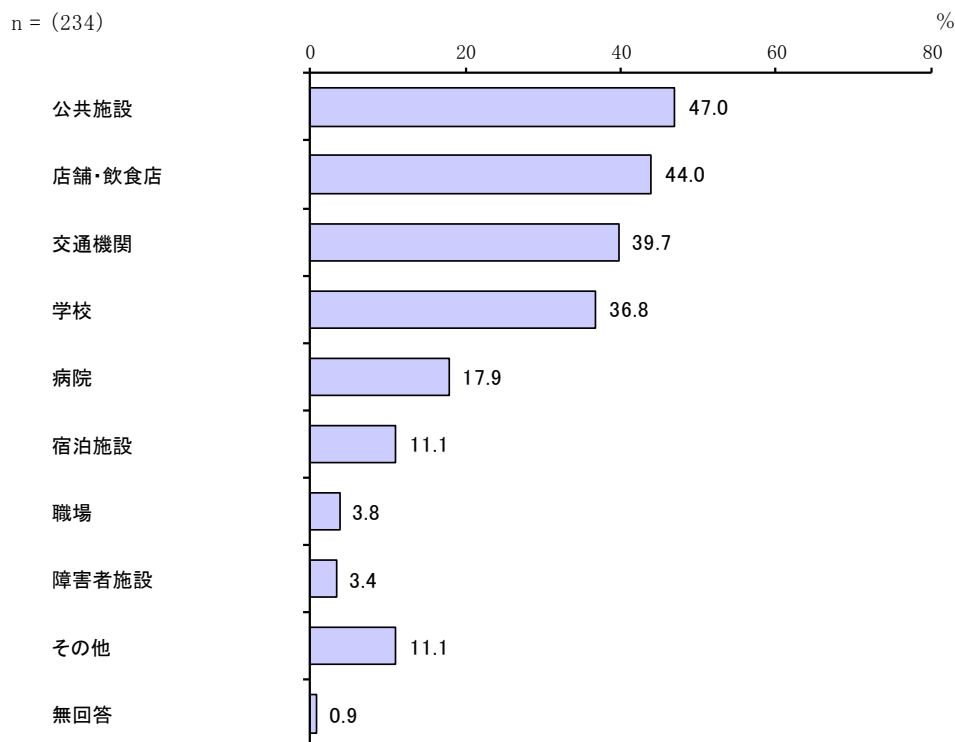
### 【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	427	46	177	107	45	44	8
	100.0	10.8	41.5	25.1	10.5	10.3	1.9
身体障害	239	27	97	60	27	23	5
	100.0	11.3	40.6	25.1	11.3	9.6	2.1
知的障害	264	29	115	67	19	30	4
	100.0	11.0	43.6	25.4	7.2	11.4	1.5
精神障害	12	2	5	1	1	3	—
	100.0	16.7	41.7	8.3	8.3	25.0	—
難病	143	16	50	46	17	12	2
	100.0	11.2	35.0	32.2	11.9	8.4	1.4
無回答	3	—	2	—	1	—	—
	100.0	—	66.7	—	33.3	—	—

問 78 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。（〇はいくつでも）

「公共施設」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「店舗・飲食店」の割合が 44.0%、「交通機関」の割合が 39.7%となっています。



【障害種別】

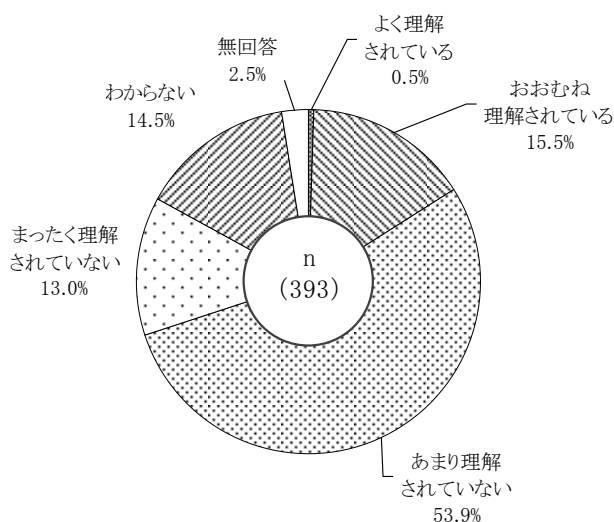
単位 上段:件、下段:%

	調査数	職場	学校	障害者施設	病院	店舗・飲食店	公共施設	宿泊施設	交通機関	その他	無回答
全 体	234 100.0	9 3.8	86 36.8	8 3.4	42 17.9	103 44.0	110 47.0	26 11.1	93 39.7	26 11.1	2 0.9
身体障害	126 100.0	4 3.2	38 30.2	5 4.0	14 11.1	61 48.4	68 54.0	17 13.5	49 38.9	19 15.1	1 0.8
知的障害	153 100.0	6 3.9	50 32.7	5 3.3	35 22.9	73 47.7	68 44.4	20 13.1	61 39.9	13 8.5	2 1.3
精神障害	10 100.0	— —	4 40.0	1 10.0	2 20.0	5 50.0	6 60.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	— —
難病	27 100.0	2 7.4	13 48.1	2 7.4	3 11.1	14 51.9	13 48.1	5 18.5	5 18.5	7 25.9	— —
無回答	3 100.0	— —	1 33.3	— —	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	3 100.0	— —	— —

問 79 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

「よく理解されている」と「おおむね理解されている」をあわせた“理解されている”の割合が 16.0%、「あまり理解されていない」と「まったく理解されていない」をあわせた“理解されていない”の割合が 66.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	393 100.0	2 0.5	61 15.5	212 53.9	51 13.0	57 14.5	10 2.5
身体障害	206 100.0	1 0.5	27 13.1	117 56.8	28 13.6	27 13.1	6 2.9
知的障害	246 100.0	-	44 17.9	127 51.6	36 14.6	34 13.8	5 2.0
精神障害	12 100.0	-	1 8.3	6 50.0	4 33.3	1 8.3	-
難病	47 100.0	1 2.1	5 10.6	27 57.4	8 17.0	5 10.6	1 2.1
無回答	5 100.0	1 20.0	-	4 80.0	-	-	-

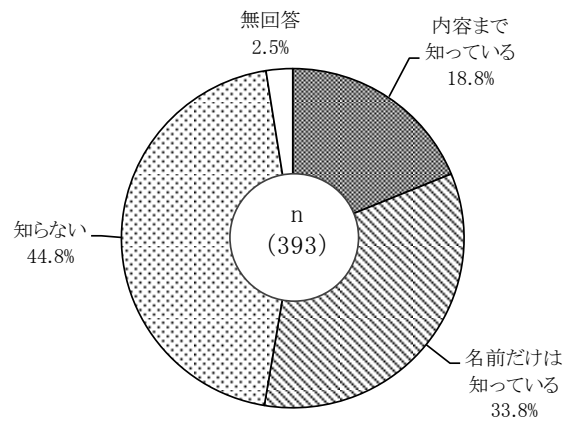
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	427 100.0	8 1.9	77 18.0	231 54.1	44 10.3	59 13.8	8 1.9
身体障害	239 100.0	4 1.7	41 17.2	130 54.4	22 9.2	38 15.9	4 1.7
知的障害	264 100.0	4 1.5	49 18.6	146 55.3	31 11.7	29 11.0	5 1.9
精神障害	12 100.0	1 8.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	-
難病	143 100.0	4 2.8	24 16.8	77 53.8	14 9.8	23 16.1	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-

問 80 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 33.8%、「内容まで知っている」の割合が 18.8%となっています。



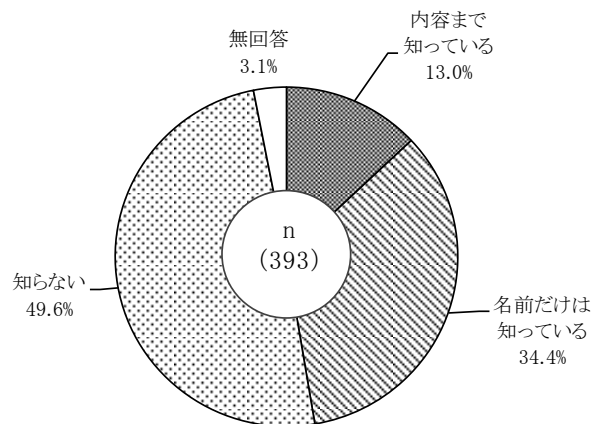
#### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	393 100.0	74 18.8	133 33.8	176 44.8	10 2.5
身体障害	206 100.0	53 25.7	64 31.1	84 40.8	5 2.4
知的障害	246 100.0	43 17.5	85 34.6	112 45.5	6 2.4
精神障害	12 100.0	1 8.3	3 25.0	8 66.7	-
難病	47 100.0	10 21.3	13 27.7	23 48.9	1 2.1
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	-

問 81 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成 24 年 10 月 1 日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 34.4%、「内容まで知っている」の割合が 13.0%となっています。



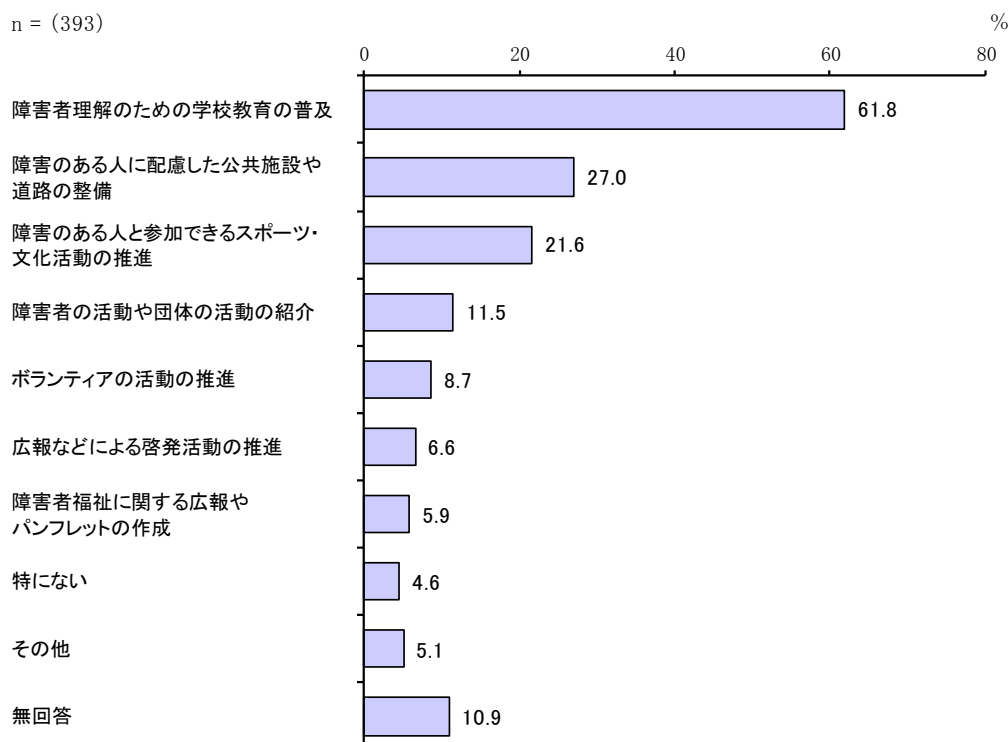
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	393	51	135	195	12
	100.0	13.0	34.4	49.6	3.1
身体障害	206	33	75	92	6
	100.0	16.0	36.4	44.7	2.9
知的障害	246	38	87	114	7
	100.0	15.4	35.4	46.3	2.8
精神障害	12	3	2	7	-
	100.0	25.0	16.7	58.3	-
難病	47	7	16	23	1
	100.0	14.9	34.0	48.9	2.1
無回答	5	1	1	3	-
	100.0	20.0	20.0	60.0	-

問 82 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

「障害者理解のための学校教育の普及」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」の割合が 27.0%、「障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進」の割合が 21.6%となっています。



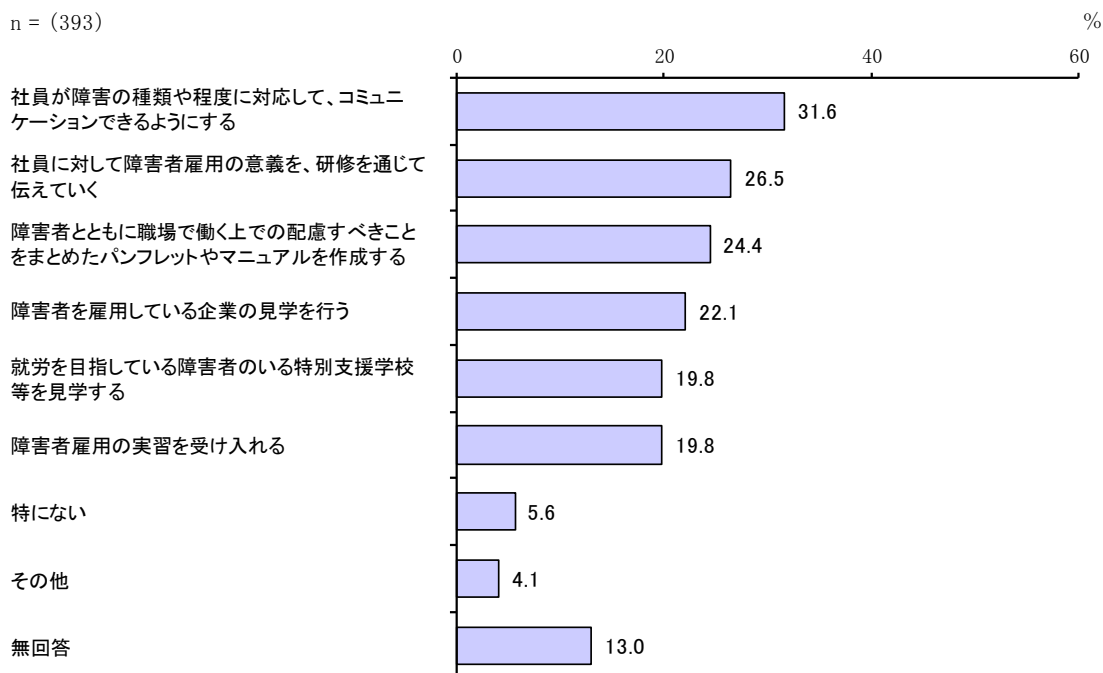
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にない	その他	無回答
全 体	393 100.0	243 61.8	26 6.6	45 11.5	34 8.7	85 21.6	106 27.0	23 5.9	18 4.6	20 5.1	43 10.9
身体障害	206 100.0	118 57.3	9 4.4	25 12.1	25 12.1	39 18.9	71 34.5	11 5.3	10 4.9	8 3.9	23 11.2
知的障害	246 100.0	162 65.9	17 6.9	28 11.4	18 7.3	57 23.2	65 26.4	15 6.1	7 2.8	16 6.5	23 9.3
精神障害	12 100.0	6 50.0	1 8.3	1 8.3	— —	— —	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0
難病	47 100.0	25 53.2	4 8.5	6 12.8	3 6.4	9 19.1	17 36.2	4 8.5	— —	5 10.6	5 10.6
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	— —	1 20.0	3 60.0	— —	— —	— —	— —	1 20.0

問 83 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組みてもらいたいですか。（○は2つまで）

「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」の割合が31.6%と最も高く、次いで「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」の割合が26.5%、「障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する」の割合が24.4%となっています。



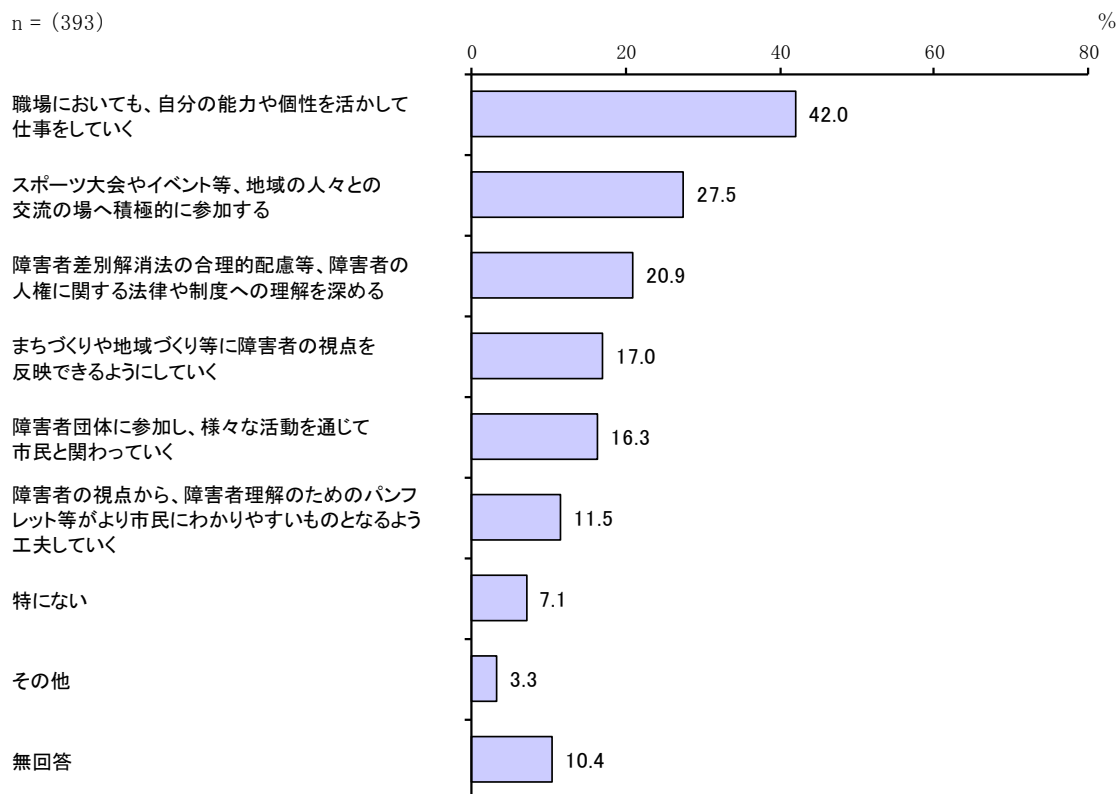
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にない	その他	無回答
全 体	393 100.0	104 26.5	78 19.8	87 22.1	78 19.8	124 31.6	96 24.4	22 5.6	16 4.1	51 13.0
身体障害	206 100.0	47 22.8	44 21.4	47 22.8	48 23.3	63 30.6	43 20.9	15 7.3	7 3.4	27 13.1
知的障害	246 100.0	69 28.0	56 22.8	53 21.5	44 17.9	80 32.5	64 26.0	10 4.1	12 4.9	30 12.2
精神障害	12 100.0	3 25.0	— —	4 33.3	3 25.0	3 25.0	3 25.0	1 8.3	— —	2 16.7
難病	47 100.0	10 21.3	8 17.0	7 14.9	12 25.5	14 29.8	12 25.5	2 4.3	2 4.3	9 19.1
無回答	5 100.0	— —	— —	3 60.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	— —	— —	1 20.0

問 84 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」の割合が 27.5%、「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」の割合が 20.9%となっています。



【障害種別】

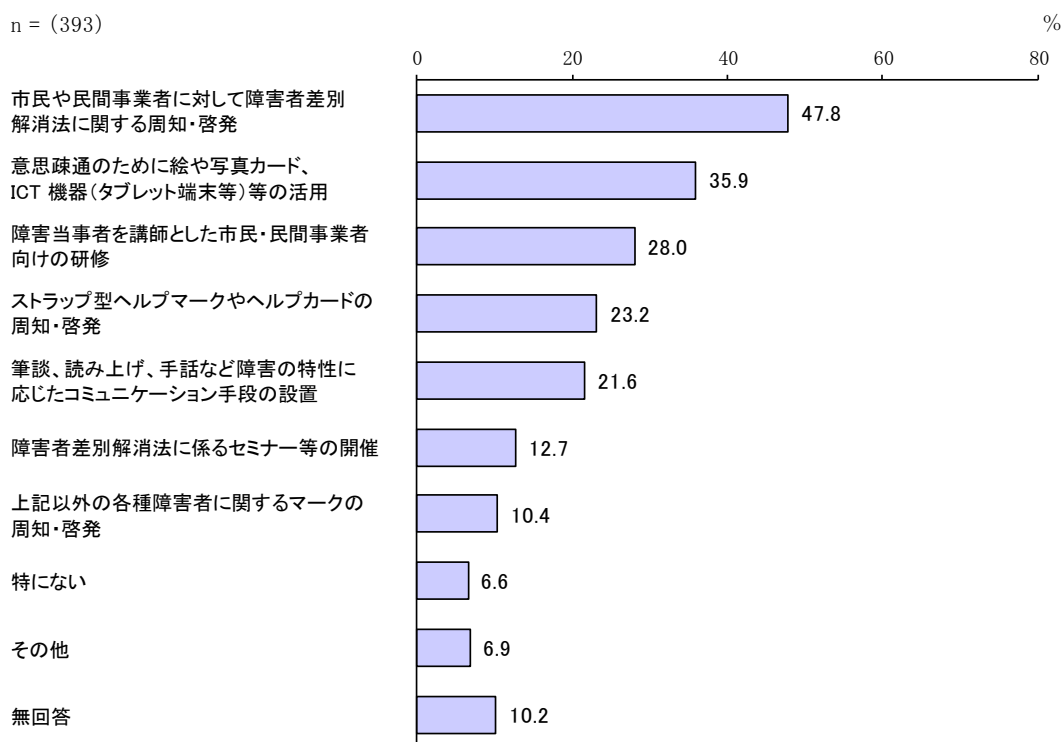
単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する	まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく	障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく	障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく	職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく	特にない	その他	無回答
全 体	393 100.0	82 20.9	108 27.5	67 17.0	64 16.3	45 11.5	165 42.0	28 7.1	13 3.3	41 10.4
身体障害	206 100.0	36 17.5	65 31.6	46 22.3	32 15.5	23 11.2	72 35.0	17 8.3	4 1.9	27 13.1
知的障害	246 100.0	56 22.8	69 28.0	40 16.3	47 19.1	27 11.0	99 40.2	16 6.5	11 4.5	21 8.5
精神障害	12 100.0	4 33.3	4 33.3	2 16.7	2 16.7	2 16.7	5 41.7	-	-	1 8.3
難病	47 100.0	11 23.4	14 29.8	8 17.0	8 17.0	7 14.9	15 31.9	3 6.4	3 6.4	7 14.9
無回答	5 100.0	-	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	4 80.0	-	-	1 20.0

**問 85 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。（〇は3つまで）**

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「意思疎通のために絵や写真カード、I C T機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が 35.9%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」の割合が 28.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「意思疎通のために絵や写真カード、I C T機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が増加しています。



※令和元年度調査の「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」、「上記以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発」は新たに追加された選択肢です。平成 28 年度調査の「各種障害者に関するマークの周知・啓発」は令和元年度調査にはありません。







【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	市民や民間事業者 に対して障害者差別 解消法に関する周知・啓発	障害者差別 解消法に係るセミ ナー等の開催	障害当事 者を講師と した市民・ 民間事業 者向けの 研修	筆談、読み 上げ、手話 など障害 の特性に 応じたコ ミュニケー ション手段 の設置	意思疎通 のために 絵や写真 カード、ICT 機器(タブ レット端末 等)等の活 用	ストラップ 型ヘルプ マークやヘル プカードの 周知・啓 発	上記6以外 の各種障 害者に関 するマーク の周知・啓 発	特にない	その他	無回答
全 体	393 100.0	188 47.8	50 12.7	110 28.0	85 21.6	141 35.9	91 23.2	41 10.4	26 6.6	27 6.9	40 10.2
身体障害	206 100.0	99 48.1	22 10.7	64 31.1	52 25.2	69 33.5	44 21.4	15 7.3	17 8.3	13 6.3	20 9.7
知的障害	246 100.0	123 50.0	33 13.4	69 28.0	47 19.1	93 37.8	60 24.4	27 11.0	13 5.3	20 8.1	25 10.2
精神障害	12 100.0	6 50.0	3 25.0	— —	3 25.0	4 33.3	6 50.0	2 16.7	1 8.3	— —	— —
難病	47 100.0	22 46.8	6 12.8	16 34.0	6 12.8	13 27.7	13 27.7	4 8.5	5 10.6	2 4.3	7 14.9
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	— —	2 40.0	1 20.0	1 20.0	— —	— —	1 20.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

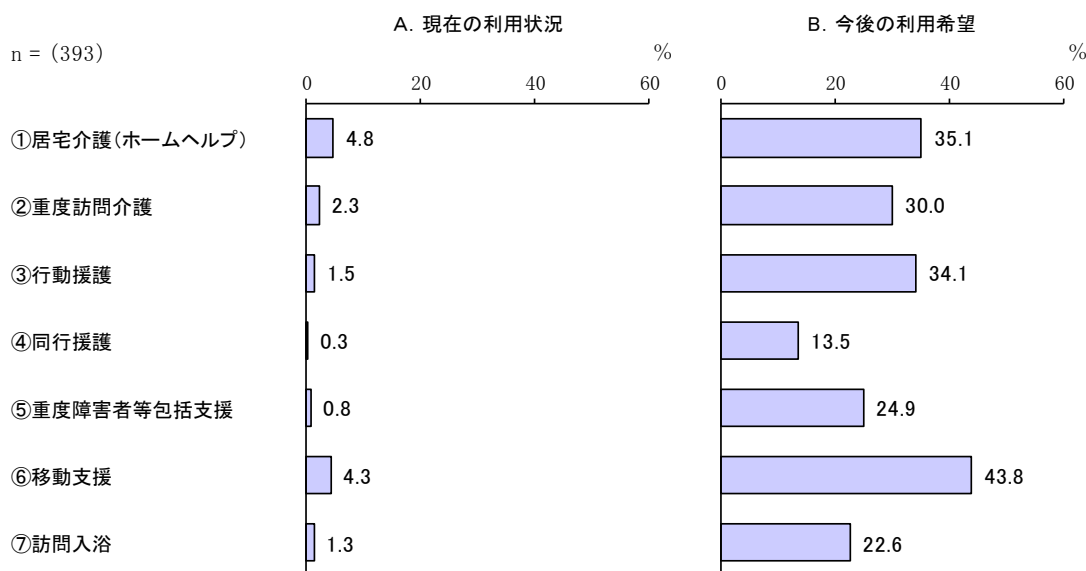
	調査数	市民や民間事業者 に対して障害者差別 解消法に関する周知・啓発	障害者差別 解消法に係るセミ ナー等の開催	障害当事 者を講師と した市民・ 民間事業 者向けの 研修	筆談、読み 上げ、手話 など障害 の特性に 応じたコ ミュニケー ション手段 の設置	意思疎通 のために 絵や写真 カード、ICT 機器(タブ レット端末 等)等の活 用	ストラップ 型ヘルプ マークやヘル プカードの 周知・啓 発	各種障害 者に関す るマークの 周知・啓 発	特にない	その他	無回答
全 体	427 100.0	213 49.9	55 12.9	118 27.6	88 20.6	121 28.3		47 11.0	18 4.2	24 5.6	24 5.6
身体障害	239 100.0	116 48.5	27 11.3	63 26.4	55 23.0	54 22.6		27 11.3	15 6.3	13 5.4	16 6.7
知的障害	264 100.0	141 53.4	39 14.8	81 30.7	41 15.5	86 32.6		25 9.5	4 1.5	17 6.4	13 4.9
精神障害	12 100.0	8 66.7	3 25.0	5 41.7	1 8.3	— —		— —	— —	2 16.7	1 8.3
難病	143 100.0	76 53.1	17 11.9	35 24.5	29 20.3	35 24.5		18 12.6	10 7.0	5 3.5	8 5.6
無回答	3 100.0	1 33.3	— —	— —	1 33.3	1 33.3		1 33.3	— —	— —	— —

## (15) サービス利用について

問 86 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が4.8%と最も高くなっています。今後の利用希望については、「⑥移動支援」の割合が43.8%と最も高く、次いで「①居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が35.1%、「③行動援護」の割合が34.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在の利用状況については、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「①居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が増加しています。今後の利用希望については、全体では、「④同行援護」、「⑤重度障害者等包括支援」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「⑥移動支援」、「⑦訪問入浴」は、平成28年度調査では問91に含まれていた選択肢です。

### 【障害種別】

#### A. 現在の利用状況

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴	無回答
全 体	393	19	9	6	1	3	17	5	355
	100.0	4.8	2.3	1.5	0.3	0.8	4.3	1.3	90.3
身体障害	206	18	9	2	1	3	14	5	176
	100.0	8.7	4.4	1.0	0.5	1.5	6.8	2.4	85.4
知的障害	246	11	5	4	1	1	10	2	222
	100.0	4.5	2.0	1.6	0.4	0.4	4.1	0.8	90.2
精神障害	12	3	1	2	—	—	—	1	8
	100.0	25.0	8.3	16.7	—	—	8.3	8.3	66.7
難病	47	4	5	1	—	2	3	1	38
	100.0	8.5	10.6	2.1	—	4.3	6.4	2.1	80.9
無回答	5	—	—	—	—	—	—	—	5
	100.0	—	—	—	—	—	—	—	100.0

## B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴	無回答
全 体	393 100.0	138 35.1	118 30.0	134 34.1	53 13.5	98 24.9	172 43.8	89 22.6	166 42.2
身体障害	206 100.0	91 44.2	81 39.3	51 24.8	27 13.1	66 32.0	100 48.5	70 34.0	78 37.9
知的障害	246 100.0	91 37.0	75 30.5	110 44.7	39 15.9	65 26.4	115 46.7	47 19.1	93 37.8
精神障害	12 100.0	7 58.3	5 41.7	8 66.7	5 41.7	5 41.7	9 75.0	4 33.3	— —
難病	47 100.0	25 53.2	27 57.4	17 36.2	9 19.1	19 40.4	26 55.3	23 48.9	12 25.5
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	— —	2 40.0

## 【平成 28 年度調査】

## A. 現在の利用状況

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴
全 体	427 100.0	20 4.7	9 2.1	9 2.1	3 0.7	3 0.7	29 6.8	5 1.2
身体障害	239 100.0	18 7.5	8 3.3	2 0.8	3 1.3	3 1.3	19 7.9	5 2.1
知的障害	264 100.0	10 3.8	4 1.5	8 3.0	1 0.4	— —	22 8.3	4 1.5
精神障害	12 100.0	1 8.3	— —	1 8.3	— —	— —	3 25.0	1 8.3
難病	143 100.0	9 6.3	5 3.5	1 0.7	1 0.7	2 1.4	8 5.6	3 2.1
無回答	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

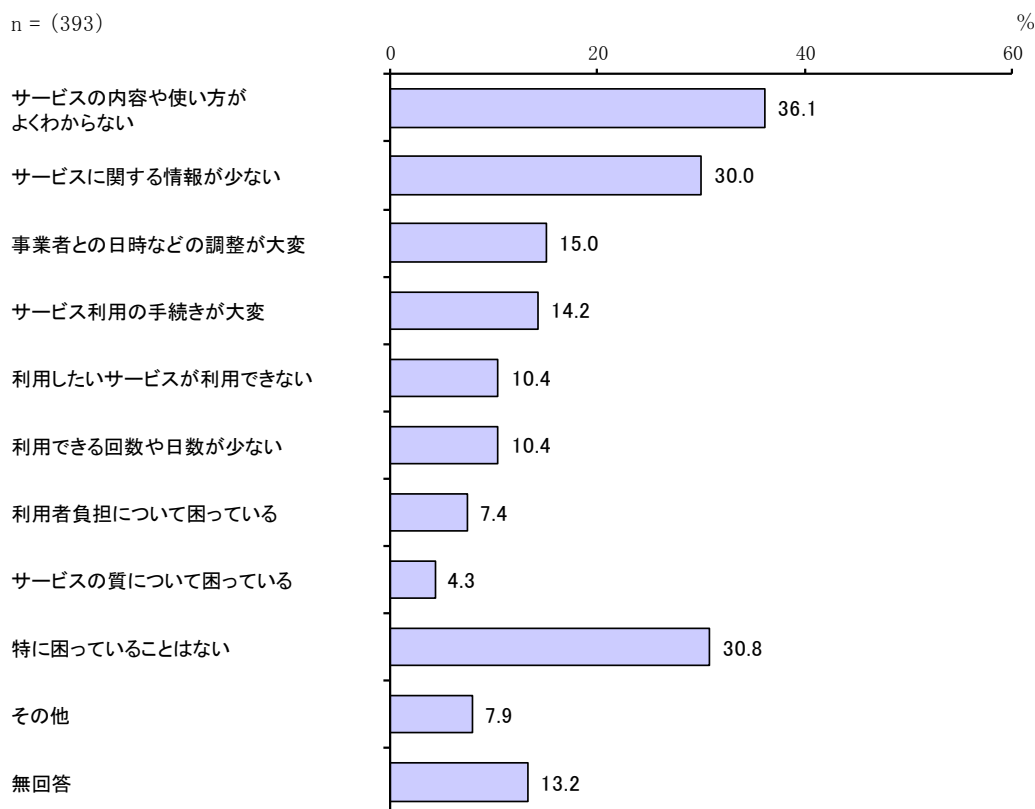
## B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④同行援護	⑤重度障害 者等包括支 援	⑥移動支援	⑦訪問入浴
全 体	427 100.0	167 39.1	143 33.5	159 37.2	99 23.2	129 30.2	207 48.5	98 23.0
身体障害	239 100.0	104 43.5	104 43.5	72 30.1	58 24.3	89 37.2	132 55.2	80 33.5
知的障害	264 100.0	111 42.0	89 33.7	127 48.1	64 24.2	79 29.9	134 50.8	55 20.8
精神障害	12 100.0	4 33.3	8 66.7	6 50.0	3 25.0	6 50.0	8 66.7	2 16.7
難病	143 100.0	58 40.6	56 39.2	46 32.2	36 25.2	53 37.1	69 48.3	41 28.7
無回答	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	1 33.3	— —

問 87 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(〇はいくつでも)

「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が36.1%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が30.8%、「サービスに関する情報が少ない」の割合が30.0%となっています。



【障害種別】

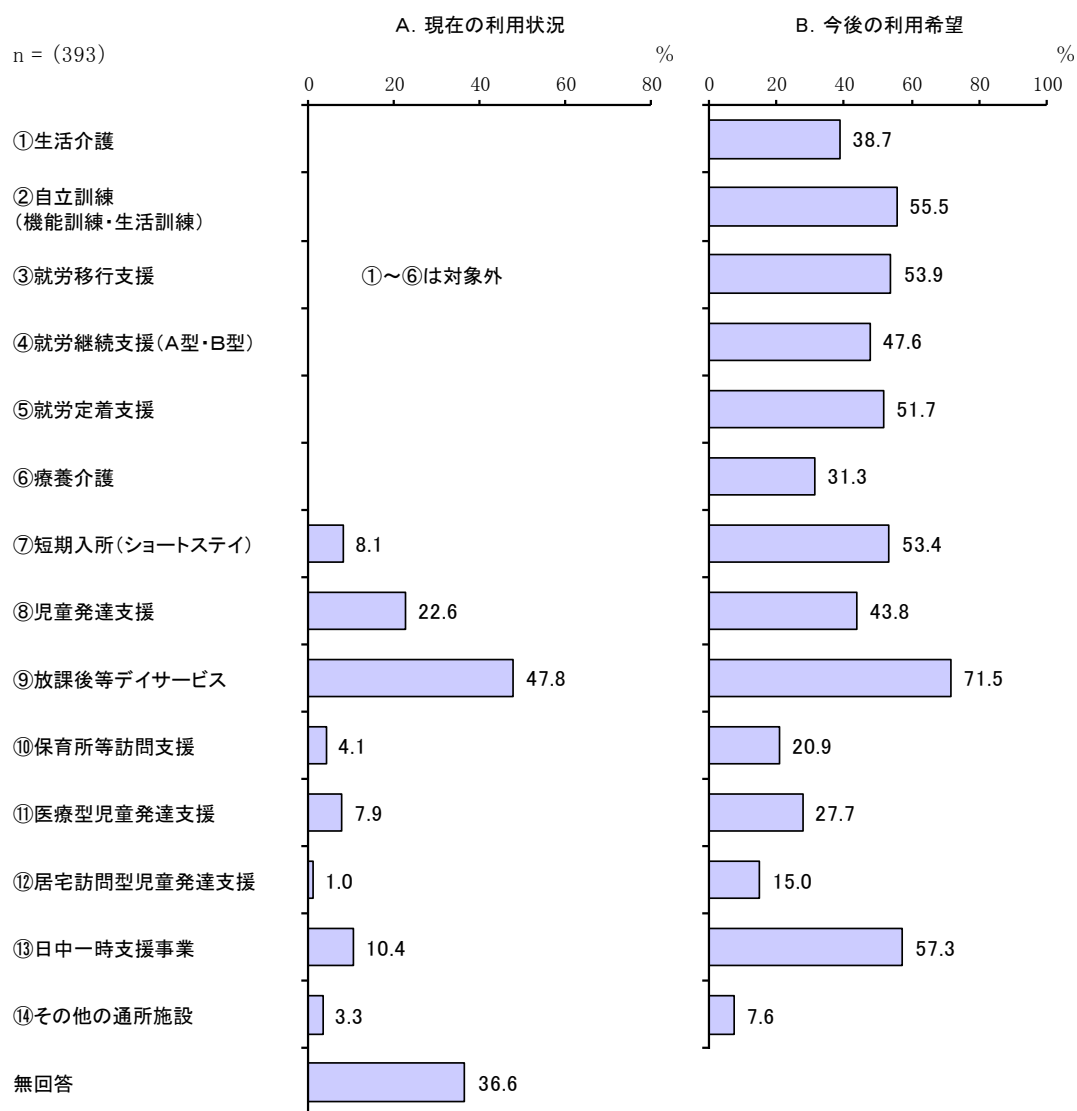
単位 上段:件、下段:%

	調査数	サービスの 内容や 使い方が よくわから ない	サービス に関する 情報が少 ない	利用した いサービ スが利用 できない	サービス 利用の手 続きが大 変	事業者と の日時な どの調整 が大変	利用でき る回数や 日数が少 ない	サービス の質につ いて困っ ている	利用者負 担につい て困って いる	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全 体	393 100.0	142 36.1	118 30.0	41 10.4	56 14.2	59 15.0	41 10.4	17 4.3	29 7.4	121 30.8	31 7.9	52 13.2
身体障害	206 100.0	72 35.0	65 31.6	28 13.6	37 18.0	45 21.8	31 15.0	12 5.8	18 8.7	54 26.2	17 8.3	30 14.6
知的障害	246 100.0	97 39.4	83 33.7	24 9.8	37 15.0	37 15.0	27 11.0	12 4.9	23 9.3	69 28.0	21 8.5	30 12.2
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	2 16.7	1 8.3	3 25.0	4 33.3	— —	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3
難病	47 100.0	23 48.9	20 42.6	8 17.0	11 23.4	12 25.5	8 17.0	3 6.4	6 12.8	7 14.9	3 6.4	4 8.5
無回答	5 100.0	2 40.0	— —	— —	1 20.0	— —	— —	— —	1 20.0	3 60.0	— —	— —

問 88 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑭のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「⑨放課後等デイサービス」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「⑧児童発達支援」の割合が 22.6%、「⑬日中一時支援事業」の割合が 10.4%となっています。  
今後の利用希望については、「⑨放課後等デイサービス」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「⑬日中一時支援事業」の割合が 57.3%、「②自立訓練（機能訓練・生活訓練）」の割合が 55.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、現在の利用状況については、全体では、「⑨放課後等デイサービス」の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、「⑧児童発達支援」の割合が増加しています。今後の利用希望については、全体では、「④就労継続支援（A型・B型）」、「⑦短期入所（ショートステイ）」、「⑪医療型児童発達支援」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「⑤就労定着支援」、「⑫居宅訪問型児童発達支援」は新たに追加された選択肢です。  
「⑧日中一時支援事業」は平成 28 年度調査では、問 91 に含まれていた選択肢です。

【障害種別】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧児童発達支援	⑨放課後等デイサービス	⑩保育所等訪問支援	⑪医療型児童発達支援	⑫居宅訪問型児童発達支援	⑬日中一時支援事業	⑭その他の通所施設	無回答
全 体	393 100.0	32 8.1	89 22.6	188 47.8	16 4.1	31 7.9	4 1.0	41 10.4	13 3.3	144 36.6
身体障害	206 100.0	27 13.1	38 18.4	82 39.8	7 3.4	26 12.6	4 1.9	25 12.1	5 2.4	89 43.2
知的障害	246 100.0	13 5.3	64 26.0	147 59.8	12 4.9	16 6.5	-	27 11.0	8 3.3	64 26.0
精神障害	12 100.0	2 16.7	5 41.7	9 75.0	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	-	3 25.0
難病	47 100.0	10 21.3	9 19.1	20 42.6	2 4.3	11 23.4	2 4.3	3 6.4	2 4.3	16 34.0
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-	2 40.0	-	3 60.0

B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①生活介護	②自立訓練(機能訓練・生活訓練)	③就労移行支援	④就労継続支援(A型・B型)	⑤就労定着支援	⑥療養介護	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧児童発達支援	⑨放課後等デイサービス
全 体	393 100.0	152 38.7	218 55.5	212 53.9	187 47.6	203 51.7	123 31.3	210 53.4	172 43.8	281 71.5
身体障害	206 100.0	86 41.7	98 47.6	83 40.3	75 36.4	80 38.8	77 37.4	116 56.3	76 36.9	129 62.6
知的障害	246 100.0	106 43.1	160 65.0	149 60.6	142 57.7	143 58.1	79 32.1	147 59.8	123 50.0	202 82.1
精神障害	12 100.0	6 50.0	6 50.0	5 41.7	5 41.7	5 41.7	4 33.3	5 41.7	6 50.0	10 83.3
難病	47 100.0	26 55.3	27 57.4	27 57.4	24 51.1	28 59.6	27 57.4	32 68.1	21 44.7	35 74.5
無回答	5 100.0	2 40.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0

	⑩保育所等訪問支援	⑪医療型児童発達支援	⑫居宅訪問型児童発達支援	⑬日中一時支援事業	⑭その他の通所施設	無回答
全 体	82 20.9	109 27.7	59 15.0	225 57.3	30 7.6	46 11.7
身体障害	41 19.9	60 29.1	37 18.0	121 58.7	16 7.8	34 16.5
知的障害	50 20.3	70 28.5	33 13.4	154 62.6	20 8.1	15 6.1
精神障害	2 16.7	5 41.7	3 25.0	8 66.7	1 8.3	-
難病	13 27.7	21 44.7	11 23.4	37 78.7	6 12.8	4 8.5
無回答	2 40.0	-	-	3 60.0	-	1 20.0

【平成 28 年度調査】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧児童発達支援	⑨放課後等デイサービス	⑩保育所等訪問支援	⑪医療型児童発達支援	⑫居宅訪問型児童発達支援	⑬日中一時支援事業	⑭その他の通所施設
全 体	427 100.0	47 11.0	79 18.5	166 38.9	14 3.3	38 8.9		51 11.9	9 2.1
身体障害	239 100.0	34 14.2	32 13.4	75 31.4	7 2.9	32 13.4		24 10.0	5 2.1
知的障害	264 100.0	26 9.8	56 21.2	132 50.0	10 3.8	16 6.1		39 14.8	5 1.9
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	7 58.3	-	1 8.3		4 33.3	1 8.3
難病	143 100.0	19 13.3	20 14.0	46 32.2	3 2.1	16 11.2		11 7.7	3 2.1
無回答	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-		-	-

## B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

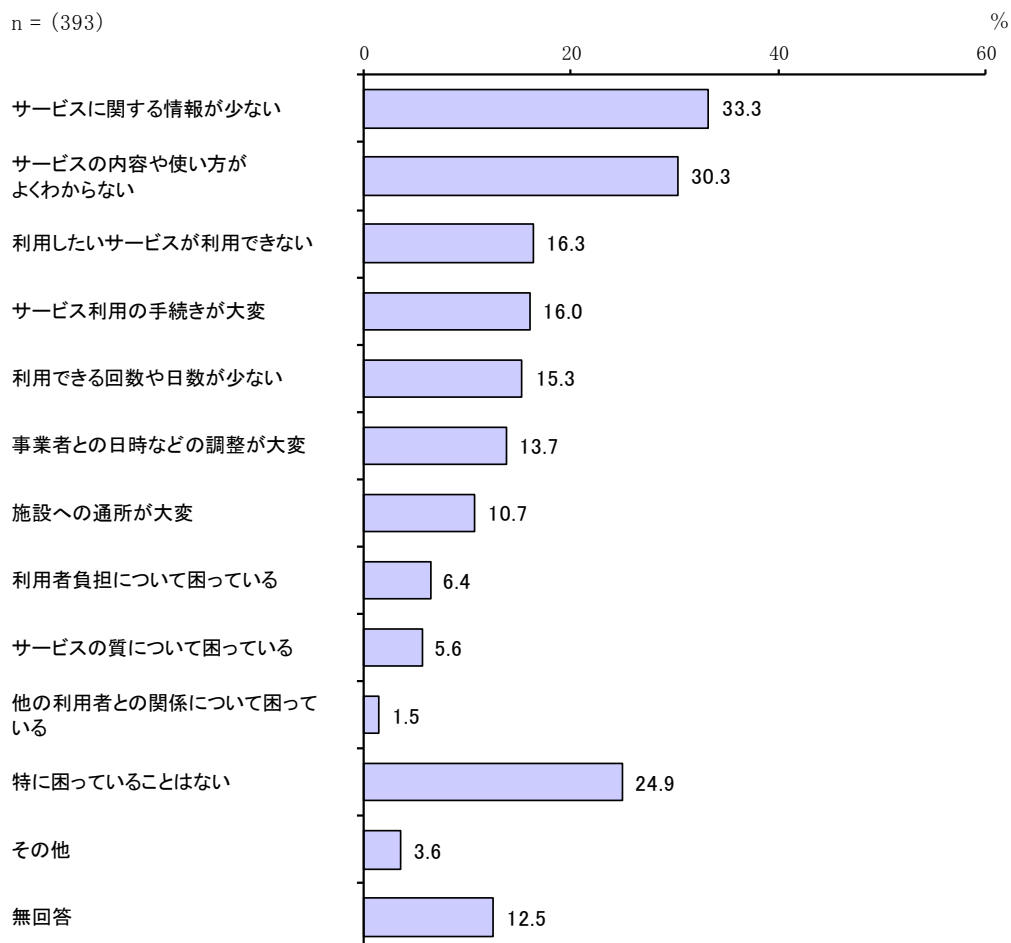
	調査数	①生活介護	②自立訓練(機能訓練・生活訓練)	③就労移行支援	④就労継続支援(A型・B型)	⑤就労定着支援	⑥療養介護	⑦短期入所(ショートステイ)	⑧児童発達支援
全 体	427 100.0	181 42.4	244 57.1	236 55.3	235 55.0		152 35.6	258 60.4	206 48.2
身体障害	239 100.0	107 44.8	121 50.6	108 45.2	103 43.1		99 41.4	145 60.7	108 45.2
知的障害	264 100.0	124 47.0	173 65.5	160 60.6	174 65.9		92 34.8	171 64.8	141 53.4
精神障害	12 100.0	6 50.0	6 50.0	2 16.7	6 50.0		5 41.7	10 83.3	5 41.7
難病	143 100.0	66 46.2	79 55.2	70 49.0	74 51.7		68 47.6	89 62.2	68 47.6
無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3		1 33.3	2 66.7	1 33.3

	⑨放課後等デイサービス	⑩保育所等訪問支援	⑪医療型児童発達支援	⑫居宅訪問型児童発達支援	⑬日中一時支援事業	⑭その他の通所施設
全 体	302 70.7	110 25.8	146 34.2		273 63.9	40 9.4
身体障害	154 64.4	61 25.5	92 38.5		149 62.3	26 10.9
知的障害	214 81.1	66 25.0	91 34.5		190 72.0	20 7.6
精神障害	9 75.0	1 8.3	3 25.0		9 75.0	1 8.3
難病	93 65.0	41 28.7	61 42.7		89 62.2	17 11.9
無回答	2 66.7	1 33.3	1 33.3		1 33.3	-

問 89 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

「サービスに関する情報が少ない」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が 30.3%、「特に困っていることはない」の割合が 24.9%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	サービスの内 容や使い方が よくわからない	サービスに関 する情報が少 ない	利用したいサー ビスが利用でき ない	サービス利用 の手続きが大 変	事業者との日 時などの調整 が大変	利用できる回 数や日数が少 ない
全 体	393 100.0	119 30.3	131 33.3	64 16.3	63 16.0	54 13.7	60 15.3
身体障害	206 100.0	66 32.0	72 35.0	34 16.5	38 18.4	34 16.5	37 18.0
知的障害	246 100.0	74 30.1	86 35.0	41 16.7	37 15.0	35 14.2	38 15.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0
難病	47 100.0	19 40.4	18 38.3	10 21.3	12 25.5	9 19.1	9 19.1
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0

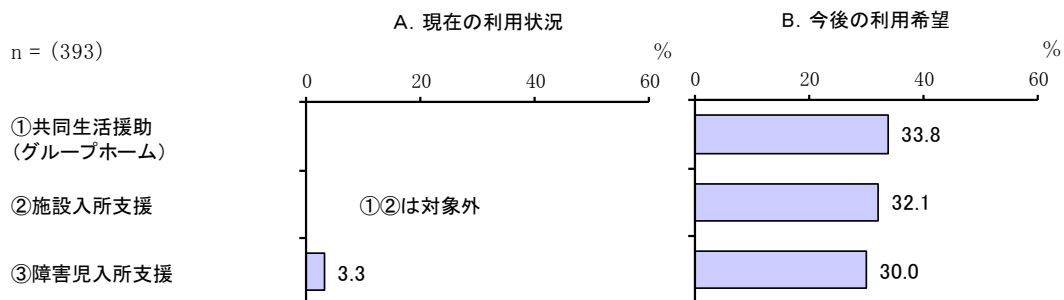
	サービスの質 について困っ ている	他の利用者 との関係につ いて困っている	施設への通所 が大変	利用者負担に ついて困って いる	特に困っている ことはない	その他	無回答
全 体	22 5.6	6 1.5	42 10.7	25 6.4	98 24.9	14 3.6	49 12.5
身体障害	8 3.9	2 1.0	19 9.2	14 6.8	46 22.3	8 3.9	28 13.6
知的障害	13 5.3	5 2.0	29 11.8	18 7.3	60 24.4	8 3.3	29 11.8
精神障害	3 25.0	—	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7
難病	—	—	6 12.8	4 8.5	10 21.3	1 2.1	6 12.8
無回答	1 20.0	—	1 20.0	—	2 40.0	—	—

問 90 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「③障害児入所支援」の割合が3.3%となっています。

今後の利用希望については、「①共同生活援助（グループホーム）」の割合が33.8%と最も高く、次いで「②施設入所支援」の割合が32.1%、「③障害児入所支援」の割合が30.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在の利用状況については、全体では、大きな変化はみられません。今後の利用希望については、全体では、大きな変化はみられません。また、難病のある方では、「①共同生活援助（グループホーム）」、「②施設入所支援」の割合が増加しています。



#### 【障害種別】

##### A. 現在の利用状況

	調査数	③障害児入所支援
全 体	393 100.0	13 3.3
身体障害	206 100.0	11 5.3
知的障害	246 100.0	6 2.4
精神障害	12 100.0	- -
難病	47 100.0	2 4.3
無回答	5 100.0	- -

##### B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

調査数	①共同生活援助 (グループホーム)	②施設入所支援	③障害児入所支援	無回答
393 100.0	133 33.8	126 32.1	118 30.0	217 55.2
206 100.0	63 30.6	70 34.0	70 34.0	112 54.4
246 100.0	102 41.5	92 37.4	80 32.5	120 48.8
12 100.0	4 33.3	4 33.3	4 33.3	7 58.3
47 100.0	21 44.7	20 42.6	18 38.3	20 42.6
5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0

#### 【平成28年度調査】

##### A. 現在の利用状況

	調査数	③障害児入所支援
全 体	427 100.0	12 2.8
身体障害	239 9.0	9 3.8
知的障害	264 100.0	7 2.7
精神障害	12 100.0	1 8.3
難病	143 100.0	143 4.2
無回答	3 100.0	- -

##### B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：%

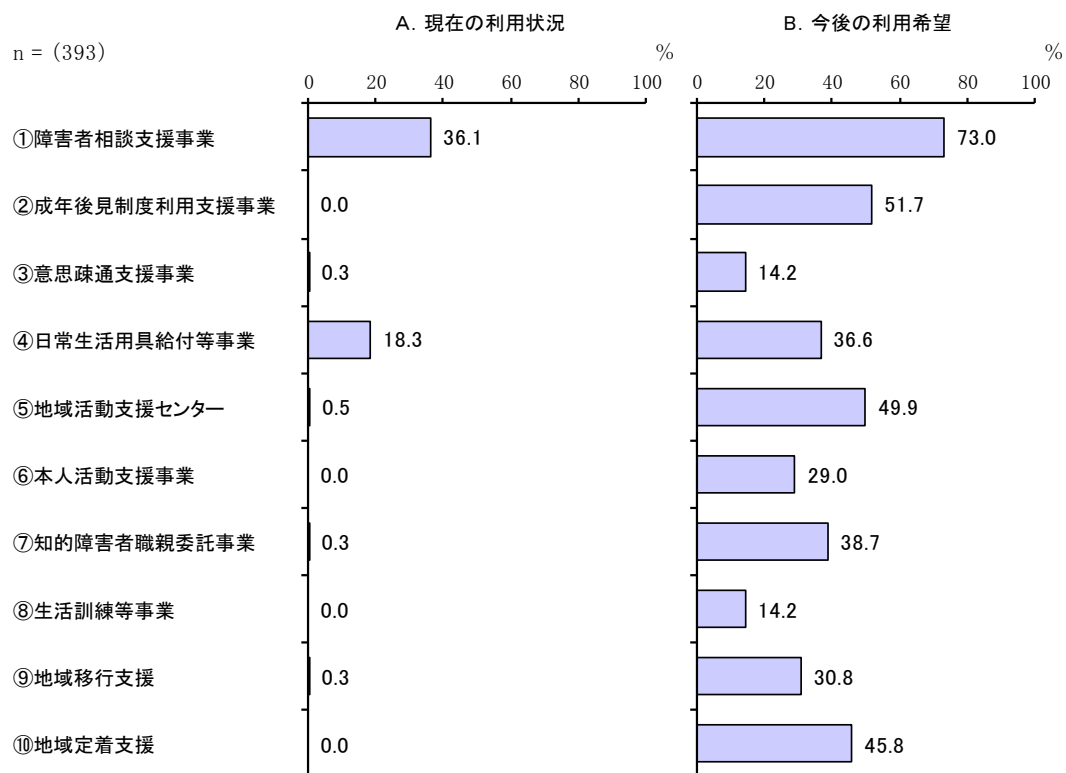
調査数	①共同生活援助 (グループホーム)	②施設入所支援	③障害児入所支援
427 100.0	158 37.0	142 33.3	139 32.6
239 100.0	77 32.2	77 32.2	79 33.1
264 100.0	120 45.5	103 39.0	99 37.5
12 100.0	8 66.7	7 58.3	8 66.7
143 100.0	49 34.3	46 32.2	51 35.7
3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3

問 91 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①障害者相談支援事業」の割合が36.1%と最も高く、次いで「④日常生活用具給付等事業」の割合が18.3%となっています。

今後の利用希望については、「①障害者相談支援事業」の割合が73.0%と最も高く、次いで「②成年後見制度利用支援事業」の割合が51.7%、「⑤地域活動支援センター」の割合が49.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、現在の利用状況については、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「④日常生活用具給付等事業」の割合が増加しています。今後の利用希望については、全体では、「④日常生活用具給付等事業」、「⑤地域活動支援センター」、「⑥本人活動支援事業」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「①障害者相談支援事業」は平成28年度調査では「①相談支援事業」でした。

令和元年度調査の「⑨地域移行支援」、「⑩地域定着支援」は新たに追加された選択肢です。

平成28年度調査の「⑤移動支援事業」、「⑧訪問入浴サービス事業」、「⑪日中一時支援事業」は令和元年度調査では、それぞれ、問86及び問88選択肢を移しました。

【障害種別】

A. 現在の利用状況

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①障害者 相談支援 事業	②成年後 見制度利 用支援事 業	③意思疎 通支援事 業	④日常生 活用具給 付等事業	⑤地域活 動支援セ ンター	⑥本人活 動支援事 業	⑦知的障 害者職親 委託事業	⑧生活訓 練等事業	⑨地域移 行支援	⑩地域定 着支援	無回答
全 体	393 100.0	142 36.1	- -	1 0.3	72 18.3	2 0.5	- -	1 0.3	- -	1 0.3	- -	222 56.5
身体障害	206 100.0	73 35.4	- -	- -	70 34.0	- -	- -	- -	- -	1 0.5	- -	106 51.5
知的障害	246 100.0	103 41.9	- -	1 0.4	31 12.6	2 0.8	- -	1 0.4	- -	1 0.4	- -	133 54.1
精神障害	12 100.0	5 41.7	- -	- -	3 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	7 58.3
難病	47 100.0	18 38.3	- -	- -	15 31.9	- -	- -	- -	- -	- -	- -	21 44.7
無回答	5 100.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 60.0

B. 今後の利用希望

単位 上段:件、下段:%

	調査数	①障害者 相談支援 事業	②成年後 見制度利 用支援事 業	③意思疎 通支援事 業	④日常生 活用具給 付等事業	⑤地域活 動支援セ ンター	⑥本人活 動支援事 業	⑦知的障 害者職親 委託事業	⑧生活訓 練等事業	⑨地域移 行支援	⑩地域定 着支援	無回答
全 体	393 100.0	287 73.0	203 51.7	56 14.2	144 36.6	196 49.9	114 29.0	152 38.7	56 14.2	121 30.8	180 45.8	72 18.3
身体障害	206 100.0	144 69.9	100 48.5	28 13.6	110 53.4	81 39.3	36 17.5	43 20.9	23 11.2	55 26.7	80 38.8	45 21.8
知的障害	246 100.0	192 78.0	143 58.1	40 16.3	80 32.5	146 59.3	98 39.8	131 53.3	43 17.5	90 36.6	125 50.8	31 12.6
精神障害	12 100.0	11 91.7	6 50.0	1 8.3	6 50.0	6 50.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	3 25.0	7 58.3	- -
難病	47 100.0	36 76.6	27 57.4	11 23.4	28 59.6	25 53.2	17 36.2	16 34.0	8 17.0	17 36.2	26 55.3	6 12.8
無回答	5 100.0	4 80.0	3 60.0	- -	2 40.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	- -

【平成 28 年度調査】

A. 現在の利用状況

単位 上段：件、下段：％

	調査数	①相談支援事業	②成年後見制度利用支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤地域活動支援センター	⑥本人活動支援事業	⑦知的障害者職親委託事業	⑧生活訓練等事業	⑨地域移行支援	⑩地域定着支援
全 体	427 100.0	154 36.1		1 0.2	83 19.4	7 1.6	—	1 0.2	2 0.5		
身体障害	239 100.0	89 37.2		1 0.4	83 34.7	3 1.3	—	—	2 0.8		
知的障害	264 100.0	101 38.3		—	35 13.3	7 2.7	—	1 0.4	1 0.4		
精神障害	12 100.0	4 33.3		—	1 8.3	—	—	—	—		
難病	143 100.0	45 31.5		1 0.7	32 22.4	—	—	—	1 0.7		
無回答	3 100.0	1 33.3		—	—	—	—	—	—		

B. 今後の利用希望

単位 上段：件、下段：％

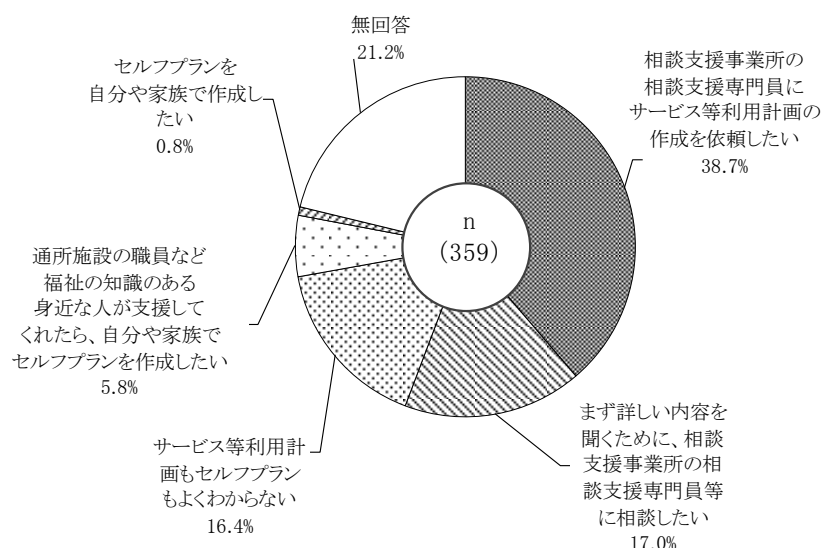
	調査数	①相談支援事業	②成年後見制度利用支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤地域活動支援センター	⑥本人活動支援事業	⑦知的障害者職親委託事業	⑧生活訓練等事業	⑨地域移行支援	⑩地域定着支援
全 体	427 100.0	316 74.0	234 54.8	72 16.9	184 43.1	254 59.5	164 38.4	182 42.6	64 15.0		
身体障害	239 100.0	167 69.9	108 45.2	52 21.8	142 59.4	129 54.0	58 24.3	49 20.5	38 15.9		
知的障害	264 100.0	214 81.1	171 64.8	31 11.7	98 37.1	174 65.9	139 52.7	160 60.6	42 15.9		
精神障害	12 100.0	6 50.0	3 25.0	1 8.3	5 41.7	8 66.7	4 33.3	5 41.7	1 8.3		
難病	143 100.0	105 73.4	72 50.3	28 19.6	72 50.3	76 53.1	45 31.5	48 33.6	19 13.3		
無回答	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	—		

問 92 【問 86, 88, 90, 91 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用をしたい方におたずねします。】

サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。

(○は1つ)

「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」の割合が 17.0%、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」の割合が 16.4%となっています。



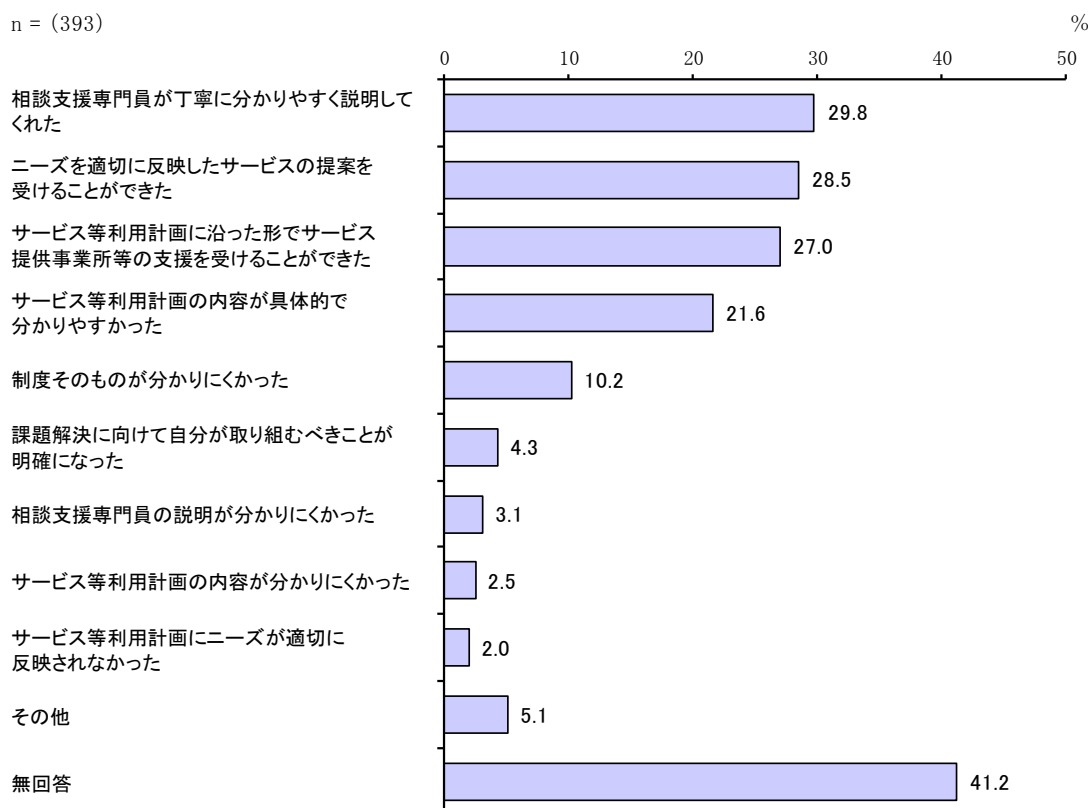
## 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい	セルフプランを自分や家族で作成したい	通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
全 体	359 100.0	139 38.7	3 0.8	21 5.8	61 17.0	59 16.4	76 21.2
身体障害	181 100.0	66 36.5	3 1.7	11 6.1	30 16.6	32 17.7	39 21.5
知的障害	236 100.0	98 41.5	1 0.4	16 6.8	44 18.6	33 14.0	44 18.6
精神障害	12 100.0	5 41.7	-	-	-	4 33.3	3 25.0
難病	45 100.0	19 42.2	-	3 6.7	9 20.0	9 20.0	5 11.1
無回答	5 100.0	2 40.0	-	-	-	2 40.0	1 20.0

問 93 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方におたずねします。】  
サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（○は4つまで）

「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」の割合が 28.5%、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」の割合が 27.0%となっています。



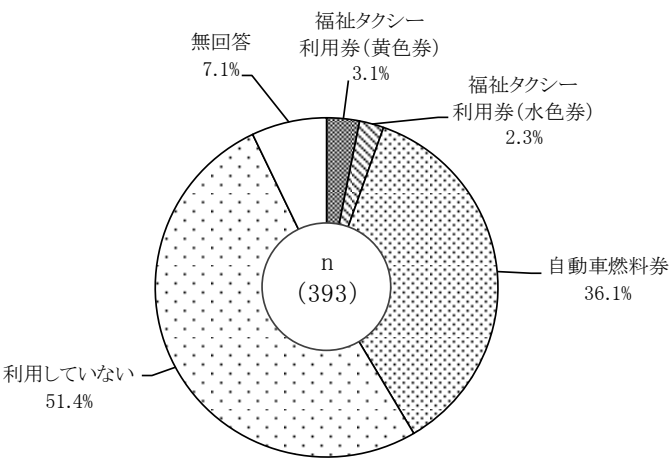
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた	サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた	サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった	相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた	課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった	サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった	サービス等利用計画の内容が分かりにくかった	相談支援専門員の説明が分かりにくかった	制度そのものが分かりにくかった	その他	無回答
全 体	393	112	106	85	117	17	8	10	12	40	20	162
	100.0	28.5	27.0	21.6	29.8	4.3	2.0	2.5	3.1	10.2	5.1	41.2
身体障害	206	51	49	40	54	9	4	5	6	17	10	95
	100.0	24.8	23.8	19.4	26.2	4.4	1.9	2.4	2.9	8.3	4.9	46.1
知的障害	246	79	81	64	89	13	5	7	11	28	14	80
	100.0	32.1	32.9	26.0	36.2	5.3	2.0	2.8	4.5	11.4	5.7	32.5
精神障害	12	3	3	1	2	-	-	1	3	2	1	5
	100.0	25.0	25.0	8.3	16.7	-	-	8.3	25.0	16.7	8.3	41.7
難病	47	15	12	7	13	1	1	2	1	2	4	21
	100.0	31.9	25.5	14.9	27.7	2.1	2.1	4.3	2.1	4.3	8.5	44.7
無回答	5	1	1	1	1	-	-	-	-	1	1	3
	100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	60.0

問 94 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

「利用していない」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「自動車燃料券」の割合が 36.1%となっています。

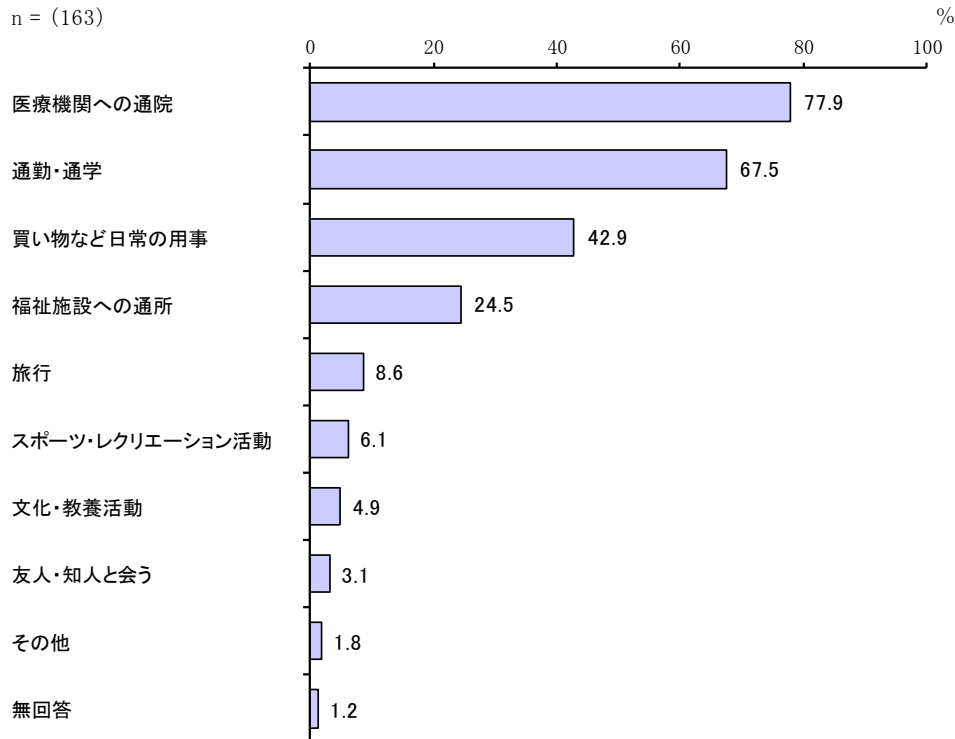


【障害種別】

単位 上段：件、下段：%						
	調査数	福祉タクシー 利用券(黄色 券)	福祉タクシー 利用券(水色 券)	自動車燃料 券	利用してい ない	無回答
全 体	393 100.0	12 3.1	9 2.3	142 36.1	202 51.4	28 7.1
身体障害	206 100.0	8 3.9	9 4.4	105 51.0	68 33.0	16 7.8
知的障害	246 100.0	7 2.8	3 1.2	85 34.6	137 55.7	14 5.7
精神障害	12 100.0	— —	2 16.7	2 16.7	7 58.3	1 8.3
難病	47 100.0	1 2.1	1 2.1	32 68.1	12 25.5	1 2.1
無回答	5 100.0	1 20.0	— —	1 20.0	3 60.0	— —

問 95 【問 94でいずれかの券を利用している（１～３番）と回答した方におたずねします。】  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

「医療機関への通院」の割合が 77.9%と最も高く、次いで「通勤・通学」の割合が 67.5%、「買い物など日常の用事」の割合が 42.9%となっています。



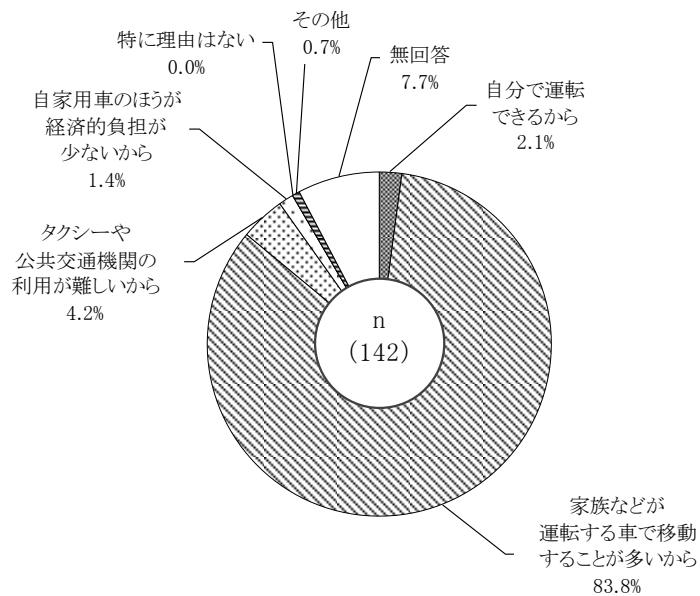
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他	無回答
全 体	163	110	40	127	70	8	10	14	5	3	2
	100.0	67.5	24.5	77.9	42.9	4.9	6.1	8.6	3.1	1.8	1.2
身体障害	122	79	26	105	44	6	5	9	4	2	2
	100.0	64.8	21.3	86.1	36.1	4.9	4.1	7.4	3.3	1.6	1.6
知的障害	95	70	27	69	48	6	9	11	3	2	1
	100.0	73.7	28.4	72.6	50.5	6.3	9.5	11.6	3.2	2.1	1.1
精神障害	4	2	1	3	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-
難病	34	21	8	28	12	-	1	2	-	-	1
	100.0	61.8	23.5	82.4	35.3	-	2.9	5.9	-	-	2.9
無回答	2	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

問 96 【問 94 で自動車燃料券を利用している（3 番）と回答した方におたずねします。】  
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
（○は 1 つ）

「家族などが運転する車で移動することが多いから」の割合が83.8%と最も高くなっています。



#### 【障害種別】

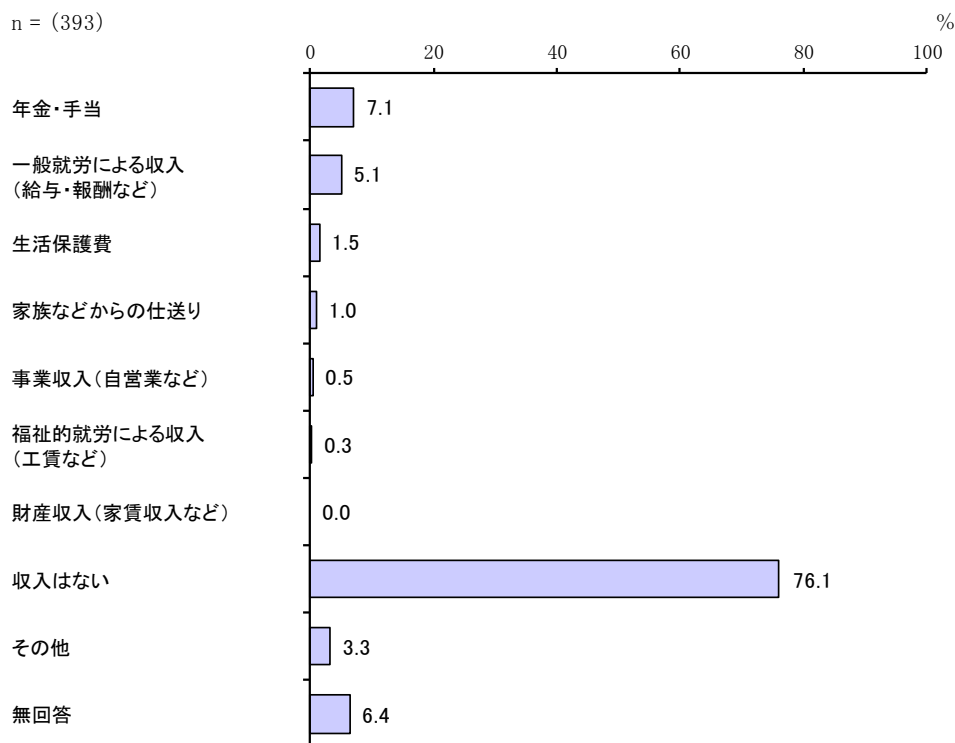
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	142 100.0	3 2.1	119 83.8	6 4.2	2 1.4	-	1 0.7	11 7.7
身体障害	105 100.0	2 1.9	90 85.7	4 3.8	1 1.0	-	1 1.0	7 6.7
知的障害	85 100.0	2 2.4	68 80.0	5 5.9	2 2.4	-	-	8 9.4
精神障害	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-
難病	32 100.0	2 6.3	26 81.3	2 6.3	-	-	1 3.1	1 3.1
無回答	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-

## (16) 収入や利用者負担について

問 97 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

「収入はない」の割合が 76.1%と最も高くなっています。



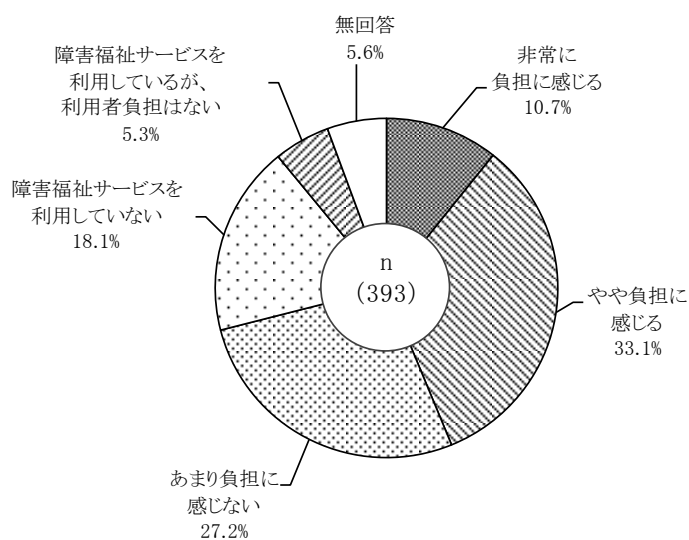
### 【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	一般就労 による収入 (給与・報酬 など)	福祉的就 労による収入 (工賃など)	事業収入 (自営業な ど)	財産収入 (家賃収入 など)	年金・手当	生活保護 費	家族など からの仕 送り	収入はな い	その他	無回答
全 体	393 100.0	20 5.1	1 0.3	2 0.5	-	28 7.1	6 1.5	4 1.0	299 76.1	13 3.3	25 6.4
身体障害	206 100.0	10 4.9	-	2 1.0	-	18 8.7	1 0.5	2 1.0	153 74.3	6 2.9	17 8.3
知的障害	246 100.0	16 6.5	1 0.4	-	-	22 8.9	6 2.4	3 1.2	184 74.8	7 2.8	12 4.9
精神障害	12 100.0	2 16.7	-	-	-	1 8.3	1 8.3	-	7 58.3	-	1 8.3
難病	47 100.0	3 6.4	-	-	-	4 8.5	-	-	36 76.6	-	4 8.5
無回答	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	5 100.0	-	-

問 98 あなた（保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「やや負担に感じる」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「あまり負担に感じない」の割合が 27.2%、「障害福祉サービスを利用していない」の割合が 18.1%となっています。



#### 【障害種別】

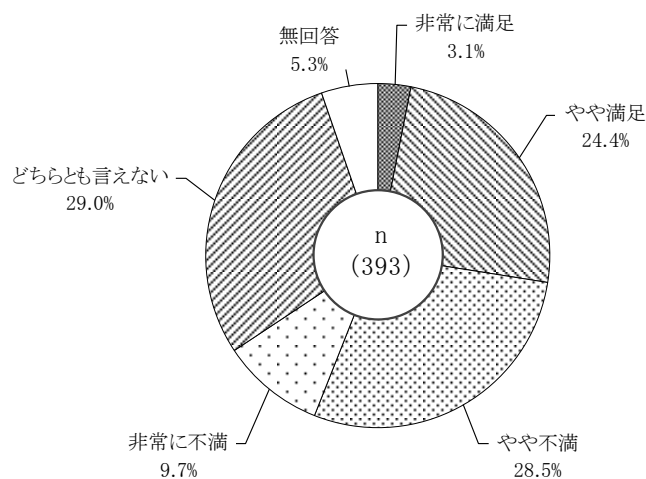
単位 上段：件、下段：%

	調査数	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	障害福祉サービスを利用していない	障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない	無回答
全 体	393	42	130	107	71	21	22
	100.0	10.7	33.1	27.2	18.1	5.3	5.6
身体障害	206	26	71	45	38	12	14
	100.0	12.6	34.5	21.8	18.4	5.8	6.8
知的障害	246	27	86	77	35	11	10
	100.0	11.0	35.0	31.3	14.2	4.5	4.1
精神障害	12	5	3	2	—	2	—
	100.0	41.7	25.0	16.7	—	16.7	—
難病	47	4	21	10	7	3	2
	100.0	8.5	44.7	21.3	14.9	6.4	4.3
無回答	5	—	1	2	1	—	1
	100.0	—	20.0	40.0	20.0	—	20.0

## (17) 障害者施策について

問 99 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 27.5%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 38.2%となっています。



### 【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	393 100.0	12 3.1	96 24.4	112 28.5	38 9.7	114 29.0	21 5.3
身体障害	206 100.0	5 2.4	48 23.3	58 28.2	18 8.7	62 30.1	15 7.3
知的障害	246 100.0	9 3.7	66 26.8	73 29.7	23 9.3	64 26.0	11 4.5
精神障害	12 100.0	— —	— —	4 33.3	6 50.0	2 16.7	— —
難病	47 100.0	2 4.3	14 29.8	18 38.3	1 2.1	9 19.1	3 6.4
無回答	5 100.0	1 20.0	— —	2 40.0	— —	2 40.0	— —

## (18) 自由意見

問 99 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 205 件の意見がありました。

	分 類	件 数	割合 (%)
1	福祉サービス	88	42.9
2	医療・健康	6	2.9
3	生活環境	2	1.0
4	雇用・就労	9	4.4
5	将来について	10	4.9
6	経済事情・経済的支援	11	5.4
7	行政・制度	35	17.1
8	その他	44	21.5
合計		205	100.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### ①福祉サービス

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
短期入所する施設が少ない。医療ケアの人を 1 番に支援しすぎていて、医療ケアがない障害児・者の受け入れが少なくなっている状況。医ケアの人は月 1 回定期的に利用しているが、医ケアなしの人は年 1 回も利用できない。	身体障害 知的障害	14	男性	不明
短期入所したくても空きがない。	身体障害	11	女性	家族
市内の幼稚園に通いながら、療育施設へ週 2 回通所しています。幼稚園は私立で、それぞれに特色・方針があり、療育を利用している子への対応は園によってかなり差があるようです。療育を利用している子は市の療育センターを利用していたり、手帳を所持していたり、療育の利用も市へ申込みしているのですから、市で情報を持っているはずだと思います。療育施設職員による保育所等訪問も園によっては断ることもあるようなので、市側から保育所等訪問を定期的に受入れるよう指導やルールを作っていただくことは出来ないでしょうか。幼稚園での加配教諭も必要だと思うので、制度化していただけたら大変すばらしいです。	知的障害	4	女性	家族

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
福祉サービスを学校生活でも使えるようにしてほしい（通学の送迎や、学校でのトイレ介助など）。学校の介助員制度では小学校が主で中学、高校では利用できなくなる可能性もあり不安。学校の教員だけで介助をすることは困難となった場合、親の付き添い等が必要になったり、もし付き添えなければ登校できない。学校行事への参加にも影響が出る。またヘルパー等を自身で手配するには経済的な負担が大きすぎる。障害があっても地域の学校（普通級）で高校、大学と本人の能力に合った学ぶ場所が得られるようにしてほしい。移動に介助が必要であり、困難があるのに自宅から遠く離れた特別支援学校で学ばなければならないのは疑問。普通級に通う障害児に対する支援もお願いしたい。	身体障害	11	女性	家族
療育センターのような相談の場が、小学校に入るとなくなる。医療機関の相談窓口も数が少なく、予約がなかなかとれない。学校は生活や習い事のことまで相談できず、孤立感を感じる。	知的障害	12	男性	家族
特別支援学校なら医ケアもスクールバスもあるから、1人親でも仕事をつづけながら小学校に通わせることができると思っていたが、現実には通わせることが不可能であった。スクールバスは、4月～9月まで保護者が送ってこなければバス利用可否の検討すらしてもらえない。これでは出社は10時になってしまう。医ケア、保護者が校内待機していなければ行われない。10時と12時の導尿に片道40分かけて外出したら仕事はできません。これでは会社首になってしまいます。事情のある人はルール以外の配慮があってもよいのではないかと思います。 療育センターも3歳でママが亡くなったあと保護者が同伴できなくなると、通わせることができなくなりました。しかしこの時は保育運営課が年度途中での入所許可を出してくれました。保育所に年度途中で入れてもらえた時はほんとにありがたかった。今のルールで中学に通わせることはむずかしい。	身体障害 知的障害	9	女性	家族
措置児に対して児童相談所は施設入所を機に距離をおく。そのため連携を密に図るのが難しい。就学先を選択する際に重心児であるにも関わらず、市の施設入所を理由に知的の特別支援学校に入学している。県立、市立の枠ではなく、対象児に合った就学先の選択ができると良い。	身体障害	10	男性	施設職員
移動支援を、施設への通所送迎、通学の送迎に利用したい。	身体障害 知的障害	17	男性	家族
放課後デイサービスの事業所が増えて利用しやすくなり長期間の休み（夏休みなど）時とても助かっています。でも学校卒業後の支援体制にはとても不安を感じています。通所を考えていますが帰宅時間が早く、延長を取り入れている事業所さんも少なく、移動支援サービスなども事業所側の人手不足で非常に依頼困難です。短期入所もやはり同じく人手不足で事業所側は開店休業状態。保護者の私達が高齢となっていく子供の介護が負担になっていくのに対し支援体制は反比例している事にとっても納得がいきません。どうか学校卒業後のサービス強化をお願いしたいです。	知的障害	15	男性	家族

## ②医療・健康について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入制限のボーダー金額が微妙な額で、わずかな差で手当が受けられない。これでは不公平だと思う。もう少し収入制限のボーダーを上げてほしい。かなりの高所得者の場合は良いのかもしれないが、現在の収入制限（500 万台）では低すぎる。</li> <li>・医療費の補助をもっと多くしてほしい。</li> <li>・補聴器等の購入の補助の申請が現在 5 年に 1 度できるが使っていて本人に合わない。新しい物の方が性能が良くなる等有るのでもっと早く（短い期間で）できるようにしてほしい。</li> </ul>	身体障害 知的障害	12	男性	家族
知的障害や発達障害の人をもっと受け入れてくれる病院（医師）がほしい。受診サポート手帳など利用しているが、見せただけで嫌な顔をした人もいし、看護師も「何それ」みたいな顔をする方も少なくないので、もう少し認知度をあげていきたいです。	知的障害	11	男性	家族
小児神経科や歯医者など予約を入れてるにもかかわらず、1 時間など待たされて待ち時間をなるべくなくすように改善してほしい。その子にあった対応ができるように医者専門性を高めてほしい。	身体障害 知的障害	13	女性	家族
中学を卒業し医療負担が高額になり、リハビリ回数を減らしたり、もらっていた薬を減らし様子を見ています。軽い障害なので一人でできることはやらせていますが、年々生活費に負担が大きく出てきています。進学もしたいと話しています。自宅も老朽化してきて下の娘も同時期に高校受験がくると思うと、せめて医療費が確定金額だと安心して受診ができます。中学生が助成され 500 円になり本当にありがたかったです。高校生も未成年。親が守っていく責任があり成人を迎えるまで 1000 円～2000 円の確定助成をしてくださると助かります。	身体障害	16	男性	家族

## ③生活環境について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日電話で相談した所、「直接学校に問い合わせてください」と言われました。</li> <li>・押しボタンを増やしてほしい。青→渡る、赤→止まるがわかっているので、自らで押して渡らせたい。あまり障害の事を知らないで見る人が増えてます。小学、中学校にも障害の事教える事も学ぶべきかと思いました。</li> </ul>	知的障害	10	男性	家族
マンションのエレベーターに車イスボタンをつくったほうがいい。	身体障害、知的障害	12	男性	本人

#### ④雇用・労働について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
障害者が成人後、就労できずに施設や家庭で一生を終えるのは、本人、家族、行政、支援サービス等の負担になるだけでなく、社会全体の損失や機会逸失なと思うので、本人のできる限りの範囲で、単純作業や単純労働になるとしても、とにかく就労し、わずかばかりでも賃金を得、社会参加できる人間に成長することが、高齢化、晩婚化する社会にとって必要だと考えます。そのためには本人、家族の努力と共に、雇用側の企業等の理解も浸透していかないとはいけません。個人的には、息子の症状を説明しても「成長すれば治る」と言われ理解されず、面会も拒否され、療育の為の育休取得も反対される職場の上司に指導をお願いしたいです。	知的障害	5	男性	家族
母1人、子1人の母子家庭です。現在パートで働いていますが、学校の迎えの時間などの関係で、長時間働くことができません。また、子供が体調をくずしやすく、なかなか収入も安定しません。働ける場所もなかなかない。重度心身障害児なので、やはり車が日常的に必要ですが、維持費が高い。経済的に将来が不安。 子育て中のママなどが気軽に働ける場所が欲しい。働けるときに出勤、シフトもないのでいつ休んでもOK。仕事内容は内職的なもの。・障害児が利用できる病後児預かり所、みたいな所が欲しい。熱が下がって、ある程度元気になっても、咳が出ていると学校に行かせづらい。まわりも体の弱い子ばかりなので、ちょっとした風邪でも、1週間以上学校を休ませる。すると母は仕事に行けない。	身体障害	10	女性	家族
学校卒業後就職先が見つかるか心配です。将来的にグループホームなど共同生活を希望していますが入居できるかどうか情報が少ないので。介助者の負担も大きいです。放課後デイサービスも平日のみの利用なので。年末年始やゴールデンウィークの長期休暇は介助者の精神的負担、1人で留守番をさせられないので。まだまだ障害者への周囲の目は冷たいですね。生きづらい世の中だと思います。この先どうなっていくのか。むずかしいですね。	知的障害	11	男性	本人
障害者が、一般就労する際には、学校まで、自立通学していることが目安とされます。それは、在学中の、実習も同様なので、視覚障害者（全盲）にとってとても高いハードルです。点字ブロックや、音声信号、エスコートゾーンなど、ない場所では、とても危険な歩行訓練をしなければならぬのです。視覚障害者が安全に移動できるように、せめて、自宅の最寄の信号には、音声信号、エスコートゾーン、点字ブロックを付けていただきたい。個別の対応をしてもらいたいです。	身体障害、知的障害	16	男性	不明
今、レスパイトを利用していますが、18才以上になって就職したら、どうしようと思います。何か大人になったら何かあれば、助かります。会社から帰ってきてからや土日の余暇を楽しめる所。	知的障害	15	女性	本人

## ⑤将来について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
今介助している両親が亡き後のことがとても不安。一人で生きていけるのか、どのような支援をしてくれるのか早いうちから情報がほしい。子の将来がとても不安。	知的障害	9	女性	家族
知的ボーダーで困っている子に対しての市への対応がまだ不十分だと感じます。他県の取り組みをもう少し参考にされては？子育て（知的ボーダー）をしている親からしたら将来に不安しかありません。すぐに改善してくれる事を希望します。療育手帳の基準も前回と違うように感じますし、田中ビネーでなければならぬ理由も明確にしてほしい。	知的障害	8	男性	不明
今は特別支援学校高等部卒業後の生活介護通所施設がどこもいっぱいになってきていることに対して不安を感じます。その後はグループホーム等の心配もでてくると思います。いずれも、人材確保がネックになってくると思います。人材育成、給与確保等、色々課題はあると思いますが、よい方向に進んでいってほしいと思います。	身体障害 知的障害	10	男性	家族
障害児（18歳未満）は、学校があるので、守ってくれてるが、問題は卒業後の生活です。こちらの方が、長い人生始まるので充実した選択が出来るようになることを願います。現在のように、どこも定員オーバーですと、不安でしかないです。うまく改善できますようお願い致します。	身体障害 知的障害	13	女性	家族
重症児の子供達は増えています。しかし卒業に進む道はありません。特に医ケアの児童は行く所がかぎられており、満室・満員の為、行く所がなく高等部（卒業生）になる前から不安をかかえている家族が多いです。どうか、作って下さい。	身体障害 知的障害	14	女性	家族

## ⑥経済事情・経済的支援について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
短下肢装具の上からはく靴に補助金を出してほしい。装具用の靴（装具用カバーシューズ、ロータイプ）例サスウォーク¥8,030円。マジックテープが1つなので本人が装具の上からくつを一人ではける。・幼稚園や小学校での室内用に1足。外用に汚れた時の替えも必要なので2足。3足¥24,090。歩ける子どもなので外用の靴は早いと2、3ヶ月ぐらいでかかるとに穴があき、また2足購入。1年間で数万円の出費になる。装具用カバーシューズを作っているメーカーはあまりなく、どうしても一足の値段も高い。特別児童扶養手当も所得制限や手帳の等級により対象外の方も多い。下肢装具用の補助靴として保険適用や補助金制度にしてほしい。歩行可能ということで手帳の等級も低く、特別児童扶養手当もなく、靴代が負担になる家庭は多いと思う。	身体障害	5	男性	家族

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
いろいろ手厚くサービスして頂き感謝しているのですが、利用者負担の上限額の規定がいまいち納得できない。月額 4,600 円だったものが、いっきに 37,200 円になる意味がわからない。たいして所得が増えているわけでもなく（年収 1000 万越えとかならわかるけど）600 万代でそんなに負担額増やされたらサービスも受けられなくなるし、生活が大変です。サービスも減らした上、パートもしないと生活できないし、首をしめられてどうにもなりません。途中の段階を入れるべきでは？せめて、月 1～2 万代負担にすべきです！！	知的障害	8	男性	家族
障害児対策は頑張っている自治体だと思いますが、所得制限に対して少々不満があります。制限をこえると一気に補助がなくなります。重度の障がい児がいる場合、片方の親は働きたくても働けない場合がほとんどです。制限をもう少し段階的にしていただきたいと思います。それが難しいのであれば重度障がい児対象の放課後デイサービス拡充をお願いします。または配偶者控除をしてください。サービスの格差を感じます。生活介護で重度障がい者に対応してくださる事業所が足りません。相談員も不足している中、相談支援事業を受けることも難しい状況です。	身体障害 知的障害	16	男性	家族
人工内耳の買いかえに 1 つ 100 万円かかります。娘は両耳で 200 万円です。りょう育で母子通園のため仕事できません。補聴器は数万円の負担で買えるのに対し、もっと聴力の重い 2 級の娘は全額自己負担です。全国で、100 万以上助成のある地域もあります。千葉は全国でたった 1 つしかない国立のろう学校があるのにも関わらず、せいどが整っていません。金もない。時間もない。わが家は新しい人工内耳を買えません。いじ費だけで年数十万かかります。助けて下さい。難聴の半数以上が遺伝性で次の子も 25%でろうです。お金がないので産めません。	身体障害	1	女性	家族
収入にかかわらず手当をだすべき。	身体障害	14	男性	不明

## ⑦行政・制度について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
役所の担当者が、毎年かわるようで、制度や書類のやりとりが、スムーズに行われず、困る事が多いです。花見川区は、道幅もせまく、歩道も整備されていない場所も多く、車いすでの移動はできません。道路渋滞もかなり多い為、施設利用事送迎バスも行けないと言われます。常に保護者による送迎になる為、ガソリン券の増加や、車イス用の車のレンタルがあると、とても助かります。	身体障害 知的障害	16	女性	家族
とても縦割りで動いている事が多く感じます。全ての事をトータルのに相談できる場面は少なく、この内容だとこの課へみたいな感じなので、つい行政ではなく医療機関へアドバイスもらって自分達で交渉している日々です。とりあえず聞いてもらえる機関があっても内容や解答していただけるものが薄いので自分で調べたりネットで探してしまいます、障害福祉の手引きがいつ行っても保健福祉センターにないのもとても不便だと思っています。	身体障害 知的障害	10	女性	家族

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
利用できるサービスや手当など、自分で調べたり、聞きに行けない障がい者が多いと思います。利用できず、手当を受けられず、日常生活で大変な思いをしている人のためにも、市の方から障がいや家族構成にあった、サービスや手当などのリストを教えていただけたらいいと思います。	身体障害	5	女性	家族
必要な支援（親子共々）の早急な対応ができるシステムを作してほしい。受けたくても受け口が少なく、スピードが必要な時に対応が遅れ、更に入学後も地域で生活、学びたい子達への対応が柔軟になされていないと思います。	身体障害	8	男性	家族
区役所では総合受付の様な役割の人が何人かウロウロしてるので「～をしたくて来ました」と伝えればそれに応じた課を案内してくれるが保健センターにはそのような人がいない。利用したいサービスが複数の課だったりそれをとびこえ児相だったり結局は自分でそれぞれの担当部署に問合せするはめになっている。	知的障害	4	男性	家族
手帳のはんていだけで、けいどとかのはんだんをしてほしくない。けいどでも、どれだけ、たいへんか、もっとしつかりはあくし、りかいしてほしい。高校生だけで、そうだんする所もないし、しんみになって、アドバイスや、うけれるサービスが無いのは、おかしい。必ずしも、じゅうどだけが、大変だとは、おもわないでほしい。高校生の、はったつしょうがい、人とのコミュニケーションがとれなかったり、いろいろある人のかていも、もっとはあくし、1人1人にあった、アドバイスやら、そうだんができる所を、ちゃんとつくってほしい。	知的障害	16	男性	家族
何を利用するにも仕事をしていると、役所に行けない。月1回でいいので土曜日にやってもらえるとたすかる。	知的障害	13	女性	本人
受給券等の更新が多い。（たくさん受給券を持っているため）。そのたびに役所へでむく事がとても大変。その上、必ずといっていいほど役所の方が手続きにおいてミスをする。きちんと仕事をしてほしいです。周りにおいても同等の意見が多いです。（きぼーる）。	身体障害	6	女性	家族
市長への手紙も出しましたが、こんなにも障害のある子供が増えているのに、近くに安全に通える特別支援学校がない。現在、中学校の支援級に在籍しているが、4月からの高校進学、市立高等特支は軽度しか入れないので、遠方まで通うしかなくとても不安です。障害を持つ子供の親は小さな子を抱えながら送り迎えを余儀なくされ、仕事もまともにできません。せめて、近くに学校を作りたいです。	知的障害	15	女性	家族
車イステニスや、水泳など千葉市でできるようにして下さい。プールにもバリアフリーをお願いします。（市民プールなど）	身体障害	10	男性	家族
小中学校について、普通級と支援級で悩んでいる場合、もう少し柔軟に対応して頂けると助かります。今後共、宜しく願い申し上げます。	知的障害	12	女性	家族

⑧その他

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
5才（自閉スペクトラム症の診断あり）の息子がいます。まだどこまで成長するのか、知的はどうか、分からないので何を調べたら良いのか、何を考えなければいけないのかよく分かりません。幼稚園も加配まちで来年（年長）からの入園予定になっています。障害そのものがはっきりしない分かりにくいものなので入園についてもおそらく入学についても保護者の判断になっている状況です。同じ感じの保護者からの情報はとても参考になるので、もっと知りたいなと思います。今の息子には何の支援が必要なのか、今後の為には何をすべきなのか、知っておく必要があると思います。	知的障害	5	男性	家族
障害者に対する偏見を感じる事がよくあります。そして障害児を安心して遊ばせられるような場所が少なく感じます。障害児でも安心して遊べるような場所があるととてもうれしいです。	知的障害	3	男性	家族
小・中学校でもっと充実したノートテイクのボランティアさんの対応をしてほしかった。	身体障害	16	女性	本人
障害者にかぎらずいじめのない世の中にしてほしい。	身体障害 知的障害	14	男性	家族
療育の費用を負担して頂けて、とても助かっている。今後就学、進学、就労にあたり、どんなサービスを要するかまだわからないが、使えるものがどんなものなのか、情報へのアクセスがよりよくなるといいなと思う。	知的障害	3	男性	家族
同じ障害をもつ人たちの集いに参加したい。各年齢ごとの状況や生活を理解して自分がこれからどのような人生を歩むのか想定しておきたい。しかし、病院にお願いしても紹介してもらえないまま。	身体障害	2	男性	家族

## 4 発達障害のある方を対象とした調査

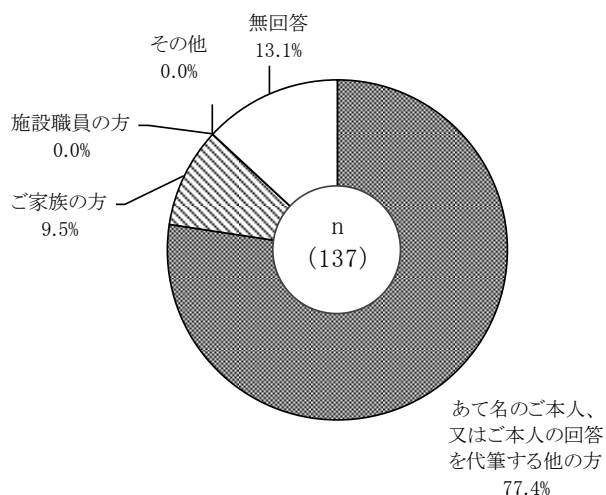


## 4 発達障害のある方を対象とした調査

### (1) 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(○は1つ)

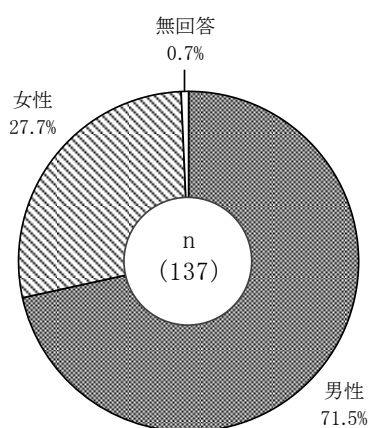
「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」の割合が77.4%と最も高くなっています。



### (2) 本人について

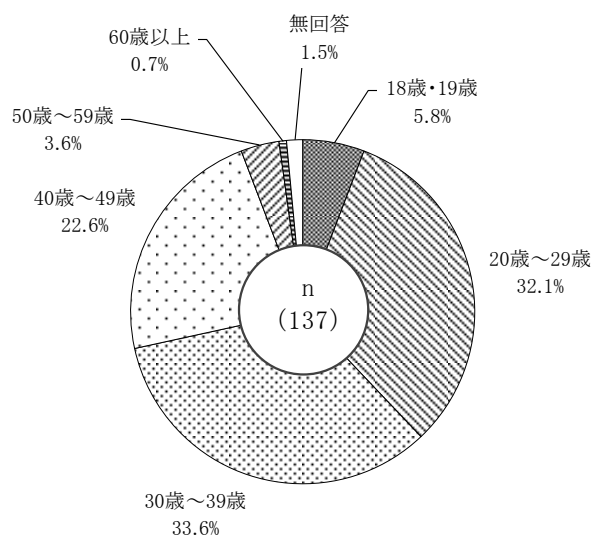
問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」の割合が71.5%、「女性」の割合が27.7%となっています。



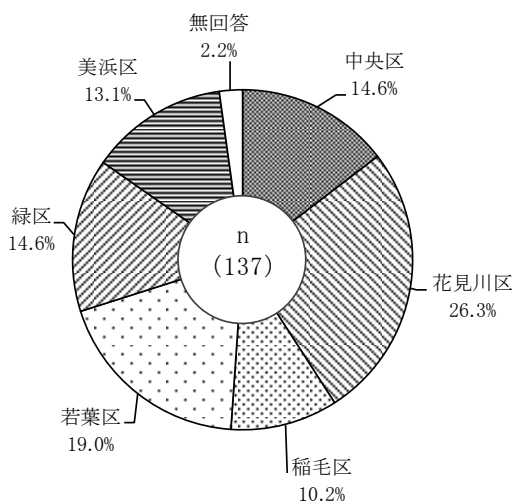
問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

「30歳～39歳」の割合が33.6%と最も高く、次いで「20歳～29歳」の割合が32.1%、「40歳～49歳」の割合が22.6%となっています。



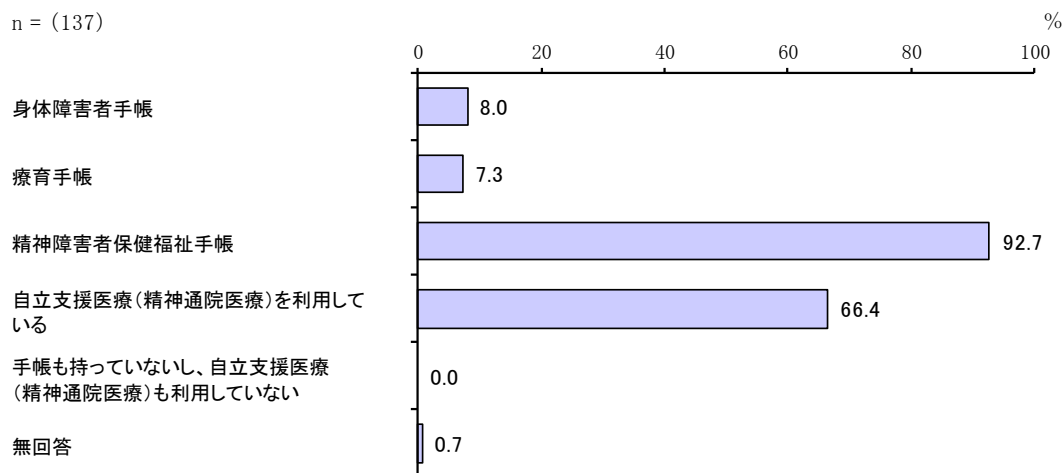
**問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。(○は1つ)**

「花見川区」の割合が26.3%と最も高く、次いで「若葉区」の割合が19.0%、「中央区」、「緑区」の割合が14.6%となっています。



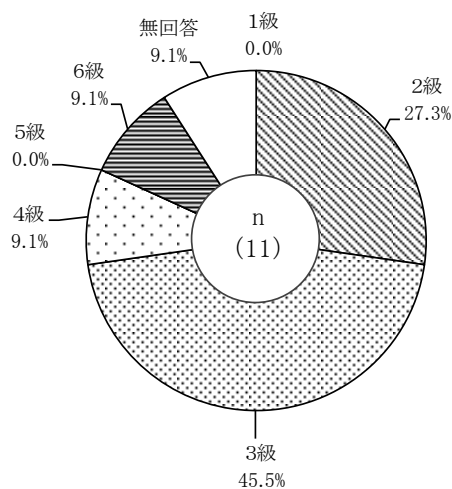
**問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。(○はいくつでも)**

「精神障害者保健福祉手帳」の割合が92.7%と最も高く、次いで「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」の割合が66.4%となっています。



### 1. 身体障害者手帳の等級

「3級」の割合が45.5%と最も高く、次いで「2級」の割合が27.3%となっています。

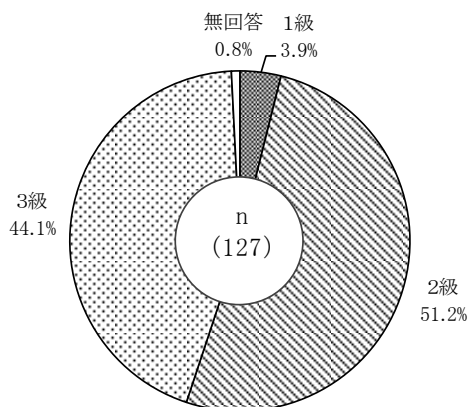


### 2. 療育手帳の程度

「Bの2」の割合が8件と最も高く、次いで「Bの1」が1件となっています。

### 3. 精神障害者保健福祉手帳の等級

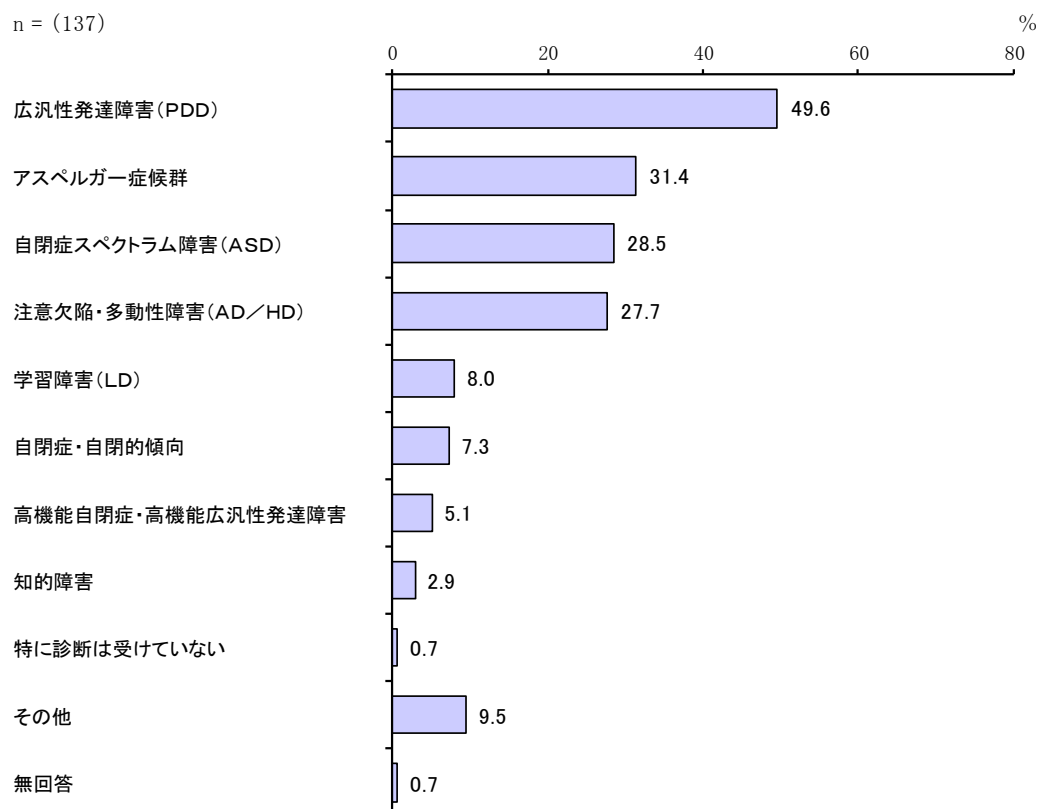
「2級」の割合が51.2%と最も高く、次いで「3級」の割合が44.1%となっています。



問6 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。(〇はいくつでも)

「広汎性発達障害(PDD)」の割合が49.6%と最も高く、次いで「アスペルガー症候群」の割合が31.4%、「自閉症スペクトラム障害(ASD)」の割合が28.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「自閉症スペクトラム障害(ASD)」、「注意欠陥・多動性障害(AD/HD)」の割合が増加し、「アスペルガー症候群」、「高機能自閉症・高機能広汎性発達障害」、「知的障害」の割合が減少しています。



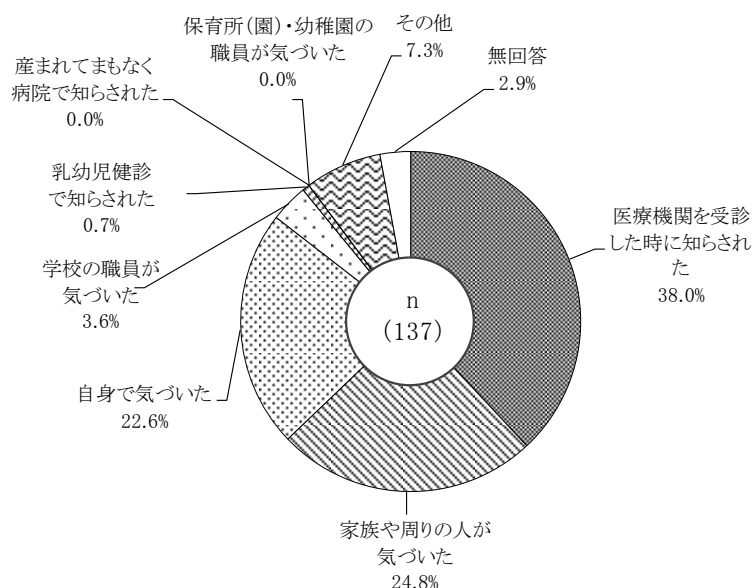
【平成28年度調査】

単位: %

	調査数	広汎性発達障害(PDD)	アスペルガー症候群	自閉症スペクトラム障害(ASD)	注意欠陥・多動性障害(AD/HD)	学習障害(LD)	自閉症・自閉的傾向	高機能自閉症・高機能広汎性発達障害	知的障害	特に診断は受けていない	その他
全 体	120	46.7	40.0	13.3	9.2	5.8	9.2	11.7	10.0	0.8	9.2

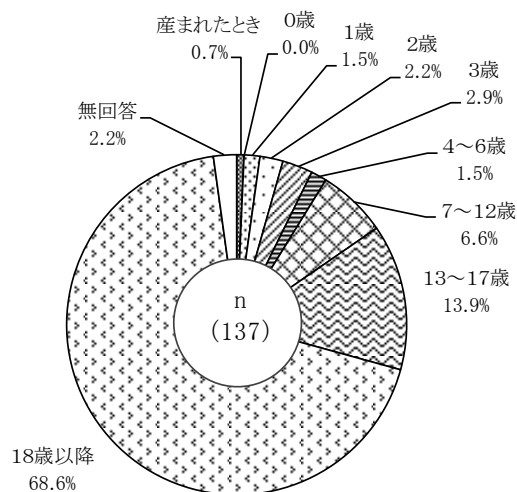
**問7 あなたが診断名の障害に気づいたきっかけは何ですか。(〇は1つ)**

「医療機関を受診した時に知らされた」の割合が38.0%と最も高く、次いで「家族や周りの人が気づいた」の割合が24.8%、「自身で気づいた」の割合が22.6%となっています。



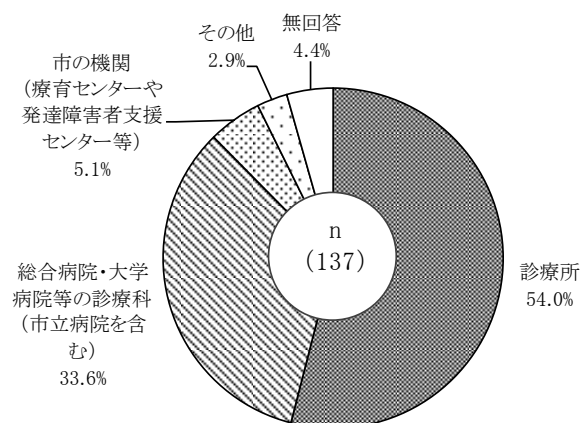
**問8 あなたが診断名の障害に気づいたのはいつですか。(〇は1つ)**

「18歳以降」の割合が68.6%と最も高く、次いで「13～17歳」の割合が13.9%となっています。



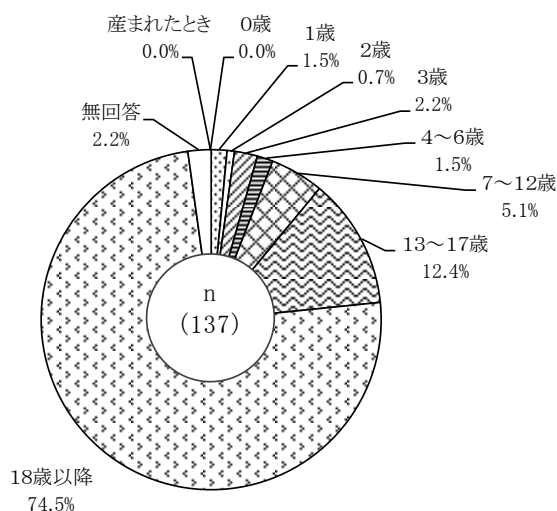
問9 あなたが診断・判定を受けた機関はどこですか。(〇は1つ)

「診療所」の割合が54.0%と最も高く、次いで「総合病院・大学病院等の診療科（市立病院を含む）」の割合が33.6%となっています。



問10 あなたが、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。

「18歳以降」の割合が74.5%と最も高く、次いで「13～17歳」の割合が12.4%となっています。



問11 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

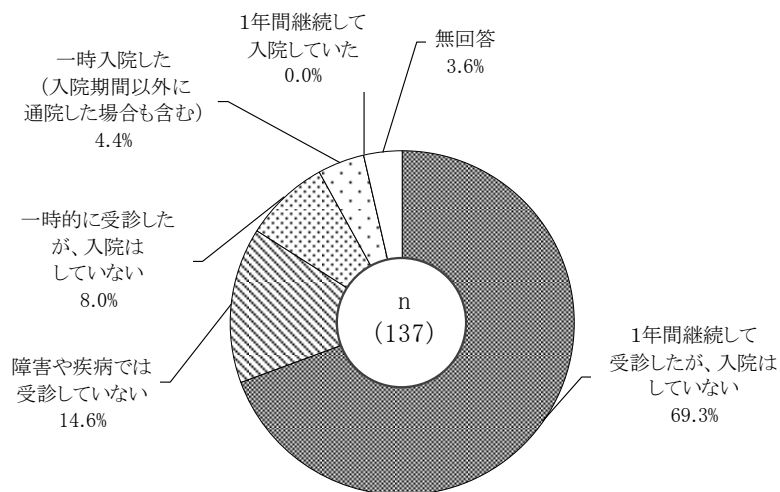
国が指定する特定疾患

- ・下垂体性 PRL 分泌亢進症（1 件）
- ・悪性関節リウマチ（1 件）

### (3) 医療機関への受診状況について

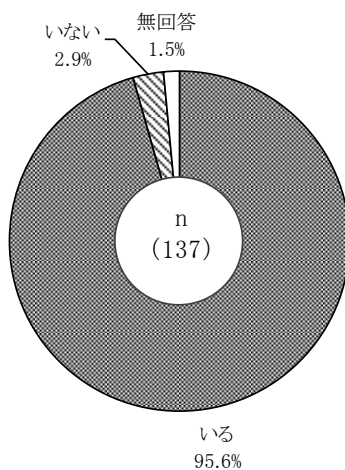
問 12 あなたは最近 1 年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。  
(○は 1 つ)

「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「障害や疾病では受診していない」の割合が 14.6%となっています。



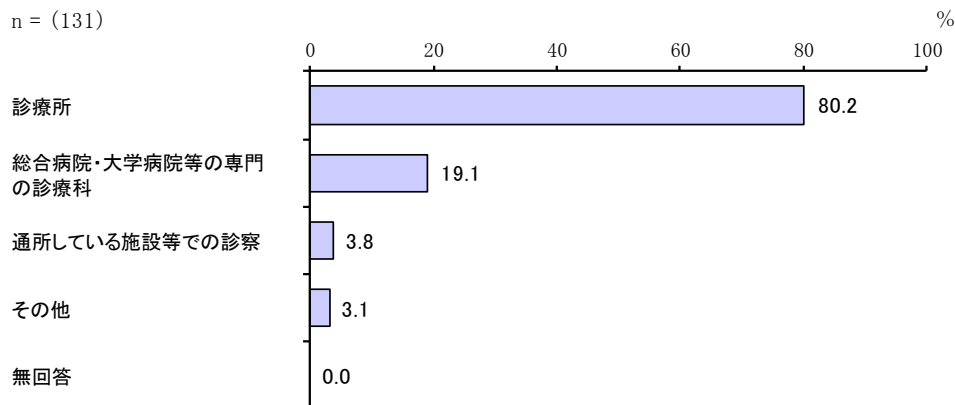
問 13 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。(○は 1 つ)

「いる」の割合が 95.6%、「いない」の割合が 2.9%となっています。



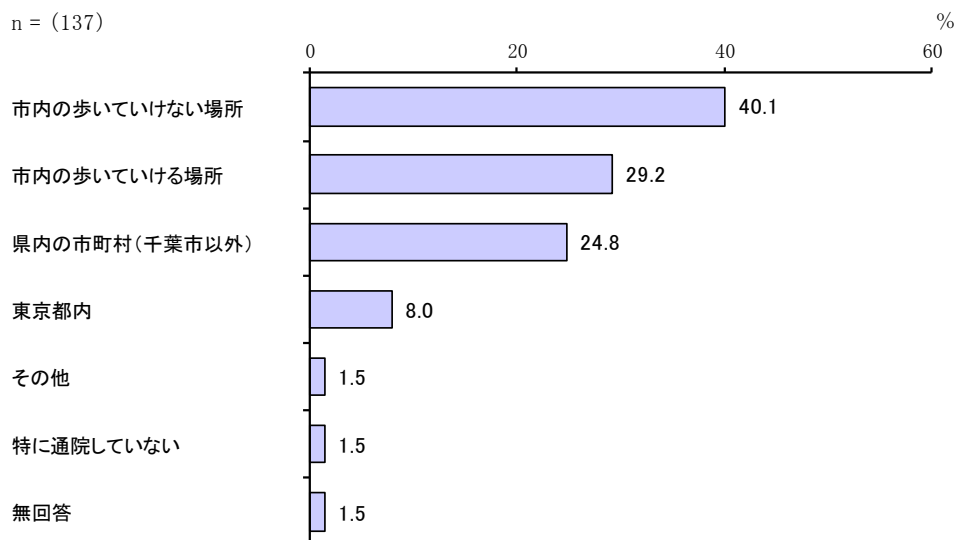
**問 14 【問 13 で身近な医師等（かかりつけ医）がいると回答した方におたずねします。】  
その医療機関はどのようなものですか。（〇はいくつでも）**

「診療所」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「総合病院・大学病院等の専門の診療科」の割合が 19.1%となっています。



**問 15 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。（〇はいくつでも）**

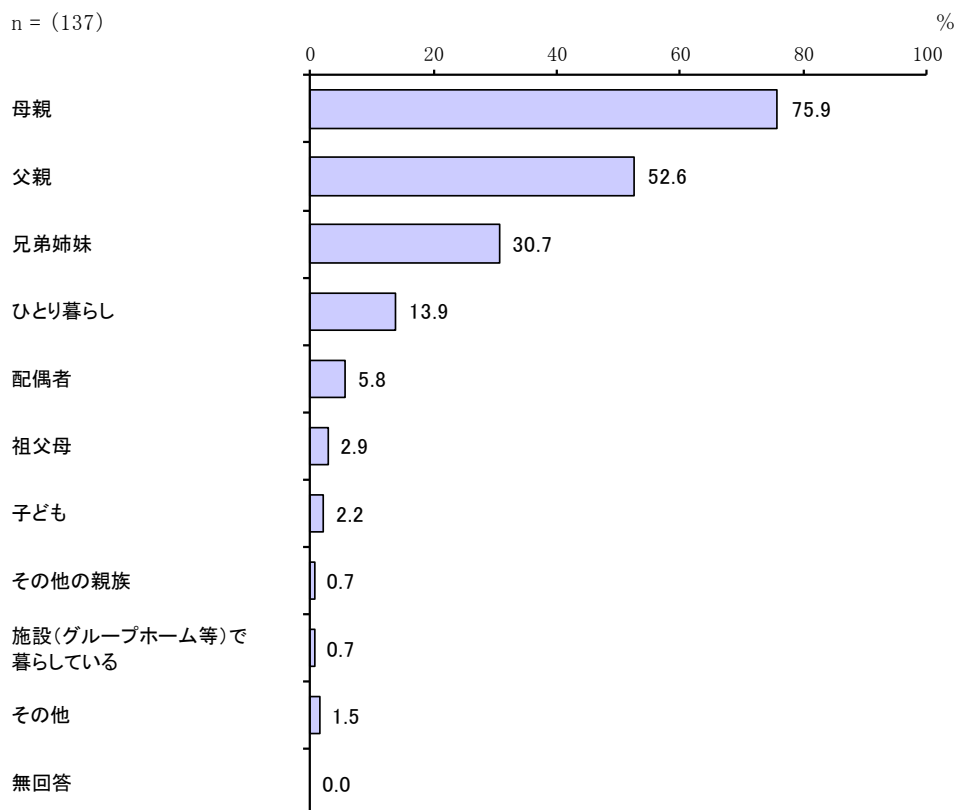
「市内の歩いていけない場所」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「市内の歩いていける場所」の割合が 29.2%、「県内の市町村（千葉市以外）」の割合が 24.8%となっています。



#### (4) 家族や介助者について

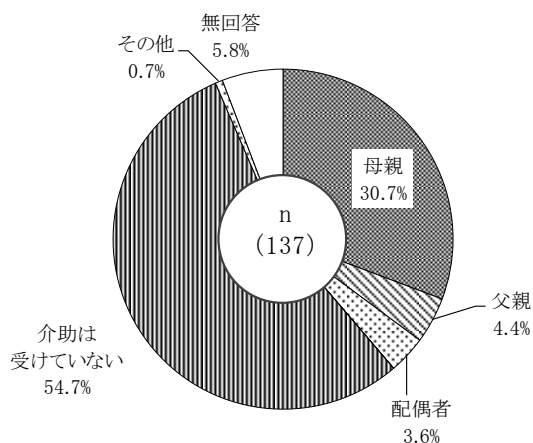
##### 問 16 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「母親」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「父親」の割合が 52.6%、「兄弟姉妹」の割合が 30.7%となっています。



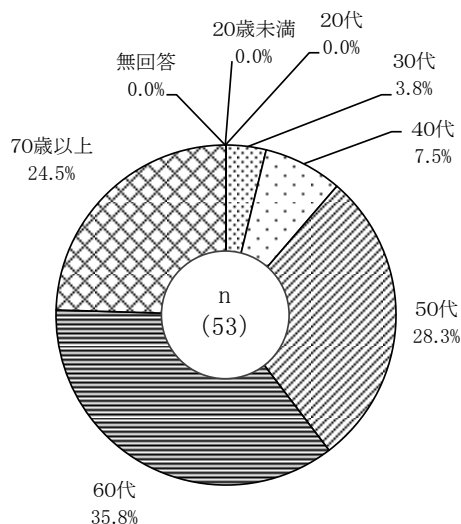
##### 問 17 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

「介助は受けていない」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「母親」の割合が 30.7%となっています。



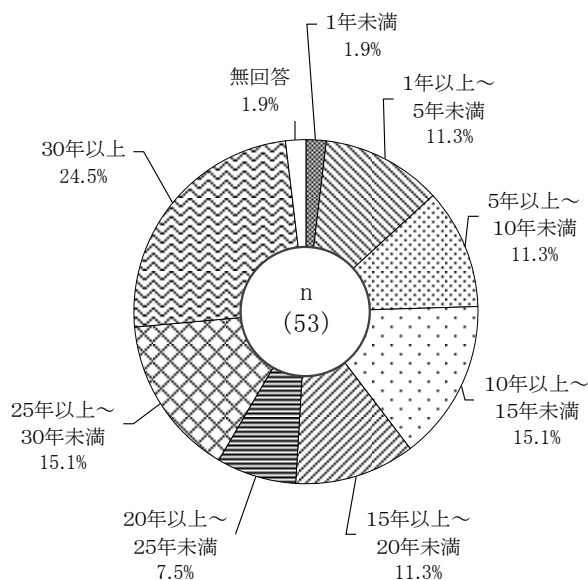
問 18 【問 17 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

「60代」の割合が35.8%と最も高く、次いで「50代」の割合が28.3%、「70歳以上」の割合が24.5%となっています。



問 19 【問 17 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の介助継続年数をお答えください。(○は1つ)

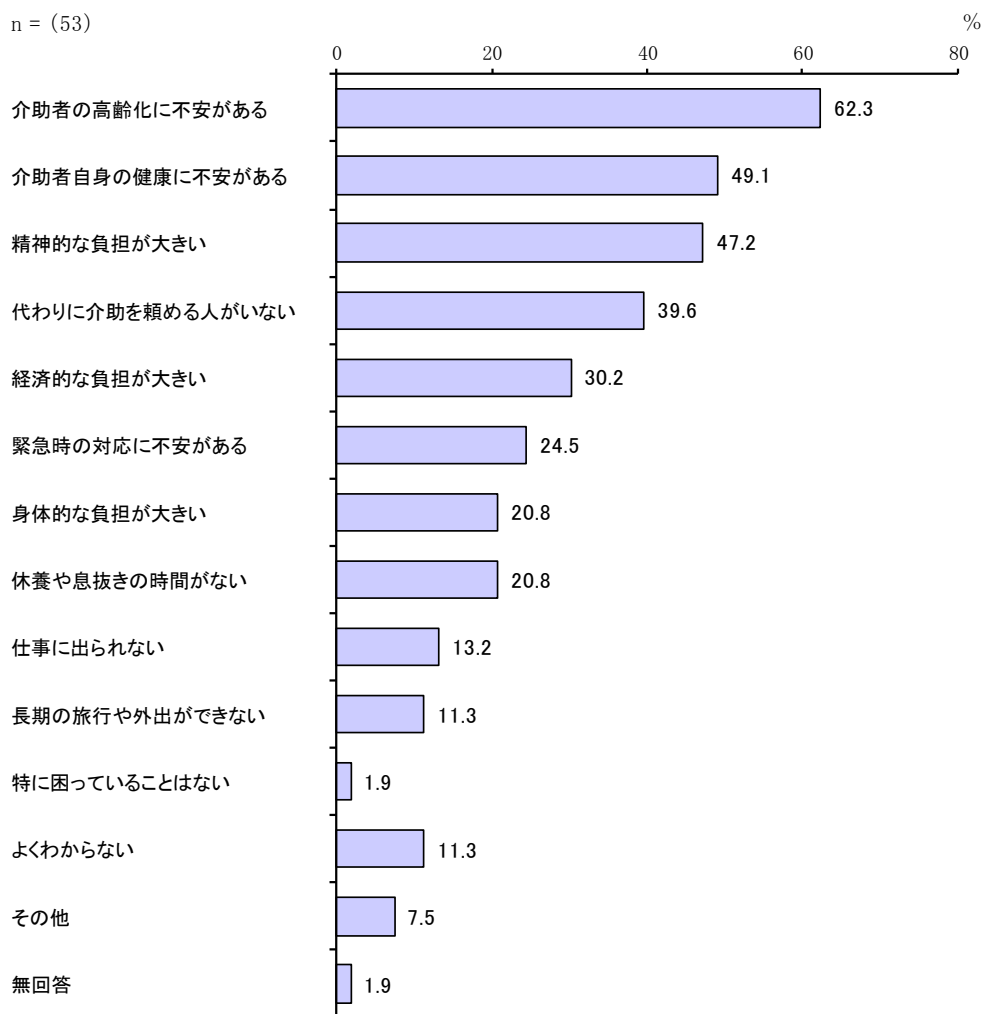
「30年以上」の割合が24.5%と最も高く、次いで「10年以上～15年未満」、「25年以上～30年未満」の割合が15.1%となっています。



問 20 【問 17 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

「介助者の高齢化に不安がある」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「介助者自身の健康に不安がある」の割合が 49.1%、「精神的な負担が大きい」の割合が 47.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「介助者の高齢化に不安がある」、「介助者自身の健康に不安がある」、「仕事に出られない」の割合が増加し、「代わりに介助を頼める人がいない」、「長期の旅行や外出ができない」、「特に困っていることはない」の割合が減少しています。



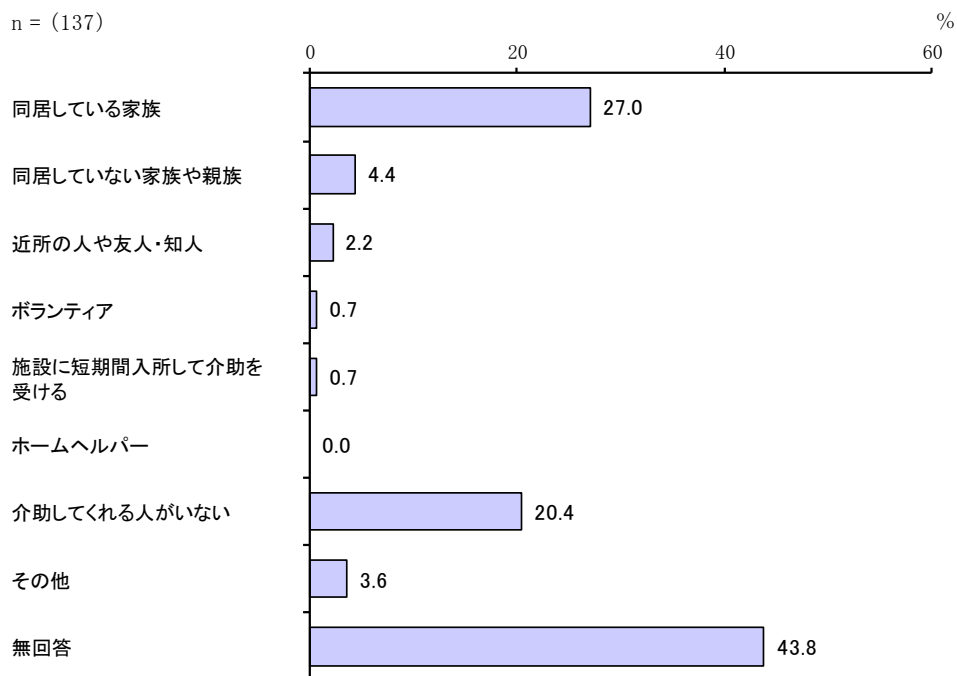
【平成 28 年度調査】

単位: %

	調査数	介助者の 高齢化に不安 がある	介助者 自身の健康に 不安がある	精神的 な負担が大きい	代わりに 介助を頼める 人がいない	経済的 な負担が大きい	緊急時 の対応に不安 がある	身体的 な負担が大きい	休養や 息抜きの時間 がない	仕事に 出られない	長期の 旅行や外出が できない	特に 困っていること はない	よくわか らない	その他
全 体	120	44.4	38.9	48.1	46.3	27.8	27.8	16.7	18.5	7.4	27.8	7.4	3.7	5.6

問 21 主な介護者が、病気のときや外出をしなければならないときなどは、代わりにどなたが介助していますか。（○は3つまで）

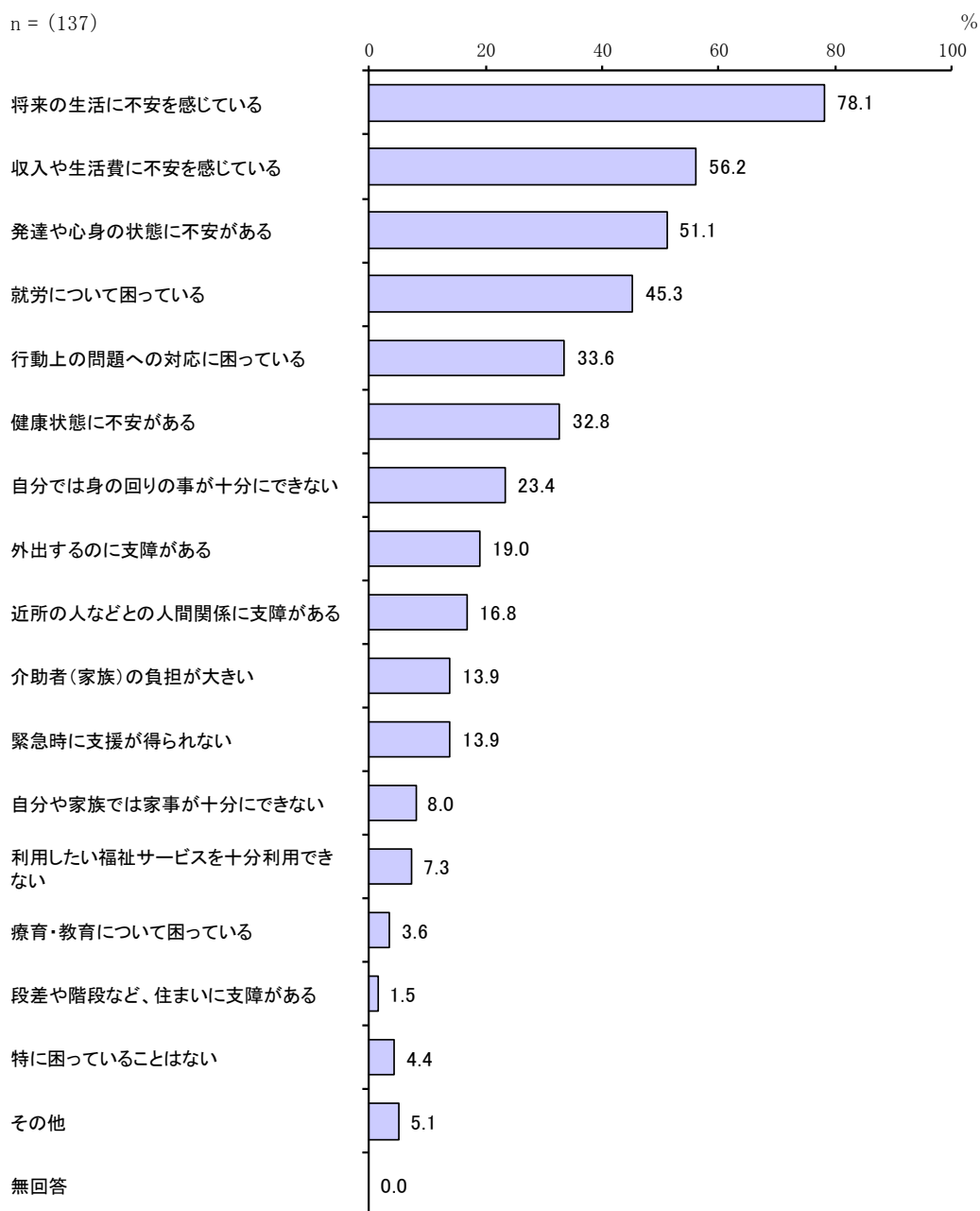
「同居している家族」の割合が 27.0%と最も高く、次いで「介助してくれる人がいない」の割合が 20.4%となっています。



## （５）相談や情報入手について

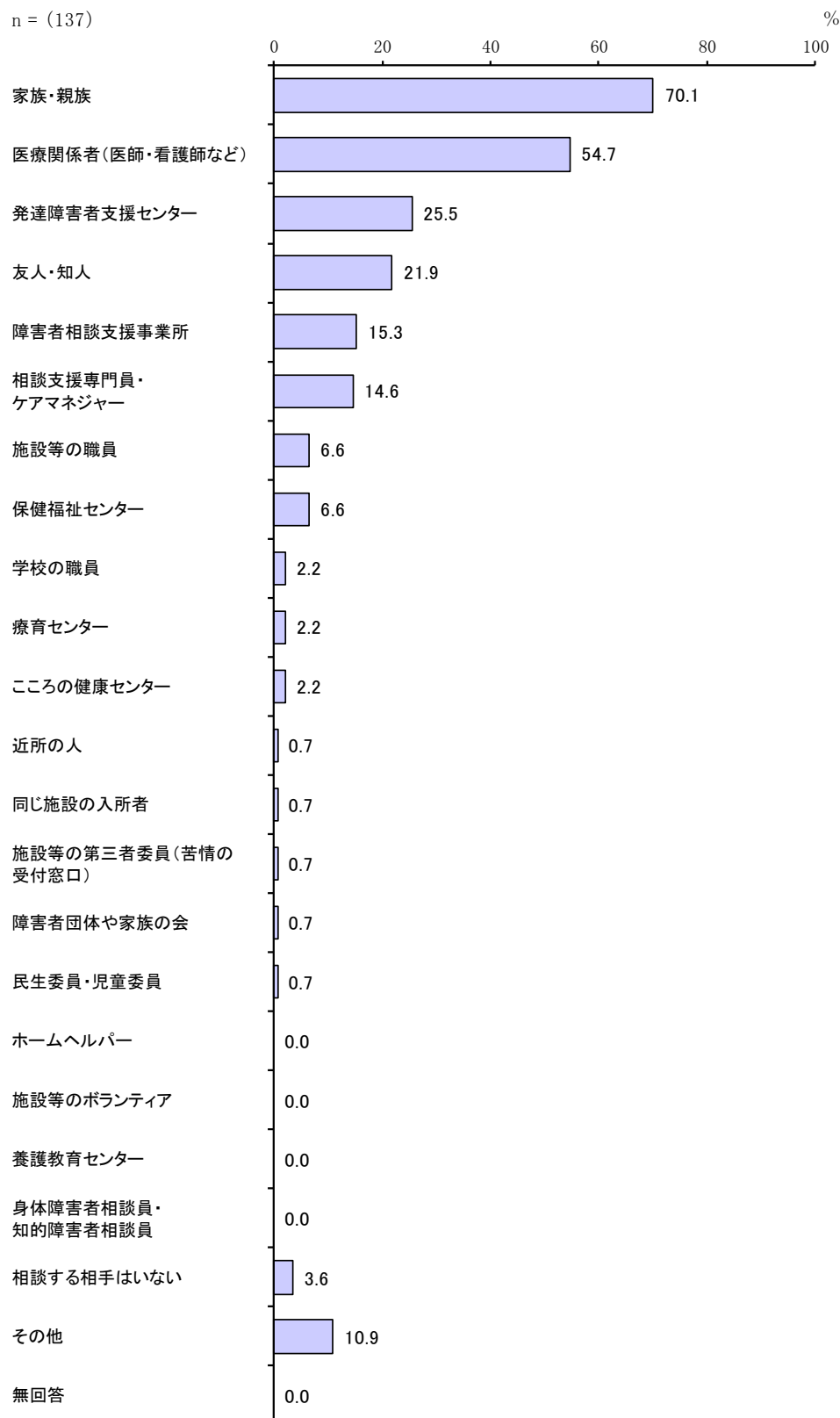
問 22 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。  
（○はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「収入や生活費に不安を感じている」の割合が 56.2%、「発達や心身の状態に不安がある」の割合が 51.1%となっています。



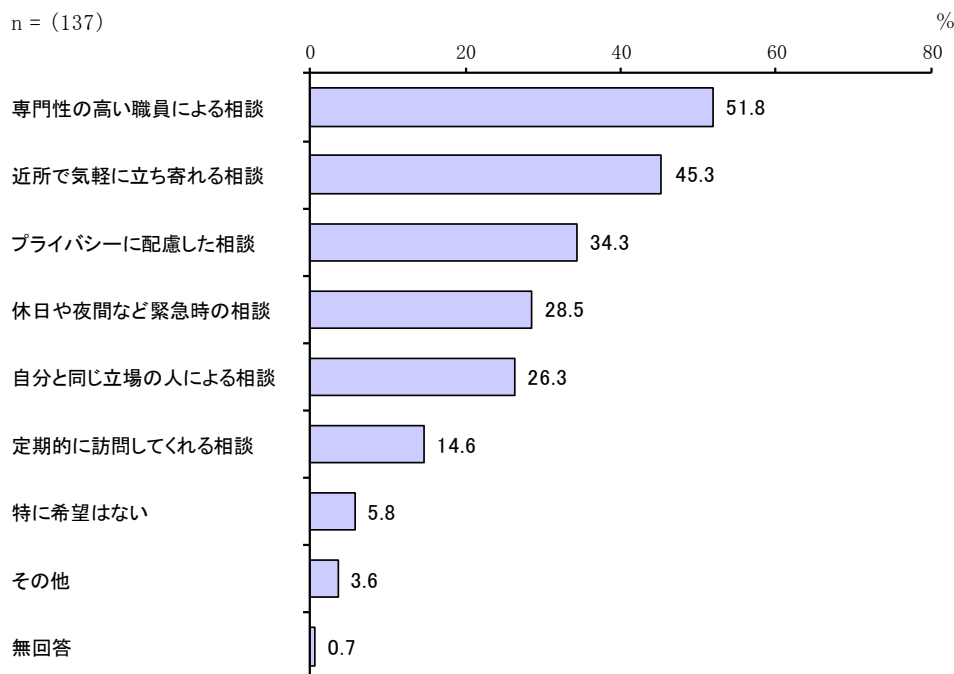
問 23 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。  
（〇はいくつでも）

「家族・親族」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「医療関係者（医師・看護師など）」の割合が 54.7%、「発達障害者支援センター」の割合が 25.5%となっています。



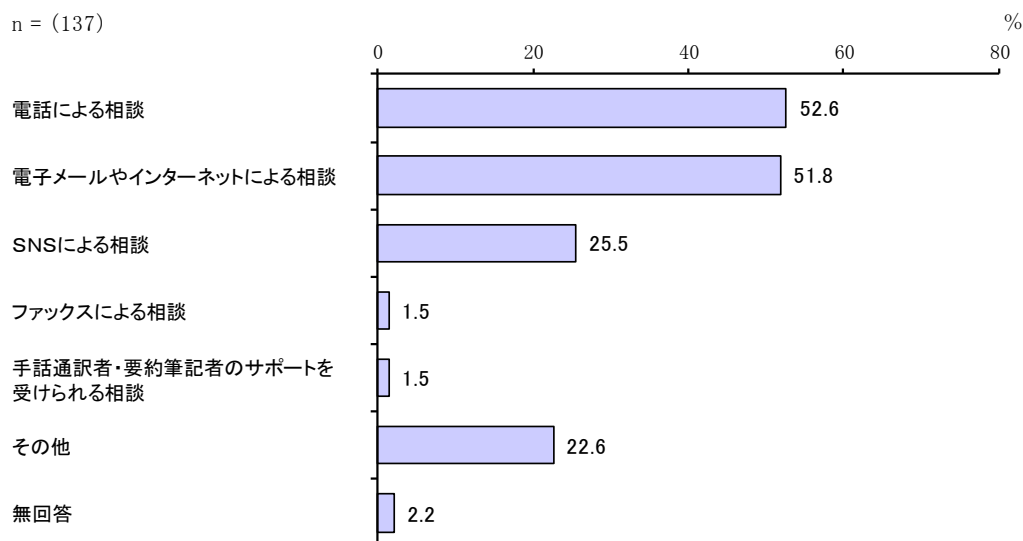
**問 24 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）**

「専門性の高い職員による相談」の割合が51.8%と最も高く、次いで「近所で気軽に立ち寄れる相談」の割合が45.3%、「プライバシーに配慮した相談」の割合が34.3%となっています。



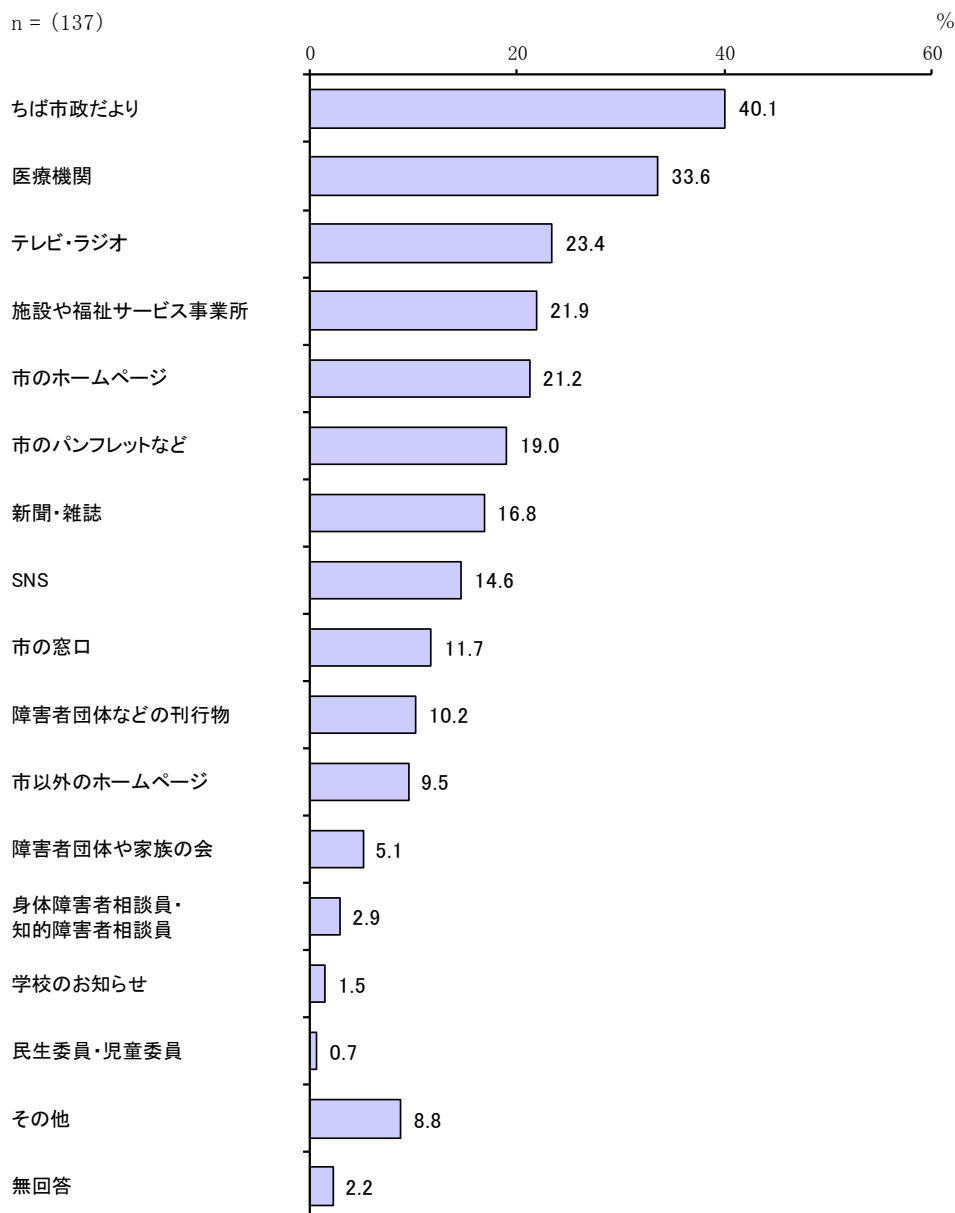
**問 25 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）**

「電話による相談」の割合が52.6%と最も高く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」の割合が51.8%、「SNSによる相談」の割合が25.5%となっています。



問 26 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

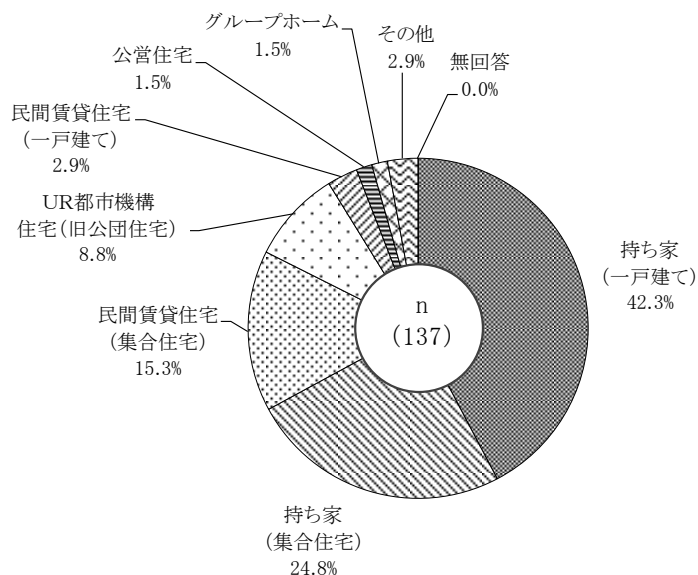
「ちば市政だより」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「医療機関」の割合が 33.6%、「テレビ・ラジオ」の割合が 23.4%となっています。



## (6) 暮らしについて

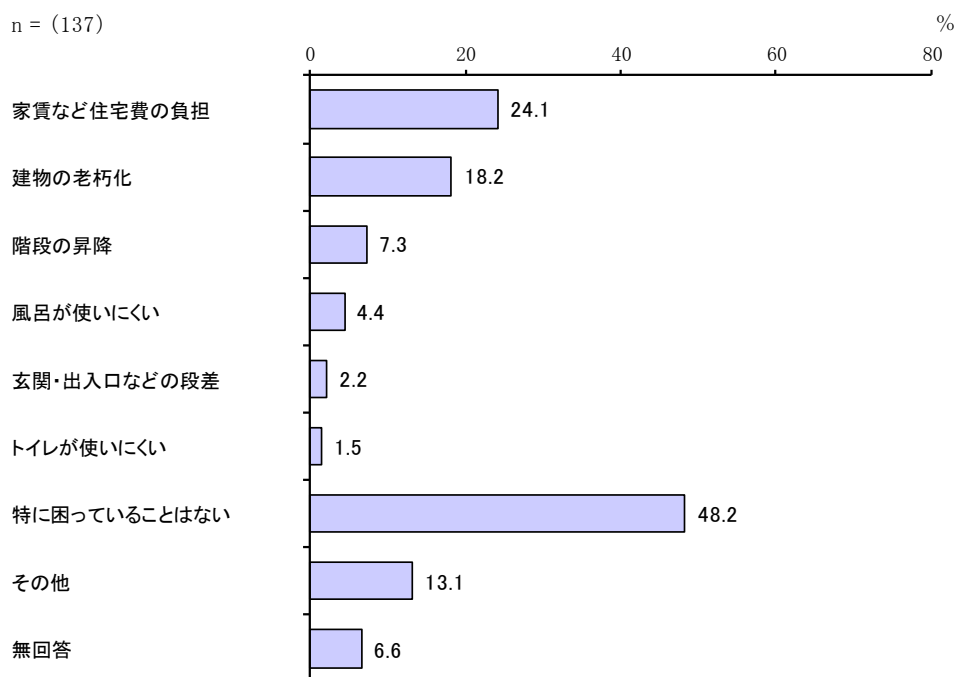
### 問 27 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

「持ち家（一戸建て）」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「持ち家（集合住宅）」の割合が 24.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が 15.3%となっています。



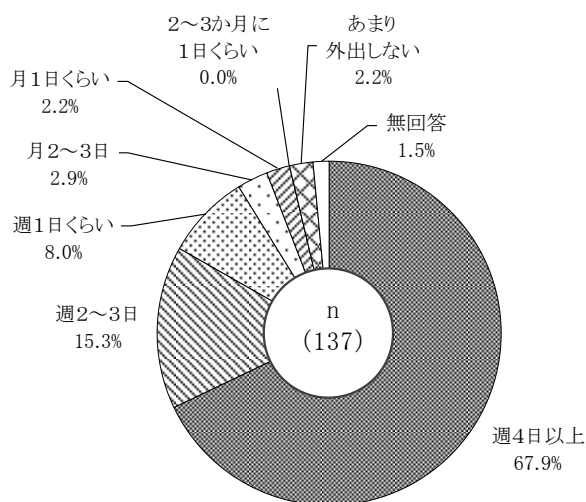
### 問 28 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「家賃など住宅費の負担」の割合が 24.1%、「建物の老朽化」の割合が 18.2%となっています。



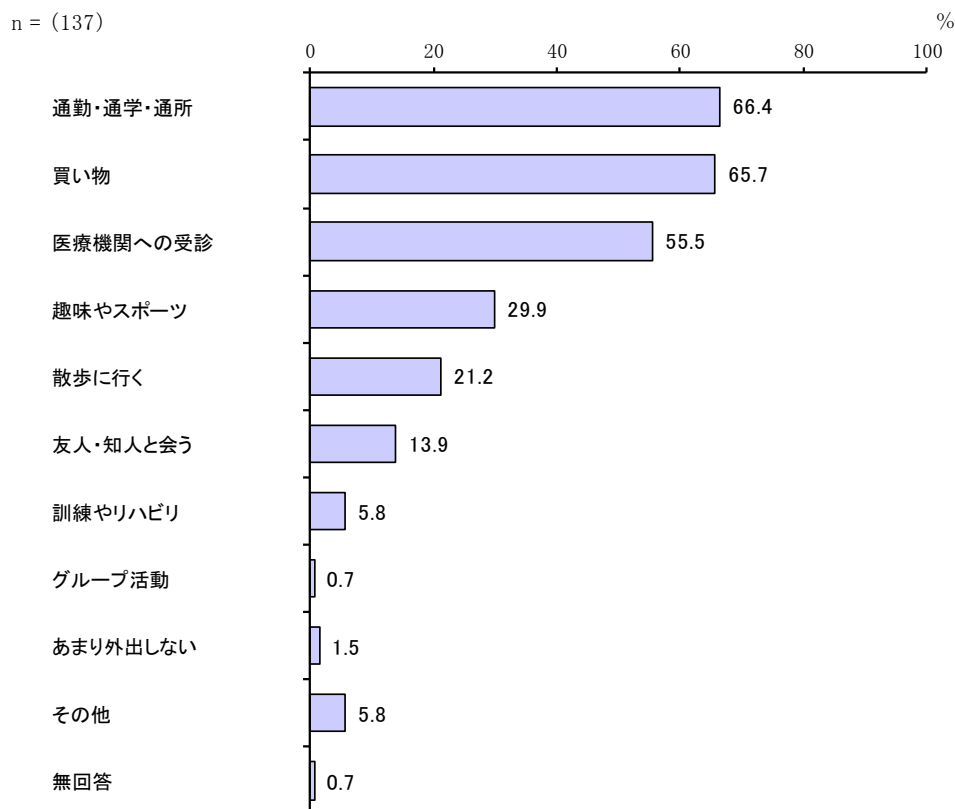
問 29 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

「週4日以上」の割合が67.9%と最も高く、次いで「週2～3日」の割合が15.3%となっています。



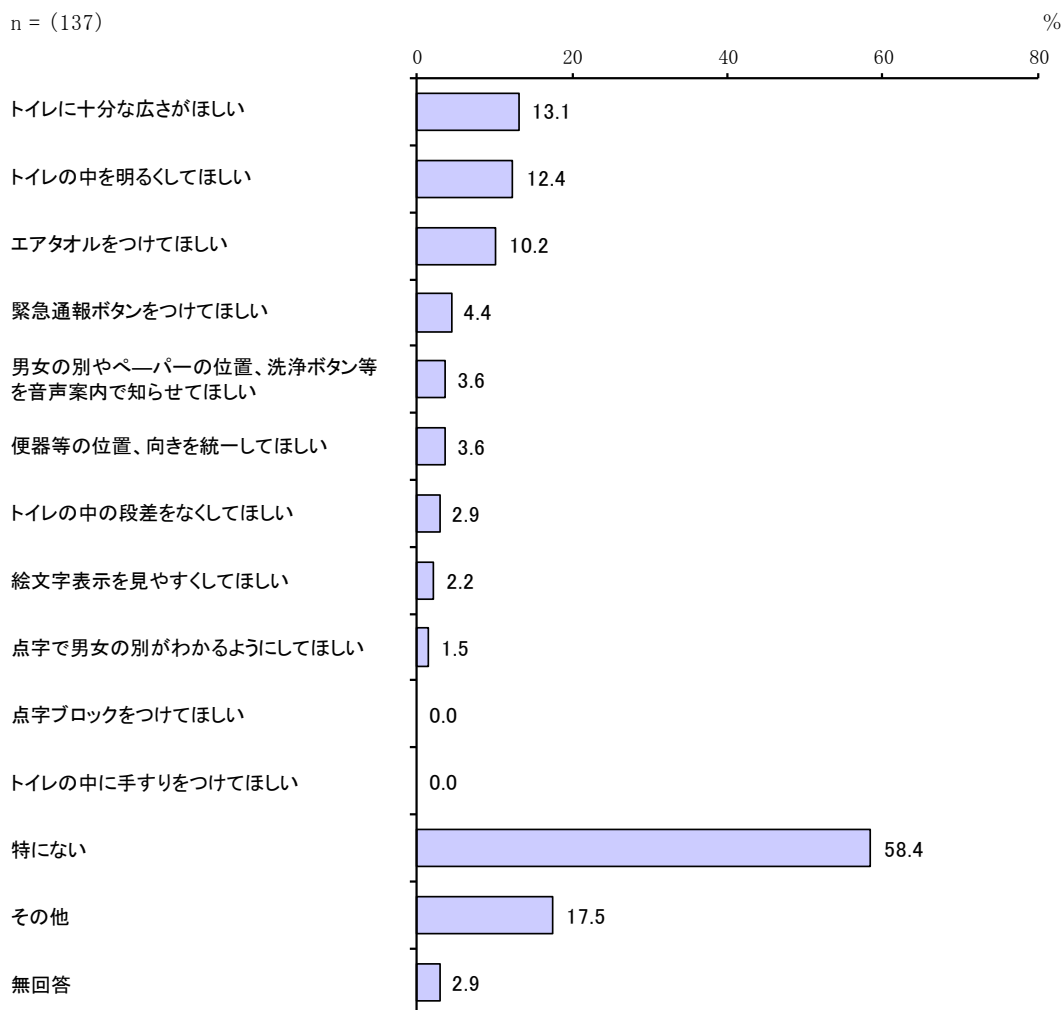
問 30 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

「通勤・通学・通所」の割合が66.4%と最も高く、次いで「買い物」の割合が65.7%、「医療機関への受診」の割合が55.5%となっています。



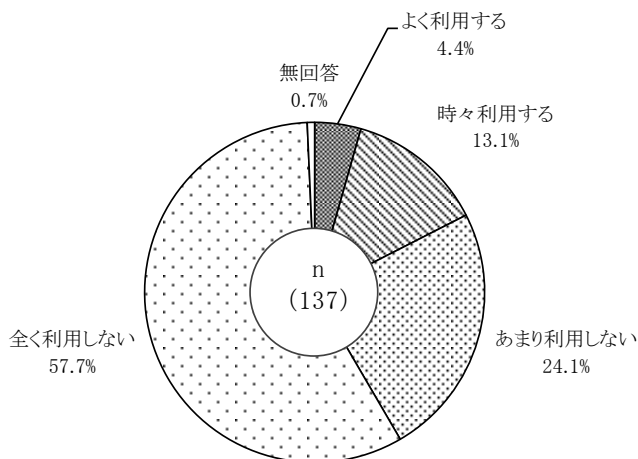
### 問 31 外出先のトイレに望むことは何ですか。(○はいくつでも)

「特にない」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「トイレに十分な広さがほしい」の割合が 13.1%、「トイレの中を明るくしてほしい」の割合が 12.4%となっています。



### 問 32 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

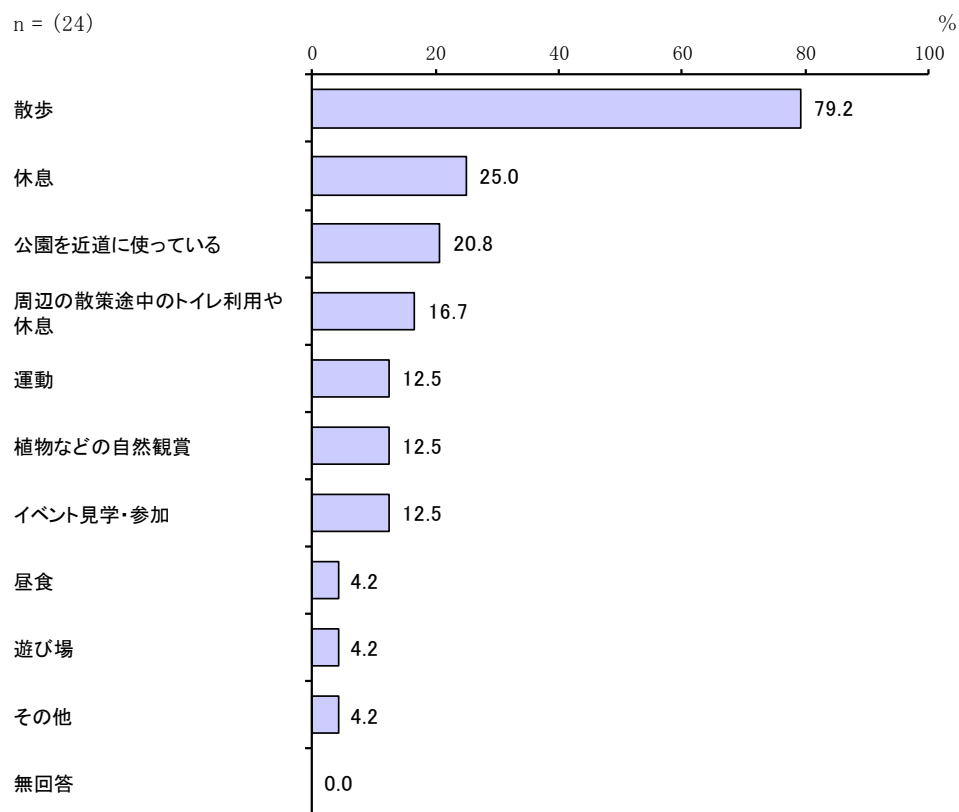
「全く利用しない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「あまり利用しない」の割合が 24.1%、「時々利用する」の割合が 13.1%となっています。



問 33 【問 32 で「よく利用する」または「時々利用する」に○をつけた方におたずね  
します。】

あなたが公園を利用する目的は何ですか。（○はいくつでも）

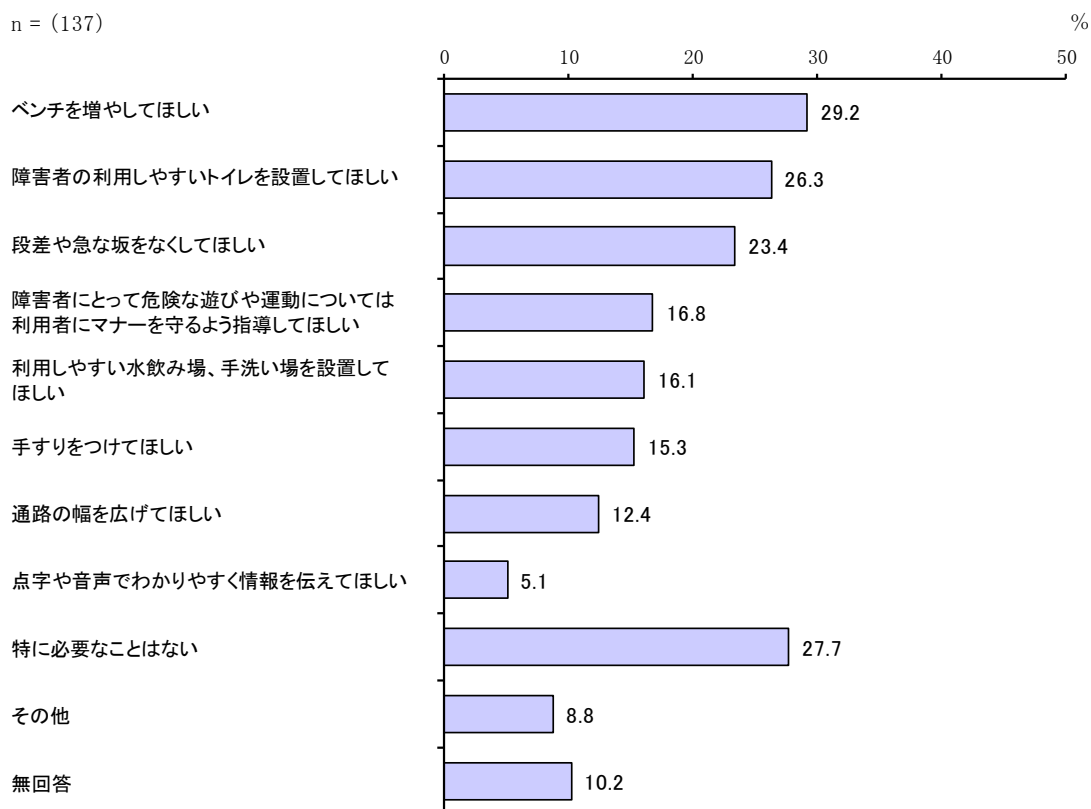
「散歩」の割合が 79.2%と最も高く、次いで「休息」の割合が 25.0%、「公園を近道に使っ  
ている」の割合が 20.8%となっています。



問 34 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「ベンチを増やしてほしい」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「特に必要なことはない」の割合が 27.7%、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」の割合が 26.3%となっています。

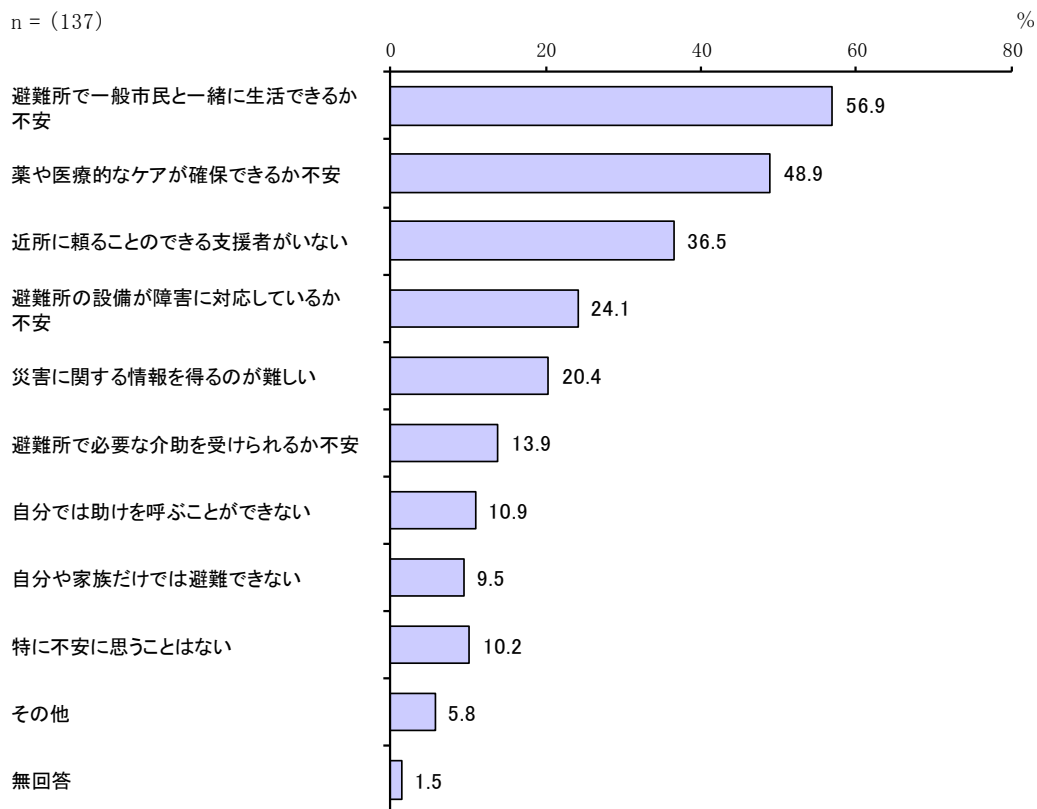
n = (137)



## (7) 災害対策について

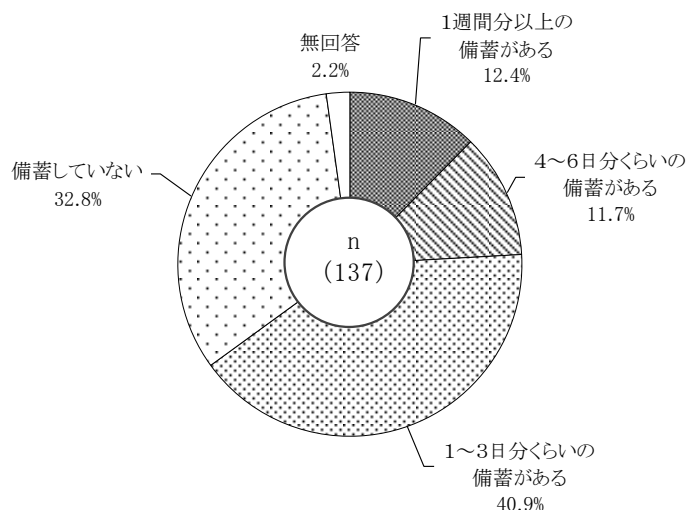
問 35 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(○はいくつでも)

「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「薬や医療的なケアが確保できるか不安」の割合が 48.9%、「近所に頼ることのできる支援者がいない」の割合が 36.5%となっています。



問 36 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

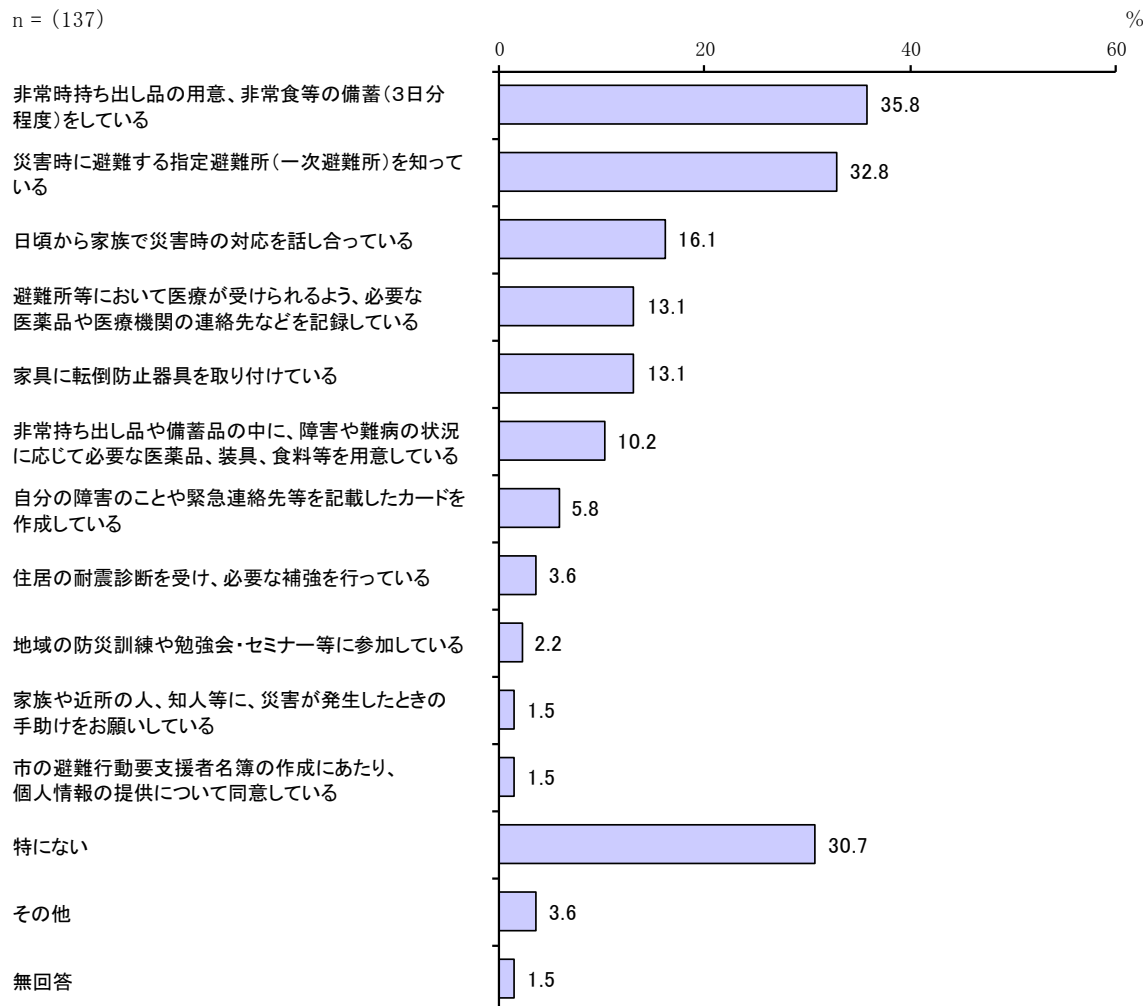
「1～3日分くらいの備蓄がある」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が 32.8%、「1週間分以上の備蓄がある」の割合が 12.4%となっています。



問 37 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

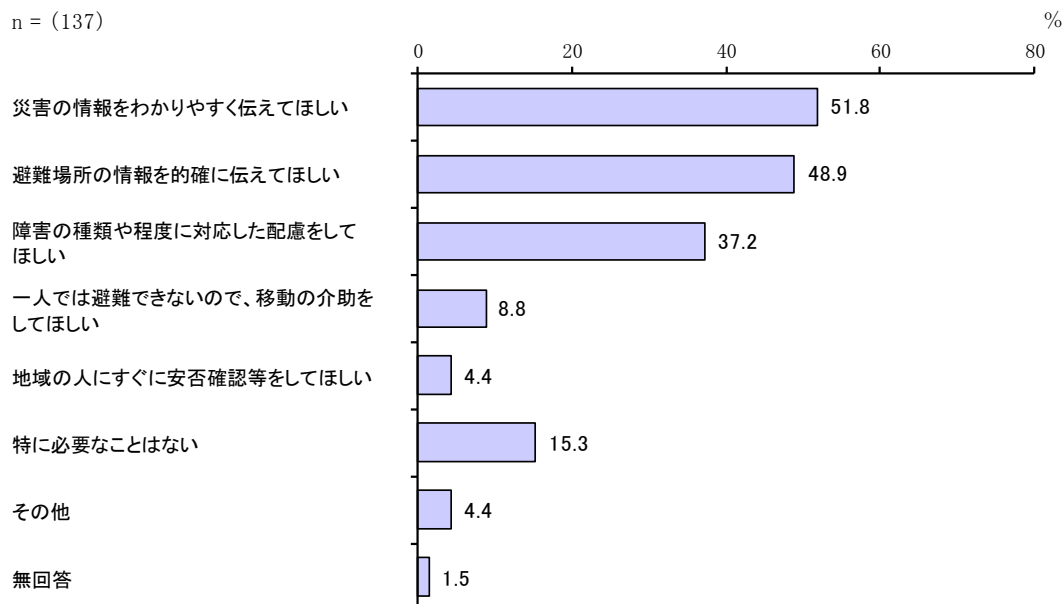
「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」の割合が 32.8%、「特にない」の割合が 30.7%となっています。

n = (137)



問 38 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。  
(〇はいくつでも)

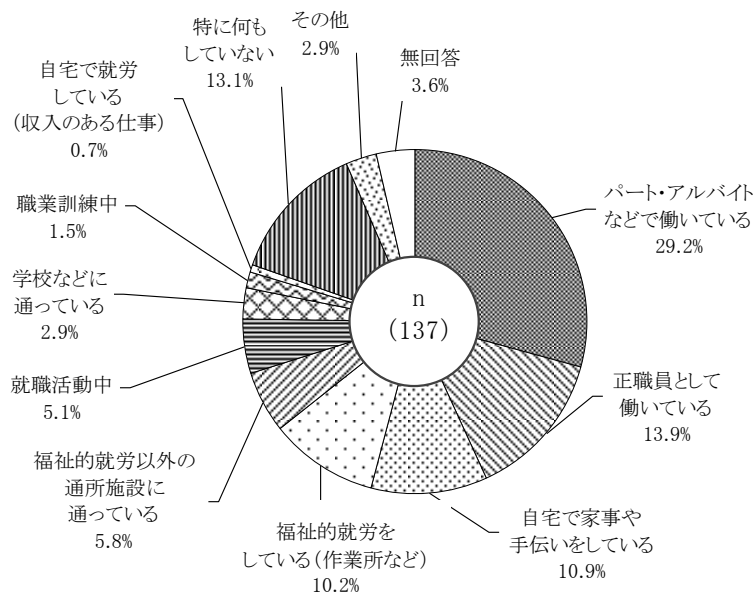
「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」の割合が 48.9%、「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」の割合が 37.2%となっています。



## （８）日中活動・就労について

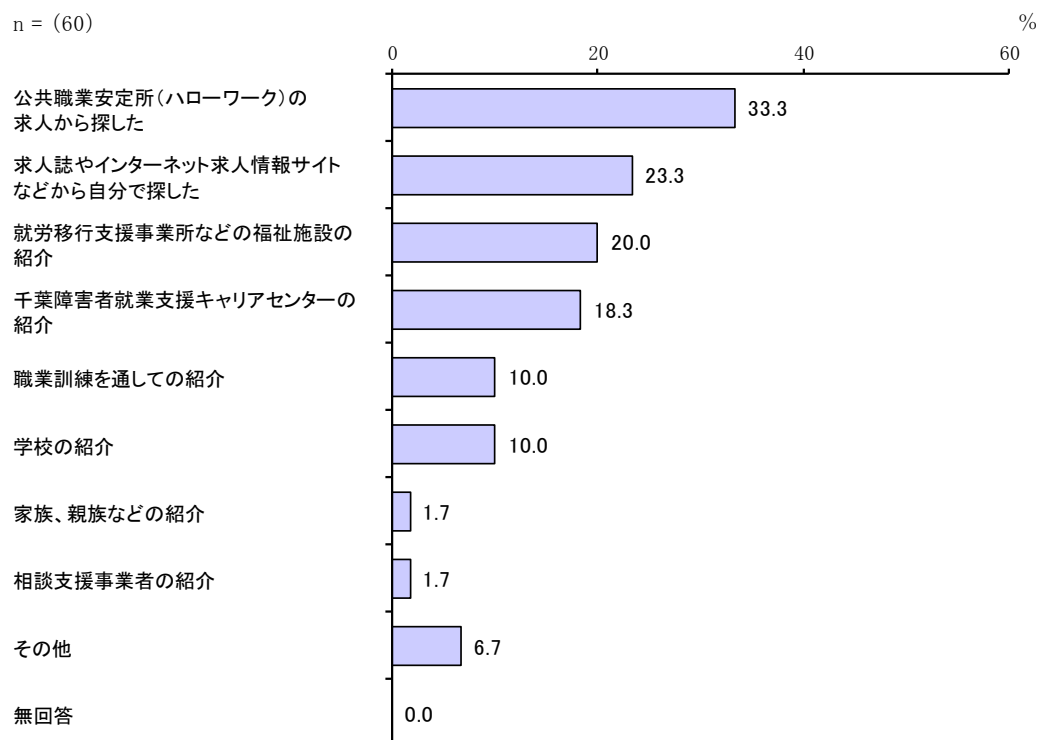
問 39 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。  
（最もあてはまる番号 1 つだけ○）

「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「正職員として働いている」の割合が 13.9%、「特に何もしていない」の割合が 13.1%となっています。



問 40 【問 39 で働いている（「正職員として働いている」～「自宅で就労している（収入のある仕事）」に○をつけた方におたずねします。】  
働いている方におたずねします。現在の仕事は、どのような方法で見つけましたか。（○はいくつでも）

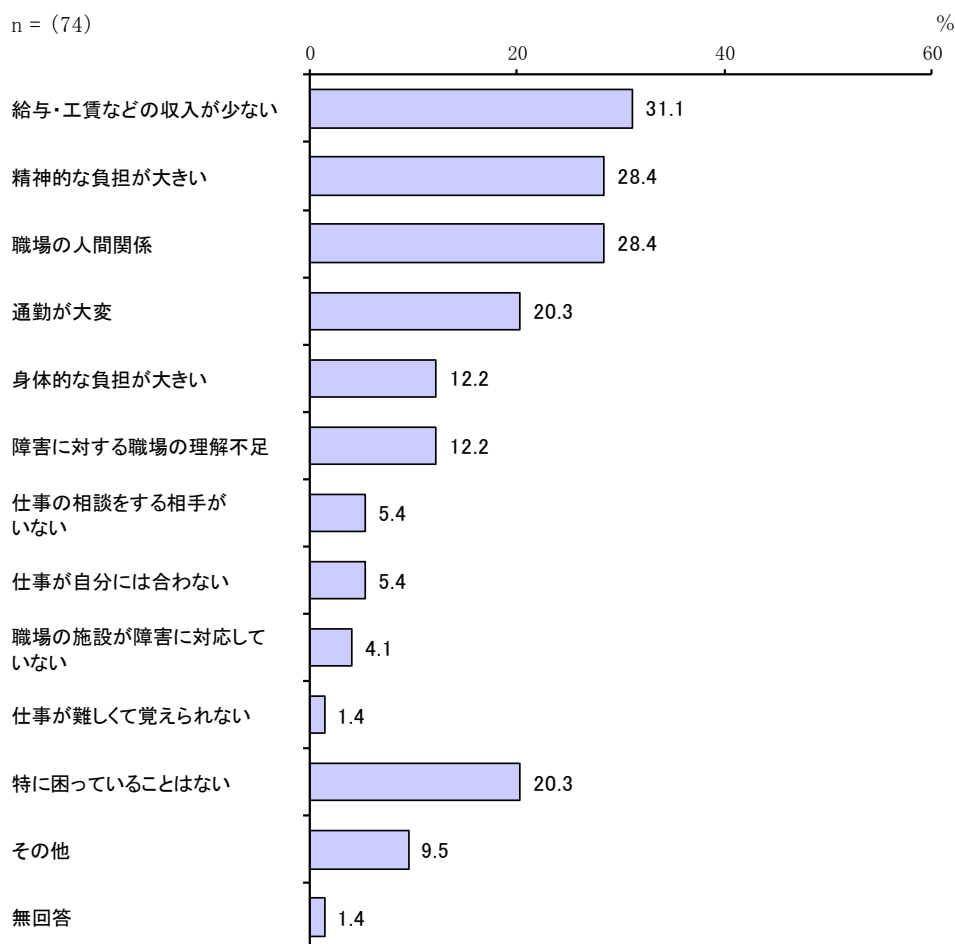
「公共職業安定所（ハローワーク）の求人から探した」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「求人誌やインターネット求人情報サイトなどから自分で探した」の割合が 23.3%、「就労移行支援事業所などの福祉施設の紹介」の割合が 20.0%となっています。



問 41 【問 39 で働いている（「正職員として働いている」～「福祉的就労をしている（作業所など）」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが仕事上で困っていることはなんですか。（○は3つまで）

「給与・工賃などの収入が少ない」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「精神的な負担が大きい」、「職場の人間関係」の割合が 28.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「給与・工賃などの収入が少ない」、「通勤が大変」の割合が増加し、「精神的な負担が大きい」、「身体的な負担が大きい」の割合が減少しています。



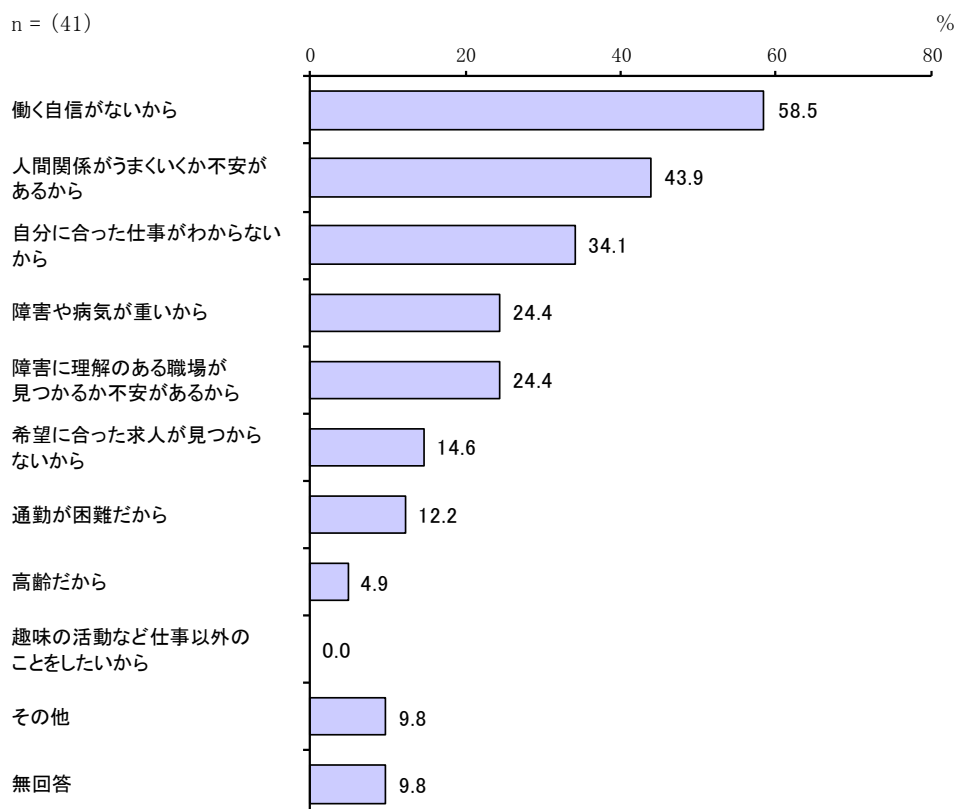
【平成 28 年度調査】

単位: %

	調査数	給与・工賃などの収入が少ない	精神的な負担が大きい	職場の人間関係	通勤が大変	身体的な負担が大きい	障害に対する職場の理解不足	仕事の相談をする相手がいない	仕事が自分には合わない	職場の施設が障害に対応していない	仕事が難しく覚えられない	特に困っていることはない	その他
全 体	120	19.6	41.3	23.9	8.7	17.4	13.0	2.2	6.5	2.2	4.3	23.9	8.7

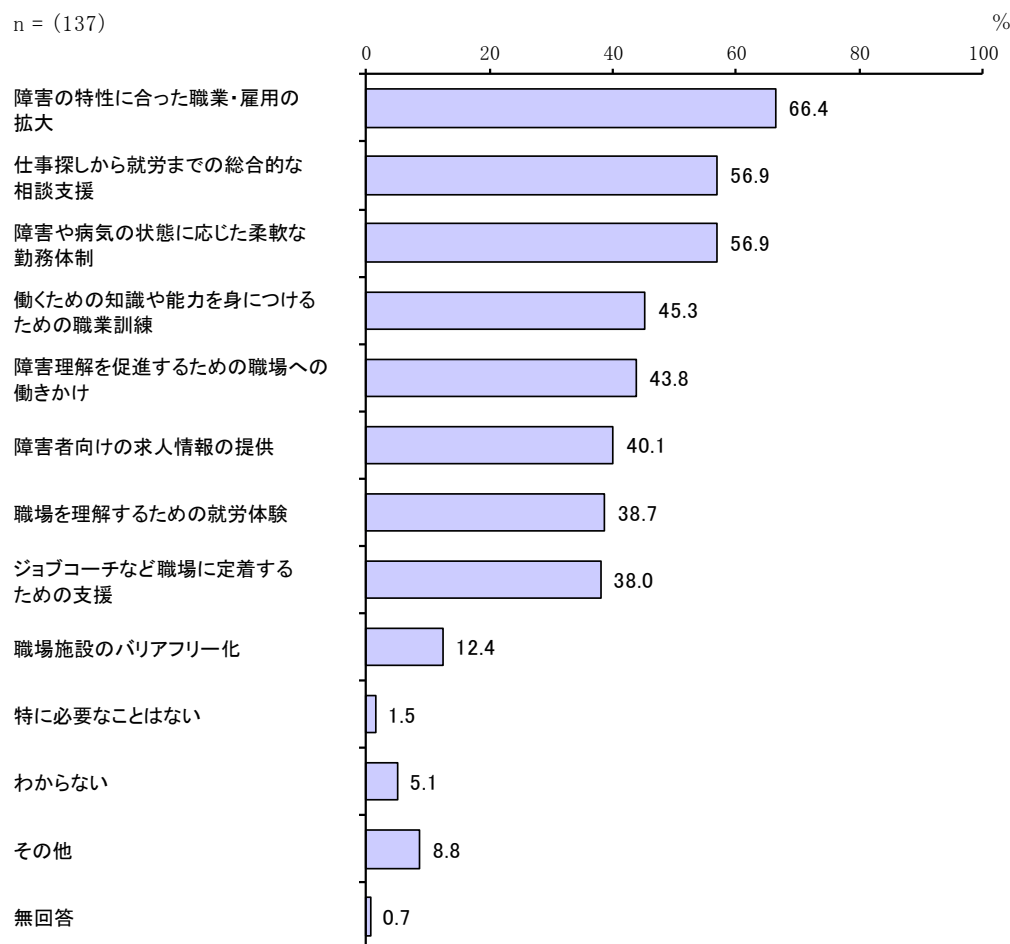
問 42 【問 39 で働いていない（「福祉的就労以外の通所施設に通っている」～「特に何もしていない」）に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが働いていない理由はなんですか。（○は3つまで）

「働く自信がないから」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「人間関係がうまくいか不安があるから」の割合が 43.9%、「自分に合った仕事が見つからないから」の割合が 34.1%となっています。



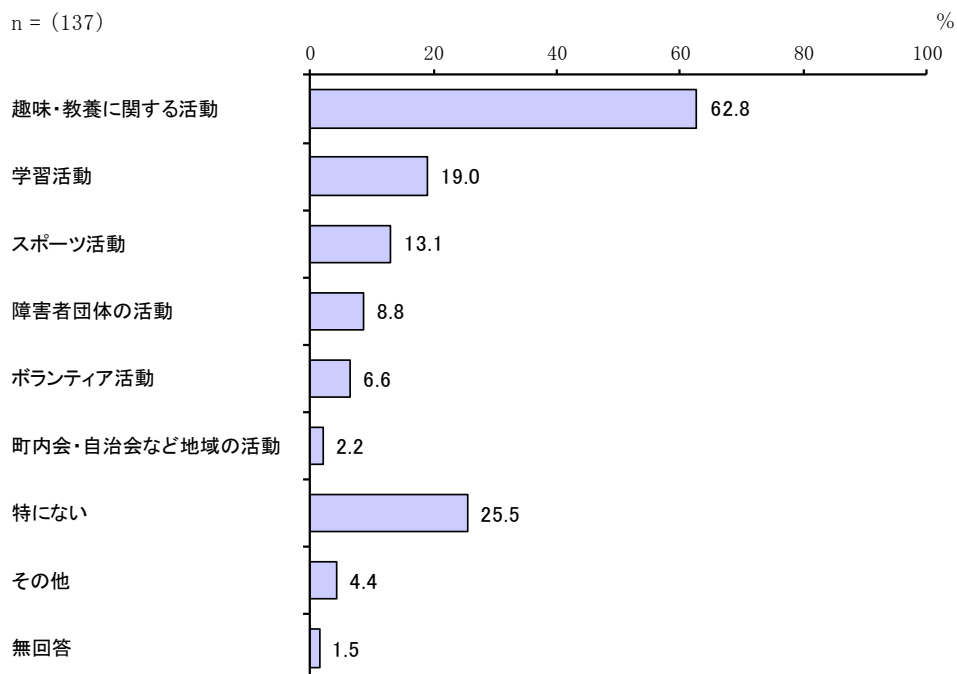
問 43 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制」の割合が 56.9%となっています。



問 44 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(〇はいくつでも)

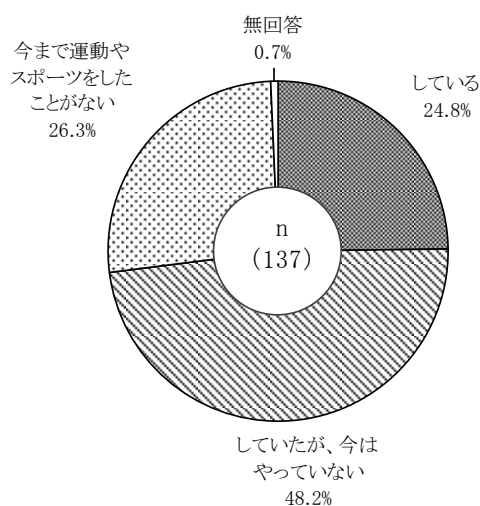
「趣味・教養に関する活動」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 25.5%、「学習活動」の割合が 19.0%となっています。



## （９）運動やスポーツについて

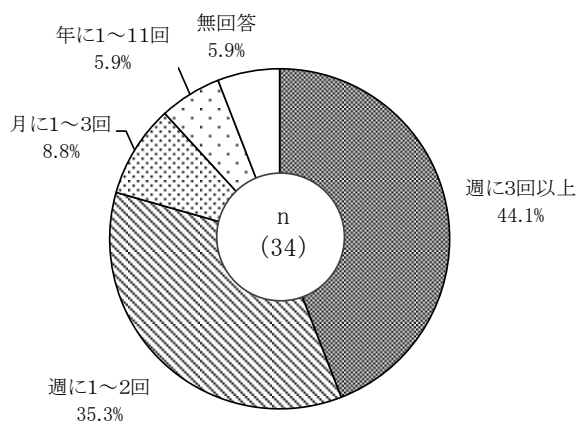
問 45 あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
（学校に通っている方は、学校の授業を除く）

「していたが、今はやっていない」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が 26.3%、「している」の割合が 24.8%となっています。



問 46 【問 45 で「している」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

「週に 3 回以上」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「週に 1～2 回」の割合が 35.3%となっています。



問 47 【問 45 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○  
をつけた方におたずねします。】  
あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

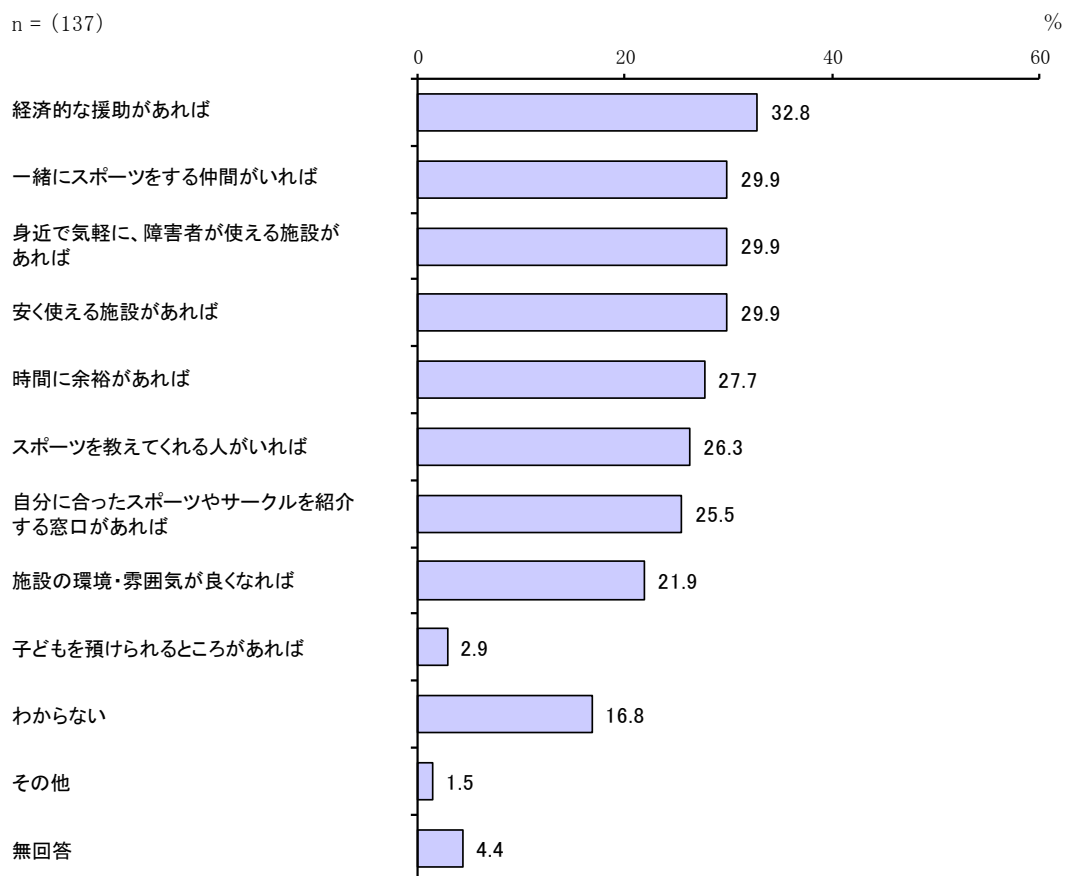
「ウォーキング」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「水泳」の割合が 27.0%、「ラジオ体操・健康体操」、「卓球」の割合が 19.0%となっています。

n = (100)



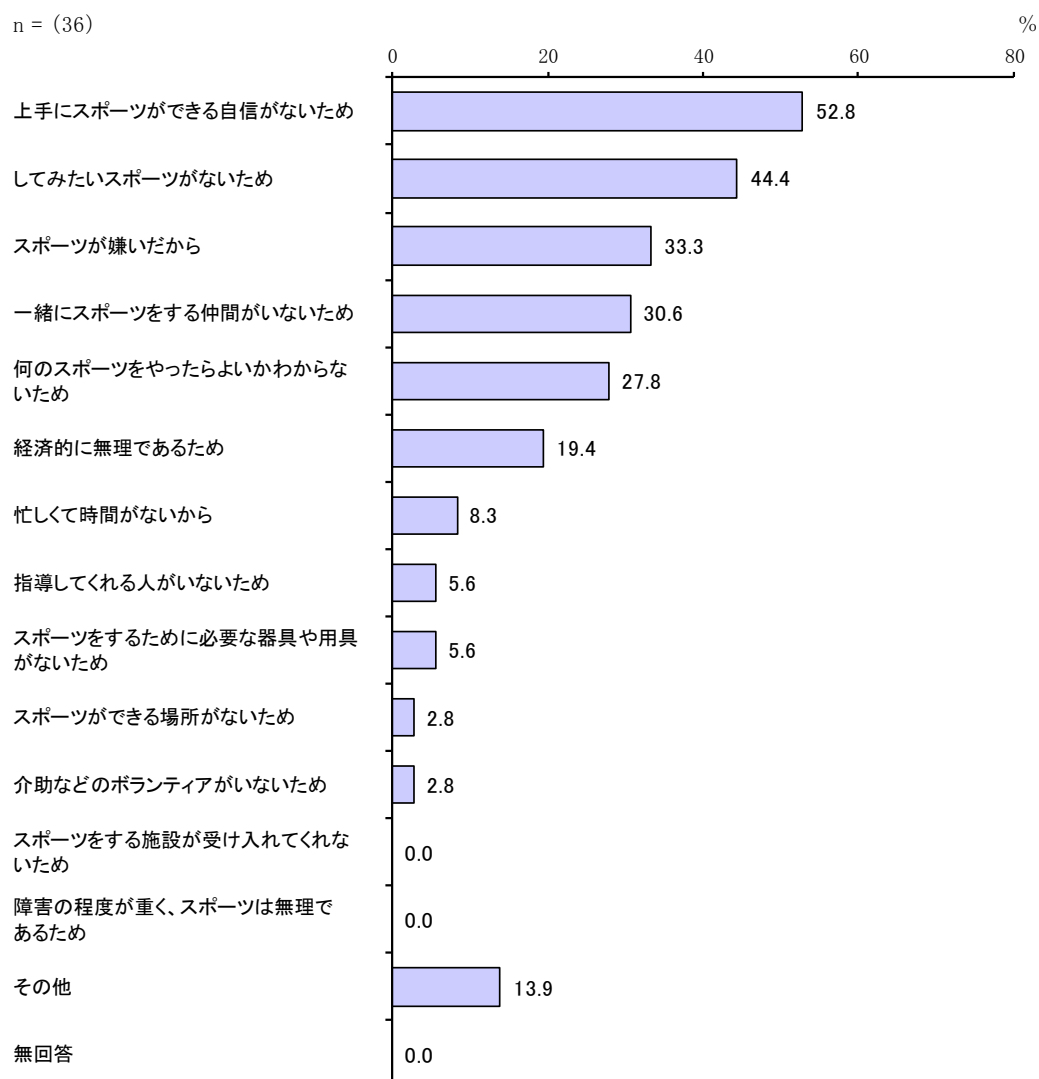
問 48 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようなになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「経済的な援助があれば」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをする仲間がいれば」、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」、「安く使える施設があれば」の割合が 29.9%となっています。



問 49 【問 45 で「今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたがスポーツをしない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

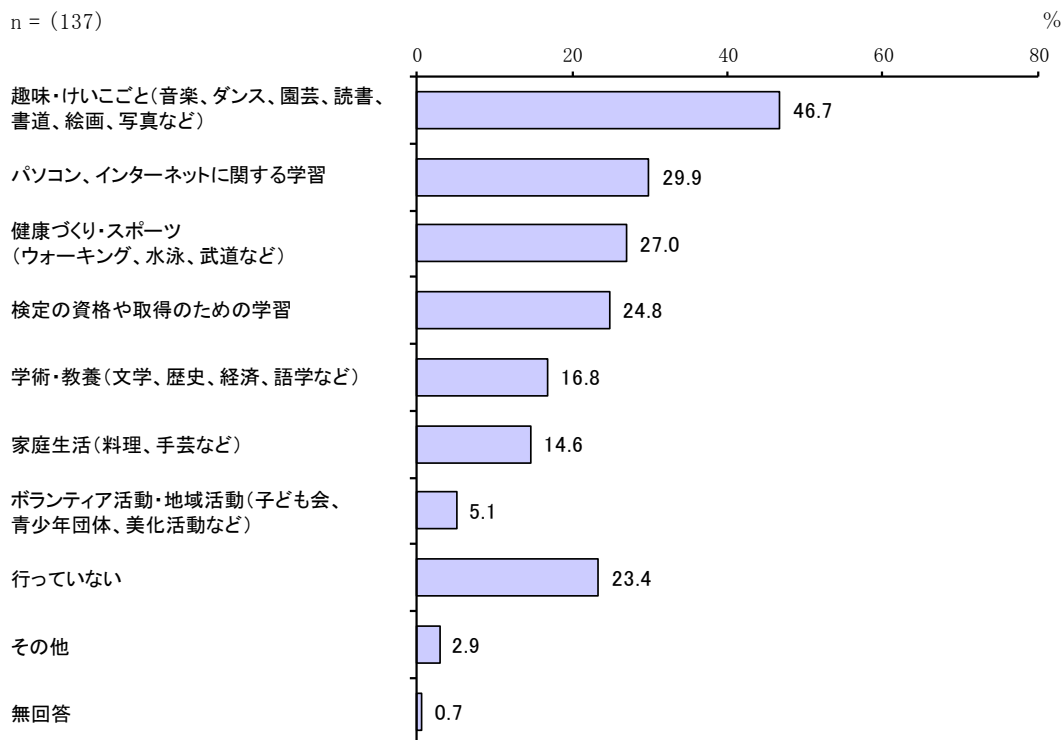
「上手にスポーツができる自信がないため」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「してみたいスポーツがないため」の割合が 44.4%、「スポーツが嫌いだから」の割合が 33.3%となっています。



## (10) 趣味や教養などの生涯学習活動について

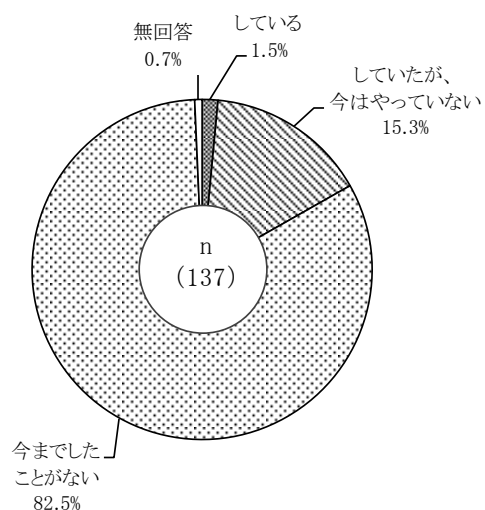
問 50 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。  
あなたが行っている(行っていた)活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「趣味・けいこごと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「パソコン、インターネットに関する学習」の割合が 29.9%、「健康づくり・スポーツ(ウォーキング、水泳、武道など)」の割合が 27.0%となっています。



問 51 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。  
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

「今までしたことがない」の割合が 82.5%と最も高く、次いで「していたが、今はやっていない」の割合が 15.3%となっています。

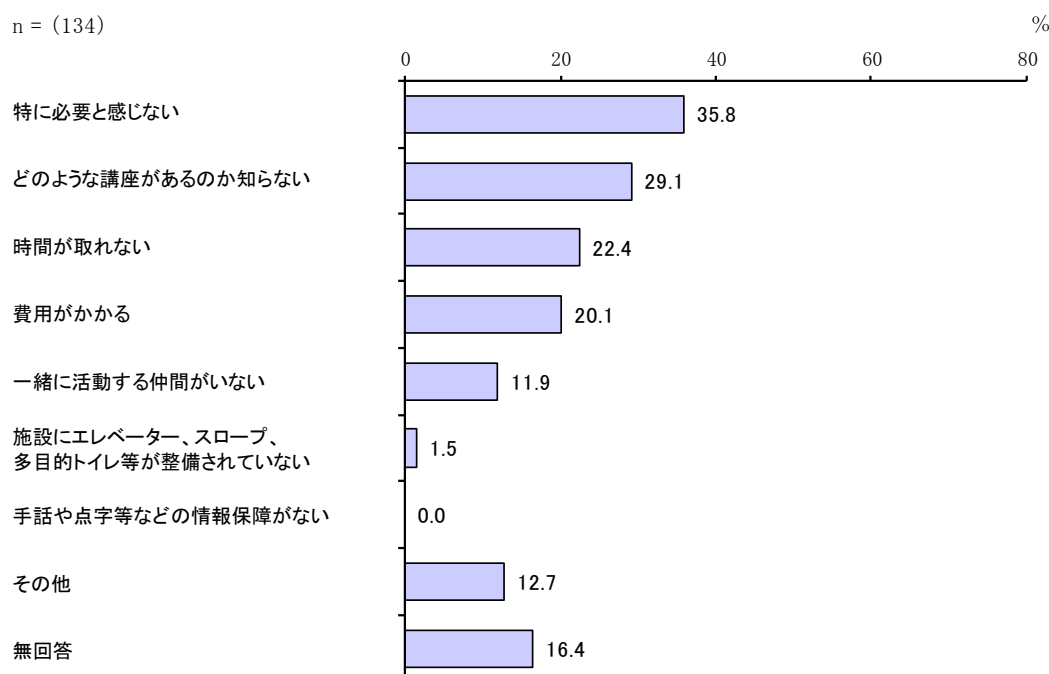


問 52 【問 51 で「している」と回答した方におたずねします。】  
 あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。

「月に 1 ～ 3 回」、「年に 1 ～ 1 1 回」が 1 件となっています。

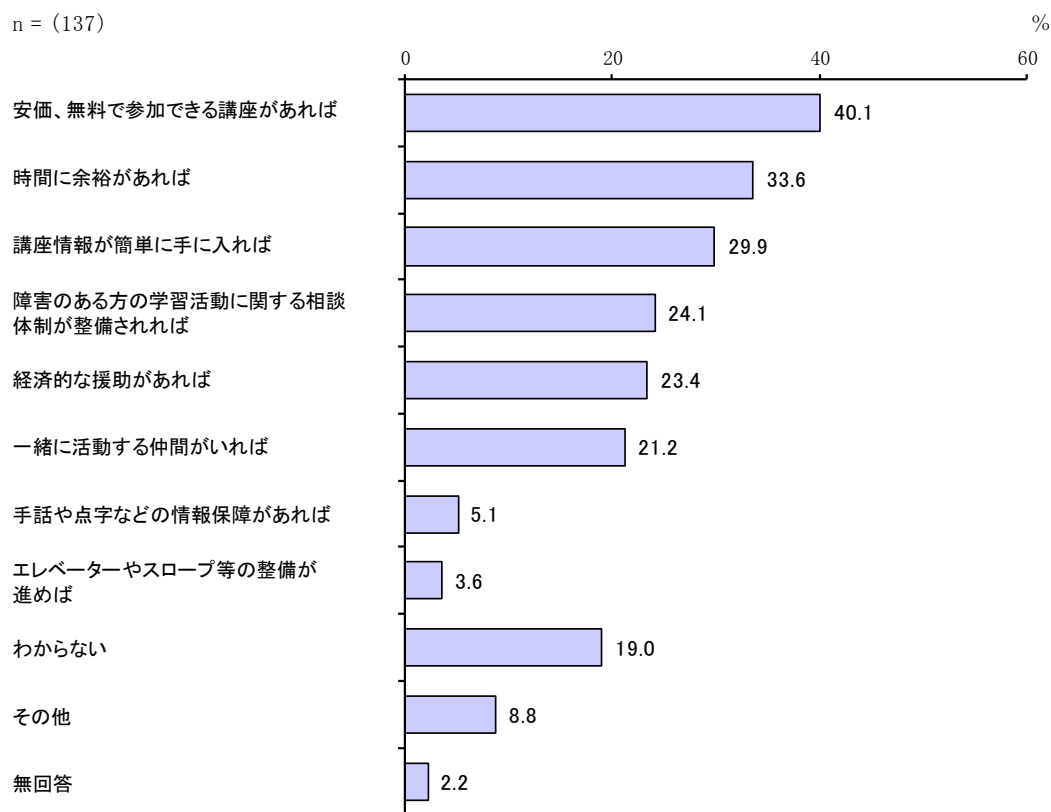
問 53 【問 51 で「していたが今はやっていない」または「今までしたことがない」と回答した方におたずねします。】  
 あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

「特に必要と感じない」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「どのような講座があるのか知らない」の割合が 29.1%、「時間が取れない」の割合が 22.4%となっています。



問 54 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「安価、無料で参加できる講座があれば」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「時間に余裕があれば」の割合が 33.6%、「講座情報が簡単に手に入れば」の割合が 29.9%となっています。

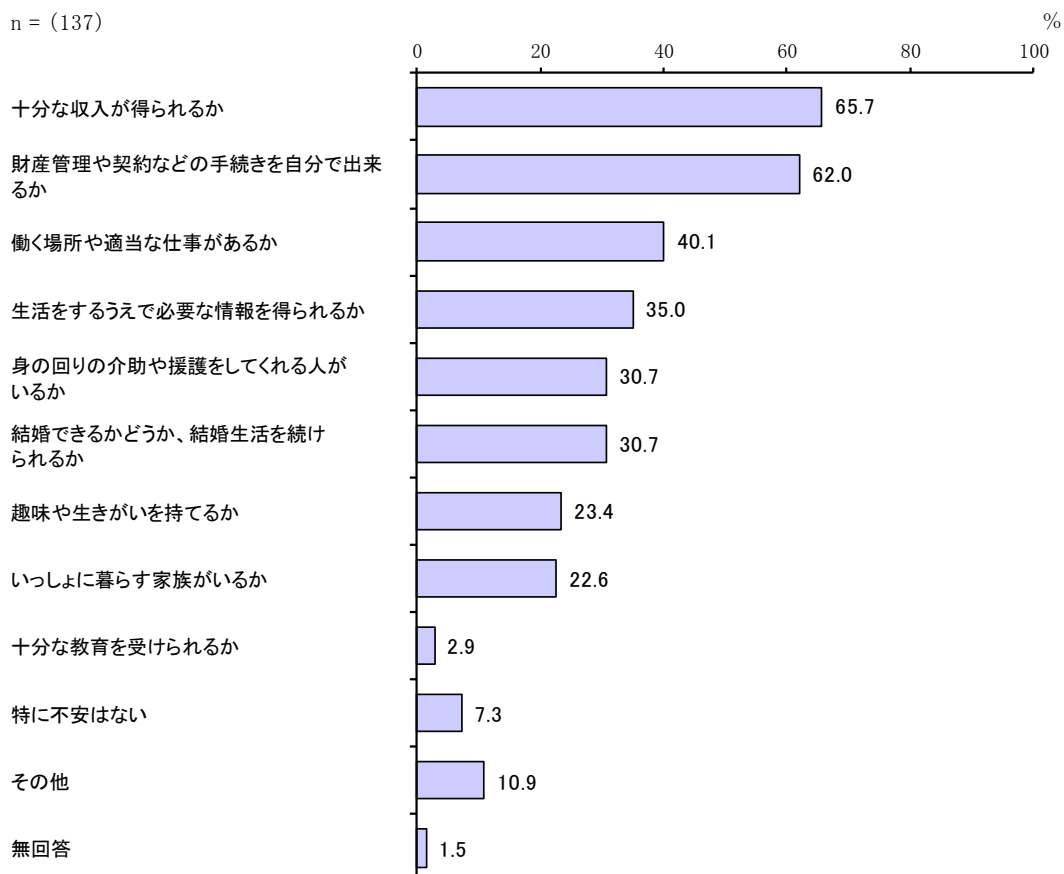


## (11) 将来について

問 55 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。  
(○はいくつでも)

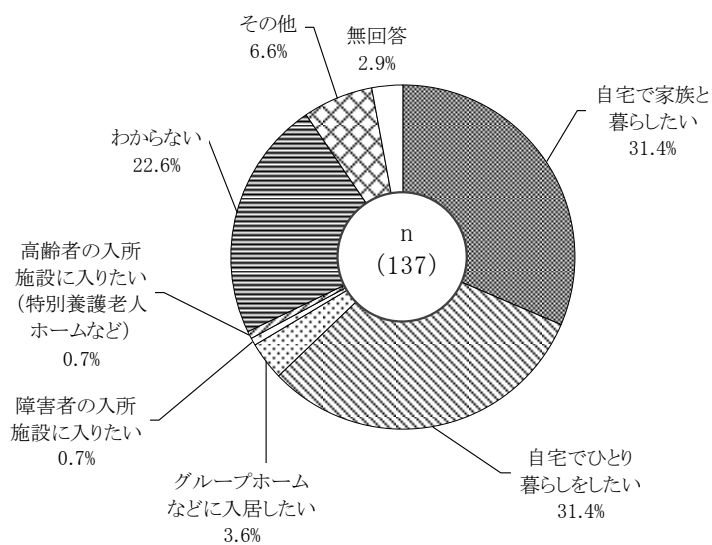
「十分な収入が得られるか」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」の割合が 62.0%、「働く場所や適当な仕事があるか」の割合が 40.1%となっています。

n = (137)



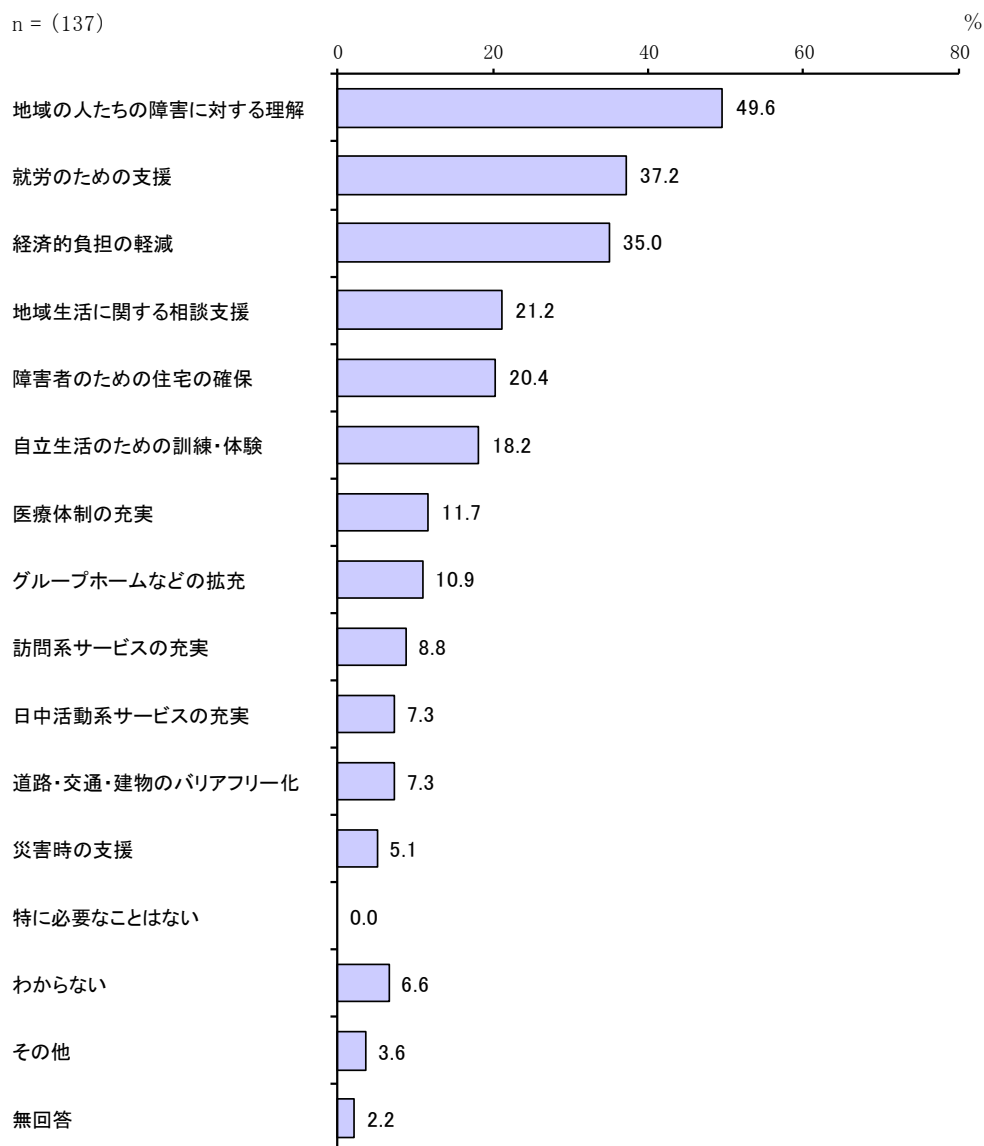
問 56 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

「自宅で家族と暮らしたい」、「自宅でひとり暮らしをしたい」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 22.6%となっています。



問 57 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

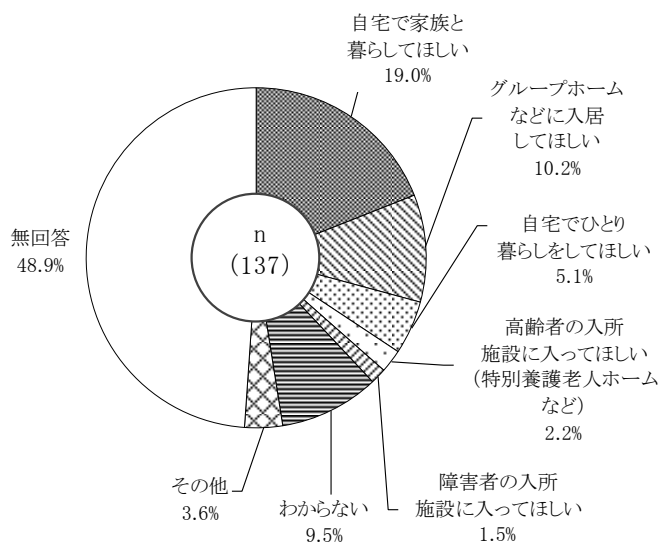
「地域の人たちの障害に対する理解」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「就労のための支援」の割合が 37.2%、「経済的負担の軽減」の割合が 35.0%となっています。



問 58 【主な介助者の方におたずねします。】

今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が19.0%と最も高く、次いで「グループホームなどに入居してほしい」の割合が10.2%となっています。

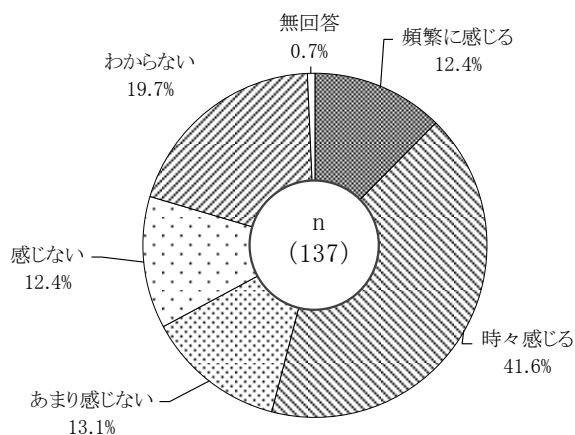


## (12) 障害のある人に対する理解度

問 59 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることはありませんか。(○は1つ)

「頻繁に感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が54.0%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が25.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。



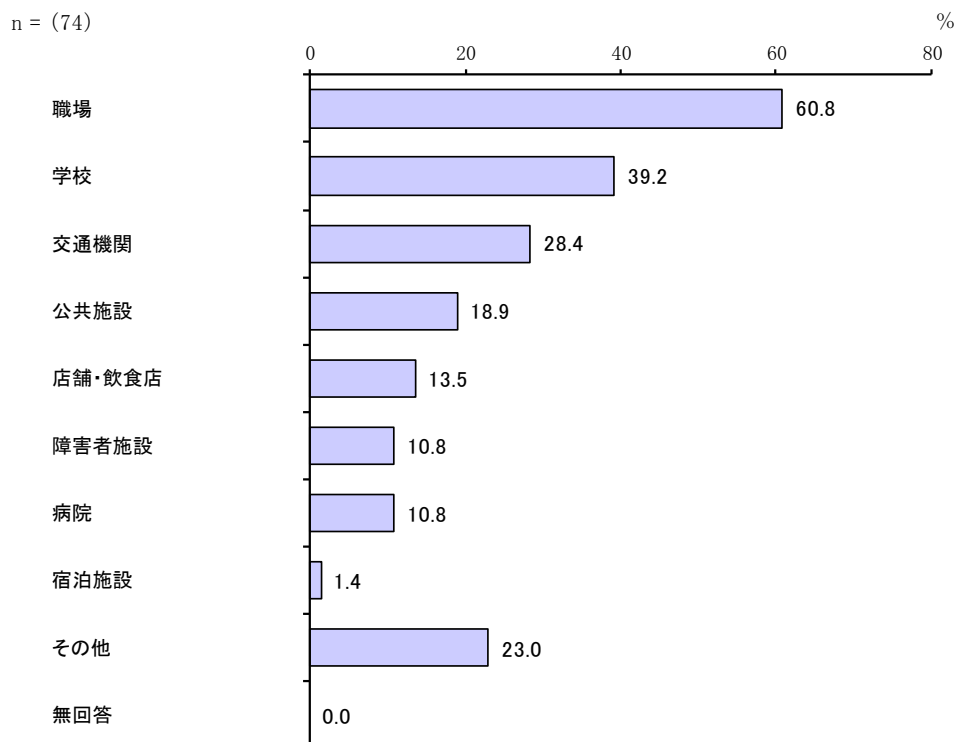
【平成28年度調査】

単位: %

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	120	5.8	20.0	29.2	20.8	24.2	-

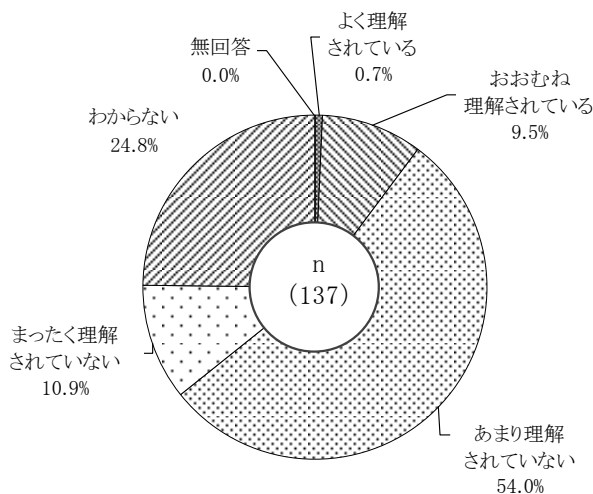
問 60 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。（〇はいくつでも）

「職場」の割合が60.8%と最も高く、次いで「学校」の割合が39.2%、「交通機関」の割合が28.4%となっています。



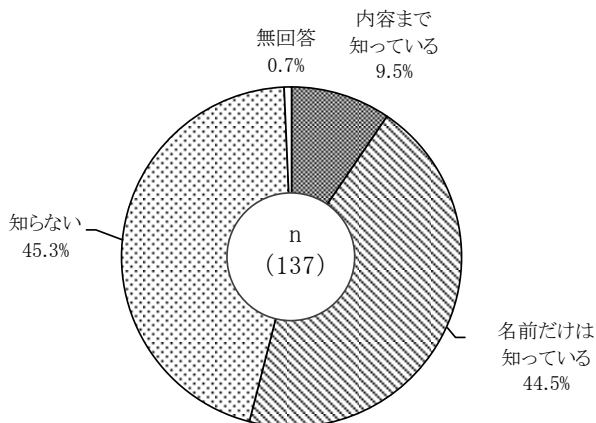
問 61 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

「よく理解されている」と「おおむね理解されている」をあわせた“理解されている”の割合が 10.2%、「あまり理解されていない」と「まったく理解されていない」をあわせた“理解されていない”の割合が 64.9%となっています。



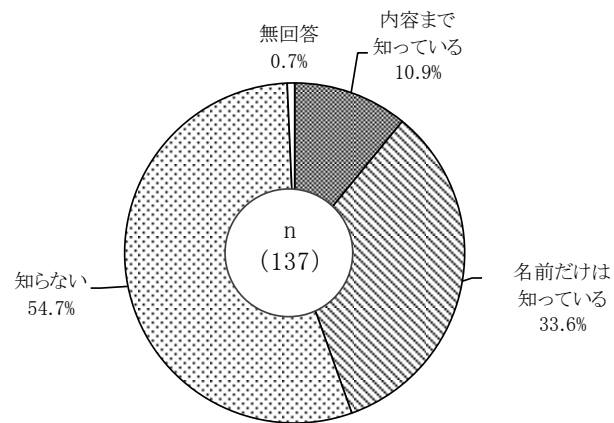
問 62 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 44.5%となっています。



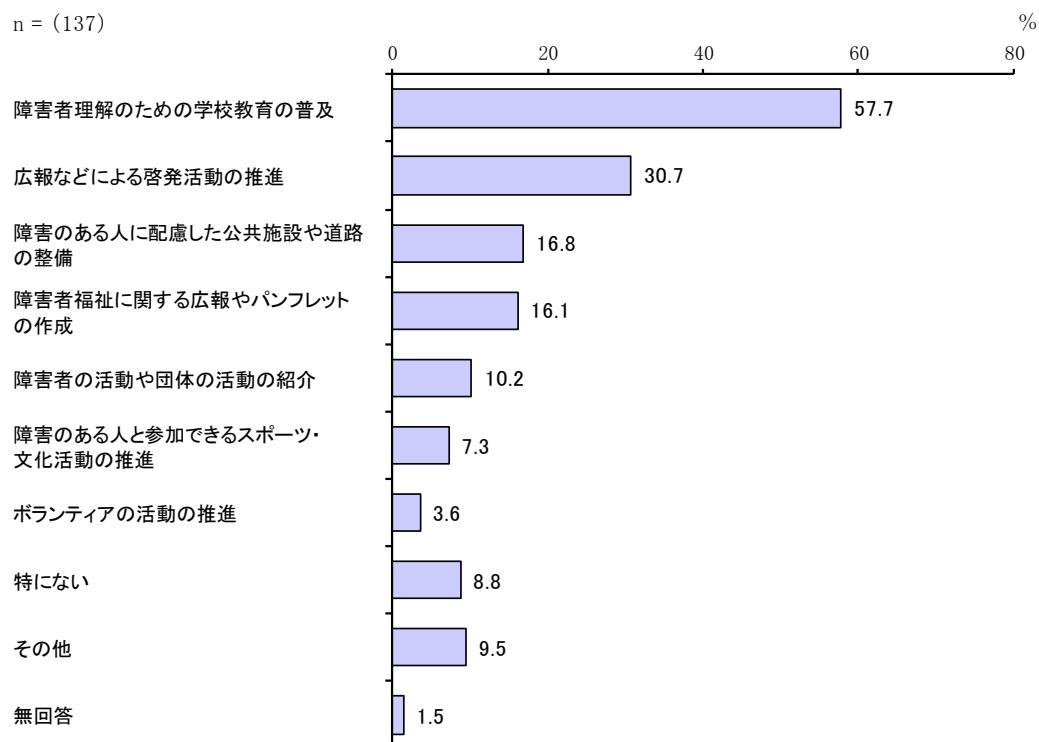
問 63 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成 24 年 10 月 1 日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 33.6%、「内容まで知っている」の割合が 10.9%となっています。



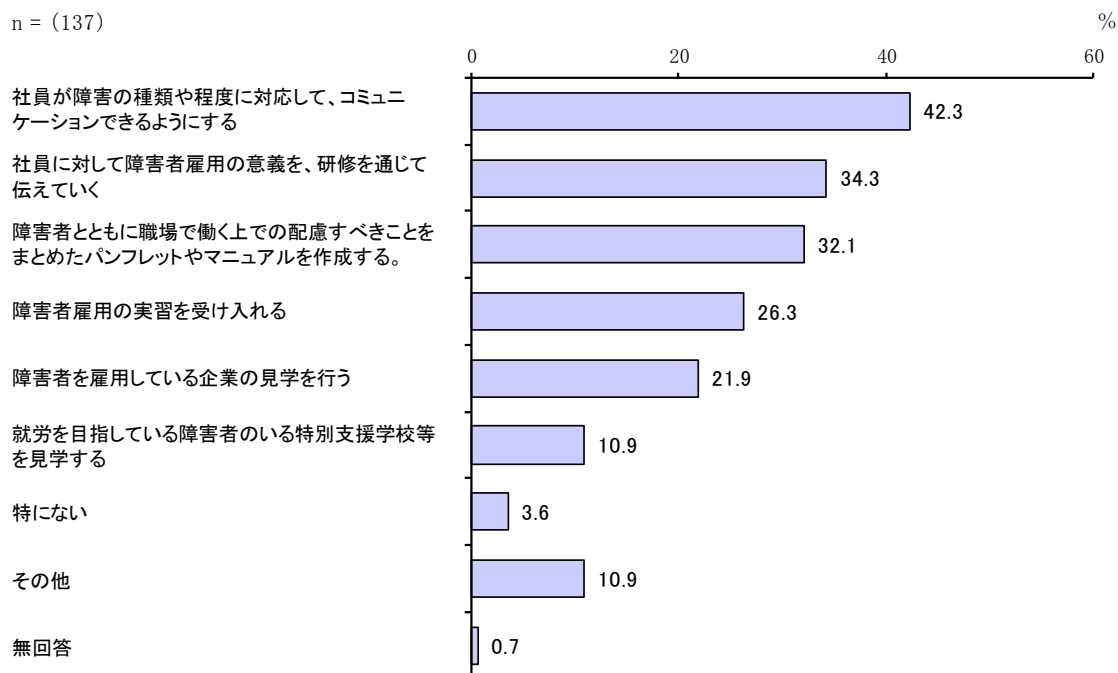
問 64 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(○は 2 つまで)

「障害者理解のための学校教育の普及」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「広報などによる啓発活動の推進」の割合が 30.7%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」の割合が 16.8%となっています。



**問 65 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでももらいたいですか。（〇は2つまで）**

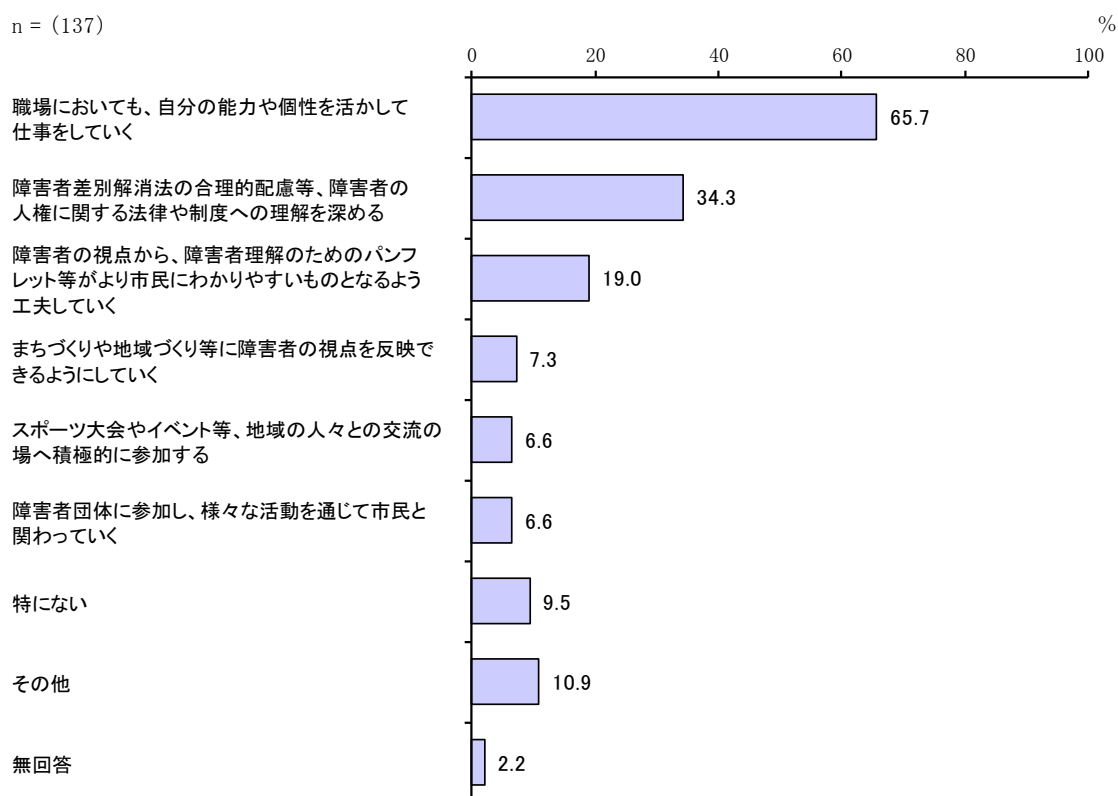
「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」の割合が42.3%と最も高く、次いで「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」の割合が34.3%、「障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する。」の割合が32.1%となっています。



問 66 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

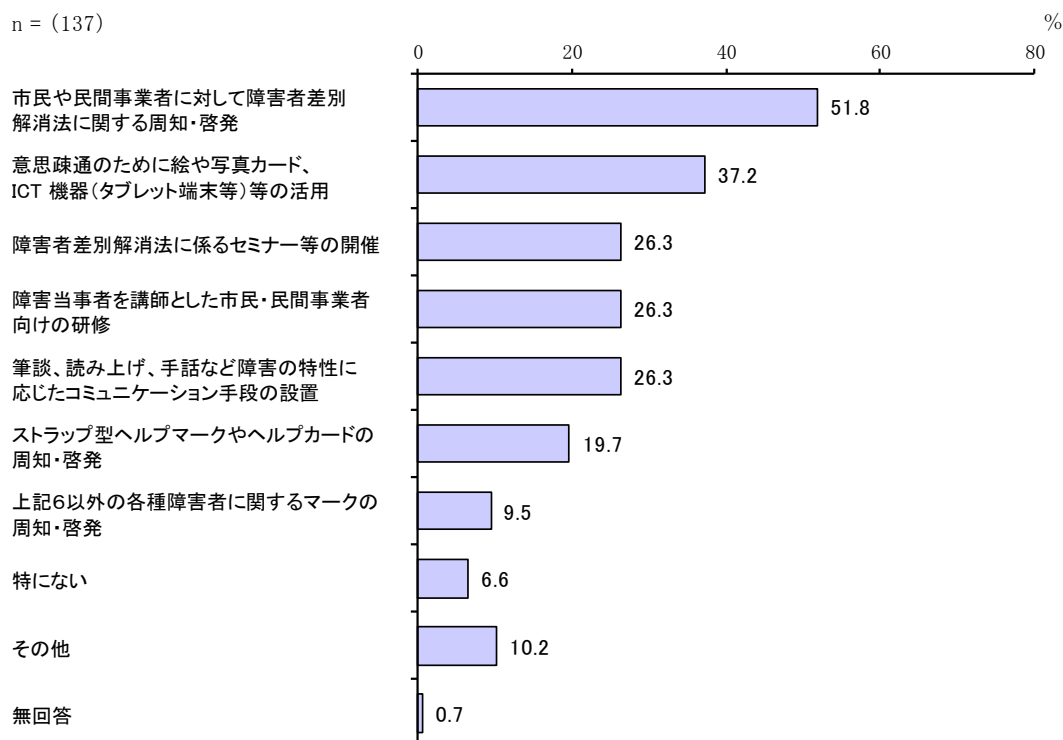
「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」の割合が 34.3%、「障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく」の割合が 19.0%となっています。

n = (137)



**問 67 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。（〇は3つまで）**

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「意思疎通のために絵や写真カード、I C T機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が 37.2%、「障害者差別解消法に係るセミナー等の開催」、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」、「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置」の割合が 26.3%となっています。



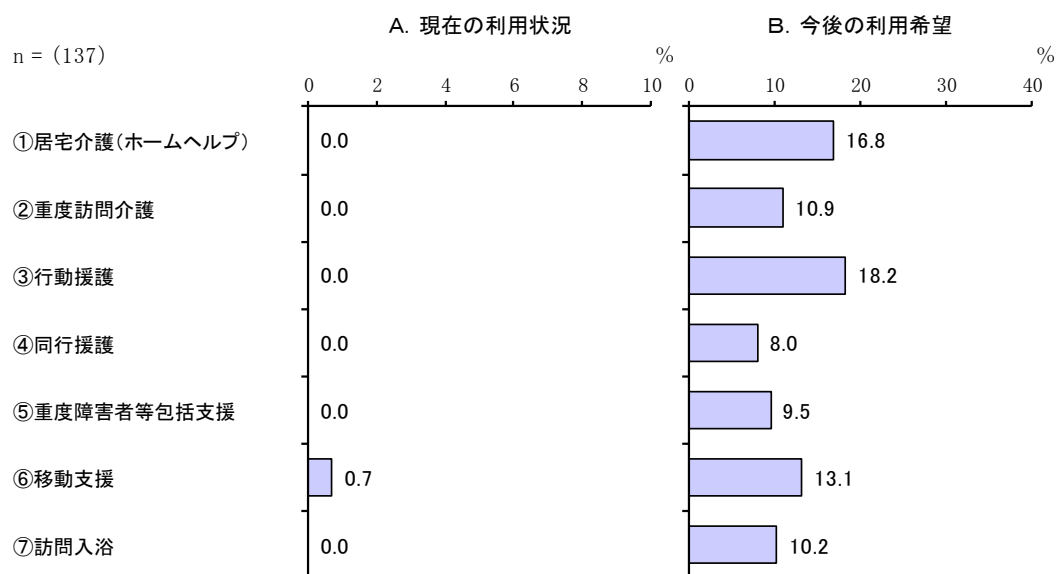
### (13) サービス利用について

問 68 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「⑥移動支援」の割合が0.7%と最も高くなっています。

今後の利用希望については、「③行動援護」の割合が18.2%と最も高く、次いで「①居宅介護(ホームヘルプ)」の割合が16.8%、「⑥移動支援」の割合が13.1%となっています。

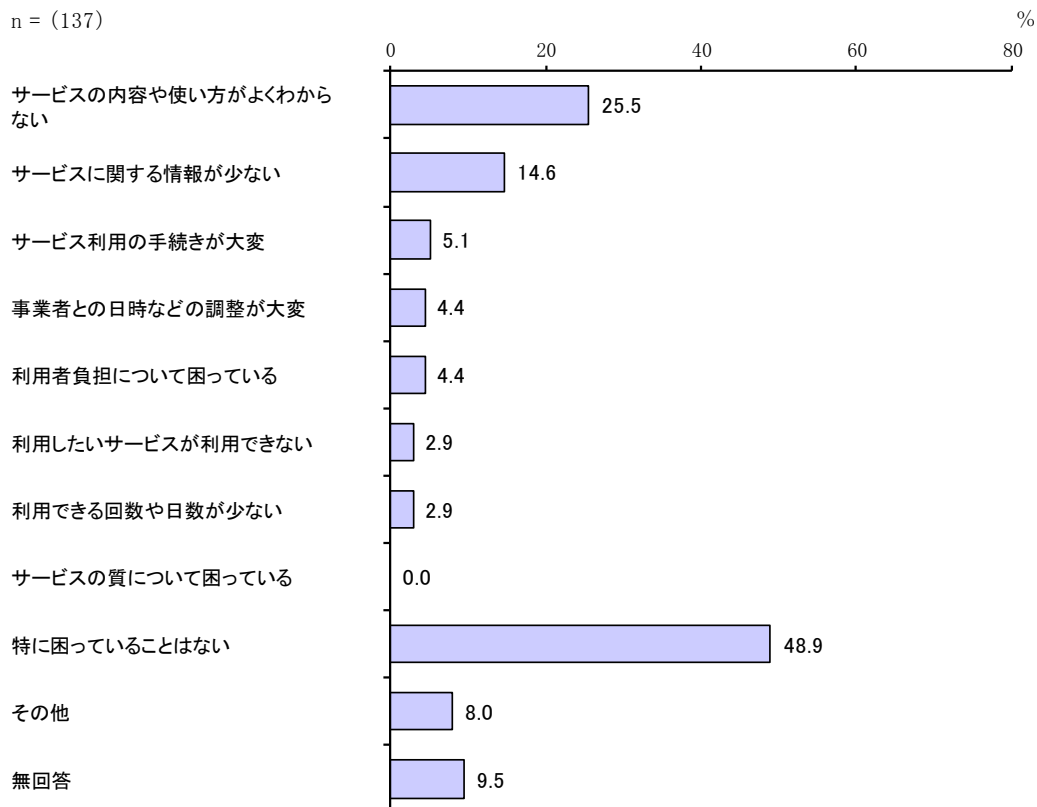


※令和元年度調査の「⑥移動支援」、「⑦訪問入浴」は平成28年度調査では、問74に含まれていた選択肢です。

問 69 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が48.9%と最も高く、次いで「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が25.5%、「サービスに関する情報が少ない」の割合が14.6%となっています。

n = (137)

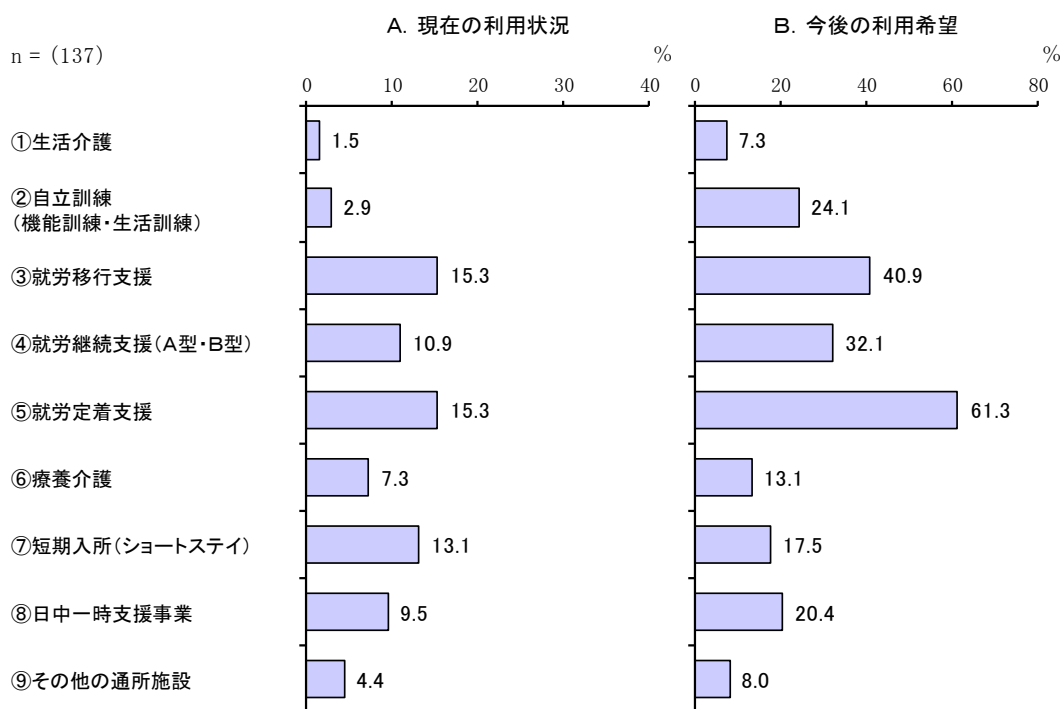


問 70 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～⑨のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については「③就労移行支援」、「⑤就労定着支援」の割合が 15.3%と最も高く、次いで「⑦短期入所（ショートステイ）」の割合が 13.1%となっています。

今後の利用希望については、「⑤就労定着支援」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「③就労移行支援」の割合が 40.9%、「④就労継続支援（A型・B型）」の割合が 32.1%となっています。

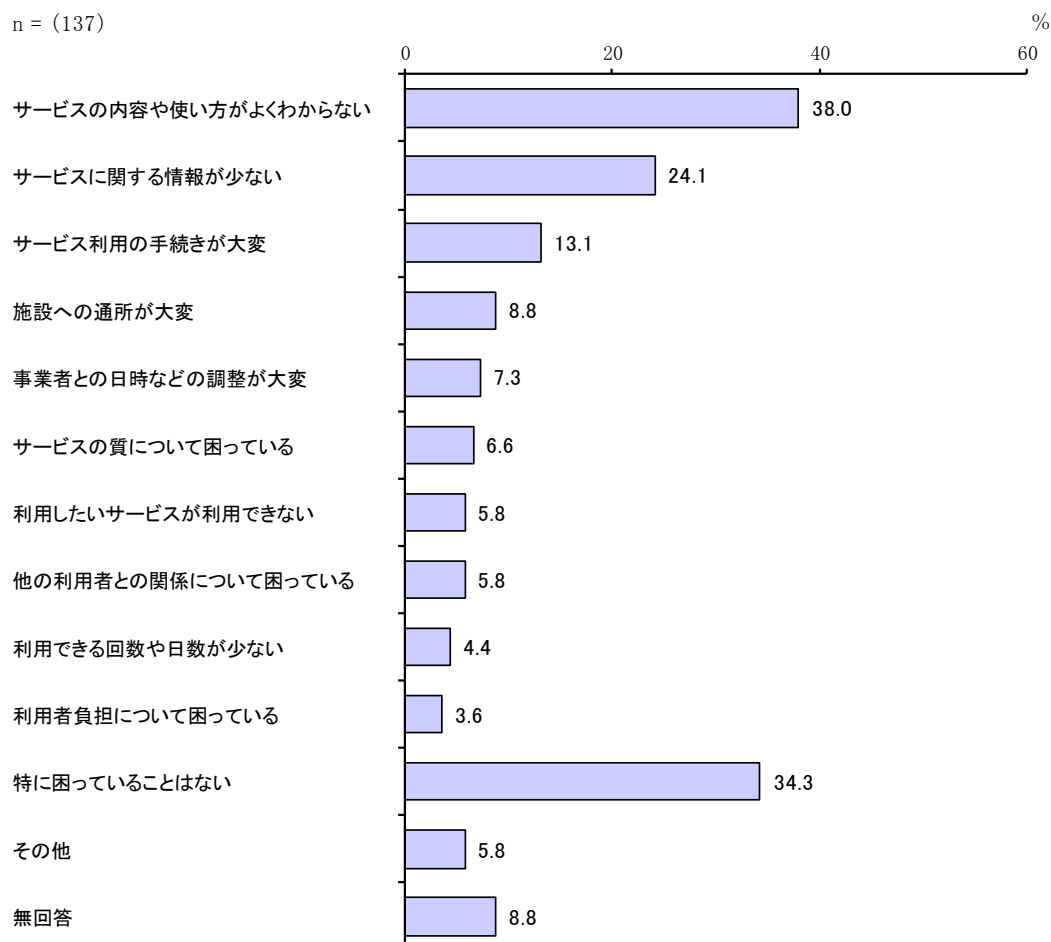


※令和元年度調査の「⑤就労定着支援」は新たに追加された選択肢です。

「⑧日中一時支援事業」は平成 28 年度調査では、問 74 に含まれていた選択肢です。

問 71 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(〇はいくつでも)

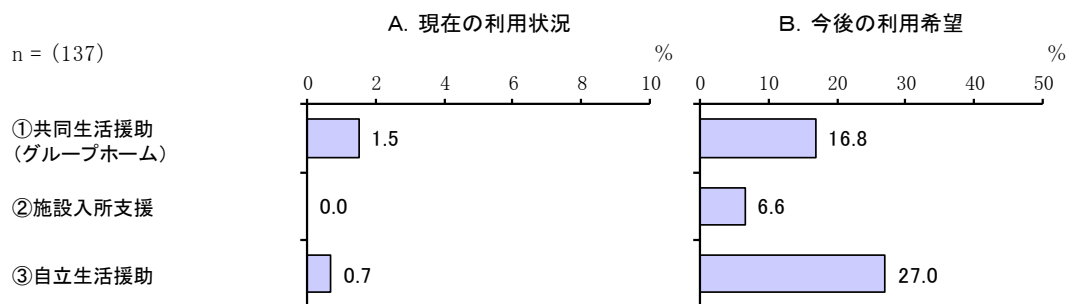
「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が38.0%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が34.3%、「サービスに関する情報が少ない」の割合が24.1%となっています。



問 72 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①共同生活援助（グループホーム）」の割合が 1.5%と最も高くなっています。

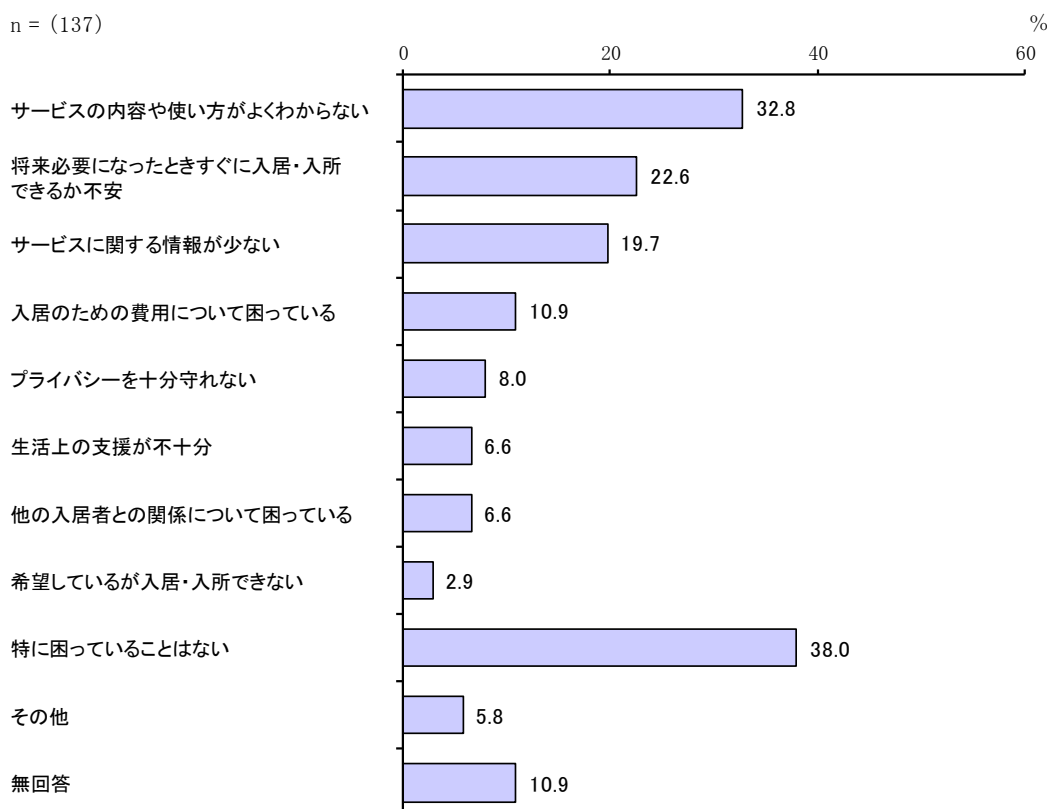
今後の利用希望については、「③自立生活援助」の割合が 27.0%と最も高く、次いで「①共同生活援助（グループホーム）」の割合が 16.8%となっています。



※令和元年度調査の「③自立生活援助」は新たに追加された選択肢です。

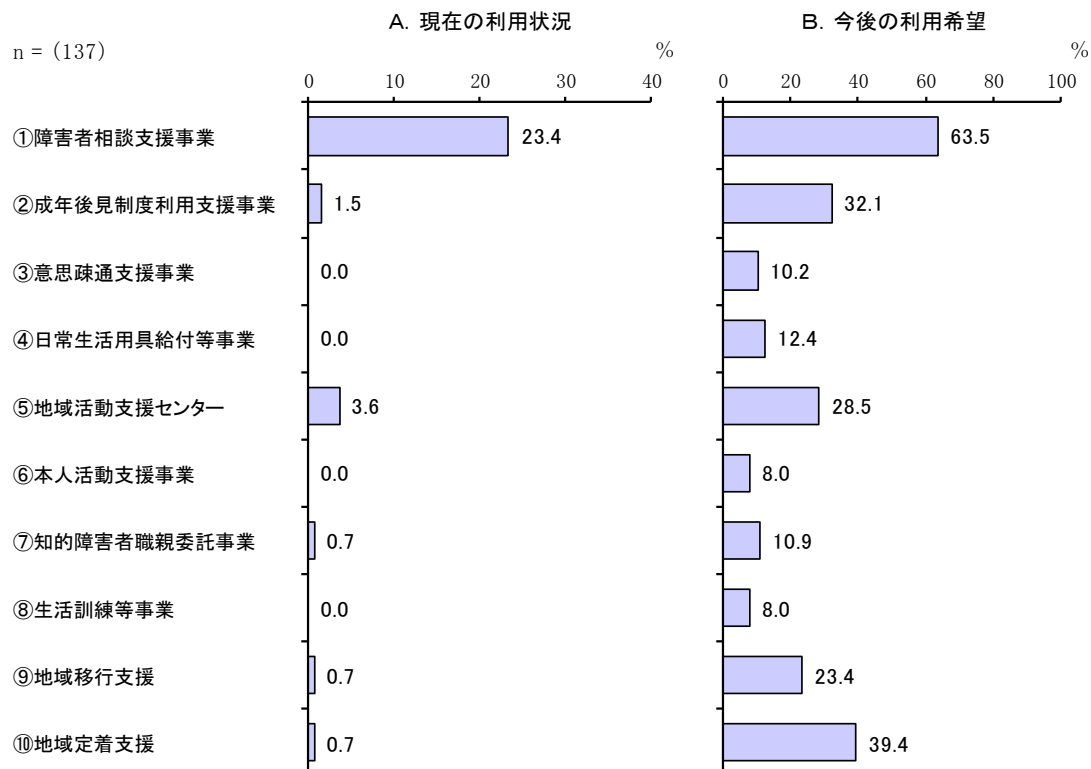
問 73 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が 32.8%、「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」の割合が 22.6%となっています。



問 74 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については「①障害者相談支援事業」の割合が23.4%と最も高くなっています。  
今後の利用希望については、「①障害者相談支援事業」の割合が63.5%と最も高く、次いで「⑩地域定着支援」の割合が39.4%、「②成年後見制度利用支援事業」の割合が32.1%となっています。



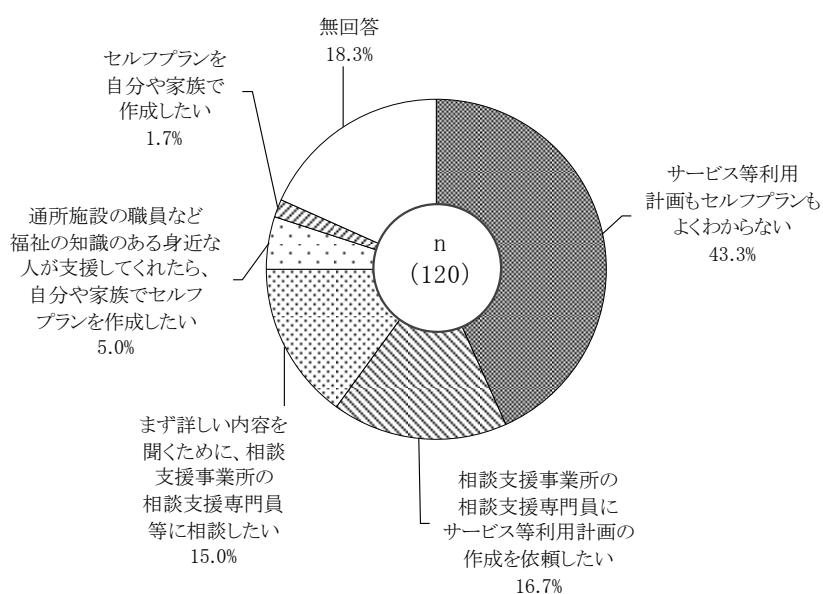
※令和元年度調査の「①障害者相談支援事業」は平成28年度調査では「①相談支援事業」でした。令和元年度調査の「⑨地域移行支援」、「⑩地域定着支援」は新たに追加された選択肢です。  
平成28年度調査の「⑤移動支援事業」、「⑧訪問入浴サービス事業」、「⑪日中一時支援事業」は令和元年度調査では、それぞれ、問69及び問71に選択肢を移しました。

問 75 【問 68, 70, 72, 74 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用をしたい方におたずねします。】

サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。

(○は1つ)

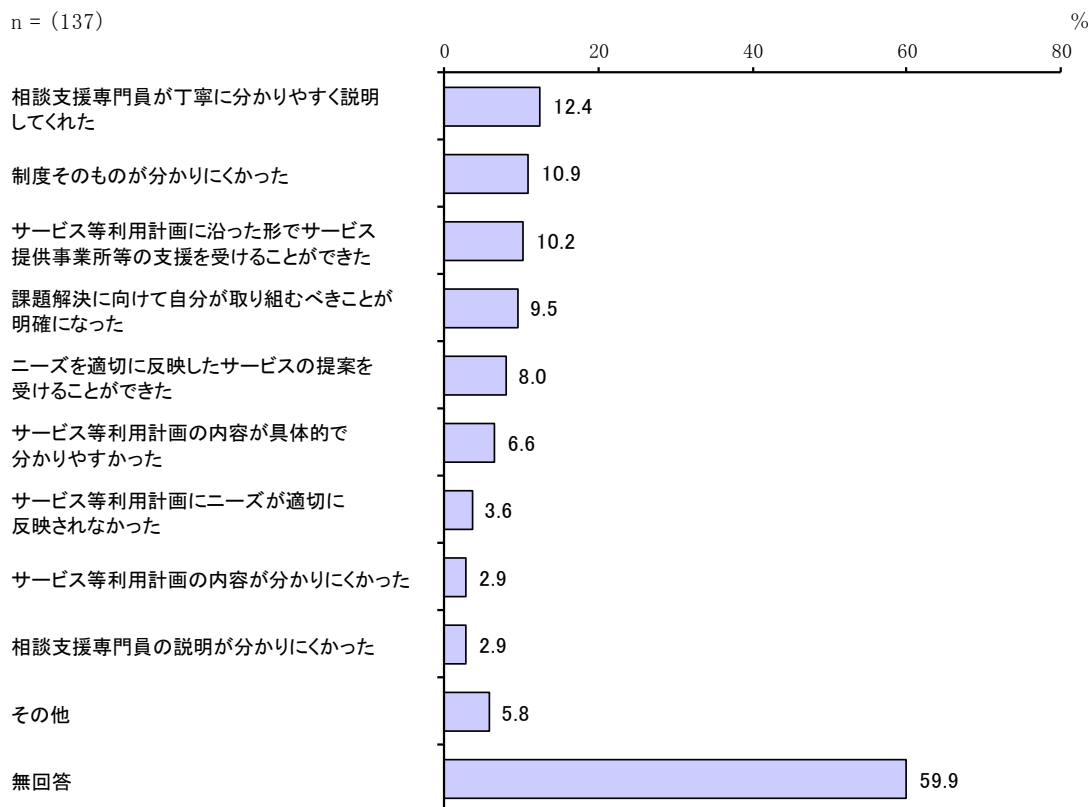
「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」の割合が 16.7%、「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」の割合が 15.0%となっています。



**問 76 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方におたずねします。】**

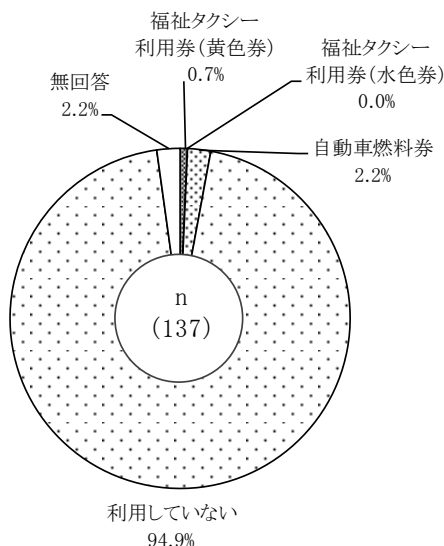
**サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか。(○は4つまで)**

「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」の割合が 12.4%と最も高く、次いで「制度そのものが分かりにくかった」の割合が 10.9%、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」の割合が 10.2%となっています。



**問 77 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。(○は1つ)**

「利用していない」の割合が 94.9%と最も高くなっています。



問 78 【問 77 でいずれかの券を利用している（１～３番）と回答した方におたずねします。】

福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。

（○はいくつでも）

「医療機関への通院」が３件となっています。「福祉施設への通所」、「買い物など日常の用事」、「文化・教養活動」が１件となっています。

問 79 【問 77 で自動車燃料券を利用していると回答した方におたずねします。】

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。

（○は１つ）

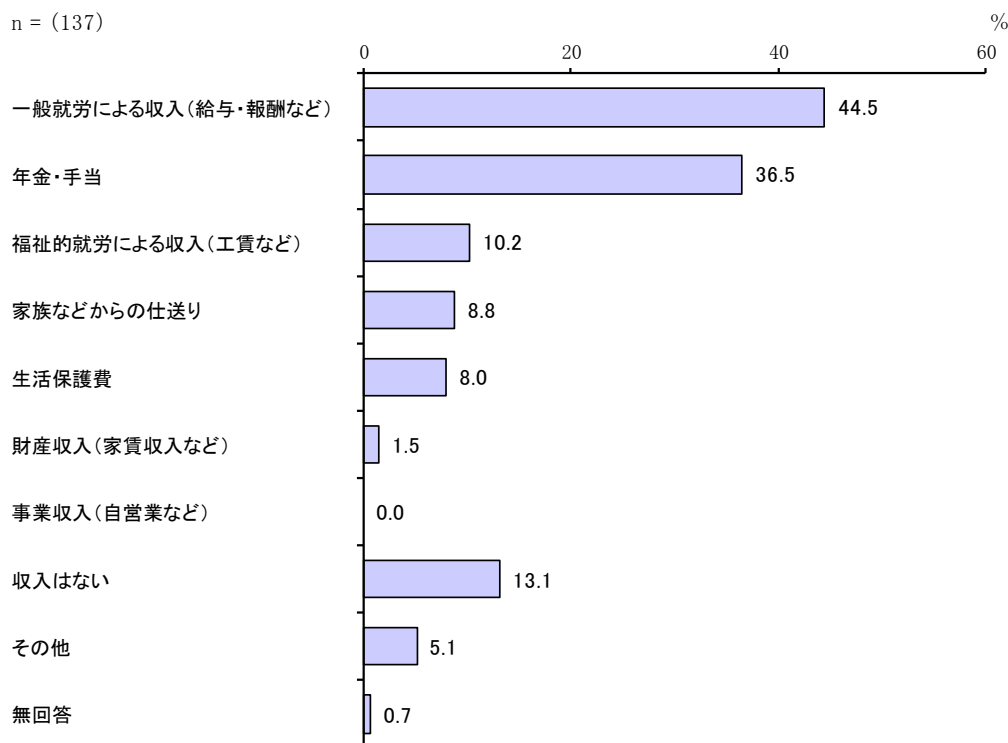
「家族などが運転する車で移動することが多いから」が３件となっています。

## (14) 収入や利用者負担について

### 問 80 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

「一般就労による収入（給与・報酬など）」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「年金・手当」の割合が 36.5%、「収入はない」の割合が 13.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「一般就労による収入（給与・報酬など）」の割合が増加し、「収入はない」の割合が減少しています。



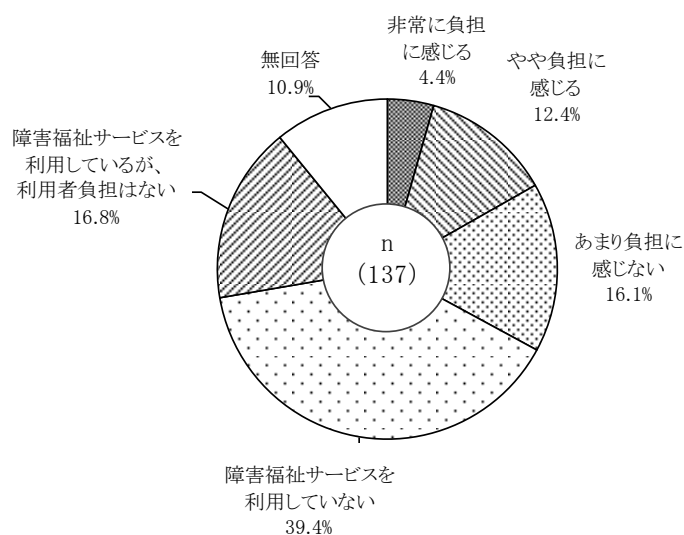
### 【平成 28 年度調査】

単位：%

	調査数	一般就労による収入（給与・報酬など）	年金・手当	福祉的就労による収入（工賃など）	家族などからの仕送り	生活保護費	財産収入（家賃収入など）	事業収入（自営業など）	収入はない	その他	無回答
全 体	120	31.7	39.2	6.7	10.8	5.8	1.7	0.8	19.2	7.5	2.5

問 81 あなた（保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

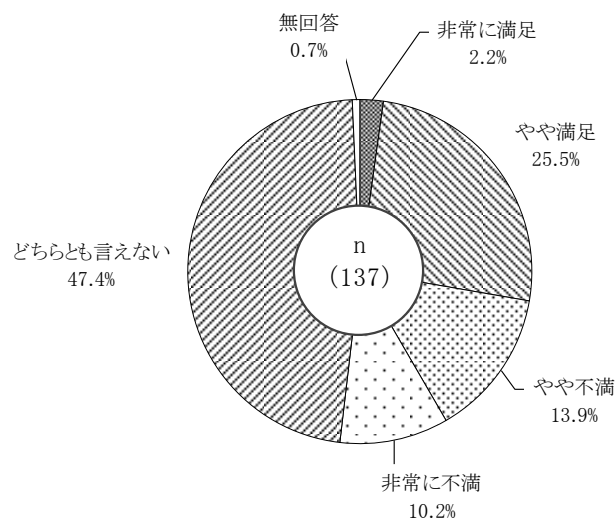
「障害福祉サービスを利用していない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない」の割合が 16.8%、「あまり負担に感じない」の割合が 16.1%となっています。



## (15) 障害者施策について

問 82 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 27.7%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 24.1%、「どちらとも言えない」の割合が 47.4%となっています。



## (16) 自由意見

問 83 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 71 件の意見がありました。

	分 類	件 数	割合 (%)
1	福祉サービス	15	21.1
2	医療・健康	0	0.0
3	生活環境	5	7.0
4	雇用・就労	14	19.7
5	将来について	2	2.8
6	経済事情・経済的支援	4	5.6
7	行政・制度	14	19.7
8	その他	17	23.9
合計		71	100.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### ①福祉サービス

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
福祉サービスは現在利用されていないが、今後の状況次第で利用を考える。	自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害	30 歳代	男性	本人
どのような福祉サービスがあり、どのように利用できるのか、わかりやすく情報を提供してほしい。同じ障害を持った家族の会があったら紹介してほしい。同じ障害を持った人たちが気軽に寄れるような場所があったら、地図等でわかりやすく教えてほしい。	自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害	30 歳代	男性	本人
福祉サービスの殆どを知らなかった。周知徹底されていない気がする。周囲に発達障害が理解されていない。基本的に災害時に音や光に対する過敏が酷い。基本的に人間がたくさんいるところが嫌いなので、避難所はとても無理です。健常者でさえ災害時・非常時大変なのに、わがままなこと（要望とか）はとても言えない。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群	30 歳代	男性	本人
区役所の説明がわかりづらい。 どんなサービスがあるのか全くわからない。	広汎性発達障害	20 歳代	男性	本人

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手帳のスマホアプリ化。</li> <li>・自分がどの支援やサービスを受けられるか、わかりやすくしてほしい（特に民間企業の割引やサービス、支援がわかりにくい）。</li> </ul>	アスペルガー症候群	40 歳代	女性	本人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者に対する理解などが全体的にされていない。</li> <li>・福祉サービスも自分で調べないといけない。市から「こういうサービスがある」と言ってほしいし、市政だよりなどでアピールしてほしい。</li> </ul>	広汎性発達障害	20 歳代	男性	本人
ひきこもりがちな障害者の話し相手や見守り、その他生活支援をしてくれるサービスがあればよい。	自閉症スペクトラム障害 注意欠陥・多動性障害	20 歳代	男性	家族
障害者－障害者や障害者－健常者との出合の場ほどではないが、相互理解を深めていけるサービスがあればよい。こういった福祉サービスがあるのか、一覧表やリストで配布、もしくはインターネットでわかりやすく公開してほしい（すべてのジャンル問わず受けられる条件や利用料金など見られるもの）	自閉症スペクトラム障害	40 歳代	女性	本人
日常の生活を安定させることで精一杯です。社会とのつながりをどう確保するか。利用しやすいサービスがあれば情報提供をお願いします。	自閉症スペクトラム障害	40 歳代	女性	本人
障害認定されない程度の難聴だが福祉装具を利用したい。繊維筋痛症の理解が広まり、もう少しサービスをうけたい。移動がづらい。	広汎性発達障害	30 歳代	男性	本人
自分が利用したいものでは、不可能なものでもよいなら、安楽死サービスか障害を治すサービス、政治関係の職場体験もしくは試用サービスぐらいか。自分の場合、社会の価値観に絶望的なレベルで適合できないことが不適應の理由なので参考にしづらいと思う。障害者、一般の方の両方に負担を大きくかけなくて済む福祉サービスの制度が一番よいと思う。	広汎性発達障害	30 歳代	男性	本人
障害者向けの結婚相談所をつくってほしい	広汎性発達障害	40 歳代	女性	本人
睡眠障害（ナルコレプシー）の方の支援	広汎性発達障害	20 歳代	女性	本人
一般の方には障害当事者の話を聞く機会が少ないようです。講演などを増やしていくことが、相互理解につながると思います。	広汎性発達障害	20 歳代	女性	本人

## ②生活環境について

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
発達障害の人は多い。しかし、どのサービスからも落ちている。コミュニケーション能力に乏しい者は、家族がいなくなった後に生きるとはとても難しい。何かあった時の対処法がわからないし、一人で生活できるレベルではない。そういう人たちも救ってくれる施設がほしい。	広汎性発達障害	30 歳代	男性	本人
ひとり暮らしの障害者用の住居をつくってください。発達障害者は感覚過敏とコミュニケーション障害があるため、一般人に混じってひとりで暮らすのは非常に困難です。全員障害者の住居があればとても安心で心強いです。	自閉症・自閉的傾向 広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害 その他	20 歳代	男性	不明
愛犬と住める家を貸してくれればよい。私は犬がいないと生きていけないのに、犬＝お金を持っている、ぜいたくするなという考えに嫌気がさす。	広汎性発達障害	20 歳代	男性	家族
親が年をとった後（仕事を退職した後）時、または生活が別になった時の子ども（障害者）の収入や生活の面での補助の必要性。	広汎性発達障害	20 歳代	男性	家族
スーパーでの買い物では、セルフレジをもっと入れてほしい。コミュニケーションの配慮のため。	自閉症スペクトラム障害 注意欠陥・多動性障害 その他	20 歳代	女性	本人

## ③雇用・労働について

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
仕事が見つからない。自分が死んだ後どうなるか、いつホームレスになるか、毎日おびえて暮らしています。働けたとしてもすぐクビになりそうで怖い。職場での差別は無くなったことはありません。生きていくことすべてに不安です。	アスペルガー症候群	30 歳代	男性	本人
就労支援の充実。自宅でできる仕事を増やしてほしい。	アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害 学習障害	40 歳代	男性	不明
・千葉県内での障害者就労の収入が少ない。 ・時給ならあと 500 円～1000 円は増やしてほしい ・もっと障害者に対して優しい市であってほしい。	アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害 学習障害	40 歳代	男性	不明
障害とはできないことではなく、できないことが認められないことだと考えています。サービスの充実も大事ですが、職場において、障害者が活躍できる場がどれだけあるのでしょうか。まずは役所や学校自身が障害者を活躍させているところを見せてほしいです。それがサービスの充実の第一歩のはずです。	自閉症スペクトラム障害	20 歳代	男性	本人

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
発達障害者支援センターを利用したことはあるが、職員の対応がすごく嫌だった。センター長が説明もそこそこに話を進めて、発達障害がなめられてる感じがした。支援センターとハローワークの人は頼れない。テストまでやったけど、就労まで支援してもらうのは違うと思った。給与が出る形で体験型バイトがあればよい。スポットで1日体験できる、派遣型でもよいから1日働いて日払いがあれば生活が助かる。市が金銭面で支援してほしい。働く意欲はあっても人間関係をすぐダメにしてしまう。もっと助けてほしい。	広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害	30 歳代	男性	不明
30 歳目前でやっと社会人一年目。にもかかわらず、事務職に向いておらず、しかも保健師、事務員が自分の目の前で聞こえるように毎回陰口を叩いてきて、正直参っています。かといって、辞めても30で職歴の無い人間を雇ってくれるところはほとんどないのが実状なので、かなりしんどいです。一度レールを外れた障害者であっても、まともに食べていけるような訓練制度や職業仲介制度がほしいです。	自閉症スペクトラム障害	30 歳代	男性	本人
作業の現場において、不自由さ、大変さが目視できないと、障害だと理解されないのが現状です。さもないと、「守られている」と、次第にぞんざいに振舞われ、暴言、陰口、挙句に足蹴にされたこともあり大変失望しました。祭典祝典等で我々への関心が注がれるので、どうか穏やかで、かつ疎かに扱われることのない、恒常的なしくみの構築を希望します。	広汎性発達障害	20 歳代	男性	本人
一昨年ほどから自治体の障害雇用率算定に関する問題がクローズアップされ、各地で臨時の試験・採用活動が行われたことは承知している。しかし、その後採用された障害者が働き続けているのかどうか。本人や現場の声といった事後的な検証・報告は市・県民だよりをみても載っていない。民間企業での障害者離職率や退職理由はおおむね社会にデータとして広まっている。自治体もプライバシーに配慮する範囲内でこれらの情報を公表し、反省・還元してほしい。	高機能自閉症・高機能広汎性発達障害 自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害 学習障害	30 歳代	女性	本人
働きやすい職場で仕事がしたい。今の職場ではメンタルがもたない。話がしたいと言っても聞く耳を持たない。	広汎性発達障害 アスペルガー症候群	40 歳代	男性	本人
もっと就職しやすい環境をつくってほしいです。	広汎性発達障害	40 歳代	男性	本人
一般企業で正社員として働いています。そのため平日の日中は時間が取れず、行政や福祉の手続きには会社を休んで対応しています。会社に半休制度などがあれば、もう少し支援制度の利用がしやすくなります。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害 学習障害	20 歳代	女性	本人

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
学校や職場などで集団行動する際、障害のない人にも発達障害の特性を理解してもらいたい。ハローワークの専門援助部門をもっと宣伝してほしい。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害 学習障害	20 歳代	女性	本人
就労支援に関する施設をもう少し充実させて、社会人として生活できるようになるまでしっかりサポートしてほしい。障害者が社会人として参加できる機会が増えることを期待します。	自閉症・自閉的傾向	50 歳代	女性	家族
千葉障害者就業支援キャリアセンターとのつながりの中で、ワークキャリアの大切さを感じています。また、千葉市発達障害者支援センターとのつながりで、発達障害の知識を深める講演会に参加しています。	自閉症スペクトラム障害 注意欠陥・多動性障害 その他	30 歳代	男性	本人

#### ④将来について

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
車の運転ができないため、田舎にある実家に帰れない。実家に戻ると「足」がなくなり、必然的に引きこもりになってしまう。今後も千葉市に住み続けたいが、障害者雇用のため給料が安く、生活が厳しい。貯蓄もなかなか増えないので、将来の生活に不安がある。	広汎性発達障害、知的障害	18 歳・19 歳	男性	不明
今、特に困っていることはありませんが、両親亡き後の生活が不安です。兄弟だからといってすべての責任を負わせるのは心配です。安心して任せられることができたと思っています。	広汎性発達障害、知的障害	18 歳・19 歳	男性	不明

#### ⑤経済事情・経済的支援について

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
経済的不安が将来にわたって大きいです。	自閉症スペクトラム障害、広汎性発達障害、注意欠陥・多動性障害	20 歳代	男性	本人
一般就労している障害者への経済的支援が全くないため、一般就労しても自立できない。障害年金も審査が非常に厳しく、就労できるといだけない。月の手取りが 12～13 万なのに、初診時に働いていたから年金は出せないのでは、自立は不可能です。年収に応じて経済的支援をしてもらえるシステムはつくれないでしょうか。	広汎性発達障害	20 歳代	男性	本人

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
近々経済的に生活が苦しくなりますが打開の目途が立たず不安です。障害年金や自己破産、生活保護等について相談できる場所があれば助けてほしいですが、どこに行けばよいのかわからず、仕事も休みが多くなく体力的にも余裕がないため具体的な活動を進められず困っています。	注意欠陥・多動性障害	20 歳代	男性	本人
ともかくお金がない。障害の重さから体を動かすことへのハンデを理解しつつ、新しい生き方や幸せを追い求めて不断の努力をしているが、お金の少なさと障害の重さが足かせになっており、チャンスの追求や生活に支障がある。最低1か月10～15万がないと自立は無理。1月あたり20万円が望ましい。	広汎性発達障害	40 歳代	男性	本人

## ⑥行政・制度について

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
交通系の割引サービスを利用する際に障害者手帳を提示するのは少々気後れするので、別途パスカードを発行してもらうなど配慮がほしい。現在の交通系サービスはバスが中心なので、鉄道系サービスも割引等の対象に含めてほしい。	自閉症スペクトラム障害	20 歳代	男性	家族
身体障害者や老人を基準につくられたサービスで、精神障害者や若い人が利用しやすい環境にない。手当ても垣根を低くして、もっと補助してほしい。精神的、金銭的負担の苦痛を家族が味わっていることの理解を深めてほしい。	アスペルガー症候群 学習障害	30 歳代	女性	本人
区役所などの職員の対応が塩対応で障害者に寄りそっていない。市や区の職員から障害者への理解を深めてほしい。	自閉症・自閉的傾向 アスペルガー症候群 学習障害 その他	20 歳代	男性	本人
軽度発達障害者に対する自立支援や雇用促進を充実させてほしい。自分はグレーゾーンで3級のため、受けられる支援に限りがあり、対象にならないことが多くあります。特に金銭面での自立ができるサービスや支援を望みます。	広汎性発達障害	40 歳代	男性	本人
私は大人になってから発達障害だと気づきました。幼稚園や小学校の時に気づいていたらかなり違っていたと思います。海外では、知識のある人が学校に訪問し、判断してバックアップする制度もあると聞きます。日本でも幼少期に支援する体制があれば、子どもにはよいと思います。	自閉症・自閉的傾向 自閉症スペクトラム障害 その他	30 歳代	男性	本人

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
就労継続B型にいたとき、患者会の有力者が入所したとたんに体制が変わり、精神は追い出され、知的の作業所になったことがある。しっかり監督してほしい。ハローワークの求人も本当の実態を載せてほしい。補助金目当てでは困る。	高機能自閉症・高機能 広汎性発達障害 自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害 学習障害	20 歳代	女性	本人
要望したいことは知的、精神障害に対してのより一層の理解です。知名度は上がったかもしれませんが、細やかに深く理解することは当事者でも難しいです。生保受給者のためにボランティア等役に立てる所があればよいと思っています。現在はB型就労をやっていますが、一般就労未満のやれる事を探せる所があればよいと思っています。精神を病み、一度自信を失うと、引き込もってしまいます。個人の特性を福祉にわかってほしいです。	広汎性発達障害	20 歳代	男性	本人
障害年金の申請手続きの簡素化、受給基準の緩和。	知的障害	40 歳代	女性	本人
障害が発達障害だと受けられる支援がないように思います。知的障害がないため、障害程度は低いと思われがちですが、実際には就労も難しいため、就労移行支援や働けるまでの金銭的な支援期間を延長してほしいと思います。	注意欠陥・多動性障害 その他	30 歳代	男性	本人
今後の学校教育がインクルーシブ教育をどうしても推進せざるを得ないなら、せめて今後の学校教育はエリート教育至上主義、中心主義からいい加減脱却すべきです。エリート教育はあくまで極めて高度な専門教育としてあるべきです。インクルーシブ教育がどれだけ充実しても、それと並行する形で特別支援教育は存置され続けるべきですし、さらに充実するべきです。	広汎性発達障害	18 歳・ 19 歳	男性	本人
細かい説明がほしい（目的地への行き方や物事の手順、電車やバスの行き先）。	自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群	20 歳代	女性	家族
普通の人々が障害者に協力してほしいことをわかりやすく伝えてほしい（暗黙のルール、空気をよむことが苦手）	自閉症スペクトラム障害	20 歳代	男性	本人
障害手帳の更新手続きに不便を感じています。 1. かかりつけ医に診断書も書いてもらわないとならない。 2. 家の所得税が関係していて、確定申告を済ませていないいけない（機能不全家族にはものすごく大変な事です）。 3. 就労していると手続き等に時間をとるのが大変。	広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害	30 歳代	女性	本人

⑦その他

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
就労継続している障害者達の手記（障害名、トラブルと解決までの過程）、障害者達の日常考えていることの手記の掲示。	自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害	18 歳・ 19 歳	男性	本人
発達障害は身体障害のようにわかりやすい障害でもなく、理解度がまだまだ低いと感じる。	アスペルガー症候群	30 歳代	男性	本人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「肉体的障害」については「医療技術」の具体的開発でほとんど解決できる。それには大がかりな中・長期的な経済的支援による「包括的解決策」、遺伝子工学、生体工学的な「開発」が必ずいる。</li> <li>・「精神障害」については「肉体」を整えることによって九分九厘解決できる。その方には「東洋医療」の「内科」的療術の力が大きくものを言う。</li> <li>・「行政」は「制度」（心がけ）でなく「実」をとる（「障害者」をなくす）ことに金を出してほしい。</li> </ul>	アスペルガー症候群	40 歳代	男性	本人
オリンピックは身体の一部が不自由な人と、心身ともに健康な人のためのものです。心の病気がある人や発達障害の人、精神障害者にとっては必要のないものです。とても辛いものです。「オリンピック」と聞いて嫌な思いをする人もいます。	広汎性発達障害	20 歳代	男性	本人

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
発達障害に対する理解がなさすぎる。精神障害とひとまとめにされることが多く、誤解やいじめが多すぎます。日本全体といってもいいほど、日本は障害に対する理解がなさすぎるどころか、SNSなどでさらしあげられるなど日に日に悪化しています。この世界への希望が見つかりません。	広汎性発達障害	40 歳代	男性	不明
発達障害、統合失調症などがあります。世間の人たちには「変人」だとか「馬鹿だ」とか、見下げた目で見ないでほしいと思います。	広汎性発達障害	30 歳代	男性	本人
相模原やまゆり園での事件があつて以降（あるいはその以前）、弱者を排斥するかのような言説を国内で見聞きするにつけ絶望的になる。「障害福祉」だけで解決する問題ではないのだろうが、せめて最後まで「弱者」に寄り添う存在であってほしいと切に願う。	広汎性発達障害	30 歳代	男性	本人
千葉県では福祉就労施設に通う手当が支給されありがたいと思います。	自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群	40 歳代	男性	本人
設問が身体・知的・重度の精神障害を前提としたものばかりで発達障害としての生きづらさがまったく理解されていないと感じました。ドナー登録した骨髄バンクから、HLA型が一致したと通知があり電話したら「通院してカウンセリングとか受けているからダメ」と言われました。今後 10 年間コーディネートしません、文句があるなら治った証明をしろと。発達障害は一生治らないものなのに。バンクのHP上に「発達障害はダメ」という情報はまったくありません。	アスペルガー症候群	30 歳代	男性	本人

## 5 発達障害のある 18 歳未満の方とその保護者

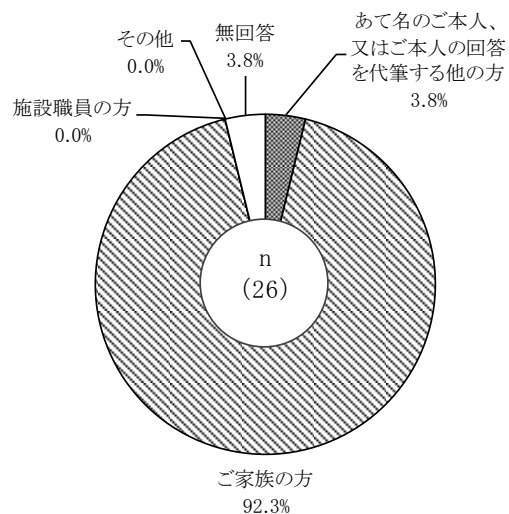


## 5 発達障害のある18歳未満の方とその保護者

### (1) 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(○は1つ)

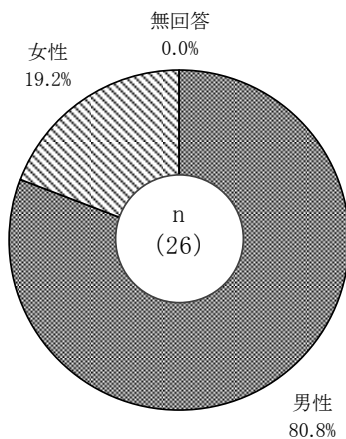
「ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」の割合が92.3%と最も高くなっています。



## (2) 本人について

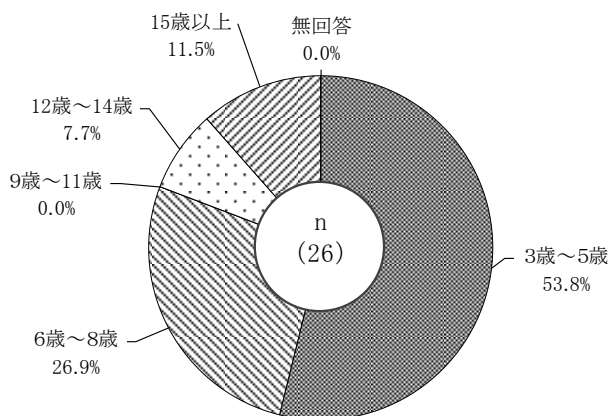
### 問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」の割合が80.8%、「女性」の割合が19.2%となっています。



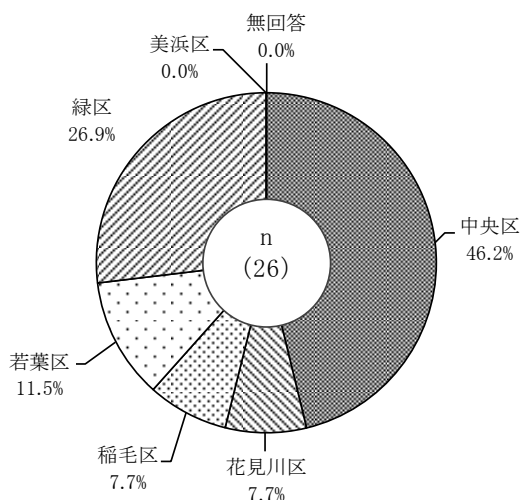
### 問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

「3歳～5歳」の割合が53.8%と最も高く、次いで「6歳～8歳」の割合が26.9%、「15歳以上」の割合が11.5%となっています。



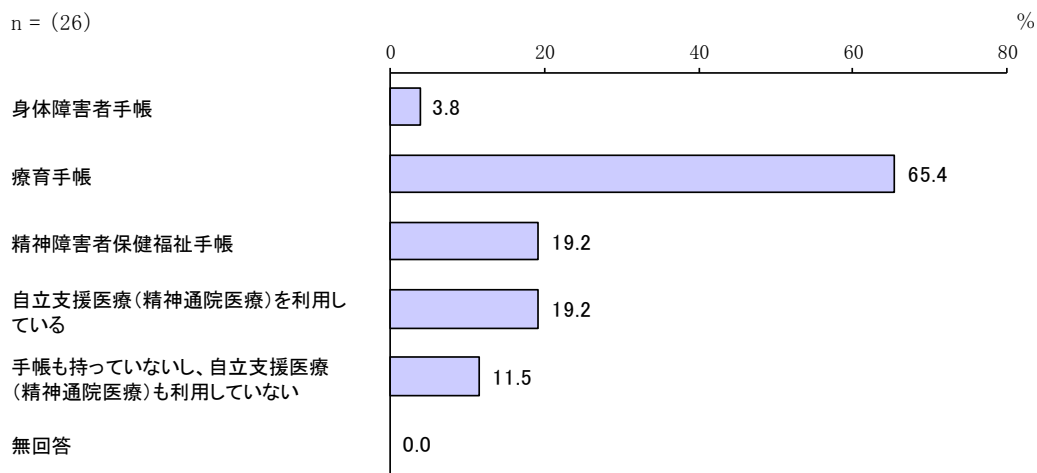
**問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。(○は1つ)**

「中央区」の割合が46.2%と最も高く、次いで「緑区」の割合が26.9%、「若葉区」の割合が11.5%となっています。



**問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。(○はいくつでも。)**

「療育手帳」の割合が65.4%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」、「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」の割合が19.2%となっています。

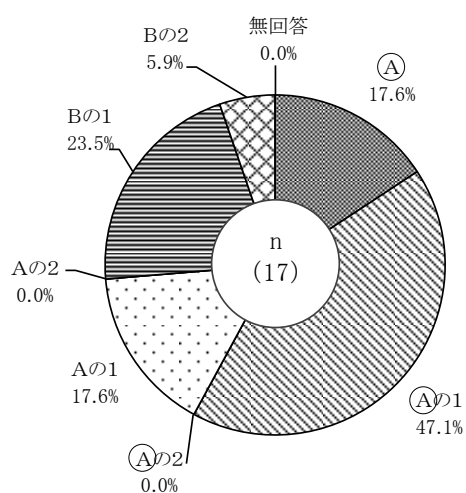


### 1. 身体障害者手帳の等級

「1級」が1件となっています。

### 2. 療育手帳の程度

「㊤の1」の割合が47.1%と最も高く、次いで「Bの1」の割合が23.5%、「㊤」、「Aの1」の割合が17.6%となっています。



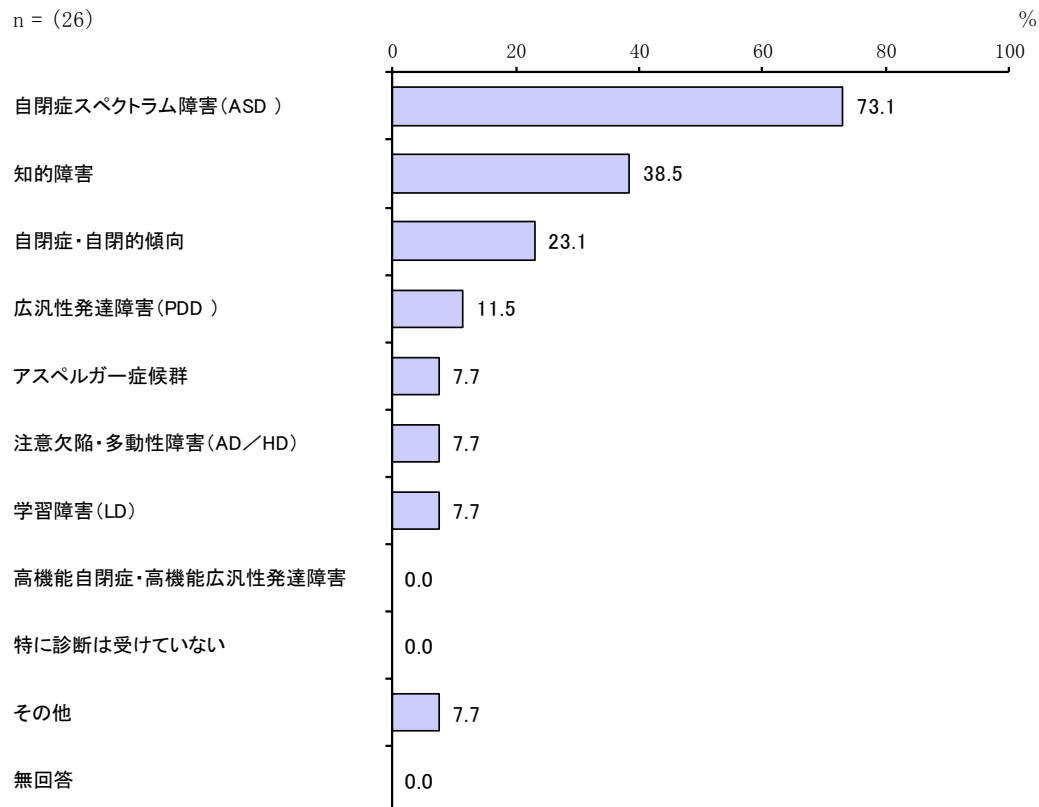
### 3. 精神障害者保健福祉手帳の等級

「2級」が4件となっています。「3級」が1件となっています。

## 問6 あなたが受けている最新の診断名をお聞きします。(〇はいくつでも)

「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「知的障害」の割合が 38.5%、「自閉症・自閉的傾向」の割合が 23.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」、「知的障害」、「自閉症・自閉的傾向」の割合が増加し、「広汎性発達障害 (PDD)」、「注意欠陥・多動性障害 (AD/HD)」、「高機能自閉症・高機能広汎性発達障害」の割合が減少しています。



### 【平成 28 年度調査】

単位: %

	調査数	自閉症スペクトラム障害 (ASD)	知的障害	自閉症・自閉的傾向	広汎性発達障害 (PDD)	アスペルガー症候群	注意欠陥・多動性障害 (AD/HD)	学習障害 (LD)	高機能自閉症・高機能広汎性発達障害	特に診断は受けていない	その他
全 体	34	67.6	23.5	5.9	17.6	11.8	23.5	5.9	5.9	2.9	5.9

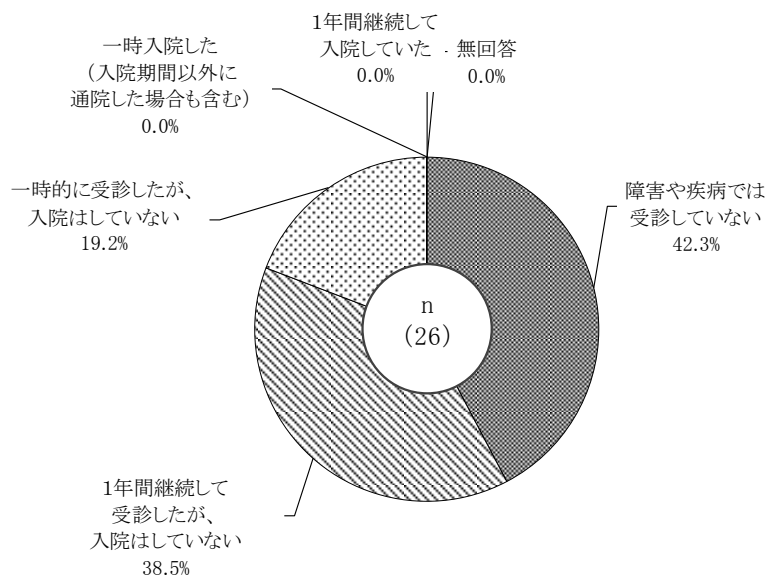
## 問7 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

有効回答がありませんでした。

### (3) 医療機関への受診状況について

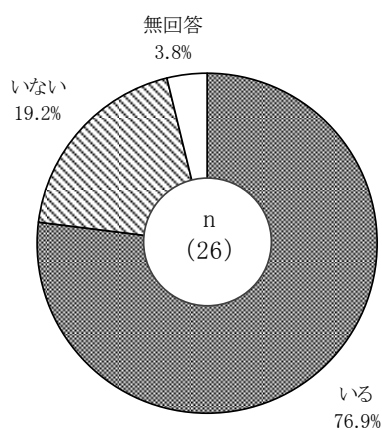
問8 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。  
(○は1つ)

「障害や疾病では受診していない」の割合が42.3%と最も高く、次いで「1年間継続して受診したが、入院はしていない」の割合が38.5%、「一時的に受診したが、入院はしていない」の割合が19.2%となっています。



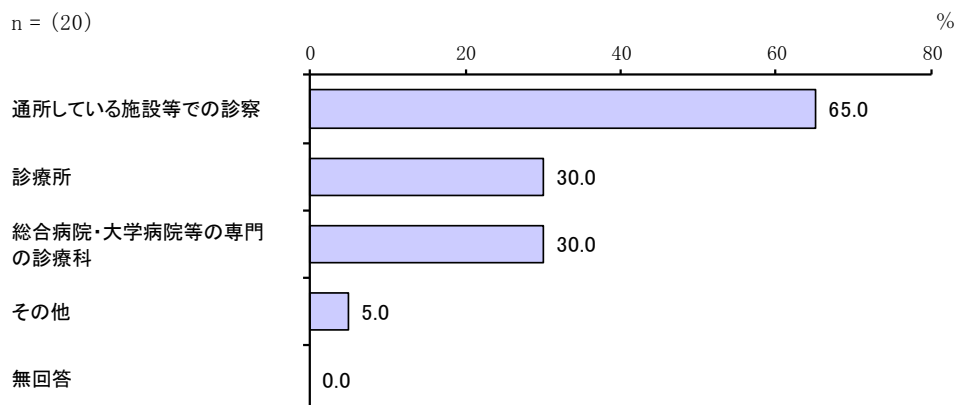
問9 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等（かかりつけ医）はいますか。(○は1つ)

「いる」の割合が76.9%、「いない」の割合が19.2%となっています。



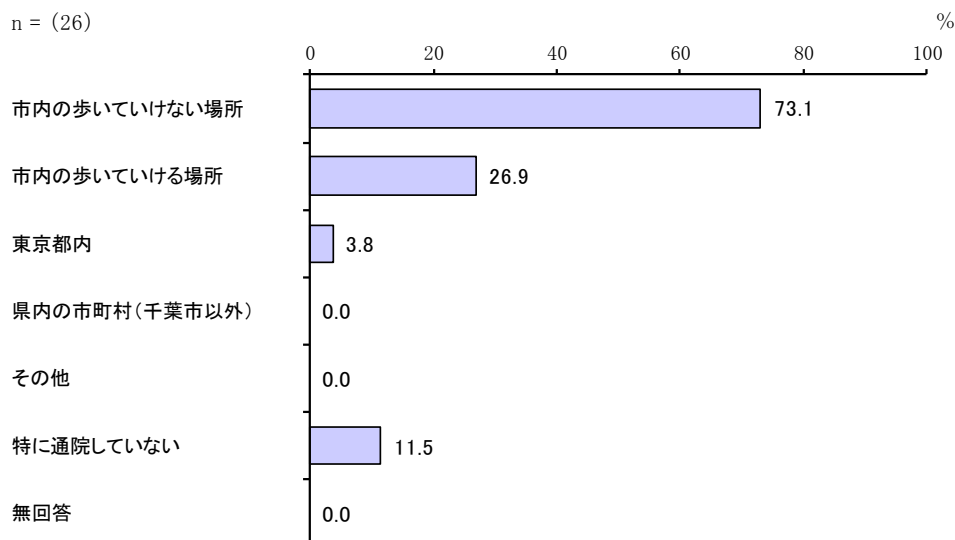
**問 10 【問9で身近な医師等（かかりつけ医）がいると回答した方におたずねします。】  
その医療機関はどのようなものですか。（〇はいくつでも）**

「通所している施設等での診察」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「診療所」、「総合病院・大学病院等の専門の診療科」の割合が 30.0%となっています。



**問 11 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。（〇はいくつでも）**

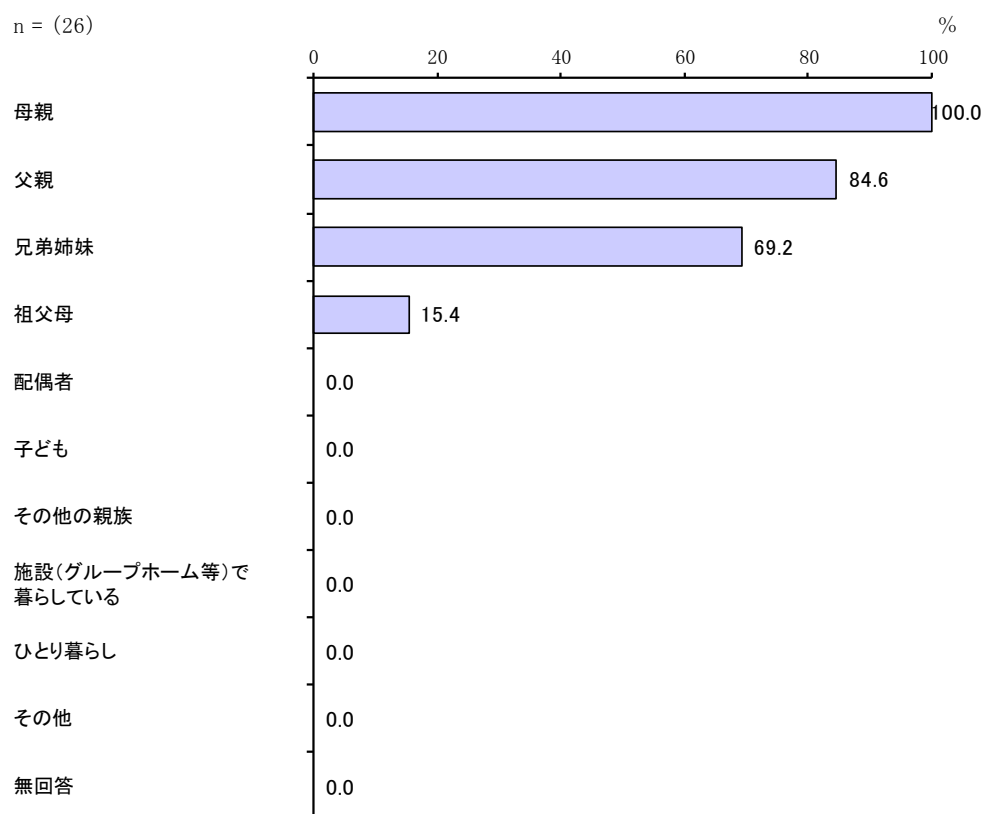
「市内の歩いていけない場所」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「市内の歩いていける場所」の割合が 26.9%、「特に通院していない」の割合が 11.5%となっています。



#### (4) 家族や介助者について

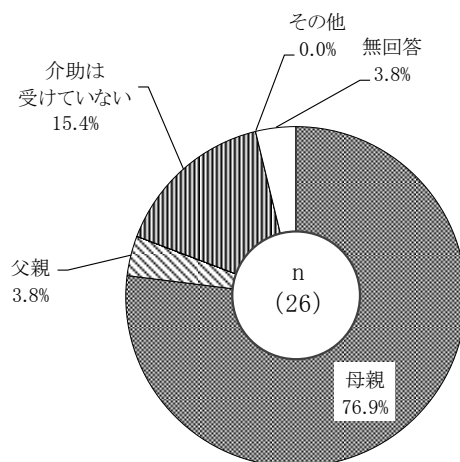
##### 問 12 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「母親」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「父親」の割合が 84.6%、「兄弟姉妹」の割合が 69.2%となっています。



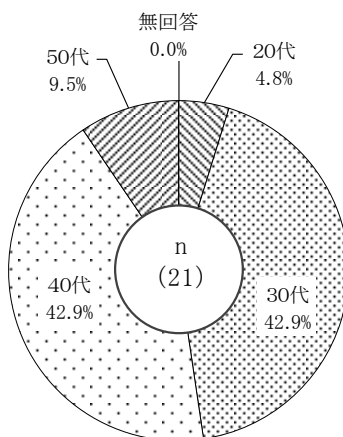
**問 13 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。（○は 1 つ）**

「母親」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「介助は受けていない」の割合が 15.4%となっています。



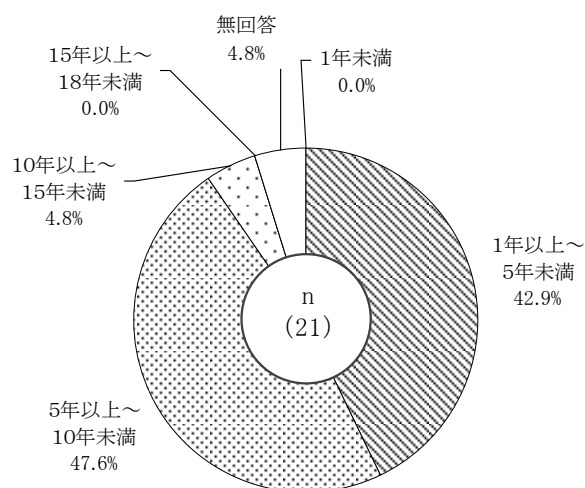
**問 14 【問 13 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は 1 つ）**

「30代」、「40代」の割合が 42.9%と最も高くなっています。



問 15 【問 13 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の介助継続年数をお答えください。(○は1つ)

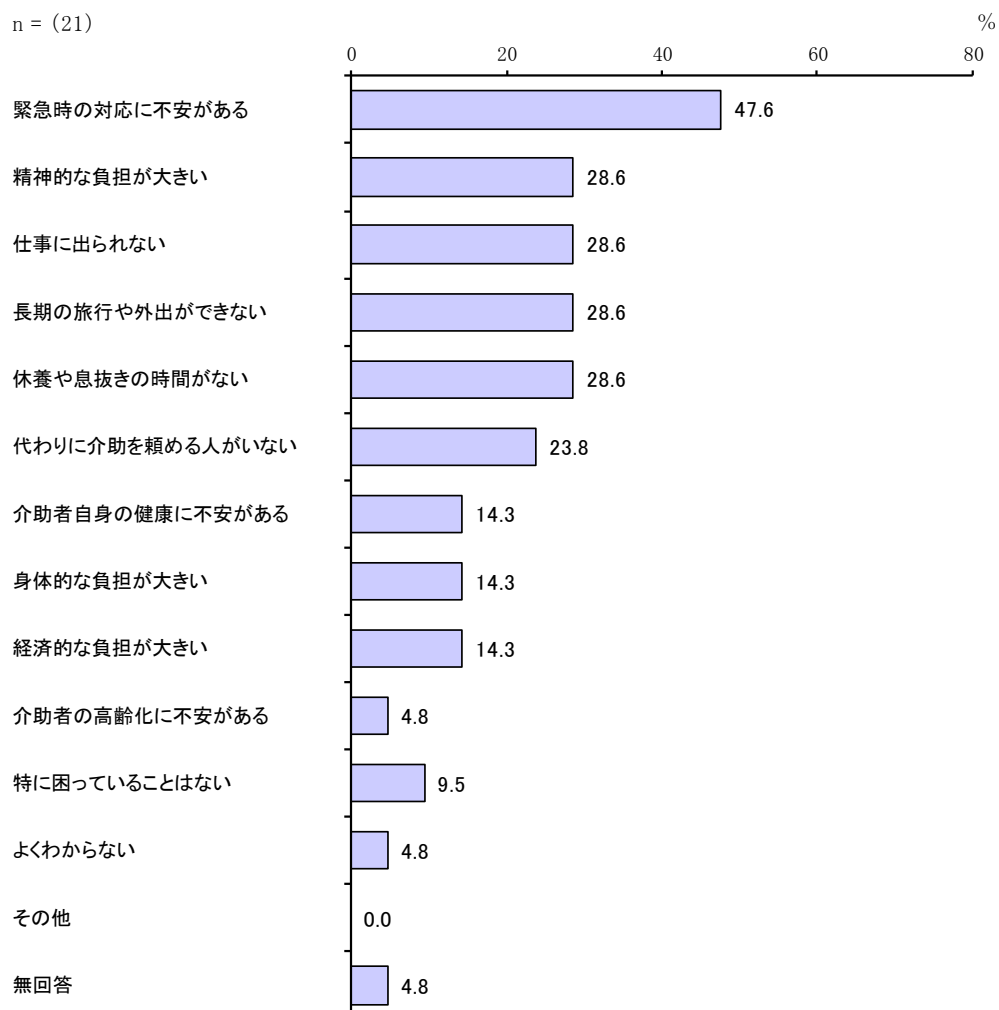
「5年以上～10年未満」の割合が47.6%と最も高く、次いで「1年以上～5年未満」の割合が42.9%となっています。



**問 16 【問 13 で主な介助者が家族・親族に○をつけた方におたずねします。】**  
**主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）**

「緊急時の対応に不安がある」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「精神的な負担が大きい」、「仕事に出られない」、「長期の旅行や外出ができない」、「休養や息抜きの時間がない」の割合が 28.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「緊急時の対応に不安がある」、「長期の旅行や外出ができない」の割合が増加し、「精神的な負担が大きい」、「代わりに介助を頼める人がいない」、「介助者自身の健康に不安がある」、「身体的な負担が大きい」、「経済的な負担が大きい」、「介助者の高齢化に不安がある」の割合が減少しています。



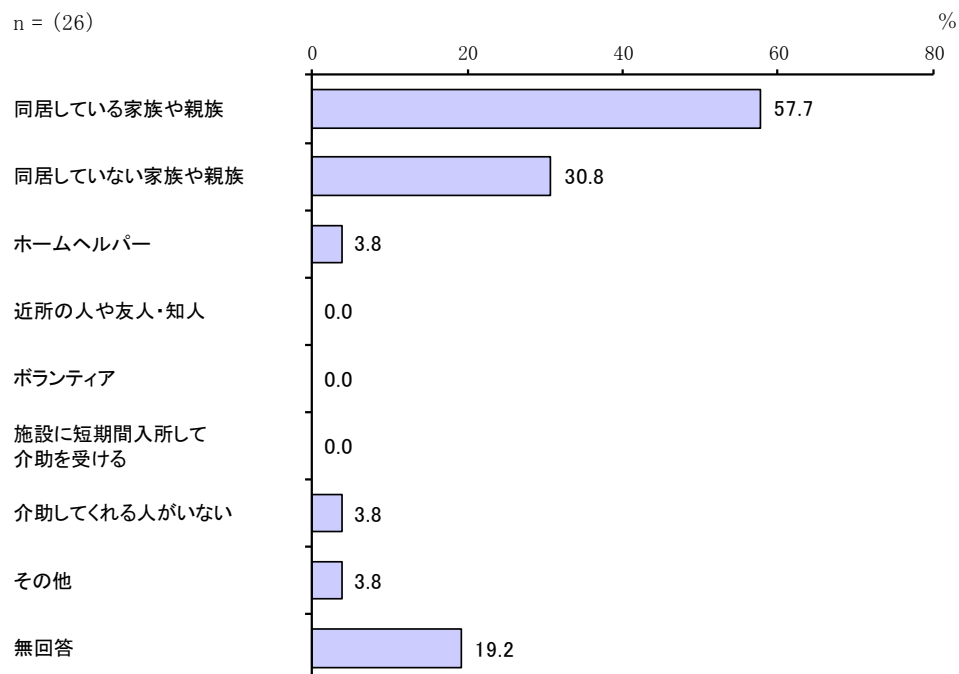
**【平成 28 年度調査】**

単位: %

	調査数	緊急時の対応に不安がある	精神的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	代わりに介助を頼める人がいない	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	介助者の高齢化に不安がある	特に困っていることはない	よくわからない	その他
全 体	120	25.0	53.6	32.1	17.9	32.1	46.4	32.1	21.4	21.4	21.4	10.7	3.6	-

問 17 主な介助者が、病気のときや外出をしなければならないときなどは、代わりにどなたが介助していますか。（〇は3つまで）

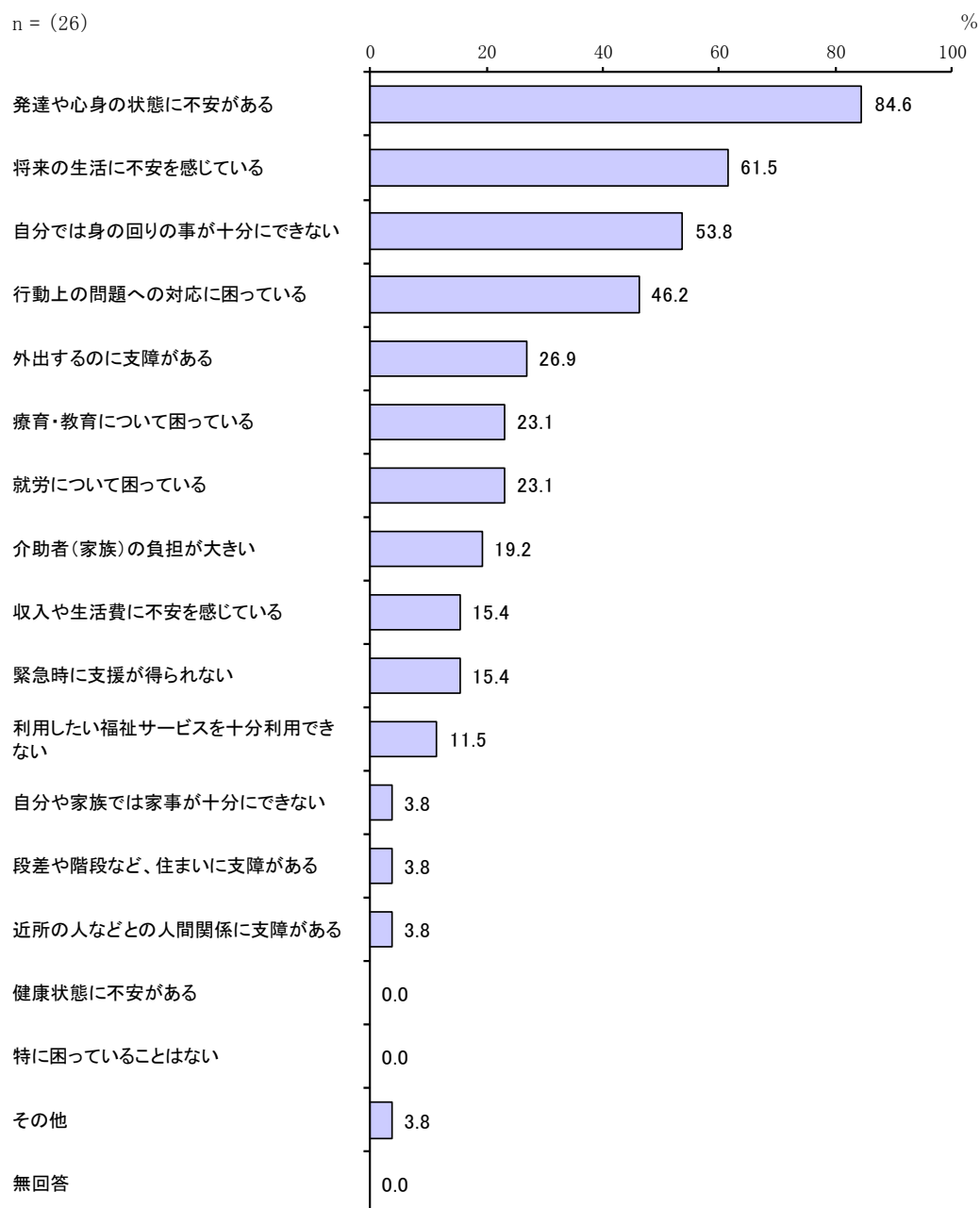
「同居している家族や親族」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「同居していない家族や親族」の割合が 30.8%となっています。



## （５）相談や情報入手について

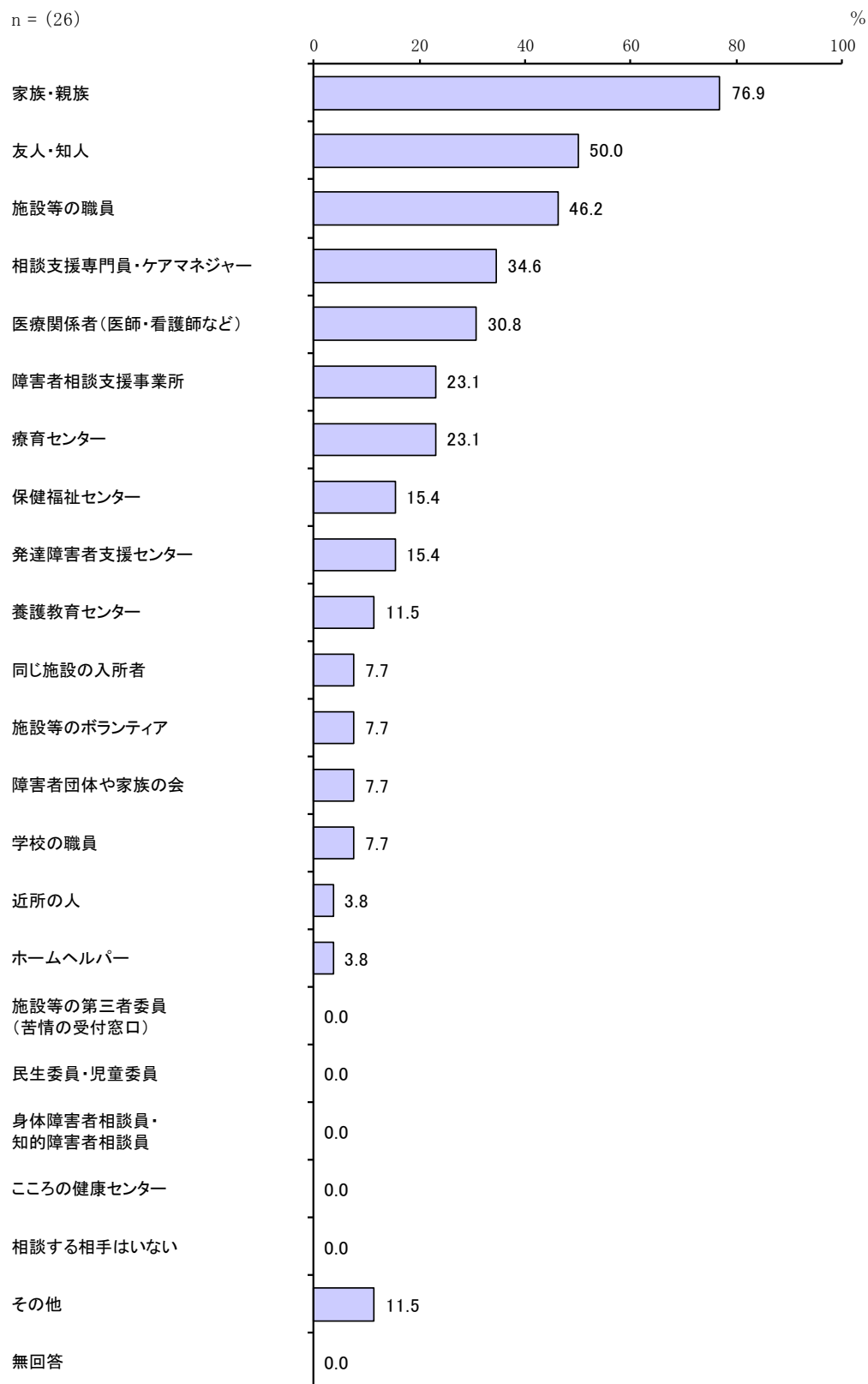
問 18 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。  
（○はいくつでも）

「発達や心身の状態に不安がある」の割合が 84.6%と最も高く、次いで「将来の生活に不安を感じている」の割合が 61.5%、「自分では身の回りの事が十分にできない」の割合が 53.8%となっています。



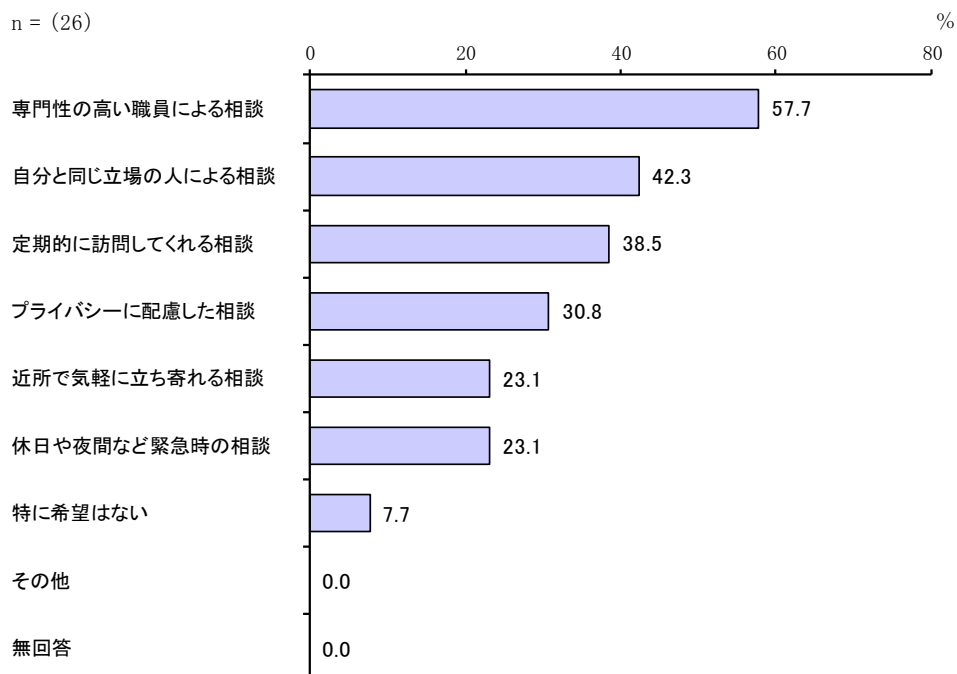
問 19 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。  
（〇はいくつでも）

「家族・親族」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 50.0%、「施設等の職員」の割合が 46.2%となっています。



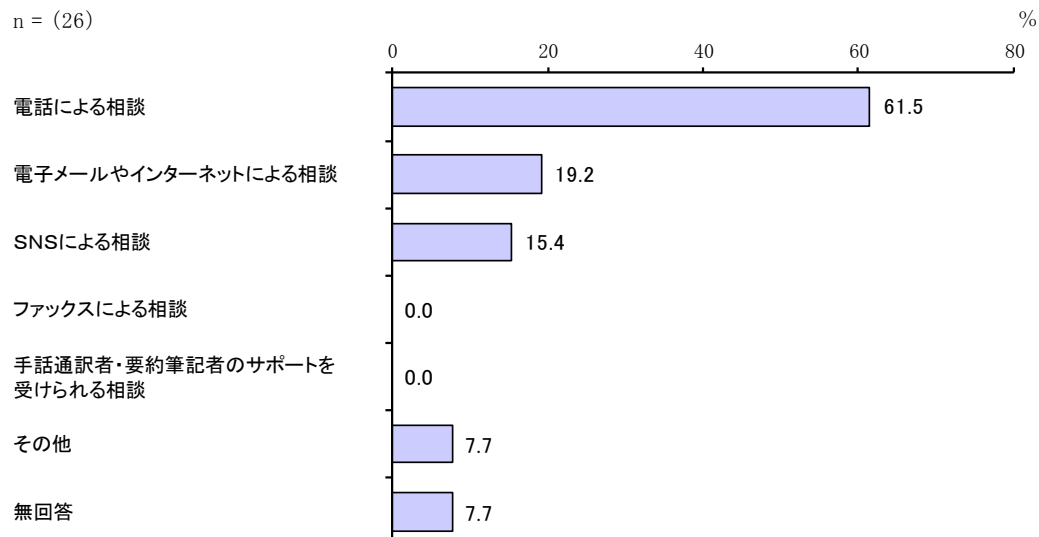
問 20 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

「専門性の高い職員による相談」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「自分と同じ立場の人による相談」の割合が 42.3%、「定期的に訪問してくれる相談」の割合が 38.5%となっています。



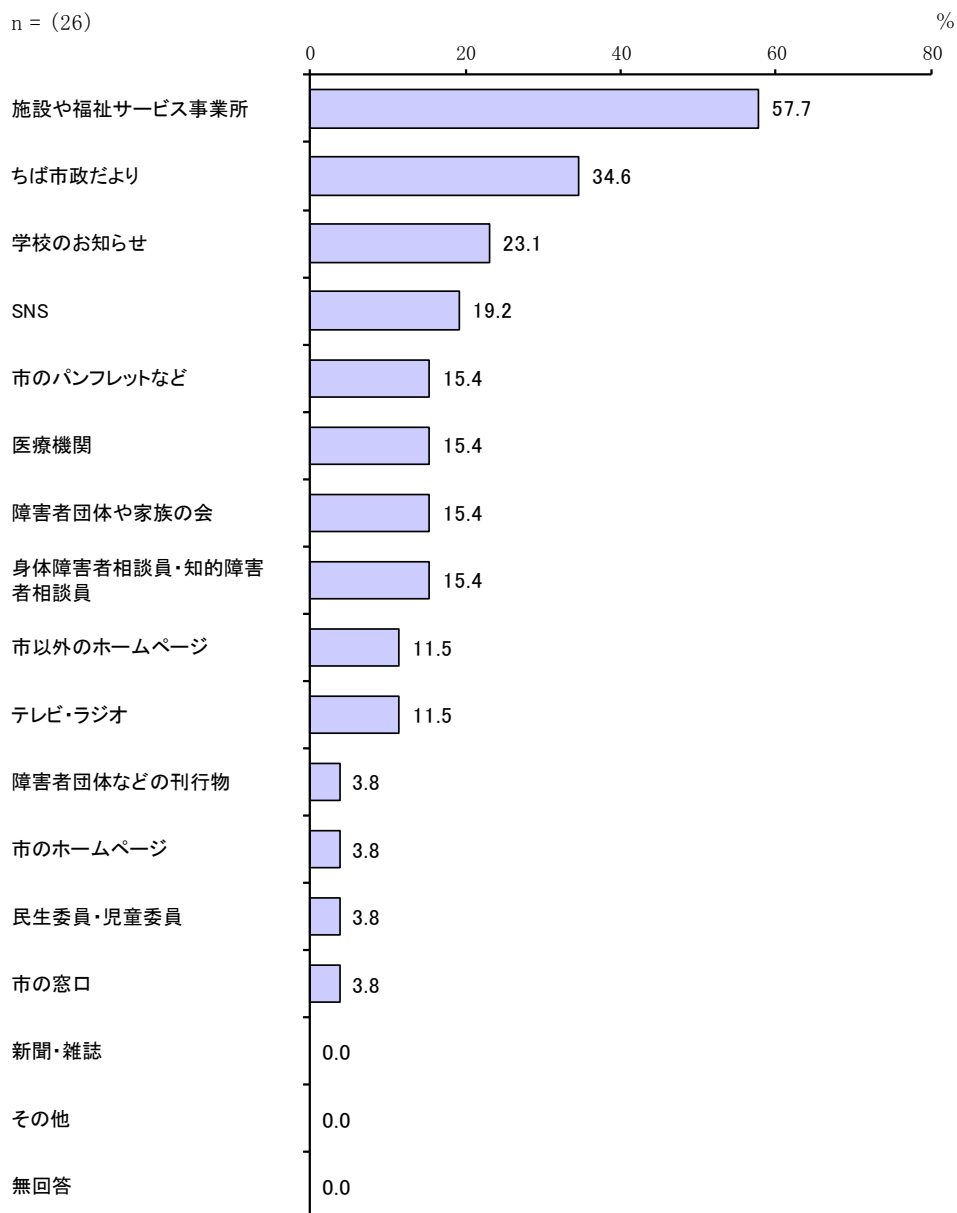
問 21 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

「電話による相談」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」の割合が 19.2%、「SNS による相談」の割合が 15.4%となっています。



問 22 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

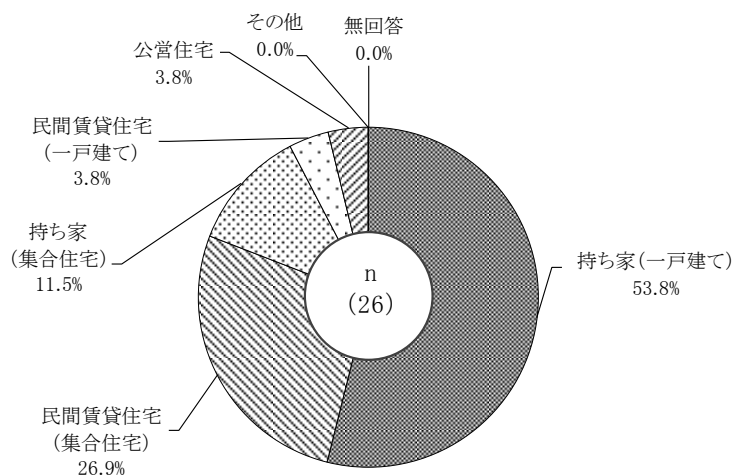
「施設や福祉サービス事業所」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「ちば市政だより」の割合が 34.6%、「学校のお知らせ」の割合が 23.1%となっています。



## (6) 暮らしについて

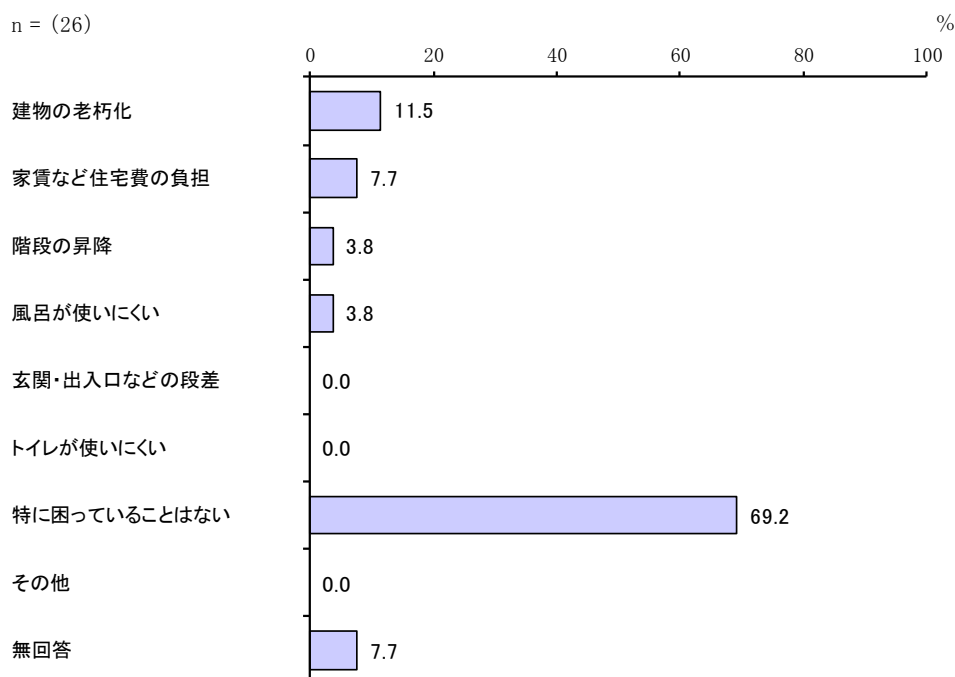
### 問 23 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

「持ち家（一戸建て）」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が 26.9%、「持ち家（集合住宅）」の割合が 11.5%となっています。



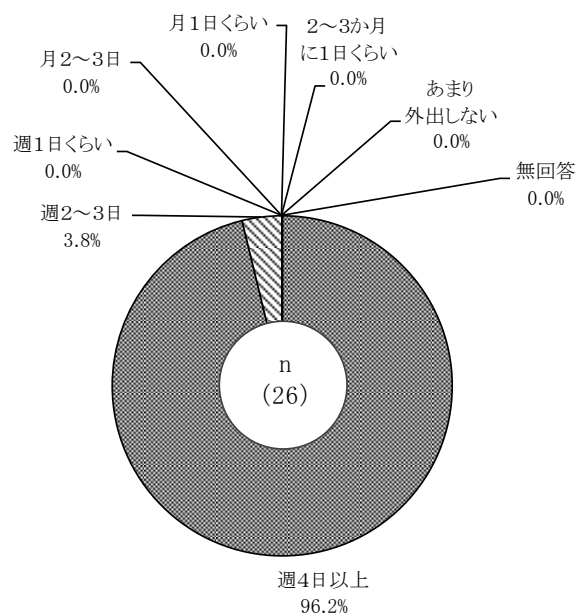
### 問 24 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。(○はいくつでも)

「特に困っていることはない」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「建物の老朽化」の割合が 11.5%となっています。



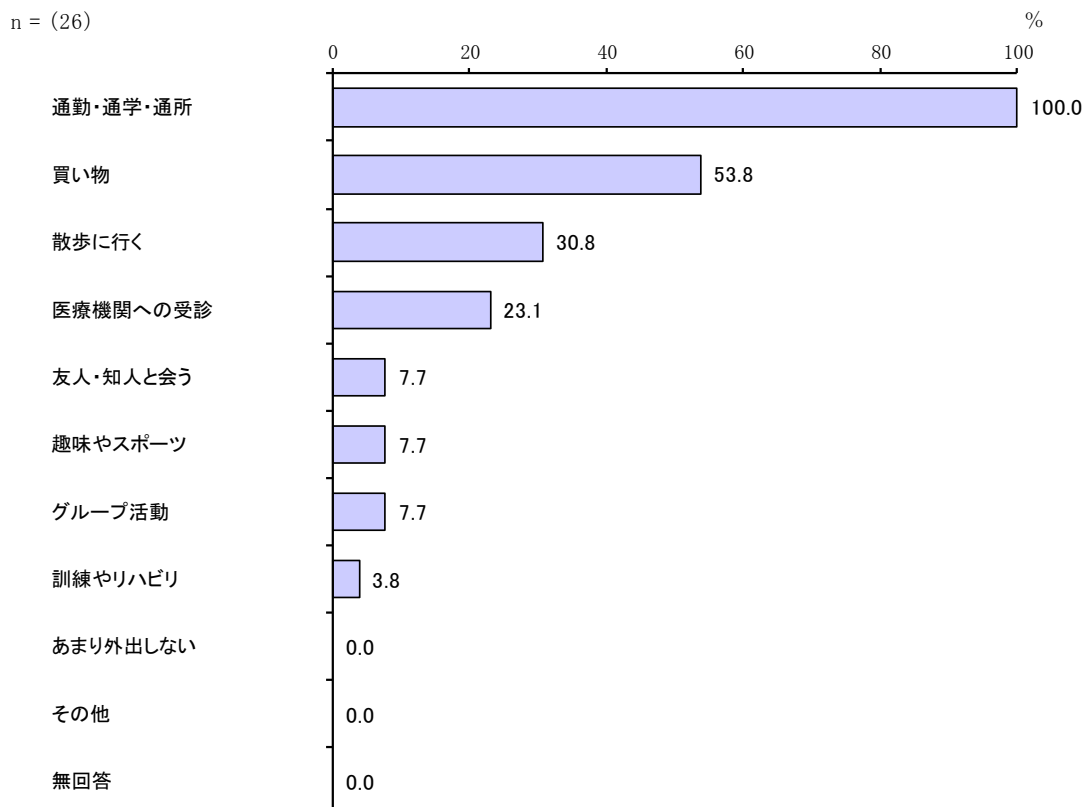
問 25 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

「週4日以上」の割合が96.2%と最も高くなっています。



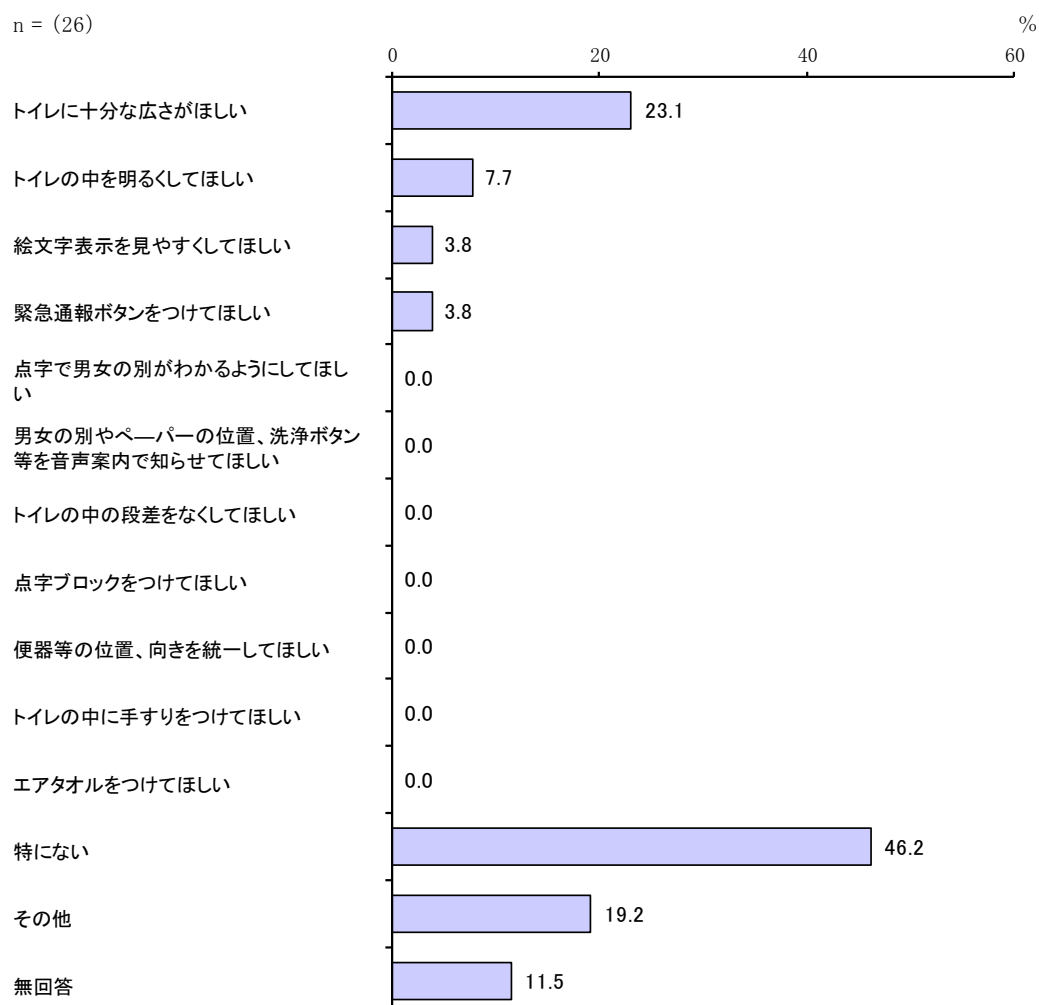
問 26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

「通勤・通学・通所」の割合が100.0%と最も高く、次いで「買い物」の割合が53.8%、「散歩に行く」の割合が30.8%となっています。



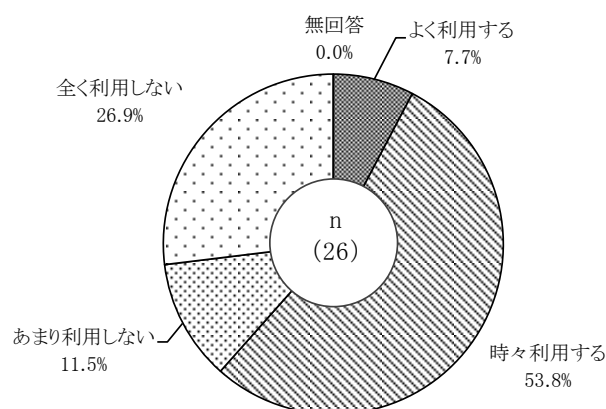
## 問 27 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

「特にない」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「トイレに十分な広さがほしい」の割合が 23.1%となっています。



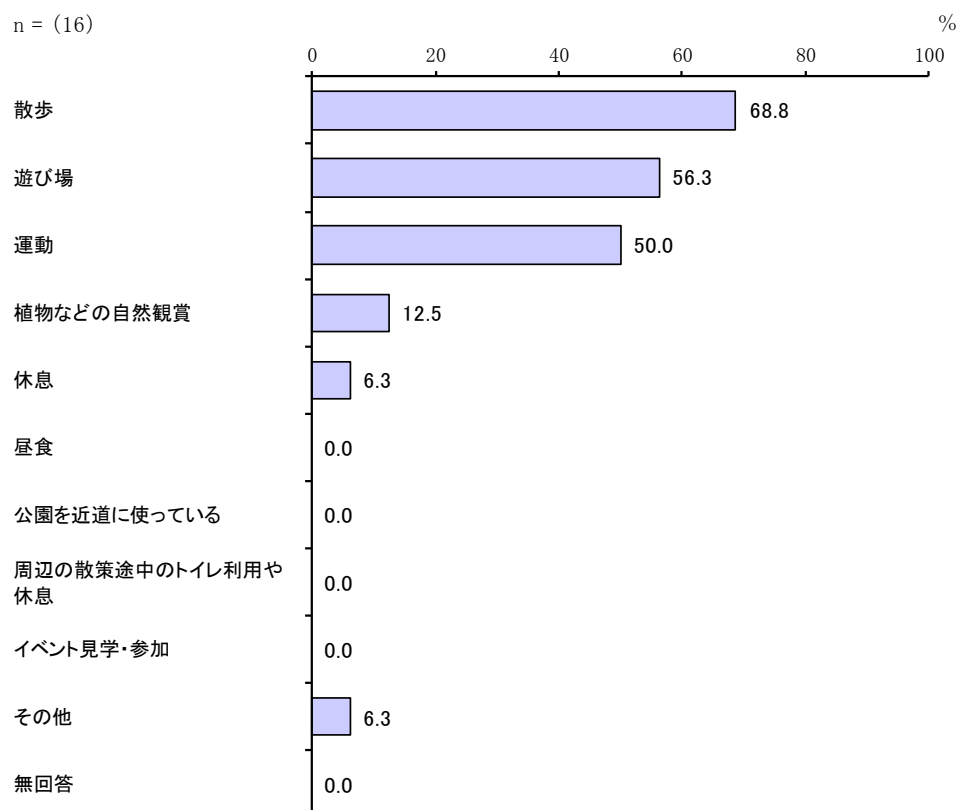
**問 28 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)**

「よく利用する」と「時々利用する」をあわせた“利用する”の割合が 61.5%、「あまり利用しない」と「全く利用しない」をあわせた“利用しない”の割合が 38.4%となっています。



**問 29 【問 28 で「よく利用する」または「時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)**

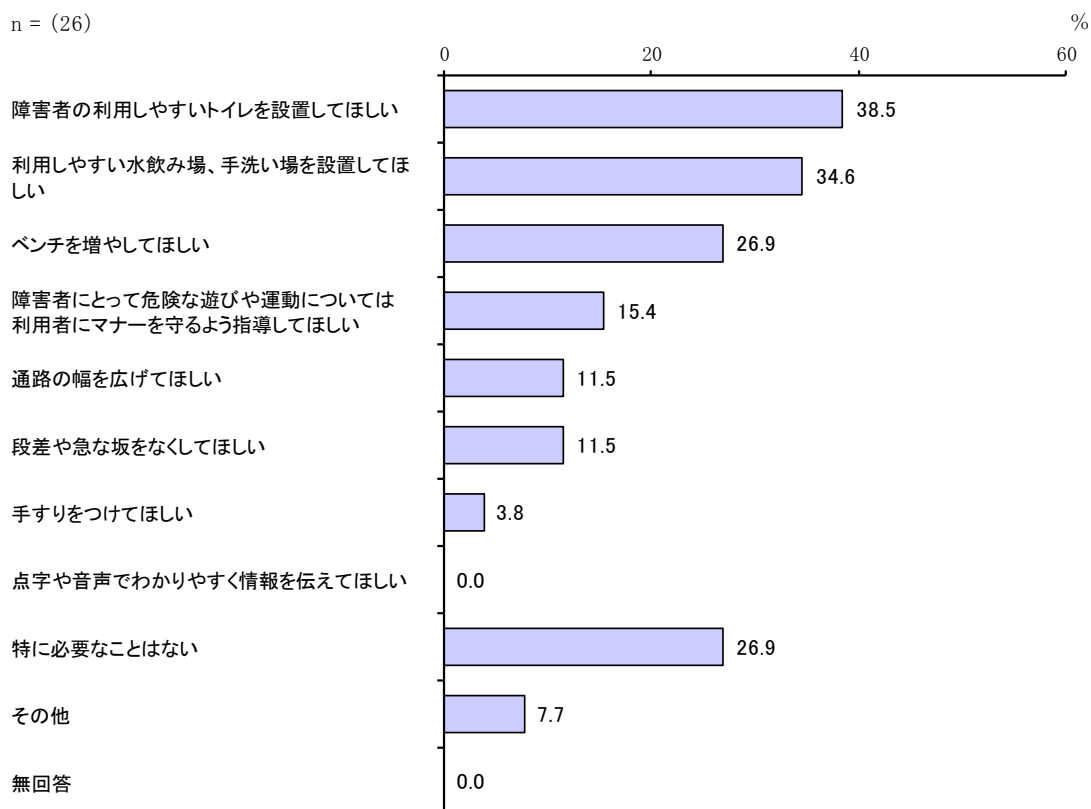
「散歩」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「遊び場」の割合が 56.3%、「運動」の割合が 50.0%となっています。



問 30 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい」の割合が 34.6%、「ベンチを増やしてほしい」、「特に必要なことはない」の割合が 26.9%となっています。

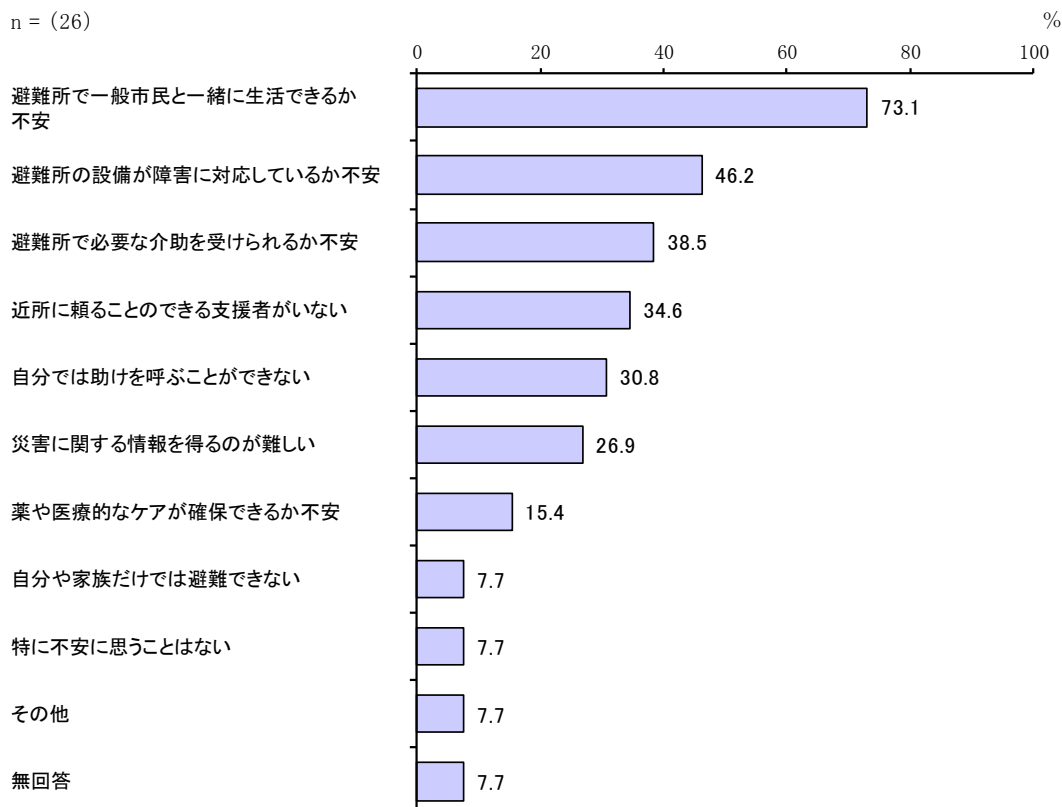
n = (26)



## (7) 災害対策について

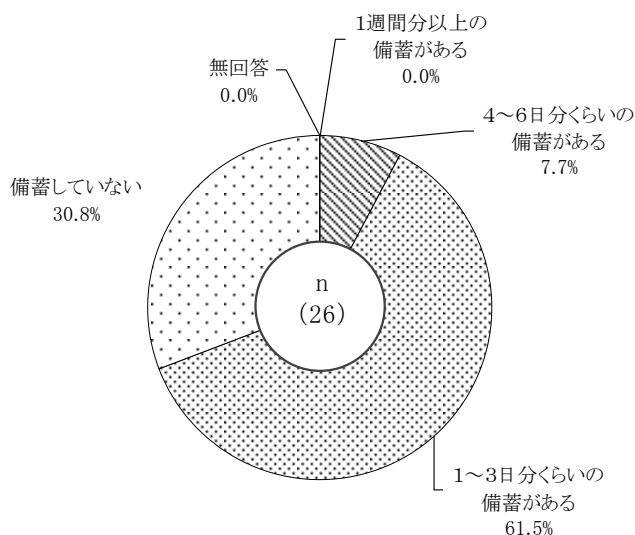
問 31 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「避難所の設備が障害に対応しているか不安」の割合が 46.2%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」の割合が 38.5%となっています。



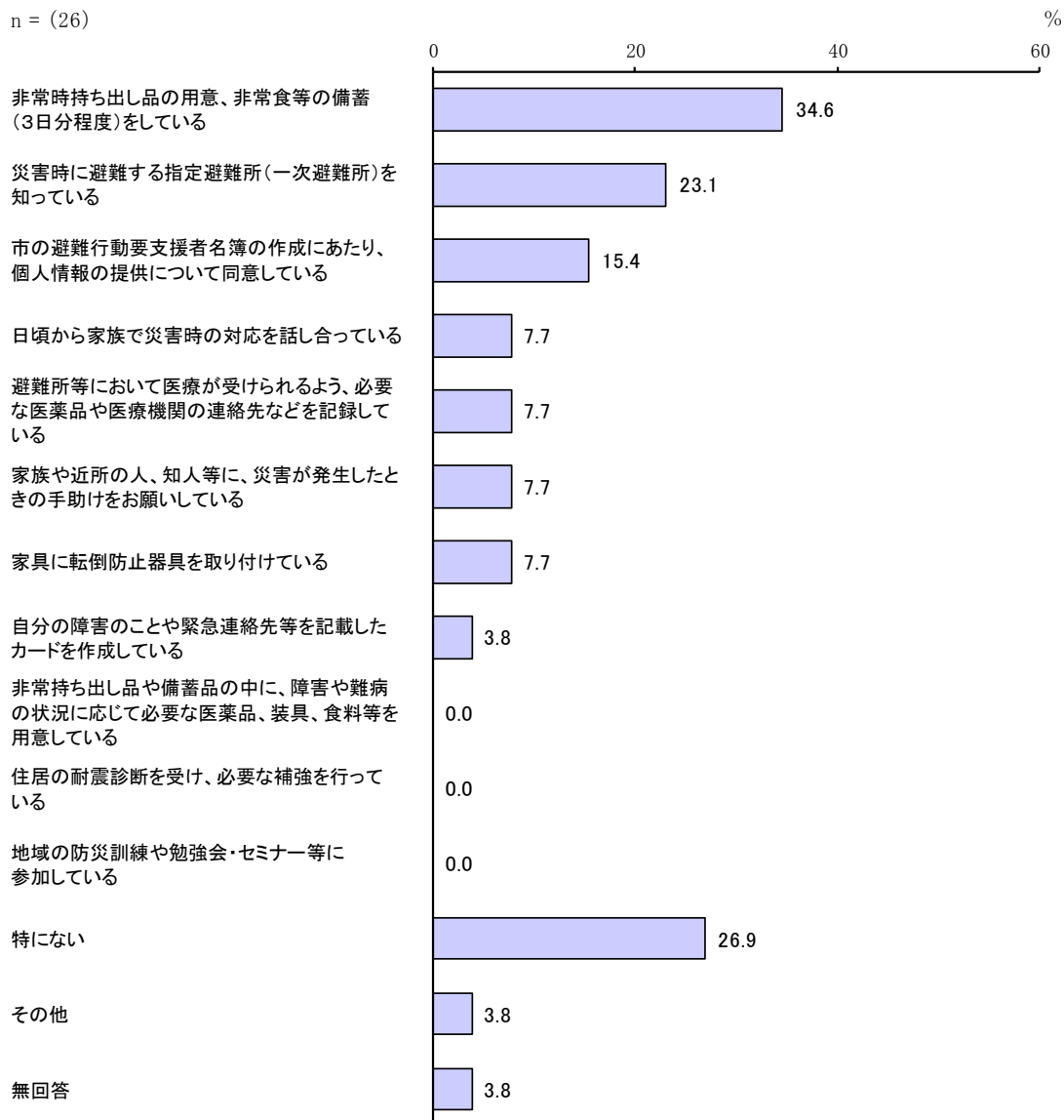
問 32 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（〇は1つ）

「1～3日分くらいの備蓄がある」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が 30.8%となっています。



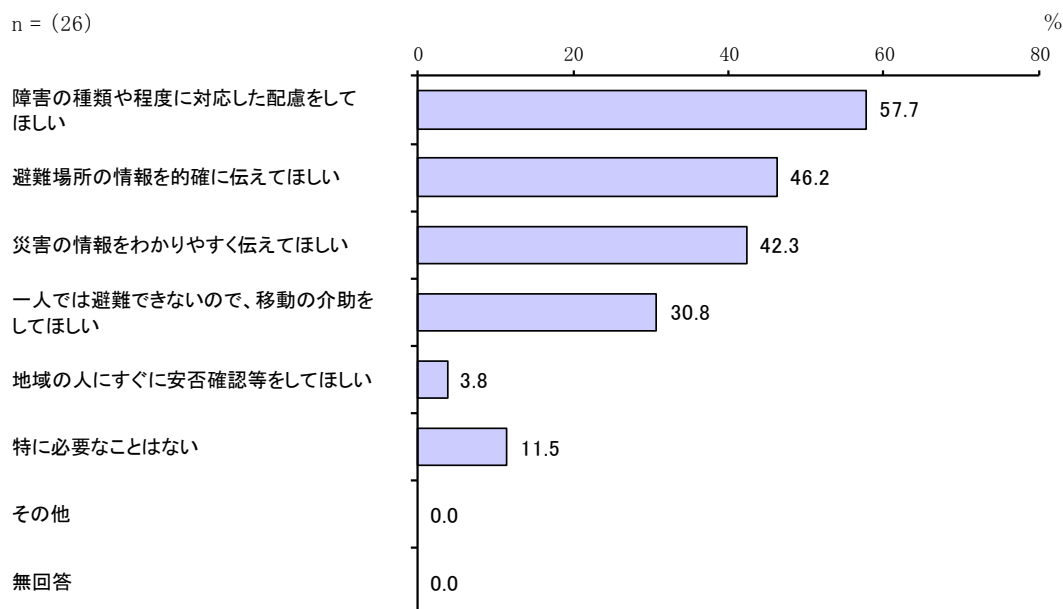
問 33 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 26.9%、「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」の割合が 23.1%となっています。



問 34 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。  
(〇はいくつでも)

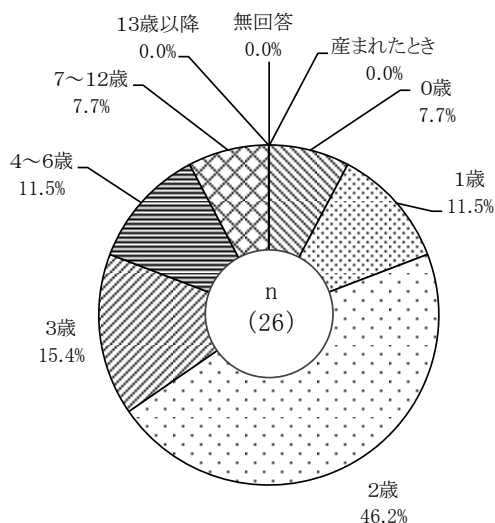
「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」の割合が 46.2%、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」の割合が 42.3%となっています。



## (8) 療育・保育について

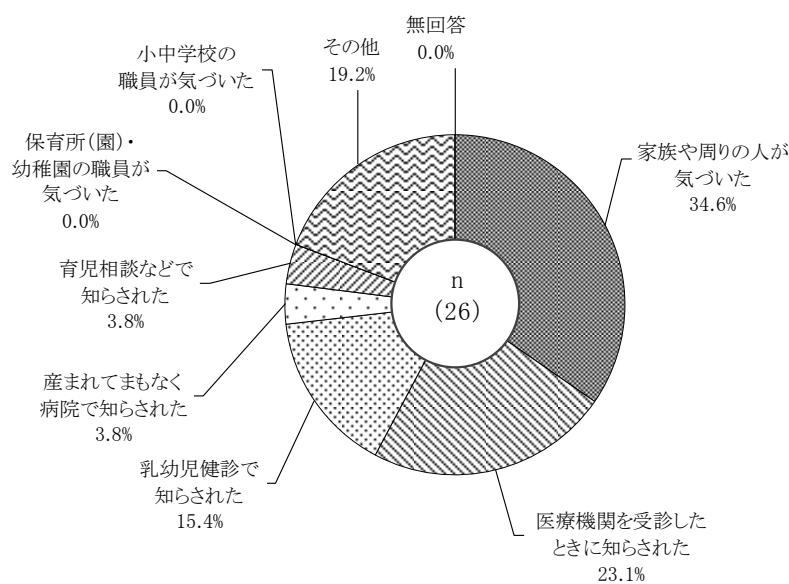
問 35 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。  
(○は1つ)

「2歳」の割合が46.2%と最も高く、次いで「3歳」の割合が15.4%、「1歳」、「4～6歳」の割合が11.5%となっています。



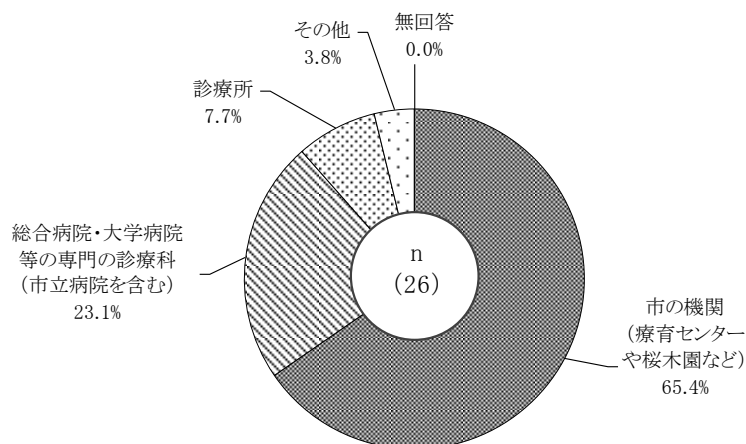
問 36 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

「家族や周りの人が気づいた」の割合が34.6%と最も高く、次いで「医療機関を受診したときに知らされた」の割合が23.1%、「乳幼児健診で知らされた」の割合が15.4%となっています。



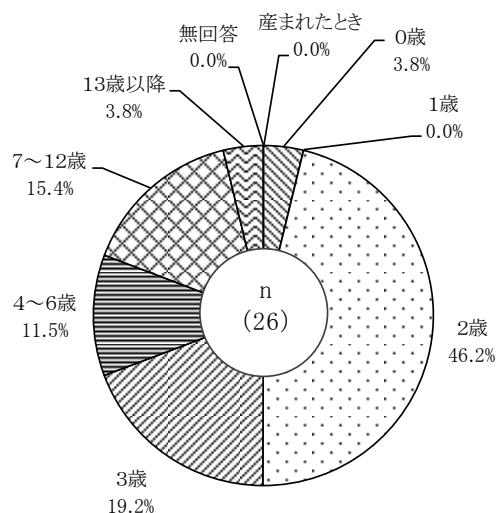
問 37 あなた（もしくはあて名のお子さん）が、障害の診断を受けた機関はどこですか。（○は1つ）

「市の機関（療育センターや桜木園など）」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「総合病院・大学病院等の専門の診療科（市立病院を含む）」の割合が 23.1%となっています。



問 38 あなた（もしくはあて名のお子さん）が、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。

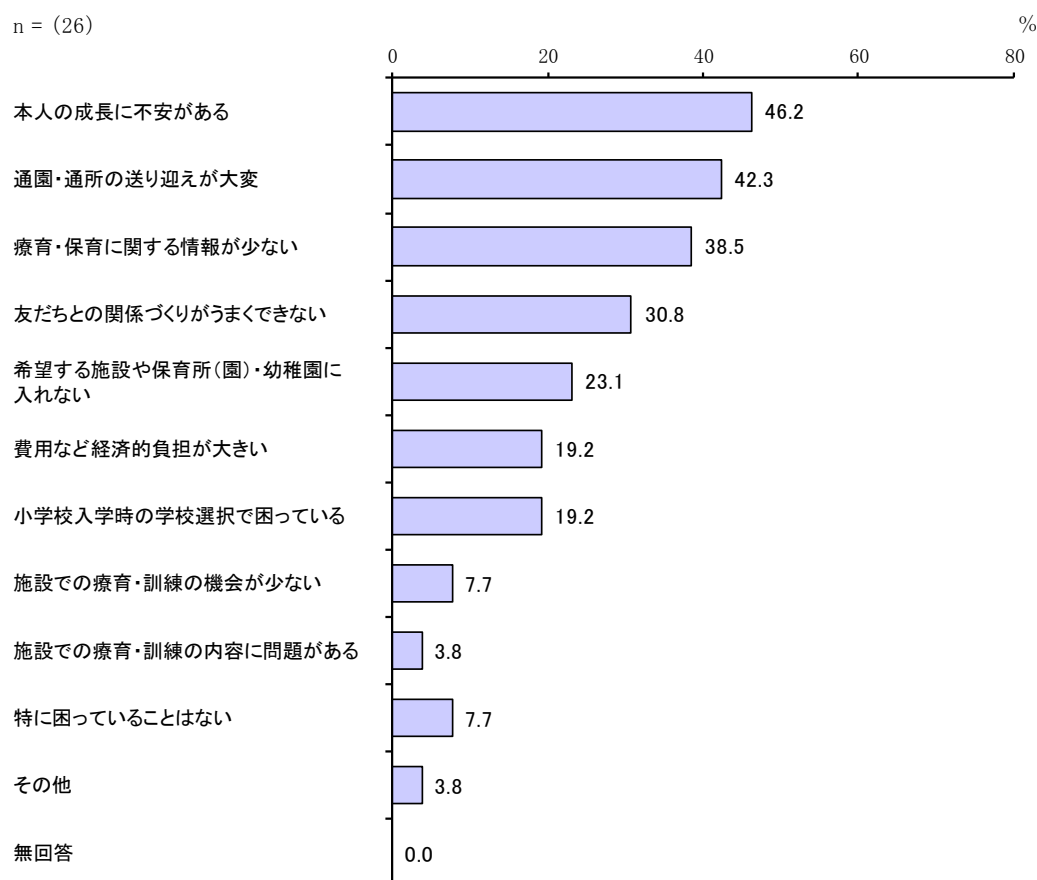
「2歳」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「3歳」の割合が 19.2%、「7～12歳」の割合が 15.4%となっています。



問 39 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている  
(または以前に困ったことがある) ことはありますか。(〇はいくつでも)

「本人の成長に不安がある」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「通園・通所の送り迎えが大変」の割合が 42.3%、「療育・保育に関する情報が少ない」の割合が 38.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「通園・通所の送り迎えが大変」、「希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない」の割合が増加し、「療育・保育に関する情報が少ない」、「友だちとの関係づくりがうまくできない」、「費用など経済的負担が大きい」、「小学校入学時の学校選択で困っている」、「施設での療育・訓練の機会が少ない」、「施設での療育・訓練の内容に問題がある」の割合が減少しています。



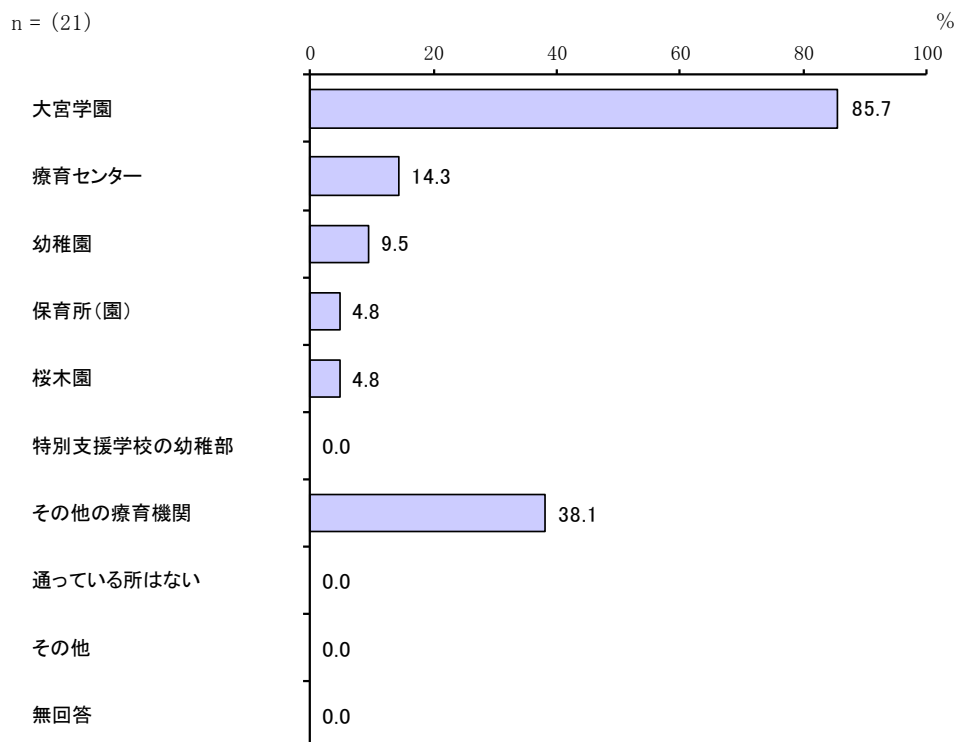
【平成 28 年度調査】

単位: %

	調査数	本人の成長に不安がある	通園・通所の送り迎えが大変	療育・保育に関する情報が少ない	友だちとの関係づくりがうまくできない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	特に困っていることはない	その他
全 体	120	50.0	35.3	44.1	70.6	14.7	35.3	26.5	47.1	8.8	2.9	14.7

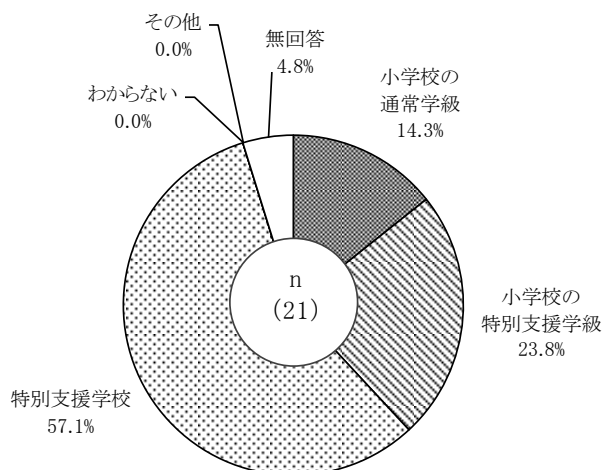
問 40 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】  
あなたが現在通っているところがありますか。（○はいくつでも）

「大宮学園」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「その他の療育機関」の割合が 38.1%、「療育センター」の割合が 14.3%となっています。



問 41 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】  
あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は1つ）

「特別支援学校」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「小学校の特別支援学級」の割合が 23.8%、「小学校の通常学級」の割合が 14.3%となっています。

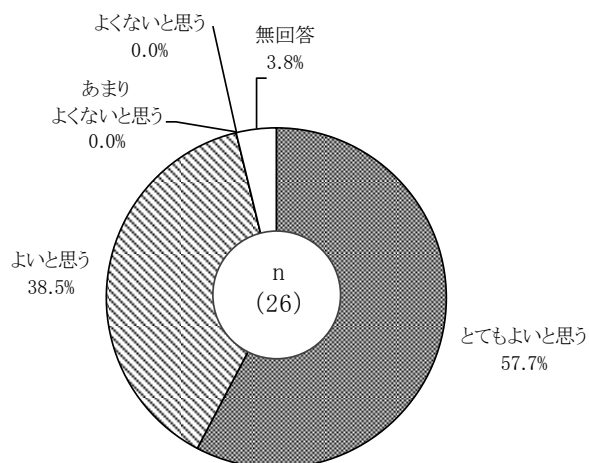


問 42 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。

(○は1つ)

「とてもよいと思う」と「よいと思う」をあわせた“よいと思う”の割合が 96.2%、「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」をあわせた“よくないと思う”の割合が 0.0%となっています。

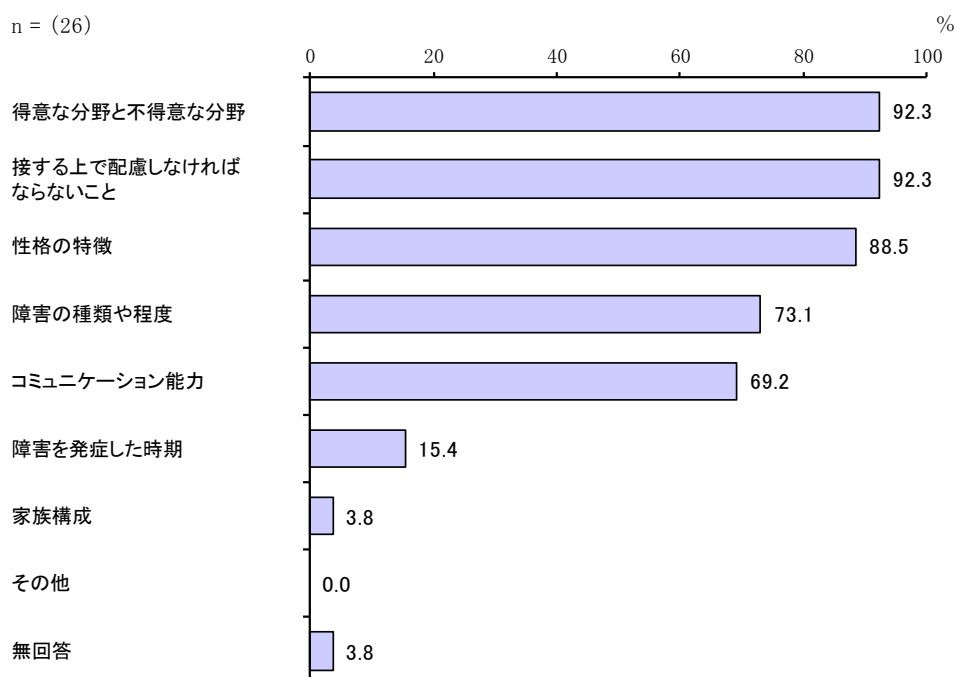


問 43 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。

(○はいくつでも)

「得意な分野と不得意な分野」、「接する上で配慮しなければならないこと」の割合が 92.3%と最も高く、次いで「性格の特徴」の割合が 88.5%となっています。



## (9) 学校・教育について

問 44 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。(○は1つ)

「高等学校」が3件、「通所施設などに通っている」が1件となっています。

問 45 あなた(や保護者・ご家族の方)は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

「学校卒業後の進路に不安がある」が4件、「通学の送迎が大変」が3件、「教育・療育に関する情報が少ない」、「教職員の指導・支援の仕方が心配」が2件となっています。

問 46 あなた(や保護者・ご家族の方)は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。(○はいくつでも)

「自宅で過ごしたい」が4件、「部活動などに参加したい」が2件、「地域の友だちと遊びたい」、「放課後等デイサービスを利用したい」が1件となっています。

問 47 【保護者の方におたずねします。】

小学校(初等部)から中学校(中等部)に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校(中等部)に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

「とてもよいと思う」が5件となっています。

問 48 【保護者の方におたずねします。】

小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

「障害の種類や程度」、「性格の特徴」、「得意な分野と不得意な分野」が5件となっています。

問 49 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。(○は1つ)

「高等学校」が5件となっています。

問 50 【保護者の方におたずねします。】

中学校(中学部)から高等学校(高等部)に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校(高等部)に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

「とてもよいと思う」が5件となっています。

問 51 【保護者の方におたずねします。】

中学校から高等学校(高等部)に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校(高等部)に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

「障害の種類や程度」、「性格の特徴」、「得意な分野と不得意な分野」、「接する上で配慮しなければならないこと」が5件となっています。

問 52 あなたは、高等学校(高等部)卒業後、どのような進路を希望していますか。  
(○は1つ)

「わからない」が2件となっています。「企業等に就職したい」、「大学・短大に進学したい」、「障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい」が1件となっています。

## (10) 日中活動・就労について

問 53 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。  
(最もあてはまる番号 1 つだけ○)

有効回答がありませんでした。

問 54 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

有効回答がありませんでした。

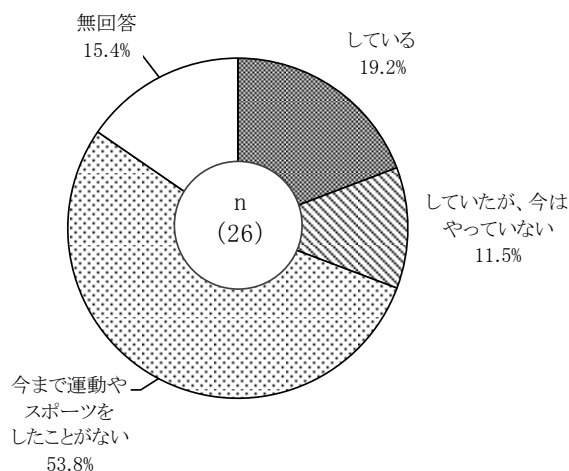
問 55 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

有効回答がありませんでした。

## (11) 運動やスポーツについて

問 56 あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「している」の割合が 19.2%、「していたが、今はやっていない」の割合が 11.5%となっています。



問 57 【問 56 で「している」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

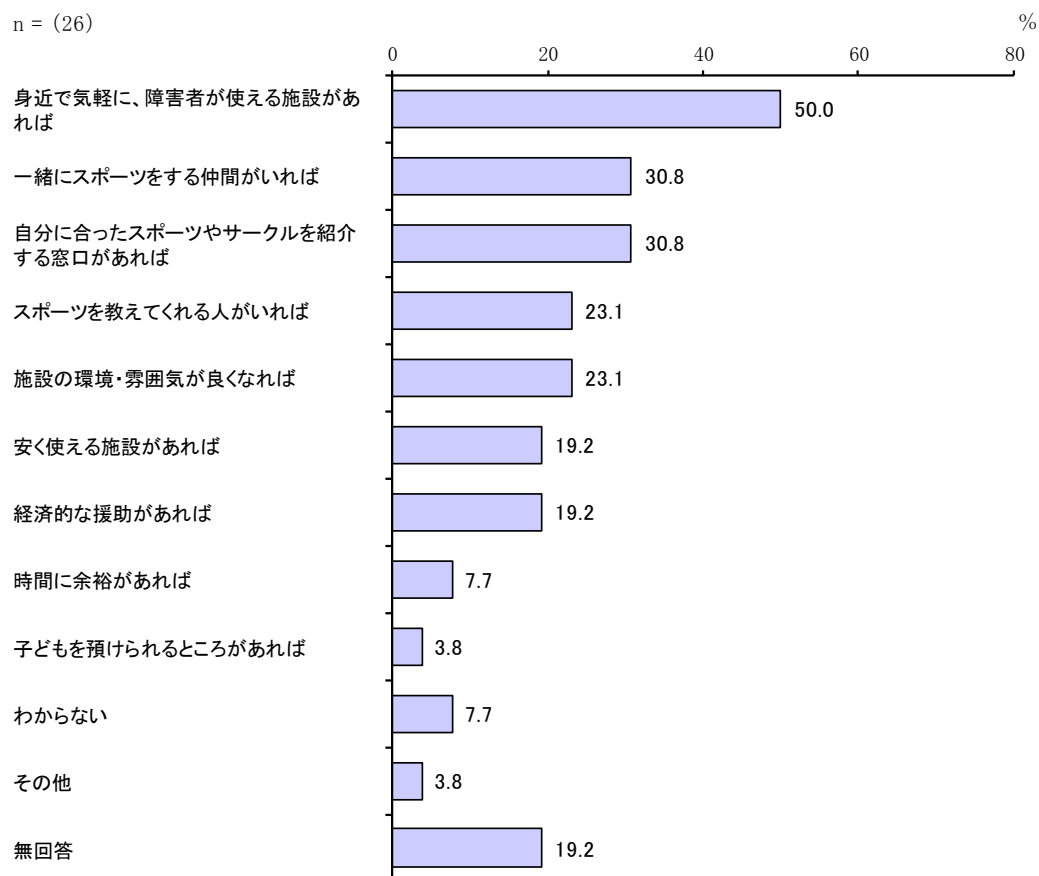
「週に 3 回以上」が 3 件となっています。「週に 1～2 回」、「月に 1～3 回」が 1 件となっています。

問 58 【問 56 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「水泳」が 4 件となっています。「ウォーキング」が 3 件、「ダンス」が 2 件となっています。

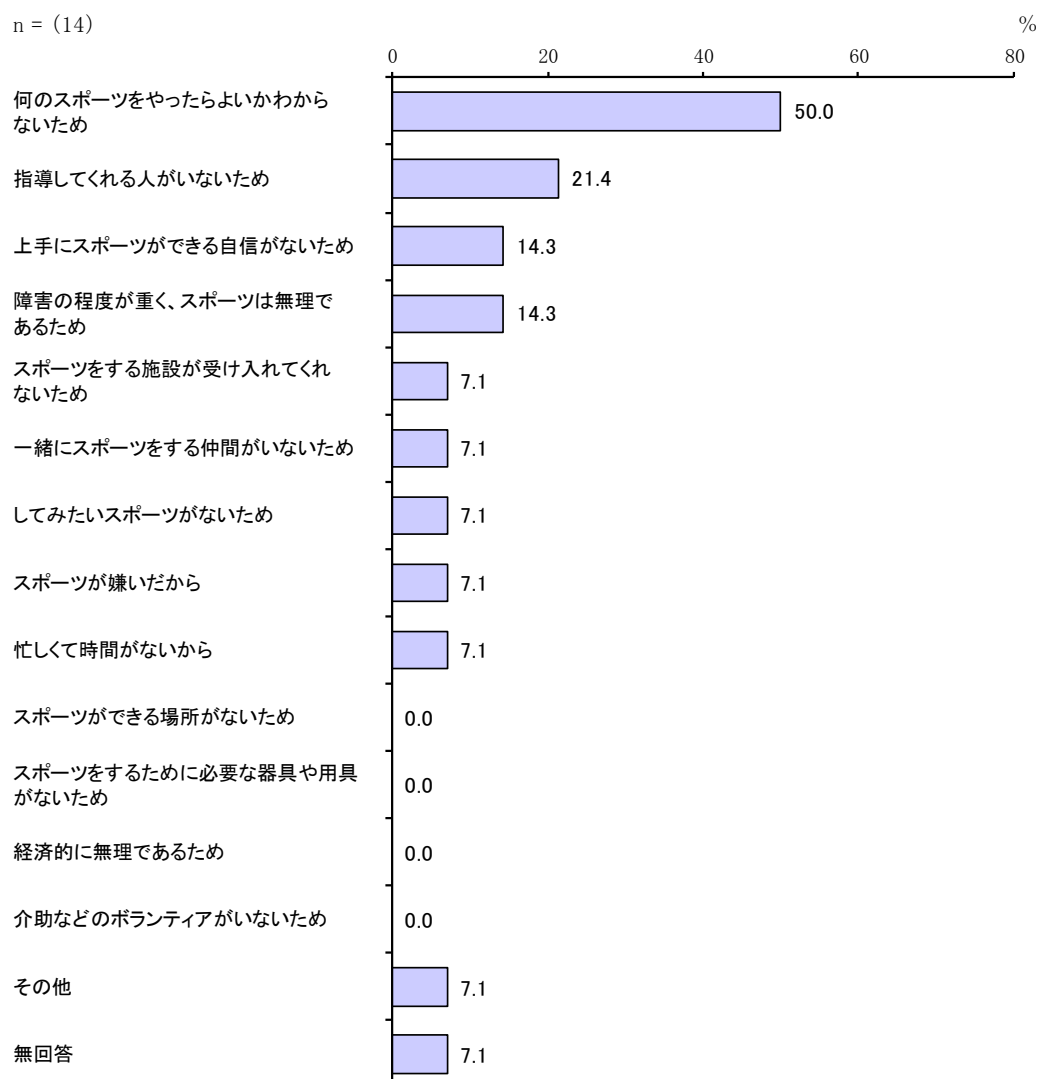
問 59 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようなになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをする仲間がいれば」、「自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば」の割合が 30.8%となっています。



問 60 【問 56 で「今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたがスポーツをしない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

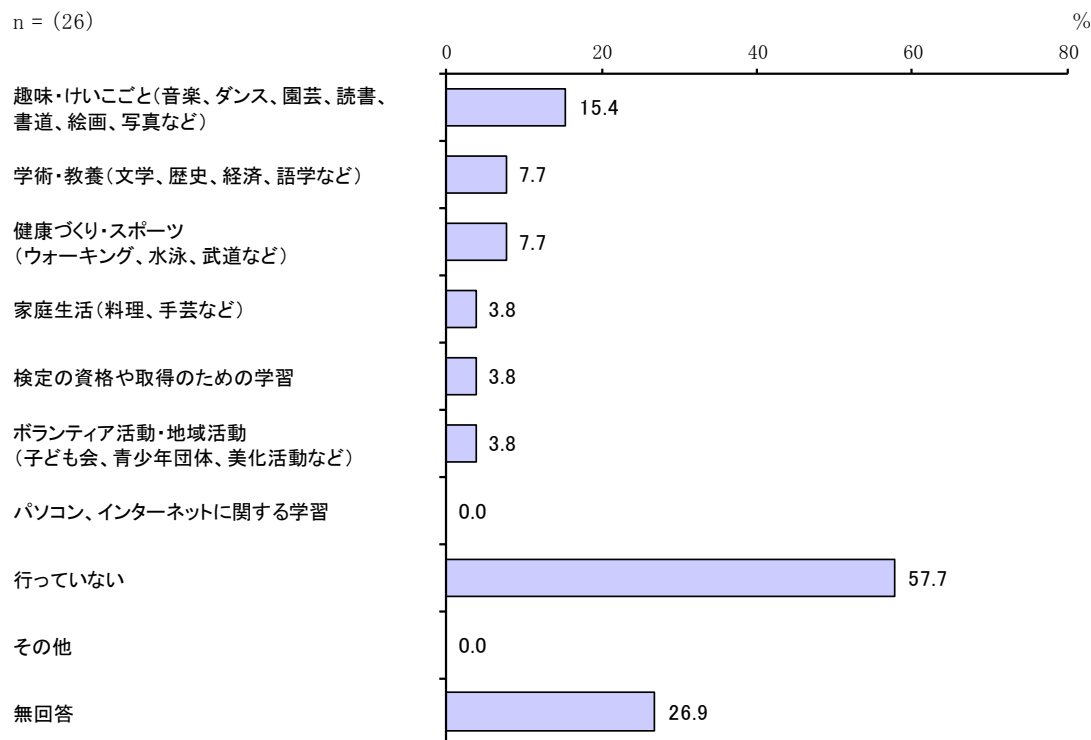
「何のスポーツをやったらよいかわからないため」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「指導してくれる人がいないため」の割合が 21.4%、「上手にスポーツができる自信がないため」、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」の割合が 14.3%となっています。



## (12) 趣味や教養などの生涯学習活動について

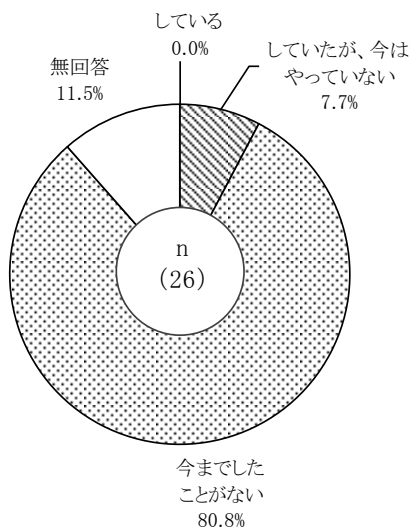
問 61 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたが行っている（行っていた）活動は何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

「行っていない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「趣味・けいごと（音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など）」の割合が 15.4%となっています。



問 62 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。  
（学校に通っている方は、学校の授業を除く）

「今までしたことがない」の割合が 80.8%と最も高くなっています。



問 63 【問 62 で「している」と回答した方におたずねします。】

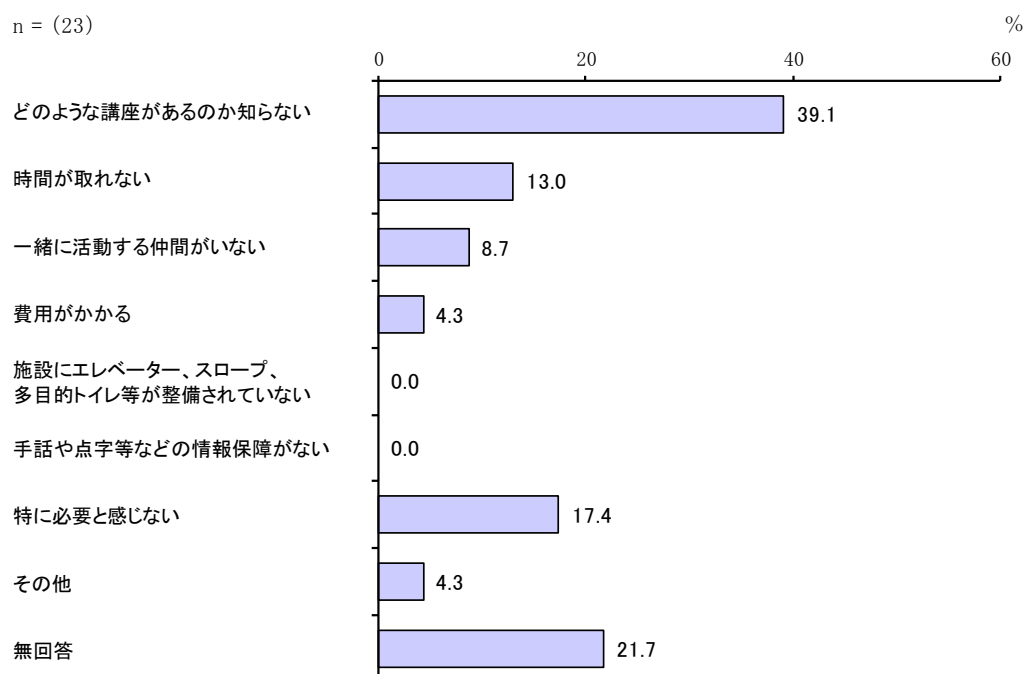
あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。

有効回答がありませんでした。

問 64 【問 62 で「2. していたが今はやっていない」または「3. 今までしたことがない」と回答した方におたずねします。

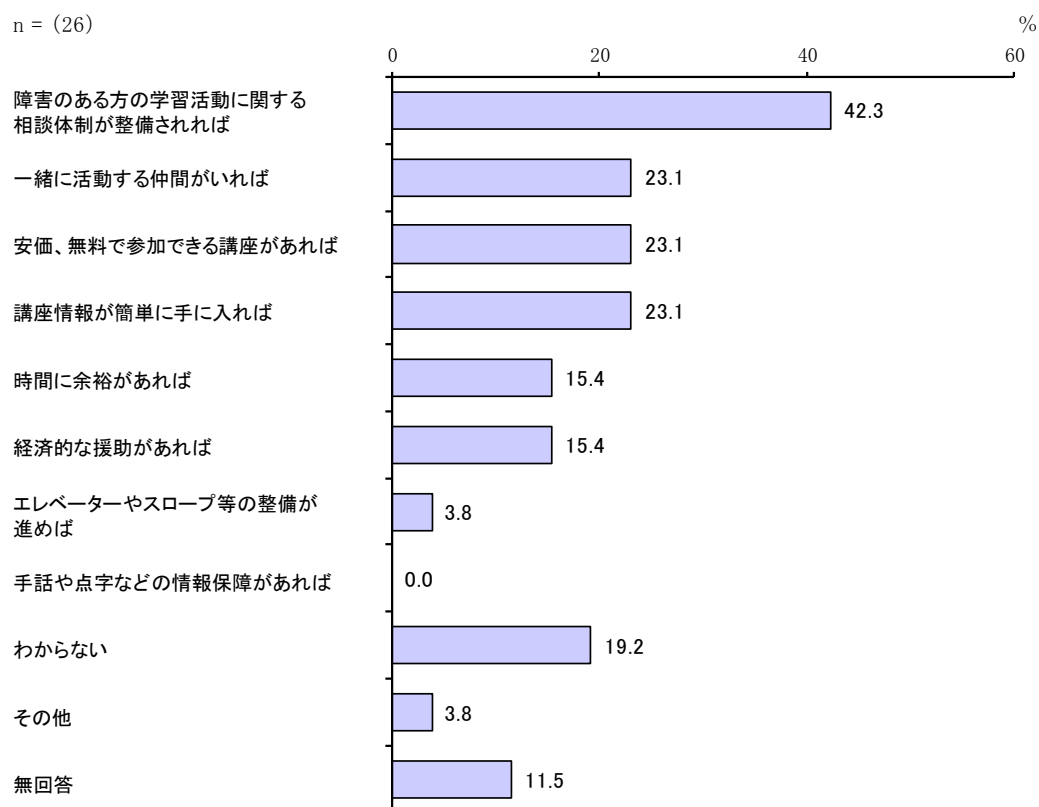
あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

「どのような講座があるのか知らない」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「特に必要と感  
じない」の割合が 17.4%、「時間が取れない」の割合が 13.0%となっています。



問 65 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

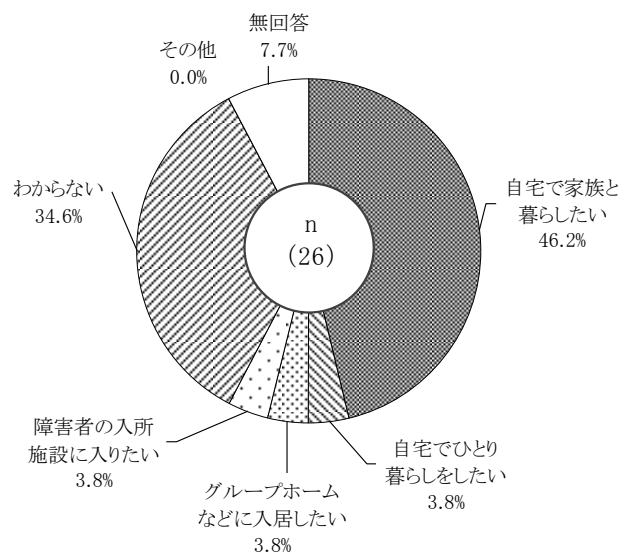
「障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「一緒に活動する仲間がいれば」、「安価、無料で参加できる講座があれば」、「講座情報が簡単に手に入れば」の割合が 23.1%となっています。



### (13) 将来について

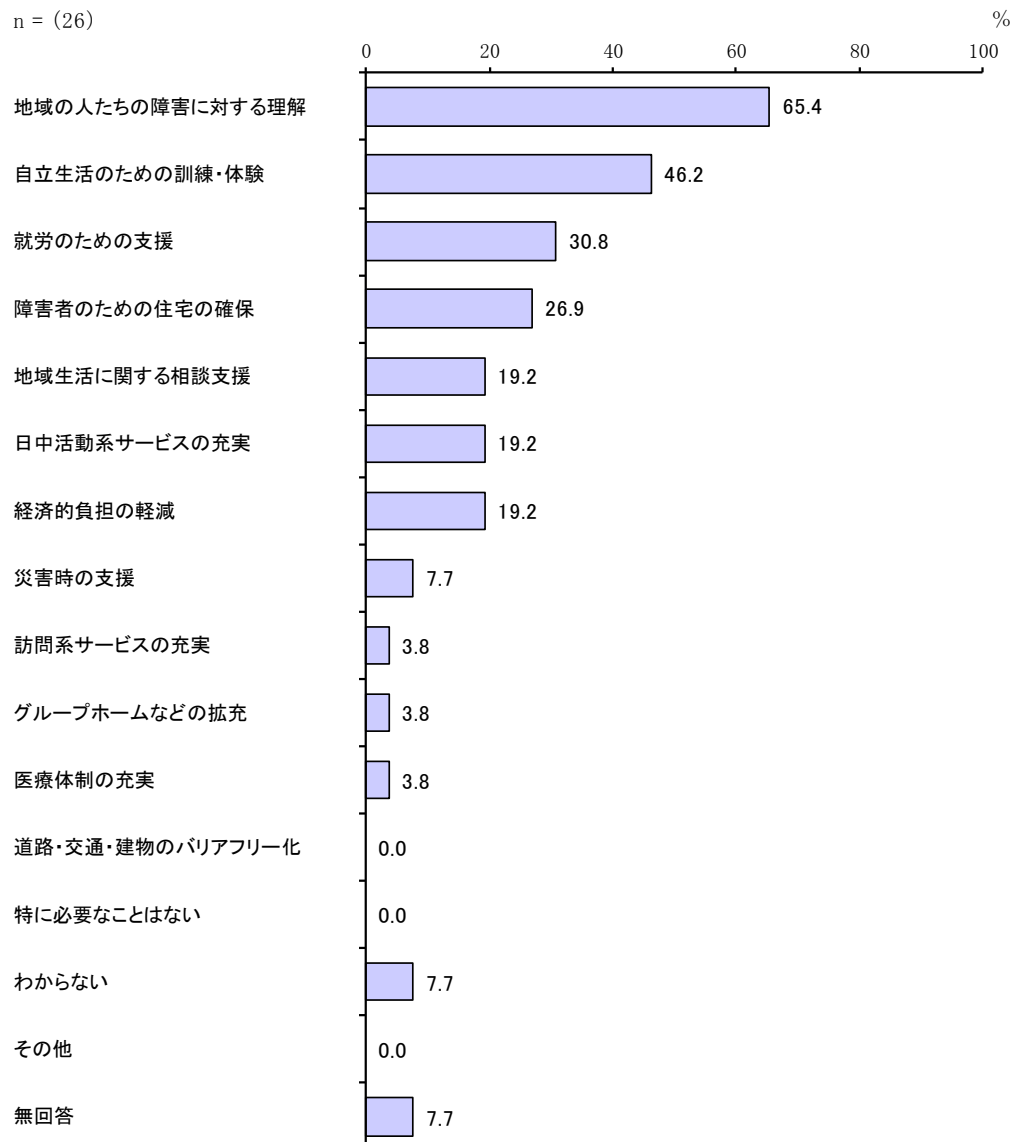
問 66 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

「自宅で家族と暮らしたい」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 34.6%となっています。



問 67 あなた（や保護者・ご家族の方）は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（○は3つまで）

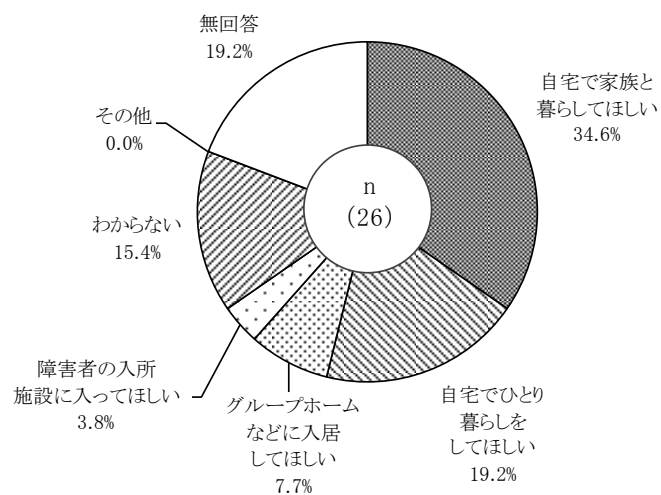
「地域の人たちの障害に対する理解」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「自立生活のための訓練・体験」の割合が 46.2%、「就労のための支援」の割合が 30.8%となっています。



問 68 【主な介助者の方におたずねします。】

今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

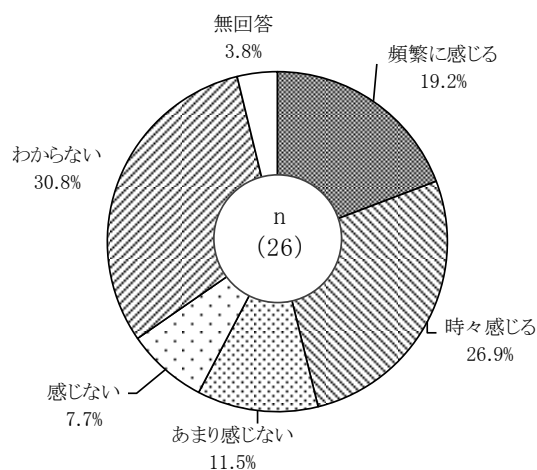
「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が34.6%と最も高く、次いで「自宅でひとり暮らしをほしい」の割合が19.2%、「わからない」の割合が15.4%となっています。



## (14) 障害のある人に対する理解度

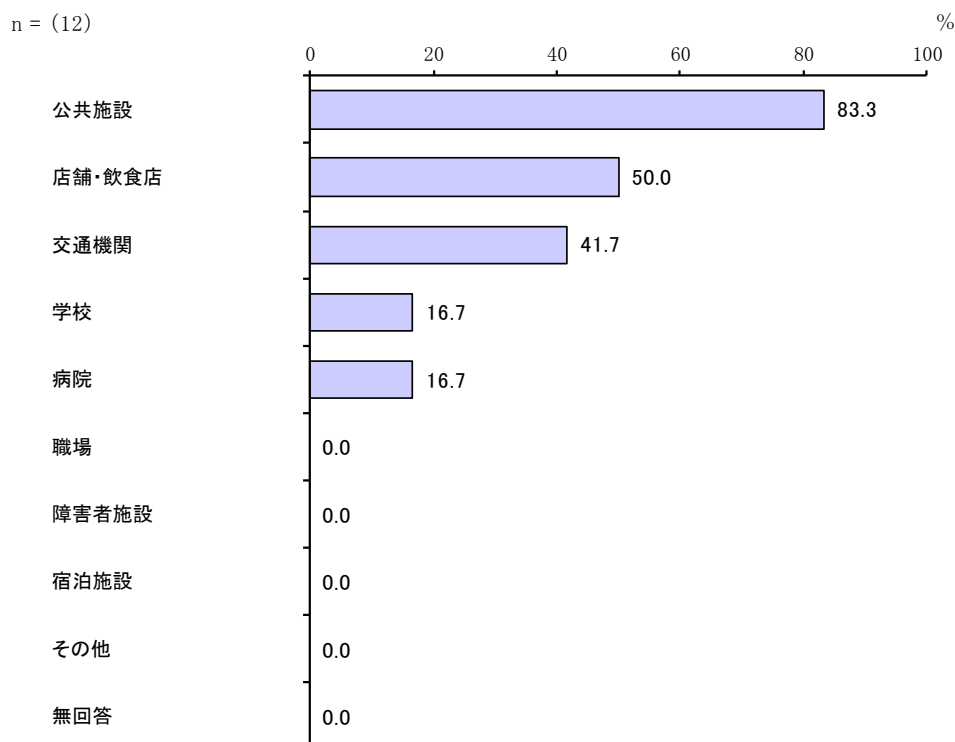
問 69 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることはありませんか。(○は1つ)

「頻繁に感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が46.1%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が19.2%となっています。



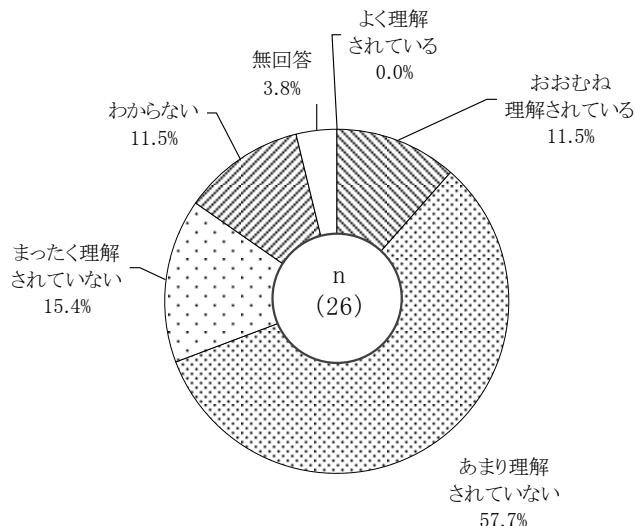
問 70 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。(○はいくつでも)

「公共施設」の割合が83.3%と最も高く、次いで「店舗・飲食店」の割合が50.0%、「交通機関」の割合が41.7%となっています。



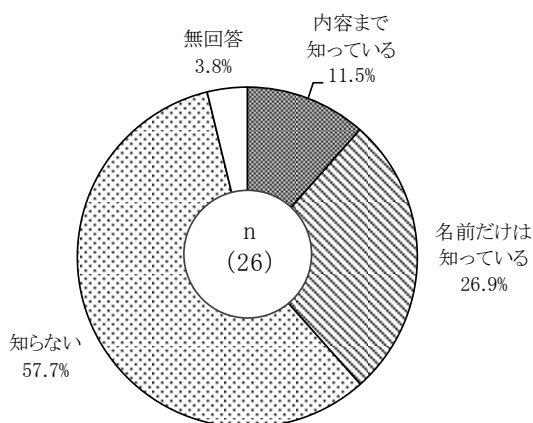
問 71 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は1つ)

「よく理解されている」と「おおむね理解されている」をあわせた“理解されている”の割合が 11.5%、「あまり理解されていない」と「まったく理解されていない」をあわせた“理解されていない”の割合が 73.1%となっています。



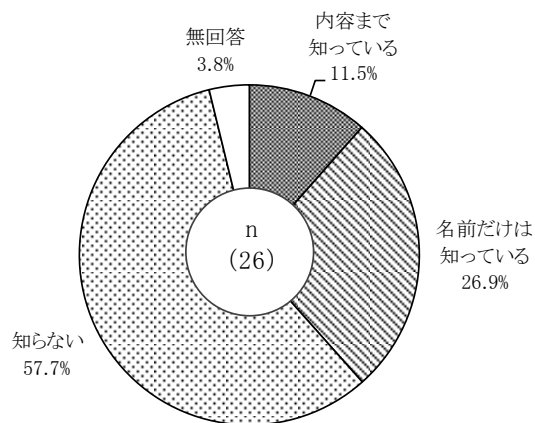
問 72 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(〇は1つ)

「知らない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 26.9%、「内容まで知っている」の割合が 11.5%となっています。



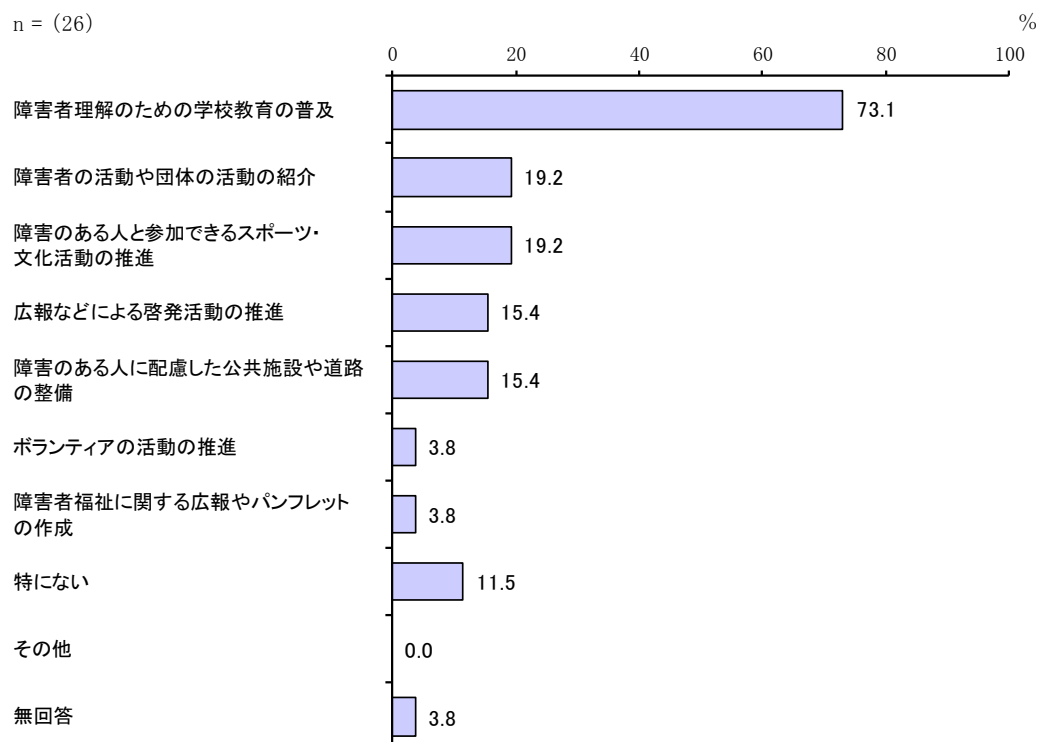
問 73 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成 24 年 10 月 1 日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 26.9%、「内容まで知っている」の割合が 11.5%となっています。



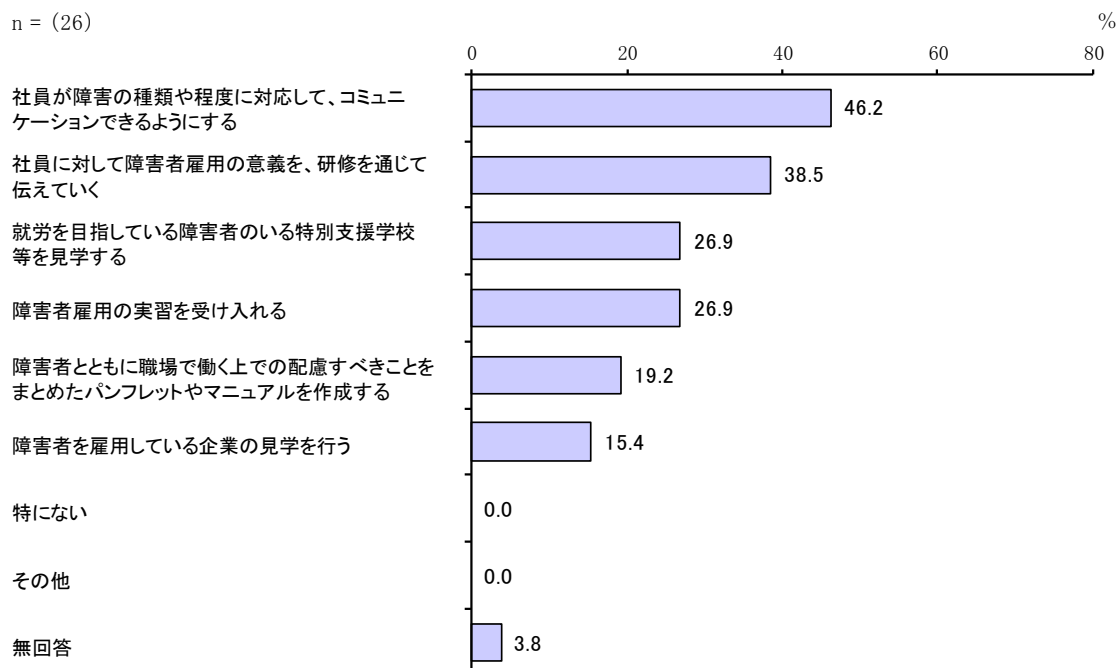
問 74 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(○は 2 つまで)

「障害者理解のための学校教育の普及」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「障害者の活動や団体の活動の紹介」、「障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進」の割合が 19.2%となっています。



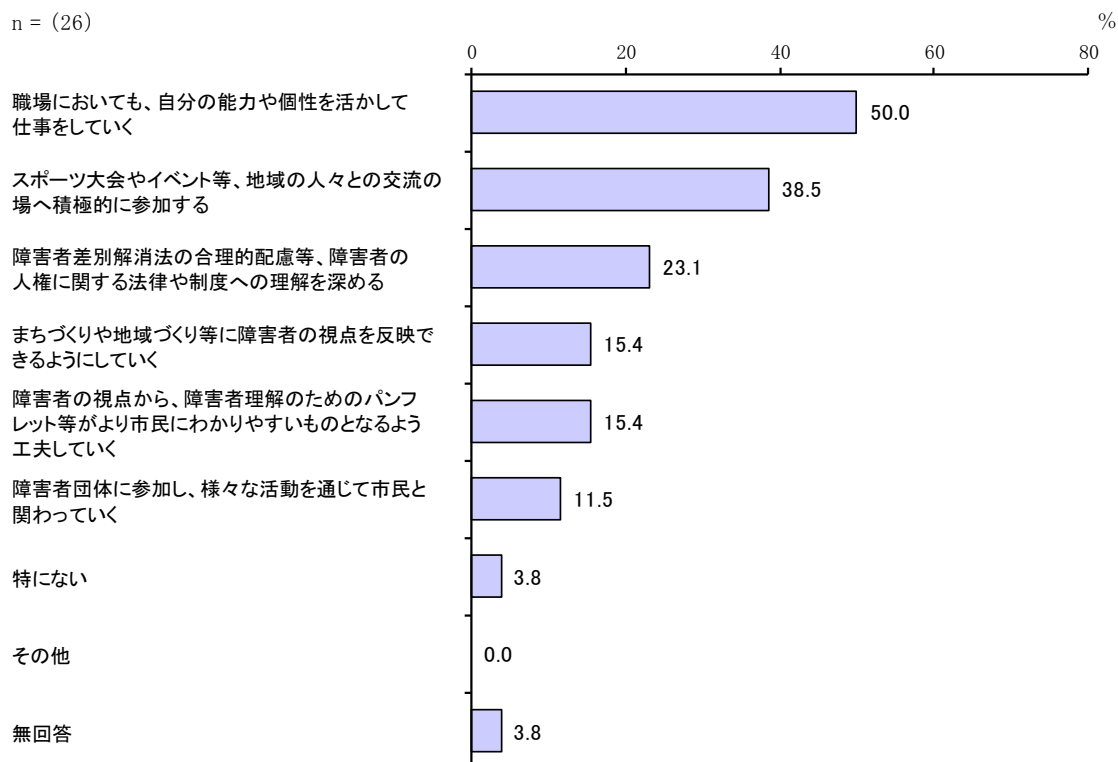
**問 75 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでももらいたいですか。（○は2つまで）**

「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」の割合が46.2%と最も高く、次いで「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」の割合が38.5%、「就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する」、「障害者雇用の実習を受け入れる」の割合が26.9%となっています。



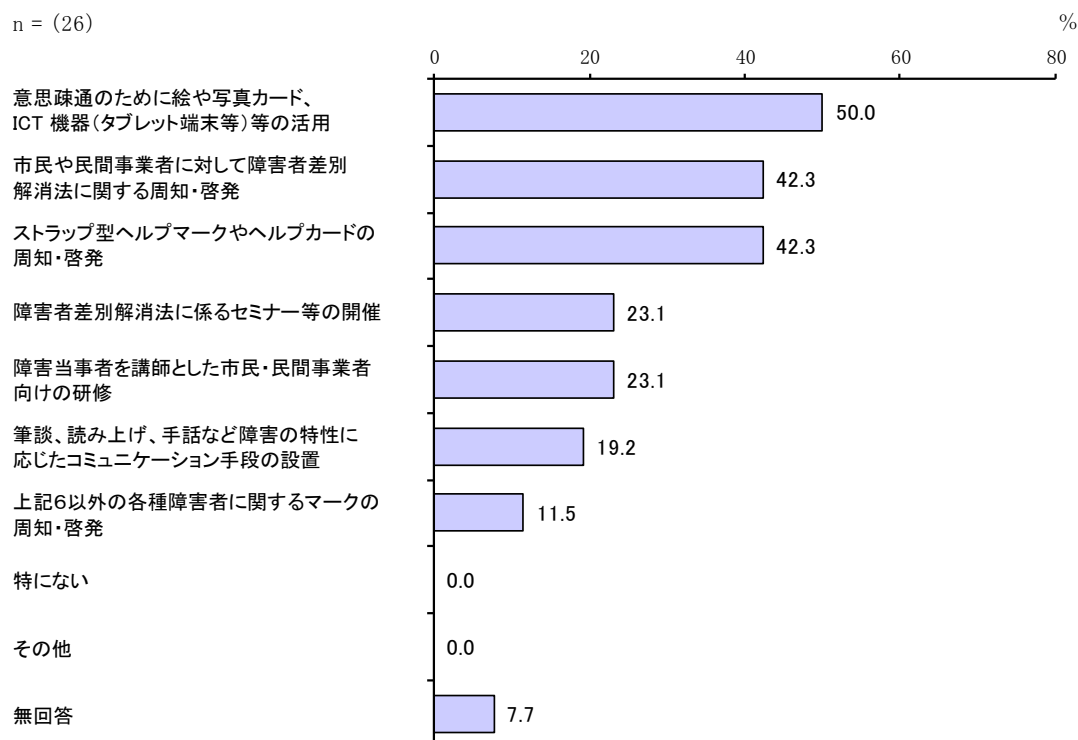
**問 76 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)**

「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」の割合が 38.5%、「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」の割合が 23.1%となっています。



問 77 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。（〇は3つまで）

「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が50.0%と最も高く、次いで「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」、「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」の割合が42.3%となっています。

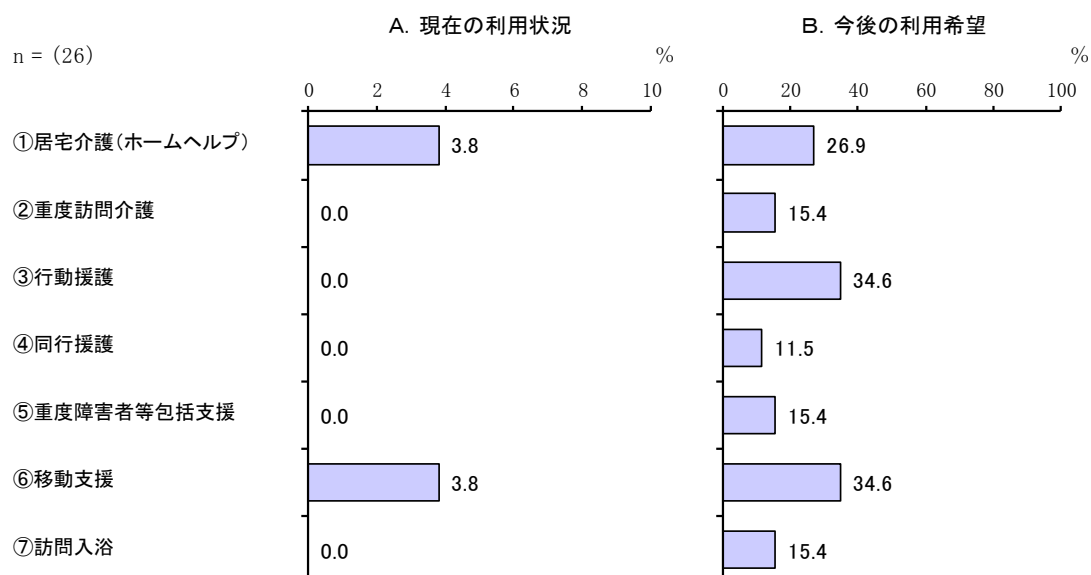


## (15) サービス利用について

問 78 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①居宅介護（ホームヘルプ）」、「⑥移動支援」の割合が 3.8%と最も高くなっています。

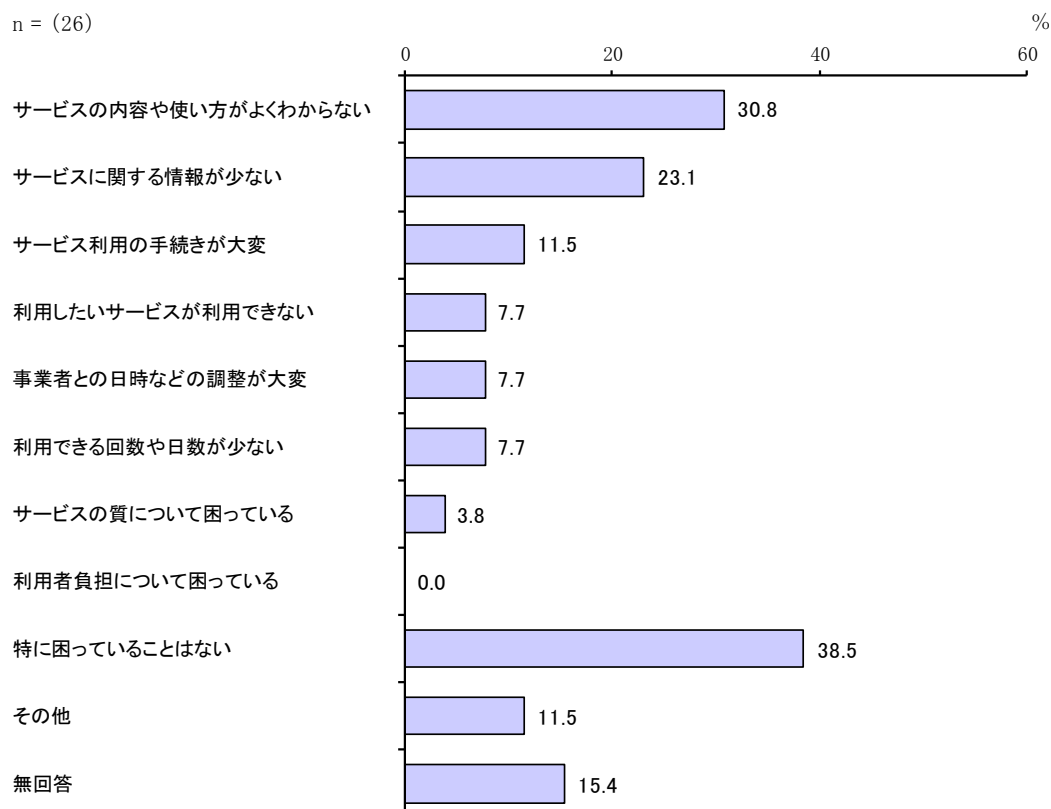
今後の利用希望については、「③行動援護」、「⑥移動支援」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「①居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が 26.9%となっています。



※令和元年度調査の「⑥移動支援」、「⑦訪問入浴」は平成 28 年度調査では、問 83 に含まれていた選択肢です。

問 79 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

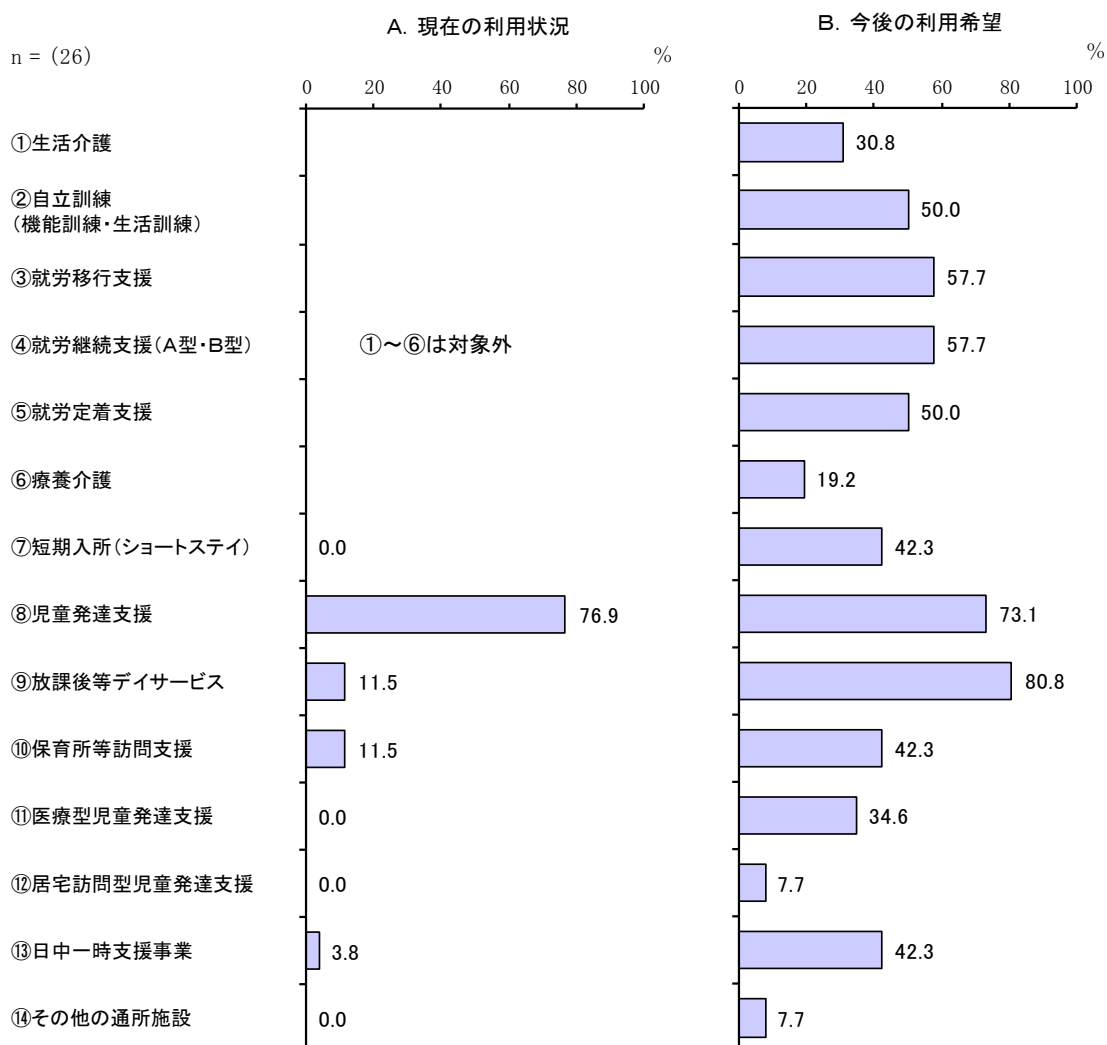
「特に困っていることはない」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「サービスの内容や使い方がよくわからない」の割合が 30.8%、「サービスに関する情報が少ない」の割合が 23.1%となっています。



問 80 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑭のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「⑧児童発達支援」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「⑨放課後等デイサービス」、「⑩保育所等訪問支援」の割合が 11.5%となっています。

今後の利用希望については、「⑨放課後等デイサービス」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「⑧児童発達支援」の割合が 73.1%、「③就労移行支援」、「④就労継続支援（A型・B型）」の割合が 57.7%となっています。

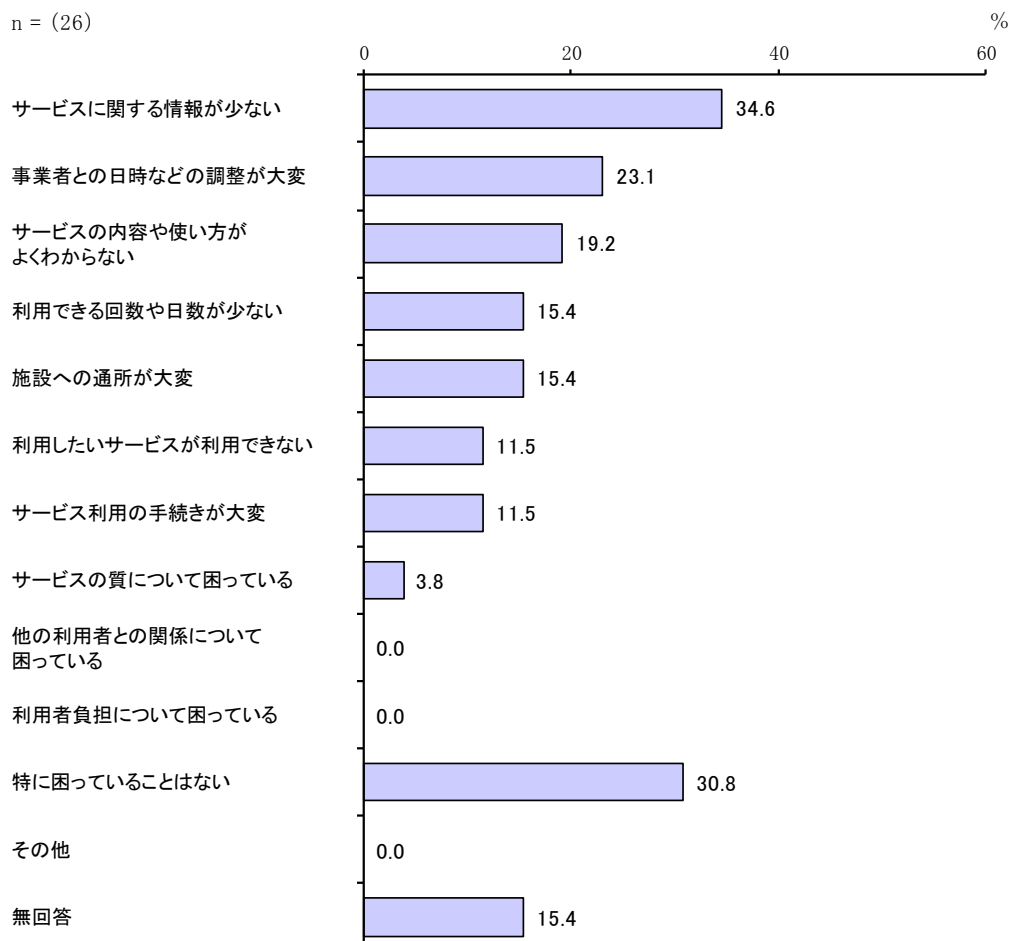


※令和元年度調査の「⑤就労定着支援」は新たに追加された選択肢です。

「⑧日中一時支援事業」は平成 28 年度調査では、問 83 に含まれていた選択肢です。

問 81 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

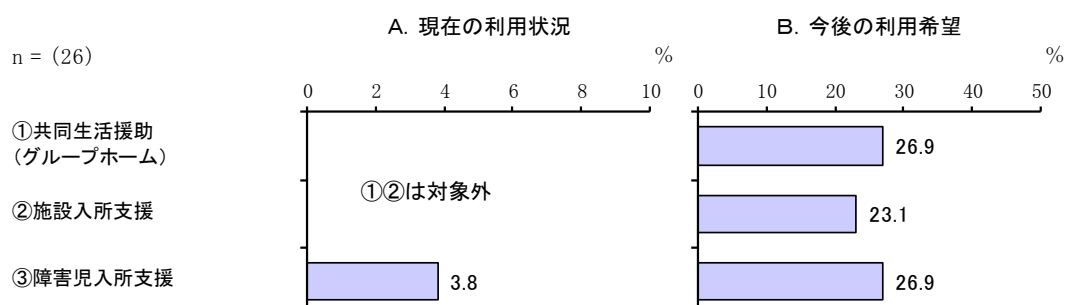
「サービスに関する情報が少ない」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 30.8%、「事業者との日時などの調整が大変」の割合が 23.1%となっています。



問 82 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいとお考えですか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「③障害児入所支援」の割合が3.8%と最も高くなっています。

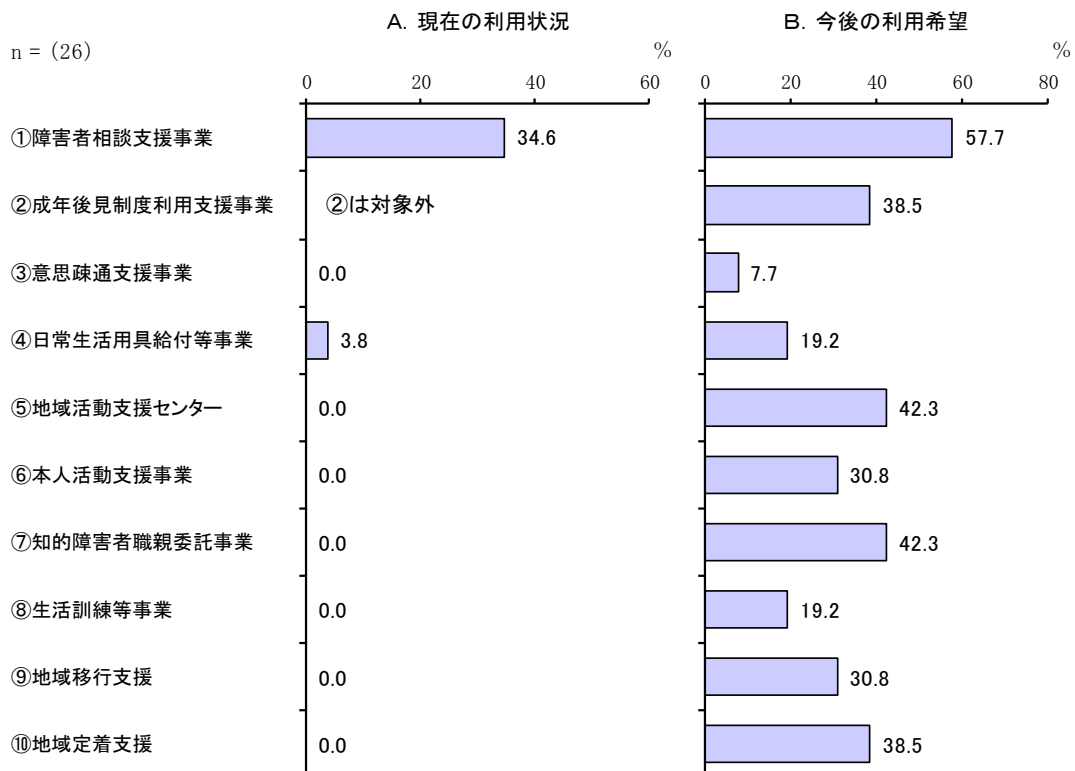
今後の利用希望については、「①共同生活援助（グループホーム）」、「③障害児入所支援」の割合が26.9%と最も高く、次いで「②施設入所支援」の割合が23.1%となっています。



問 83 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいとお考えですか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

現在の利用状況については、「①障害者相談支援事業」の割合が 34.6%と最も高くなっています。

今後の利用希望については、「①障害者相談支援事業」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「⑤地域活動支援センター」、「⑦知的障害者職親委託事業」の割合が 42.3%となっています。



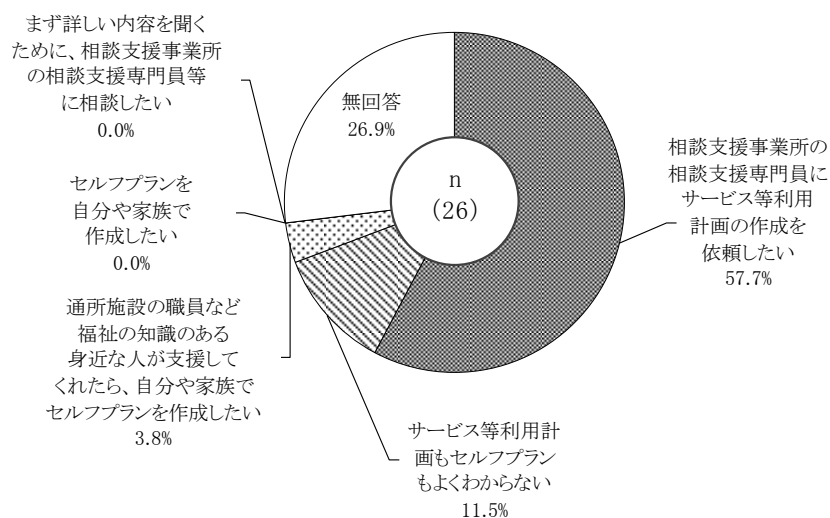
※令和元年度調査の「①障害者相談支援事業」は平成 28 年度調査では「①相談支援事業」でした。令和元年度調査の「⑨地域移行支援」、「⑩地域定着支援」は新たに追加された選択肢です。  
平成 28 年度調査の「⑤移動支援事業」、「⑧訪問入浴サービス事業」、「⑪日中一時支援事業」は令和元年度調査では、それぞれ、問 78 及び問 81 に選択肢を移しました。

問 84 【問 78, 80, 82, 83 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用を  
したい方におたずねします。】

サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。

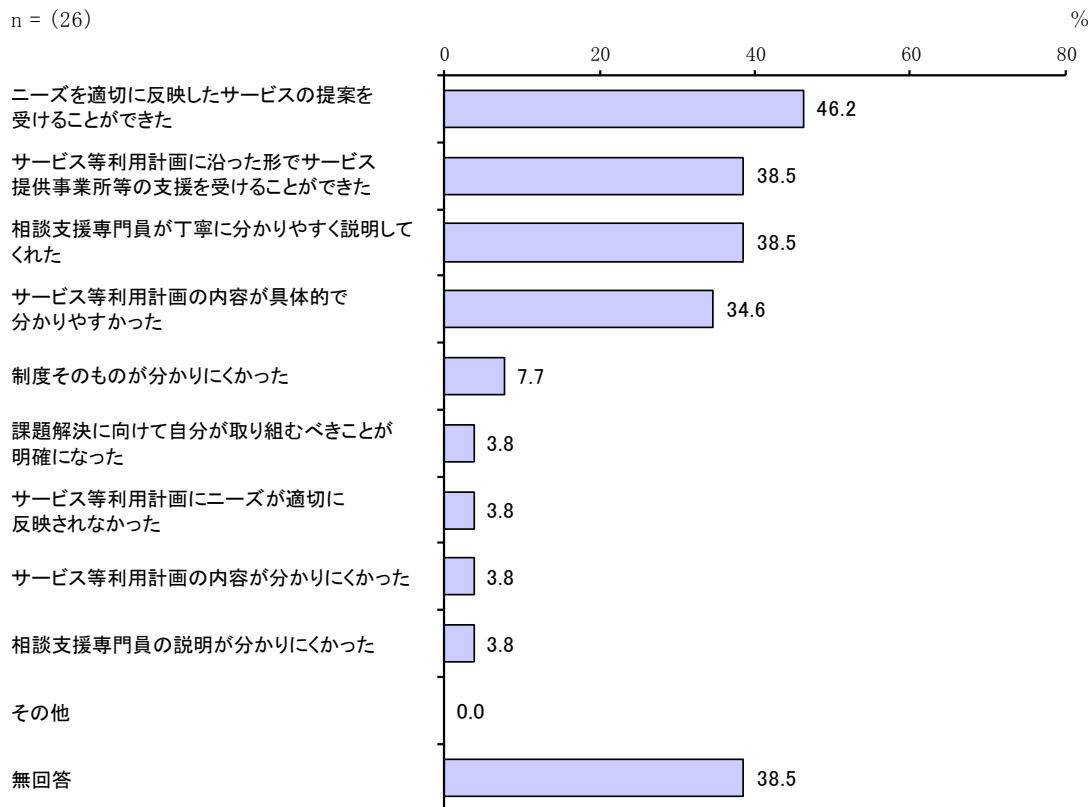
(○は1つ)

「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」の割合が  
57.7%と最も高く、次いで「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」の割合が  
11.5%となっています。



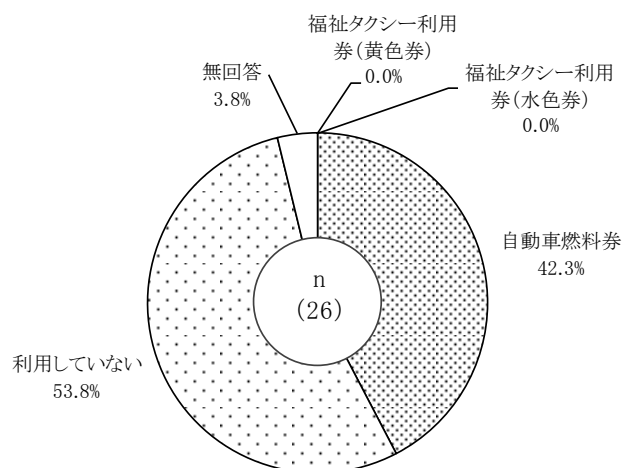
問 85 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお  
たずねします。】  
サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（○は4つまで）

「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」の割合が 38.5%となっています。



問 86 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

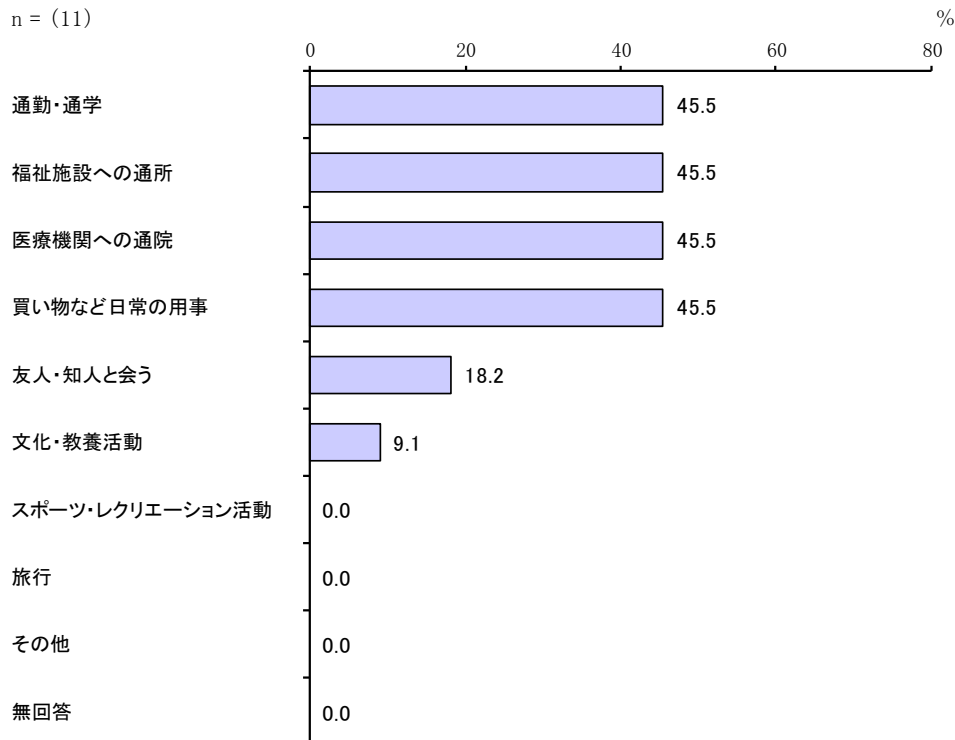
「利用していない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「自動車燃料券」の割合が 42.3%となっています。



問 87 【問 86 でいずれかの券を利用している（１～３番）と回答した方におたずねします。】

福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

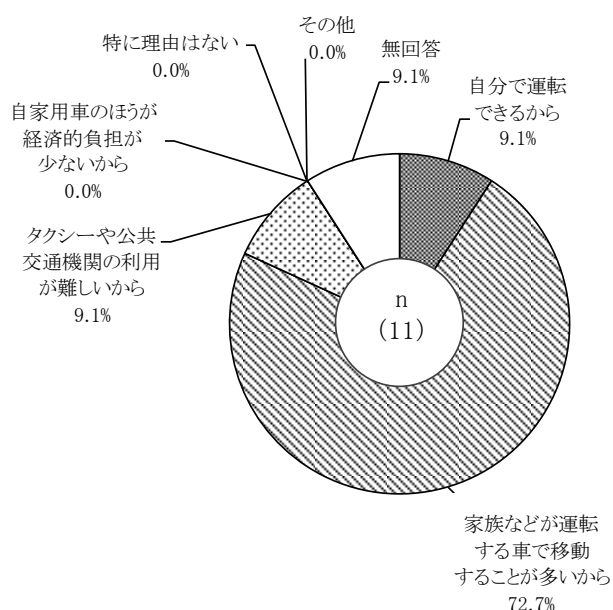
「通勤・通学」、「福祉施設への通所」、「医療機関への通院」、「買い物など日常の用事」の割合が 45.5%と最も高くなっています。



問 88 【問 86 で自動車燃料券を利用していると回答した方におたずねします。】

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。（○は１つ）

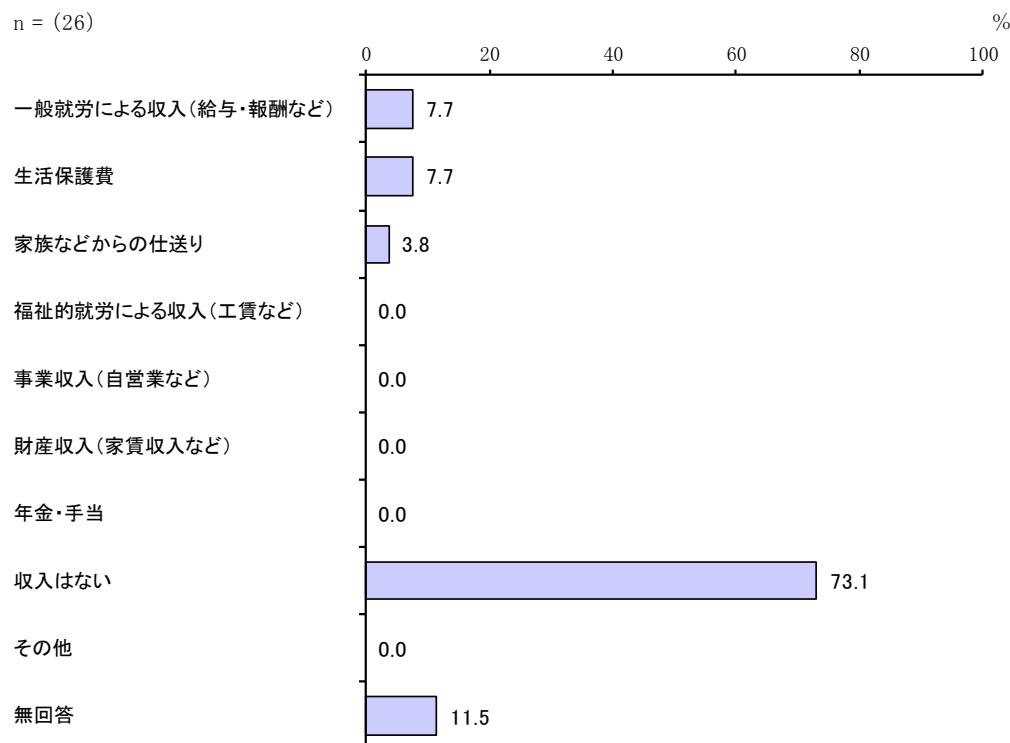
「家族などが運転する車で移動することが多いから」の割合が 72.7%と最も高くなっています。



## (16) 収入や利用者負担について

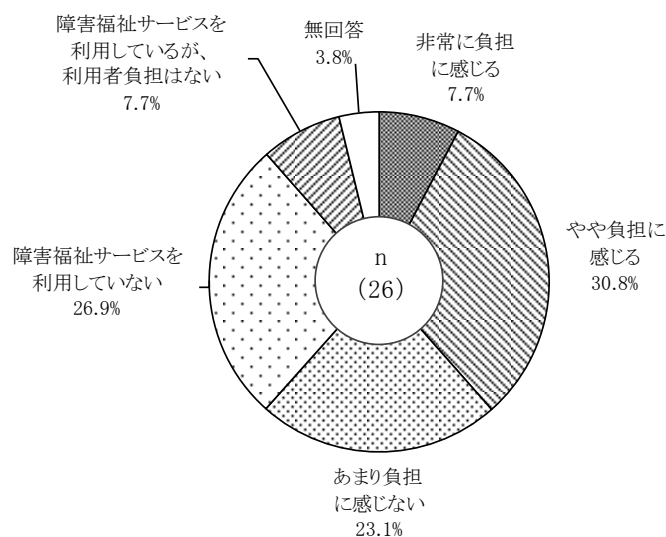
問 89 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

「収入はない」の割合が73.1%と最も高くなっています。



問 90 あなた（保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

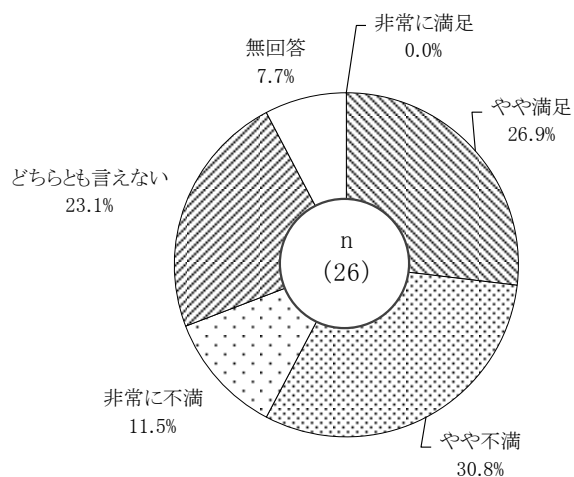
「やや負担に感じる」の割合が30.8%と最も高く、次いで「障害福祉サービスを利用していない」の割合が26.9%、「あまり負担に感じない」の割合が23.1%となっています。



## (17) 障害者施策について

問 91 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 26.9%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 42.3%となっています。



## (18) 自由意見

問 92 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 12 件の意見がありました。

	分 類	件 数	割合 (%)
1	福祉サービス	6	50.0
2	医療・健康	0	0.0
3	生活環境	0	0.0
4	雇用・就労	0	0.0
5	将来について	1	8.3
6	経済事情・経済的支援	1	8.3
7	行政・制度	3	25.0
8	その他	1	8.3
合計		12	100.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### ①福祉サービス

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
もっと同じ障害を持った子同士のコミュニケーションを取れる場を増やしてほしいです。	自閉症スペクトラム障害	6	女性	家族
入所施設やグループホームを増やしてほしい。デイサービスも増やしてほしい。	その他	6	男性	家族
・障害が暮らしやすい社会にしてみたい ・障害の程度に関係なく、より一層充実したサービスの提供をしてほしい	自閉症・自閉的傾向 知的障害	4	男性	家族
双子で2人とも障害を持っています。双子で大変なのに、障害があるので更に大変です。実家も近くなく、主人の親は他界し、私の親も健康ではなく気軽に頼めません。主人も夜勤があり帰宅しない日もあります。私（母親）が育児中心で、病気になってはいけなとプレッシャーです。もう少し気軽に福祉サービスを利用できたらと思います。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害 学習障害	12	男性	家族
子どもが来年4月から小学生になります。土・日は家族で過ごそうと思っています。障害のある子を持つ家族が行きやすいイベントや遊び場が増えたら嬉しいです。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群 注意欠陥・多動性障害 学習障害（LD）	14	男性	家族
短期入所施設（小学生の）を増やしてほしい。お葬式の時に預けられる施設がほしい。	自閉症・自閉的傾向 知的障害	4	男性	家族

## ②将来について

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
放課後デイを利用したいが、どこもいっぱい聞き、見つかるか不安。	自閉症スペクトラム障害 知的障害	5	男性	家族

## ③経済事情・経済的支援について

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
学校に行けないので、ライトポート、センター活動の交通費、お弁当等が大変です。	自閉症スペクトラム障害	4	男性	家族

## ④行政・制度について

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
どこに行くのも誰かついていくが、電車に乗ったとき、公共の交通に乗れずタクシーに乗った時等、精神2級は何も割引がなく大変。	自閉症・自閉的傾向 知的障害	5	男性	家族
療育施設に2か所通所していますが、1日に1か所しか通所できないのが不満です。朝10時～14時での教室ならよいのですが、90分だけの教室、60分だけの教室は時間が短すぎる。せめて2か所通所できる日が少しでもあってほしいです。 障害児がもっと保育所や幼稚園に行きやすくしてほしい。大宮学園のような10時～14時利用できる教室を増やしてほしいです。	自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群	17	男性	家族
手続きが多すぎる。一度にまとめるなどしてほしい。	自閉症スペクトラム障害 知的障害	6	男性	家族

## ⑤その他

意 見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
もっと早くから知っていればと後悔している。ベテランの教員ほど新しいことを知らず大丈夫という。高校は普通の県立に進学したが、なんの配慮もしてもらえなかった。発達障害は特に理解してもらえず、偏見によって通学もしにくい。よく我慢し3年間通えたと思う。放課後等デイサービスから高校に面談等を申し出てくれたが、完全無視だった。県立の普通科等は発達障害を受け入れたくなかったらしい。	自閉症・自閉的傾向 自閉症スペクトラム障害 知的障害	4	男性	家族



## 6 サービス事業者を対象とした調査

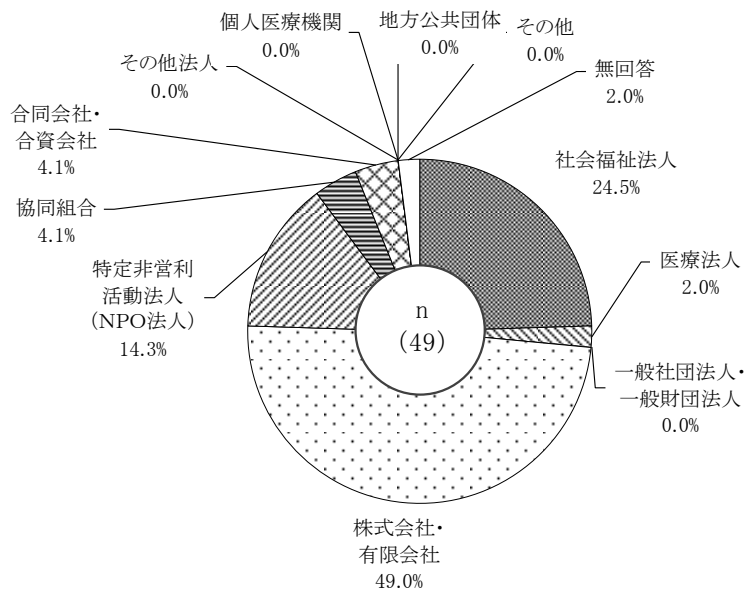


## 6 サービス事業者を対象とした調査

### (1) 事業所について

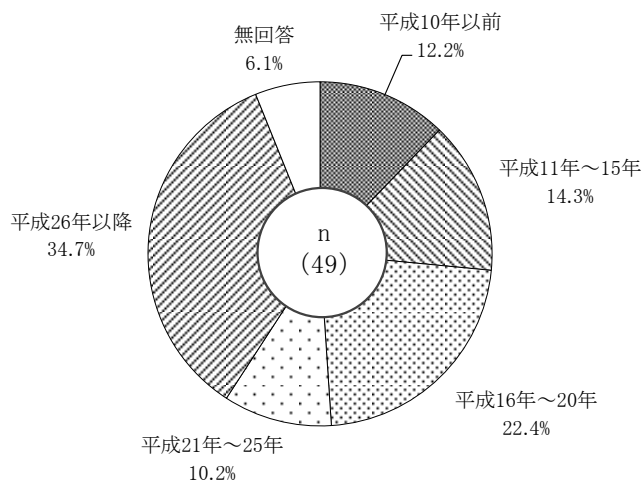
#### 問1 貴事業所の経営主体は何ですか。(〇は1つ)

「株式会社・有限会社」の割合が49.0%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の割合が24.5%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」の割合が14.3%となっています。



#### 問2 貴事業所の開業年はいつですか。

「平成26年以降」の割合が34.7%と最も高く、次いで「平成16年～20年」の割合が22.4%、「平成11年～15年」の割合が14.3%となっています。



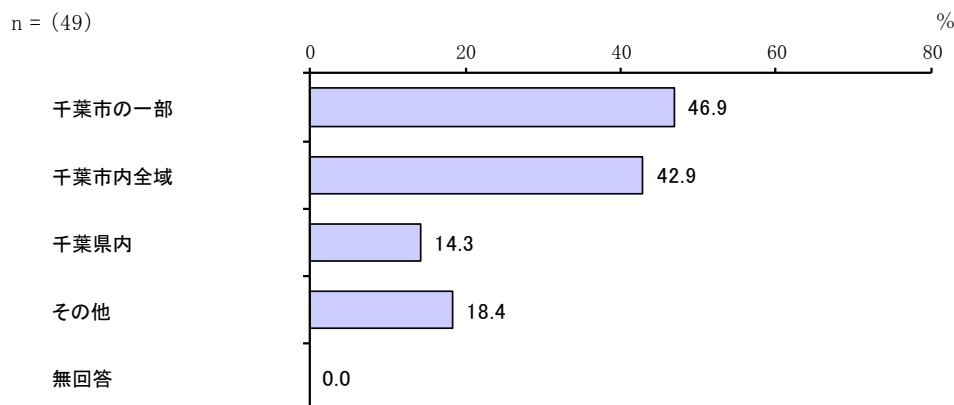
**問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障害児サービス等は何ですか。ただし、介護保険サービスは除きます。（〇はいくつでも）**

「居宅介護」の割合が59.2%と最も高く、次いで「同行援護」の割合が42.9%、「重度訪問介護」の割合が34.7%となっています。



**問4 貴事業所が事業を展開しているエリア（サービス利用対象者がお住まいの範囲）はどこですか。（〇はいくつでも）**

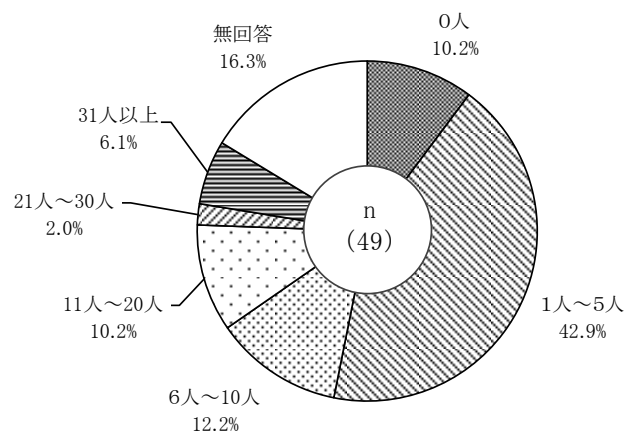
「千葉市の一部」の割合が46.9%と最も高く、次いで「千葉市内全域」の割合が42.9%、「千葉県内」の割合が14.3%となっています。



**問5 貴事業所で提供しているサービスを利用されている方は何人ですか。障害別にお答えください。（平成31年1月1日時点の人数）重複障害の方については主たる障害についてご回答ください。**

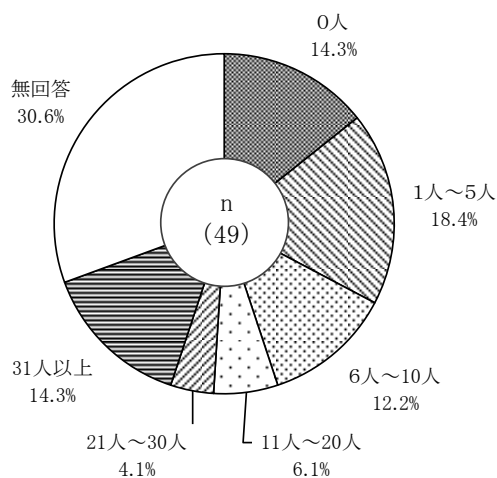
**1. 身体障害**

「1人～5人」の割合が42.9%と最も高く、次いで「6人～10人」の割合が12.2%、「0人」、「11人～20人」の割合が10.2%となっています。



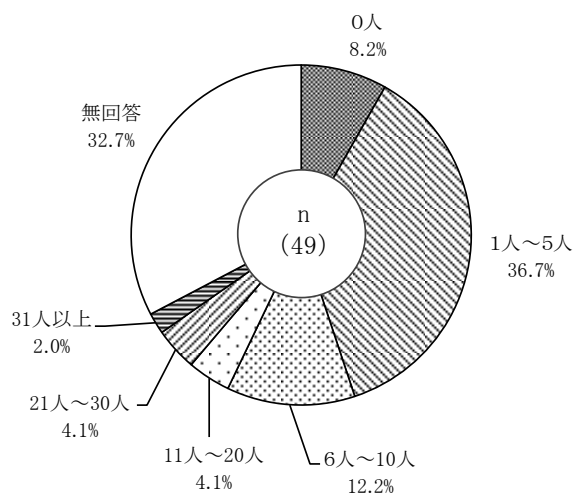
## 2. 知的障害

「1人～5人」の割合が18.4%と最も高く、次いで「0人」、「31人以上」の割合が14.3%となっています。



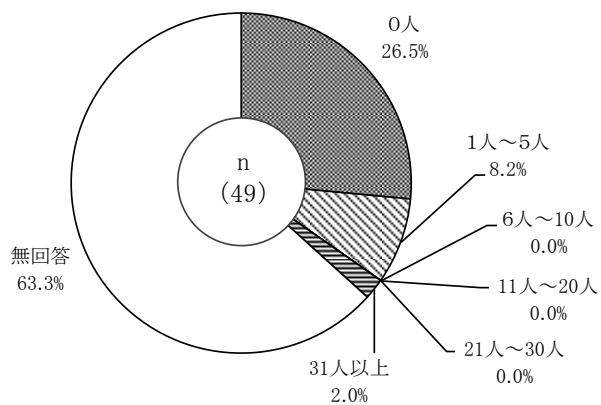
## 3. 精神障害

「1人～5人」の割合が36.7%と最も高く、次いで「6人～10人」の割合が12.2%となっています。



## 4. 難病等

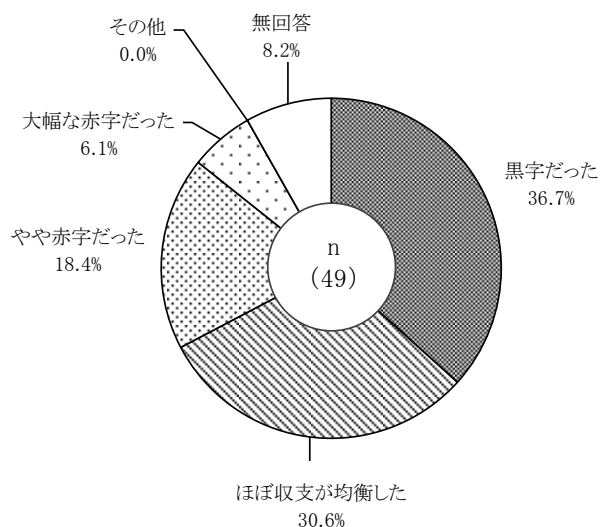
「0人」の割合が26.5%と最も高くなっています。



問6 貴運営法人及び貴事業所の平成30年度の事業収支状況はいかがでしたか。  
(○は各1つ)

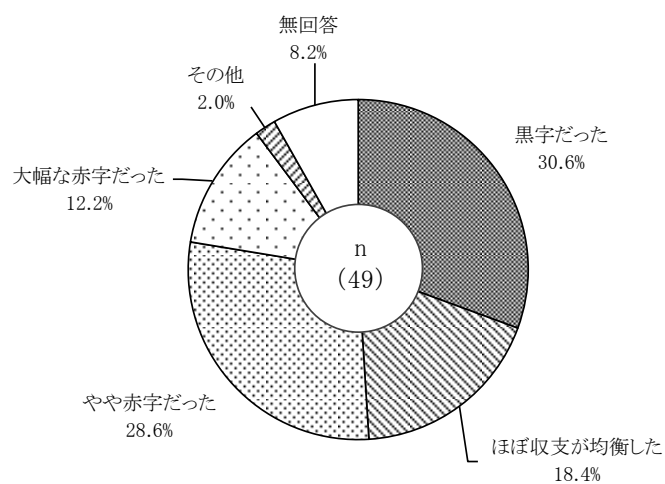
1. 運営法人（介護保険サービス事業所等分も含む）の収支状況

「黒字だった」の割合が36.7%と最も高く、次いで「ほぼ収支が均衡した」の割合が30.6%、「やや赤字だった」の割合が18.4%となっています。



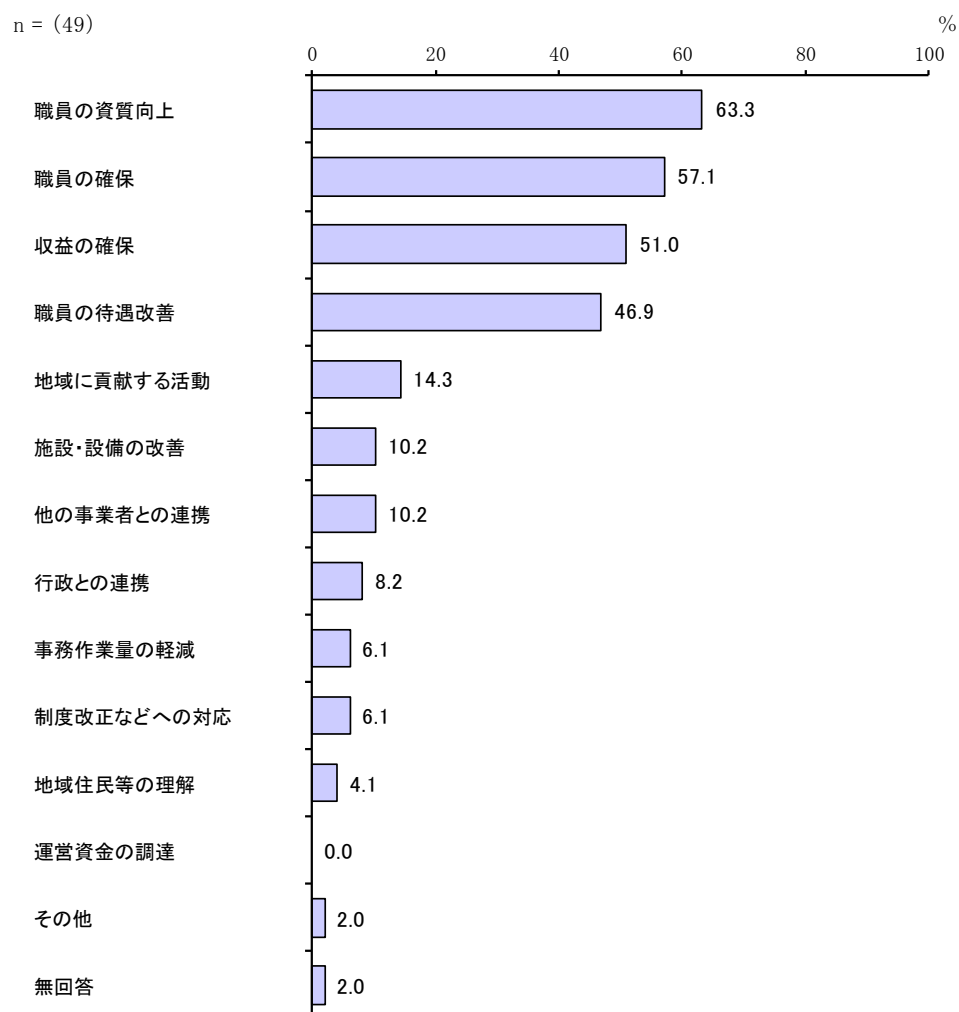
2. 障害福祉サービス等事業所の収支状況

「黒字だった」の割合が30.6%と最も高く、次いで「やや赤字だった」の割合が28.6%、「ほぼ収支が均衡した」の割合が18.4%となっています。



問7 貴事業所では経営上何を重視していますか。(〇は3つまで)

「職員の資質向上」の割合が63.3%と最も高く、次いで「職員の確保」の割合が57.1%、「収益の確保」の割合が51.0%となっています。

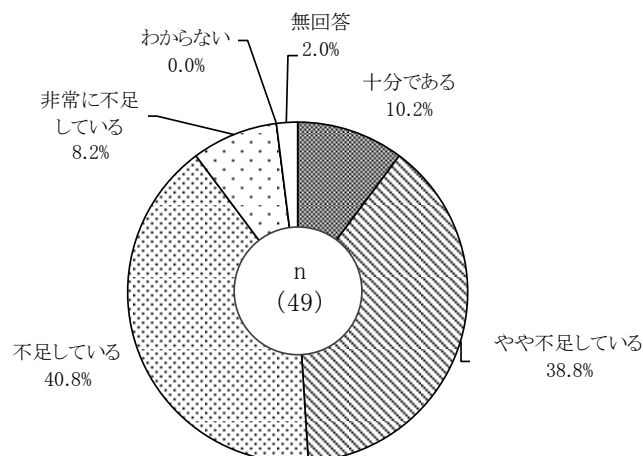


## (2) 職員について

問8 貴運営法人及び貴事業所では業務量に対する職員（人手）の充足具合はいかがですか。（○はそれぞれ1つ）

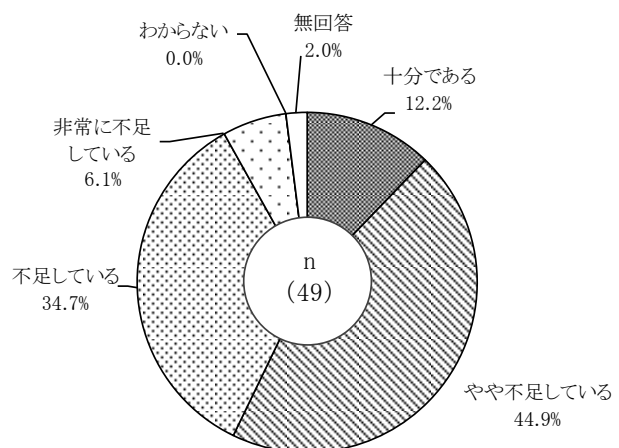
### 1. 運営法人（介護保険サービス事業所等分も含む）の職員充足状況

「不足している」の割合が40.8%と最も高く、次いで「やや不足している」の割合が38.8%、「十分である」の割合が10.2%となっています。



### 2. 障害福祉サービス等事業所の職員充足状況

「やや不足している」の割合が44.9%と最も高く、次いで「不足している」の割合が34.7%、「十分である」の割合が12.2%となっています。



問9 貴運営法人及び貴事業所の職員について、平成30年1月1日から平成30年12月31日までの過去1年間の採用者数と離職者数は何人でしたか。  
 (平成30年2月以降に事業を開始した場合は、事業開始日から平成30年12月31日までの採用者数と離職者数を記入してください。)

1. 運営法人（介護保険サービス事業所等分も含む）の採用者・離職者数

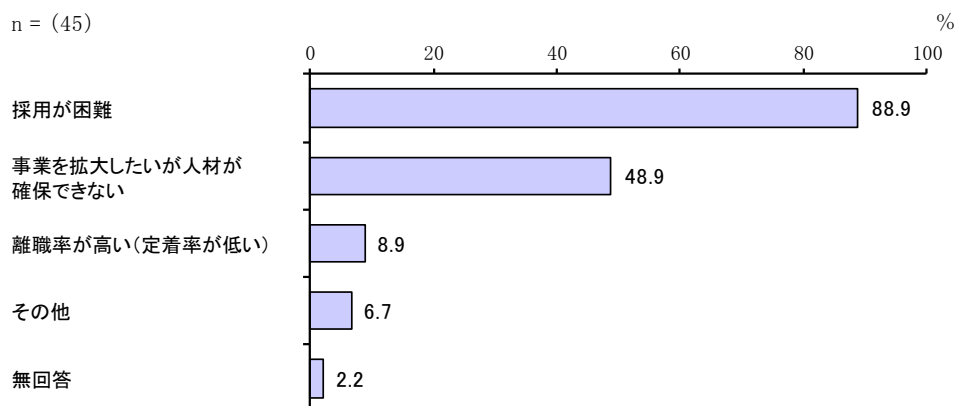
(平均人数)	採用者数	離職者数	離職した勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	4.7人	3.5人	1.2人	2.1人
非常勤職員	6.1人	4.4人	1.9人	1.8人

2. 障害福祉サービス等事業所の採用者・離職者数

(平均人数)	採用者数	離職者数	離職した勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	1.5人	0.6人	0.5人	0.4人
非常勤職員	1.8人	1.2人	0.7人	0.7人

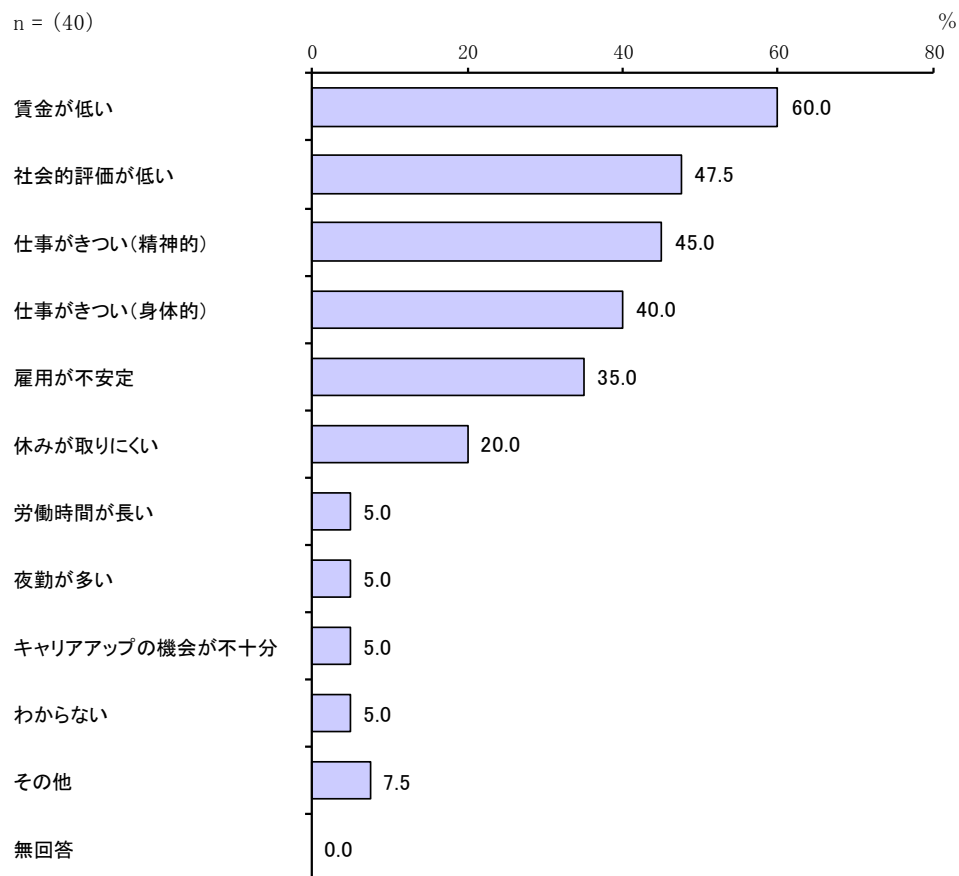
問10 【問8の障害福祉サービス等事業所の職員充足状況で、「2 やや不足している」、「3 不足している」、「4 非常に不足している」と回答した事業所にお聞きします。】  
 不足と感じる理由について教えてください。(〇は2つまで)

「採用が困難」の割合が88.9%と最も高く、次いで「事業を拡大したいが人材が確保できない」の割合が48.9%となっています。



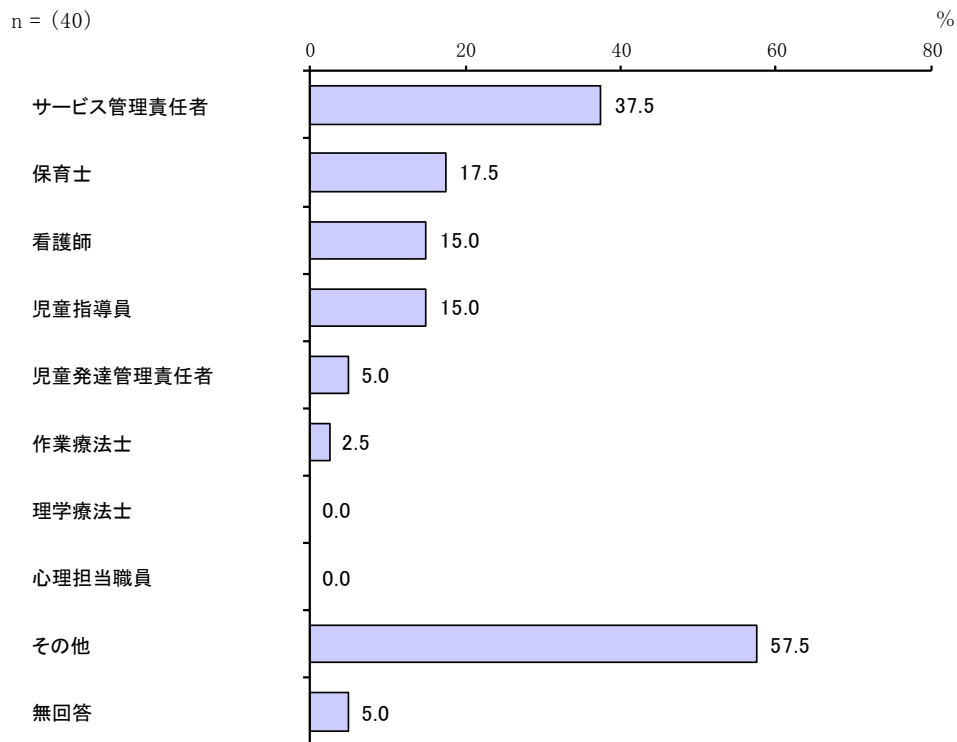
問 11 【問 10 で、「2 採用が困難」と回答した事業所にお聞きします。】  
採用が困難な原因はどこにあると思いますか。（○は4つまで）

「賃金が低い」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「社会的評価が低い」の割合が 47.5%、  
「仕事がきつい（精神的）」の割合が 45.0%となっています。



問 12 【問 10 で、「2 採用が困難」と回答した事業所にお聞きします。  
採用が困難な職種は何ですか。（〇は4 つまで）

「サービス管理責任者」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「保育士」の割合が 17.5%、「看護師」、「児童指導員」の割合が 15.0%となっています。

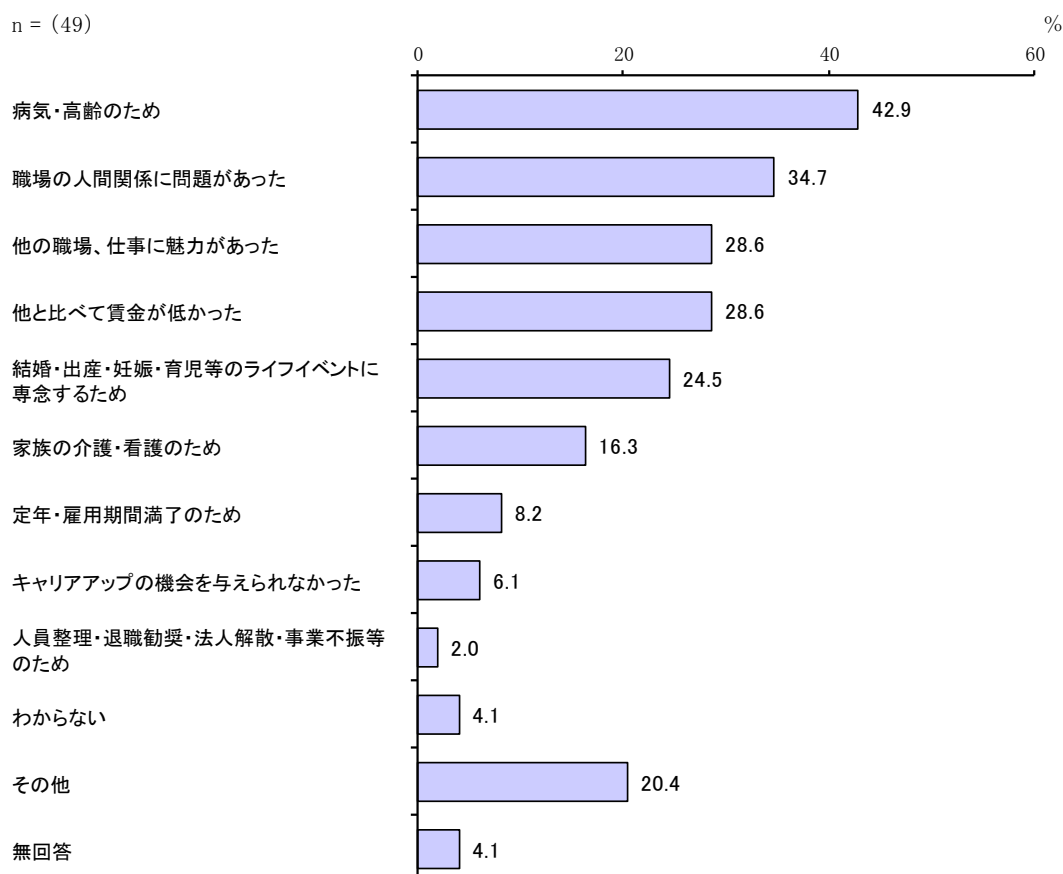


問 13 【全ての事業所にお聞きします。】

貴事業所では、職員が離職する原因はどこにあると思いますか。

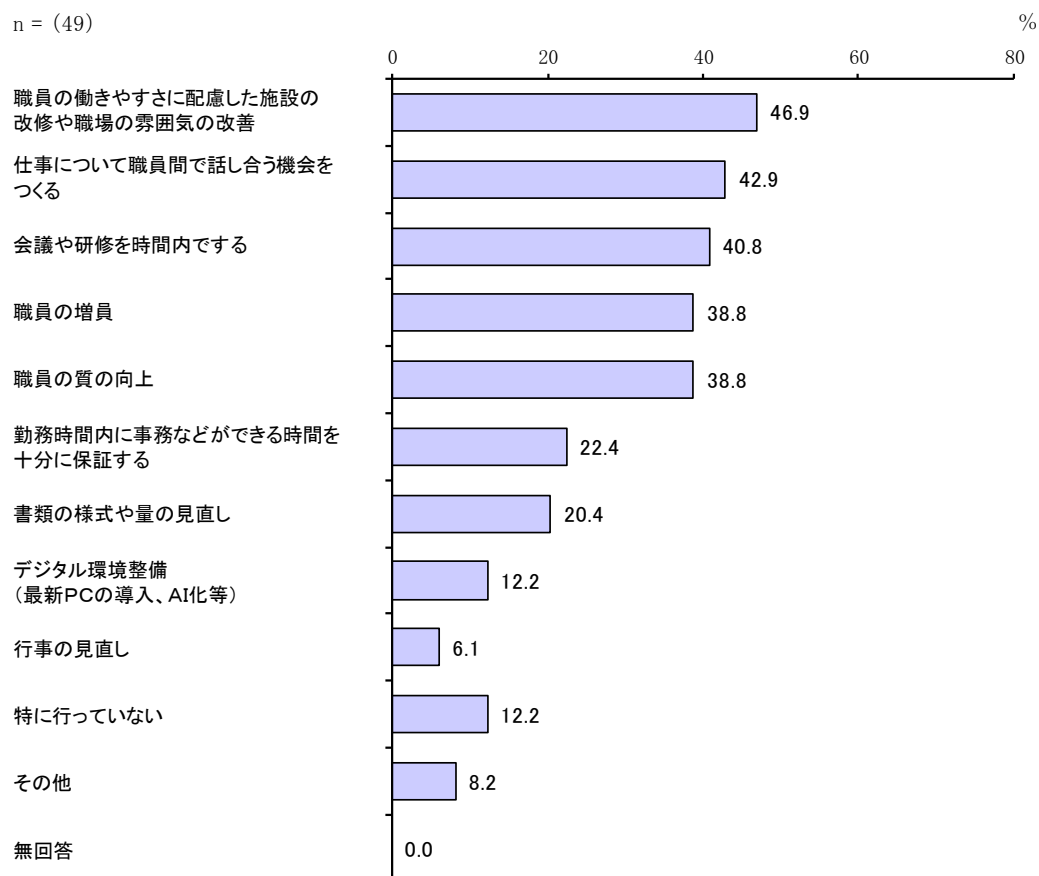
(○は4つまで)

「病気・高齢のため」の割合が42.9%と最も高く、次いで「職場の人間関係に問題があった」の割合が34.7%、「他の職場、仕事に魅力があった」、「他と比べて賃金が低かった」の割合が28.6%となっています。



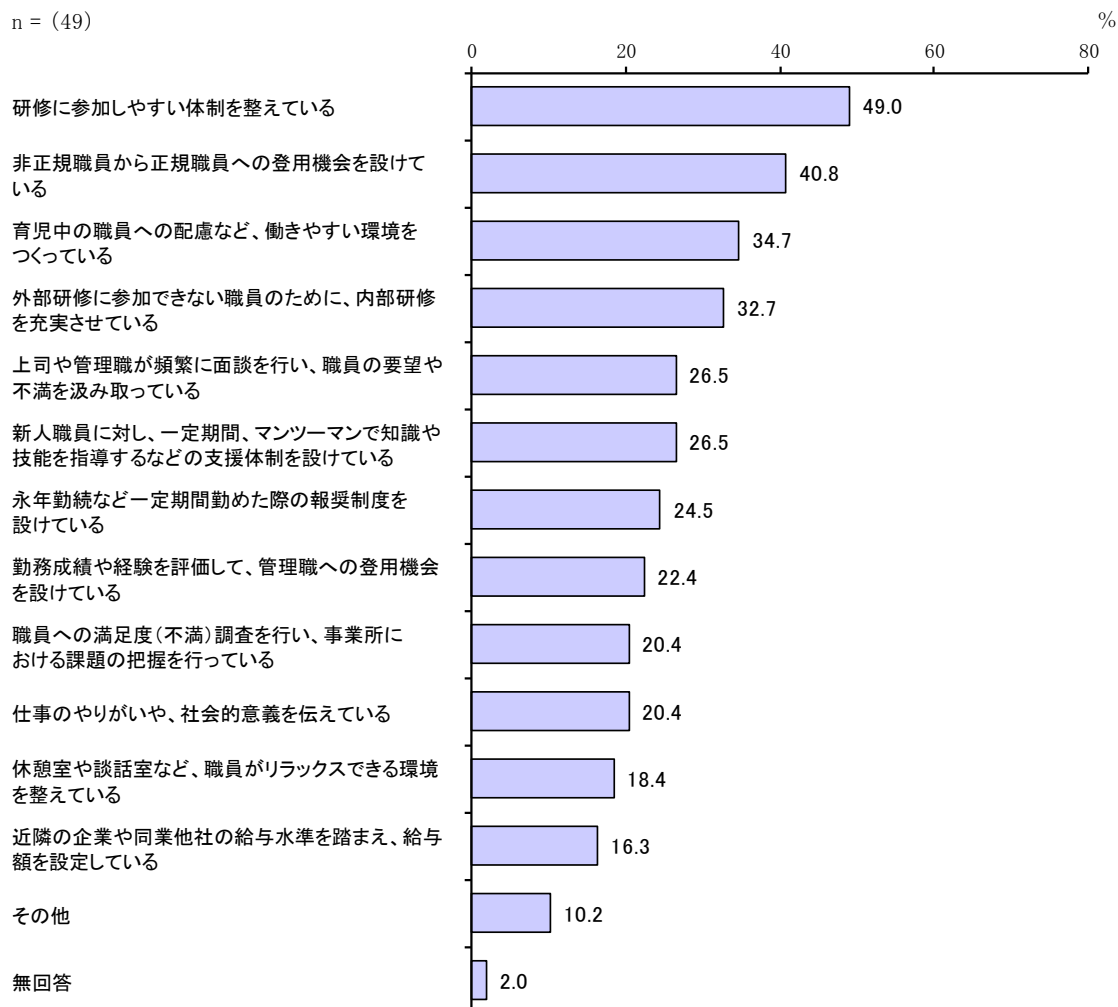
問 14 貴事業所では職員の離職に対してどのような取り組みをしていますか。  
(〇はいくつでも)

「職員の働きやすさに配慮した施設の改修や職場の雰囲気の改善」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「仕事について職員間で話し合う機会をつくる」の割合が 42.9%、「会議や研修を時間内でする」の割合が 40.8%となっています。



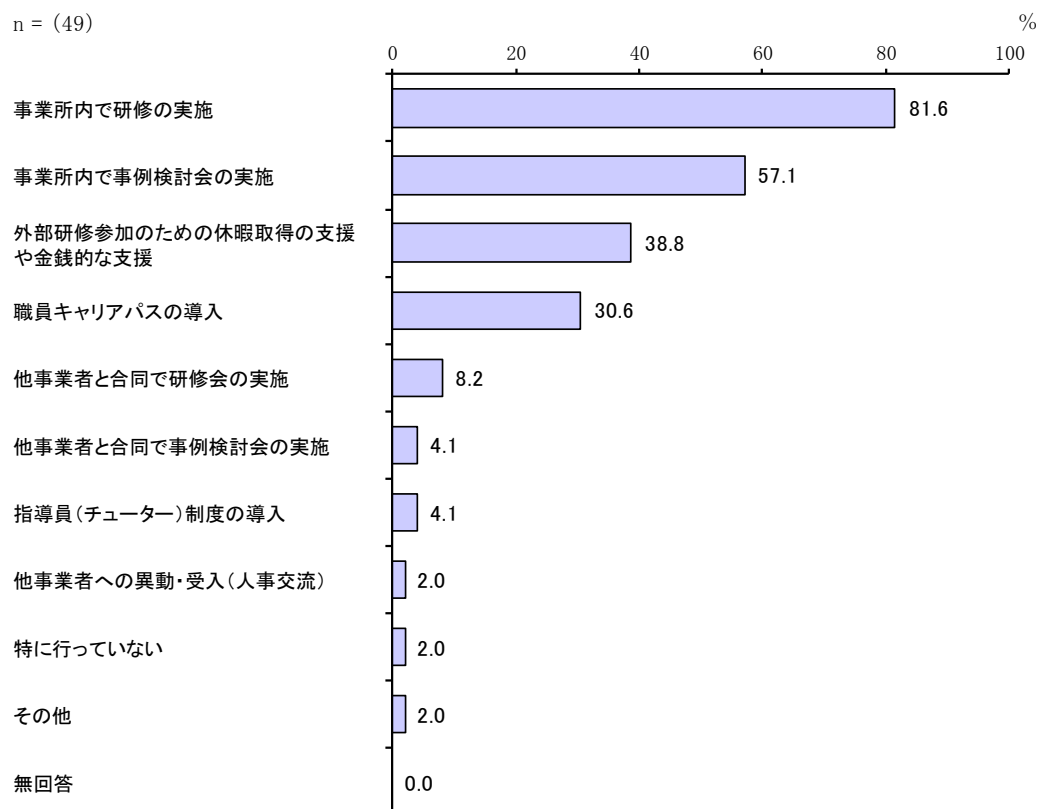
問 15 貴事業所では職員定着・育成のために、どのようなことを行っていますか。  
(〇はいくつでも)

「研修に参加しやすい体制を整えている」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」の割合が 40.8%、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」の割合が 34.7%となっています。



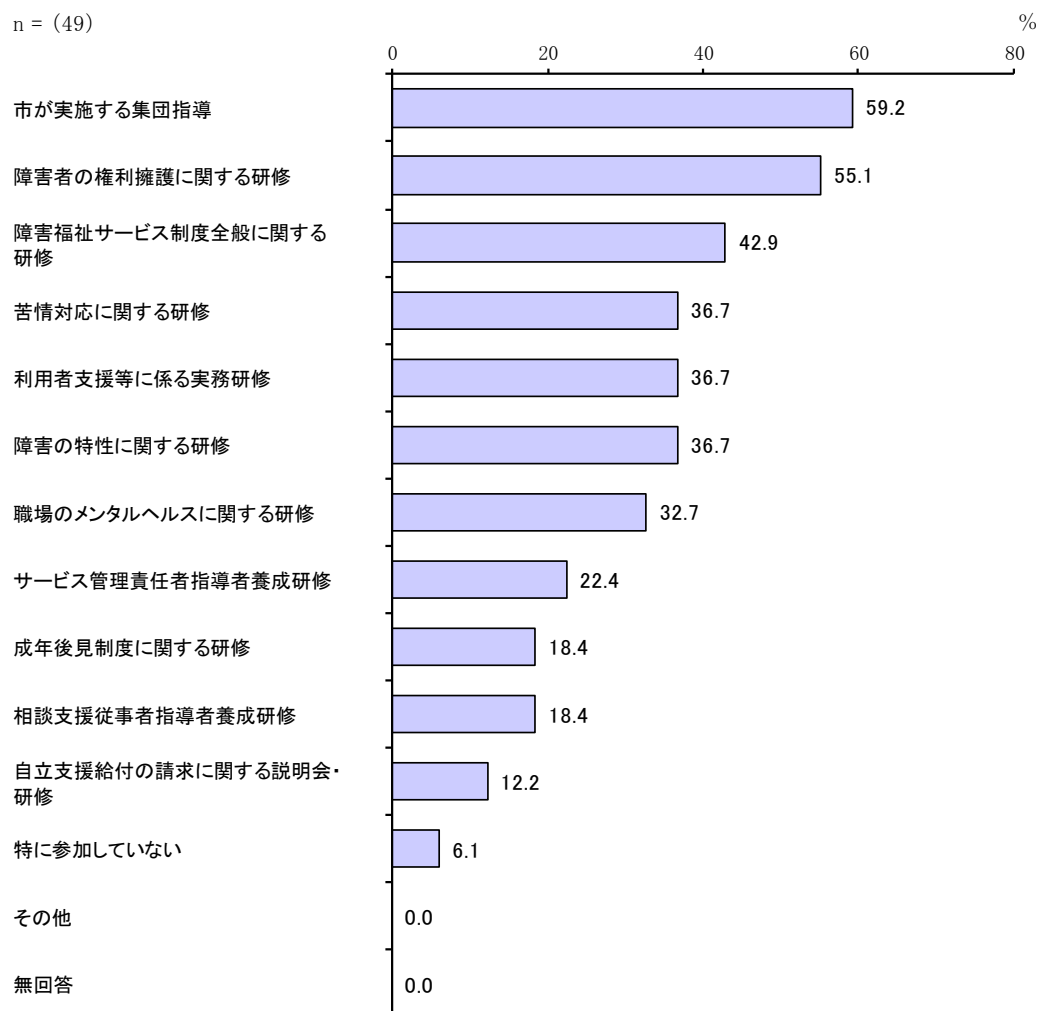
問 16 貴事業所では人材育成のためにどのような取り組みをしていますか。  
(〇はいくつでも)

「事業所内で研修の実施」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「事業所内で事例検討会の実施」の割合が 57.1%、「外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援」の割合が 38.8%となっています。



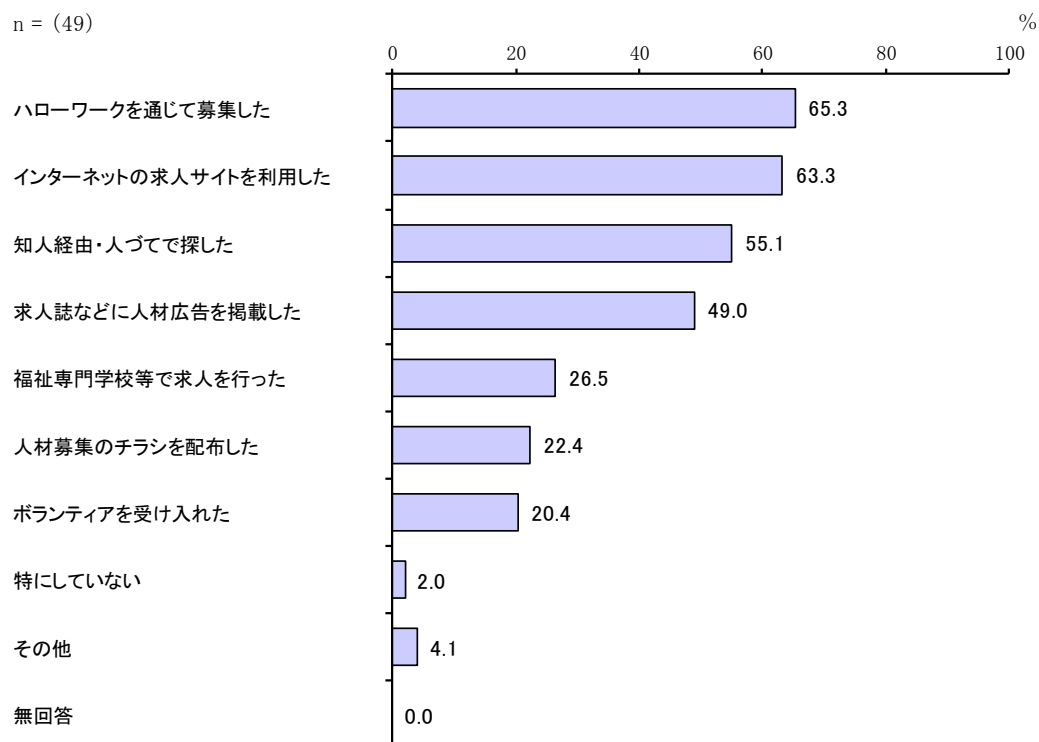
問 17 貴事業所の職員は過去 1 年間にどのような研修に参加しましたか。  
(〇はいくつでも)

「市が実施する集団指導」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「障害者の権利擁護に関する研修」の割合が 55.1%、「障害福祉サービス制度全般に関する研修」の割合が 42.9%となっています。



問 18 貴事業所では、人材確保のためにどのような取り組みをしていますか。  
(〇はいくつでも)

「ハローワークを通じて募集した」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「インターネットの求人サイトを利用した」の割合が 63.3%、「知人経由・人づてで探した」の割合が 55.1%となっています。

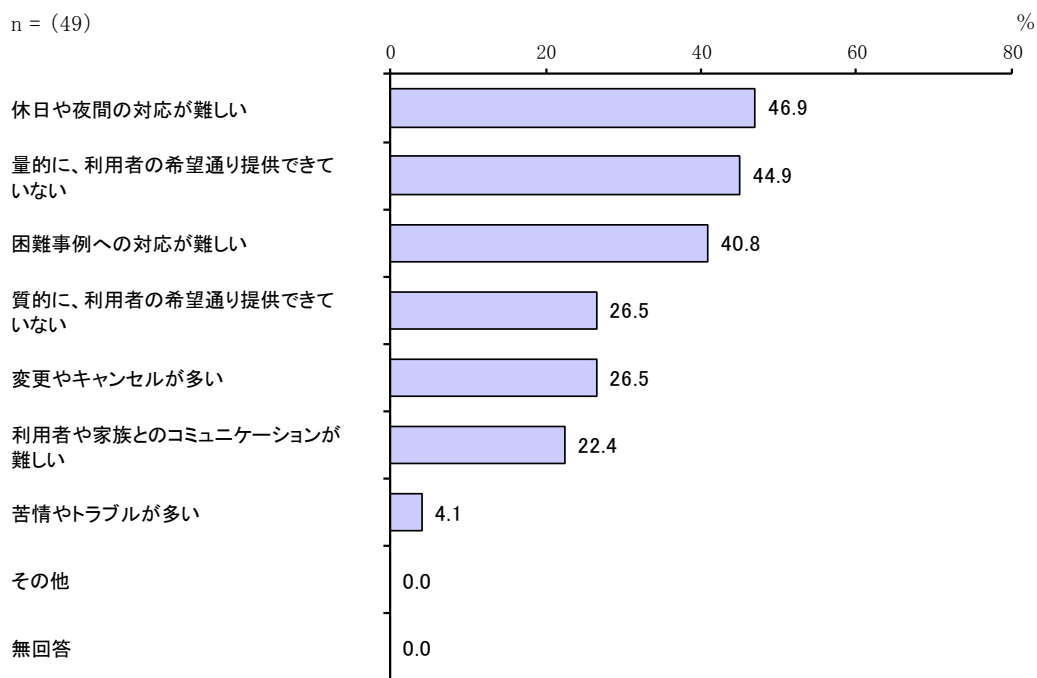


### (3) サービス提供について

問 19 貴事業所では、サービスを提供する上で、どのようなことが課題となっていますか。(〇は3つまで)

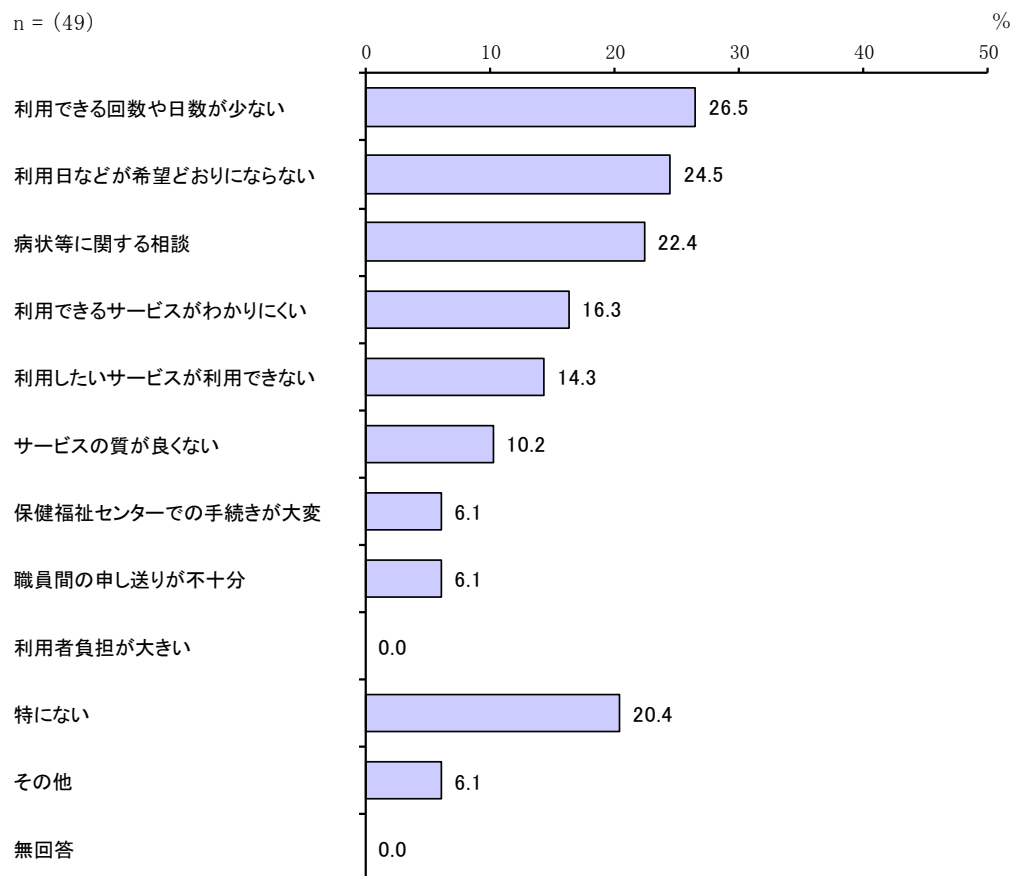
「休日や夜間の対応が難しい」の割合が46.9%と最も高く、次いで「量的に、利用者の希望通り提供できていない」の割合が44.9%、「困難事例への対応が難しい」の割合が40.8%となっています。

n = (49)



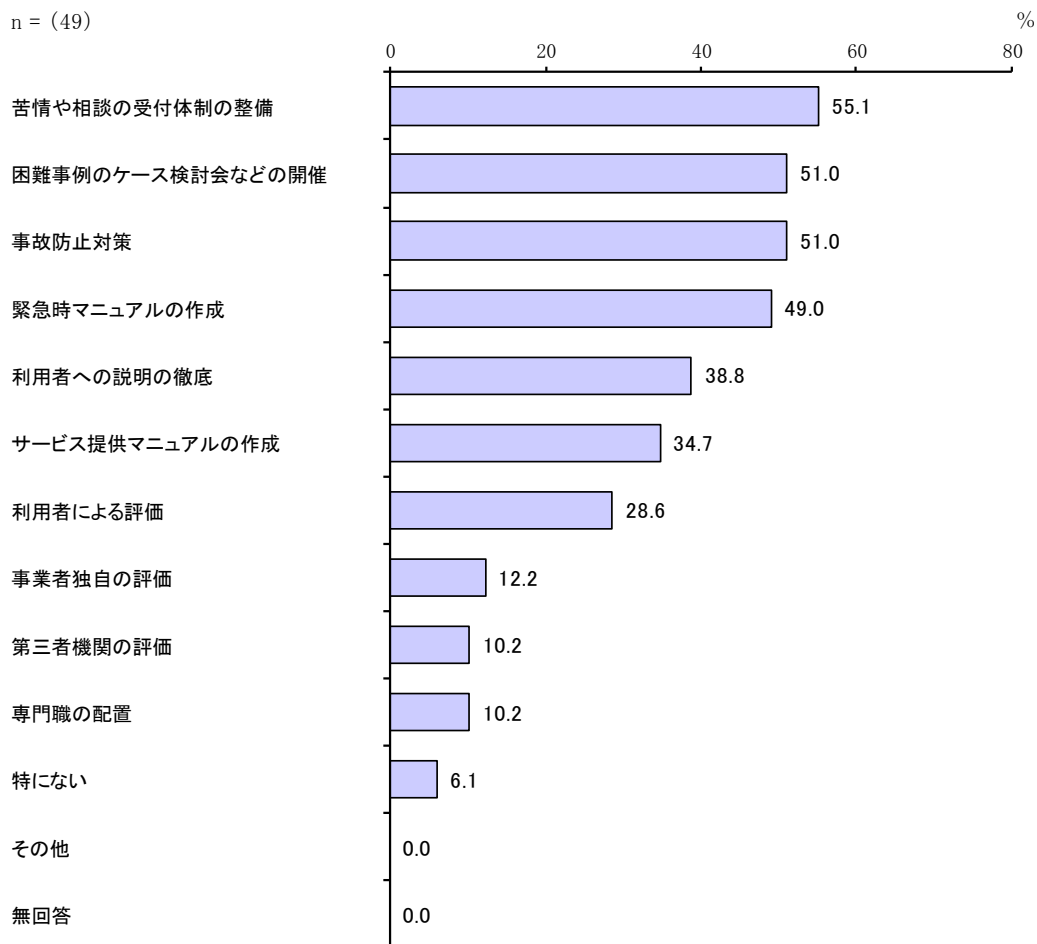
問 20 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族からどのような相談や苦情を受けていますか。（〇は3つまで）

「利用できる回数や日数が少ない」の割合が 26.5%と最も高く、次いで「利用日などが希望どおりにならない」の割合が 24.5%、「病状等に関する相談」の割合が 22.4%となっています。



問 21 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。  
(〇はいくつでも)

「苦情や相談の受付体制の整備」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「困難事例のケース検討会などの開催」、「事故防止対策」の割合が 51.0%となっています。



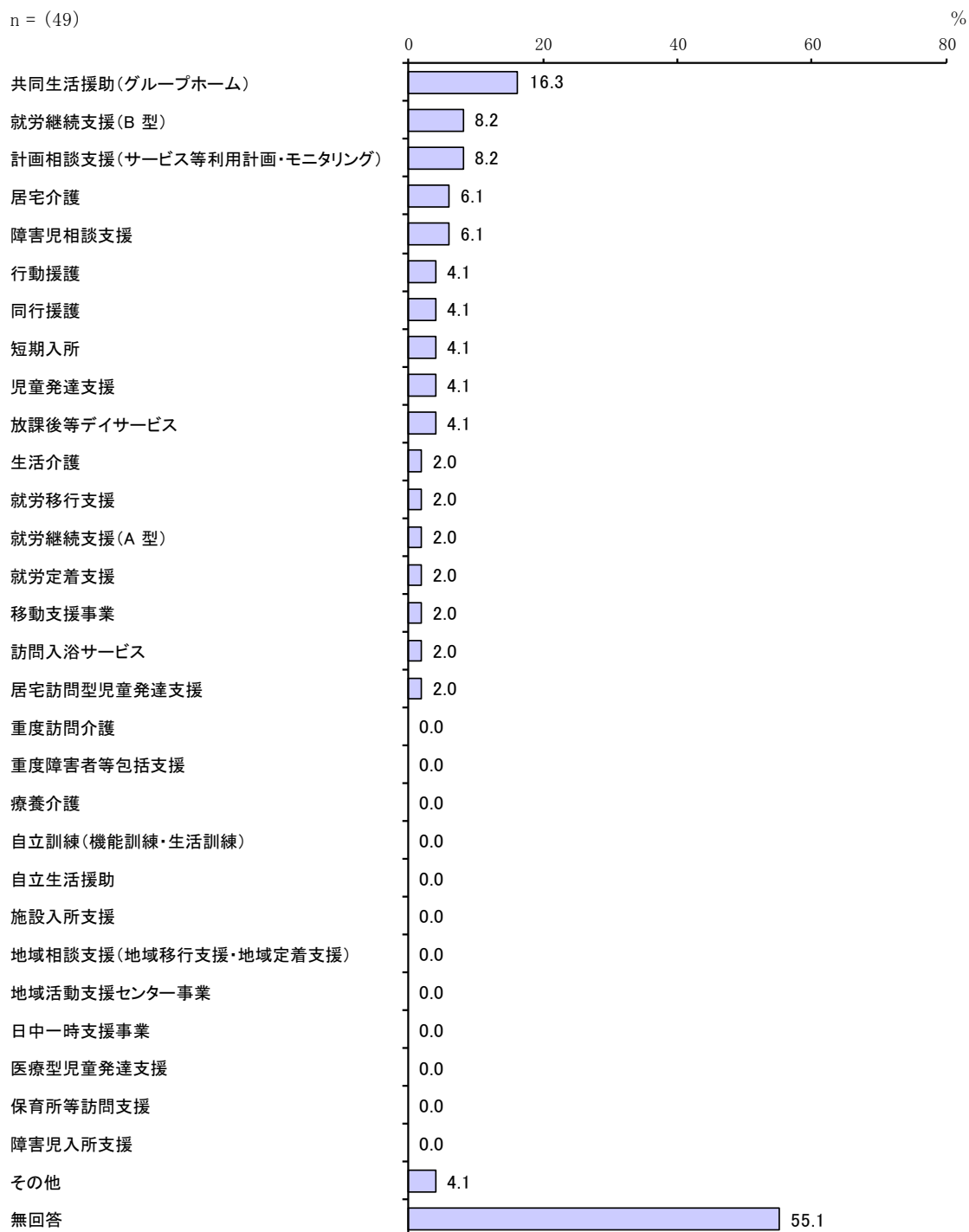
問 22 【問 21 で、「5 専門職の配置」と回答した事業所にお聞きします。】  
貴事業所で配置している専門職について、職種名と雇用形態をお教えてください。

職種名	件数
医師	3
精神保健福祉士	2
保育士	2
看護師	2
社会福祉士	1
歯科医師	1
介護福祉士	1
理学療法士	1
児童指導員	1
ピアサポーター	1
作業療法士	1

雇用形態	件数
常勤	8
嘱託	5
非常勤	3

問 23 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。  
(〇はいくつでも)

「共同生活援助（グループホーム）」の割合が 16.3%と最も高くなっています。

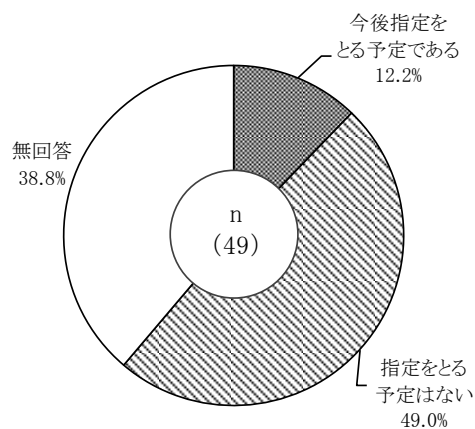


問 24 問 23 にある障害福祉サービス等の参入を検討したが、断念したサービス等がありましたら、サービス等の種類と断念した理由をお書きください。

サービス等の種類	断念した理由
居宅介護 児童発達支援	建物の基準が合わなかった。新たに見つけることが必要。
短期入所	定員 1 名で検討したが、消防面に費用がかなりかかり、回収できない。 消防関係法令の基準が高すぎた。 スプリンクラーの取り付けが高額であるため。
就労定着支援	専任のスタッフ配置ができなかった（職員不足）。また利用者も見込めなかった。
共同生活援助 （グループホーム）	建築を検討するため面談したところ、現在通所している利用者がすぐには入居しないとの回答だったので、時期尚早と判断した。 地域住民の反対

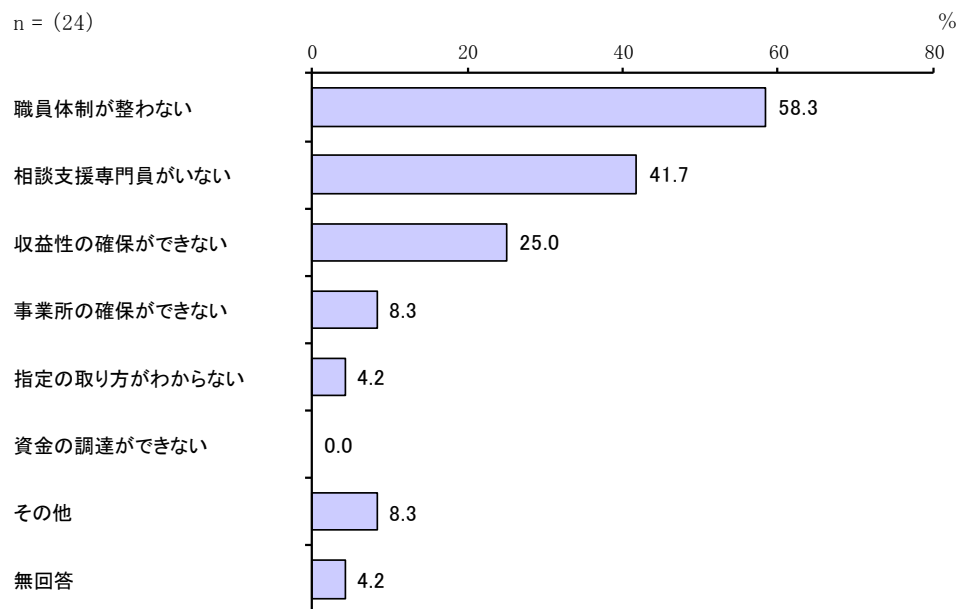
問 25 【指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所以外の事業所にお聞きします。】  
貴事業所は、特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定をとる予定はありますか。（○は 1 つ）

「今後指定をとる予定である」の割合が 12.2%、「指定をとる予定はない」の割合が 49.0%となっています。



問 26 特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定をとる予定はない場合、その理由をお答えください。（○は2つまで）

「職員体制が整わない」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「相談支援専門員がいない」の割合が 41.7%、「収益性の確保ができない」の割合が 25.0%となっています。



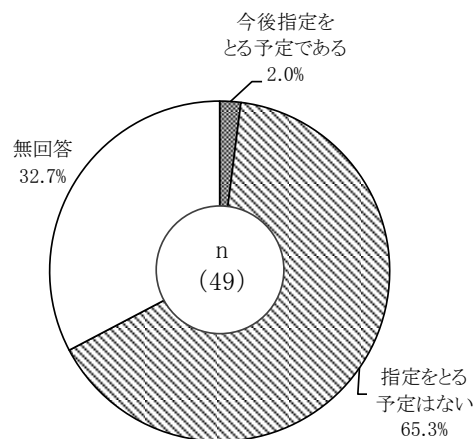
**問 27 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所についてご意見をお書きください。**

全部で6件の回答がありました。

相談を受け、サービスが必要で探しても受け入れてくれる事業者が少ない。事業者も連絡がくるが、いっぱい状態で受け入れることができない。この制度はとても必要だが人員不足です。
兼務が認められないと、小さい事業所では職員の確保が難しい
相談員が受けた仕事を、その事業所のヘルパーの仕事にできないこと。また、相談員のモニタリングの日数が少なく、収益性の確保がむずかしい。
指定をとれない一番の理由は収益性の確保ができないからで、人件費を捻出できない。
制度と計画に必要なことを理解してほしい。事業所の話聞いてほしい。
事業所収入だけでは経費を賄えない月が多く、経営的に厳しい。モニタリングや計画作成が9月と3月に集中するため。

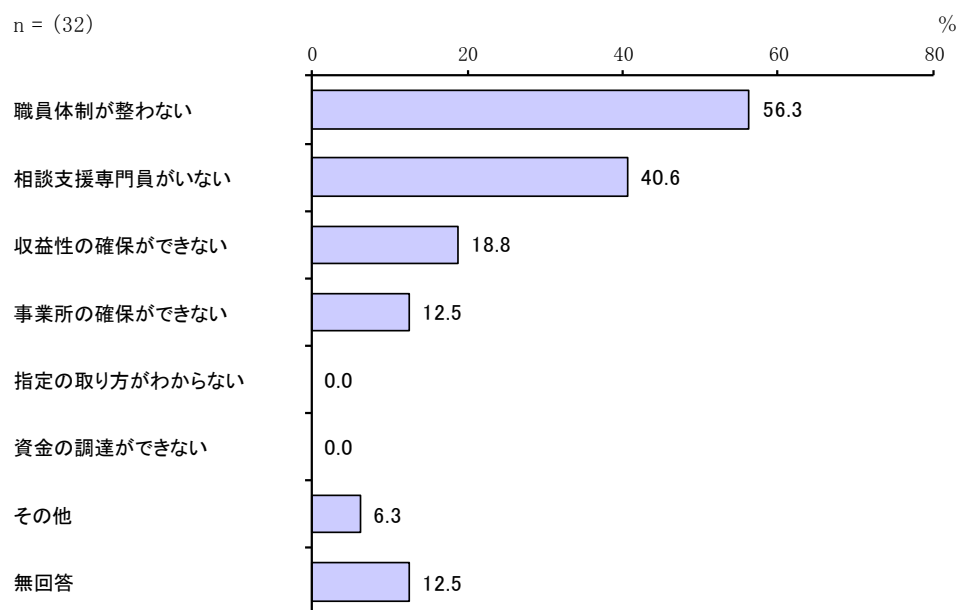
**問 28 【指定一般相談支援事業所以外の事業所にお聞きします。】  
貴事業所は、一般相談支援事業所の指定を取る予定はありますか。(○は1つ)**

「今後指定をとる予定である」の割合が 2.0%、「指定をとる予定はない」の割合が 65.3%となっています。



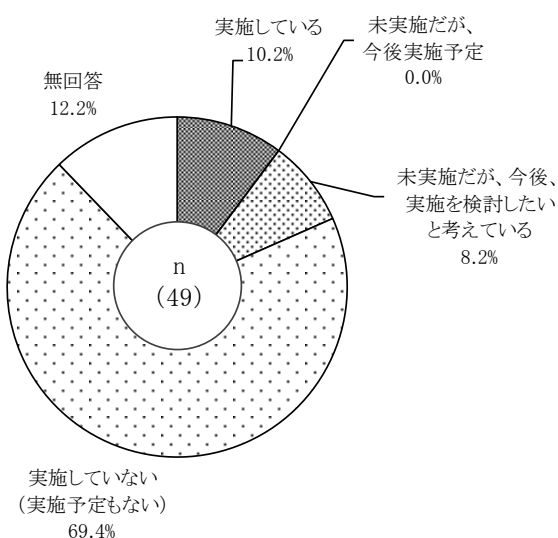
問 29 指定をとる予定はない場合、その理由をお答えください。(○は2つまで)

「職員体制が整わない」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「相談支援専門員がいない」の割合が 40.6%、「収益性の確保ができない」の割合が 18.8%となっています。



問 31 貴事業所では、医療的ケア児に対する支援を実施していますか (○は1つ)

「実施していない (実施予定もない)」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「実施している」の割合が 10.2%となっています。

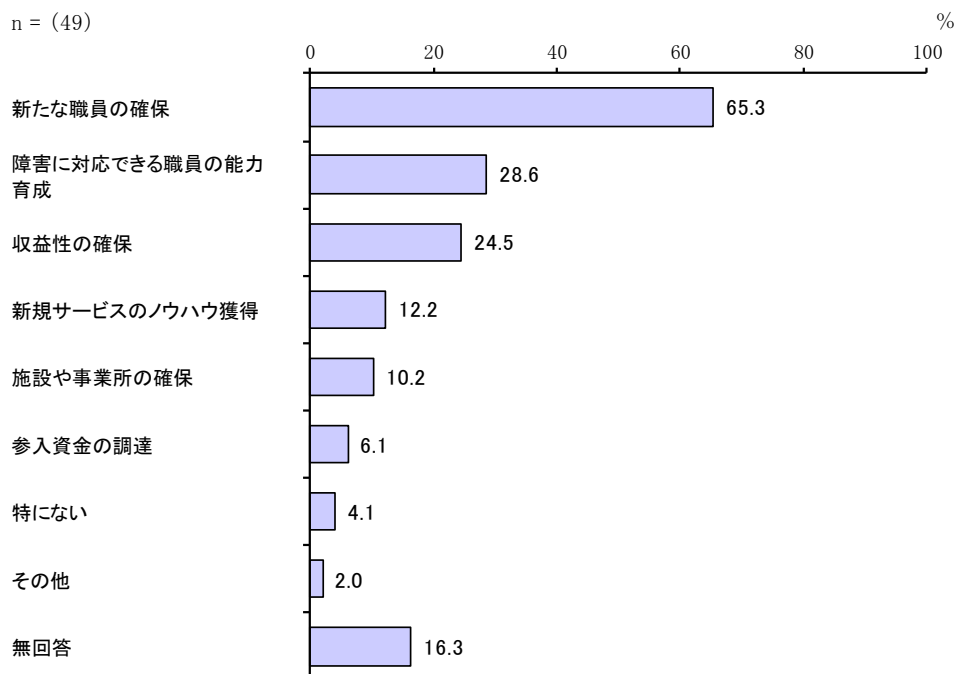


1. 実施時期 (「未実施だが、今後実施予定」と回答した事業所)

有効回答がありませんでした。

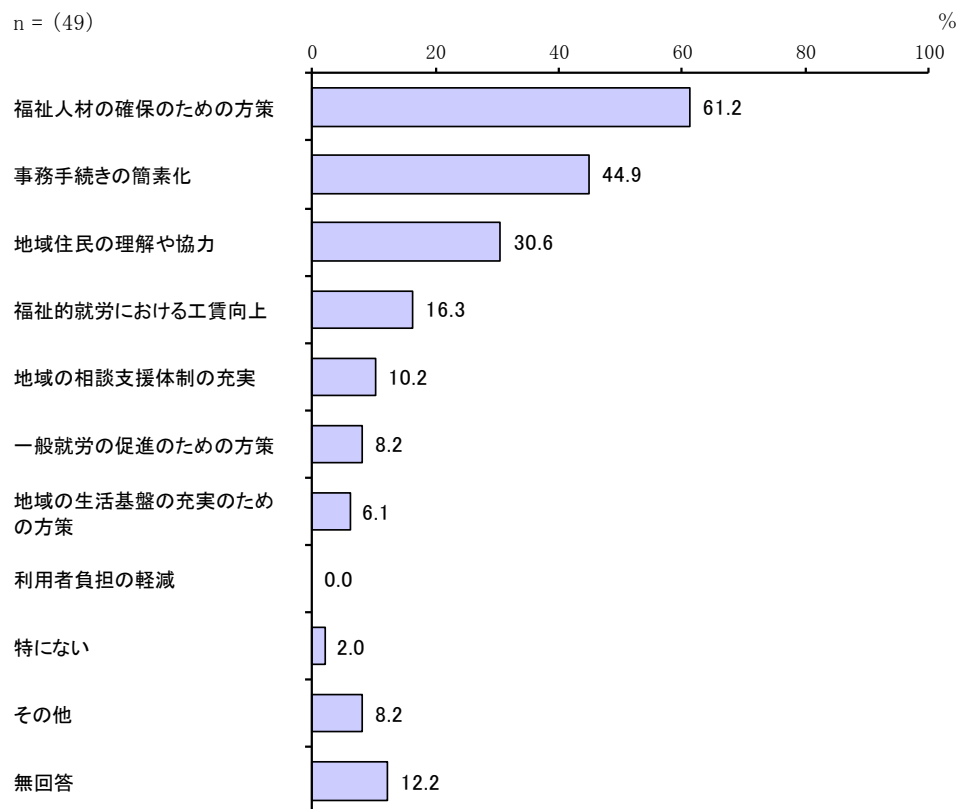
問 32 新規サービスに参入する上で課題となることは何ですか。参入の予定がない事業所の方も、参入を想定した場合の課題をお答えください。（○は2つまで）

「新たな職員の確保」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「障害に対応できる職員の能力育成」の割合が 28.6%、「収益性の確保」の割合が 24.5%となっています。



問 33 今後の障害福祉施策の充実に向けて、どのようなことが必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

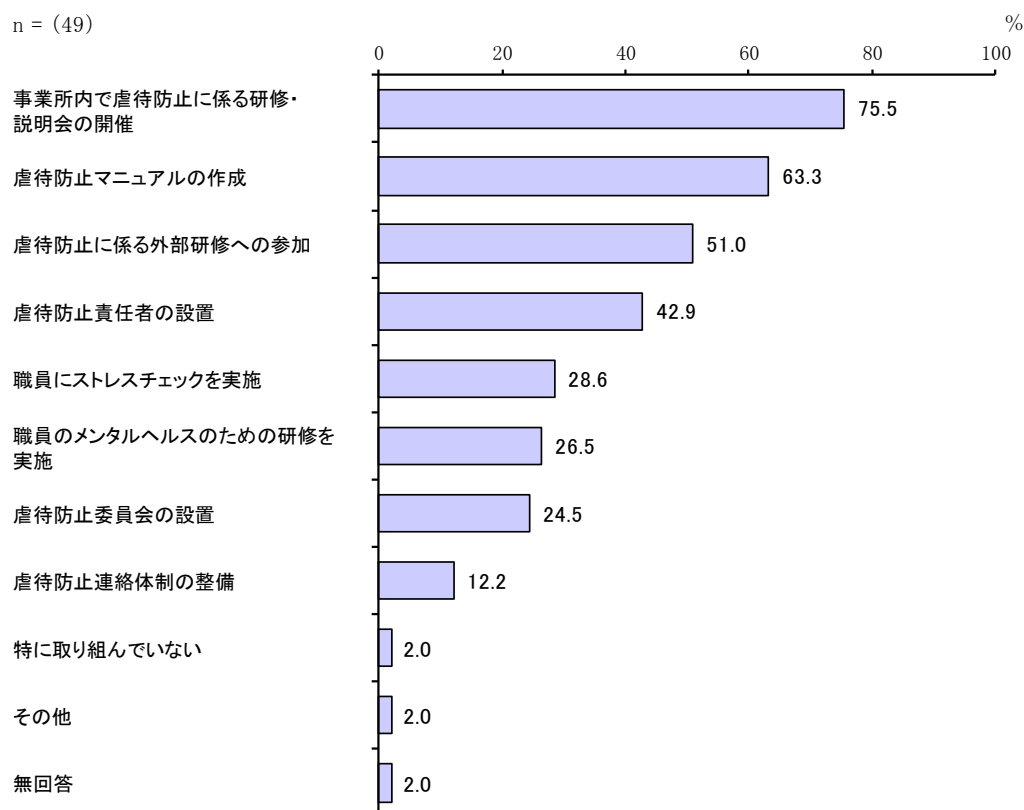
「福祉人材の確保のための方策」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「事務手続きの簡素化」の割合が 44.9%、「地域住民の理解や協力」の割合が 30.6%となっています。



#### (4) 障害者の虐待防止について

問 34 貴事業所では虐待防止対策についてどのような取り組みをしていますか。  
(○はいくつでも)

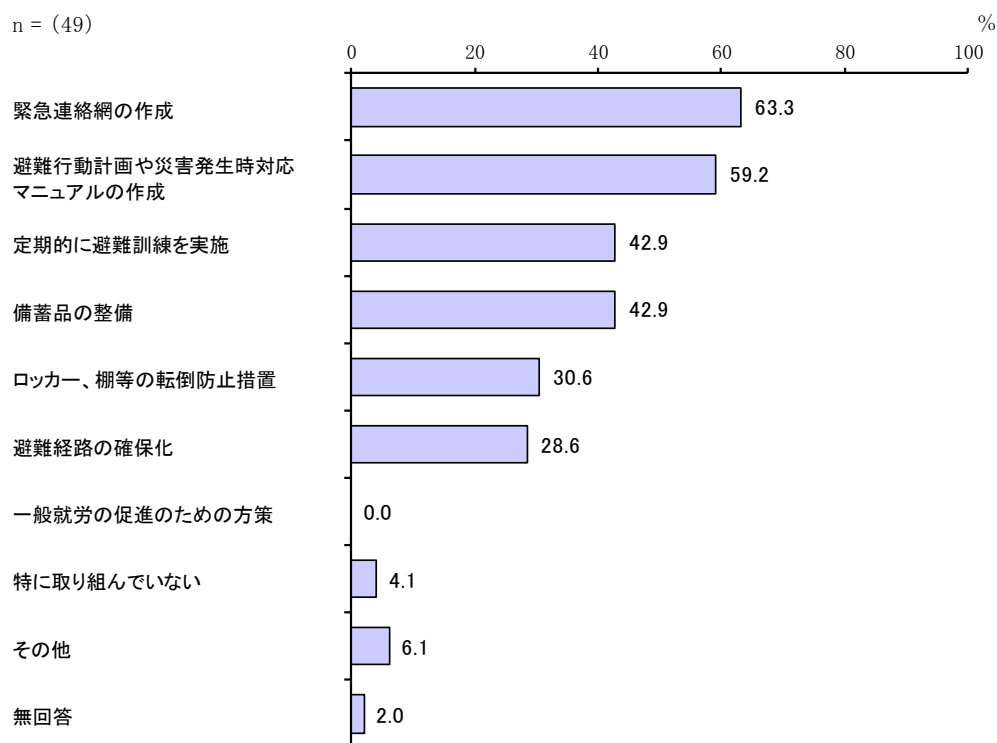
「事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催」の割合が 75.5%と最も高く、次いで「虐待防止マニュアルの作成」の割合が 63.3%、「虐待防止に係る外部研修への参加」の割合が 51.0%となっています。



## （５）災害時の対策について

問 35 貴事業所では災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか。  
（○はいくつでも）

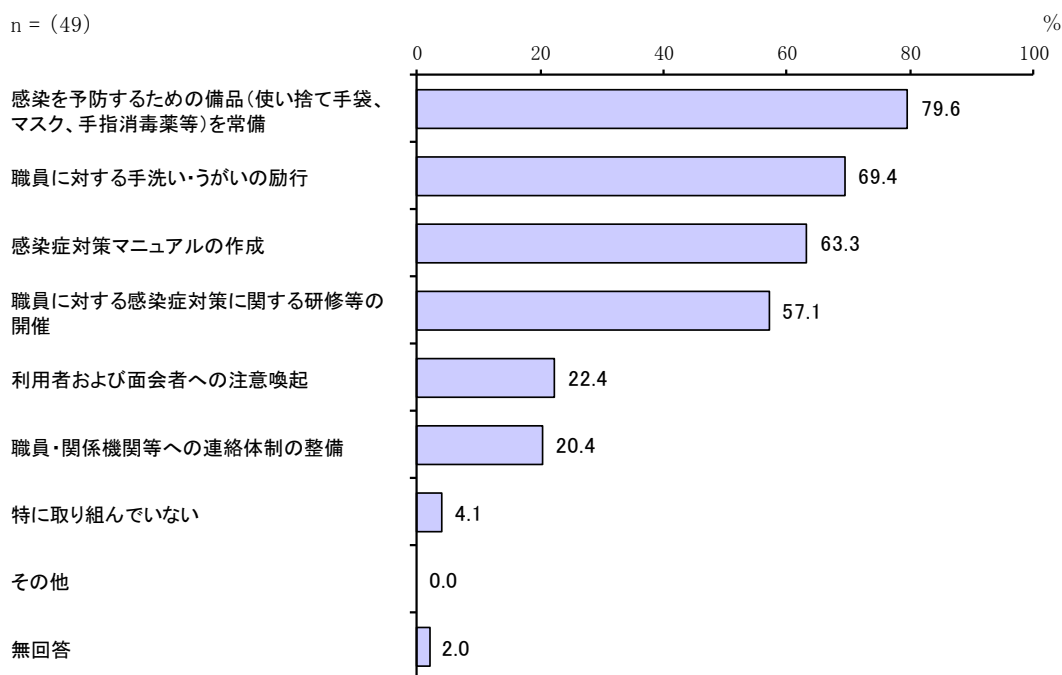
「緊急連絡網の作成」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「避難行動計画や災害発生時対応マニュアルの作成」の割合が 59.2%、「定期的に避難訓練を実施」、「備蓄品の整備」の割合が 42.9%となっています。



## （６）感染症対策について

問 36 貴事業所では感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。  
（○はいくつでも）

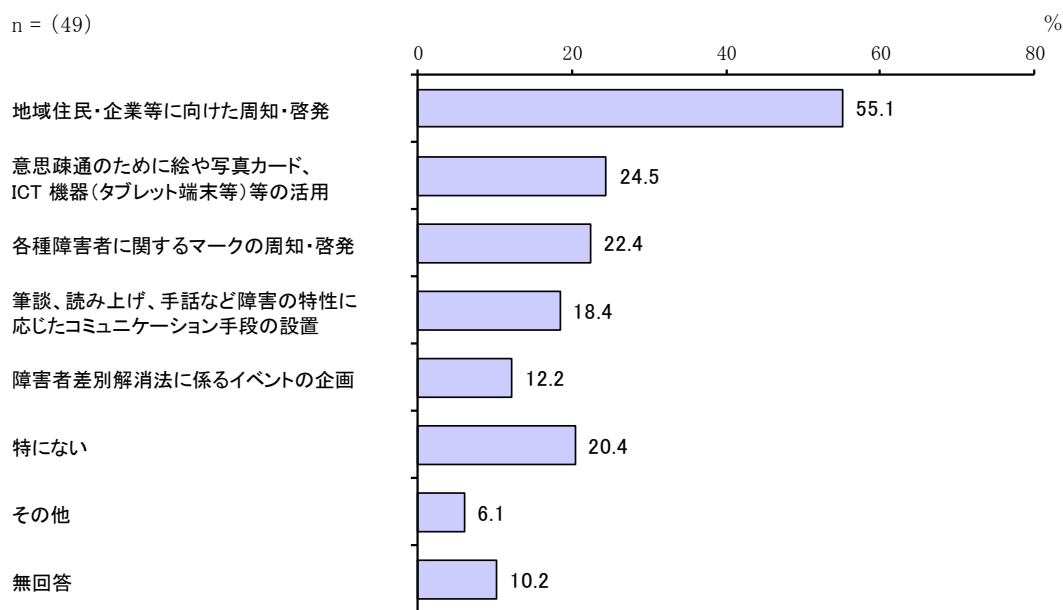
「感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等）を常備」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「職員に対する手洗い・うがいの励行」の割合が 69.4%、「感染症対策マニュアルの作成」の割合が 63.3%となっています。



## （７）障害者の差別解消について

問 37 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なことは何だと思われますか。（○は3つまで）

「地域住民・企業等に向けた周知・啓発」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「意思疎通のために絵や写真カード、ＩＣＴ機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が 24.5%、「各種障害者に関するマークの周知・啓発」の割合が 22.4%となっています。



## (8) 自由意見

### 問 38 障害福祉に関するご意見やご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 12 件の意見・要望がありました。

#### ◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

制度はいろいろできてきたが、それをしてくれる人材が不足している。また、グループホーム等の建設を反対する地域もあると聞きました。障害者への理解がまだまだ進んでいないこと、ヘルパーの仕事が 3 K と思われること、ボランティアをする人たちが少なくなっていることなど、人材確保がとても難しくなっています。給料も処遇改善加算等で加算は増え、給料も上がっていますが、いつなくなるのかわからないため、将来への不安があります。企業を希望する学生が多く、福祉の方に流れる人材が少なくなりました。安定感とやりがいのある仕事であると思える施策をつくり、社会に浸透できるとよいのですが。

職員の設置基準が小さい事業所では確保が厳しい点がある。兼務の緩和をお願いします。

障害者のわがままや無茶な要求が多く、対応が困難なことがかなりある。そのような時にどう対処すべきか、よい指導書がほしい。

同じ職場で働く中で職種（相談支援専門員など）により待遇改善が行われていないのは不当。精神的な負担も大きいのは相談と考える（独立しやすいため）。管理者（職）も同様。同じ職場であれば支援を行うことが必然であり、責務との反比例となっている。〔利用計画作成者への報酬が高いと思う〕介護保険のケアマネ業務と同じ役割とは思いますが、現実にはただ名前だけとなっている担当者が多い。更新等も現場のヘルパーが主となり行っているのは以前とかわからない。しっかり実地指導を行ってほしい。

受給者証の更新時、役所での遅れを改善してほしい。利用者さんや家族がスムーズに申請しているのに、事業所で請求エラーになる。次月に請求すれば問題ないと思わないでほしい。小さい事業所は収入が無くて困る月が今年は多かった。

- ・業種全体にいえませんが人材確保が難しい。
- ・報酬が低いので、事業を維持するの困難。例としてパソコンを Windows 7→Windows10 にする費用の工面が大変。結果として我々は「働き方改革」の対象外となっているように思える。
- ・こういうアンケートがたくさんくるが、厚労省からくるのは国保連や市町村データでわかりそうなものばかりで困る。このアンケートは有意義でしたが。

障害者（利用者）だから何を言ってもよい、何をしてもよい（暴言、暴力）と考えている人への罰則・規制がなければサービスを行う側の人間が苦しみ、トラウマをかかえ、病気になってしまう。差別をなくす、平等もよいですが、障害者ということを盾に何をしても許される、強制力もないことの方が問題だと考えます。事業所、職員を大切にしてほしい。

精神疾患に対する行政、地域の取りくみが（位置づけ）やりづらい。トラブルが起きた時、現場で責任を負うにはリスクが重いのでは。

アンケート記入する時間がないくらい大変です。職員は求人出しても 1 年以上面接すらしていません。

職員の人数など基準（加算）がきびしい。

十分な収入が得られる仕組みとなっていないため、十分な人材の確保や十分な研修、十分な設備用具の確保が難しい。利用者を増やし、少ないスタッフで対応しないとやっていけないため、質の向上が望みにくい。利用者もちょっとした理由でキャンセルすることが多く、経営を困難にさせている。

福祉業界への人材の流入するような施策があればと感じます。人材をより確保したい所です。



### Ⅲ ヒアリング調査

---



## Ⅲ ヒアリング調査

### 1 調査の概要

千葉市内の障害者団体・障害者施設等を対象にヒアリングを行いました。

対象団体に事前に調査票を配布し、ヒアリングの当日に代表の方に会場に来ていただいて、調査票の記入内容を中心にお話を伺いました。

なお、「ヒアリング調査における意見等」では複数の団体からの重複する意見の集約を行い、まとめごとに見出しをつけました。

### 2 調査における意見等

#### （１）医療機関への受診等について

##### 【医療機関】

- ・医療従事者の障害についての理解が不足しているように感じる。それぞれの障害特性に応じた合理的配慮をしてほしい。また、医療機関（トイレや駐車場を含む）のバリアフリー化を進めてほしい。
- ・大人の重症心身障害者やてんかんのある知的障害者を診られる医師が少ないので、成人になっても小児科で診ていただいていることが多い。小児科から内科等へつないでほしい。
- ・医療機関の受診や検査ができないために、重篤な病気になることのないよう、知的障害や発達障害のある方が定期的な健康診断を受けやすいように工夫をしてほしい。
- ・精神障害のある方の退院後の通院にあたり、医師だけでなく、看護師、施設スタッフ、患者（家族）などとも打ち合わせをし、生活面も含めて連携をとって対応してもらいたい。

##### 【障害福祉サービス】

- ・障害福祉サービス事業者が医療的ケアに対応する人材を確保してからも、活動できるまでの手続きが複雑で時間もかかるので、簡略化できるとよい。
- ・定期通院以外の受診には、通院等介助が利用できず、グループホームが対応しようにも、世話人は1人しかいないので、対応ができない。グループホームに残る方、外出する方と分かれる場合など、人を多く配置する必要がある際、そこを補う仕組みはできないか。
- ・通院等介助は、医師とのやり取りなど、ヘルパーが必要だと思う支援も提供範囲外であり、提供範囲や報酬体制の制度も煩雑で分かりづらい。ヘルパーの院内介助について認められないか。
- ・救急搬送の際の視覚障害者の入院手続きや入院準備の介助のため、緊急時にガイドヘルパーを派遣していただきたい。

## （２）家族や介護者について

- ・高齢の親の介護と障害のあるこどもの両方の面倒を見なければならない時も、主たる介護者に代わりがいない。
- ・他害等の行動障害により、施設からサービス提供を断られてしまうケースもある。施設や家族に対して構造化（発達障害のある方が自立して行動できるようにする支援方法で、視覚的にわかりやすく提示することなどがある。）などについて外部の有識者の導入や、改装についての金銭的補助等を行うことはできないか。
- ・親子で引きこもりになっている場合や親が隠してしまっていて民生委員なども分からない場合がある。ピアサポートが有効である場合もあるが、引きこもり状態になっている場合の有効な手立てが見つからない。
- ・高次脳機能障害は、自分では頑張っているのに、家族からもっと頑張るように声をかけられてしまい、家族にも理解してもらえないので、家族に対して、高次脳機能障害の理解促進を図ってほしい。

## （３）相談や情報入手について

### 【障害の理解】

- ・未就学児においては、何よりも保育園、幼稚園の身体、知的、発達障害への理解が必要と感じる（学校の教員においても同様）。

### 【地域とのつながり】

- ・町内の地域の行事で障害福祉サービス事業者・介護保険サービス事業者と区役所がつながっていると、市や相談支援等の機関を通さずに地域の困りごと（困っている人）と事業所がつながる例もあるので、福祉や介護の皆さんが少しずつ地域に出ていくとよいのではないかと。

### 【相談先や情報入手について】

- ・各特別支援学校の親の会等にも協力を求め、どこかのネットワークに入れてなくて、全く情報が入ってこない状態をなくすように発信をしてほしい。
- ・ヘルパー事業所同士の横のつながりが十分ではない。事業所同士の相談がしやすい仕組みを作ってほしい。
- ・民間のイベントでも聴覚障害者が来ることがあらかじめ分かっているならば、手話通訳者や要約筆記者の用意をすることになると思うが、主催者がどこに相談するとよいのかわかるようなホームページなどがあるとよい。
- ・千葉リハビリテーションセンターが支援拠点として高次脳機能障害の診断・入院・日常生活訓練、就労支援等一貫した支援をしているので、連携をとって支援を充実させてほしい。
- ・療育をしている親に対して、ペアレントトレーニングやペアレントメンターを進めてもらいたい。

## （４）暮らしについて

### 【住まい】

- ・視覚障害者や聴覚障害者に配慮したグループホームや介護施設等の設置を検討していただきたい。
- ・利用者の高齢化や家族の高齢化に伴い、在宅の生活が困難になった場合に、障害支援区分の高い方や年齢を重ねた利用者でも入居することができるグループホームを整備してほしい。株式会社等のグループホームへの参入があるが、障害支援区分の低い方（支援区分４未満）を対象にされていたり、自閉症など発達障害のある方の入居が困難であったりする。
- ・重症心身障害児（者）の介護は体力的に難しいので、家の改造よりも安心できる入所の施設を考えてほしい。
- ・親亡き後の少し前の段階で、老齢の親が、子が入所する施設と同じ敷地内の施設で暮らせると楽しいだろうと思う。
- ・親亡き後の支援について、重症心身障害者の場合、急変する事が多く、医師・看護師が常駐している施設でないと無理だと思う。

### 【外出支援】

- ・入所支援利用者はヘルパー費用が実費になってしまい、年金だけでは自由に外出ができないので、入所支援利用者にも移動支援を認めてほしい。
- ・障害福祉サービスでは移動支援が通院・通勤等で受けられない。高次脳機能障害や失語症者は道を忘れる、地名が読めない等の障害から、安全面で不安があるため、外出の際はどこに行くにも付き添わなくてはならない。移動支援の限定的な適用等をお願いしたい。
- ・住宅改造や引っ越しも経済的にできない場合もあり、車いすの階段昇降は外出や送迎の際に大きな負担となっているので、階段昇降について、マンパワーの確保などが必要。

### 【バリアフリー】

- ・ノンステップバスは乗り降りが便利だが、料金を支払う位置が高い。
- ・バスの行き先案内の車外放送が始発の駅前などだけで途中のバス停では実施されないので、視覚障害のある方は困る。車外放送などは義務にしてもらいたい。
- ・視覚障害者用に住宅街にも押しボタン式でよいから音の出る信号機がほしい。ボタンを押せば青か赤を知らせてくれるだけでもよい。シグナルエイドを活用するのもよい。
- ・聴覚障害のある方は、駅で電車が止まった場合などに情報を得られず困っている。また、ＡＴＭや無人駅などでトラブルに遭った時に電話相談しかできないのでは困る。
- ・ユニバーサルベッドの普及を望む。
- ・公園の公衆トイレに洋式が少ない（特に男性用）。てんかん発作のある当事者の場合、転倒する危険があるため、和式のトイレは使用できず、体幹が弱い人は和式トイレにしゃがむことができない。市の施設でも和式トイレがたくさんある。多目的トイレも１か所しかないのでは、使えないことがある。

## （５）災害対策について

### 【避難誘導】

- ・視覚障害や重度の障害がある方など、自身や家族だけでは対応できない方がいる。自力避難が困難な状況における共助が機能するかどうか不安がある。
- ・重症心身障害児（者）の家族は、薬の予備を１か月以上持つように心がけている。飲料水の買い置き。最寄りの一次避難所の場所を把握し、足を運び、入り口や段差を見ておく。そのような備えを日頃からしておくとうい。

### 【指定避難所・拠点福祉避難所】

- ・災害時の避難所は小・中学校の体育館であるが、バリアフリー化（オストメイト対応トイレなども含め）が進んでいないのではないかと不安。
- ・医療的ケアがあるので電源が必要。場合によっては医療機関に避難したい。そのような希望や情報提供の窓口があるとよい。
- ・重症心身障害児（者）は、一般の方と一緒に避難所では、介護が困難だと思う。オムツ交換・医療的ケア・感染予防、季節によっては体温調節などできる環境の避難所を考えてほしい。自宅に留まることも考えるが、火災が心配。
- ・重症心身障害児（者）など、避難所や福祉避難所で過ごせないことがあらかじめわかっている方は、拠点福祉避難所に直接向かってほしいシステムをつくってほしい。事前にある程度把握できれば、必要な援助物資も集中的に投入でき効率的ではないか。
- ・言語でコミュニケーションをとることが困難な方々のために、地域の避難所等の受付で「コミュニケーション支援ボード」を利用していただけるように、周知をしていただきたい。
- ・広い体育館で、自閉症の方が落ち着くのは難しいと思うので、衝立でスペースを区切ったり、動線をわかりやすく表示するなど工夫をしてほしい。
- ・福祉避難室のスペースが各避難所で足りるのか心配している。

### 【避難訓練等】

- ・口頭での支援希望も大切であるが、重度の方こそ避難訓練に参加し、その際に感じた問題点を担当部署へ申し出て、早目に解決をしていただく。そのためには身近なところでの訓練の数を増やしてほしい。加えて訓練の日時、場所のPRに努めていただきたい。
- ・自閉症の方など、要援護者リストだけでは配慮してほしいこと、支援をしてほしいことがわからないので避難所運営委員会などと打ち合わせが必要だと思う。ヘルプカードを見てもらうだけではわかってもらえないと思う。

### 【障害福祉サービス】

- ・ヘルパー中に災害が起きた場合、一人で判断することに不安を感じる。避難の際にヘルパーがどこまで責任を負わなければならないのか、どこへ避難させるべきなのか、その手段はどうしたらいいのかなどの課題があるので、これぐらいは用意をしてほしいというような基準などがあるとよい。
- ・災害に備えて、相談支援専門員とサービス調整会議などで話し合いをする機会があったほうが良い。

### 【自宅避難、車中避難、在宅支援】

- ・家で備蓄品が不足した場合、避難所に取りに行きたいので、ラコール（経口できる栄養剤）や粉ミルクの備蓄をしてほしい。
- ・在宅避難や車中泊をする方にも支援が届くよう配慮をしてほしい。
- ・ストマ装具の預かり事業について、ストマ装具の購入助成の申請時などに市からの案内を入れていただきたい。
- ・独居の聴覚障害者は、声かけに来てもらっても、ブザー（呼び鈴）が聞こえない心配がある。日常生活用具の聴覚障害者用屋内信号装置の助成対象を3級くらいまで拡大してほしい。
- ・透析患者は、災害時には自身で病院に掛け合わなければならない。市として情報をまとめてもらえると、非常に助かる。医師会や病院同士の協力はあると思うが、行政も協力してもらいたい。

## （６）療育・保育について

### 【障害児通所支援等】

- ・医療的ケアの必要な児童は命に関わるリスクが高いため、児童の医療的ケアについての研修などを定期的に行っていただけるともう少し事業所が積極的に引き受けできるのではないかと。
- ・早期の療育は、将来にわたって本人の地域生活で暮らす力を育むために有効であるということをもっと周知してほしい。
- ・発達障害や生きづらさを抱えている人への合理的な配慮は、他の方への合理的な配慮になるという視点についても、合わせて伝えてほしい。

### 【保育園・幼稚園等】

- ・保育園や幼稚園での気になる部分の気づきが、例え未就学中に解決する程度のものであっても、結果的にその子の将来のためになるという意識のもとに、連携を強めてほしい（相談にも通じる話であるが）。
- ・幼児期、住んでいる場所で健常児と一緒に保育を受けさせたい。
- ・保育園の担任が毎年変わり、指導が一貫されず、できることもできなくなってしまった。保育士向けに、障害について勉強、相談できる機会を作してほしい。

## （７）学校教育について

### 【障害福祉サービス等】

- ・生活介護事業所など、卒業後の行き先がなく、保護者には危機感がある。重症心身障害児者の方は特に足りていない。医療的ケアが必要な方も増えている。
- ・学校の送迎にも移動支援が利用できるようにならないだろうか。

## 【学校】

- ・発達障害のお子さんも多くいるので、情緒学級の拡大などが必要。
- ・現在通級指導となっている発達障害や情緒障害で、知的や身体の障害を抱えていないが、集団生活への適応に困難を抱えているお子さんの対応を、特別支援学級と同じく学校ごとにおいてほしい。適切な対応がとられることで、学齢期、特に思春期に二次障害にならないことは、地域社会で暮らしていくためにも非常に重要と考える。
- ・重度のこども達でもコミュニケーションなどのできることの幅が広がる可能性があるため、ICT機器活用の学習を推進できないだろうか？
- ・吸引や経管栄養が必要な重症心身障害児も、地域の学校や兄弟と同じ学校に通わせたい。
- ・学校生活で、自閉症のある子どもが主体的に活動するには、構造化が不可欠なので、その指導を広めてほしい。

## 【ヨコの連携】

- ・学校教育と障害福祉の連携をどのように構築していくのが障害のある方々にとっては大切なことですが、この連携が困難な現状があります。

## （８）就労について

### 【一般就労】

- ・重度障害がある方の場合、自力での通勤、業務中に介護が無いことが採用の条件になっており、能力がある方であっても就労できない。ICTの活用と在宅就業の拡大で、誰もが働ける社会になってほしい。
- ・障害者への理解、合理的配慮の周知。あたたかい目で見守ってくれる人がいることで仕事のつまずきが解決され、就労が長続きできるようになる。
- ・就労定着のためには、周りの社員への合理的配慮の啓発、構造化された環境づくりが必要。また、面接を頻繁に行い、早い段階で問題を発見して、対応することが重要。

### 【障害福祉サービス】

- ・重度障害がある方の場合、ヘルパーが使えると就労が可能な方もいるので、さいたま市のようにご検討を頂けるとありがたい。
- ・通所、通勤、通学について、会社、事業所、学校、家族の負担感が強く、食事を取ってからの移動など、外出支援への依頼が非常に増えてきている。しかし、障害福祉サービス事業所からすると、長時間拘束（訪問介護においては、支援から支援の間も待機時間と考える必要があるため）になる割に、入ってくる報酬が低く、さらに開始場所と終了場所が変わることで、交通費が別に発生するなど、経費も無駄にかかり、対応しづらい。もし、対応を可能とするのであれば、市内の移動であっても訪問料を発生しても良いとするなど、報酬以外の部分についても考慮してほしい。

## （９）日中活動・運動スポーツ・生涯学習について

### 【共通】

- ・成人期では保護者が行かなくても参加できる活動があるとよい。
- ・講座に参加するにも情報保障が必要。

### 【運動スポーツ】

- ・保護者が高齢の方、仕事を持っている方、いずれも休日があっても外出に付き添う事ができない、楽しみをなかなか作ってあげられない現状があるため、日帰りの外出は喜ばれている。体力維持、増進及び成人病予防にもなるようなストレッチ、運動不足解消の体操や簡単なボール運動など喜ばれている。
- ・スポーツ施設の利用がしづらい。異性親子でも更衣室として利用できるスペースや発達障害や知的障害のある方も利用しやすいロッカーなどがあると良い。
- ・知的障害のある方は公園の遊具が利用しづらい。施設での外出など、集団で利用する場合はまだよいが、親子では遠慮して利用しづらいと思う。

### 【文化活動ほか】

- ・知的障害などがあり、楽譜が読めない方向けに、楽器演奏ができる場があるとよい。
- ・プラネタリウムや映画などに、うるさくしても大丈夫な企画があるとよい。
- ・生涯学習について、小さい頃から継続していつている場合には問題ないだろうが、大人になってから新しく何か講座に行こうというのは、こどもの意思もはっきりしてきている中で難しく思う。普段から行っている生活介護や就労継続支援B型事業所が行ってくれると行きやすいと思う。

## （10）将来について

### 【親亡き後を見据えた支援】

- ・地域の方にもっと施設を訪れていただき、施設と利用者を知ってもらう機会があるとよい。
- ・親亡き後を見据えて、あらかじめ親亡き後に望むことなどは記録として残していただけると、成年後見人等も参考にできると思う。
- ・精神障害の「親亡き後を見据えた支援」はかなり不足していると感じています。「心の支え」がないと自立はできないので、悩んでいます。成年後見制度は市の方では力を入れているようですが、心の支え（自立）がなければ活用はできません。
- ・計画相談のシートの中に親亡き後の支援の項目も作って相談しやすくしてほしい。相談員とのモニタリングの際に、将来の心配があると話すと、計画相談の中にも、親亡き後の内容も記載いただけるが、相談員の方から聞いていただけると相談しやすい。

### 【発達障害者への支援】

- ・二次障害を発症しないために早期療育が重要である。自閉症児とその家族が、適切な環境で、不安なく暮らせるよう、支援してくれる療育機関が増えることを希望する。
- ・行動障害のある人への支援について、受け入れる側のガイドラインを周知することで、双方が安心して暮らせる環境づくりをお願いしたい。
- ・将来、障害当事者の兄弟が親に代わって支援をすることについて不安がある。
- ・「発達障害」、「重度障害」について理解度が増えてきたものの、日中活動、居住する場所については不足しており、当事者や家族とともに考えて頂きたい。

### 【重度の障害のある方たちへの支援】

- ・重度の障害のある方たちへは、家族、医療、教育を含めた多面的な支援が必要と考える。
- ・親亡き後はとても心配。重度障害で一人では何もできないこどもの入所施設がないこと、また地域で暮らすと言われても親の元気な時にしか通所施設に連れていけない。通所施設の送迎がいつばいで乗れない場合、移動支援などの利用を拡大してほしい。
- ・グループホームで24時間切れ目なく支援を受けられるためには、居宅介護の給付量を増やしてヘルパーさんが常にいる状態にしていなければならない。
- ・親が動けるうちにわが子の終の棲家を整え、支援者に引き継いでいきたい。医療的ケアのある重症心身障害者は医療型入所施設が必須なので増やしてほしい。
- ・呼吸器系のような重度の医療的ケアが必要な障害に対応できる場所は少ない。

## （11）障害のある人に対する理解度

### 【障害の理解】

- ・社会モデルから見た際の「障害」についての理解をもっと深めてほしい。社会側の「障害」をなくすことは、障害者のためではなく市民全体の生活の利便性を向上するという発信をお願いしたい。
- ・教育との連携により、こどもたちのような若い世代に障害のある人への啓発を行いたい。

### 【差別】

- ・中途失聴・難聴者は話すことができるので、情報保障が必要だと気付いてもらえず、当事者は差別とを感じるが、相手は気づいていない場合があると思う。

### 【合理的配慮】

- ・失語症者の意思疎通支援策（失語症会話パートナーの派遣）を早急に実施してほしい。
- ・合理的配慮に関しては、「ヘルプカード」が普及すること、誰もが「ヘルプカード」を理解していただけることで、利用者が地域で過ごしやすくなることと思われます。
- ・こどもの急な入院で仕事を休むときなど、障害者の家族に対する配慮を会社にもお願いしたい。
- ・外出先でもバリアフリーのみではなく、障害のある方への合理的配慮があれば、と感じることが多いです。昨年度、千葉県・千葉市が中心となり、「ヘルプカード」の普及に努めてくださいましたが、この「ヘルプカード」のより広い普及に期待しているので、単年度の取り組みではなく、継続的な取り組みをしていただきたい。

## (12) サービス利用について

### 【障害福祉サービス等】

- ・相談支援事業所の相談支援専門員数が不十分である。
- ・外出支援への依頼も非常に多いが、現在の報酬体系では居宅との報酬格差がどんどん広がっていき、外出支援を受けてくれる事業所が減ってきている。
- ・短期入所がいっぱいで受入れが難しいので、家族の緊急時などに在宅生活が継続できるようにヘルパー派遣のコーディネートが必要です（研修や連携の必要あり）。
- ・緊急の場合に対応していただける相談支援事業所・短期入所事業所・居宅介護事業所等の充実が必要です。
- ・週末の移動支援を新規にお願いしたくてもなかなか受けてくれる事業所がない。また、土日に移動支援を実施している事業所も少なく、利用できない状況にあるが、事業所を増やすにも人材確保が難しいと思うので、グループ型の移動支援ができるとありがたい。
- ・精神障害者についての宿泊型自立訓練の事業所が少ないと思う。グループホームに入る前や、一人暮らしを始める前に、訓練ができると非常に良いと思っている。
- ・短期入所の事業所も日中は対応できるが夜は体制が整わないといった場合もあるので、短期入所の利用中に訪問看護を利用できるようにするだけでも、普段在宅で訪問看護を受ける際と同じように保護者が不在のときに対応できると思う。
- ・身体障害のグループホームは知的障害、精神障害に比べ介護量が多く、人員配置もより必要になる。運営費、人件費との兼ね合いで運営に課題があると思われる。身体障害のグループホームはこういった理由もあって増えない。介護の負担は障害別で違うことを理解してほしい。どこに加算というのは難しいかもしれないが、加算があれば広がるかもしれない。
- ・身体障害者に医療的ケアのニーズが増えている。元々施設を始めた時には重症心身障害者の方を見る想定でなかったところが、医療体制を持つ必要が出てきているので、体制を確保することへの支援が必要である。看護師を置く加算をつけていただきたい。

### 【在宅支援】

- ・ベッドとの移乗や入浴介助のリフトはとても高額なため、重症心身障害児（者）の在宅支援として、天井走行リフトのモーターなど福祉機器の助成拡充をお願いしたい。
- ・視覚障害者に対する代筆・代読の支援をしてほしい。
- ・人工内耳の電池交換について助成してほしい。
- ・ストマ装具の補助について、便の状態や購入している装具によって異なるため、人によって違いがある。金額的に苦しく、増額をしてほしい。
- ・オストメイトにとって、便座はとても重要なものなので、自宅で使用する便座（前広便座）の補助（日常生活用具給付）とトイレの改修工事（住宅改修）について、重度の障害者以外も利用ができるようにしてほしい。

(13) 障害者施策について

(14) 自由記述欄

それぞれ、他の項目と関連する意見が多かったことから、関連する項目に意見を統合した。

資料編

---



資料編

1 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査

在宅の方

千葉市障害者生活実態・意向調査  
アンケートへのご協力をお願い

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ申し訳ございませんが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、障害者手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの方の中から無作為抽出、無記名郵送方式で回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としての活用し、その他の目的で使用することは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようお願いいたします。

令和元年12月

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課

調査票の記入について 【ご記入に当たってのお願い】

- ・封筒のあて名ご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ・ご本人が病状や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介護者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ・回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設備もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ・この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和2年1月6日（月）までにポストに投函してください（切手は不要です）。

お問い合わせ先 千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
〒260-8545 千葉市 中央区 稲毛区 美浜区  
電話 043-245-5175 F A X : 043-245-5549

1 回答者について

問1 この調査票で回答いただくのはどなたですか。（○は1つ）

1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方
2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
3. 施設購買の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
4. その他（ ）

2 ご本人について

問2 あなたの性別をおたずねします。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

（ ）歳

問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。（○は1つ）

1. 中央区
2. 花見川区
3. 稲毛区
4. 若葉区
5. 緑区
6. 美浜区

問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（○はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。）

1. 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
2. 療育手帳（㊶ ㊷の1 ㊸の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2）
3. 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している
5. 手帳も持っていないし、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない

問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。（○はいくつでも）

1. 肢体不自由
2. 音声・言語・そしゃく機能障害
3. 視覚障害
4. 聴覚・平衡機能障害
5. 内部機能障害（免疫機能障害を含む）

問7 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

(1) 国が指定する特定疾患  
(別表で該当する疾患の番号を記入してください。番号はいくつでも。)

一覧表を別紙で同封

(2) その他の難病

(病名をお書きください)

問8 あなたは医師から高次脳機能障害と診断されたことがありますか。(○は1つ)  
※高次脳機能障害とは、病気や事故など、様々な原因で脳が部分的に損傷を受けたことにより生じる言語や記憶などの障害です。

1. 診断されたことがある 2. 診断されたことはない

問9 【問8で診断されたことがある(1番)に○をつけた方におたずねします。】  
あなた(ご本人)が障害を負った原因は何ですか。(○は1つ)

1. 脳血管疾患(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血) 2. 脳外傷  
3. 脳炎・伝染性脳脊髄炎 4. その他

### 3 医療機関への受診状況について

問10 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

1. 障害や疾病では受診していない  
2. 一時的に受診したが、入院はしていない  
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない  
4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合含む)  
5. 1年間継続して入院していた

問11 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等(かかりつけ医)はいますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない

問12 【問11で身近な医師等(かかりつけ医)がいると回答した方におたずねします。】  
その医療機関はどのようなものですか。(○はいくつでも)

1. 診療所(〇科、〇〇クリニック、〇〇医院など)  
2. 総合病院・大学病院等の専門の診療科  
3. 通所している施設等での診察  
4. その他

問13 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(○はいくつでも)

1. 吸引 2. 吸入 3. 経管栄養  
4. 中心静脈栄養 5. 導尿 6. 在宅酸素  
7. ネブライザー 8. 咽頭エアウェイ  
9. バルブオキシメーター 10. 気管切開部の管理(ガーゼ交換等)  
11. 人工呼吸器の管理 12. 人工肛門、人工膀胱の管理  
13. アルツハイマー病等の認知症への対応  
14. インシュリン注射 15. 人工透析  
16. 服薬管理  
17. その他  
18. 受けていない

問14 【問13で1～17番に○をつけた方におたずねします。】  
医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。(○はいくつでも)

1. 家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族) 2. 医師  
3. 看護師 4. ホームヘルパー  
5. その他 6. 特に相談していない

問15 【問13で1～17番に○をつけた方におたずねします。】  
現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 自分自身 2. 家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)  
3. 医師 4. 看護師 5. その他

問16 障害者総合支援法に基づき障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害のある方について、介護者の病気やその他の理由により、介護が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

(1) あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

(2) あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。(○は1つ)

1. 感じている	2. 感じていない	3. わからない
----------	-----------	----------

問17 あなたの「医療」についておたずねします。

あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。(○はいくつでも)

1. 市内の歩いていける場所	2. 市内の歩いていけない場所
3. 県内の市町村（千葉市以外）	4. 東京都内
5. その他（具体的に：（都道府県）（市区町村））	
6. 特に通院していない	

#### 4 家族や介護者について

問18 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

1. 母親	2. 父親	3. 兄弟姉妹
4. 祖父母	5. 配偶者	6. 子ども
7. その他の親族	8. 施設（グループホーム等）で暮らしている	
9. ひとり暮らし	10. その他（	）

問19 あなたへの介護について、主な介護者はどなたですか。(○は1つ)

1. 母親	2. 父親	3. 兄弟姉妹
4. 祖父母	5. 配偶者	6. 子ども
7. その他の親族	8. ホームヘルパー	9. ボランティア
10. 介護は受けていない	11. その他（	）

問20 【問19で主な介護者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介護者の年の年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
		7. 70歳以上

問21 【問19で主な介護者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介護者の介護継続年数をお答えください。(○は1つ)

1. 1年未満	2. 1年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満	4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満	6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上～30年未満	8. 30年以上

問22 【問19で主な介護者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介護者が困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 介護者自身の健康に不安がある	2. 介護者の高齢化に不安がある
3. 代わりに介護を頼める人がいない	4. 緊急時の対応に不安がある
5. 身体的な負担が大きい	6. 精神的な負担が大きい
7. 経済的な負担が大きい	8. 仕事に出られない
9. 長期の旅行や外出ができない	10. 休養や息抜きに時間がない
11. 特に困っていることはない	12. よくわからない
13. その他（	）

問23 主な介護者が、病気のときや外出をしなければならぬときなどは、代わりにどなたが介護していますか。(○は3つまで)

1. 同居している家族	2. 同居していない家族や親族
3. 近所の人や友人・知人	4. ボランティア
5. ホームヘルパー	6. 施設に短期間入所して介護を受ける
7. 介護してくれる人がいない	8. その他（

## 5 相談や情報入手について

問24 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありませんか。

（○はいくつでも）

1. 発達や心身の状態に不安がある
2. 行動上の問題への対応に困っている
3. 自分では身の回りの事が十分にできない
4. 自分や家族では家事が十分にできない
5. 健康状態に不安がある
6. 介助者（家族）の負担が大きい
7. 段差や階段など、住まいに支障がある
8. 外出するのに支障がある
9. 利用したい福祉サービスを十分利用できない
10. 収入や生活費に不安を感じている
11. 緊急時に支援が得られない
12. 近所の人などとの人間関係に支障がある
13. 将来の生活に不安を感じている
14. 療育・教育について困っている
15. 就労について困っている
16. 特に困っていることはない
17. その他（ ）

問25 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 同じ施設の入所者
5. 相談支援専門員・ケアマネジャー
6. 障害者相談支援事業所
7. ホームヘルパー
8. 施設等の職員
9. 施設等のボランティア
10. 施設等の第三者委員（苦情の受付窓口）
11. 医療関係者（医師・看護師など）
12. 障害者団体や家族の会
13. 学校の職員
14. 養護教育センター
15. 民生委員・児童委員
16. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
17. 保健福祉センター
18. 療育センター
19. 発達障害者支援センター
20. こころの健康センター
21. 発達障害者支援センター
22. その他（ ）

問26 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。

（○はいくつでも）

1. 近所で気軽に立ち寄れる相談
2. 休日や夜間など緊急時の相談
3. 専門性の高い職員による相談
4. 自分と同じ立場の人による相談
5. 定期的に訪問してくれる相談
6. フライバシーに配慮した相談
7. 特に希望はない
8. その他（ ）

問27 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。

（○はいくつでも）

1. 電話による相談
2. 電子メールやインターネットによる相談
3. ファックスによる相談
4. 手話通訳者・要約筆記者のサポートを受けられる相談
5. SNSによる相談
6. その他（ ）

問28 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。

（○はいくつでも）

1. ちば市政だより
2. 市のパンフレットなど
3. 障害者団体などの刊行物
4. 学校のお知らせ
5. 市のホームページ
6. 市以外のホームページ
7. SNS
8. 新聞・雑誌
9. テレビ・ラジオ
10. 施設や福祉サービス事業所
11. 医療機関
12. 障害者団体や家族の会
13. 民生委員・児童委員
14. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
15. 市の窓口
16. その他（ ）

## 6 あなたへの暮らしについて

問29 あなたのお住まいの種類の種類をお聞きます。（○は1つ）

1. 持ち家（戸建て）
2. 持ち家（集合住宅）
3. 民間賃貸住宅（戸建て）
4. 民間賃貸住宅（集合住宅）
5. 公営住宅
6. UR都市機構住宅（旧公団住宅）
7. グループホーム
8. その他（ ）

問30 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。（○はいくつでも）

1. 階段の昇降
2. 玄関・出入口などの段差
3. 風呂が使いにくい
4. トイレが使いにくい
5. 建物の老朽化
6. 家賃など住居費の負担
7. 特に困っていることはない
8. その他（ ）

問31 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（○は1つ）

1. 週4日以上
2. 週2～3日
3. 週1日くらい
4. 月2～3日
5. 月1日くらい
6. 2～3か月に1日くらい
7. あまり外出しない

問32 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（○はいくつでも）

1. 通勤・通学・通所
2. 訓練やリハビリ
3. 医療機関への受診
4. 買い物
5. 友人・知人と会う
6. 趣味やスポーツ
7. グループ活動
8. 散歩に行く
9. あまり外出しない
10. その他（ ）

問33 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。（○はいくつでも）

1. 鉄道
2. バス
3. モノレール
4. タクシー
5. 自家用車
6. その他（ ）

問34 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありませんか。（○はいくつでも）

1. 乗り降りが大変
2. 駅構内の移動・乗り換えが大変
3. トイレが使いにくい
4. 券売機が使いにくい
5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい
6. 駅員が少ない
7. 周りの人に手助けを頼みにくい
8. 周囲の目が気になる
9. 特に困っていることはない
10. 鉄道は使っていない
11. その他（ ）

問35 あなたは、バスを利用する際に困っていることはありませんか。（○はいくつでも）

1. 乗り降りが大変
2. バリアフリー未対応のバスがある
3. 案内がわかりにくい
4. 運賃の支払いが大変
5. 周りの人に手助けを頼みにくい
6. 周囲の目が気になる
7. 特に困っていることはない
8. バスは使っていない
9. その他（ ）

問36 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありませんか。（○はいくつでも）

1. 乗り降りが大変
2. 駅構内の移動・乗り換えが大変
3. トイレが使いにくい
4. 券売機が使いにくい
5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい
6. 駅員が少ない
7. 周りの人に手助けを頼みにくい
8. 周囲の目が気になる
9. 特に困っていることはない
10. モノレールは使っていない
11. その他（ ）

問37 あなたは、外出時に困っていることはありませんか。（○はいくつでも）

1. 歩道・通路の段差
2. 青信号の短さ
3. 歩道・通路の障害物
4. バスやタクシーなどの乗降
5. 建物の階段・段差
6. エレベーターの場所がわかりにくい
7. トイレの利用
8. 周りの人に手助けを頼みにくい
9. 周囲の目が気になる
10. 特に困っていることはない
11. その他（ ）

問38 外出先のトイレに望むことは何ですか。（○はいくつでも）

1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい
2. 男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせしてほしい
3. 絵文字表示を見やすくしてほしい
4. トイレの中を明るくしてほしい
5. トイレの中の段差をなくしてほしい
6. 点字ブロックをつけてほしい
7. 便器等の位置、向きを統一してほしい
8. トイレの中に手すりをつけてほしい
9. エアタオルをつけてほしい
10. トイレに十分な広さしてほしい
11. 緊急通報ボタンをつけてほしい
12. 特にない
13. その他（ ）

問39 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。（○は1つ）

1. よく利用する
2. 時々利用する
3. あまり利用しない
4. 全く利用しない

問39 【問39 で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |             |                |
|---------------------|-------------|----------------|
| 1. 散歩               | 2. 運動       | 3. 休息          |
| 4. 植物などの自然観賞        | 5. 食事       | 6. 公園を近道に使っている |
| 7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休息 |             | 8. 遊び場         |
| 9. イベント見学・参加        | 10. その他 ( ) |                |

問41 あなたは、障害者が安心して公園を利用して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 通路の幅を広げてほしい                             |
| 2. 手すりをつけてほしい                              |
| 3. 段差や急な坂をなくしてほしい                          |
| 4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい                   |
| 5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい                   |
| 6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい |
| 7. ベンチを増やしてほしい                             |
| 8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい                 |
| 9. 特に必要はない                                 |
| 10. その他 ( )                                |

## 7 災害対策について

問42 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(○はいくつでも)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 自分や家族だけでは避難できない      |
| 2. 自分では助けを呼ぶことができない     |
| 3. 近所に頼ることのできる支援者がいない   |
| 4. 災害に関する情報を得るのが難しい     |
| 5. 避難所の設備が被害に对应しているか不安  |
| 6. 避難所で必要な介助を受けられるか不安   |
| 7. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安 |
| 8. 薬や医療的なケアが確保できるか不安    |
| 9. 特に不安に思うことはない         |
| 10. その他 ( )             |

問43 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や義具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 1週間以上の備蓄がある    | 2. 4～6日分くらいの備蓄がある |
| 3. 1～3日分くらいの備蓄がある | 4. 備蓄していない        |

問44 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている                            |
| 2. 非常持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている                   |
| 3. 非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況にに応じて必要な医薬品、義具、食料等を用意している |
| 4. 避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している      |
| 5. 家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている               |
| 6. 自分の障害のことで緊急連絡先等を記載したカードを作成している                   |
| 7. 市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している             |
| 8. 家具に転倒防止器具を取り付けている                                |
| 9. 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている                           |
| 10. 災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている                      |
| 11. 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している                        |
| 12. 特にない  |
| 13. その他 ( )   |

問45 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(○はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい |
| 2. 災害の情報をわかりやすく伝えてほしい       |
| 3. 障害の種類や程度に对应した配慮をしてほしい    |
| 4. 地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい      |
| 5. 避難場所の情報を的確に伝えてほしい        |
| 6. 特に必要はない                  |
| 7. その他 ( )                  |

## 8 日中活動・就労について

問46 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

(最もあてはまる番号1つだけ○)

1. 正職員として働いている
2. パート・アルバイトなどで働いている
3. 自宅で就労している（収入のある仕事）
4. 福祉的就労をしている（作業所など）
5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている
6. 自宅で家事や手伝いをしている
7. 特に何もしていない
8. 学校などに通っている
9. 職業訓練中
10. 就労活動中
11. その他（ ）

問47 【問46で働いている（1～3番）に○をつけた方におたずねします。】  
働いている方におたずねします。現在の仕事は、どのような方法で見つけましたか。  
(○はいくつでも)

1. 求人誌やインターネット求人情報サイトなどから自分で探した
2. 公共職業安定所（ハローワーク）の求人から探した
3. 千葉障害者就業支援キャリアアセンターの紹介
4. 職業訓練を通しての紹介
5. 学校の紹介
6. 家族、親族などの紹介
7. 相談支援事業者の紹介
8. 就労移行支援事業所などの福祉施設の紹介
9. その他（ ）

問48 【問46で働いている（1～4番）に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが仕事上で困っていることはありますか。(○は3つまで)

1. 身体的な負担が大きい
2. 精神的な負担が大きい
3. 通勤が大変
4. 職場の施設が障害に対応していない
5. 障害に対する職場の理解不足
6. 職場の人間関係
7. 仕事の相談をする相手がいない
8. 仕事で自分には合わない
9. 給与、工賃などの収入が少ない
10. 仕事が難しく覚えられない
11. 特に困っていることはない
12. その他（ ）

12

問49 【問46で働いていない（5～7番）に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが働いていない理由はなんですか。(○は3つまで)

1. 障害や病気が重いから
2. 高齢だから
3. 自分に合った仕事が見つからないから
4. 希望に合った求人が見つからないから
5. 働く自信がないから
6. 通勤が困難だから
7. 障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから
8. 人間関係がうまくいくか不安があるから
9. 趣味の活動など仕事以外のことをしたいから
10. その他（ ）

問50 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと感じますか。(○はいくつでも)

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
5. 障害向けの求人情報の提供
6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
7. 職場施設のバリアフリー化
8. 障害や病気の状態に合った柔軟な勤務体制
9. ショプコーチなど職場に定着するための支援
10. 特に必要なことはない
11. わからない
12. その他（ ）

問51 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後でも取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

1. 趣味・教養に関する活動
2. 学習活動
3. スポーツ活動
4. ボランティア活動
5. 障害者団体の活動
6. 町内会・自治会など地域の活動
7. 特にない
8. その他（ ）

13

9 運動やスポーツについて

あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
(学校に通っている方は、学校の授業を除く) (○は1つ)

1. している

2. していたが、今はやっていない

3. 今まで運動やスポーツをしたことがない

問52 【問52で「1. している」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)

1. 週に3回以上

2. 週に1～2回

3. 月に1～3回

4. 年に1～11回

問54 【問52で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが持っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング

2. ランニング・マラソン

3. ラジオ体操・健康体操

4. ヨガ・太極拳

5. ウェイトトレーニング

6. ダンス

7. エアロビクス

8. 水泳

9. ゴルフ

10. 野球・ソフトボール

11. サッカー・フットサル

12. ラグビー

13. バスケッボール

14. 陸上競技

15. バレーボール・ソフトバール

16. ハンドボール

17. テニス・ソフトテニス

18. バドミントン

19. 卓球

20. アイススケート

21. スキー・スノーボード

22. 柔道

23. 剣道

24. 空手・合気道

25. ゲートボール

26. ボウリング

27. グラウンドゴルフ

28. 登山・キャンプ

29. サイクリング

30. ヨット・サーフィン

31. トライアスロン

32. バークゴルフ

【上記を除く全国障害者スポーツ大会競技】

33. アーチェリー

34. グラントソフトボール

35. 車いすバスケッボール

36. サウンドテーブルテニス

37. フットベースボール

38. フライングディスク

【上記を除くパラリンピックの公式競技等】

39. ウィルチアエアラグビー

40. カヌー

41. 車いすテニス

42. 車いすフェンシング

43. ゴールボール

44. 電動車椅子サッカー

45. 5人制サッカー (視覚障害者)

46. 7人制サッカー (脳性麻痺)

47. シットティングバレーボール

48. 自転車競技

49. 射撃

50. セーリング

51. テコンドー

52. トライアスロン

53. 馬術

54. パワーリフティング

55. ボート

56. ボッチャ

57. その他 ( )

518

15

問55 今後、障壁のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようなになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 一緒にスポーツをする仲間がいれば
2. スポーツを教えてくれる人がいれば
3. 自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば
4. 子どもを預けられるところがあれば
5. 身近で気軽に、障害者が使える施設があれば
6. 安く使える施設があれば
7. 施設の環境・雰囲気良くなれば
8. 時間に余裕があれば
9. 経済的な援助があれば
10. わからない
11. その他 ( )

問56 【問52 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツができる場所がないため
2. スポーツをする施設が受け入れてくれないため
3. 指導してくれる人がいないため
4. 上手にスポーツができる自信がないため
5. スポーツをするために必要な器具や用具がないため
6. 経済的に無理であるため
7. 一緒にスポーツをする仲間がないため
8. 介助などのボランティアがないため
9. 障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
10. 何のスポーツをやったらいかがかわからないため
11. してみたいスポーツがないため
12. スポーツが嫌いだから
13. 忙しくて時間がないから
14. その他 ( )

## 10 趣味や教養などの生涯学習活動について

問57 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたが行っている(行っていた)活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・けいここと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)
2. 字術・教養(文字、歴史、経済、語学など)
3. 健康づくり・スポーツ(ウォーキング、水泳、武道など)
4. 家庭生活(料理、手芸など)
5. 特定の資格や取得のための学習
6. ハンコン、インターネットに関する学習
7. ボランティア活動・地域活動(子ども会、青少年団、美化活動など)
8. 行っていない
9. その他 ( )

問58 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)(○は1つ)

1. している
2. していたが、今はやっていない
3. 今までしたことがない

問59 【問58 で「している」と回答した方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講していますか。(○は1つ)

1. 週に3回以上
2. 週に1～2回
3. 月に1～3回
4. 年に1～11回

問60 【問58 で「2. していたが今はやっていない」または「3. 今までしたことがない」と回答した方におたずねします。】  
あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何か。

1. 時間が取れない
2. 一緒に活動する仲間がいらない
3. 費用がかかる
4. 施設にエレベーター、スロープ、多目的トイレ等が整備されていない
5. 手話や点字などの情報保障がない
6. どのような講座があるのかわからない
7. 特に必要と感じない
8. その他 ( )

問61 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようなになればいいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 時間に余裕があれば
2. 一緒に活動する仲間がいれば
3. 安価、無料で参加できる講座があれば
4. 経済的な援助があれば
5. エレベーターやスロープ等の整備が進めば
6. 手話や点字などの情報保障があれば
7. 講座情報報が簡単に手に入れば
8. 障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば
9. わからない
10. その他 ( )

## 11 将来について

問62 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。  
(○はいくつでも)

1. 身の回りの介助や保護をしてくれる人がいるか
2. 財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか
3. 結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるか
4. いっしょに暮らす家族がいるか
5. 十分な教育を受けられるか
6. 働く場所や適当な仕事があるか
7. 十分な収入が得られるか
8. 趣味や生きがいを持てるか
9. 生活をするうえで必要な情報を得られるか
10. 特に不安はない
11. その他 ( )

問63 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者の入所施設に入りたい
5. 高齢者の入所施設に入りたい (特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他 ( )

問64 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が重要だと思いますか。  
(○は3つまで)

1. 地域の人たちの障害に対する理解
2. 地域生活に関する相談支援
3. 訪問系サービスの充実
4. 日中活動系サービスの充実
5. 自立生活のための訓練・体験
6. グループホームなどの拡充
7. 障害者のための住宅の確保
8. 医療体制の充実
9. 就労のための支援
10. 災害時の支援
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
12. 経済的負担の軽減
13. 特に必要なことはない
14. わからない
15. その他 ( )

問65 【主な介護者の方におたずねします。】  
今あなたが介護をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。  
(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らししてほしい
2. 自宅でひとり暮らしをしてほしい
3. グループホームなどに入居してほしい
4. 障害者の入所施設に入してほしい
5. 高齢者の入所施設に入してほしい (特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他 ( )

## 12 障害のある人に対する理解度

問66 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問67 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。  
(○はいくつでも)

1. 職場
2. 学校
3. 障害者施設
4. 病院
5. 店舗・飲食店
6. 公共施設
7. 宿泊施設
8. 交通機関
9. その他 ( )

問68 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。  
(○は1つ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. よく理解されている   | 2. おおむね理解されている  |
| 3. あまり理解されていない | 4. まったく理解されていない |
| 5. わからない       |                 |

問69 障害者への差別をなくすることを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)  
※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない      |               |

問70 障害者への虐待を発見した場合、虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成24年10月1日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)  
※障害者虐待防止法は、虐待によって障害者の権利や尊厳がおびやかされることを防ぐ法律です。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない      |               |

問71 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| 1. 障害者理解のための学校教育の普及         |  |
| 2. 広報などによる啓発活動の推進           |  |
| 3. 障害者の活動や団体の活動の紹介          |  |
| 4. ボランティアの活動の推進             |  |
| 5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進 |  |
| 6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備    |  |
| 7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成    |  |
| 8. 特にない                     |  |
| 9. その他 ( )                  |  |

問72 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく                  |  |
| 2. 就労を自指している障害者のいる特別支援学校等を見学する                  |  |
| 3. 障害者を雇用している企業の見学を行う                           |  |
| 4. 障害者雇用の実習を受け入れる                               |  |
| 5. 社員が障害の種類や程度に对应して、コミュニケーションできるようにする           |  |
| 6. 障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する |  |
| 7. 特にない   |  |
| 8. その他 ( )                                      |  |

問73 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)  
※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁（バリア）を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならないことです。  
(民間事業者については努力義務)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める            |  |
| 2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する                  |  |
| 3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく                   |  |
| 4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく                       |  |
| 5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく |  |
| 6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく                       |  |
| 7. 特にない   |  |
| 8. その他 ( )  |  |

問4 どい 社会的障壁じゃうへきの除去じょぎょに向けて、合理的配慮ごうりきていよを進めていくために必要なことは何だと思われるか。おも (○は3つまで)

1. 市民や民間事業者 に対して障害者差別解消法 に関する周知・啓発
2. 障害者差別解消法に係るセミナー等の開催
3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修
4. 筆談、読み上げ、手話など障害者の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用
6. ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発
7. 上記6以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発
8. 特にない
9. その他（ ）

### 13 サービス利用について

問75 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄			
		回答欄	回答欄	回答欄	回答欄
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	1	2
②重度訪問介護	重度の肢体不自由者、重度の知的障害者・精神障害者に、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的にを行います。	1	2	1	2
③行動支援	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や危険回避等の支援を行います。	1	2	1	2
④同行支援	移動に著しい困難を有する障害障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動介護などを行います。	1	2	1	2
⑤重度障害者等包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	1	2
⑥移動支援	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	1	2
⑦訪問入浴	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	1	2

問76 あなたは、訪問系サービスの利用に困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ( )

問77 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと  
思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①  
～⑨のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2  
のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況	利用して	今後の利用希望	利用し
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。	1	2	1	2
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要は訓練を行います。	1	2	1	2
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。	1	2	1	2
④就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。	1	2	1	2
⑤就労定着支援	就労移行支援等を利用し、一般企業等に就労した障害者に、一定期間、就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所等との連絡調整等の支援を行います。	1	2	1	2
⑥療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。	1	2	1	2
⑦短期入所 (ショートステイ)	介護者が病気などのときに、短期間、施設で必要な介護等の支援を行います。	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用したくない
⑧ 日中一時支援事業	障害者に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2	1	2
⑨ その他の通所施設	(具体的なサービス名をお書きください：)	1	2	1	2

問78
あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない

2. サービスに関する情報が少ない

3. 利用したいサービスが利用できない

4. サービス利用の手続きが大変

5. 事業者との日時などの調整が大変

6. 利用できる回数や日数が少ない

7. サービスの質について困っている

8. 他の利用者との関係について困っている

9. 施設への通所が大変

10. 利用者負担について困っている

11. 特に困っていることはない

12. その他（ ）

問79
あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用したくない
① 共同生活援助(グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。	1	2	1	2
② 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ・食事などの介護を行います。	1	2	1	2
③ 自立生活援助	入所施設などから一人暮らしへの移行を希望する障害者に、定期的な訪問や趣向の対応などを行うサービスです。	1	2	1	2

問80
あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない

2. サービスに関する情報が少ない

3. 希望しているが入居・入所できない

4. 将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安

5. 生活上の支援が不十分

6. プライバシーを十分守れない

7. 他の入居者との関係について困っている

8. 入居のための費用について困っている

9. 特に困っていることはない

10. その他（ ）

問81 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいかと思いませんか。  
すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
① 障害者相談支援事業	障害者等からの相談に話し、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	1	2
② 成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の利用にかかる費用や後見人等の報酬の助成をします。	1	2	1	2
③ 意思疎通支援事業	意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者等を派遣します。	1	2	1	2
④ 日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	1	2
⑤ 地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	1	2
⑥ 本人活動支援事業	在宅の知的障害者に対して、ボランティア活動の機会を提供します。	1	2	1	2
⑦ 知的障害者職業委託事業	知的障害者が、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	1	2
⑧ 生活訓練等事業	視覚障害者等に対して、日常生活に必要な訓練、指導等を行います。	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
⑨ 地域移行支援	障害者支援施設や病院等に入所または入院している障害者に、住居の確保などの地域における生活へ移行するための支援を行います。	1	2	1	2
⑩ 地域定着支援	一般住宅で一人暮らしをしている障害者に、夜間も急な緊急時における連絡等の支援を行います。	1	2	1	2

問82 【問75, 77, 79, 81にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用をしたい方におたずねします。】

サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(○は1つ)

1. 相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい
2. セルフプランを自分や家族で作成したい
3. 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい
4. まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい
5. サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない

問83 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方におたずねします。】

サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか (○は4つまで)

1. ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた
2. サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた
3. サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった
4. 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた
5. 課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった
6. サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった
7. サービス等利用計画の内容が分かりにくかった
8. 相談支援専門員の説明が分かりにくかった
9. 制度そのものが分かりにくかった
10. その他 ( )

問84 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

1. 福祉タクシー利用券 (黄色券)  
ふくし たくしー りようけん きいろけん
2. 福祉タクシー利用券 (水色券)  
ふくし たくしー りようけん みずいろけん
3. 自動車燃料券  
じどうしゃ ねんりょうけん
4. 利用していない

問85 **【問84でいづれかの券を利用している（1～3番）と回答した方におたずねします。】**  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

1. 通勤・通学 つうきん・つうがく
2. 福祉施設への通所 ふくししせつへのつうしよ
3. 医療機関への通院 いりょうきかんへのつういん
4. 買い物など日常の用事 かひものなどにいちじょうのようじ
5. スポーツ・レクリエーション活動 すぽーつ・れく리에ーしょんかどう
6. 友人・知人との会合 ゆうじん・ちひとのかいごう
7. 旅行 りょこう
8. その他 その他

【問86】**自動車燃料券**（じゅうどうしやうねんりょうけん）を利用している（3番）と回答した方におたずねします。】  
 福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
 （〇は1つ）

1. 自分で運転できるから  
じぶん でんてん できるから
2. 家族などが運転する車で移動することが多いから  
かぞえ などが ぶんてん する くるま で いどう することが おおい から
3. タクシーや公共交通機関の利用が難しいから  
たきしー や こんこう ぎょうこう かん の りよう が じやうずかしい から
4. 自家用車のほうが経済的負担が少ないから  
じやようくるま の ほう が けいぎ たい じふたん が せうない から
5. 特に理由はない  
とく に りゆう は ない
6. その他（  
その他（

30

## 14 収入や利用者負担について

問87 とい あなたが**本人**ほんにんの**主な収入源**おも しゅうにゆうげんをお答えください。(〇は3つまで)

1. 一般就労による収入 (給与・報酬など) いふくせんしゅうりょうによるしゅうい
2. 福祉的就労による収入 (工資など) ふくしけいしゅうりょうによるしゅうい
3. 事業収入 (自営業など) じぎょうしゅうい
4. 助産収入 (家賃収入など) しよさんしゅうい
5. 年金・手当 ねんきん・てあて
6. 生活保護費 しやうほほくごうひ
7. 家族などからの仕送り かぞえなどからのしやうど
8. 収入はない しゅういはない
9. その他 ( ) そこのた

問88 あなた（保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じて  
いますか。（○は1つ）

1. 非常に負担に感じる  
2. やや負担に感じる  
3. あまり負担に感じない  
4. 障害福祉サービスを利用していない  
5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない

## 15 しょうがいしゃしきく 障害者施策について

問89 あなた（や保護者・家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じて  
いますか。（○は1つ）

1. 非常に満足 ひじょう まんぞく
2. やや満足 やや まんぞく
3. やや不満 やや びやう
4. 非常に不満 ひじょう びやう
5. どちらとも言えない

16 自由意見

問90 障害福祉に関する意見で要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、  
で目用にお書きください。(目用記述)

2 施設に入所している方を対象とした調査

千葉市障害者生活実態・意向調査  
アンケートへのご協力をお願い

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することにいたしました。つきましては、お忙しいところ申し訳ございませんが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、本市から支給決定を受けて施設入所支援サービスを利用されている方に、個人の内容を無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使われることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いいたします。

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課  
令和元年12月

千葉市障害者生活実態・意向調査  
アンケートへのご協力をお願い

◇調査票の記入について

【ご記入に当たってのお願い】

- ・封筒のあて名をご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ・ご本人が病状や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介護者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ・回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく取柄もありますので、その場合は取柄の指示にしたがってお書きください。
- ・この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和2年1月6日（月）**までにポストに投函していただきますようお願いいたします。（切手は不要です）

◇お問い合わせ先

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
電話 043-245-5175 F A X : 043-245-5549

1 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（○は1つ）

1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方  
2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）  
3. 施設職員の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）  
4. その他（ ）

2 ご本人について

問2 あなたの性別をおたずねします。（○は1つ）

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

（ ）歳

問4 あなたがご持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（○はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。）

1. 身体障害者手帳（ 1 級 2 級 3 級 4 級 5 級 6 級 ）  
2. 療育手帳（ △ △ の 1 △ の 2 A の 1 A の 2 B の 1 B の 2 ）  
3. 精神障害者保健福祉手帳（ 1 級 2 級 3 級 ）  
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している  
5. 手帳も持っていないし、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。（○はいくつでも）

1. 肢体不自由 2. 音声・言語・そしゃく機能障害  
3. 視覚障害 4. 聴覚・平衡機能障害  
5. 内部機能障害（免疫機能障害を含む）

1

527

問6-1 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 国が指定する特定疾患（別表で該当する疾患の番号を記入してください。  
（番号はいくつでも。）

一覧表を別紙で同封

問6-2 その他の難病

（病名をお書きください： ）

### 3 施設への入所について

問7 あなたが入所している施設の種類をお聞きます。（○は1つ）

1. 主に身体障害を対象とした施設  
2. 主に知的障害を対象とした施設  
3. 主に精神障害を対象とした施設  
4. 主に重度心身障害者を対象とした施設  
5. その他の施設（ ）

問8 あなたが入所している施設がある地域をお聞きます。（○は1つ）

1. 千葉市内  
2. 千葉県内（千葉市以外）  
3. 関東（千葉県以外）  
4. その他の地域（ ）

問9 あなたが現在の施設へ入所してからどの期間をお聞きます。（○は1つ）

1. 5年未満  
2. 5～10年未満  
3. 10～15年未満  
4. 15～20年未満  
5. 20年以上

問10 あなたが現在の施設へ入所することを決めた理由は何か。（○はいくつでも）

1. 常時介助が必要のため  
2. 医療的なケアが必要のため  
3. 家族による介助が難しくなったため  
4. 在宅サービスが不十分だったため  
5. 住まいが障害に対応していなかったため  
6. リハビリや訓練を受けるため  
7. 将来地域で自立生活をするため  
8. 家族に勧められたため  
9. 施設のほうが安心して暮らせるため  
10. 特に理由はない  
11. その他（ ）

### 4 医療機関への受診状況について

問11 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。（○は1つ）

1. 障害や疾病では受診していない  
2. 一時的に受診したが、入院はしていない  
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない  
4. 一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）  
5. 1年間継続して入院していた

問12 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。（○はいくつでも）

1. 吸引  
2. 吸入  
3. 経管栄養  
4. 中心静脈栄養  
5. 導尿  
6. 在宅酸素  
7. ネプライザー  
8. 咽頭エアウェイ  
9. バルブオキシメーター  
10. 気管切開部の管理（ガーゼ交換等）  
11. 人工呼吸器の管理  
12. 人工肛門、人工膀胱の管理  
13. アルツハイマー病等の認知症への対応  
14. インシュリン注射  
15. 人工透析  
16. 服薬管理  
17. その他（ ）  
18. 受けていない

### 5 相談や情報入手について

問13 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。

（○はいくつでも）

1. 家族・親族  
2. 友人・知人  
3. 近所の人  
4. 同じ施設の入所者  
5. 相談支援専門員・ケアマネジャー  
6. 障害者相談支援事業所  
7. ホームヘルパー  
8. 施設等の職員  
9. 施設等のボランティア  
10. 施設等の第三者委員（苦情の受付窓口）  
11. 医療関係者（医師・看護師など）  
12. 障害者団体や家族の会  
13. 学校の職員  
14. 養護教育センター  
15. 民生委員・児童委員  
16. 身体障害者相談員・知的障害者相談員  
17. 保健福祉センター  
18. 療育センター  
19. 発達障害者支援センター  
20. こころの健康センター  
21. 相談する相手はいない  
22. その他（ ）

## 6 日常生活（施設での生活）について

問14 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

（最もあてはまる番号1つに○）

1. 入所している施設で看護や介護を受けて生活している
2. 入所している施設で作業や訓練をしている
3. 一般の企業等で働いている
4. その他（ ）

問15 あなたは、現在入所している施設での生活に満足していますか。（○は1つ）

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満がある
4. 不満がある
5. どちらとも言えない

問16 あなたは、入所している施設に対してどのような要望がありますか。（○はいくつでも）

1. 看護や介護の質の向上
2. 職員の対応の仕方の改善
3. 居室などの生活空間の改善
4. プライバシーへの配慮
5. 日中活動の充実
6. 余暇活動の充実
7. 外出機会の増加
8. 地域の人との交流機会の増加
9. 相談体制の充実
10. 地域生活に向けた自立訓練
11. 特に要望はない
12. その他（ ）

問17 あなたは、最近1年間、どの位の頻度でご自宅に帰りましたか。（○は1つ）

1. 10回以上
2. 6～9回
3. 3～5回
4. 1～2回
5. この1年間は帰っていない
6. 帰る自宅はない

問18 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. 自分では身の回りの事が十分にできない
2. 健康状態に不安がある
3. 施設での生活内容に不満がある
4. 施設での作業や訓練に不満がある
5. プライバシーが十分に保てない
6. 外出の機会が少ない
7. 施設職員や入所者との関係がうまくいかない
8. 家族とあまり会えない
9. 将来の生活に不安を感じている
10. 特に困っていることはない
11. その他（ ）

## 7 あなたの暮らしについて

問19 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（○は1つ）

1. 週4日以上
2. 週2～3日
3. 週1日くらい
4. 月2～3日
5. 月1日くらい
6. 2～3か月に1日くらい
7. あまり外出しない

問20 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（○はいくつでも）

1. 運動・通学・通所
2. 訓練やリハビリ
3. 医療機関への受診
4. 買い物
5. 友人・知人と会う
6. 趣味やスポーツ
7. グループ活動
8. 散歩に行く
9. あまり外出しない
10. その他（ ）

問21 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。（○はいくつでも）

1. 鉄道
2. バス
3. モノレール
4. タクシー
5. 自家用車
6. その他（ ）

問22 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. 乗り降りが大変
2. 駅構内の移動・乗り換えが大変
3. トイレが使いにくい
4. 券売機が使いにくい
5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい
6. 駅員が少ない
7. 周りの人に手助けを頼みにくい
8. 周囲の目が気になる
9. 特に困っていることはない
10. 鉄道は使っていない
11. その他（ ）

問23 あなたは、バスを利用する際に困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. 乗り降りが大変
2. バリアフリー未対応のバスがある
3. 案内がわかりにくい
4. 運賃の支払いが大変
5. 周りの人に手助けを頼みにくい
6. 周囲の目が気になる
7. 特に困っていることはない
8. バスは使っていない
9. その他（ ）

問24 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありませんか。(○はいくつでも)

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変                | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい              | 4. 券売機が使いにくい      |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい | 6. 駅員が少ない         |
| 7. 周囲の人に手助けを頼みにくい         | 8. 周囲の目が気になる      |
| 9. 特に困っていることはない           | 10. モノレールは使っていない  |
| 11. その他 ( )               |                   |

問25 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 歩道・通路の段差  | 2. 青信号の短さ           |
| 3. 歩道・通路の障害物 | 4. バスやタクシーなどの乗降     |
| 5. 建物の階段・段差  | 6. エレベーターの場所がわかりにくい |
| 7. トイレの利用    | 8. 周囲の人に手助けを頼みにくい   |
| 9. 周囲の目が気になる | 10. 特に困っていることはない    |
| 11. その他 ( )  |                     |

問26 外出先のトイレに望むことは何ですか。(○はいくつでも)

- |                                      |                    |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい               | 4. トイレの中を明るくしてほしい  |
| 2. 男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせしてほしい | 6. 点字ブロックをつけてほしい   |
| 3. 絵文字表示を見やすくしてほしい                   | 9. エアタオルをつけてほしい    |
| 5. トイレの中の段差をなくしてほしい                  | 11. 緊急通報ボタンをつけてほしい |
| 7. 便器等の位置、向きを統一してほしい                 |                    |
| 8. トイレの中に手すりをつけてほしい                  |                    |
| 10. トイレに十分な広さがほしい                    |                    |
| 12. 特にない                             |                    |
| 13. その他 ( )                          |                    |

問27 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. よく利用する   | 2. 時々利用する  |
| 3. あまり利用しない | 4. 全く利用しない |

問28 【問27で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |             |                |
|---------------------|-------------|----------------|
| 1. 散歩               | 2. 運動       | 3. 休息          |
| 4. 植物などの自然観賞        | 5. 昼食       | 6. 公園を近道に使っている |
| 7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休憩 |             | 8. 遊び場         |
| 9. イベント見学・参加        | 10. その他 ( ) |                |

問29 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何か必要だと思えますか。(○はいくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 通路の幅を広げてほしい                             |  |
| 2. 手すりをつけてほしい                              |  |
| 3. 段差や急な坂をなくしてほしい                          |  |
| 4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい                   |  |
| 5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい                   |  |
| 6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい |  |
| 7. ベンチを増やしてほしい                             |  |
| 8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい                 |  |
| 9. 特に必要なことはない                              |  |
| 10. その他 ( )                                |  |

8 将来について

問30 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思えますか。(○は1つ)

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 1. 施設を退所して家族と暮らしたい              |  |
| 2. 施設を退所してひとり暮らしをしたい            |  |
| 3. 施設を退所してグループホームなどで生活したい       |  |
| 4. 現在入所している施設で生活したい             |  |
| 5. 高齢者の入所施設で生活したい (特別養護老人ホームなど) |  |
| 6. わからない                        |  |
| 7. その他 ( )                      |  |

問31 【問30で将来は施設を退所したい(1～3番)に○をつけた方におたずねします。】施設を退所したい理由は何か。(○はいくつでも)

1. 家族のそばにいたいから
2. ひとり暮らしをしてみたいから
3. 自由な生活がしたいから
4. 社会的に自立したいから
5. 施設を出てやりたいことがあるから
6. 一般就労してみたいから
7. 作業所等で働いてみたいから
8. 施設での生活に不満があるから
9. 特に理由はない
10. その他 ( )

問32 【問30で現在入所している施設で生活したい(4番)に○をつけた方におたずねします。】今の施設での生活を続けたい理由は何か。(○はいくつでも)

1. 施設にいたほうが安心できるから
2. 施設での生活が自分に合っているから
3. 施設職員や他の入所者との関係が良好だから
4. 健康面などで不安があるから
5. 自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから
6. 自宅の構造が障害に对应していないから
7. 地域で十分な介助が受けられるか不安だから
8. 地域での生活に魅力を感じないから
9. 特に理由はない
10. その他 ( )

問33 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域の人たちの障害に対する理解
2. 地域生活に関する相談支援
3. 訪問系サービスの充実
4. 日中活動系サービスの充実
5. 自立生活のための訓練・体験
6. グループホームなどの拡充
7. 障害者のための住宅の確保
8. 医療体制の充実
9. 就労のための支援
10. 災害時の支援
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
12. 経済的負担の軽減
13. 特に必要なことはない
14. わからない
15. その他 ( )

問34 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
5. 障害者向けの求人情報の提供
6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
7. 職場施設のバリアフリー化
8. 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態
9. ショプコーチなど職場に定着するための支援
10. 特に必要なことはない
11. その他 ( )

9 障害のある人に対する理解度

問35 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問36 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。(○はいくつでも)

1. 職場
2. 学校など
3. 障害者施設
4. 病院
5. 店舗・飲食店
6. 公共施設
7. 宿泊施設
8. 交通機関
9. その他 ( )

問37 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

1. よく理解されている
2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. わからない

問38 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)

※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない      |               |

問39 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成24年10月1日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)

※障害者虐待防止法は、虐待によって障害者の権利や尊厳がおびやかされることを防ぐ法律です。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない      |               |

問40 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| 1. 障害者理解のための学校教育の普及         |  |
| 2. 広報などによる啓発活動の推進           |  |
| 3. 障害者の活動や団体の活動の紹介          |  |
| 4. ボランティアの活動の推進             |  |
| 5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進 |  |
| 6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備    |  |
| 7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成    |  |
| 8. 特にない                     |  |
| 9. その他 ( )                  |  |

問41 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく                  |  |
| 2. 就労を自覚している障害者のいる特別支援学校等を見学する                  |  |
| 3. 障害者を雇用している企業の見学を行う                           |  |
| 4. 障害者雇用の実習を受け入れる                               |  |
| 5. 社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする           |  |
| 6. 障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する |  |
| 7. 特にない   |  |
| 8. その他 ( )                                      |  |

問42 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める            |  |
| 2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する                  |  |
| 3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく                   |  |
| 4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく                       |  |
| 5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく |  |
| 6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく                       |  |
| 7. 特にない   |  |
| 8. その他 ( )  |  |

※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁（バリア）を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならないこととです。(民間事業者については努力義務)

問43 とひ 社会的障壁じゃうへきの除去じょきょに向けて、合理的配慮こゝろてききよいりようを進めていくために必要なことは何だと思われるか。おも (○は3つまで)

1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発  
しゅみんやみんかんさぎやしゃにたいしてしょうがしや差別けいしょうほうにかんするしゅうち・けいはつ
2. 障害者差別解消法に係るセミナー等の開催  
しょうがしや差別けいしょうほうにかんするせみなるとうのくわんかい
3. 障害当事業者を講師とした市民・民間事業者向けの研修  
しょうがじやうさぎやしゃをこうしとしいたしゅみん・みんかんさぎやしゃ向けのけんしゆ
4. 相談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置  
さうだん、よみあげ、てわなどしょうがのていしやうにおうじたこみゆにけいしゆんしゅんたんのせいちよ
5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用  
いしそつうのためにえやしやうんカード、ICTきき（たぶれっとたんぽうとう）とうのくわつよう
6. ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発  
すたろっぷがたへるぷまーくやへるぷカードのしゅうち・けいはつ
7. 上記6以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発  
さうじ6いふがいのかくしゆしょうがしやにかんするまーくのしゅうち・けいはつ
8. 特になし
9. その他（ ）

## 10 サービス利用について

問44 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

1. 福祉タクシー利用券 (黄色券)  
ふくし たくしー りようけん まいごうけん
2. 福祉タクシー利用券 (水色券)  
ふくし たくしー りようけん みずいろけん
3. 自動車燃料券  
じどうしゃ ねんりょうけん
4. 利用していない  
りようしてゐない

問45 【問44でいずれかの券を利用している(1~3番)と回答した方におたずねします。】  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 運動 うんどう
2. 福祉施設への通所 ふくししせつへのつうしよ
3. 医療機関への通院 いりょうきかんへのつういん
4. 買い物など日常の用事 かひものなどにちじょうのようじ
5. 文化・教養活動 ぶんか・けうやうかつどう
6. スポーツ・レクリエーション活動 スポーツ・れくりにえーしょんかつどう
7. 旅行 りょこう
8. 友人・知人と会う とも・ちひとあひあひ
9. その他 その他

【問46】自動車燃料券（ばんしやうしやうねんりょうけん）を利用（りよう）している（3番）と回答（こたへ）した方（かた）におたずねします。福祉（ふき）タクシールイヤー（しる）券（けん）ではなく、自動車燃料券（ばんしやうしやうねんりょうけん）を選（えら）んでいる理由（りゆう）は何（なに）ですか。（○は1つ）

1. 自分で運転できるから。  
自分で運転できるから
2. 家族などが運転する車で移動することが多いから。  
家族などが運転する車で移動することが多いから
3. タクシーや公共交通機関の利用が難しいから。  
タクシーや公共交通機関の利用が難しいから
4. 自家用車のほうが経済的負担が少ないから。  
自家用車のほうが経済的負担が少ないから
5. 時に運道はない  
時に運道はない
6. その他（  
その他（

## 11 収入や利用者負担について

問47 あなたで本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

1. 一般就労による収入 (給与・報酬など) いふんしゅうらうによるしゅうい
2. 福祉的就労による収入 (工賃など) ふくしのかいしゅうらうによるしゅうい
3. 事業収入 (自営業など) じぎやうしゅうい
4. 財産収入 (家賃収入など) てさんでんしゅうい
5. 年金・手当 ねんきん・てあて
6. 生活保護費 しやうほほごうひ
7. 家族などからの仕送り かぞへなどからのしやうり
8. 収入はない しゅういにはない
9. その他 ( ) そこのた

## 12 障害者施策について

問48 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じて  
いますか。（○は1つ）

1. 非常に満足 ひじょう ぞんみんぞく
2. やや満足 やや ぞんみんぞく
3. やや不満 やや ぶまん
4. 非常に不満 ひじょう ぶまん
5. どちらとも言えない

13 自由意見

問49 障害福祉に関する意見や要望  
今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

### 3 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

#### 18歳未満の方と保護者

#### 千葉県障害者生活実態・意向調査

#### アンケートへのご協力をお願い

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することにいたしました。つきましては、お忙しいところ申し訳ございませんが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、障害者手帳をお持ちの方の中から無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いいたします。

千葉県 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課  
令和元年12月

#### ◇調査票の記入について

- ・封筒のあて名ご本人がご回答ください。(この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。)
- ・ご本人が年少の場合や、病氣や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介護者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ・回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を( )内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ・この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。

#### ◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和2年1月6日(月)**までにポストに投函していただきますようお願いいたします。(切手は不要です)

◇お問い合わせ先 千葉県 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
電話 043-245-5175 FAX : 043-245-5549

#### 1 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(○は1つ)

1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方
2. ご家族の方(ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答)
3. 施設職員の方(ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答)
4. その他( )

#### 2 本人について

問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性

問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

( ) 歳

問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。(○は1つ)

1. 中央区
2. 花見川区
3. 稲毛区
4. 若葉区
5. 緑区
6. 美浜区

問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療(精神通院医療)の利用をおたずねします。(○はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級(程度)にも○印をつけてください。)

1. 身体障害者手帳( 1級 2級 3級 4級 5級 6級 )
2. 療育手帳( ㊤ ㊥の1 ㊤の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2 )
3. 精神障害者保健福祉手帳( 1級 2級 3級 )
4. 自立支援医療(精神通院医療)を利用している
5. 手帳も持っていないし、自立支援医療(精神通院医療)も利用していない

問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(○はいくつでも)

1. 肢体不自由
2. 音声・言語・そしゃく機能障害
3. 視覚障害
4. 聴覚・平衡機能障害
5. 内部機能障害(免役機能障害を含む)

問7-1 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。  
1. 国が指定する特定疾患（別表で該当する疾患の番号を記入してください。  
番号はいくつでも。）

一覧表を別紙で同封

問7-2 その他の難病  
(病名をお書きください： )

3 医療機関への受診状況について

問8 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

1. 障害や疾病では受診していない
2. 一時的に受診したが、入院はしていない
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)
5. 1年間継続して入院していた

問9 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等(かかりつけ医)はいますか。(○は1つ)

1. いる
2. いない

問10 【問9で身近な医師等(かかりつけ医)がいると回答した方におたずねします。】  
その医療機関はどのようなものですか。(○はいくつでも)

1. 診療所(○○科、○○クリニック、○○医院など)
2. 総合病院・大学病院等の専門の診療科
3. 通所している施設等での診療
4. その他( )

問11 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(○はいくつでも)

1. 吸引
2. 吸入
3. 経管栄養
4. 中心静脈栄養
5. 導尿
6. 在宅酸素
7. ネプライザー
8. 咽頭エアウェイ
9. バルスオキシメーター
10. 気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
11. 人工呼吸器の管理
12. 人工肛門、人工膀胱の管理
13. アルツハイマー病等の認知症への対応
14. インシュリン注射
15. 人工透析
16. 服薬管理
17. その他( )
18. 受けていない

問12 【問11で1～17番に○をつけた方におたずねします。】  
医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。(○はいくつでも)

1. 家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)
2. 医師
3. 看護師
4. ホームヘルパー
5. その他( )
6. 特に相談していない

問13 【問11で1～17番に○をつけた方におたずねします。】  
現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 自分自身
2. 家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)
3. 医師
4. 看護師
5. その他( )

問14 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害のある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設(病院・診療所等)が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

(1) あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

(2) あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。(○は1つ)

1. 感じている
2. 感じていない
3. わからない

問15 あなたの「医療」についておたずねします。  
あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。(○はいくつでも)

- |                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 市内の歩いていける場所<br>市内の歩いていけない場所 | 2. 市内の歩いていけない場所 |
| 3. 市内の市町村(千葉市以外)               | 4. 東京都内         |
| 5. その他(具体的に:<br>(都道府県)         | (市区町村))         |
| 6. 特に通院していない                   |                 |

4 家族や介護者について

問16 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

- |           |                        |         |
|-----------|------------------------|---------|
| 1. 母親     | 2. 父親                  | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母    | 5. 配偶者                 | 6. 子ども  |
| 7. その他の親族 | 8. 施設(グループホーム等)で暮らしている |         |
| 9. ひとり暮らし | 10. その他( )             |         |

問17 あなたへの介護について、主な介護者はどなたですか。(○は1つ)

- |               |            |           |
|---------------|------------|-----------|
| 1. 母親         | 2. 父親      | 3. 兄弟姉妹   |
| 4. 祖父母        | 5. 配偶者     | 6. 子ども    |
| 7. その他の親族     | 8. ホームヘルパー | 9. ボランティア |
| 10. 介護は受けていない | 11. その他( ) |           |

問18 【問17で主な介護者が家族・親族(1〜7番)に○をつけた方におたずねします。】  
主な介護者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

- |          |        |          |
|----------|--------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代   |
| 4. 40代   | 5. 50代 | 6. 60代   |
|          |        | 7. 70歳以上 |

問19 主な介護者の介護継続年数をお答えください。(○は1つ)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満        | 2. 1年以上〜5年未満   |
| 3. 5年以上〜10年未満  | 4. 10年以上〜15年未満 |
| 5. 15年以上〜18年未満 |                |

問20 【問17で主な介護者が家族・親族(1〜7番)に○をつけた方におたずねします。】  
主な介護者が困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 介護者自身の健康に不安がある  | 2. 介護者の高齢化に不安がある |
| 3. 代わりに介護を頼める人がいない | 4. 緊急時の対応に不安がある  |
| 5. 身体的な負担が大きい      | 6. 精神的な負担が大きい    |
| 7. 経済的な負担が大きい      | 8. 仕事に出られない      |
| 9. 長期の旅行や外出ができない   | 10. 休養や息抜きの時間がない |
| 11. 特に困っていることはない   | 12. よくわからない      |
| 13. その他( )         |                  |

問21 主な介護者が、病気のときや外出をしななければならないときなどは、代わりにどなたが  
介護していますか。(○は3つまで)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 同居している家族や親族  | 2. 同居していない家族や親族     |
| 3. 近所の人や友人・知人   | 4. ボランティア           |
| 5. ホームヘルパー      | 6. 施設に短期間入所して介護を受ける |
| 7. 介護してくれる人がいない | 8. その他( )           |

5 相談や情報入手について

問22 あなた(やご家族の方)は、日常生活で困っていることはありますか。  
(○はいくつでも)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 弁達や心身の状態に不安がある       | 2. 行動上の問題への対応に困っている   |
| 3. 自分では身の回りの事が十分にできない   | 4. 自分や家族では家事が十分にできない  |
| 5. 健康状態に不安がある           | 6. 介護者(家族)の負担が大きい     |
| 7. 段差や階段など、住まいに支障がある    | 8. 外出するのに支障がある        |
| 9. 利用したい福祉サービスを十分利用できない | 10. 収入や生活費に不安を感じている   |
| 11. 緊急時に支援が得られない        | 12. 近所の人などの人間関係に支障がある |
| 13. 将来の生活に不安を感じている      | 14. 療養・教育について困っている    |
| 15. 就労について困っている         | 16. 特に困っていることはない      |
| 17. その他( )              |                       |

問23 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。

（〇はいくつでも）

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 発達や心身の状態に不安がある       |
| 2. 行動上の問題への対応に困っている     |
| 3. 自分では身の回りの事が十分にできない   |
| 4. 自分や家族では家事が十分にできない    |
| 5. 健康状態に不安がある           |
| 6. 介助者（家族）の負担が大きいの      |
| 7. 段差や階段など、住まいに支障がある    |
| 8. 外出するのに支障がある          |
| 9. 利用したい福祉サービスを十分利用できない |
| 10. 収入や生活費に不安を感じている     |
| 11. 緊急時に支援が得られない        |
| 12. 近所のなどとの人間関係に支障がある   |
| 13. 将来の生活に不安を感じている      |
| 14. 療育・教育について困っている      |
| 15. 就労について困っている         |
| 16. 特に困っていることはない        |
| 17. その他（ ）              |

問24 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

- |                     |                        |           |
|---------------------|------------------------|-----------|
| 1. 家族・親族            | 2. 友人・知人               | 3. 近所の人   |
| 4. 同じ施設の入所者         | 5. 相談支援専門員・ケアマネジャー     |           |
| 6. 障害者相談支援事業所       | 7. ホームヘルパー             | 8. 施設等の職員 |
| 9. 施設等のボランティア       | 10. 施設等の第三者委員（苦情の受付窓口） |           |
| 11. 医療関係者（医師・看護師など） | 12. 障害者団体や家族の会         |           |
| 13. 学校の職員           | 14. 養護教育センター           |           |
| 15. 民生委員・児童委員       | 16. 身体障害者相談員・知的障害者相談員  |           |
| 17. 保健福祉センター        | 18. 療育センター             |           |
| 19. 発達障害者支援センター     | 20. こころの健康センター         |           |
| 21. 相談する相手はいない      | 22. その他（ ）             |           |

問25 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 近所で気軽に立ち寄れる相談 | 2. 休日や夜間など緊急時の相談  |
| 3. 専門性の高い職員による相談 | 4. 自分と同じ立場の人による相談 |
| 5. 定期的に訪問してくれる相談 | 6. プライバシーに配慮した相談  |
| 7. 特に希望はない       | 8. その他（ ）         |

6

問26 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 電話による相談                  | 2. 電子メールやインターネットによる相談 |
| 3. ファックスによる相談               |                       |
| 4. 手話通訳者・筆約筆記者のサポートを受けられる相談 |                       |
| 5. SNSによる相談                 | 6. その他（ ）             |

問27 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. ちば市役所       | 2. 市のパンフレットなど         |
| 3. 障害者団体などの刊行物 | 4. 学校のお知らせ            |
| 5. 市のホームページ    | 6. 市以外のホームページ         |
| 7. SNS         | 8. 新聞・雑誌              |
| 9. テレビ・ラジオ     | 10. 施設や福祉サービス事業所      |
| 11. 医療機関       | 12. 障害者団体や家族の会        |
| 13. 民生委員・児童委員  | 14. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 15. 市の窓口       | 16. その他（ ）            |

6 あなた達の暮らしについて

問28 あなたのお住まいの種類の種類をお聞きます。（〇は1つ）

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て）    | 2. 持ち家（集合住宅）       |
| 3. 民間賃貸住宅（一戸建て） | 4. 民間賃貸住宅（集合住宅）    |
| 5. 公営住宅         | 6. UR都市機構住宅（旧公団住宅） |
| 7. グループホーム      | 8. その他（ ）          |

問29 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 階段の昇降        | 2. 玄関・出入口などの段差 |
| 3. 商品が使いにくい     | 4. トイレが使いにくい   |
| 5. 建物の老朽化       | 6. 家賃など住宅費の負担  |
| 7. 特に困っていることはない | 8. その他（ ）      |

問30 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（〇は1つ）

- |             |           |                |
|-------------|-----------|----------------|
| 1. 週4日以上    | 2. 週2～3日  | 3. 週1日くらい      |
| 4. 月2～3日    | 5. 月1日くらい | 6. 2～3か月に1日くらい |
| 7. あまり外出しない |           |                |

7

問31 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 2. 訓練やリハビリ  | 3. 医療機関への受診 |
| 4. 買い物      | 5. 友人・知人と会う | 6. 趣味やスポーツ  |
| 7. グループ活動   | 8. 散歩に行く    | 9. あまり外出しない |
| 10. その他 ( ) |             |             |

問32 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(○はいくつでも)

- |            |         |          |
|------------|---------|----------|
| 1. 鉄道      | 2. バス   | 3. モノレール |
| 4. タクシー    | 5. 自家用車 |          |
| 6. その他 ( ) |         |          |

問33 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変                | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい              | 4. 券売機が使いにくい      |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい |                   |
| 6. 駅員が少ない                 | 7. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 8. 周囲の目が気になる              | 9. 特に困っていることはない   |
| 10. 鉄道は使っていない             | 11. その他 ( )       |

問34 あなたは、バスを利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 乗り降りが大変        | 2. バリアフリー未対応のバスがある |
| 3. 案内がわかりにくい      | 4. 建費の支払いが大変       |
| 5. 周りの人に手助けを頼みにくい | 6. 周囲の目が気になる       |
| 7. 特に困っていることはない   | 8. バスは使っていない       |
| 9. その他 ( )        |                    |

問35 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 乗り降りが大変                | 2. 駅構内の移動・乗り換えが大変 |
| 3. トイレが使いにくい              | 4. 券売機が使いにくい      |
| 5. トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい |                   |
| 6. 駅員が少ない                 | 7. 周りの人に手助けを頼みにくい |
| 8. 周囲の目が気になる              | 9. 特に困っていることはない   |
| 10. モノレールは使っていない          | 11. その他 ( )       |

問36 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 歩道・通路の段差  | 2. 青信号の短さ           |
| 3. 歩道・通路の障害物 | 4. バスやタクシーなどの乗降     |
| 5. 建物の階段・段差  | 6. エレベーターの場所がわかりにくい |
| 7. トイレの利用    | 8. 周りの人に手助けを頼みにくい   |
| 9. 周囲の目が気になる | 10. 特に困っていることはない    |
| 11. その他 ( )  |                     |

問37 外出先のトイレに望むことは何ですか。(○はいくつでも)

- |                        |                                     |
|------------------------|-------------------------------------|
| 1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい | 2. 男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい |
| 3. 絵文字表示を見やすくしてほしい     | 4. トイレの中を明るくしてほしい                   |
| 5. トイレの中の段差をなくしてほしい    | 6. 点字ブロックをつけてほしい                    |
| 7. 便器等の位置、向きを統一してほしい   |                                     |
| 8. トイレの中に手すりをつけてほしい    | 9. エアタオルをつけてほしい                     |
| 10. トイレに十分な広さがほしい      | 11. 緊急通報ボタンをつけてほしい                  |
| 12. 特にない               |                                     |
| 13. その他 ( )            |                                     |

問38 あなたは白昼、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. よく利用する   | 2. 時々利用する  |
| 3. あまり利用しない | 4. 全く利用しない |

問39 【問38で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |             |                |
|---------------------|-------------|----------------|
| 1. 散歩               | 2. 運動       | 3. 休息          |
| 4. 植物などの自然観賞        | 5. 昼食       | 6. 公園を近道に使っている |
| 7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休息 |             | 8. 遊び場         |
| 9. イベント見学・参加        | 10. その他 ( ) |                |

問40 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何か必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 通路の幅を広げてほしい
2. 手すりをつけてほしい
3. 段差や急な坂をなくしてほしい
4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい
5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい
6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい
7. ベンチを増やしてほしい
8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい
9. 特に必要ことはない
10. その他 ( )

7 災害対策について

問41 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思えますか。(○はいくつでも)

1. 自分や家族だけでは避難できない
2. 自分では助けを呼ぶことができない
3. 近所に頼ることのできる支援者がいない
4. 災害に関する情報を得るのが難しい
5. 避難所の設備が障害に配慮しているか不安
6. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
7. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
8. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
9. 特に不安に思うことはない
10. その他 ( )

問42 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

1. 1週間分以上の備蓄がある
2. 4～6日分くらいの備蓄がある
3. 1～3日分くらいの備蓄がある
4. 備蓄していない

問43 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
2. 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている
3. 非常時持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況にに応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している
4. 避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している
5. 家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている
6. 自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している
7. 市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している
8. 家具に転倒防止器具を取り付けている
9. 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている
10. 災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている
11. 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している
12. 特にない
13. その他 ( )

問44 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(○はいくつでも)

1. 一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい
2. 災害の情報をわかりやすく伝えてほしい
3. 障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい
4. 地域の人がすぐに安否確認等をしてほしい
5. 避難場所の情報を確信的に伝えてほしい
6. 特に必要なことはない
7. その他 ( )

8 療育・保育について

問45 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(○は1つ)

- |           |         |          |          |
|-----------|---------|----------|----------|
| 1. 産まれたとき | 2. 0歳   | 3. 1歳    | 4. 2歳    |
| 5. 3歳     | 6. 4～6歳 | 7. 7～12歳 | 8. 13歳以降 |

問46 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。  
(○は1つ)

1. 産まれてまもなく病院で知らされた
2. 家族や周りの人が気づいた
3. 乳幼児健診で知らされた
4. 医療機関を受診したときに知らされた
5. 育児相談などで知らされた
6. 保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた
7. 小中学校の職員が気づいた
8. その他( )

問47 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている(または以前に困ったことがある)ことはありますか。(○はいくつでも)

1. 療育・保育に関する情報が少ない
2. 希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない
3. 施設での療育・訓練の機会が少ない
4. 施設での療育・訓練の内容に問題がある
5. 本人の成長に不安がある
6. 友だちとの関係づくりがうまくできない
7. 通園・通所の送り迎えが大変
8. 費用など経済的負担が大きい
9. 小学校入学時の学校選択で困っている
10. 特に困っていることはない
11. その他( )

問48 【あなた(あて名のお子さん)が小学校入学前の方におたずねします。】  
あなたが現在通っているところはありますか。(○はいくつでも)

1. 保育所(園)
2. 幼稚園
3. 特別支援学校の幼稚園
4. 療育センター
5. 大宮学園
6. 桜木園
7. その他の療育機関
8. 通っている所はない
9. その他( )

問49 【あなた(あて名のお子さん)が小学校入学前の方におたずねします。】  
あなたが小学校(小学部)に入學するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。(○は1つ)

1. 小学校の通常学級
2. 小学校の特別支援学級
3. 特別支援学校
4. わからない
5. その他( )

問50 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入學する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

1. とてもよいと思う
2. よいと思う
3. あまりよくないと思う
4. よくないと思う

問51 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小学校に入學する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 障害の種類や程度
2. 性格の特徴
3. 得意な分野と不得意な分野
4. コミュニケーション能力
5. 接する上で配慮しなければならないこと
6. 家族構成
7. 障害を発生した時期
8. その他( )

## 9 学校・教育について

※この章の問は、[在学中の方のみ対象]です。「あなた」が小学校入学前・学校卒業後の場合は、回答不要です。】

問52 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。(○は1つ)

1. 小学校の通常学級
2. 小学校の特別支援学級
3. 特別支援学校の小学部
4. 中学校の通常学級
5. 中学校の特別支援学級
6. 特別支援学校の中学部
7. 高等学校
8. 特別支援学校の高学部
9. その他の学校
10. 通所施設などに通っている
11. どこにも通っていない
12. その他( )

問53 あなた(や保護者・ご家族の方)は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

1. 教育・療育に関する情報が少ない
2. 学校での介助が大変
3. 通学の送迎が大変
4. 教職員の指導・支援の仕方が心配
5. 学校のカリキュラムが本人に合わない
6. 友だちとの関係づくりがうまくできない
7. 療育・訓練を受ける機会が少ない
8. 今後の学校選択について迷っている
9. 学校卒業後の進路に不安がある
10. 特に困っていることはない
11. その他( )



問62 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 仕事探してから就労までの総合的な相談支援

2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練

3. 職場を理解するための就労体験

4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大

5. 障害者向けの求人情報の提供

6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ

7. 職場施設のバリアフリー化

8. 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制

9. ショプコープなど職場に定着するための支援

10. 特に必要なことはない

11. わからない

12. その他（ ）

問63 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

1. 趣味・教養に関する活動

2. 学習活動

3. スポーツ活動

4. ボランティア活動

5. 障害者団体の活動

6. 町内会・自治会など地域の活動

7. 特になし

8. その他（ ）

11 運動やスポーツについて

問64 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

1. している

2. していたが、今はやっていない

3. 今まで運動やスポーツをしたことがない

問65 【問64で「1. している」に○をつけた方におたずねします。】

あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

1. 週に3回以上

2. 週に1～2回

3. 月に1～3回

4. 年に1～11回

問66 【問64で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします。】

あなたがやっている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング

2. ランニング・マラソン

3. ラジオ体操・健康体操

4. ヨガ・太極拳

5. ウエイトトレーニング

6. ダンス

7. エアロビクス

8. 水泳

9. 野球・ソフトボール

10. ゴルフ

11. サッカー・フットサル

12. ラグビー

13. バスケッ トボール

14. 陸上競技

15. バレーボール・ソフトバレーボール

16. テニス・ソフトテニス

17. ハンドボール

18. 卓球

19. バドミントン

20. アイススケート

21. スキー・スノーボード

22. 柔道

23. 剣道

24. 空手・合気道

25. ゲートボール

26. ボウリング

27. クラウドゴルフ

28. 登山・キャンプ

29. サイクリング

30. ヨット・サーフィン

31. トライアスロン

32. パークゴルフ

33. アーチエリー

34. グランドソフトボール

35. 車椅子バスケットボール

36. サウンドテーパールテニス

37. フットベースボール

38. フライングディスク

39. ウィルチエアーラグビー

40. カヌー

41. 車いすテニス

42. 車いすフェンシング

43. ゴールボール

44. 電動車椅子サッカー

45. 5人制サッカー(視覚障害者)

46. 7人制サッカー(脳性麻痺)

47. シットイングバレーボール

48. 自転車競技

49. 射撃

50. セーリング

51. テコンドー

52. トライアスロン

53. 馬術

54. パワーリフティング

55. ボート

56. ボッチャ

57. その他（ ）

問67 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようなにい  
かた わつどう  
とおも と思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. いっしょにスポーツをする仲間がいれば いっしょに たがも
2. スポーツを教えてくれる人がいれば おしやうを ひと
3. 自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば おにが しょうかいする まどぐち
4. 子どもを預けられるところがあれば こどもを まかせる ところ
5. 身近で気軽に、障害者が使える施設があれば よきところ 気軽に しょうがい者が つかう
6. 安く使える施設があれば やすく つかえる
7. 施設の環境・雰囲気がよくなければ 施設の かんげい・ふんいき
8. 時間に余裕があれば じかんに えいよ
9. 経済的な援助があれば けいぎ的な えんすけ
10. わからない わからない
11. その他（ その他 ）

問68 【問64で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツができる場所がないため
2. スポーツをする施設が受け入れてくれないため
3. 指導してくれる人がいないため
4. 上手にスポーツができる自信がないため
5. スポーツをするために必要な器具や用具がないため
6. 経済的に無理であるため
7. 一緒にスポーツをする仲間がないため
8. 介助などのボランティアがないため
9. 障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
10. 今のスポーツをやった方がいいかわからないため
11. してみたいスポーツがないため
12. スポーツが嫌いだから
13. 忙しくて時間がないから
14. その他（ ）

—

## 12 趣味や教養などの生涯学習活動について

問69 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたが  
行っている(行っていた)活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・けいここと (音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)  
きうみ・けいここと (おんがく、だんす、えんげん、よみかき、しやうだう、えいば、しやしんなど)
2. 学術・教育 (文芸、歴史、経済、語学など)  
がくしゆ・きやういく (ぶんぎ、れきし、けいざい、ごがくなど)
3. 健康づくり・スポーツ (ウォーキング、水泳、武道など)  
けんかうづくり・すぽーつ (うぉーきんぐ、すいゆう、ぶだうなど)
4. 家庭生活 (料理、手芸など)  
かていせいかつ (りょうり、ていぎなど)
5. 確定の資格や取得のための学習  
かくていのかくしやく (かくしやう)
6. パソコン、インターネットに関する学習  
ぱんこん、いんたーねーと (かんするがくしゆ)
7. ボランティア活動・地域活動 (子ども会、青少年団、美化活動など)  
ぼらんてぃあ (かつどう・ちいき(ち)かつどう (こどもかい、せうねんだん、びかいかつどうなど))
8. 行っていない  
いっていない
9. その他 ( )  
そこのた

あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

1. している
2. していたが、今はやっていない
3. 今まででいたことがない

【問71 <sup>かいとう</sup>【問70で「している」と回答した方におたずねします。】

あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。

1. 週に3回以上 いっしゅう さんかいじょう  
2. 週に1~2回 いっしゅう 1~2かい  
3. 月に1~3回 つき 1~3かい  
4. 年に1~11回 ねん 1~11かい

問2 <sup>と</sup>い【問70で「<sup>と</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>で<sup>い</sup>た<sup>い</sup>が<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>は<sup>い</sup>や<sup>い</sup>つて<sup>い</sup>ない<sup>い</sup>」または「<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>で<sup>い</sup>た<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>と<sup>い</sup>が<sup>い</sup>ない<sup>い</sup>」と<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>で<sup>い</sup>た<sup>い</sup>方<sup>い</sup>に<sup>い</sup>お<sup>い</sup>た<sup>い</sup>ず<sup>い</sup>ね<sup>い</sup>し<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>す<sup>い</sup>。】

あなたが趣味や学習活動のためにセンター・公民館等々で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

1. 時間<sup>じかん</sup>が取れない
2. 一緒に活動<sup>いっしょにどうくつ</sup>する仲間<sup>なかま</sup>がない
3. 費用<sup>ひよう</sup>がかかる
4. 施設<sup>しせつ</sup>にエレベーター、スロープ、多目的トイレ<sup>たもくてきトイレ</sup>等<sup>ら</sup>が整備<sup>せいび</sup>されていない
5. 手話<sup>てわ</sup>や点字<sup>てんじ</sup>などの情報<sup>じょうほう</sup>保障<sup>ほしょう</sup>がない
6. どのような講座<sup>こうざ</sup>があるのか知らない
7. 待<sup>まち</sup>に必要<sup>ひつよう</sup>と感<sup>かん</sup>じない
8. その他<sup>その他</sup>

問73 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようなにしたいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                               |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 時間に余裕があれば           | 2. 一緒に活動する仲間がいれば              |
| 3. 安価、無料で参加できる講座があれば   | 4. 経済的な援助があれば                 |
| 5. エレベーターやスロープ等の整備が進めば | 6. 手話や点字などの情報保障があれば           |
| 7. 講座情報 が簡単に手に入れば      | 8. 障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば |
| 9. わからない               | 10. その他 ( )                   |

### 13 将来について

問74 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 自宅で家族と暮らしたい     | 2. 自宅でひとり暮らしをしたい |
| 3. グループホームなどに入居したい | 4. 障害者の入所施設に入りたい |
| 5. わからない           | 6. その他 ( )       |

問75 あなた(や保護者・ご家族の方)は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 地域の人たちの障害に対する理解   | 2. 地域生活に関する相談支援 |
| 3. 訪問サービスの充実         | 4. 日活動系サービスの充実  |
| 5. 自立生活のための訓練・体験     | 6. グループホームなどの拡充 |
| 7. 障害者のための住宅の確保      | 8. 医療体制の充実      |
| 9. 就労のための支援          | 10. 災害時の支援      |
| 11. 道路・交通・建物のバリアフリー化 | 12. 経済的負担の軽減    |
| 13. 特に必要なことはない       | 14. わからない       |
| 15. その他 ( )          |                 |

問76 【主な介助者の方におたずねします。】  
今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。  
(○は1つ)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 自宅で家族と暮らししてほしい    | 2. 自宅でひとり暮らしをしてほしい |
| 3. グループホームなどに入居してほしい | 4. 障害者の入所施設に入ってほしい |
| 5. わからない             | 6. その他 ( )         |

### 14 障害のある人に対する理解度

問77 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

- |           |          |            |
|-----------|----------|------------|
| 1. 頻繁に感じる | 2. 時々感じる | 3. あまり感じない |
| 4. 感じない   | 5. わからない |            |

問78 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。  
(○はいくつでも)

- |            |           |          |
|------------|-----------|----------|
| 1. 職場      | 2. 学校     | 3. 障害者施設 |
| 4. 病院      | 5. 店舗・飲食店 | 6. 公共施設  |
| 7. 宿泊施設    | 8. 交通機関   |          |
| 9. その他 ( ) |           |          |

問79 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。  
(○は1つ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. よく理解されている   | 2. おおむね理解されている  |
| 3. あまり理解されていない | 4. まったく理解されていない |
| 5. わからない       |                 |

問80 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)

※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない      |               |

問81 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成24年10月1日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)

※障害者虐待防止法は、虐待によって障害者の権利や尊厳がおひやかされることを防ぐ法律です。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない      |               |

問82 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

- 1. 障害者理解のための学校教育の普及
- 2. 広報などによる啓発活動の推進
- 3. 障害者の活動や団体の活動の紹介
- 4. ボランティアの活動の推進
- 5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進
- 6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備
- 7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成
- 8. 特にない
- 9. その他 ( )

問83 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

- 1. 社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく
- 2. 就労を目標としている障害者のいる特別支援学校等を見学する
- 3. 障害者を雇用している企業の見学を行う
- 4. 障害者雇用の実習を受け入れる
- 5. 社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする
- 6. 障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する
- 7. 特にない
- 8. その他 ( )

問84 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

- 1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める
- 2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する
- 3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく
- 4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく
- 5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく
- 6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく
- 7. 特にない
- 8. その他 ( )

※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁（バリア）を除去するための必要かつ合理的な取り組みを行わなければならないことです。（民間事業者については努力義務）

問85 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくためには何だと思われるますか。(〇は3つまで)

- 1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発
- 2. 障害者差別解消法に係るセミナー等の開催
- 3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修
- 4. 鑑賞、読み上げ、手話など障害者の特性に配慮したコミュニケーション手段の設置
- 5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用
- 6. ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発
- 7. 上記6以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発
- 8. 特にない
- 9. その他 ( )

15 サービス利用について

問86 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況	利用して利用しない	今後の利用希望	利用しない
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	1	2
②重度訪問介護	重度の肢体不自由者、重度の知的障害者・精神障害者に、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的に行います。	1	2	1	2
③行動援護	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や回線回線等の援護を行います。	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
④同行支援	移動に著しい困難を有する障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動支援などを行います。	1	2	1	2
⑤重度障害者等包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	1	2
⑥移動支援	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	1	2
⑦訪問入浴	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	1	2

問87 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ( )

問88 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと  
思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。①  
～④のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2  
のどちらかに○をつけてください。

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。			1	2
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な訓練を行います。			1	2
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。	①～⑥については、「18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。			
④就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。				
⑤就労定着支援	就労移行支援等を利用し、一般企業等に就労した障害者に、一定期間、就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所等との連絡調整等の支援を行います。	1			2
⑥療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。			1	2
⑦短期入所 (ショートステイ)	介護者が病気などのときに、短期間、施設で必要な介護等の支援を行います。	1	2		

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用したくない
⑧ 児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練を行います。	1	2	1	2
⑨ 放課後等デイサービス	学校の授業の終了後または夏休み等の休業日には、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流促進等を行います。	1	2	1	2
⑩ 保育所等訪問支援	障害児が通う保育所等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。	1	2	1	2
⑪ 医療型 児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練等と治療を行います。	1	2	1	2
⑫ 居宅訪問型 児童発達支援	重度障害の状態等で外出が難しく困難な障害児に、自宅を訪問し、日常生活動作の指導、知識技能の付与、訓練等を行います。	1	2	1	2
⑬ 日中一時支援事業	障害者に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2	1	2
⑭ その他( )	その他のサービス名をお書きください:	1	2	1	2

- 問89 あなたは、日中活動系サービスの利用に困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)
- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. サービスの内容や使い方がよくわからない | 7. サービスの質について困っている |
| 2. サービスに関する情報が少ない      | 9. 施設への通所が大変       |
| 3. 利用したいサービスが利用できない    | 11. 特に困っていることはない   |
| 4. サービス利用の手続きが大変       |                    |
| 5. 事業者との日時などの調整が大変     |                    |
| 6. 利用できる回数や日数が少ない      |                    |
| 8. 他の利用者との関係について困っている  |                    |
| 10. 利用者負担について困っている     |                    |
| 12. その他 ( )            |                    |
- 問90 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用したくない
① 共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ・食事などの介護を行います。	18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。若くは今後の利用希望のみ回答してください。	1	2	
② 施設入所支援	知的障害児、肢体不自由児または重度の知的障害・肢体不自由が重複している児童を保護し、日常生活の指導等と治療を行います。	1	2	1	2

問91 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと望みますか。  
すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
① 障害者相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	1	2
② 成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の利用にかかわる申請や書類の作成、後見人等の選任・更新、後見人等の報酬の即成を行います。	②については、「20歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。			
③ 意思疎通支援事業	意思疎通を図ることに支援のある方に、手話通訳者等を派遣します。	1	2	1	2
④ 日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	1	2
⑤ 地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	1	2
⑥ 本人活動支援事業	在宅の知的障害者に対して、ボランティア活動の機会を提供します。	1	2	1	2
⑦ 知的障害者職業支援事業	知的障害者が、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	1	2
⑧ 生活訓練等事業	視覚障害者等に対して、日常生活に必要な訓練、指導等を行います。	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
⑨ 地域移行支援	障害者支援施設や病院等に入院または入所している障害者に、住居の確保などの地域における生活へ移行するための支援を行います。	1	2	1	2
⑩ 地域定着支援	一般住宅で一人暮らしをしている障害者に、夜間も含む緊急時における連絡等の支援を行います。	1	2	1	2

問92 【問86、88、90、91にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用をしたい方におたずねします。】  
サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(○は1つ)

1. 相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい
2. セルフプランを自分や家族で作成したい
3. 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい
4. まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい
5. サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない

問93 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方におたずねします。】  
サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか (○は4つまで)

1. ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた
2. サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた
3. サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった
4. 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた
5. 課題解決に向けて自分を取り組むべきことが明確になった
6. サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった
7. サービス等利用計画の内容が分かりにくかった
8. 相談支援専門員の説明が分かりにくかった
9. 制度そのものが分かりにくかった
10. その他 ( )

問94 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

1. 福祉タクシー利用券（黄色券）
2. 福祉タクシー利用券（水色券）
3. 自動車燃料券
4. 利用していない

問95 【問94でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方におたずねします。】福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

1. 通勤・通学
2. 福祉施設への通所
3. 医療機関への通院
4. 買い物など日常生活
5. 文化・教養活動
6. スポーツ・レクリエーション活動
7. 旅行
8. 友人・知人との会合
9. その他（ ）

問96 【問94で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方におたずねします。】福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何か。（○は1つ）

1. 自分で運転できるから
2. 家族などが運転する車で移動することが多いから
3. タクシーや公共交通機関の利用が難しいから
4. 自家用車のほうが経済的負担が少ないから
5. 特に理由はない
6. その他（ ）

## 16 収入や利用者負担について

問97 あなたご本人の主な収入源をお答えください。（○は3つまで）

1. 一般就労による収入（給与・報酬など）
2. 福祉的就労による収入（工賃など）
3. 事業収入（自営業など）
4. 財産収入（家賃収入など）
5. 年金・手当
6. 生活保護費
7. 家族などからの仕送り
8. 収入はない
9. その他（ ）

問98 あなた（保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

1. 非常に負担に感じる
2. やや負担に感じる
3. あまり負担に感じない
4. 障害福祉サービスを利用していない
5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない

## 17 障害者施策について

問99 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

1. 非常に満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 非常に不満
5. どちらとも言えない

## 18 自由意見

問100 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

## 4 発達障害のある方を対象とした調査

### 千葉市障害者生活実態・意向調査 アンケートへのご協力をお願い

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ申し訳ございませんが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳以上の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方の中から、無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いいたします。

令和元年12月

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課

#### 【ご記入に当たってのお願い】

##### ◆調査票の記入について

- ・封筒のあて名で本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ・ご本人が病状や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ・回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ・この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かなくてください。

##### ◆調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和2年1月6日（月）**までにポストに投函していただきますようお願いいたします。（切手は不要です）

##### ◆お問い合わせ先

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
電話 043-245-5175 F A X : 043-245-5549

#### 1 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（○は1つ）

1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方
2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
3. 施設職員の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
4. その他（ ）

#### 2 本人について

問2 あなたの性別をおたずねします。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

（ ）歳

問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。（○は1つ）

1. 中央区
2. 花見川区
3. 稲毛区
4. 若葉区
5. 緑区
6. 美浜区

問5 あなたがご持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（○はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。）

1. 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
2. 療育手帳（△ △の1 △の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2）
3. 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している
5. 手帳も持っていない、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない

問6 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。（○はいくつでも）

1. 自閉症・自閉的傾向
2. 高機能自閉症・高機能広汎性発達障害
3. 自閉症スペクトラム障害（ASD）
4. 広汎性発達障害（PDD）
5. アスペルガー症候群
6. 注意欠陥・多動性障害（AD/HD）
7. 学習障害（LD）
8. 知的障害
9. 特に診断は受けていない
10. その他（ ）

問7 あなたが診断名の障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

1. 産まれてまもなく病院で知らされた
2. 家族や周りの人が気づいた
3. 乳幼児健診で知らされた
4. 医療機関を受診した時に知らされた
5. 保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた
6. 学校の職員が気づいた
7. 自身で気づいた
8. その他( )

問8 あなたが診断名の障害に気づいたのはいつですか。(○は1つ)

1. 産まれたとき
2. 0歳
3. 1歳
4. 2歳
5. 3歳
6. 4～6歳
7. 7～12歳
8. 13～17歳
9. 18歳以降

問9 あなたが診断・判定を受けた機関はどこですか。(○は1つ)

1. 診療所
2. 総合病院・大学病院等の診療科(市立病院を含む)
3. 市の機関(療育センターや発達障害者支援センター等)
4. その他( )

問10 あなたが、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。

1. 産まれたとき
2. 0歳
3. 1歳
4. 2歳
5. 3歳
6. 4～6歳
7. 7～12歳
8. 13～17歳
9. 18歳以降

問11-1 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 国が指定する特定疾患  
(別表で該当する疾患の番号を記入してください。番号はいくつでも。)

一覽表を別紙で同封

問11-2 その他の難病

(病名をお書きください)

### 3 医療機関への受診状況について

問12 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

1. 障害や疾病では受診していない
2. 一時的に受診したが、入院はしていない
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)
5. 1年間継続して入院していた

問13 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等(かかりつけ医)はいますか。(○は1つ)

1. いる
2. いない

問14 【問13で身近な医師等(かかりつけ医)がいると回答した方におたずねします。】  
その医療機関はどのようなものですか。(○はいくつでも)

1. 診療所(〇〇科、〇〇クリニック、〇〇医院など)
2. 総合病院・大学病院等の専門の診療科
3. 通所している施設等での診察
4. その他( )

問15 あなたの「医療」についておたずねします。

あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。(○はいくつでも)

1. 市内の歩いていける場所
2. 市内の歩いていけない場所
3. 県内の市町村(千葉市以外)
4. 東京都内(市町村)
5. その他(具体的に: )
6. 特に通院していない

### 4 家族や介助者について

問16 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(○はいくつでも)

1. 母親
2. 父親
3. 兄弟姉妹
4. 祖父母
5. 配偶者
6. 子ども
7. その他の親族
8. 施設(グループホーム等)で暮らしている
9. ひとり暮らし
10. その他( )

問17 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

- |               |            |           |
|---------------|------------|-----------|
| 1. 母親         | 2. 父親      | 3. 兄弟姉妹   |
| 4. 祖父母        | 5. 配偶者     | 6. 子ども    |
| 7. その他の親族     | 8. ホームヘルパー | 9. ボランティア |
| 10. 介助は受けていない | 11. その他( ) |           |

問18 【問17で主な介助者が家族・親族(1～7番)に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

- |          |        |          |
|----------|--------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代   |
| 4. 40代   | 5. 50代 | 6. 60代   |
|          |        | 7. 70歳以上 |

問19 【問17で主な介助者が家族・親族(1～7番)に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者の介助継続年数をお答えください。(○は1つ)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満        | 2. 1年以上～5年未満   |
| 3. 5年以上～10年未満  | 4. 10年以上～15年未満 |
| 5. 15年以上～20年未満 | 6. 20年以上～25年未満 |
| 7. 25年以上～30年未満 | 8. 30年以上       |

問20 【問17で主な介助者が家族・親族(1～7番)に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者が困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 介助者自身の健康に不安がある  | 2. 介助者の高齢化に不安がある |
| 3. 代わりに介助を頼める人がいない | 4. 緊急時の対応に不安がある  |
| 5. 身体的な負担が大きい      | 6. 精神的な負担が大きい    |
| 7. 経済的な負担が大きい      | 8. 仕事に出られない      |
| 9. 長期の旅行や外出ができない   | 10. 休養や息抜きがない    |
| 11. 特に困っていることはない   | 12. よくわからない      |
| 13. その他( )         |                  |

問21 主な介助者が、病気のときや外出をしななければならないときなどは、代わりにどなたが介助していますか。(○は3つまで)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 同居している家族     | 2. 同居していない家族や親族     |
| 3. 近所の人や友人・知人   | 4. ボランティア           |
| 5. ホームヘルパー      | 6. 施設に短期間入所して介助を受ける |
| 7. 介助してくれる人がいない | 8. その他( )           |

## 5 相談や情報入手について

問22 あなた(やご家族の方)は、日常生活で困っていることはありませんか。  
(○はいくつでも)

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 発達や心身の状態に不安がある      | 2. 発達や心身の状態に不安がある         |
| 3. 行動上の問題への対応に困っている    | 4. 自分では身の回りの事が十分にできない     |
| 5. 自分や家族では家事が十分にできない   | 6. 健康状態に不安がある             |
| 7. 介護者(家族)の負担が大きい      | 8. 外出するのに支障がある            |
| 9. 段差や階段など、住まいに支障がある   | 10. 利用したい福祉サービスを十分に利用できない |
| 11. 収入や生活費に不安を感じている    | 12. 緊急時に支援が得られない          |
| 13. 近所の人などとの人間関係に支障がある | 14. 将来の生活に不安を感じている        |
| 15. 療育・教育について困っている     | 16. 就労について困っている           |
| 17. 特に困っていることはない       | 18. その他( )                |

問23 あなた(やご家族の方)が困った時に相談する相手は誰(どこ)ですか。  
(○はいくつでも)

- |                        |                     |                |
|------------------------|---------------------|----------------|
| 1. 家族・親族               | 2. 友人・知人            | 3. 近所の人        |
| 4. 同じ施設の入所者            | 5. 相談支援専門員・ケアマネジャー  | 6. 障害者相談支援事業所  |
| 7. ホームヘルパー             | 8. 施設等の職員           | 9. 施設等のボランティア  |
| 10. 施設等の第三者委員(苦情の受付窓口) | 11. 医療関係者(医師・看護師など) | 12. 障害者団体や家族の会 |
| 13. 学校の職員              | 14. 養護教育センター        | 15. 民生委員・児童委員  |
| 16. 身体障害者相談員・知的障害者相談員  | 17. 保健福祉センター        | 18. 療育センター     |
| 19. 発達障害者支援センター        | 20. こころの健康センター      | 21. 相談する相手はいない |
|                        | 22. その他( )          |                |

問24 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。  
（○はいくつでも）

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 近所で気軽に立ち寄れる相談 | 2. 休日や夜間など緊急時の相談  |
| 3. 専門性の高い職員による相談 | 4. 自分と同じ立場の人による相談 |
| 5. 定期的に訪問してくれる相談 | 6. プライバシーに配慮した相談  |
| 7. 特に希望はない       | 8. その他（ ）         |

問25 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。  
（○はいくつでも）

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 電話による相談                  | 2. 電子メールやインターネットによる相談 |
| 3. ファックスによる相談               |                       |
| 4. 手話通訳者・要約筆記者のサポートを受けられる相談 |                       |
| 5. SNSによる相談                 | 6. その他（ ）             |

問26 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。  
（○はいくつでも）

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. ちば市政だより     | 2. 市のパンフレットなど         |
| 3. 障害者団体などの刊行物 | 4. 学校のお知らせ            |
| 5. 市のホームページ    | 6. 市以外のホームページ         |
| 7. SNS         | 8. 新聞・雑誌              |
| 9. テレビ・ラジオ     | 10. 施設や福祉サービス事業所      |
| 11. 医療機関       | 12. 障害者団体や家族の会        |
| 13. 民生委員・児童委員  | 14. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 15. 市の窓口       | 16. その他（ ）            |

6 あなたの暮らしについて

問27 あなたのお住まいの種類の種類をお聞きます。（○は1つ）

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 持ち家（戸建て）    | 2. 持ち家（集合住宅）       |
| 3. 民間賃貸住宅（戸建て） | 4. 民間賃貸住宅（集合住宅）    |
| 5. 公営住宅        | 6. UR都市機構住宅（旧公団住宅） |
| 7. グループホーム     | 8. その他（ ）          |

問28 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。  
（○はいくつでも）

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 階段の昇降        | 2. 玄関・出入口などの段差 |
| 3. 風呂が使いにくい     | 4. トイレが使いにくい   |
| 5. 建物の老朽化       | 6. 家賃など住宅費の負担  |
| 7. 特に困っていることはない | 8. その他（ ）      |

問29 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（○は1つ）

- |             |           |                |
|-------------|-----------|----------------|
| 1. 週4日以上    | 2. 週2～3日  | 3. 週1日くらい      |
| 4. 月2～3日    | 5. 月1日くらい | 6. 2～3か月に1日くらい |
| 7. あまり外出しない |           |                |

問30 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（○はいくつでも）

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 運動・通学・通所 | 2. 訓練やリハビリ  | 3. 医療機関への受診 |
| 4. 買い物      | 5. 友人・知人と会う | 6. 趣味やスポーツ  |
| 7. グループ活動   | 8. 散歩に行く    | 9. あまり外出しない |
| 10. その他（ ）  |             |             |

問31 外出先のトイレに望むことは何ですか。（○はいくつでも）

- |                        |                                      |
|------------------------|--------------------------------------|
| 1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい | 2. 男女の別やパーカーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせしてほしい |
| 3. 絵文字表示を身やすくしてほしい     | 4. トイレの中を明るくしてほしい                    |
| 5. トイレの中の段差をなくしてほしい    | 6. 点字ブロックをつけてほしい                     |
| 7. 便器等の位置、向きを統一してほしい   |                                      |
| 8. トイレの中に手すりをつけてほしい    | 9. エアタオルをつけてほしい                      |
| 10. トイレに十分な広さがほしい      | 11. 緊急通報ボタンをつけてほしい                   |
| 12. 特にない               |                                      |
| 13. その他（ ）             |                                      |

問32 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。（○は1つ）

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. よく利用する   | 2. 時々利用する  |
| 3. あまり利用しない | 4. 全く利用しない |

問33 【問32で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |             |                |
|---------------------|-------------|----------------|
| 1. 散歩               | 2. 運動       | 3. 休息          |
| 4. 植物などの自然観賞        | 5. 昼食       | 6. 公園を近道に使っている |
| 7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休息 | 8. 遊び場      |                |
| 9. イベント見学・参加        | 10. その他 ( ) |                |

問34 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |                |               |                   |                          |                          |  |                |                            |               |             |
|----------------|---------------|-------------------|--------------------------|--------------------------|--|----------------|----------------------------|---------------|-------------|
| 1. 通路の幅を広げてほしい | 2. 手すりをつけてほしい | 3. 段差や急な坂をなくしてほしい | 4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい | 5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい | 6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい | 7. ベンチを増やしてほしい | 8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい | 9. 特に必要なことはない | 10. その他 ( ) |
|----------------|---------------|-------------------|--------------------------|--------------------------|--|----------------|----------------------------|---------------|-------------|

## 7 災害対策について

問35 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(○はいくつでも)

- |                    |                     |                       |                     |                        |                       |                         |                      |                 |             |
|--------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|-----------------|-------------|
| 1. 自分や家族だけでは避難できない | 2. 自分では助けを呼ぶことができない | 3. 近所に頼ることのできる支援者がいない | 4. 災害に関する情報を得るのが難しい | 5. 避難所の設備が障害に配慮しているか不安 | 6. 避難所で必要な介助を受けられるか不安 | 7. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安 | 8. 実や医療的なケアが確保できるか不安 | 9. 特に不安に思うことはない | 10. その他 ( ) |
|--------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|-----------------|-------------|

問36 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資(薬や装具等)を、備蓄していますか。(○はいくつでも)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 1週間分以上の備蓄がある   | 2. 4～6日分くらいの備蓄がある |
| 3. 1～3日分くらいの備蓄がある | 4. 備蓄していない        |

問37 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

- |                          |                                    |   |  |                                       |                                   |   |                      |                           |                                |                              |          |             |
|--------------------------|------------------------------------|---|--|---------------------------------------|-----------------------------------|---|----------------------|---------------------------|--------------------------------|------------------------------|----------|-------------|
| 1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている | 2. 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている | 3. 非常時持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に必要医薬品、装具、食料等を用意している | 4. 避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している | 5. 家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている | 6. 自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している | 7. 市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している | 8. 参員に転倒防止器具を取り付けている | 9. 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている | 10. 災害時に避難する指定避難所(一歩避難所)を知っている | 11. 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している | 12. 特にない | 13. その他 ( ) |
|--------------------------|------------------------------------|---|--|---------------------------------------|-----------------------------------|---|----------------------|---------------------------|--------------------------------|------------------------------|----------|-------------|

問38 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(○はいくつでも)

- |                             |                       |                          |                       |                      |               |            |
|-----------------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------------|----------------------|---------------|------------|
| 1. 一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい | 2. 災害の情報をわかりやすく伝えてほしい | 3. 障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい | 4. 地域の人すぐに安全確認等をしてほしい | 5. 避難場所の情報を的確に伝えてほしい | 6. 特に必要なことはない | 7. その他 ( ) |
|-----------------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------------|----------------------|---------------|------------|

8 日中活動・就労について

問39 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

(最もあてはまる番号1つだけ○)

1. 正職員として働いている
2. パート・アルバイトなどで働いている
3. 自宅で就労している（収入のある仕事）
4. 福祉的就労をしている（作業所など）
5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている
6. 自宅で家事や手伝いをしている
7. 特に何もしていない
8. 学校などに通っている
9. 職業訓練中
10. 就労活動中
11. その他（ ）

問40 【問39で働いている（1～3番）に○をつけた方におたずねします。】

働いている方におたずねします。現在の仕事は、どのような方法で見つけましたか。  
(○はいくつでも)

1. 求人誌やインターネット求人情報サイトなどから自分で探した
2. 公共職業安定所（ハローワーク）の求人から探した
3. 千葉障害者就業支援キャリアセンターの紹介
4. 職業訓練を通しての紹介
5. 学校の紹介
6. 家族、親族などの紹介
7. 相談支援事業者の紹介
8. 就労移行支援事業所などの福祉施設の紹介
9. その他（ ）

問41 【問39で働いている（1～4番）に○をつけた方におたずねします。】

あなたが仕事上で困っていることはありますか。(○は3つまで)

1. 身体的な負担が大きい
2. 精神的な負担が大きい
3. 通勤が大変
4. 職場の施設が障害に対応していない
5. 障害に対する職場の理解不足
6. 職場の人間関係
7. 仕事の相談をする相手がいない
8. 仕事が自分には合わない
9. 給与・工賃などの収入が少ない
10. 仕事が難しく覚えられない
11. 特に困っていることはない
12. その他（ ）

問42 【問39で働いていない（5～7番）に○をつけた方におたずねします。】

あなたが働いていない理由はなんですか。(○は3つまで)

1. 障害や病気が重いから
2. 高齢だから
3. 自分に合った仕事が見つからないから
4. 希望に合った求人が見つからないから
5. 働く自信がないから
6. 通勤が困難だから
7. 障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから
8. 人間関係がうまくいくか不安があるから
9. 趣味の活動など仕事以外のことをしたいから
10. その他（ ）

問43 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だ  
と思いますか。(○はいくつでも)

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
5. 障害者向けの求人情報の提供
6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
7. 職場施設のバリアフリー化
8. 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制
9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
10. 特に必要なことはない
11. わからない
12. その他（ ）

問44 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、  
今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

1. 趣味・教養に関する活動
2. 学習活動
3. スポーツ活動
4. ボランティア活動
5. 障害者団体の活動
6. 町内会・自治会など地域の活動
7. 特にない
8. その他（ ）

9 運動やスポーツについて

問45 あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

1. している
2. していたが、今はやっていない
3. 今まで運動やスポーツをしたことがない

問46 【問45で「1. している」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

1. 週に3回以上
2. 週に1～2回
3. 月に1～3回
4. 年に1～11回

問47 【問45で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが 行 っている (行 っていた) 運動やスポーツの種目は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング
2. ランニング・マラソン
3. ラジオ体操・健康体操
4. ヨガ・太極拳
5. ウェイトトレーニング
6. ダンス
7. エアロビクス
8. 水泳
9. ゴルフ
10. 野球・ソフトボール
11. サッカー・フットサル
12. ラグビー
13. バスケットボール
14. 陸上競技
15. バレーボール・ソフトボール
16. ハンドボール
17. テニス・ソフトテニス
18. バドミントン
19. 卓球
20. アイススケート
21. スキー・スノーボード
22. 柔道
23. 剣道
24. 空手・合気道
25. ゲートボール
26. ボウリング
27. グラウンドゴルフ
28. 登山・キャンプ
29. サイクリング
30. ヨット・サーフィン
31. トライアスロン
32. パークゴルフ
- 【上記を除く全国障害者スポーツ大会競技】
33. アーチERY
34. グランドソフトボール
35. 車いすバスケットボール
36. サウンドテーパーテニス
37. フットベースボール
38. フライングディスク
- 【上記を除くパラリンピックの公式競技等】
39. ウィルチェアラグビー
40. カヌー
41. 車いすテニス
42. 車いすフエジシング
43. ゴールボール
44. 電動車椅子サッカー
45. 5人制サッカー (視覚障害者)
46. 7人制サッカー (脳性麻痺)
47. シットイングバレーボール
48. 自転車競技
49. 射撃
50. セーリング
51. テコンドー
52. トライアスロン
53. 馬術
54. パワーリフティング
55. ボート
56. ボッチャ
57. その他 ( )

問48 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようなになればいいと認めますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 一緒にスポーツをする仲間がいれば
2. スポーツを教えてくれる人がいれば
3. 自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば
4. 子どもを預けられるところがあれば
5. 身近で気軽に、障害者が使える施設があれば
6. 安く使える施設があれば
7. 施設の環境・雰囲気良くなれば
8. 時間に余裕があれば
9. 経済的な援助があれば
10. わからない
11. その他 ( )

問49 【問45で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたがスポーツをしない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツができる場所がないため
2. スポーツをする施設が受け入れてくれないため
3. 指導してくれる人がいないため
4. 上手にスポーツができる自信がないため
5. スポーツをするために必要な器具や用具がないため
6. 経済的に無理であるため
7. 一緒にスポーツをする仲間がないため
8. 介助などのボランティアがないため
9. 障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
10. 今のスポーツをやったらよいかわからないため
11. してみたいスポーツがないため
12. スポーツが嫌いだから
13. 忙しくて時間がないから
14. その他 ( )

## 10 趣味や教養などの生涯学習活動について

問50 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたが  
行っている(行っていない)活動は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・けいこごと (音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)
2. 学術・教養 (文学、歴史、経済、語学など)
3. 健康づくり・スポーツ (ウォーキング、水泳、武道など)
4. 家庭生活 (料理、手芸など)
5. 校定の資格や取得のための学習
6. パソコン、インターネットに関する学習
7. ボランティア活動・地域活動 (子ども会、青少年団体、美化活動など)
8. 行っていない
9. その他 ( )

問51 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座  
を受講したことがありますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

1. している
2. していたが、今はやっていない
3. 今まででたことがない

問52 【問51で「している」と回答した方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の  
受講をしていますか。

1. 週に3回以上
2. 週に1～2回
3. 月に1～3回
4. 年に1～11回

問53 【問51で「していたが今はやっていない」または「今まででたことがない」と回答した方  
におたずねします。】  
あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座  
を受講しない理由は何か。

1. 時間が取れない
2. 一緒に活動する仲間がいない
3. 費用がかかる
4. 施設にエレベーター、スロープ、多目的トイレ等が整備されていない
5. 手話や点字などの情報保障がない
6. どのような講座があるのか知らない
7. 特に必要と感しない
8. その他 ( )

14

問54 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施  
されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようなにしたいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 時間に余裕があれば
2. 一緒に活動する仲間がいれば
3. 安価、無料で参加できる講座があれば
4. 経済的な援助があれば
5. エレベーターやスロープ等の整備が進めば
6. 手話や点字などの情報保障があれば
7. 講座情報が簡単に手に入れば
8. 障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば
9. わからない
10. その他 ( )

## 11 将来について

問55 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。  
(○はいくつでも)

1. 身の回りの介助や援助をしてくれる人がいるか
2. 財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか
3. 結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるか
4. いっしょに暮らす家族がいるか
5. 十分な教育を受けられるか
6. 働く場所や適当な仕事があるか
7. 十分な収入が得られるか
8. 趣味や生きがいを持てるか
9. 生活をするうえで必要な情報を得られるか
10. 特に不安はない
11. その他 ( )

問56 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者の入所施設に入りたい
5. 高齢者の入所施設に入りたい (特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他 ( )

15

問57 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。  
(○は3つまで)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 地域の人の障害に対する理解     | 2. 地域生活に関する相談支援 |
| 3. 訪問系サービスの充実        | 4. 日中活動系サービスの充実 |
| 5. 自立生活のための訓練・体験     | 6. グループホームなどの拡充 |
| 7. 障害者のための訓練・体験      | 8. 医療体制の充実      |
| 9. 就労のための支援          | 10. 災害時の支援      |
| 11. 道路・交通・建物のバリアフリー化 | 12. 経済的負担の軽減    |
| 13. 特に必要なことはない       | 14. わからない       |
| 15. その他 ( )          |                 |

問58 【主な介護者の方におたずねします。】  
今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。  
(○は1つ)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 自宅で家族と暮らしてほしい                 |
| 2. 自宅でひとり暮らしをしてほしい               |
| 3. グループホームなどに入居してほしい             |
| 4. 障害者の入所施設に入ってほしい               |
| 5. 高齢者の入所施設に入ってほしい (特別養護老人ホームなど) |
| 6. わからない                         |
| 7. その他 ( )                       |

12 障害のある人に対する理解度

問59 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

- |           |          |            |
|-----------|----------|------------|
| 1. 頻繁に感じる | 2. 時々感じる | 3. あまり感じない |
| 4. 感じない   | 5. わからない |            |

問60 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。  
(○はいくつでも)

- |            |           |          |
|------------|-----------|----------|
| 1. 職場      | 2. 学校     | 3. 障害者施設 |
| 4. 病院      | 5. 店舗・飲食店 | 6. 公共施設  |
| 7. 宿泊施設    | 8. 交通機関   |          |
| 9. その他 ( ) |           |          |

問61 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。  
(○は1つ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. よく理解されている   | 2. おおむね理解されている  |
| 3. あまり理解されていない | 4. まったく理解されていない |
| 5. わからない       |                 |

問62 障害者への差別をなくすることを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)  
※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない      |               |

問63 障害者への虐待を撲滅した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成24年10月1日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は1つ)  
※障害者虐待防止法は、虐待によって障害者の権利や尊厳がおびやかされることを防ぐ法律です。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている |
| 3. 知らない      |               |

問64 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 障害者理解のための学校教育の普及         |
| 2. 広報などによる啓発活動の推進           |
| 3. 障害者の活動や団体の活動の紹介          |
| 4. ボランティアの活動の推進             |
| 5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進 |
| 6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備    |
| 7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成    |
| 8. 特になし                     |
| 9. その他 ( )                  |

問65 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

1. 社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく

2. 就労を目標としている障害者のいる特別支援学校等を見学する

3. 障害者を雇用している企業の見学を行う

4. 障害者雇用の実習を受け入れる

5. 社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする

6. 障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する。

7. 特にない

8. その他 ( )

問66 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める

2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する

3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく

4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく

5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等により市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく

6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく

7. 特にない

8. その他 ( )

※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁（バリア）を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならないこととす。(民間事業者については努力義務)

問67 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくためには必要なことは何だと思われますか。(〇は3つまで)

1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発

2. 障害者差別解消法に係るセミナー等の開催

3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修

4. 事談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置

5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用

6. ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発

7. 上記6以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発

8. 特にない

9. その他 ( )

### 13 サービス利用について

問68 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか、また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況	今後の利用希望	利用している	利用したい
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	1	2
②重度訪問介護	重度の肢体不自由者、重度の知的障害者・精神障害者に、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的に行います。	1	2	1	2
③行動援護	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や関係回避等の援護を行います。	1	2	1	2
④同行援護	移動に著しい困難を有する障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動援護などを行います。	1	2	1	2
⑤重度障害者等包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	1	2
⑥移動支援	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	1	2
⑦訪問入浴	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	1	2

問69 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ( )

問70 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと  
思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑨のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・  
2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。	1	2	1	2
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練を行います。	1	2	1	2
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。	1	2	1	2
④就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
⑤就労定着支援	就労移行支援等を利用し、一般企業等に就労した障害者に、一定期間、就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所等との連絡調整等の支援を行います。	1	2	1	2
⑥療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などをを行います。	1	2	1	2
⑦短期入所 (ショートステイ)	介護者が病気などのときに、短期間、施設で必要な介護等の支援を行います。	1	2	1	2
⑧日中一時支援 事業	障害者に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2	1	2
⑨その他の通所 施設	(具体的なサービス名をお書きください： )	1	2	1	2

問71 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 他利用者と関係について困っている
9. 施設への通所が大変
10. 利用者負担について困っている
11. 特に困っていることはない
12. その他 ( )

問72 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況	利用して利用しない	利用し利用しない	利用したくない
① 共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴・排せつ、食事の介護などを行います。	1	2	1	2
② 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ・食事などの介護を行います。	1	2	1	2
③ 自立生活援助	入所施設などから一人暮らしへの移行を希望する障害者に、定期的な訪問や就労の対応などを行うサービスです。	1	2	1	2

問73 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない

2. サービスに関する情報が少ない

3. 希望しているが入居・入所できない

4. 将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安

5. 生活上の支援が不十分

6. プライバシーを十分に守れない

7. 他の入居者との関係について困っている

8. 入居のための費用について困っている

9. 特に困っていることはない

10. その他 ( )

問74 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況	利用して利用しない	利用し利用しない	利用したくない
① 障害者相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	1	2
② 成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の利用にかかわる申立て費用や後見人等報酬の助成をします。	1	2	1	2
③ 意思疎通支援事業	意思疎通を図ることに支援のある方に、手話通訳者等を派遣します。	1	2	1	2
④ 日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援員等の給付・貸与を行います。	1	2	1	2
⑤ 地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	1	2
⑥ 本人活動支援事業	在宅の知的障害者に対して、ボランティア活動の機会を提供します。	1	2	1	2
⑦ 知的障害者職親委託事業	知的障害者が、民泊事業者等のちとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	1	2
⑧ 生活訓練等事業	視覚障害者等に対して、日常生活に必要な訓練、指導を行います。	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用	利用して いない	今後の利用希望 利用し	利用した くない
⑤地域移行支援	障害者支援施設や病院等 に入所または入院してい る障害者に、住居の確保な どの地域における生活へ移行 するための支援を行います。	1	2	1	2
⑩地域定着支援	一般住宅で一人暮らしをし ている障害者に、夜間も含 む緊急時における連絡等の 支援を行います。	1	2	1	2

問75 【問68, 70, 72, 74にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用をしたい方におたずねします。】  
サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(○は1つ)

- 相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい
- セルフプランを自分や家族で作成したい
- 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい
- まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい
- サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない

問76 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方におたずねします。】

サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか。(○は4つまで)

- ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた
- サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた
- サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった
- 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた
- 課題解決に向けて自分を取り組むべきことが明確になった
- サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった
- サービス等利用計画の内容が分かりにくかった
- 相談支援専門員の説明が分かりにくかった
- 制度そのものが分かりにくかった
- その他 ( )

問77 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか、利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。(○は1つ)

- 福祉タクシー利用券（黄色券）
- 福祉タクシー利用券（水色券）
- 自動車燃料券
- 利用していない

問78 【問77でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方におたずねします。】  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。(○はいくつでも)

- 運動・通学
- 福祉施設への通所
- 医療機関への通院
- 買い物など日常の用事
- 文化・教養活動
- スポーツ・レクリエーション活動
- 旅行
- 友人・知人と会う
- その他 ( )

問79 【問77で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方におたずねします。】  
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何か。(○は1つ)

- 自分で運転できるから
- 家族などが運転する車で移動することが多いから
- タクシーや公共交通機関の利用が難しいから
- 自家用車のほうが経済的負担が少ないから
- 特に理由はない
- その他 ( )

14 収入や利用者負担について

問80 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(○は3つまで)

1. 一般就労による収入 (給与・報酬など)

2. 福祉的就労による収入 (工賃など)

3. 事業収入 (自営業など)

4. 財産収入 (家賃収入など)

5. 年金・手当

6. 生活保護費

7. 家族などからの仕送り

8. 収入はない

9. その他 ( )

問81 あなた (保護者の方) は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(○は1つ)

1. 非常に負担に感じる

2. やや負担に感じる

3. あまり負担に感じない

4. 障害福祉サービスを利用していない

5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない

15 障害者施策について

問82 あなた (や保護者・ご家族の方) は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。(○は1つ)

1. 非常に満足

2. やや満足

3. やや不満

4. 非常に不満

5. どちらとも言えない

16 自由意見

問83 障害福祉社に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

## 5 発達障害のある18歳未満の方とその保護者

<div><div><div>千葉市障害者生活実態・意向調査</div><div>アンケートへのご協力をお願い</div></div><div><p>日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。</p><p>本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ申し訳ございませんが、調査へのご協力をお願いいたします。</p><p>この調査は、精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの方、及び千葉市療育センター又は千葉市入宮学園に通っている方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請された方の中から、無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。</p><p>この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いいたします。</p><p>令和元年12月</p><p>千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課</p></div></div>	<div><div><div>【ご記入に当たってのお願い】</div><div>◆調査票の記入について</div><ul style="list-style-type: none"><li>・封筒のあて名ご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能ですが）</li><li>・ご本人が年少の場合や、病状や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。</li><li>・回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他に回答する場合」は、その内容を（ ）内に記入ください。回答欄に直接記入していただく際もありませんので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。</li><li>・この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。</li></ul></div><div><div>◆調査票の回収について</div><p>ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、<u>令和2年1月6日（月）</u>までにポストに投函していただきますようお願いいたします。（切手は不要です）</p><div><div>◆お問い合わせ先</div><div>千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班</div><div>電話 043-245-5175      F A X : 043-245-5549</div></div></div></div>
---	--

<div><div><div>1 回答者について</div><div>問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（○は1つ）</div><div><div>1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方</div><div>2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）</div><div>3. 施設職員の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）</div><div>4. その他（ ）</div></div></div><div><div><div>2 本人について</div><div>問2 あなたの性別をおたずねします。（○は1つ）</div><div><div>1. 男性</div><div>2. 女性</div></div></div><div><div><div>問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。</div><div><div>（ ）歳</div></div></div><div><div><div>問4 あなたのお住まいの区をおたずねします。（○は1つ）</div><div><div>1. 中央区</div><div>2. 花見川区</div><div>3. 稲毛区</div><div>4. 若葉区</div><div>5. 緑区</div><div>6. 美浜区</div></div></div><div><div><div>問5 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（○はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。）</div><div><div>1. 身体障害者手帳（ 1級 2級 3級 4級 5級 6級 ）</div><div>2. 療育手帳（ ㊤ ㊦の1 ㊤の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2 ）</div><div>3. 精神障害者保健福祉手帳（ 1級 2級 3級 ）</div><div>4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している</div><div>5. 手帳も持っていないし、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない</div></div></div></div></div></div></div></div>
---

問6 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。○はいくつでも

1. 自閉症・自閉的傾向	2. 高機能自閉症・高機能広汎性発達障害
3. 自閉症スペクトラム障害 (ASD)	4. 広汎性発達障害 (PDD)
5. アスペルガー症候群	6. 注意欠陥・多動性障害 (AD/HD)
7. 学習障害 (LD)	8. 知的障害
9. 特に診断は受けていない	
10. その他 ( )	

問7 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

(1) 国が指定する特定疾患  
(別表で該当する疾患の番号を記入してください。番号はいくつでも。)

一覧表を別紙で同封
-----------

(2) その他の難病

(病名をお書きください)
--------------

3 医療機関への受診状況について

問8 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。○はい1つ

1. 障害や疾病では受診していない
2. 一時的に受診したが、入院はしていない
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
4. 一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)
5. 1年間継続して入院していた

問9 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等(かかりつけ医)はいますか。○はい1つ

1. いる	2. いない
-------	--------

問10 【問9で身近な医師等(かかりつけ医)がいると回答した方におたずねします。】  
その医療機関はどのようなものですか。○はいくつでも

1. 診療所(〇〇科、〇〇クリニック、〇〇医院など)
2. 総合病院・大学病院等の専門の診療科
3. 通所している施設等での診察
4. その他 ( )

問11 あなたの「医療」についておたずねします。  
あなたはどこにある病院や診療所に通院していますか。○はいくつでも

1. 市内の歩いていける場所	2. 市内の歩いていけない場所
3. 県内の市町村(千葉市以外)	4. 東京都内
5. その他(具体的に: (都道府県))	
6. 特に通院していない	

4 家族や介助者について

問12 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。○はいくつでも

1. 母親	2. 父親	3. 兄弟姉妹
4. 祖母	5. 配偶者	6. 子ども
7. その他の親族	8. 施設(グループホーム等)で暮らしている	
9. ひとり暮らし	10. その他 ( )	

問13 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。○はい1つ

1. 母親	2. 父親	3. 兄弟姉妹
4. 祖母	5. 配偶者	6. 子ども
7. その他の親族	8. ホームヘルパー	9. ボランティア
10. 介助は受けていない	11. その他 ( )	

問14 【問13で主な介助者が家族・親族(1〜7番)に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者の方の年齢をお答えください。○はい1つ

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
		7. 70歳以上

【問15】主な介護者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介護者の介護継続年数をお答えください。（○は1つ）

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満        | 2. 1年以上～5年未満   |
| 3. 5年以上～10年未満  | 4. 10年以上～15年未満 |
| 5. 15年以上～18年未満 |                |

【問16】主な介護者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 介護者自身の健康に不安がある  | 2. 介護者の高齢化に不安がある  |
| 3. 代わりに介護を頼める人がいない | 4. 緊急時の対応に不安がある   |
| 5. 身体的な負担が大きい      | 6. 精神的な負担が大きい     |
| 7. 経済的な負担が大きい      | 8. 仕事に出られない       |
| 9. 長期の旅行や外出ができない   | 10. 休養や息抜きの時間が少ない |
| 11. 特に困っていることはない   | 12. よくわからない       |
| 13. その他（ ）         |                   |

【問17】主な介護者が、病気のときや外出をしなければならぬときなどは、代わりにどなたが介助していますか。（○は3つまで）

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 同居している家族や親族  | 2. 同居していない家族や親族     |
| 3. 近所の人や友人・知人   | 4. ボランティア           |
| 5. ホームヘルパー      | 6. 施設に短期間入所して介助を受ける |
| 7. 介助してくれる人がいない | 8. その他（ ）           |

5 相談や情報入手について

【問18】あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありませんか。（○はいくつでも）

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 発達や心身の状態に不安がある        | 2. 行動上の問題への対応に困っている    |
| 3. 自分では身の回りの事が十分にできない    | 4. 自分や家族では家事が十分にできない   |
| 5. 健康状態に不安がある            | 6. 介護者（家族）の負担が大きい      |
| 7. 段差や階段など、住まいに支障がある     | 8. 外出するのに支障がある         |
| 9. 利用したい福祉サービスを十分に利用できない | 10. 収入や生活費に不安を感じている    |
| 11. 緊急時に支援が得られない         | 12. 近所の人などとの人間関係に支障がある |
| 13. 将来の生活に不安を感じている       | 14. 療育・教育について困っている     |
| 15. 就労について困っている          | 16. 特に困っていることはない       |
| 17. その他（ ）               |                        |

【問19】あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

- |                     |                        |           |
|---------------------|------------------------|-----------|
| 1. 家族・親族            | 2. 友人・知人               | 3. 近所の人   |
| 4. 同じ施設の入所者         | 5. 相談支援専門員・ケアマネジャー     |           |
| 6. 障害者相談支援事業所       | 7. ホームヘルパー             | 8. 施設等の職員 |
| 9. 施設等のボランティア       | 10. 施設等の第三者委員（苦情の受付窓口） |           |
| 11. 医療関係者（医師・看護師など） | 12. 障害者団体や家族の会         |           |
| 13. 学校の職員           | 14. 養護教育センター           |           |
| 15. 民生委員・児童委員       | 16. 身体障害者相談員・知的障害者相談員  |           |
| 17. 保健福祉センター        | 18. 療育センター             |           |
| 19. 発達障害者支援センター     | 20. こころの健康センター         |           |
| 21. 相談する相手はいない      | 22. その他（ ）             |           |

問20 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（○はいくつでも）

- |   |   |
|---|---|
| 1. 近所で気軽に立ち寄れる相談<br>専門性の高い職員による相談<br>定期的な訪問してくれる相談<br>特に希望はない | 2. 休日や夜間など緊急時の相談<br>自分と同じ立場の人による相談<br>プライバシーに配慮した相談<br>その他（ ） |
|---|---|

問21 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（○はいくつでも）

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 1. 電話による相談<br>ファックスによる相談<br>手話通話者・要約筆記者のサポートを受けられる相談<br>SNSによる相談 | 2. 電子メールやインターネットによる相談<br>その他（ ） |
|--|---------------------------------|

問22 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（○はいくつでも）

- |  |  |
|--|--|
| 1. ちば市政だより<br>障害者団体などの刊行物<br>市のホームページ<br>SNS<br>テレビ・ラジオ<br>医療機関<br>民生委員・児童委員<br>市の窓口 | 2. 市のパンフレットなど<br>学校のお知らせ<br>市以外のホームページ<br>新聞・雑誌<br>施設や福祉サービス事業所<br>障害者団体や家族の会<br>障害者相談員・知的障害者相談員<br>身体障害者相談員<br>その他（ ） |
|--|--|

## 6 あなたの暮らしについて

問23 あなたのお住まいの種類の種類をお聞きます。（○は1つ）

- |   |   |
|---|---|
| 1. 持ち家（一戸建て）<br>民間賃貸住宅（一戸建て）<br>公営住宅<br>グループホーム | 2. 持ち家（集合住宅）<br>民間賃貸住宅（集合住宅）<br>UR都市機構住宅（旧公園住宅）<br>その他（ ） |
|---|---|

問24 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。（○はいくつでも）

- |  |   |
|--|---|
| 1. 階段の昇降<br>風呂が使いにくい<br>建物の老朽化<br>特に困っていることはない | 2. 玄関・出入口などの段差<br>トイレが使いにくい<br>家賃など住宅費の負担<br>その他（ ） |
|--|---|

問25 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（○は1つ）

- |                               |                    |                          |
|-------------------------------|--------------------|--------------------------|
| 1. 週4日以上<br>月2～3日<br>あまり外出しない | 2. 週2～3日<br>月1日くらい | 3. 週1日くらい<br>2～3か月に1日くらい |
|-------------------------------|--------------------|--------------------------|

問26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（○はいくつでも）

- |  |   |                        |
|--|---|------------------------|
| 1. 通勤・通学・通所<br>買い物<br>グループ活動<br>あまり外出しない | 2. 訓練やリハビリ<br>友人・知人と会う<br>散歩に行く<br>その他（ ） | 3. 医療機関への受診<br>趣味やスポーツ |
|--|---|------------------------|

問27 外出先のトイレに望むことは何ですか。（○はいくつでも）

- |  |  |
|--|--|
| 1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい<br>男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせしてほしい<br>総文字表示を見やすくしてほしい<br>トイレの中の段差をなくしてほしい<br>便器等の位置、向きを統一してほしい<br>トイレの中に手すりをつけてほしい<br>トイレに十分な広さがほしい<br>特になし<br>その他（ ） | 4. トイレの中を明るくしてほしい<br>6. 点字ブロックをつけてほしい<br>9. エアタオルをつけてほしい<br>11. 緊急通報ボタンをつけてほしい |
|--|--|

問28 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。（○は1つ）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. よく利用する<br>あまり利用しない | 2. 時々利用する<br>全く利用しない |
|-----------------------|----------------------|

問29 あなたが「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |             |                |
|---------------------|-------------|----------------|
| 1. 散歩               | 2. 運動       | 3. 休息          |
| 4. 植物などの自然観賞        | 5. 昼食       | 6. 公園を近道に使っている |
| 7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休息 | 8. 遊び場      |                |
| 9. イベント見学・参加        | 10. その他 ( ) |                |

問30 あなたは、障害者が安心して公園を利用して公園を利用できるようにするために、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 通路の幅を広げてほしい                             |
| 2. 手すりをつけてほしい                              |
| 3. 段差や急な坂をなくしてほしい                          |
| 4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい                   |
| 5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい                   |
| 6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい |
| 7. ベンチを増やしてほしい                             |
| 8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい                 |
| 9. 特に必要ことはない                               |
| 10. その他 ( )                                |

7 災害対策について

問31 あなた(や保護者・ご家族の方)は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(○はいくつでも)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 自分や家族だけでは避難できない      |
| 2. 自分では助けを呼ぶことができない     |
| 3. 近所に頼ることのできる支援者がいない   |
| 4. 災害に関する情報を得るのが難しい     |
| 5. 避難所の設備が障害に配慮しているか不安  |
| 6. 避難所で必要な介助を受けられるか不安   |
| 7. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安 |
| 8. 養や医療的なケアが確保できるか不安    |
| 9. 特に不安に思うことはない         |
| 10. その他 ( )             |

問32 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資(薬や装具等)を、備蓄していますか。(○は1つ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 1週間分以上の備蓄がある   | 2. 4～6日分くらいの備蓄がある |
| 3. 1～3日分くらいの備蓄がある | 4. 備蓄していない        |

問33 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている                            |
| 2. 非常持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている                   |
| 3. 非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況にに応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している |
| 4. 避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している      |
| 5. 家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている               |
| 6. 自分の障害のことでや緊急連絡先等を記載したカードを作成している                  |
| 7. 市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している             |
| 8. 参典に転倒防止器具を取り付けている                                |
| 9. 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている                           |
| 10. 災害時に避難する指定避難所(一歩避難所)を知っている                      |
| 11. 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している                        |
| 12. 特にない  |
| 13. その他 ( )   |

問34 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(○はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい |
| 2. 災害の情報をわかりやすく伝えてほしい       |
| 3. 障害の種類や程度に配慮した配慮をしてほしい    |
| 4. 地域のの人にすぐに安全確認等をしてほしい     |
| 5. 避難場所の情報を的確に伝えてほしい        |
| 6. 特に必要はない                  |
| 7. その他 ( )                  |

8 療育・保育について

問35 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。

(○は1つ)

- |           |         |          |          |
|-----------|---------|----------|----------|
| 1. 産まれたとき | 2. 0歳   | 3. 1歳    | 4. 2歳    |
| 5. 3歳     | 6. 4～6歳 | 7. 7～12歳 | 8. 13歳以降 |

問36 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。

(○は1つ)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 産まれてまもなく病院で知らされた | 2. 家族や周りの人が気づいた       |
| 3. 乳幼児健診で知らされた      | 4. 医療機関を受診したときに知らされた  |
| 5. 育育相談などで知らされた     | 6. 保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた |
| 7. 小中学校の職員が気づいた     | 8. その他( )             |

問37 あなた(もしくはあて名のお子さん)が、障害の診断を受けた機関はどこですか。

(○は1つ)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 診療所                        |
| 2. 総合病院・大学病院等の専門の診療科(市立病院を含む) |
| 3. 市の機関(療育センターや桜木園など)         |
| 4. その他( )                     |

問38 あなた(もしくはあて名のお子さん)が、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。

- |           |         |          |          |
|-----------|---------|----------|----------|
| 1. 産まれたとき | 2. 0歳   | 3. 1歳    | 4. 2歳    |
| 5. 3歳     | 6. 4～6歳 | 7. 7～12歳 | 8. 13歳以降 |

問39 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている(または以前に困ったことがある)ことはありますか。(○はいくつでも)

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 療育・保育に関する情報が少ない        |
| 2. 希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない |
| 3. 施設での療育・訓練の機会が少ない       |
| 4. 施設での療育・訓練の内容に問題がある     |
| 5. 本人の成長に不安がある            |
| 6. 友だちとの関係づくりがうまくできない     |
| 7. 通園・通所の送り迎えが大変          |
| 8. 費用など経済的負担が大きい          |
| 9. 小學校入学時の学校選択で困っている      |
| 10. 特に困っていることはない          |
| 11. その他( )                |

問40 【あなた(あて名のお子さん)が小學校入学前の方におたずねします。】  
あなたが現在通っているところはありませんか。(○はいくつでも)

- |             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 保育所(園)   | 2. 幼稚園       | 3. 特別支援学校の幼稚園 |
| 4. 療育センター   | 5. 大宮学園      | 6. 桜木園        |
| 7. その他の療育機関 | 8. 通っている所はない |               |
| 9. その他( )   |              |               |

問41 【あなた(あて名のお子さん)が小學校入学前の方におたずねします。】  
あなたが小學校(小學校部)に入学するとき、どの學校・學級に通わせたいと思いますか。(○は1つ)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 小學校の通常學級 | 2. 小學校の特別支援學級 |
| 3. 特別支援學校   | 4. わからない      |
| 5. その他( )   |               |

問42 【保護者の方におたずねします。】

療育・保育から小學校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小學校に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. とてちよいと思ふ   | 2. よいと思ふ   |
| 3. あまりよくないと思ふ | 4. よくないと思ふ |

問43 【保護者の方におたずねします。】  
【あなたから小学校に入學する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援療育・保育に関する情報から小学校に提供されるといいますか。(○はいくつでも)】

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 障害の種類や程度           | 2. 性格の特徴       |
| 3. 得意な分野と不得意な分野       | 4. コミュニケーション能力 |
| 5. 接する上で配慮しなければならないこと | 7. 障害を発症した時期   |
| 6. 家族構成               | 8. その他 ( )     |

## 9 学校・教育について

※この章の問は、【在学中の方のみ対象です。(「あなた」が小学校入学前・卒業後の場合は、回答不要です。)]

問44 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。(○は1つ)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 小学校の通常学級    | 2. 小学校の特別支援学級    |
| 3. 特別支援学校の小・学部 | 4. 中学校の通常学級      |
| 5. 中学校の特別支援学級  | 6. 特別支援学校の中学部    |
| 7. 高等学校        | 8. 特別支援学校の高等部    |
| 9. その他の学校      | 10. 通所施設などに通っている |
| 11. どこにも通っていない | 12. その他 ( )      |

問45 あなた(や保護者・ご家族の方)は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 教育・療育に関する情報が少ない    | 2. 学校での介助が大変       |
| 3. 通学の送迎が大変           | 4. 教職員の指導・支援の仕方が心配 |
| 5. 学校のカリキュラムが本人に合わない  |                    |
| 6. 友だちとの関係づくりがうまくできない |                    |
| 7. 療育・訓練を受ける機会が少ない    |                    |
| 8. 今後の学校選択について迷っている   | 9. 学校卒業後の進路に不安がある  |
| 10. 特に困っていることはない      |                    |
| 11. その他 ( )           |                    |

問46 あなた(や保護者・ご家族の方)は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。(○はいくつでも)

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自宅で過ごしたい         | 2. 地域の反だちと遊びたい  |
| 3. 放課後等デイサービスを利用したい | 4. 子どもルームを利用したい |
| 5. 部活動などに参加したい      | 6. 習い事や塾などに行きたい |
| 7. 特に希望はない          | 8. その他 ( )      |

問47 【保護者の方におたずねします。】

小学校(初等部)から中学校(中等部)に入學する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報から中学校(中等部)に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. とてもよいと思う   | 2. よいと思う   |
| 3. あまりよくないと思う | 4. よくないと思う |

問48 【保護者の方におたずねします。】

小学校から中学校に入學する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてどのような情報から中学校に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 障害の種類や程度           | 2. 性格の特徴       |
| 3. 得意な分野と不得意な分野       | 4. コミュニケーション能力 |
| 5. 接する上で配慮しなければならないこと | 6. 家族構成        |
| 7. 障害を発症した時期          | 8. その他 ( )     |

問49 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。(○は1つ)

- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 高等学校                     | 2. 特別支援学校の高学部 |
| 3. その他の学校                   |               |
| 4. 障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい |               |
| 5. 企業などで就労したい               | 6. わからない      |
| 7. その他 ( )                  |               |

問50 【保護者の方におたずねします。】

中学校(中学部)から高等学校(高等部)に入學する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報から高等学校(高等部)に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. とてもよいと思う   | 2. よいと思う   |
| 3. あまりよくないと思う | 4. よくないと思う |

問51 【保護者の方におたずねします。】  
中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。（○はいくつでも）

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 障害の種類や程度           | 2. 性格の特徴       |
| 3. 得意な分野と不得意な分野       | 4. コミュニケーション能力 |
| 5. 接する上で配慮しなければならないこと | 7. 障害を発症した時期   |
| 6. 家族構成               |                |
| 8. その他（ ）             |                |

問52 あなたは、高等学校（高等部）卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 企業等に就職したい                | 2. 大学・短大に進学したい        |
| 3. 専門学校などに通いたい              | 4. 障害者高等技術専門学校などに通いたい |
| 5. 障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい |                       |
| 6. 自宅で就労したい（収入のある仕事）        |                       |
| 7. 就労・就学はしないで過ごしたい          |                       |
| 8. わからない                    | 9. その他（ ）             |

## 10 日中活動・就労について

※この章の間は、[学校卒業後の方のみ対象です。]「あなた」が小学校入学前・在学中の場合には、回答不要です！

問53 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。  
（最もあてはまる番号1つだけ○）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 正職員として働いている        | 2. パート・アルバイトなどで働いている |
| 3. 自宅で就労している（収入のある仕事） |                      |
| 4. 福祉的就労をしている（作業所など）  |                      |
| 5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている |                      |
| 6. 自宅で家事や手伝いをしている     | 7. 特に何もしていない         |
| 8. 学校などに通っている         | 9. 職業訓練中             |
| 10. 就職活動中             | 11. その他（ ）           |

問54 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと感じますか。（○はいくつでも）

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| 1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援     |  |
| 2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練 |  |
| 3. 職場を理解するための就労体験          |  |
| 4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大       |  |
| 5. 障害者向けの求人情報の提供           |  |
| 6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ    |  |
| 7. 職場施設のバリアフリー化            |  |
| 8. 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制     |  |
| 9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援    |  |
| 10. 特に必要なことはない             |  |
| 11. わからない                  |  |
| 12. その他（ ）                 |  |

問55 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと感じますか。すでに取り組んでいる方は、今後でも取り組みたいかどうかをお答えください。（○はいくつでも）

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 趣味・教養に関する活動 | 2. 学習活動           |
| 3. スポーツ活動      | 4. ボランティア活動       |
| 5. 障害者団体の活動    | 6. 町内会・自治会など地域の活動 |
| 7. 特になし        | 8. その他（ ）         |

## 11 運動やスポーツについて

問56 あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
（学校に通っている方は、学校の授業を除く）

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. している               | 2. していたが、今はやっていない |
| 3. 今まで運動やスポーツをしたことがない |                   |

問57 【問56で「1. している」に○をつけた方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1～2回  |
| 3. 月に1～3回 | 4. 月に1～11回 |

問58 【問56で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方に  
おたずねします。】  
あなたがやっている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. ウォーキング            | 2. ランニング・マラソン    |
| 3. ラジオ体操・健康体操        | 4. ヨガ・太極拳        |
| 5. ウェイトトレーニング        | 6. ダンス           |
| 7. エアロビクス            | 8. 水泳            |
| 9. ゴルフ               | 10. 野球・ソフトボール    |
| 11. サッカー・フットサル       | 12. ラグビー         |
| 13. バスケットボール         | 14. 陸上競技         |
| 15. バレーボール・ソフトレボール   | 16. ハンドボール       |
| 17. テニス・ソフトテニス       | 18. バドミントン       |
| 19. 卓球               | 20. アイススケート      |
| 21. スキー・スノーボード       | 22. 柔道           |
| 23. 剣道               | 24. 空手・合気道       |
| 25. ゲートボール           | 26. ボウリング        |
| 27. グラウンドゴルフ         | 28. 登山・キャンプ      |
| 29. サイクリング           | 30. ヨット・サーフィン    |
| 31. トライアスロン          | 32. バークゴルフ       |
| 【上記を除く全国障害者スポーツ大会競技】 |                  |
| 33. アーチERY           | 34. グランドソフトボール   |
| 35. 車椅子バスケットボール      | 36. サウンドテーパールテニス |
| 37. フットベースボール        | 38. フライングディスク    |
| 【上記を除くパラリンピックの公式競技等】 |                  |
| 39. ウィルチアエーラグビー      | 40. カヌー          |
| 41. 車いすテニス           | 42. 車いすフェンシング    |
| 43. ゴールボール           | 44. 電動車椅子サッカー    |
| 45. 5人制サッカー (視覚障害者)  | 48. 自転車競技        |
| 46. 7人制サッカー (脳性麻痺)   | 50. セーリング        |
| 47. シッティングバレーボール     | 52. トライアスロン      |
| 49. 射撃               | 54. パワーリフティング    |
| 51. テコンドー            | 56. ボッチャ         |
| 53. 馬術               |                  |
| 55. ボート              |                  |
| 57. その他 ( )          |                  |

問59 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようなになればいい  
と思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 一緒にスポーツをする仲間がいれば
- スポーツを教えてくれる人がいれば
- 自分に合ったスポーツやサークルを紹介する窓口があれば
- 子どもを預けられるところがあれば
- 身近で気軽に、障害者が使える施設があれば
- 安く使える施設があれば
- 施設の環境・雰囲気良くなれば
- 時間に余裕があれば
- 経済的な援助があれば
- わからない
- その他 ( )

問60 【問56で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねし  
ます。】  
あなたがスポーツをしない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- スポーツができる場所がないため
- スポーツをする施設が受け入れてくれないため
- 指導してくれる人がいないため
- 上手にスポーツができる自信がないため
- スポーツをするために必要な器具や用具がないため
- 経済的に無理であるため
- 一緒にスポーツをする仲間がいらないため
- 介助などのボランティアがいらないため
- 障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
- 今のスポーツをやったらよいかわからないため
- してみたいスポーツがないため
- スポーツが嫌いだから
- 忙しくて時間がないから
- その他 ( )

## 12 趣味や教養などの生涯学習活動について

問61 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたがやっている(行っていた)活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・けいこごと(音楽、ダンス、園芸、読書、書道、絵画、写真など)
2. 学術・教養(文学、歴史、経済、語学など)
3. 健康づくり・スポーツ(ウォーキング、水泳、武道など)
4. 家庭生活(料理、手芸など)
5. 校定の資格や取得のための学習
6. パソコン、インターネットに関する学習
7. ボランティア活動・地域活動(子ども会、青少年団体、美化活動など)
8. 行っていない
9. その他( )

問62 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

1. している
2. していたが、今はやっていない
3. 今までしたことがない

問63 【問62で「1. している」と回答した方におたずねします。】  
あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。

1. 週に3回以上
2. 週に1～2回
3. 月に1～3回
4. 年に1～11回

問64 【問62で「2. していたが今はやっていない」または「3. 今までしたことがない」と回答した方におたずねします。】  
あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

1. 時間が取れない
2. 一緒に活動する仲間がいない
3. 費用がかかる
4. 施設にエレベーター、スロープ、多目的トイレ等が整備されていない
5. 手話や点字などの情報保障がない
6. どのような講座があるのか知らない
7. 特に必要と感じない
8. その他( )

18

問65 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのような方がいいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 席間に余裕があれば
2. 一緒に活動する仲間がいれば
3. 安価、無料で参加できる講座があれば
4. 経済的な援助があれば
5. エレベーターやスロープ等の整備が進めば
6. 手話や点字などの情報保障があれば
7. 講座情報簡単に手に入れば
8. 障害のある方の学習活動に関する相談体制が整備されれば
9. わからない
10. その他( )

## 13 将来について

問66 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者の入所施設に入りたい
5. わからない
6. その他( )

問67 あなた(や保護者・ご家族の方)は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域の人たちの障害に対する理解
2. 地域生活に関する相談支援
3. 訪問系サービスの充実
4. 日中活動系サービスの充実
5. 自立生活のための訓練・体験
6. グループホームなどの拡充
7. 障害者のための住宅の確保
8. 医療体制の充実
9. 就労のための支援
10. 災害時の支援
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
12. 経済的負担の軽減
13. 特に必要なことはない
14. わからない
15. その他( )

問68 【主な介護者の方におたずねします。】  
今あなたが介護をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。  
(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らししてほしい
2. 自宅でひとり暮らしをしてほしい
3. グループホームなどに入居してほしい
4. 障害者の入所施設に入してほしい
5. わからない
6. その他( )

19



問76 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める

2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する

3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく

4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通して市民と関わっていく

5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく

6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく

7. 特にない

8. その他 ( )

※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁（バリア）を除去するための必要かつ合理的な取り組みを行わなければならないことです。(民間事業者については努力義務)

問77 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われるか。(〇は3つまで)

1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発

2. 障害者差別解消法に係るセミナー等の開催

3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修

4. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置

5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用

6. ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発

7. 上記6以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発

8. 特にない

9. その他 ( )

15 サービス利用について

問78 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況	利用して利用していない	今後の利用希望	利用し利用しない
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	1	2
②重度訪問介護	重度の肢体不自由者、重度の知的障害者・精神障害者に、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的に行います。	1	2	1	2
③行動支援	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や巡回回遊等の支援を行います。	1	2	1	2
④同行支援	移動に著しい困難を有する障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動支援などを行います。	1	2	1	2
⑤重度障害者等包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	1	2
⑥移動支援	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	1	2
⑦訪問入浴	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	1	2

問79 あなたは、訪問系サービスの利用に困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ( )

問80 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと  
思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。①  
～④のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2  
のどちらかに○をつけてください。）

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況	利用したい	今後の利用希望	利用したい
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。	利用している	利用しない	1	2
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要に訓練を行います。			1	2
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。	①～⑥については、「18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。		1	2
④就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。			1	2
⑤就労定着支援	就労移行支援等を利用し、一般企業等に就労した障害者に、一定期間、就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所等との連絡調整等の支援を行います。			1	2
⑥療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。			1	2
⑦短期入所 (ショートステイ)	介護者が病気などのときに、短期間、施設で必要な介護等の支援を行います。	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用したくない
⑧ 児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練を行います。	1	2	1	2
⑨ 放課後等デイサービス	学校の授業の終了後または夏休み等の休業日には生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流促進等を行います。	1	2	1	2
⑩ 保育所等訪問支援	障害児が通う保育所等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。	1	2	1	2
⑪ 医療型 児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練等と治療を行います。	1	2	1	2
⑫ 居宅訪問型 児童発達支援	重度障害の状態等で外出が著しく困難な障害児に、自宅を訪問し、日常生活動作の指導、知識技能の付与、訓練等を行います。	1	2	1	2
⑬ 1日中一時支援事業	障害児に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2	1	2
⑭ その他の通所施設	(具体的なサービス名をお書きください：)	1	2	1	2

問81 あなたは、日中活動系サービスの利用に困っていることがありますか。  
(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない	7. サービスの質について困っている
2. サービスに関する情報が少ない	9. 施設への通所が大変
3. 利用したいサービスが利用できない	11. 特に困っていることはない
4. サービス利用の手続きが大変	
5. 事業者との日時などの調整が大変	
6. 利用できる回数や日数が少ない	
8. 他の利用者との関係について困っている	
10. 利用者負担について困っている	
12. その他 ( )	

問82 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用したくない
① 共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ・食事などの介護を行います。	18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。若の今後の利用希望のみ回答してください。	1	2	
② 施設入所支援	知的障害児、肢体不自由児または重度の知的障害・肢体不自由が重複している児童を保護し、日常生活の指導等と治療を行います。	1	2	1	2
③ 障害児入所支援					

問83 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと望みますか。  
すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑥のそれぞれのサービスのついて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
① 障害者相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	1	2
② 成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の利用にかかる費用や後見人等の申立て支援を行います。	②については、「20歳以上の方を対象としたサービスの提供、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望の回答してください。		1	2
③ 意思疎通支援事業	意思疎通を図ることに支援のある方に、手話通訳者等派遣します。	1	2	1	2
④ 日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	1	2
⑤ 地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	1	2
⑥ 本人活動支援事業	在宅の知的障害者に対して、ボランティア活動の機会を提供します。	1	2	1	2
⑦ 知的障害者職業訓練事業	知的障害者が、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	1	2
⑧ 生活訓練等事業	視覚障害者等に対して、日常生活に必要な訓練、指導を行います。	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用しない
⑨ 地域移行支援	障害者支援施設や病院等に入所または入院している障害者に、住居の確保などの地域における生活へ移行するための支援を行います。	1	2	1	2
⑩ 地域定着支援	一般住宅で一人暮らしをしている障害者に、夜間も含む緊急時における連絡等の支援を行います。	1	2	1	2

問84 【問78、80、82、83にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用をしたい方に  
おたずねします。】  
サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(○は1つ)

1. 相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい
2. セルフプランを自分や家族で作成したい
3. 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい
4. まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい
5. サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない

問85 【これまでに相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方におたずね  
します。】  
サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか (○は4つまで)

1. ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた
2. サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた
3. サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった
4. 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた
5. 課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった
6. サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった
7. サービス等利用計画の内容が分かりにくかった
8. 相談支援専門員の説明が分かりにくかった
9. 制度そのものが分かりにくかった
10. その他 ( )

問86 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 福祉タクシー利用券（黄色券） | 2. 福祉タクシー利用券（水色券） |
| 3. 自動車燃料券         | 4. 利用していない        |

問87 【問86でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方におたずねします。】福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

- |             |                    |
|-------------|--------------------|
| 1. 通勤・通学    | 2. 福祉施設への通所        |
| 3. 医療機関への通院 | 4. 買い物など日常の用事      |
| 5. 文化・教養活動  | 6. スポーツ・レクリエーション活動 |
| 7. 旅行       | 8. 友人・知人と会う        |
| 9. その他（ ）   |                    |

問88 【問86で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方におたずねします。】福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。（○は1つ）

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 自分で運転できるから             |
| 2. 家族などが運転する車で移動することが多いから |
| 3. タクシーや公共交通機関の利用が難しいから   |
| 4. 自家用車のほうが経済的負担が少ないから    |
| 5. 特に理由はない                |
| 6. その他（ ）                 |

16 収入や利用者負担について

問89 あなたご本人の主な収入源をお答えください。（○は3つまで）

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 一般就労による収入（給与・報酬など） | 4. 財産収入（家賃収入など） |
| 2. 福祉的就労による収入（工賃など）   | 6. 生活保護費        |
| 3. 事業収入（自営業など）        | 8. 収入はない        |
| 5. 年金・手当              |                 |
| 7. 家族などからの仕送り         |                 |
| 9. その他（ ）             |                 |

問90 あなた（保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

- |                              |                     |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 非常に負担に感じる                 | 2. やや負担に感じる         |
| 3. あまり負担に感じない                | 4. 障害福祉サービスを利用していない |
| 5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない |                     |

17 障害者施策について

問91 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. 非常に満足     | 2. やや満足  |
| 3. やや不満      | 4. 非常に不満 |
| 5. どちらとも言えない |          |

18 自由意見

問92 障害福祉社に関する意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、自由にお書きください。（自由記述）

--

6 サービス事業者を対象とした調査

サービス事業者の方

千葉市障害者生活実態・意向調査

アンケートへのご協力をお願い

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画を策定するにあたり、各事業所の運営状況・サービスの提供状況等やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ申し訳ありませんが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、市内の障害福祉サービス等事業所を対象としています。  
ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようお願いいたします。

令和元年 12 月

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ・この調査票には、事業所名や所在地、電話番号などは書かないでください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和2年1月6日(月)**までにポストに投函してくださいようお願いいたします。(切手は不要です)

◇お問い合わせ先 千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班

電話 043-245-5175 F A X : 043-245-5549

1. 貴事業所について

問1 貴事業所の経営主体は何ですか。(○は1つ)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. 社会福祉法人           | 2. 医療法人      |
| 3. 一般社団法人・一般財団法人    | 4. 株式会社・有限会社 |
| 5. 特定非営利活動法人(NPO法人) | 6. 協同組合      |
| 7. 合同会社・合資会社        | 8. その他法人     |
| 9. 個人医療機関           | 10. 地方公共団体   |
| 11. その他( )          |              |

問2 貴事業所の開業年はいつですか。

昭和 ・ 平成 ・ 令和 年 (西暦) 年

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障害児サービス等は何ですか。ただし、介護保険サービスは除きます。(○はいくつでも)

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| 1. 居宅介護                      | 2. 重度訪問介護      |
| 3. 行動援護                      | 4. 重度障害者等包括支援  |
| 5. 同行援護                      | 6. 短期入所        |
| 7. 生活介護                      | 8. 療養介護        |
| 9. 自立訓練(機能訓練・生活訓練)           | 10. 就労移行支援     |
| 11. 就労継続支援(A型)               | 12. 就労継続支援(B型) |
| 13. 就労定着支援                   | 14. 自立生活援助     |
| 15. 共同生活援助(グループホーム)          | 16. 施設入所支援     |
| 17. 地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)    |                |
| 18. 計画相談支援(サービス等利用計画・モニタリング) |                |
| 19. 地域活動支援センター事業             | 20. 移動支援事業     |
| 21. 日中一時支援事業                 | 22. 訪問入浴サービス   |
| 23. 児童発達支援                   | 24. 医療型児童発達支援  |
| 25. 放課後等デイサービス               | 26. 保育所等訪問支援   |
| 27. 居宅訪問型児童発達支援              | 28. 障害児入所支援    |
| 29. 障害児相談支援                  | 30. その他( )     |

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア（サービス利用対象者がお住まいの範囲）はどこですか。（○はいくつでも）

1. 千葉市の一部

2. 千葉市内全域

3. 千葉県内

4. その他（ ）

問5 貴事業所で提供しているサービスを利用されている方は何人ですか。  
障害別にお答えください。（平成31年1月1日時点の人数）重複障害の方については主たる障害についてご回答ください。

1. 身体障害 \_\_\_\_\_人

2. 知的障害 \_\_\_\_\_人

3. 精神障害 \_\_\_\_\_人

4. 難病等 \_\_\_\_\_人

問6 貴運営法人及び貴事業所の平成30年度の事業収支状況はいかがでしたか。  
（○は各1つ）

【運営法人（介護保険サービス事業所等も含む）の収支状況】

1. 黒字だった

2. ほぼ収支が均衡した

3. やや赤字だった

4. 大幅な赤字だった

5. その他（ ）

【障害福祉サービス等事業所の収支状況】

1. 黒字だった

2. ほぼ収支が均衡した

3. やや赤字だった

4. 大幅な赤字だった

5. その他（ ）

問7 貴事業所では経営上何を重視していますか。（○は3つまで）

1. 職員の確保

2. 職員の待遇改善

3. 職員の資質向上

4. 事務作業量の軽減

5. 施設・設備の改善

6. 制度改正などへの対応

7. 収益の確保

8. 運営資金の調達

9. 他の事業者との連携

10. 行政との連携

11. 地域住民等の理解

12. 地域に貢献する活動

13. その他（ ）

2. 職員について

問8 貴運営法人及び貴事業所では業務量に対する職員（人手）の充足具合はいかがですか。（○はそれぞれ1つ）

【運営法人（介護保険サービス事業所等も含む）の職員充足状況】

1. 十分である

2. やや不足している

3. 不足している

4. 非常に不足している

5. わからない

【障害福祉サービス等事業所の職員充足状況】

1. 十分である

2. やや不足している

3. 不足している

4. 非常に不足している

5. わからない

問9 貴運営法人及び貴事業所の職員について、平成30年1月1日から平成30年12月31日までの過去1年間の採用者数と離職者数は何人でしたか。

（平成30年2月以降に事業を開始した場合は、事業開始日から平成30年12月31日までの採用者数と離職者数を記入してください。）

【運営法人（介護保険サービス事業所等も含む）の採用者・離職者数】

	採用者数	離職者数	離職した勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人

【障害福祉サービス等事業所の採用者・離職者数】

	採用者数	離職者数	離職した勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人

※1 運営法人の採用者であり、当該事業所に配属又は異動により転出した者を除く。

※2 1年未満の有期雇用契約により、採用又は退職した者を除く。

問 10 【問 8 の障害福祉サービス等事業所の職員充足状況で、「2 やや不足している」、「3 不足している」、「4 非常に不足している」と回答した事業所にお聞きします。】

不足と感じる理由について教えてください。(○は2つまで)

- |                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 1. 離職率が高い(定着率が低い)     | 2. 採用が困難  |
| 3. 事業を拡大したいが人材が確保できない | 4. その他( ) |

問 11 【問 10 で、「2 採用が困難」と回答した事業所にお聞きします。】  
採用が困難な原因はどこにあると思いますか。(○は4つまで)

- |                |                   |             |
|----------------|-------------------|-------------|
| 1. 労働時間が長い     | 2. 夜勤が多い          | 3. 休みが取りにくい |
| 4. 雇用が不安定      | 5. キャリアアップの機会が不十分 |             |
| 6. 賃金が低い       | 7. 仕事がつつい(身体的)    |             |
| 8. 仕事がつつい(精神的) | 9. 社会的評価が低い       |             |
| 10. わからない      | 11. その他( )        |             |

問 12 【問 10 で、「2 採用が困難」と回答した事業所にお聞きします。】  
採用が困難な職種は何ですか。(○は4つまで)

- |              |              |           |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. サービス管理責任者 | 2. 保育士       | 3. 看護師    |
| 4. 児童指導員     | 5. 理学療法士     | 6. 作業療法士  |
| 7. 心理担当職員    | 8. 児童発達管理責任者 | 9. その他( ) |

問 13 【全ての事業所にお聞きします。】

貴事業所では、職員が離職する原因はどこにあると思いますか。(○は4つまで)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 職場の人間関係に問題があった              |
| 2. 他の職場、仕事に魅力があった              |
| 3. 他と比べて賃金が低かった                |
| 4. キャリアアップの機会を与えられなかった         |
| 5. 結婚・出産・妊娠・育児等のライフイベントに専念するため |
| 6. 人員整理・退職勧奨・法人解散・事業不振等のため     |
| 7. 家族の介護・看護のため                 |
| 8. 病気・高齢のため                    |
| 9. 定年・雇用期間満了のため                |
| 10. わからない                      |
| 11. その他( )                     |

問 14 貴事業所では職員の離職に対してどのような取り組みをしていますか。  
(○はいくつでも)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 職員の増員                       |
| 2. 勤務時間内に事務などができる時間を十分に保証する    |
| 3. 会議や研修を時間内とする                |
| 4. 行事の見直し                      |
| 5. 書類の様式や量の見直し                 |
| 6. デジタル環境整備(最新PCの導入、AI化等)      |
| 7. 仕事について職員間で話し合う機会をつくる        |
| 8. 職員の質の向上                     |
| 9. 職員の働きやすさに配慮した施設の改修や職場の雰囲気改善 |
| 10. 特に行っていない                   |
| 11. その他(具体的に: )                |

問 15 貴事業所では職員定着・育成のために、どのようなことを行っていますか。  
(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 職員への満足度(不満)調査を行い、事業所における課題の把握を行っている          |
| 2. 休憩室や談話室など、職員がリラックスできる環境を整えている                |
| 3. 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている                    |
| 4. 仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている                         |
| 5. 上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている             |
| 6. 近隣の企業や同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している               |
| 7. 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている               |
| 8. 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている                      |
| 9. 勤務成績や経験を評価して、管理職への登用機会を設けている                 |
| 10. 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている |
| 11. 研修に参加しやすい体制を整えている                           |
| 12. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている                 |
| 13. その他(具体的に: )                                 |

問 16 貴事業所では人材育成のためにどのような取り組みをしていますか。  
(○はいくつでも)

1. 事業所内で研修の実施
2. 事業所内で事例検討会の実施
3. 外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援
4. 他事業者への異動・受入（人事交流）
5. 他事業者と合同で研修会の実施
6. 他事業者と合同で事例検討会の実施
7. 職員キャリアパスの導入
8. 指導員（チューター）制度の導入
9. 特に行っていない
10. その他（

問17 貴事業所の職員は過去1年間にどのような研修に参加しましたか。  
(○はいくつでも)

1. 障害福祉サービス制度全般に関する研修
2. 障害者の権利擁護に関する研修
3. 職場のメンタルヘルスに関する研修
4. 苦情対応に関する研修
5. 成年後見制度に関する研修
6. 自立支援給付の請求に関する説明会・研修
7. 利用者支援等に係る実務研修
8. 障害の特性に関する研修
9. サービス管理責任者指導者養成研修
10. 相談支援従事者指導者養成研修
11. 市が実施する集団指導
12. 特に参加していない
13. その他（

問 18 貴事業所では、人材確保のためにどのような取り組みをしていますか。  
(〇はいくつでも)

1. 求人誌などに人材広告を掲載した
2. インターネットの求人サイトを利用した
3. 人材募集のチラシを配布した
4. ハローワークを通じて募集した
5. 福祉専門学校等で求人を行った
6. 知人経由・人づてで探した
7. ボランティアを受け入れた
8. 特にしていない
9. その他（

### 3. サービス提供について

問 19 貴事業所では、サービスを提供する上で、どのようなことが課題となっていますか。(〇は3つまで)

1. 量的に、利用者の希望通り提供できていない
2. 質的に、利用者の希望通り提供できていない
3. 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい
4. 困難事例への対応が難しい
5. 休日や夜間の対応が難しい
6. 変更やキャンセルが多い
7. 苦情やトラブルが多い
8. その他（

問 20 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族からどのような相談や苦情を受けていますか。(〇は3つまで)

1. 利用できるサービスがわかりにくい
2. 保健福祉センターでの手続きが大変
3. 利用できる回数や日数が少ない
4. 利用日などが希望どおりにならない
5. サービスの質が良くない
6. 職員間の申し送りが不十分
7. 利用したいサービスが利用できない
8. 利用者負担が大きい
9. 病状等に関する相談
10. 特 に ない
11. その他（ ）

問 21 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。  
(○はいくつでも)

1. 困難事例のケース検討会などの開催	2. 事業者独自の評価
3. 利用者による評価	4. 第三者機関の評価
5. 専門職の配置	6. サービス提供マニュアルの作成
7. 緊急時マニュアルの作成	8. 事故防止対策
9. 利用者への説明の徹底	10. 苦情や相談の受付体制の整備
11. 特にない	
12. その他 (                      )	

問 22 【問 21 で、「5 専門職の配置」と回答した事業所にお聞きします。】  
貴事業所で配置している専門職について、職種名と雇用形態をお教えください。

例)	職種名	雇用形態
	(精神保健福祉士)	(非常勤)
	(医師)	(嘱託)
職種名		雇用形態
(                      )	(                      )	(                      )
(                      )	(                      )	(                      )
(                      )	(                      )	(                      )
(                      )	(                      )	(                      )

問 23 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。  
(○はいくつでも)

1. 居宅介護	2. 重度訪問介護
3. 行動援護	4. 重度障害者等包括支援
5. 同行援護	6. 短期入所
7. 生活介護	8. 療養介護
9. 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	10. 就労移行支援
11. 就労継続支援 (A 型)	12. 就労継続支援 (B 型)
13. 就労定着支援	14. 自立生活援助
15. 共同生活援助 (グループホーム)	16. 施設入所支援
17. 地域相談支援 (地域移行支援・地域定着支援)	
18. 計画相談支援 (サービス等利用計画・モニタリング)	
19. 地域活動支援センター事業	20. 移動支援事業
21. 日中一時支援事業	22. 訪問入浴サービス
23. 児童発達支援	24. 医療型児童発達支援
25. 放課後等デイサービス	26. 保育所等訪問支援
27. 居宅訪問型児童発達支援	28. 障害児入所支援
29. 障害児相談支援	30. その他 (                      )

※介護保険サービス等は含めないでください。

問 24 問 23 にある障害福祉サービス等の参入を検討したが、断念したサービス等があり  
ましたら、サービス等の種類と断念した理由をお書きください。

サービス等の種類 (問 23 の選択肢から数字を記載してください) :
断念した理由 :

問 25 【指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所以外の事業所にお聞きします。】  
貴事業所は、特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定をとる予定はありますか。(○は1つ)

1. 今後指定をとる予定である	2. 指定をとる予定はない
-----------------	---------------

サービス等利用計画の作成やモニタリング等の計画相談支援は指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所で行います。  
※ 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所については、11 ページをご覧ください。

問 26 特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定をとる予定はない場合、その理由をお答えください。(○は2つまで)

1. 職員体制が整わない	2. 相談支援専門員がいない
3. 指定の取り方がわからない	4. 資金の調達ができない
5. 事業所の確保ができない	6. 収益性の確保ができない
7. その他 ( )	

問 27 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所についてご意見をお書きください。

--

問 28 【指定一般相談支援事業所以外の事業所にお聞きします。】  
貴事業所は、一般相談支援事業所の指定を取る予定はありますか。(○は1つ)

1. 今後指定をとる予定である	2. 指定をとる予定はない
-----------------	---------------

地域移行支援・地域定着支援等の地域相談支援は指定一般相談支援事業所が行います。  
※ 指定一般相談支援事業所については 11 ページをご覧ください。

問 29 指定をとる予定はない場合、その理由をお答えください。(○は2つまで)

1. 職員体制が整わない	2. 相談支援専門員がいない
3. 指定の取り方がわからない	4. 資金の調達ができない
5. 事業所の確保ができない	6. 収益性の確保ができない
7. その他 ( )	

問 30 指定一般相談支援事業所についてご意見をお書きください。

--

● 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所  
指定特定相談支援事業所は計画相談支援を行う事業所で、サービス等利用計画の作成や計画のモニタリングを行います。  
指定障害児相談支援事業所は障害児相談支援を行う事業所で、児童福祉法に基づく障害児支援利用計画の作成やモニタリングを行います。  
いずれも相談支援専門員の配置と専用の相談室が必要です。市区町村が指定します。

● 指定一般相談支援事業所  
指定一般相談支援事業所は地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）を行う事業所です。地域移行支援では、障害者支援施設入所中の障害者や精神科病院入院中の精神障害のある方々に対し、退所・退院した後の住居探しや地域生活に移行するため支援を行います。地域定着支援では、施設や病院を出て単身生活を始めの方々に対し、緊急事態が生じた際の相談や緊急訪問を行います。相談支援専門員の配置と専用の相談室が必要です。都道府県・政令指定都市・中核市が指定します。

問 31 貴事業所では、医療的ケア児に対する支援を実施していますか (○は1つ)

1. 実施している
2. 未実施だが、今後実施予定 ⇒ 予定時期：(     年     月頃     /     未定)
3. 未実施だが、今後、実施を検討したいと考えている
4. 実施していない (実施予定もない)

問 32 新規サービスに参入する上で課題となることは何ですか。参入の予定がない事業所の方も、参入を想定した場合の課題をお答えください。(○は2つまで)

1. 新たな職員の確保	2. 障害に対応できる職員の能力育成
3. 新規サービスのノウハウ獲得	4. 参入資金の調達
5. 施設や事業所の確保	6. 収益性の確保
7. 特にない	8. その他 ( )

問 33 今後の障害福祉施策の充実に向けて、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域住民の理解や協力	2. 地域の相談支援体制の充実
3. 地域の生活基盤の充実のための方策	4. 一般就労の促進のための方策
5. 福祉的就労における工賃向上	6. 福祉人材の確保のための方策
7. 事務手続きの簡素化	8. 利用者負担の軽減
9. 特にない	10. その他 ( )

4. 障害者の虐待防止について

問 34 貴事業所では虐待防止対策についてどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. 虐待防止責任者の設置
2. 虐待防止委員会の設置
3. 虐待防止に係る外部研修への参加
4. 事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催
5. 虐待防止マニュアルの作成
6. 虐待防止連絡体制の整備
7. 職員のメンタルヘルスのための研修を実施
8. 職員にストレスチェックを実施
9. 特に取り組んでいない
10. その他 ( )

5. 災害時の対策について

問 35 貴事業所では災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. 避難行動計画や災害発生時対応マニュアルの作成	3. 備蓄品の整備
2. 定期的に避難訓練を実施	5. ロッカー、棚等の転倒防止措置
4. 一般就労の促進のための方策	7. 避難経路の確保化
6. 緊急連絡網の作成	9. その他 ( )
8. 特に取り組んでいない	

6. 感染症対策について

問 36 貴事業所では感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. 感染症対策マニュアルの作成
2. 職員に対する感染症対策に関する研修等の開催
3. 感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等）を常備
4. 職員に対する手洗い・うがいの励行
5. 職員・関係機関等への連絡体制の整備
6. 利用者および面会者への注意喚起
7. 特に取り組んでいない
8. その他 ( )

7. 障害者の差別解消について

問 37 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なことは何だと思われますか。(○は3つまで)

1. 地域住民・企業等に向けた周知・啓発
2. 各種障害者に関するマークの周知・啓発
3. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
4. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器（タブレット端末等）等の活用
5. 障害者差別解消法に係るイベントの企画
6. 特にない
7. その他 ( )

※1 障害者差別解消法

障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

○不当な差別的取扱いの禁止

不当な差別的取扱いとは、障害を理由として、正当な理由なく、サービスの提供を拒否したり、制限したり、条件を付けたりするような行為をいいます。行政機関又は民間事業者は、正当な理由なく、障害者の権利利益を侵害してはなりません。

○合理的配慮の提供

行政機関等は、障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁（バリア）を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならない。（民間事業者については努力義務）

8. 自由意見

問 38 障害福祉社に関するご意見やご要望などありましたら、ご自由にお書きください。  
(自由記述)

ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、

令和2年1月6日（月）までに ポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、事業所名、所在地、電話番号などは書かないでください。

# 千葉市障害者計画等策定に係る 実態調査報告書

－障害者生活実態・意向調査－

令和2年3月発行

発行 千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課  
〒260-8722 千葉市中央区千葉港2-1  
千葉中央コミュニティーセンター 1階  
電話 043-245-5175 FAX 043-245-5549